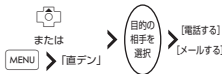
FOMA N601i の主な機能

拡大もじ／シンプルメニュー対応など、便利にご利用いただけます。詳しくは、取扱説明書をご覧ください。

Choku-den　直デン

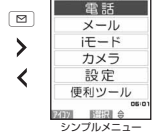
専用ボタンから簡単操作ですばやくメール＆通話。

家族や友達など、よく連絡をとる相手にはすばやくアクセスしたいもの。「直デン」なら 2 タッチのシンプルな操作で、特定の相手にすぐメールや通話ができます。最大 5 人まで登録可能です。

Simple Menu　シンプルメニュー

よく使う機能を大きな文字でわかりやすく表示。

通常のメインメニュー画面から、基本機能のみを大きな文字で表示する「シンプルメニュー」に切り替えられます。シンプルでわかりやすい機能表示で、よく使う機能が素早く簡単に呼び出せるので、各種操作が快適に使いこなせます。

待受画面 MENU → ✉ [シンプル]

メインメニュー　シンプルメニュー

Kakudai-moji　拡大もじ

メール作成画面や電話帳も大きな文字でさらに見やすく。

受信メールに加え、メール作成画面や電話帳も、30 ドットの「拡大もじ」で見やすく表示。時間表示も特大サイズが選べるなど、見やすさを追求しました。

○文字入力 拡大（30 ドット）　○簡単絵文字入力（全面表示）　○電話帳 拡大（30 ドット）　特大サイズの時計表示もご用意

Security　セキュリティ＆プライバシー

忘れても安心「キー操作ロック」。

あらかじめ設定しておけば、本体を閉じるだけで簡単にキーロックできます。さらに設定時間が経過すると、自動的にキーロックが起動するように設定することが可能。ロックを忘れた場合も安心です。

● 閉じたとき：ON/OFF

● タイマー：「1 分後ON」「5 分後ON」「15分後ON」「30分後ON」

Nのケータイ新機能！

のぞき見ガードで安心「プライバシーアングル™」。

のぞき見防止機能「プライバシーアングル」で、メールや個人情報をしっかりガード。すべてのシーンでのぞき見を防ぐことができます。

8 を長押し

または

MENU→「各種設定」→「ディスプレイ」→「プライバシーアングル」→「ON」

'06.12（1版）
MDT-000068-JJA0

ドコモ
W-CDMA方式

このたびは、「FOMA N601i」をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

ご利用の前に、あるいはご利用中に、この取扱説明書および電池パックなど機器に添付の個別取扱説明書をよくお読みいただき、正しくお使いください。取扱説明書に不明な点がございましたら、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。
FOMA N601iはあなたの有能なパートナーです。大切にお取扱いのうえ、末永くご愛用ください。

FOMA端末のご使用にあたって

- FOMA端末は無線を使用しているため、トンネル・地下・建物の中などで電波の届かない所、屋外でも電波の弱い所およびFOMAサービスエリア外ではご使用になれません。また、高層ビル・マンションなどの高層階で見晴らしのよい場所であってもご使用になれない場合があります。なお、電波が強くアンテナマークが3本たっている場合で、移動せずに使用している場合でも通話が切れる場合がありますので、ご了承ください。
- 公共の場所、人の多い場所や静かな場所などでは、まわりの方のご迷惑にならないようご使用ください。
- FOMA端末は電波を利用している関係上、第三者により通話を傍受されるケースもないとはいえません。しかし、W-CDMA方式では秘話機能をすべての通話について自動的にサポートしますので、第三者が受信機で傍受したとしても、ただの雑音としか聞きとれません。
- FOMA端末は、音声をデジタル信号に変換して無線による通信を行っていることから、電波状態の悪いところへ移動するなど送信されてきたデジタル信号を正確に復元することができない場合には、実際の音声と異なって聞こえる場合があります。
- お客様ご自身でFOMA端末に登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。万が一、登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- お客様はTLS／SSLをご自身の判断と責任においてご利用することを承諾するものとします。お客様によるTLS／SSLのご利用にあたり、ドコモおよび別掲の認証会社はお客様に対しTLS／SSLの安全性などに関し何ら保証を行うものではなく、万一何らかの損害が発生したとしても一切責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
  認証会社：日本ベリサイン株式会社、ビートラステッド・ジャパン株式会社、日本ジオトラスト株式会社、RSAセキュリティ株式会社、セコムトラストシステムズ株式会社
- このFOMA端末は、FOMAプラスエリアに対応しております。
- このFOMA端末は、ドコモの提供するFOMAネットワーク以外ではご使用になれません。
  The FOMA terminal can be used only via the FOMA network provided by DoCoMo.

はじめてFOMA端末をお使いになる方へ

本FOMA端末が「はじめてのFOMA端末」という方は、まず、本書を以下の順序でお読みください。本FOMA端末をお使いいただくための準備と基本的な操作を、ひととおりご理解いただくことができます。

1. 電池パックをセットし、充電しましょう（P.38）
2. 電源を入れ初期設定を行い、自分の電話番号を確認しましょう（P.42）
3. 本体のボタンなど役割を確認しましょう（P.24）
4. 画面に表示されるアイコンなどの意味を確認しましょう（P.27）
5. メニューの操作方法を確認しましょう（P.29）
6. 電話のかけかた／受けかたを確認しましょう（P.45）

本書について、最新の情報は、ドコモのホームページよりダウンロードできます。
●「取扱説明書（PDFファイル）」ダウンロード
（http://www.nttdocomo.co.jp/support/manual/download/index.html）
※URLおよび掲載内容については、将来予告なしに変更することがあります。

本書の見かた／引きかた

本書の引きかたについて

本書では次のような検索方法で、お客様の用途に応じた機能やサービスの説明ページを探すことができます。

次ページで詳しく説明しています

索引から ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P.388

FOMA 端末のディスプレイに表示されている機能の名称や、あらかじめ機能名・サービス名がわかっている場合はここから探します。

かんたん検索から ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P.4

よく使う機能や、知っていると便利な機能をわかりやすい言葉で探します。

表紙インデックスから ・・・・・・・・・・・・・・・・・ 表紙

表紙のインデックスを使用して、本書をめくりながら探します。

目次から ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P.6

機能ごとに分類された目次から探します。

主な機能から ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P.8

新機能や便利な機能をご利用になりたい場合はここから探します。

メニュー機能一覧から ・・・・・・・・・・・・・・・・・ P.338

FOMA 端末のメニューに表示されるメニュー機能を一覧表にまとめています。

クイックマニュアルから ・・・・・・・・・・・・・・・ P.396

基本的な機能について簡潔に説明しています。外出の際に切り離してお持ちいただけます。

本書の見かた／引きかた（つづき）

「画面表示設定」機能の引きかたを例として説明します。

索引から

FOMA 端末のディスプレイに表示されている機能の名称や、あらかじめ機能の名称やサービスの名称がわかっている場合はここから探します。

→「画面表示設定」をひく

画面デザイン 124
画面の見かた 27
キャラ電一覧 272
撮影画面（カメラ） 165
テレビ電話画面 76
フォルダ一覧画面（メール） 228
メール一覧画面 229
メール詳細画面 230
メッセージR/F画面 196
画面表示設定 119
画像保存 190
サービスダイヤル 313
再生
おしゃべり機能 297
音声メモ 73
伝言メモ 73
動画メモ 74
メロディ 273
iモーション 264
再接続機能 58
サイト（番組）接続
再読み込み 185
削除
受信表示設定 242
受信BOX（メール） 210, 228
受話音量 65
消去
おしゃべり機能 297
音声メモ 73
着信音量 65
伝言メモ 73
動画メモ 74
肖像権 20
商標 20
証明書 198

かんたん検索から

よく使う機能や知っていると便利な機能をわかりやすい言葉で探します。

→「待受画面を変えたい」をひく

画面表示や着信メロディを変えたい

・時刻を設定したい P.42 時計設定
・着信相手にあわせて着信音などを変えたい P.105 発着信識別機能／グループ識別機能
・着信メロディを変えたい P.112 着信音選択
・ボタン音を消したい P.115 ボタン確認音
・マナーモードを設定したい P.117 マナーモード
・待受画面を変えたい P.119 画面表示設定
・待受画面にカレンダーを表示したい P.121

表紙インデックスから

「表紙」→「章扉（章の最初のページ）」→「説明ページ」の順に、設定したい機能の説明ページを探します。章扉には詳しい目次を記載しています。

かんたん検索／目次／注意事項
ご使用前の確認
電話のかけかた／受けかた
テレビ電話のかけかた／受けかた
電話帳
音／画面／照明設定
あんしん設定

通話が切れそうなときはアラームで知らせる .... 通話品質アラーム 116
メールの着信音を鳴らす時間を設定する .... メール／メッセージ鳴動 116
イヤホンとスピーカから着信音を鳴らす .... 通知音出力切替 116
電話から鳴る音を消す .... マナーモード 117
マナーモードを変更する .... マナーモード選択 117
画面／照明の設定
画面の表示を変える .... 画面表示設定 119
着信時に電話帳に設定した画像を表示する .... 電話帳画像着信設定 122

● ボタンの表記

本書の操作の説明では、ボタンを押す動作をイラストで表現しています。なお、ボタンイラストは次のように省略して表記しています。

実際のボタン	本書での表記
1 あ	1

本書では FOMA 端末を正しくお使いいただくために、操作のしかたをイラストやマークを交えて説明しています。

〈画面表示設定〉 MENU56

画面の表示を変える

お買い上げ時	待受画面：ホワイト&ペリドット1（本体色ホワイト&ペリドット）、ブラック&サファイア1（本体色ブラック&サファイア）、ピンク&ルビー1（本体色ピンク&ルビー） ウェイクアップ表示：待受画面10 電話発信画像、電話着信画像、テレビ電話発信画像、テレビ電話着信画像、メール送信画像、メール受信画像、問い合わせ画像：ホワイト&ペリドット（本体色ホワイト&ペリドット）、ブラック&サファイア（本体色ブラック&サファイア）、ピンク&ルビー（本体色ピンク&ルビー）

撮影した静止画やダウンロードした画像などを、待受画面や発着信画面などに表示させることができます。
- 着信音と着信画面に映像と音声が含まれるｉモーションを設定した場合は、着信音に設定されたｉモーションの映像と音声が再生されます。
- 着信音に映像と音声が含まれるｉモーション以外を設定し、着信画面に映像と音声が含まれるｉモーションを設定した場合は、着信画面に設定されたｉモーションの映像と音声が再生されます。
- 音声のみのｉモーション（歌手の歌声など映像のないｉモーション）は着信画面に設定できません。
- QVGAサイズなど、ｉモーションによっては設定できないものがあります。

1 MENU ▶「各種設定」▶「ディスプレイ」▶「画面表示設定」

「画面表示設定画面」が表示されます。
着信画面にｉモーション以外を設定した場合は、必要に応じて着信音の設定をします。

画面表示設定
待受画面
ウェイクアップ表示
電話発信
電話着信
テレビ電話発信
テレビ電話着信
メール送信
メール受信
問い合わせ
12:05
選択

画面表示設定画面

2 以下の項目から選択

項目			説明
待受画面	「待受画面のイメージを変える」→P.121		
ウェイクアップ表示	FOMA端末の電源を入れたときに表示されるメッセージや画像を設定します。		
	OFF		画像などを表示しません。
	メッセージ		▶メッセージを入力 メッセージは全角で50文字、半角で100文字まで入力できます。
	マイピクチャ		イメージを設定します。お客様が作成したフォルダがあるときは「プリインストール」の項目の次に表示されます。
		INBOX	ｉモードのサイトやインターネットホームページなどからダウンロードした画像や、内蔵カメラで撮影した静止画から設定します。
		カメラ	
		プリインストール	お買い上げ時に登録されている画像から設定します。
		自作アニメ	自作アニメから設定します。
電話発信	音声電話の発信画像を設定します。 お客様が作成したフォルダがあるときは「プリインストール」の項目の次に表示されます。		
	INBOX		ｉモードのサイトやインターネットホームページなどからダウンロードした画像や、内蔵カメラで撮影した静止画から設定します。
	カメラ		
	プリインストール		お買い上げ時に登録されている画像から設定します。
	自作アニメ		自作アニメから設定します。
電話着信	音声電話の着信音と着信画面を設定します。		
	着信音		「携帯電話から鳴る着信音を変える」→P.112
	着信画面		「着信画面やメール着信画面を設定する」→P.120

おしらせ
- ◆ Flash画像を「着信画面」／「メール着信画面」に設定することができますが、着信音は「着信音」で設定した音が鳴ります。
- ◆ 着信の設定が重なった場合の画像表示は優先順位に従って動作します。→P.122

音／画面／照明設定 119
次ページにつづく

※本文中のページとは内容、ページ数が異なります。

- 本書では、画面を見やすくするために「待受画面」の設定を「OFF」にした状態で記載しています。また、操作説明の画面は説明に必要な部分をクローズアップして記載していることがあります。
- メインメニューは本体色ホワイト&ペリドットのお買い上げ時の表示で記載しています。
- 本書は、主にお買い上げ時の設定をもとに説明していますので、お買い上げ後の設定の変更によって FOMA 端末の表示が本書での記載と異なる場合があります。
- 本書で掲載している画面はイメージであるため、実際の画面とは異なる場合があります。

かんたん検索

● 知りたい機能から操作方法を調べたいときにご活用ください。

通話に便利な機能を知りたい

- 相手に電話番号を知らせたい／知られたくない P.44 発信者番号通知
- 通話を保留にしたい P.47 通話中保留
- 音声通話中にテレビ電話に切り替えたい P.48
- 受話音量を変えたい P.65 受話音量

出られない電話に対応したい

- 応答を保留したい P.66 応答保留
- 伝言を残してもらいたい P.71 伝言メモ
- 留守番電話を設定したい P.308

画面表示や着信メロディを変えたい

- 時刻を設定したい P.43 時計設定
- 着信相手にあわせて着信音などを変えたい P.105 発着信識別機能／グループ識別機能
- 着信メロディを変えたい P.112 着信音選択
- ボタン音を消したい P.115 ボタン確認音
- マナーモードを設定したい P.117 マナーモード
- 待受画面を変えたい P.119 画面表示設定
- 待受画面にカレンダーを表示したい P.121
- 着信ランプの色やパターンを変えたい P.127
- 文字の書体、太さ、大きさを変えたい P.128、129 フォント設定／待受時計表示

メールを使いこなしたい

- デコメールを送りたい P.214 デコメール
- 画像やメロディを送りたい P.218 メロディ／画像／動画／iモーション
- 感情お知らせメールについて知りたい P.223

カメラを使いこなしたい

・撮影する画像サイズを変えたい P.166
・シャッター音を変えたい P.168、173
・ズームを使いたい P.176
・撮影した画像を表示したい P.255 マイピクチャ

安心して電話を使いたい

・紛失した時など、離れたところから FOMA 端末をロックしたい P.141 おまかせロック
・電話帳の内容を知られたくない P.143 シークレットモード／シークレット専用モード
・折り畳んだときのボタン操作をロックしたい P.153 外部ボタン操作
・非通知の電話を受けたくない P.156 非通知着信設定
・電話帳未登録の人からの電話を受けたくない P.157 登録外着信拒否
・万が一のデータ消失にそなえ電話帳などを保存しておきたい P.158 電話帳お預かりサービス※

※：電話帳お預かりサービスは、お申し込みが必要な有料サービスです（お申し込みには、i モード契約が必要です）。

こんなこともできます

・よく使う機能を簡単に呼び出したい P.33 オリジナルメニュー
・電池を節約したい P.123 照明設定（省電力モード）
・パソコンやほかの FOMA 端末と情報をやり取りしたい P.277 赤外線通信／OBEX
・アラーム機能として使いたい P.287 アラーム機能
・電卓として使いたい P.298 電卓
・最新のソフトウェアにしたい P.364 ソフトウェア更新
・セキュリティを最新の状態にしたい P.369 スキャン機能

その他の操作の引きかたについては､｢本書の見かた／引きかた｣を参照してください｡→P.1
また、よく使う機能などの操作手順を「クイックマニュアル」としてご案内しています。→P.396

目　次

本書の見かた／引きかた……1
かんたん検索……4
目次……6
FOMA N601iの主な機能……8
FOMA N601iを使いこなす！……10
安全上のご注意……12
取扱い上の注意について……18
知的財産権について……20
本体付属品および主なオプション品について……22

ご使用前の確認……23
・各部の名称と機能・ディスプレイの見かた
・メインメニューについて
・メニューの選択方法
・メインメニューのシンプルメニュー表示
・電池パックの取り付け／取り外し
・携帯電話を充電する・電源を入れる／切る
・初期設定・時計設定・発信者番号通知など

電話のかけかた／受けかた……45
・電話をかける／受ける
・音声電話からテレビ電話へ切り替える
・着もじ・リダイヤル・ポーズダイヤル
・WORLD CALL・ハンズフリー
・車載ハンズフリー・着信履歴
・受話音量・応答保留
・公共モード（ドライブモード／電源OFF）
・伝言メモなど

テレビ電話のかけかた／受けかた……75
・テレビ電話をかける／受ける
・キャラ電の利用・遠隔監視設定など

電話帳……91
・電話帳登録・グループ設定・電話帳検索
・電話帳コピー・発着信識別機能など

音／画面／照明設定……111
・着信音選択・バイブレータ・ボタン確認音
・充電確認音・メール／メッセージ鳴動
・マナーモード・画面表示設定・照明設定
・メニュー画面設定
・着信／通話中イルミネーション
・デスクトップアイコン
・スタイルモードなど

あんしん設定……137
・端末暗証番号について
・PINコード・ダイヤルロック
・おまかせロック・シークレットモード
・シークレットフォルダ・オリジナルロック
・メールセキュリティ設定・電話帳指定設定
・登録外着信拒否
・電話帳お預かりサービスなど

カメラ……161
・静止画撮影・連続撮影・フレーム撮影
・動画撮影など

iモード／iモーション／iチャネル……179
・iモードとは・iモードメニュー
・サイト表示・マイメニュー
・iモードパスワード
・インターネット接続・ブックマーク
・Phone To／Mail To／Web To機能
・メッセージサービス・iモーションとは
・サイトからiモーションを取得する
・iチャネルとは
・チャネル一覧を表示する
・iチャネルの設定など

メール 207

・ｉモードメールとは
・ｉモードメール作成／送信・デコメール
・感情お知らせメールについて
・メール選択受信・ｉモード問い合わせ
・ｉモーションメール・チャットメール
・SMS（ショートメッセージ）など

データ表示／編集／ 管理 253

・画像の表示・動画／ｉモーションの再生
・静止画編集・動画編集・キャラ電
・赤外線通信機能など

その他の便利な機能 283

・マルチアクセスについて
・アラーム通知設定・アラーム機能
・スケジュール・To Doリスト・マイプロフィール
・通話時間／料金・電卓
・テキストメモ・自動発信設定
・設定リセット・端末初期化など

ネットワークサービス 307

・留守番電話サービス・キャッチホン
・転送でんわサービス
・迷惑電話ストップサービス
・番号通知お願いサービス
・デュアルネットワークサービス
・マルチナンバーなど

データ通信 319

・データ通信・ドコモケータイdatalinkなど

文字入力 323

・文字入力方式の切替
・漢字／ひらがな／カタカナ／英字／数字の入力・文字のコピー／貼り付け・区点入力
・2タッチ方式の文字入力
・T9入力方式の文字入力・定型文
・ユーザ辞書・ダウンロード辞書など

付録／外部機器連携／困ったときには 337

・メニュー機能一覧
・お買い上げ時に登録されているデータ
・記号／特殊文字一覧・絵文字一覧
・顔文字一覧・オプション／関連機器
・動画再生ソフトのご紹介・困ったときには
・エラーメッセージ・ソフトウェア更新
・スキャン機能・主な仕様
・携帯電話機の比吸収率（SAR）についてなど

索引／ クイックマニュアル.... 387

・索引
・クイックマニュアル

FOMA N601iの主な機能

FOMAとは、第３世代移動通信システム（IMT-2000）の世界標準規格のひとつとして認定されたW-CDMA方式をベースとしたドコモのサービス名称です。

ｉモードだからスゴイ！

ｉモードはｉモード端末のディスプレイを利用して、ｉモードメニューサイト（番組）やｉモード対応ホームページから便利な情報をご利用いただけるほか、手軽にメールのやりとりができるオンラインサービスです。

• ｉモード →P.180　• ｉモーションメール→P.227　• 着モーション→P.113
• ｉモードメール→P.208　• ｉモーション →P.200

※：ｉモードは、お申し込みが必要な有料サービスです。

P.179

テレビ電話・キャラ電

離れている相手と顔を見ながら会話することができます。外側カメラに切り替えて周囲の風景を相手に見せたり、自分の画像の代わりにキャラクタ（キャラ電）を表示させることもできます。

P.75

ｉチャネル

ニュースや天気などのグラフィカルな情報を受信できます。定期的に情報を受信し、最新の情報が待受画面にテロップとして流れたり、ｉチャネル対応ボタンを押すことでチャネル一覧を表示できます。
さらにチャネル一覧でお好きなチャネルを選択することにより、リッチな詳細情報を取得できます。またｉチャネルを申し込んだことがない場合、一定期間、サービス利用料無料でおためしサービスを利用できます。
※ お申し込みが必要な有料サービスです。

P.203

着もじ

電話をかけて相手を呼び出している間、着信中画面にメッセージ（着もじ）を表示させることができます。用件や緊急度などをあらかじめ相手に伝えることができるため、着信側は着もじを見て相手の用件や気持ちを事前に知ることができます。

P.49

おまかせロック

電話機を紛失した際に携帯電話にロックがかけられ、申出により解除ができます。お問い合わせ先については取扱説明書裏面を参照してください。
※ おまかせロックは、ご契約者の方からのお申し出により、ロックがかかるサービスです。ご契約者の方とFOMA端末をご利用されているお客様が異なる場合、ご契約者の方からのお申し出があればロックがかかることがありますのでご了承ください。

P.141

電話帳お預かりサービス

携帯電話の電話帳、静止画、メールを、お預かりセンターに保存し、紛失時などにお預かりセンターに保存したデータを携帯電話に復元できるサービスです。さらに、お預かりセンターに保存したデータをパソコンを利用して編集や管理ができ、編集したデータを携帯電話に反映することも可能です。
「電話帳お預かりサービス」のご利用にあたっての注意事項およびご利用方法の詳細等については、『ご利用ガイドブック（ｉモード<FOMA>編）』、お問い合わせ先については取扱説明書裏面をご覧ください。
※ お申し込みが必要な有料サービスです。

P.158

豊富なネットワークサービス

- 留守番電話サービス
- 番号通知お願いサービス
- キャッチホン
- デュアルネットワークサービス
- 転送でんわサービス
- 英語ガイダンス
- 迷惑電話ストップサービス
- マルチナンバー

※ 留守番電話サービス、キャッチホン、デュアルネットワークサービス、マルチナンバーは、お申し込みが必要な有料サービスです。
※ 転送でんわサービス、迷惑電話ストップサービスは、お申し込みが必要な無料サービスです。
※ 番号通知お願いサービス、英語ガイダンスは、お申し込みが不要な無料サービスです。

P.307

デコメール

メール本文の文字の色、大きさや背景色を変えたり、デコメールピクチャや内蔵カメラで撮影した写真を本文中に挿入できるなど、表現力豊かなメールを作成し、送信できます。また、テンプレートに対応しているので、送られてきたデコメールやサイトからダウンロードしたデコメールの様式を利用し、簡単にデコメールを作成できます。

P.214

カメラ機能

内側と外側の2つのカメラで静止画、連続撮影、動画を撮影できます。有効画素数約31万画素で640×480ドットの画像も撮影可能です。大切な場面をのがさず撮影できる「チャンスキャプチャ」機能や、撮影した静止画に音声を録音する「ピクチャボイス」機能を搭載しています。撮影、作成した動画は、ｉモーションに保存され、ｉモードメールに添付して送信することができます。

P.161

赤外線通信

赤外線を利用してほかのFOMA端末などとデータのやりとりを行うことができます。

P.277

マルチアクセス

音声通話、パケット通信、SMSを同時に利用できるマルチアクセスによって、ｉモード中に通話をしたり、通話中にメールの送受信を行ったりすることができます。

P.284

Flash®

音や絵によるアニメーション技術を用いたFlash画像に対応しており、多彩なアニメーションや表現力豊かなサイトを利用できます。

P.185

シークレットフォルダ

ほかの人に見られたくないマイピクチャ、ｉモーション（動画）、受信メール、送信メール、Bookmarkの各データを、シークレットフォルダに保管することができます。

P.145

あんしん設定

暗証番号やパスワードを利用してプライバシーを保護したり、紛失時に離れた場所からロックをかけて不正使用を防止するロック／セキュリティ機能などのあんしん設定をご利用いただけます。

P.137

着信音

FM＋WaveTable音源を採用した67和音ADPCM対応の着信音や声（効果音）などの着信音に対応しています。

P.112

プライバシーアングル

斜めの角度からディスプレイを見えにくくすることができます。周囲の視線を気にせずにご利用いただけます。

P.123

不在お知らせ

不在着信やメールを受け取ったときに、着信ランプの点滅でお知らせします。さまざまな点滅パターンで、FOMA端末を折り畳んだまま確認できます。

P.127

拡大もじ

画面に表示される文字を大きくすることができます。画面いっぱいに見やすく表示したい場合に便利にご利用いただけます。

- 電話帳→P.99
- 時計→P.129
- ｉモード→P.193
- メール→P.232
- マイプロフィール→P.294
- 文字入力→P.325

イルミネーション

着信中や通話中、不在着信や新着メールがあるときに着信ランプが点滅します。
ランプの色や点滅パターンを設定することができます。

P.127、128

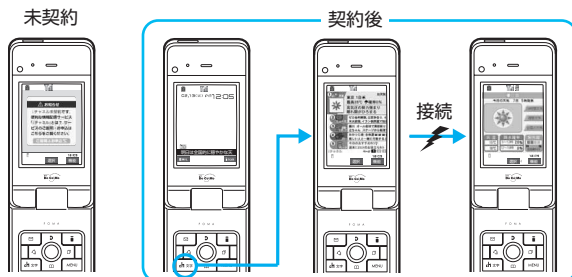
FOMA N601iを使いこなす!

最新情報が配信されると待受画面にテロップが表示される
iチャネル

● iチャネル→P.203

自分で操作することなく、いろいろな情報を定期的に受信することができます。
また、iチャネルに対応している ch ボタンを押すことでチャネル一覧を表示することができ、さらにリッチな詳細情報を取得することができます。

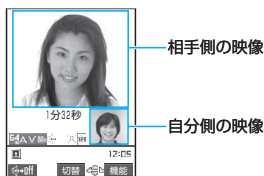
未契約

契約後

顔を見ながら話せる
「テレビ電話」

● テレビ電話のかけかた／受けかた→P.75

会話をしながらリアルタイムで映像を送信できるので、さまざまなシーンで活用できます。外側カメラに切り替えて景色を送ったり、遠隔監視機能を利用して、外出先から室内のペットの様子を確認することなどもできます。

相手側の映像

自分側の映像

電話やメールの着信をメッセージでお知らせする
「着もじ」

● 着もじ→P.49

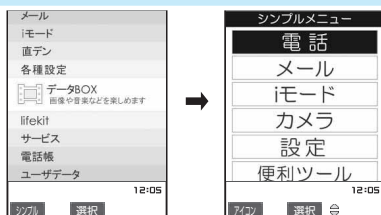
電話がかかってきたとき、メッセージ（着もじ）が表示されます。電話をかけるときにも、呼び出し中に相手側へ着もじを送り、あらかじめ用件などを伝えることができます。

着もじ

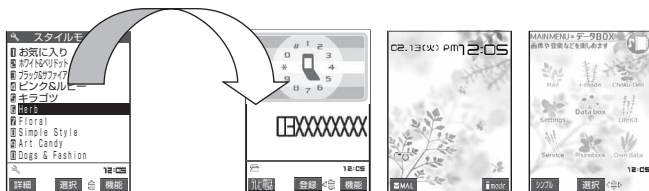
使いたい機能がすぐに見つかる
「シンプルメニュー」

● シンプルメニュー→P.32

よく使う機能を集めたメニューです。
わかりやすいデザインでかんたん操作で機能を呼び出せます。

➡

さまざまな設定を一括して設定できる「スタイルモード」

● **スタイルモード→P.134**

待受画面や着信音などの各設定を、あらかじめ登録されているデータから一括設定できます。
オリジナルのスタイルモード（お気に入り）を登録することもできます。

かんたん操作で電話やメールができる「直デン」

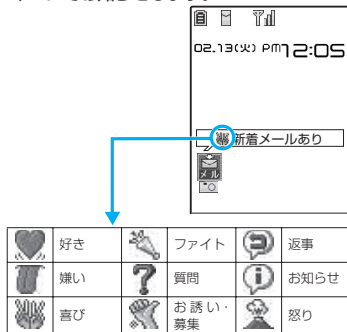
● **直デン→P.107**

かんたんな操作で呼び出せる電話帳です。
電話やメールのやりとりが多い相手を登録しておくと便利にご利用いただけます。

受信内容に合わせて感情アイコンが表示される 感情お知らせメール

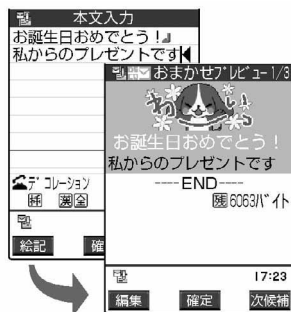
● **感情お知らせメール→P.223**

ｉモードメールやチャットメール、SMSを受信したときに感情お知らせメールのアイコンが表示されます。
また、受信したメールにあらかじめ指定したキーワードが含まれているときにもアイコンでお知らせします。

	好き		ファイト		返事
	嫌い		質問		お知らせ
	喜び		お誘い・募集		怒り

※上記の感情お知らせメールアイコンは一例です。

キーワードからデコメールを自動生成する おまかせデコメール

● **おまかせデコメール→P.216**

本文の内容にあわせて文字や背景、イラストなどの修飾が自動生成されるので、ｉモードメールを簡単にデコメールに変換できます。自動生成されるデコメールは３とおりあるので、好きなものを選べます。

安全上のご注意 必ずお守りください。

■ ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。また、お読みになった後は大切に保管してください。

■ ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。

■ 次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。

表示	内容
⚠危険	この表示は、取扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
⚠警告	この表示は、取扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。
⚠注意	この表示は、取扱いを誤った場合、「傷害を負う可能性が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される」内容です。

■ 次の絵表示の区分は、お守りいただく内容を説明しています。

絵表示	内容
禁止	禁止（してはいけないこと）を示します。
分解禁止	分解してはいけないことを示す記号です。
濡れ手禁止	濡れた手で扱ってはいけないことを示す記号です。
水濡れ禁止	水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。
指示	指示に基づく行為の強制（必ず実行していただくこと）を示します。
電源プラグを抜く	電源プラグをコンセントから抜いていただくことを示す記号です。

■「安全上のご注意」は、下記の項目に分けて説明しています。

1. FOMA端末、電池パック、アダプタ（充電器含む）、FOMAカードの取扱いについて（共通）····· 13
2. FOMA端末の取扱いについて ······ 14
3. 電池パックの取扱いについて ······ 15
4. アダプタ（充電器含む）の取扱いについて ······ 16
5. FOMAカードの取扱いについて ······ 17
6. 医用電気機器近くでの取扱いについて ······ 17

1. FOMA端末、電池パック、アダプタ（充電器含む）、FOMAカードの取扱いについて（共通）

⚠危険

指示

FOMA端末に使用する電池パックおよびアダプタ（充電器含む）は、ドコモグループ各社が指定したものを使用してください。

指定品以外のものを使用した場合は、FOMA端末および電池パックやその他の機器を漏液、発熱、破裂、発火、故障させる原因となります。

電池パック N15
FOMA ACアダプタ 01
FOMA DCアダプタ 01
データ通信アダプタ N01
FOMA海外兼用ACアダプタ 01
FOMA乾電池アダプタ 01

※その他互換性のある商品についてはドコモショップなど窓口までお問い合わせください。

水濡れ禁止

濡らさないでください。

水やペットの尿などの液体が入ると発熱、感電、火災、故障、けがなどの原因となります。使用場所、取扱いにご注意ください。

分解禁止

分解、改造をしないでください。また、ハンダ付けしないでください。

火災、けが、感電などの事故または故障の原因となります。
また、電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

禁止

火のそばや、ストーブのそば、直射日光の強いところや炎天下の車内などの高温の場所で使用、放置しないでください。

機器の変形、故障や、電池パックの漏液、発熱、破裂、発火、性能や寿命の低下の原因となります。また、ケースの一部が熱くなり、やけどの原因となることがあります。

⚠警告

禁止

電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器に、電池パック、FOMA端末やアダプタ（充電器含む）、FOMAカードを入れないでください。

電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させたり、FOMA端末、アダプタ（充電器含む）の発熱、発煙、発火や回路部品を破壊させる原因となります。

禁止

強い衝撃を与えたり、投げ付けたりしないでください。

電池パックの漏液、発熱、破裂、発火や機器の故障、火災の原因となります。

禁止

ガソリンスタンドなど、引火、爆発の恐れがある場所では、使用しないでください。

プロパンガス、ガソリンなど引火性ガスや粉塵が発生する場所で使用すると、爆発や火災の原因となります。

禁止

充電端子や外部接続端子に導電性異物（金属片、鉛筆の芯など）が触れないようにしてください。また、内部に入れないようにしてください。

ショートによる火災や故障の原因となります。

指示

使用中、充電中、保管時に、異臭、発熱、変色、変形など、いままでと異なるときは、直ちに次の作業を行ってください。

1. 電源プラグをコンセントやシガーライタソケットから抜く。
2. FOMA端末の電源を切る。
3. 電池パックをFOMA端末から取り外す。

そのまま使用すると発熱、破裂、発火または電池パックの漏液の原因となります。

⚠注意

指示

子供が使用する場合は、保護者が取扱いの内容を教えてください。また、使用中においても、指示どおりに使用しているかをご注意ください。

けがなどの原因となります。

禁止

湿気やほこりの多い場所や高温になる場所には、保管しないでください。

故障の原因となります。

指示

充電、または動画撮影や再生、テレビ電話、ｉモードの繰り返しや長時間連続使用などの場合においてFOMA端末や電池パック・アダプタ（充電器含む）の温度が高くなることがあります。

温度の高い部分に直接長時間触れるとお客様の体質や体調によっては肌に赤みやかゆみ、かぶれなどが生じるおそれがあります。
FOMA端末をアダプタ（充電器含む）に接続した状態で長時間連続使用される場合には特にご注意ください。

ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所には置かないでください。

落下して、けがや故障の原因となります。

乳幼児の手の届かない場所に保管してください。

誤って飲み込んだり、けがなどの原因となります。

2. FOMA端末の取扱いについて

⚠警告

自動車などを運転中に使用しないでください。

2004年11月1日から、運転中の携帯電話の使用は罰則の対象となっております。ハンズフリーキットをご利用の場合でも車を安全な場所に停車してからご利用ください。運転中は、公共モードまたは留守番電話サービスをご利用ください。

航空機内や病院など、使用を禁止された区域では、FOMA端末の電源を切ってください。

電子機器や医用電気機器に影響を与える場合があります。また、自動的に電源が入る機能が搭載されている場合は、設定を解除してから電源を切ってください。

医療機関内における使用については各医療機関の指示に従ってください。

また、航空機内での使用など禁止行為をした場合は法令により罰せられる場合があります。

心臓の弱い方は、着信バイブレータ（振動）や着信音量の設定に注意してください。

心臓に影響を与える可能性があります。

赤外線ポートを目に向けて送信しないでください。

目に影響を与える可能性があります。また、他の赤外線装置に向けて送信すると誤動作するなどの影響を与えることがあります。

高精度な制御や微弱な信号を取扱う電子機器の近くでは、FOMA端末の電源を切ってください。

電子機器が誤動作するなどの影響を与える場合があります。

※ご注意いただきたい電子機器の例

補聴器、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器、火災報知器、自動ドア、その他の自動制御機器など。

植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器をご使用される方は、当該の各医用電気機器メーカもしくは販売業者に電波による影響についてご確認ください。

医用電気機器などを装着している場合は、胸ポケットや内ポケットへの装着はおやめください。

FOMA端末を医用電気機器などの近くで使用すると、医用電気機器などの故障の原因となる恐れがあります。

ハンズフリーに設定して通話する際は、必ずFOMA端末を耳から離してください。

難聴になる可能性があります。

屋外で使用中に、雷が鳴りだしたら、すぐに電源を切って安全な場所に移動してください。

落雷、感電の原因となります。

エアバッグの近くのダッシュボードなど、エアバッグの展開による影響が予想される場所にFOMA端末を置かないでください。

エアバッグが展開した場合、FOMA端末が本人や他の人などに当たり、けがなどの事故や故障および破損の原因となります。

⚠注意

自動車内で使用した場合、車種によっては、まれに車載電子機器に影響を与えることがあります。

安全走行を損なう恐れがありますので、その場合は使用しないでください。

ストラップなどを持ってFOMA端末を振り回さないでください。

本人や他の人などに当たり、けがなどの事故や故障および破損の原因となります。

FOMA端末内のFOMAカード挿入口に水などの液体や金属片、燃えやすいものなどの異物を入れないでください。

火災、感電、故障の原因となります。

禁止

磁気カードなどをFOMA端末に近づけたり、挟んだりしないでください。

キャッシュカード、クレジットカード、テレホンカード、フロッピーディスクなどの磁気データが消えてしまうことがあります。

指示

万が一、ディスプレイ部やカメラのレンズを破損した場合は、割れたガラスなどにご注意ください。

ディスプレイ部やカメラのレンズの表面には、プラスチックパネルを使用しガラスが飛散りにくい構造となっておりますが、誤って割れた切断面などに触れますと、けがの原因となります。

禁止

内蔵カメラのレンズに太陽光などの強い光が進入する状態で長時間放置しないでください。

レンズの集光作用により、火災、故障の原因となります。

指示

お客様の体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じることがあります。異状が生じた場合は、直ちに使用をやめ、医師の診療を受けてください。

指示

FOMA端末を開閉する際は、指やストラップなどを挟まないようご注意ください。

けがなどの事故や破損の原因となることがあります。

禁止

誤ってディスプレイを破損し、液晶が漏れた場合には、液体を口にしたり、吸い込んだり、皮膚につけたりしないでください。

液晶が目や口に入った場合は、すぐにきれいな水で洗い流し、直ちに医師の診断を受けてください。

また、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにアルコールなどで拭き取り、石鹸で水洗いしてください。

失明や皮膚に傷害をおこす原因となります。

3. 電池パックの取扱いについて

■ **電池パックのラベルに記載されている表示により、電池の種類をご確認ください。**

表示	電池の種類
Li-ion	リチウムイオン電池

⚠危険

禁止

火の中に投下しないでください。

電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

禁止

端子に針金などの金属類を接触させないでください。また、金属製ネックレスなどと一緒に持ち運んだり、保管しないでください。

電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

禁止

電池パックをFOMA端末に取り付けるときに、うまく取り付けできない場合は、無理に取り付けないでください。また、電池パックの向きを確かめてから取り付けてください。

電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

指示

電池パック内部の液が目の中に入ったときは、こすらず、すぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の診療を受けてください。

失明の原因となります。

禁止

釘を刺したり、ハンマーで叩いたり、踏みつけたりしないでください。

電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

⚠警告

指示

所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電をやめてください。

電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

指示

電池パック内部の液が皮膚や衣服に付着した場合は、直ちに使用をやめてきれいな水で洗い流してください。

皮膚に傷害をおこす原因となります。

電池パックが漏液したり、異臭がするときは、直ちに使用をやめて火気から遠ざけてください。

漏液した液体に引火し、発火、破裂の原因となります。

⚠注意

一般のゴミと一緒に捨てないでください。

発火、環境破壊の原因となることがあります。不要となった電池パックは、端子にテープなどを貼り、絶縁してからドコモショップなど窓口にお持ちいただくか、回収を行っている市町村の指示に従ってください。

4. アダプタ（充電器含む）の取扱いについて

⚠警告

指定の電源、電圧で使用してください。

誤った電圧で使用すると火災や故障の原因となります。海外で使用する場合は、FOMA海外兼用ACアダプタ 01を使用してください。

ACアダプタ：AC100V

FOMA海外兼用ACアダプタ：
AC100～240V（家庭用交流コンセントのみに接続すること）

DCアダプタ：
DC12V･24V（マイナスアース車専用）

DCアダプタはマイナスアース車専用です。プラスアース車には使用しないでください。

火災の原因となります。

DCアダプタのヒューズが万が一切れた場合は、必ず指定のヒューズを使用してください。

誤ったヒューズを使用すると、火災、故障の原因となります。

指定ヒューズに関しては、個別の取扱説明書でご確認ください。

アダプタ（充電器含む）のコードや電源コードが傷んだら使用しないでください。

感電、発熱、火災の原因となります。

濡れた手でアダプタ（充電器含む）のコード、コンセントに触れないでください。

感電の原因となります。

コンセントやシガーライタソケットにつながれた状態で充電端子をショートさせないでください。また、充電端子に手や指など、身体の一部を触れさせないでください。

火災、故障、感電、傷害の原因となります。

ACアダプタは、風呂場などの湿気の多い場所では、使用しないでください。

感電の原因となります。

プラグに付いたほこりは、拭き取ってください。

火災の原因となります。

雷が鳴り出したら、FOMA端末、アダプタ（充電器含む）には触れないでください。

落雷、感電の原因となります。

長時間使用しない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

感電、火災、故障の原因となります。

万が一、水などの液体が入った場合は、直ちにコンセントやシガーライタソケットからプラグを抜いてください。

感電、発煙、火災の原因となります。

電源プラグがコンセントから抜けない場合、無理に抜かないでください。

破損し、感電や故障の原因となります。

コンセントや配線器具の定格を超えた使用はしないでください。

タコ足配線などで定格を超えると、発熱、火災の原因となります。

充電中は、充電器を安定した場所に置いてください。また、充電器を布や布団でおおったり、包んだりしないでください。

FOMA端末が外れたり、熱がこもり、火災、故障の原因となります。

指示

ACアダプタをコンセントに差し込む時は、金属製ストラップなどの金属類を触れさせないように注意し、確実に差し込んでください。

感電、ショート、火災の原因となります。

注意

お手入れの際は、コンセントやシガーライタソケットから抜いて、行ってください。

感電の原因となります。

アダプタ（充電器含む）のコードや電源コードの上に重いものをのせたりしないでください。

感電、火災の原因となります。

指示

アダプタ（充電器含む）をコンセントやシガーライタソケットから抜く場合は、アダプタ（充電器含む）のコードや電源コードを引っ張らず、プラグを持って抜いてください。

コードを引っ張るとコードが傷つき、感電、火災の原因となります。

5. FOMAカードの取扱いについて

注意

FOMAカード（IC部分）を取り外す際にご注意ください。

手や指を傷つける可能性があります。

FOMAカードを火の中に投下しないでください。

溶損、発熱、発煙、データの消失、故障の原因となります。

6. 医用電気機器近くでの取扱いについて

■ **本記載の内容は「医用電気機器への電波の影響を防止するための携帯電話端末等の使用に関する指針」（電波環境協議会）に準ずる。**

警告

植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着されている場合は、装着部からFOMA端末は22cm以上離して携行および使用してください。

電波により植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器の作動に影響を与える場合があります。

満員電車の中など混雑した場所では、付近に植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着している方がいる可能性がありますので、FOMA端末の電源を切るようにしてください。

電波により植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器の作動に影響を与える場合があります。

医療機関の屋内では次のことを守って使用してください。

- 手術室、集中治療室（ICU）、冠状動脈疾患監視病室（CCU）にはFOMA端末を持ち込まないでください。
- 病棟内では、FOMA端末の電源を切ってください。
- ロビーなどであっても付近に医用電気機器がある場合は、FOMA端末の電源を切ってください。
- 医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止などの場所を定めている場合は、その医療機関の指示に従ってください。
- 自動的に電源が入る機能が搭載されている場合は、設定を解除してから、電源を切ってください。

自宅療養など医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合には、電波による影響について個別に医用電気機器メーカなどにご確認ください。

電波により医用電気機器の動作に影響を与える場合があります。

取扱い上の注意について

共通のお願い

●**水をかけないでください。**
FOMA端末、電池パック、アダプタ（充電器含む）、FOMAカードは防水仕様にはなっておりません。風呂場など、湿気の多い場所でのご使用や、雨などがかかることはおやめください。また、身に付けている場合、汗による湿気により内部が腐食し故障の原因となります。調査の結果、これらの水濡れによる故障と判明した場合、保証対象外となり修理できないことがありますので、あらかじめご了承願います。なお、保証対象外ですので修理を実施できる場合でも有償修理となります。

●**お手入れは乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。**
・FOMA端末のディスプレイは、カラー液晶画面を見やすくするため、特殊コーティングを施してある場合があります。お手入れの際に、乾いた布などで強く擦ると、ディスプレイに傷がつく場合があります。お取扱いには十分ご注意いただき、お手入れは乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。また、ディスプレイに水滴や汚れなどが付着したまま放置すると、シミになったり、コーティングがはがれることがあります。
・アルコール、シンナー、ベンジン、洗剤などでふくと、印刷が消えたり、色があせたりすることがあります。

●**端子は時々乾いた綿棒で清掃してください。**
端子が汚れていると接触が悪くなり、電源が切れることがあります。また、充電不十分の原因となりますので、汚れたときは、端子を乾いた布、綿棒などでふいてください。

●**エアコンの吹き出し口の近くに置かないでください。**
急激な温度の変化により結露し、内部が腐食し故障の原因となります。

●**FOMA端末に無理な力がかかるような場所に置かないでください。**
多くの物がつまった荷物の中に入れたり、衣服のポケットに入れて座ると、ディスプレイ、内部基板などの破損、故障の原因となり、保証の対象外となります。

●**電池パックやアダプタ（充電器含む）に添付されている個別の取扱説明書をよくお読みください。**

FOMA端末についてのお願い

●**極端な高温、低温は避けてください。**
温度は5℃～35℃、湿度は45%～85%の範囲でお使いください。

●**使用中や充電中にFOMA端末が温かくなることがありますが、異常ではありませんのでそのままご使用ください。**

●**一般の電話機やテレビ・ラジオなどをお使いになっている近くで使用すると、影響を与える場合がありますので、なるべく離れた場所でご使用ください。**

●**お客様ご自身でFOMA端末に登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。**
万が一登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

●**ズボンやスカートの後ろポケットにFOMA端末を入れたまま、椅子などに座らないでください。また、かばんの底など無理な力がかかるような場所には入れないでください。**
故障の原因となります。

●**ストラップなどを挟んだまま、FOMA端末を折り畳まないでください。**
故障、破損の原因となります。

●**通常はイヤホンマイク端子キャップ、外部接続端子キャップのカバーをはめた状態でご使用ください。**
ほこり、水などが入り故障の原因となることがあります。

●**カメラを直射日光に向けて放置しないでください。**
素子の退色・焼付きを起こす場合があります。

●**ディスプレイやキーのある面にシールなどを貼らないでください。**
FOMA端末を閉じたときにキーが押されるなどして誤動作したり、FOMA端末が損傷する恐れがあります。

●**ストラップに手を通してお持ちください。**
落下し、故障の原因となることがあります。

●**ディスプレイは金属などで擦ったり引っかいたりしないでください。**
傷つくことがあります。

電池パックについてのお願い

●**電池パックは消耗品です。**
十分に充電しても使用状態などによっても異なりますが、使用時間が極端に短くなったときは電池パックの交換時期です。指定の新しい電池パックをお買い求めください。

●**充電は、適正な周囲温度（5℃～35℃）の場所で行ってください。**

●**はじめてお使いのときや、長時間ご使用にならなかったときは、ご使用前に必ず充電してください。**

●**電池パックの使用時間は、使用環境や電池パックの劣化度により異なります。**

●**電池パックの使用条件により、寿命が近づくにつれて電池パックが膨れる場合がありますが問題ありません。**

●**電池パックの金属部分（端子）が汚れると、端末との接触が悪くなり電源が切れたりすることがあります。汚れたら乾いた布や綿棒などで拭いてからご使用ください。**

●**電池パックは、電池残量なしの状態で保管・放置をしないでください。**
電池パックの性能や寿命を低下させる原因となることがあります。
長時間放置される場合はFOMA端末から外し、乾燥した冷暗所に保存してください。また、半年に1回程度、電池パックの補充電を行ってください。

●**直射日光が当たらず、風通しの良い涼しい場所に保管してください。**
長時間使用しないときは、使い切った状態でFOMA端末から外し、電池パックを包装しているビニール袋などに入れて保管してください。

アダプタ（充電器含む）についてのお願い

●**充電は、適正な周囲温度（5℃～35℃）の場所で行ってください。**

●**次のような場所では、充電しないでください。**
・湿気、ほこり、振動の多い場所
・一般の電話機やテレビ、ラジオなどの近く

●**充電中、アダプタ（充電器含む）が温かくなることがありますが、異常ではありませんのでそのままご使用ください。**

●**DCアダプタを使用して充電する場合は、車のエンジンを切ったまま使用しないでください。**
車のバッテリーを消耗させる原因となります。

●**抜け防止機構のあるコンセントを使用の場合、そのコンセントの取扱説明書に従ってください。**

●**強い衝撃を与えないでください。また、充電端子、端子ガイドを変形させないでください。**
故障の原因となります。

FOMAカードについてのお願い

●**ご使用になる端末への挿入には必要以上の負荷をかけないようにしてください。**

●**使用中、充電中、FOMAカードが温かくなることがありますが、異常ではありませんのでそのままご使用ください。**

●**他のICカードリーダライタなどにFOMAカードを挿入して使用した結果として故障した場合は、お客様の責任となりますので、ご注意ください。**

●**IC部分はいつもきれいな状態でご使用ください。**

●**お手入れは、乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。**

●**お客様ご自身でFOMAカードに登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。**
万が一登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

●**環境保全のため、不要になったFOMAカードはドコモショップなど窓口にお持ちください。**

●**極端な高温・低温は避けてください。**
温度は5℃～35℃、湿度は45%～85%の範囲でお使いください。

●**ICを傷つけたり、不用意に触れたり、ショートさせたりしないでください。**
データの消失、故障の原因となります。

●**FOMAカードを落としたり、衝撃を与えたりしないでください。**
故障の原因となります。

●**FOMAカードを曲げたり、重いものをのせたりしないでください。**
故障の原因となります。

●**FOMAカードの取り外しには、必要以上に力を入れないようにしてください。**

車内ホルダについてのお願い

車内ホルダを利用する場合は、アームレストなどに確実に取り付けてください。また、車内ホルダにFOMA端末をしっかりと固定してください。

カメラについて

お客様が本機を利用して公衆に著しく迷惑をかける不良行為等を行う場合、法律、条例（迷惑防止条例等）に従い処罰されることがあります。

カメラ付き携帯電話を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシー等にご配慮ください。

知的財産権について

著作権・肖像権について

お客様が本製品を利用して撮影またはインターネット上のホームページからのダウンロード等により取得した文章、画像、音楽、ソフトウェアなど第三者が著作権を有するコンテンツは、私的使用目的の複製や引用など著作権法上認められた場合を除き、著作権者に無断で複製、改変、公衆送信等することはできません。
実演や興行、展示物などには、私的使用目的であっても撮影または録音を制限している場合がありますのでご注意ください。
また、お客様が本製品を利用して本人の同意なしに他人の肖像を撮影したり、撮影した他人の肖像を本人の同意なしにインターネット上のホームページに掲載するなどして不特定多数に公開することは、肖像権を侵害するおそれがありますのでお控えください。

商標について

本書に記載している会社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。

- 「FOMA」「mova」「ｉモード」「ｉチャネル」「WORLD CALL」「WORLD WING」「公共モード」「ｉメロディ」「ｉエリア」「ｉモーション」「mopera」「mopera U」「ｉモーションメール」「着モーション」「デコメール」「キャラ電」「ｉショット」「sigmarion」「musea」「DoPa」「パケ・ホーダイ」「ショートメール」「デュアルネットワーク」「FirstPass」「Vライブ」「ビジュアルネット」「セキュリティスキャン」「メッセージF」「My DoCoMo」「マルチナンバー」「着もじ」「おまかせロック」「電話帳お預かりサービス」「ドコモテレビ電話ソフト」「直デン」「ファミリーワイドリミット」「ドコモケータイdatalink」および「FOMA」ロゴ、「i-mode」ロゴはNTTドコモの商標または登録商標です。
- LCフォント/LC FONT®、エルシーフォント®、LCロゴマークはシャープ株式会社の登録商標です。
- T9®およびT9ロゴマークはTegic Communications, Inc.の米国およびその他の国における登録商標です。
- T9テキストインプットは全世界において特許を取得または申請しております。
- Dialog Clarity、WOW、SRSと(●)記号はSRS Labs, Inc.の商標です。
- Dialog Clarity、WOW技術はSRS Labs, Inc.からのライセンスに基づき製品化されています。
- キャッチホンは日本電信電話株式会社の登録商標です。
- Handset 3Dロゴマークは、英国Sonaptic Ltd.の登録商標または商標です。
- 本製品は、Adobe Systems IncorporatedのFlash® Lite™テクノロジーを搭載しています。Flash、Flash LiteおよびMacromediaはAdobe Systems Incorporated(アドビシステムズ社)の米国ならびにその他の国における商標または登録商標です。
- MicrosoftおよびWindowsは、米国Microsoft Corporationの、米国およびその他の国における登録商標です。
- NetFront、IrFrontは株式会社ACCESSの日本またはその他の国における商標または登録商標です。
  Copyright© 1996-2006 ACCESS CO., LTD.
- 本製品はインターネット機能として、株式会社ACCESSのNetFrontを搭載しています。NetFrontは日本国およびその他の国における株式会社ACCESSの商標または登録商標です。
  Copyright© 1996-2006 ACCESS CO., LTD.
- McAfee®、マカフィー®は米国法人McAfee,Inc.またはその関係会社の登録商標です。
- Apple、AppleロゴおよびQuickTimeは、米国およびその他の国々で登録されたApple Computer Inc.の商標です。
- QuickTime ロゴは、Apple Computer Inc.の商標です。
- フリーダイヤルサービス名称およびフリーダイヤルロゴマークはNTTコミュニケーションズ株式会社の商標です。
- その他本文中に記載されている会社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。

その他

- 本製品は、MPEG-4 Visual Patent Portfolio Licenseに基づきライセンスされており、お客様が個人的かつ非営利目的において以下に記載する場合においてのみ使用することが認められています。
  - MPEG-4 Visualの規格に準拠する動画（以下、MPEG-4 Video）を記録する場合
  - 個人的かつ非営利的活動に従事する消費者によって記録されたMPEG-4 Videoを再生する場合
  - MPEG-LAよりライセンスをうけた提供者により提供されたMPEG-4 Videoを再生する場合

  プロモーション、社内用、営利目的などその他の用途に使用する場合には、米国法人MPEG LA, LLCにお問い合わせください。
- 本製品はAdobe Systems Inc.のAdobe Readerを搭載しています。
  Copyright 2006 Adobe Systems Incorporated. All rights reserved. Patents pending.
  Adobe, the Adobe logo and Reader are either registered trademarks or trademarks of Adobe Systems Incorporated.
  AdobeおよびAdobe ReaderはAdobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- 下記一件または複数の米国特許またはそれに対応する他国の特許権に基づき、QUALCOMM社よりライセンスされています。
  Licensed by QUALCOMM Incorporated under one or more of the following United States Patents and/or their counterparts in other nations:
  4,901,307 5,490,165 5,056,109 5,504,773
  5,101,501 5,506,865 5,109,390 5,511,073
  5,228,054 5,535,239 5,267,261 5,544,196
  5,267,262 5,568,483 5,337,338 5,600,754
  5,414,796 5,657,420 5,416,797 5,659,569
  5,710,784 5,778,338
- 本製品の一部分にIndependent JPEG Groupが開発したモジュールが含まれています。
- 本製品は、OBEX機能および赤外線通信機能としてIrFront®を搭載しています。
  IrFront®は、株式会社ACCESSの製品です。
- 本製品にはGNU General Public License（GPL）、GNU Lesser General Public License（LGPL）その他に基づきライセンスされるソフトウェアが含まれています。当該ソフトウェアに関する詳細は、本製品付属CD-ROM内の「GPL・LGPL等について」フォルダ内の「readme.txt」をご参照ください。
- 本製品は抗菌加工を施しております。
  SIAAマークはJIS Z 2801に適合し、抗菌製品技術協議会ガイドラインで品質管理・情報公開された製品に表示されています。
  抗菌対象箇所：ボディー、キー、スクリーン（樹脂素材）

Windowsの表記について

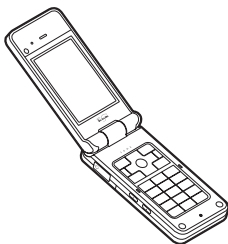
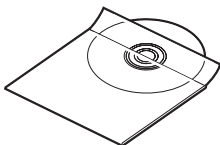
- Windows® 2000 Professionalは、Microsoft® Windows® 2000 Professional operating systemの略です。
- Windows® XPは、Microsoft® Windows® XP Professional operating system、またはMicrosoft® Windows® XP Home Edition operating systemの略です。
- 本書では、Windows® 2000 ProfessionalをWindows 2000と記載しています。
- 本書では、Windows® XP ProfessionalおよびWindows® XP Home EditionをWindows XPと記載しています。

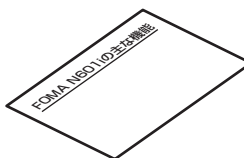
本体付属品および主なオプション品について

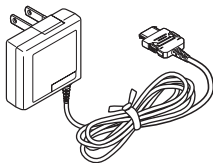
＜本体付属品＞

FOMA N601i
（保証書、リアカバー N16含む）

FOMA N601i取扱説明書
（本書）

※P.396にクイックマニュアルを記載しております。

FOMA N601i用CD-ROM

※PDF版「データ通信マニュアル」、PDF版「区点コード一覧」を収録しております。

ご案内

＜主なオプション品＞

FOMA ACアダプタ 01
（保証書、取扱説明書付き）

電池パック N15
（取扱説明書付き）

その他オプション品について→P.353

ご使用前の確認

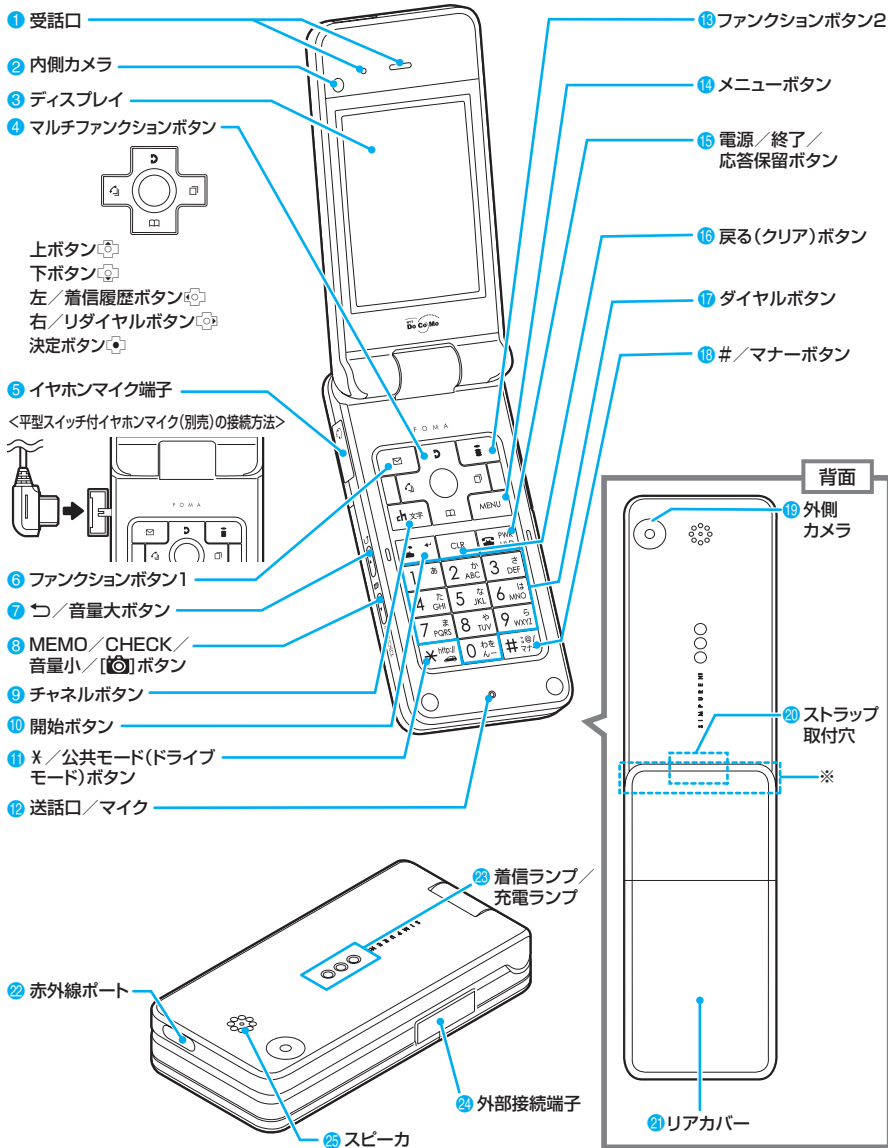
各部の名称と機能 24
ディスプレイの見かた 27
メインメニューについて 29
メニューの選択方法 30
FOMAカードを使う 35
電池パックの取り付けかた／取り外しかた 38
携帯電話を充電する 40
電池残量の確認のしかた 41
電源を入れる／切る 42
初期設定を行う .... 初期設定 43
日付・時刻を合わせる .... 時計設定 43
相手に自分の電話番号を通知する .... 発信者番号通知 44
自分の電話番号を確認する .... マイプロフィール 44

各部の名称と機能

本機のボタンの名称と機能は、以下のとおりです。

❶ 受話口
❷ 内側カメラ
❸ ディスプレイ
❹ マルチファンクションボタン
上ボタン
下ボタン
左／着信履歴ボタン
右／リダイヤルボタン
決定ボタン
❺ イヤホンマイク端子
<平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）の接続方法>
❻ ファンクションボタン1
❼ ⮌／音量大ボタン
❽ MEMO／CHECK／音量小／[📷]ボタン
❾ チャネルボタン
❿ 開始ボタン
⓫ ＊／公共モード（ドライブモード）ボタン
⓬ 送話口／マイク
⓭ ファンクションボタン2
⓮ メニューボタン
⓯ 電源／終了／応答保留ボタン
⓰ 戻る（クリア）ボタン
⓱ ダイヤルボタン
⓲ ＃／マナーボタン

背面

⓳ 外側カメラ
⓴ ストラップ取付穴
※
㉑ リアカバー
㉒ 赤外線ポート
㉓ 着信ランプ／充電ランプ
㉔ 外部接続端子
㉕ スピーカ

※ アンテナは本体に内蔵されています。よりよい条件で通話をするために、アンテナ部を手で覆わないようにしてお使いください。

■ 機能について

❶ 受話口
- 相手の声がここから聞こえます。

❷ 内側カメラ
- 静止画や動画を撮影したり、テレビ電話中に相手側に自分の映像を送信するときに使用します。

❸ ディスプレイ

❹ マルチファンクションボタン

上ボタン
- カーソルまたは反転表示を上方向へ移動させます。
- 表示内容を上方向へスクロールさせます。押し続けると連続スクロールになります。
- 直デン詳細画面を表示します。
- 入力した文字を漢字、カタカナ、数字に変換します。

下ボタン
- カーソルまたは反転表示を下方向へ移動させます。
- 表示内容を下方向へスクロールさせます。押し続けると連続スクロールになります。
- 電話帳検索画面を表示します。
- 入力した文字の予測候補が表示されているとき、操作ガイダンスエリアにカーソルを移動させます。

左／着信履歴ボタン
- カーソルを左方向へ移動させます。
- 表示内容を画面単位で前の画面へスクロールさせます。
- 着信履歴を表示します。→P.62

右／リダイヤルボタン
- カーソルを右方向へ移動させます。
- 表示内容を画面単位で次の画面へスクロールさせます。
- リダイヤルを表示します。→P.51

決定ボタン
- 画面中央下のソフトキーに表示された内容を実行します。→P.26

❺ イヤホンマイク端子
- 平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）などを差し込むと、ハンズフリーでご利用になれます。イヤホンジャック変換アダプタ P001（別売）を使用すれば、従来のスイッチ付イヤホンマイクなどもご利用になれます。

❻ ファンクションボタン１
- 画面左下のソフトキーに表示された内容を実行します。→P.26

❼ ／音量大ボタン
- 「ホームURL」(P.194) で設定したサイトへ i モードで簡単に接続できます。
- 通話中に受話音量を上げます。→P.65
- 文字を入力中に同じボタンに割り当てられた１つ前の読みに戻します。→P.324
- 表示内容を画面単位で前の画面へスクロールさせます。

（本書では、を合わせて外部ボタンと呼びます。）

❽ MEMO/CHECK／音量小／[]ボタン
- 着信中に押すと「伝言メモ」に移ります。→P.73
- 伝言メモを再生します。→P.73
- 通話中に受話音量を下げます。→P.65
- FOMA端末を折り畳んだまま、不在着信・新着メールなどがあるか確認します。→P.70
- FOMA端末を折り畳んだまま押すと、現在の時刻を読み上げます。→P.70
- 表示内容を画面単位で次の画面へスクロールさせます。

❾ チャネルボタン
- 待受画面でチャネル一覧を表示します。→P.204
- 文字を入力する画面で入力モードを切り替えます。→P.325

❿ 開始ボタン
- 音声電話をかけます。→P.46
- 音声電話に出ます。→P.60
- テレビ電話に出ます。→P.81
- 入力した文字を小文字／大文字に切り替えます。→P.329

⓫ ／公共モード（ドライブモード）ボタン
- 「」や「http://」などの文字列を入力します。→P.346

⓬ 送話口／マイク
- 自分の声をここから伝えます。通話中に送話口をふさがないでください。相手にお客様の声が聞こえにくくなります。
- カメラで動画を撮影するときや、「ピクチャボイス」で音声を録音するときにマイクになります。

⓭ ファンクションボタン２
- 画面右下のソフトキーに表示された内容を実行します。→P.26

⓮ メニューボタン
- メインメニューまたはシンプルメニューを表示します。→P.30

⓯ 電源／終了／応答保留ボタン
- １秒以上押して電源を入れます。→P.42
- ２秒以上押して電源を切ります。→P.42
- 通話を終了します。→P.46
- 応答を保留します。→P.66

⓰ 戻る（クリア）ボタン
- 操作を１つ前の状態に戻します。
- 通話を保留します。→P.47
- 入力した電話番号や文字を削除します。→P.47、331

⓱ 0～9 ダイヤルボタン
- 電話番号を入力します。→P.46
- 文字や数字を入力します。→P.328

⓲ ＃／マナーボタン
- 「#」や記号を入力します。→P.346
- 着信中に押すと「マナーモード」になり、「伝言メモ」に移ります。→P.73

⓳ 外側カメラ
- 静止画や動画を撮影したり、テレビ電話中に相手に風景などの映像を送信するときに使用します。

⓴ ストラップ取付穴

㉑ リアカバー

㉒ 赤外線ポート
- 赤外線を送受信する窓です。→P.277

㉓ 着信ランプ／充電ランプ
- 音声電話やテレビ電話がかかってきたとき、メールやメッセージR/Fを受信したときに点滅します。充電中は赤色に点灯します。

㉔ 外部接続端子
- 各種オプション類を接続するときに使用する端子です。

㉕ スピーカ
- 着信音や、ハンズフリー中の相手の声などがここから聞こえます。

ボタンの長押し操作について

ボタンを１秒以上押すことによって使える機能は以下のとおりです。

ボタン	機能	参照ページ	ボタン	機能	参照ページ
[左]	受信アドレス一覧の表示	P.241	[上下]	受話音量の調節（待受画面表示中、通話中）	P.65
[右]	送信アドレス一覧の表示	P.241	[下] [MEMO/CHECK]	音声メモの録音（通話中）	P.295
5	バックライトの点灯／消灯の切替	P.123		静止画を撮影する画面の表示（待受画面表示中）	P.168
8	プライバシーアングルの切替	P.123	[上] [↩]	マイクをミュート（消音）（テレビ電話中）	P.76
0	「＋」の入力（待受画面、電話番号を入力する画面）	P.56	[✉]	ｉモード問い合わせ（待受画面表示中）	P.197 224
＃	マナーモードの設定（待受画面表示中、通話中）	P.117	[●]	親画面の表示切替（テレビ電話中）	P.76 78
＊	外部ボタンの設定（メインメニュー表示中）	P.153			
	公共モード（ドライブモード）の設定（待受画面表示中）	P.67			
	ポーズ（p）を入力（ポーズダイヤル編集中）	P.54			

ソフトキーの使いかた

画面にはファンクションボタン（[✉]、[●]、[i]）に対応する操作アイコン（ソフトキー）とマルチファンクションボタン（[◎]）に対応する方向アイコンが表示されます。

■①のソフトキーを実行する場合

[✉]を押すと、①に表示されたソフトキーを実行します。

①には［編集］、［登録］、［完了］、［デモ］、［[スピーカー→ON]］などが表示されます。

■②のソフトキーを実行する場合

[●]を押すと、②に表示されたソフトキーを実行します。

②には［選択］、［確定］、［再生］、［切替］などが表示されます。

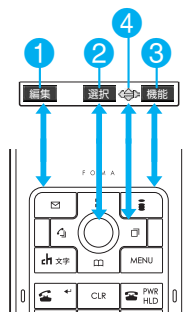
■③のソフトキーを実行する場合

[i]を押すと、③に表示されたソフトキーを実行します。

③には［機能］、［閉］などが表示されます。［機能］が表示されているときに[i]を押すと、機能メニューが表示されます。→P.33

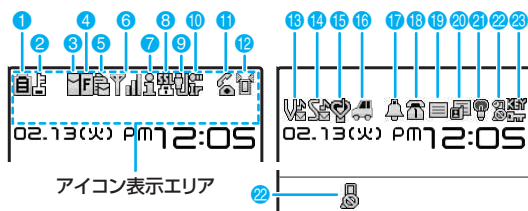
■④のアイコンの方向に移動、スクロールする場合

[◎]を押すと、④に表示されたアイコンの方向に移動またはスクロールします。

アイコンは移動またはスクロールできる方向のみ表示されます。

ディスプレイの見かた

ディスプレイに表示されるマーク（ 、 、 など）をアイコンといいます。

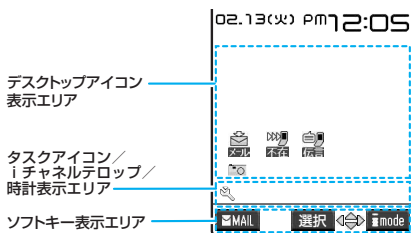
● ディスプレイにはカレンダーなどを設定することができます。→P.121

■ ディスプレイ

アイコン表示エリア

● 表内に掲載しているアイコンは、ディスプレイのイメージです。

	アイコン	アイコンの内容
1		電池残量表示→P.41
2		ダイヤルロック設定中→P.141
		シークレットモード設定中、シークレット専用モード設定中→P.143
		オリジナルロック設定中→P.147
		「発信・メール送信」、「着信・メール受信表示」オリジナルロック設定中にロック一時解除中→P.147
		オリジナルロックとシークレットモードまたはシークレット専用モードを同時に設定中→P.143、147
		「発信・メール送信」、「着信・メール受信表示」オリジナルロック設定中にロック一時解除中で、シークレットモードまたはシークレット専用モードを同時に設定中→P.143、147
3	（白色）	未読メールあり→P.221
	（赤色）	受信BOX満杯→P.221
		FOMAカードのSMS満杯→P.252
	（白色）	未読メールあり／FOMAカードのSMS満杯→P.252
	（赤色）	受信BOX満杯／FOMAカードのSMS満杯→P.221、252
4	（白色）	未読メッセージRあり→P.195
	（赤色）	メッセージR満杯→P.195
	（白色）	未読メッセージFあり→P.195
	（赤色）	メッセージF満杯→P.195
	（R、F：白色）	未読メッセージRあり／未読メッセージFあり→P.195
	（R、F：赤色）	メッセージR満杯／メッセージF満杯→P.195
	（R：赤色、F：白色）	メッセージR満杯／未読メッセージFあり→P.195
	（R：白色、F：赤色）	未読メッセージRあり／メッセージF満杯→P.195
5	（白色）	ｉモードセンターにメールあり→P.224
	（赤色）	ｉモードセンターのメール満杯→P.224
		「メール選択受信設定」が「ON」に設定されているときにｉモードセンターにメールあり→P.223
	（白色）	ｉモードセンターにメッセージRあり→P.197
	（赤色）	ｉモードセンターのメッセージR満杯→P.197
	（白色）	ｉモードセンターにメッセージFあり→P.197
	（赤色）	ｉモードセンターのメッセージF満杯→P.197
6		電波の受信レベル→P.42
		サービスエリア外や電波が届かないところにいるときに表示→P.42
	self	セルフモード設定中→P.158
7		ｉモード中→P.180
		ｉモード通信中→P.180
		パケット通信中→P.320
		パケット通信中（発信）→P.320
		パケット通信中（着信）→P.320
		パケット通信中（データ送信中）→P.320
		パケット通信中（データ受信中）→P.320
8		SSL対応ページを表示中→P.183
9		USBケーブル接続時、ハンズフリー対応機器未接続時
		USBケーブル接続時、ハンズフリー対応機器接続時→P.59
		USBケーブル未接続時、ハンズフリー対応機器接続時→P.59
10		赤外線通信中→P.277
11		音声通話中→P.46
		64Kデータ通信中→P.320
	／	テレビ電話中の通信速度を表示→P.77
		音声電話・テレビ電話切替中→P.48、81
12		プライバシーアングル設定中→P.123

アイコン		アイコンの内容
⑬		バイブレータ設定中→P.114
⑭		着信音量を「消去」に設定中→P.65 メール／メッセージ鳴動を「OFF」に設定中→P.116
⑮		マナーモード設定中→P.117
		遠隔監視設定中→P.88
⑯		公共モード（ドライブモード）設定中→P.67
⑰	／	アラーム通知機能を設定中→P.285
⑱	～	留守番電話の伝言メッセージあり→P.309

アイコン		アイコンの内容
⑲	～	伝言メモ設定中→P.71
⑳	～	伝言メモ（テレビ電話伝言メモ）設定中→P.71
㉑		バックライトを「OFF」に設定中→P.123
㉒		キー操作ロック設定中／待機中→P.152
		キー操作ロック設定中→P.152 （ソフトキー表示エリアに表示）
㉓		外部ボタン操作を「閉じた時無効」に設定中→P.153

デスクトップアイコン表示エリア

アイコン	アイコンの内容
など	情報を通知するデスクトップアイコン→P.131
など	貼り付けたデスクトップアイコン→P.130

タスクアイコン／ｉチャネルテロップ／時計表示エリア

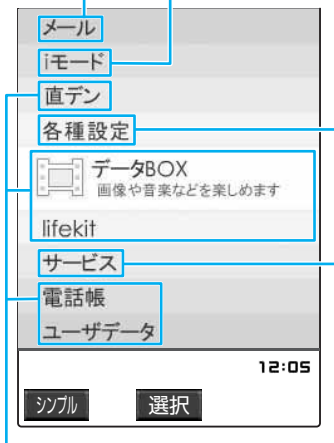
アイコン	アイコンの内容
タスクアイコン	使用している機能のアイコン表示
ｉチャネルテロップ	待受画面のテロップ表示→P.204
時計表示	待受画面の時計表示→P.129 （待受画面以外の場合は時計表示の設定に関係なく時刻を表示）

おしらせ

◆ 本端末のディスプレイは、非常に高度な技術を駆使して作られておりますが、その特性上、一部に点灯しないドット（点）や常時点灯するドット（点）が存在する場合があります。故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。
◆ 表示アイコンの名称は、MENU 3 6 を押して確認できます。

メインメニューについて

FOMA端末でいろいろな機能を設定したり確認したりするには、各機能をメインメニューから呼び出して表示します。メインメニューは MENU を押すと表示できます。メニューは次のようなグループ構成になっています。

※ メインメニューは本体色ホワイト＆ペリドットの表示で記載しています。

＜メールグループ＞

●メール
送受信メールの閲覧や新規作成、送信ができます。

＜ｉモードグループ＞

●ｉモード
サイト接続などのｉモードサービスが利用できます。

＜設定グループ＞

●各種設定
携帯電話に関する各機能の設定を行います。

●サービス
ネットワークサービスの設定や確認を行います。

＜ツールグループ＞

●直デン
直デンの呼び出し、登録ができます。

●データBOX
画像や音楽などを楽しめます。

●電話帳
電話帳の登録、検索や設定などを行います。

●LifeKit
カメラ、アラームやデータ交換など便利な機能を利用できます。

●ユーザデータ
個人データや履歴の管理、確認を行います。

メニューの選択方法

メインメニュー、オリジナルメニューから、各機能を設定および確認するための画面を表示できます。

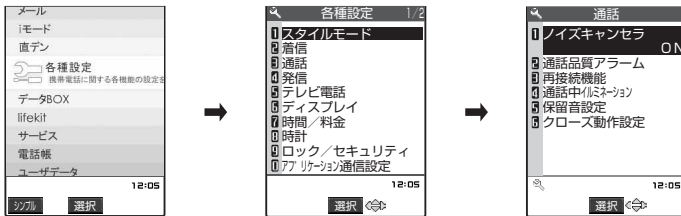
- MENUを押して各種機能を実行、設定、確認する方法は、メインメニューから機能を選択する方法と、メニュー番号（P.338）を押して機能を呼び出す方法があります。この「取扱説明書」ではメインメニューから機能を選択する方法を中心にして操作の説明をしています。
- メニュー操作を途中でやめる場合は☎を押します。設定中の内容を破棄して待受画面や元の画面に戻ります。ただし、メニューによっては設定中の内容を破棄するかの確認メッセージが表示される場合があります。そのような場合は、CLRを押すと操作をメッセージが表示される前の状態に戻すことができます。
- よく使うメールメニュー（P.210）やｉモードメニュー（P.180）は待受画面から簡単に表示できます。メールメニューは待受画面で✉［✉MAIL］を押すと表示でき、ｉモードメニューはｉ［ｉmode］を押すと表示できます。

メインメニューから機能を選択する

＜例：「通話中イルミネーション」機能の点滅色を設定する場合＞

1 MENU▶◎で「各種設定」を選び、●▶◎で「通話」を反転表示し、●を押す

➡

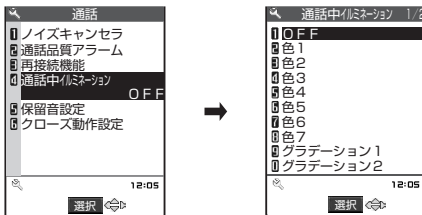
➡

■ **連続移動させる場合**

▶◎を押し続ける

■ **メインメニュー表示中に15秒以上ボタンを押さなかった場合**

メインメニューを終了して、元の画面に戻ります。

2 ◎で「通話中イルミネーション」を反転表示し、●を押す

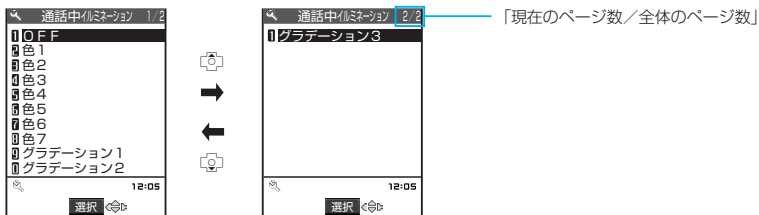
➡

おしらせ

◆ メインメニューまたはシンプルメニューを表示した際には、前回選択したメニューが選択状態になります（ラストワン機能）。ただし、ラストワン機能は「メニュー画面設定」の「フォーカス記憶」を「ON」に設定しているときのみ有効です。

● 選択する項目が複数ページにわたる場合

1 で設定したい項目を選択する

ページ単位でスクロールさせる場合は、（または[⮌]）を押すと前のページに、（または[MEMO/CHECK]）を押すと次のページに切り替わります。

「現在のページ数／全体のページ数」

2 を押す

選択した項目が設定されます。

3 操作が終わったらを押す

メニュー操作を終了して待受画面に戻ります。

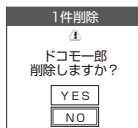
● ダイヤルボタンで項目を選択する

1 0 ～ 9 を押し、項目を選択する

ダイヤルボタンに対応している番号

● 「YES／NO」や「ON／OFF」を選択する場合

1 で「YES」または「NO」（「ON」または「OFF」）を選択し、を押す

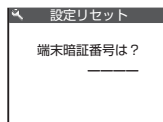
選択した項目が設定されます。

● 端末暗証番号の入力

機能によっては詳細画面が表示される前に、端末暗証番号の入力画面が表示される場合があります。機能の詳細画面を表示するには、端末暗証番号を入力してください。→P.138

1 4～8桁の端末暗証番号を入力し、を押す

入力した端末暗証番号は「＿」で表示されます。
正しい端末暗証番号を入力すると機能の詳細画面が表示されます。

■ 端末暗証番号を間違えた場合

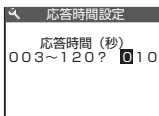
番号が違うことを通知するメッセージが表示されます。もう一度操作をやり直してください。

● 数値を入力する場合

1 [0]～[9]を押して数値を入力

3桁の数値入力画面で１桁または２桁の数値を入力する場合は最初に[0]を２回または１回押します。

■「3」を入力する場合
▶[0]、[0]、[3]

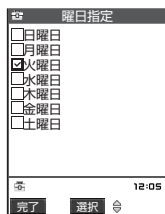
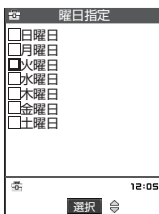
■「12」を入力する場合
▶[0]、[1]、[2]

応答時間設定
応答時間（秒）
003～120？ 010

● チェックマークを付ける場合（複数選択）

1 [上下キー]で□（チェックボックス）を選び、[決定キー]を押す

チェックボックスが□から☑になります。これが選択された状態です。[決定キー]を押すたびに、□と☑が切り替わります。

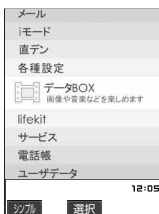
ソフトキーに「完了」が表示されている場合は、[メールキー][完了]を押すと選択した項目が決定されます。

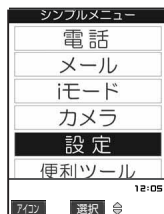
ソフトキーに「機能」が表示されている場合は、[iキー][機能]を押すと「全選択」や「全選択解除」などの機能を選択することができます。

メインメニューのシンプルメニュー表示について

メインメニューをシンプルメニュー表示に切り替えると、よく使う機能が素早くかんたんに呼び出せます。

● シンプルメニューは通常のメニューと機能の構成が異なります。

1 [MENU]▶[メールキー][シンプル]

[メールキー][アイコン]を押すとメインメニューに戻ります。

2 メニュー項目を選択

[上下キー]を押して項目を選択し、[決定キー]を押します。右側には選択した項目の下の項目が表示されます。

第一階層

第二階層

第三階層

[決定キー] 選択した項目が起動

おしらせ

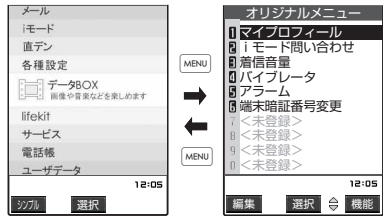
◆ シンプルメニューからメニュー項目を選択した場合、次に[MENU]を押したときにはシンプルメニューが表示されます。

◆ シンプルメニューの項目は、メインメニューとは異なります。

オリジナルメニューから機能を選択する

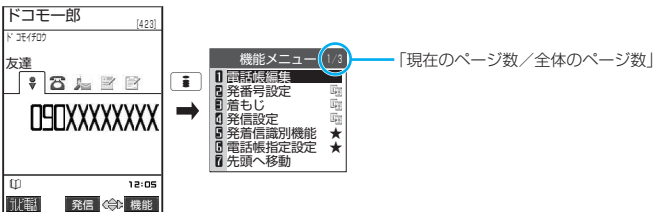
- 「<未登録>」を反転表示させて［編集］を押すと内容を編集することができます。
- オリジナルメニューは「一覧表示」で表示されます。
- オリジナルメニュー登録→P.126

MENU ▶ MENU を押す

MENU を押すごとにメインメニューとオリジナルメニューが切り替わります。

おしらせ

◆ オリジナルメニューから待受画面に戻ったり、機能を呼び出した場合でも、次に MENU を押すとメインメニューが表示されます。
◆ オリジナルメニューに機能が1件も登録されていない場合は、オリジナルメニューを登録するかどうかのメッセージが表示されます。

機能メニューについて

登録や編集、削除などができる機能を操作している場合、ソフトキーに「機能」が表示されます。
［機能］を押すと機能メニューが表示されます。を押して実行したい機能メニューを反転表示させを押して選択してください。

- 項目が複数のページにわたるときは、機能メニューの右上に「現在のページ数／全体のページ数」が表示されます。機能メニューの一番上の項目を選択しているときにを押すと前のページを、一番下の項目を選択しているときにを押すと次のページを表示します。ページ単位でスクロールさせる場合は、（または[↩]）を押すと前のページに、（または[MEMO/CHECK]）を押すと次のページに切り替わります。
- 表示されている機能メニューの下にメニューがある場合は右側に「」が表示されます。
- 操作中の機能や設定状態などによって、表示される機能メニューの内容は異なります。
- 設定状態などにより、機能メニューの項目を選択できない場合があります。選択できない機能メニューの項目はグレーで表示されます。

メニュー操作の表記について

この「取扱説明書」では、メニューからの操作方法を次のように表記しています。
ここでは「各種設定」の「テレビ電話」から「遠隔監視設定」を設定する操作（抜粋）を例にして説明します。

この「取扱説明書」での表記は

1 MENU ▶「各種設定」▶「テレビ電話」▶「遠隔監視設定」▶端末暗証番号を入力▶「対局番号登録」

2 「〈未登録〉」の項目を選択

:

実際の操作は

1 待受画面表示中に MENU を押す

2 メインメニューで 〇 を押して「各種設定」を選んで 〇 を押す

3 「各種設定」のメニューで 〇 を押して「テレビ電話」を反転表示させて 〇 を押す

4 「テレビ電話」のメニューで 〇 を押して「遠隔監視設定」を反転表示させて 〇 を押す

5 端末暗証番号を入力して 〇 を押す

6 「遠隔監視設定」のメニューで「対局番号登録」を反転表示させて 〇 を押す

（1～6：❶での操作）

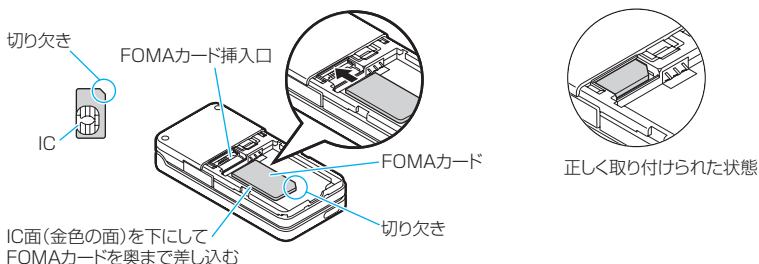
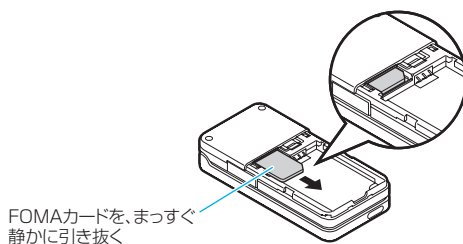
7 「対局番号登録」のメニューで 〇 を押して「<未登録>」の項目を反転表示させて 〇 を押す

（7：❷での操作）

:

FOMAカードを使う

FOMAカードはお客様の電話番号などの情報が記録されているICカードです。
FOMAカードの付け外しは、電源を切り電池パックを外してから行ってください。また、FOMA端末を閉じた状態で手に持ったまま行ってください。

● FOMAカードの取り付けかた

● FOMAカードの取り外しかた

おしらせ

- ◆ 無理に取り付けようとしたり、無理に取り外そうとするとFOMAカードがこわれることがありますのでご注意ください。
- ◆ 取り外したFOMAカードはなくさないようご注意ください。
- ◆ FOMAカードのIC部分に触れたり、傷をつけたりしないようにご注意ください。
- ◆ FOMAカードを正しく取り付けていない場合や、FOMAカードに異常がある場合はエラーメッセージ（P.358）が表示されます。

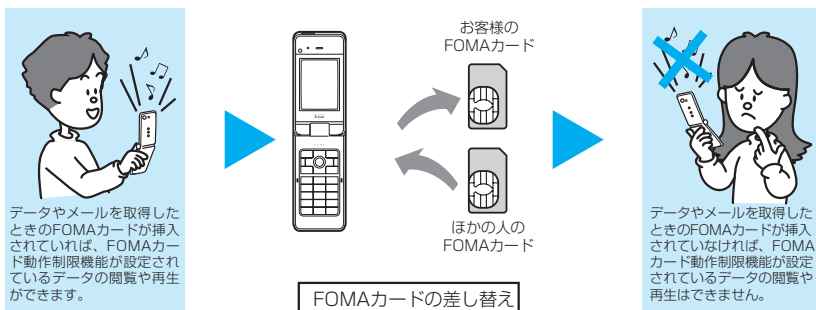
FOMAカードの暗証番号について

FOMAカードにはPIN1コード、PIN2コードという2つの暗証番号を設定できます。→P.139

FOMAカード動作制限機能について

FOMA端末には、お客様のデータやファイルを保護するためのセキュリティ機能として、FOMAカード動作制限機能が搭載されています。

● サイトなどからデータやファイルをダウンロードしたり、メールに添付されたデータなどを取得すると、それらのデータやファイルにはFOMAカード動作制限機能が自動的に設定されます。
● FOMAカード動作制限機能が設定されたデータやファイルは、取得時と同じFOMAカードが挿入されているときのみ操作することができます。
● FOMAカード動作制限機能の対象となるデータやファイルは以下のとおりです。
  - ｉモードのサイトやインターネットホームページからダウンロードしたメロディ／画像／キャラ電／ダウンロード辞書／画像が含まれているテンプレート
  - ｉモードのサイトやインターネットホームページから取得したｉモーション
  - メロディ／画像／ｉモーション／キャラ電／ダウンロード辞書／テンプレートが含まれている画面メモ
  - お預かりセンターからダウンロードした画像
  - 受信BOX内のｉモードメールに添付されているファイル（メロディ／画像）、または貼り付けられているメロディ
  - 送信BOX／保存BOX内のｉモードメールに添付されているファイル（メロディ／画像／ｉモーション。ただし、本FOMA端末で撮影した画像／ｉモーションは除く）
  - ファイル（メロディ／画像）が添付されているメッセージR/F
  - デコメール本文中に挿入されている画像
  - テレビ電話伝言メモ

このあとの説明では、データやファイルの取得時に挿入していたFOMAカードを「お客様のFOMAカード」、それ以外のFOMAカードを「ほかの人のFOMAカード」として説明しています。

おしらせ

◆ ほかの人のFOMAカードに差し替えると、FOMAカード動作制限機能が設定されたデータやファイルは「」が付いて表示され、「画面表示設定」や「着信音選択」などに設定することができなくなります。
◆ FOMAカード動作制限機能が設定されたデータやファイルを「画面表示設定」や「着信音選択」などに設定しているときに、FOMAカードを抜いたり、ほかの人のFOMAカードに差し替えるとお買い上げ時の設定で動作します。お客様のFOMAカードを挿入し直すと、お客様が設定した状態に戻ります。
◆ FOMAカード動作制限機能が設定されたデータやファイルは、ほかの人のFOMAカードを挿入した状態でも移動したり削除することはできます。
◆ ｉチャネルで受信したニュースなどの情報は、ほかの人のFOMAカードに差し替えると消去されます。
◆ 赤外線通信機能やデータの送受信（OBEX）機能を使って登録したデータ、編集された画像、内蔵カメラで撮影した静止画／動画には、FOMAカード動作制限機能は設定されません。
◆ ほかのｉチャネル対応端末にFOMAカードを差し替えた場合、その端末のテロップは表示されなくなります。また、情報が自動更新されない場合があります。最新の情報を受信するには、ch を押してチャネル一覧を表示してください。その場合は、テロップも自動的に表示されるようになります。

FOMAカード差し替え時の設定について

FOMA端末に取り付けられているFOMAカードを、別のFOMAカードに差し替えた場合、以下の設定は差し替え前の設定から変更されます。

● 利用するには端末暗証番号の入力が必要です。

設定	別のFOMAカードに差し替えた場合
「バイリンガル」(P.129)	差し替えたFOMAカードの設定となります。
「SMS center設定」(P.252)	
「SMS有効期間設定」(P.242)	
「PIN設定」(P.139)	
「アプリケーション通信設定」の「接続先選択」(P.194)	
ｉチャネルの「テロップ表示設定」(P.205)	差し替え前の設定にかかわらず、「表示する」に設定されます。

FOMAカードの機能差分について

FOMAカードには2種類のバージョンがあります。本FOMA端末でFOMAカードをご使用になる場合、以下のような機能差分があります。

機能	FOMAカード（青色）	FOMAカード（緑色）
FOMAカードの電話帳に登録できる電話番号の桁数	最大20桁	最大26桁
FirstPassを利用するためのユーザ証明書操作	利用不可	利用可
WORLD WING	利用不可	利用可
サービスダイヤル	利用不可	利用可

WORLD WINGについて

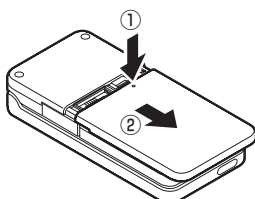
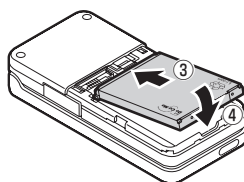
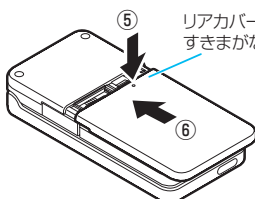
WORLD WINGとは、FOMAカード（緑色）をサービス対応のFOMA端末や海外用携帯電話（WCDMAまたはGSM方式）に差し替えることにより、海外でも同じ携帯電話番号で発信や着信ができる、ドコモのFOMA国際ローミングサービスです。

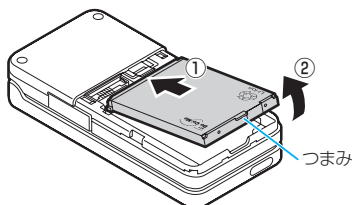
WORLD WINGはお申込み手続きなしでご利用いただけます。

- 2005年8月31日以前にFOMAサービスをご契約でWORLD WINGをご契約いただいていないお客様は、WORLD WINGをご利用される場合、別途お申込み手続きが必要となります。
- 一部ご利用になれない料金プランがあります。
- 万一、FOMAカード（緑色）を海外で紛失・盗難された場合には、速やかにドコモへご連絡いただき、利用中断の手続きをとってください。お問い合わせ先については、取扱説明書裏面の総合お問い合わせ先をご覧ください。なお、紛失・盗難された後に発生した通話・通信料もお客様のご負担となりますのでご注意ください。

電池パックの取り付けかた／取り外しかた

● 電池パックの取り外しは、電源を切ってから行ってください。また、FOMA端末を閉じた状態で手に持ったまま行ってください。

● 取り付けかた

リアカバーを①の方向へ押しながら②の方向へスライドさせて取り外します。

電池パックの製品名が書かれている面を上にして、電池パックとFOMA端末（本体）の金属端子が合うように③の方向に取り付けてから、④の方向へはめ込みます。

リアカバーを約2mm開けた状態でFOMA端末（本体）の溝に合わせ、⑤の方向へ押し付けながら⑥の方向へスライドさせ「カチッ」と音がするまで押し込みます。

● 取り外しかた

リアカバーを外します。
電池パックのつまみを①の方向に押し付けながら②の方向へ持ち上げます。

おしらせ

◆ 無理に取り付けようとするとFOMA端末側の電池パックとつながる充電端子が壊れることがありますのでご注意ください。
◆ 詳しくは電池パック N15の取扱説明書をご覧ください。

電池の上手な使いかた

FOMA端末専用の電池パック N15をご利用ください。

■電池の寿命

- 電池は消耗品です。どのような充電式電池も、充電を繰り返すごとに、1回で使える時間が次第に短くなっていきます。
- 1回で使うことのできる時間が、使いはじめたときに比べ半分程度になったら、電池パックの寿命とお考えください。
- 電池パックの寿命の目安は、約1年です。ただし、使用頻度により寿命は短くなります。

環境保全のため、不要になった電池はNTT DoCoMoまたは代理店、リサイクル協力店等にお持ちください。

■充電について

- 詳しくはFOMA ACアダプタ 01（別売）、FOMA DCアダプタ 01（別売）の取扱説明書をご覧ください。
- 充電は、電池パックをFOMA端末に付けた状態で行ってください。
- 充電中でもFOMA端末の電源を入れておけば、電話を受けることができます。ただし、その間は充電量が減るため、充電の時間が長くなります。「照明設定」の「充電時」を「常時点灯」に設定しているときも充電時間が長くなります。
- コネクタを抜き差しする際は、無理な力がかからないようゆっくり確実に行ってください。
- 充電中に、テレビ電話などを長時間行ったりすると、FOMA端末内部の温度が上昇し、充電が停止する場合があります。その場合は、しばらくたってから再度充電してください。

■電源を入れたままでの長時間（数日間）充電はおやめください

- 充電時にFOMA端末の電源を入れたままで長時間おくと、充電が終わった後、FOMA端末は電池パックから電源が供給されるようになるため、実際に使うと短い時間しか使えず、すぐに電池切れアラームが鳴ってしまうことがあります。このようなときは、再度正しい方法で充電を行ってください。再充電の際は、FOMA端末を一度ACアダプタ、DCアダプタから外して再度取り付けし直してください。

■電池の使用時間の目安（電池の使用時間は、充電時間や電池の劣化度で異なります）

連続通話時間	連続待受時間
音声電話　：約210分 テレビ電話：約140分	静止時：約700時間 移動時：約520時間

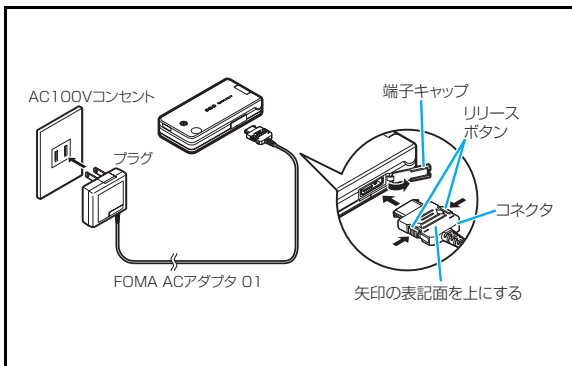
- 連続通話時間とは、電波を正常に送受信できる状態で通話に使用できる時間の目安です。
- 連続待受時間とはFOMA端末を折り畳み、電波を正常に受信できる状態での時間の目安です。なお、電池の充電状態、機能設定状況、気温などの使用環境、利用場所の電波状態（電波が届かないか、弱い場合等）などにより、通話・待受時間は約半分程度になることがあります。ｉモード通信を行うと通話（通信）・待受時間は短くなります。また通話やｉモード通信をしなくても、ｉモードメールを作成したりすると、通話（通信）・待受時間は短くなります。
- 静止時の連続待受時間とは、FOMA端末を折り畳み、電波を正常に受信できる静止状態での平均的な利用時間です。
- 移動時の連続待受時間とは、FOMA端末を折り畳み、電波を正常に受信できるエリア内で「静止」「移動」と「圏外」を組み合わせた状態での平均的な利用時間です。

おしらせ

◆電池残量がなくなったときや電池パックを外したときは、静止画や動画の保存などはできません。

携帯電話を充電する

● ACアダプタ（別売）、DCアダプタ（別売）で充電できます。充電の際は、ACアダプタ／DCアダプタに添付されている取扱説明書もあわせてご覧ください。

ACアダプタ／DCアダプタで充電する

■ ACアダプタの場合　■ DCアダプタの場合

1. FOMA端末の外部接続端子の端子キャップを開ける

2. ACアダプタ／DCアダプタのコネクタをFOMA端末の外部接続端子に水平に差し込む

3. ACアダプタのプラグをコンセントに差し込む
DCアダプタのプラグを車のシガーライタソケットに差し込む
充電がはじまります。

充電時間の目安
約120分

4. 充電が終わったら、リリースボタンを押しながらACアダプタ／DCアダプタのコネクタをFOMA端末から水平に引き抜く

5. ACアダプタのプラグをコンセントから抜く
DCアダプタのプラグを車のシガーライタソケットから抜く

6. FOMA端末の外部接続端子の端子キャップを閉じる

おしらせ

- ◆FOMA端末（本体）の充電ランプおよびディスプレイの「 」が消灯し、「充電器異常　充電を中止してください」などと表示された場合は、FOMA端末からACアダプタまたはDCアダプタと電池パックを外し、再度取り付けてから充電をやり直してください。再び同じ動作をする場合は、ACアダプタやDCアダプタの異常や故障が考えられますので、ドコモショップなど窓口までご相談ください。
- ◆ACアダプタのコネクタをFOMA端末の外部接続端子から引き抜くときは、コネクタのリリースボタンを押しながら引き抜いてください。無理に引っ張ろうとすると故障の原因となります。
- ◆充電中は充電ランプが赤色に点灯します。充電ランプが消灯すれば充電は終了です（フル充電）。電源が入っている場合、充電中は「 」が点滅し、充電が終了すると、「 」が点灯します。
- ◆電源を入れておくと、充電の開始、終了時に「充電確認音」が鳴ります。ただし、「マナーモード」に設定中の場合や、「公共モード（ドライブモード）」に設定中の場合、または「充電確認音」を「OFF」に設定している場合、「充電確認音」は鳴りません。
- ◆FOMA ACアダプタ 01はAC100Vのみに対応しています。
- ◆電池パック単体の充電はできません。必ずFOMA端末に電池パックを付けた状態で充電を行ってください。
- ◆電池が切れた状態や、電話帳などのデータがいっぱいで電源を切っている場合、充電をはじめても充電ランプがすぐに点灯しないことがありますが、充電自体ははじまっています。
- ◆DCアダプタはDC12Vまたは24Vのマイナスアース車専用です。プラスアース車には絶対にお使いにならないでください。
- ◆DCアダプタのヒューズは、2Aを使っています。万一、ヒューズ（2A）が切れた場合は、指定のヒューズを必ずお使いください。また、ヒューズ（2A）は消耗品ですので、交換に際してはお近くのカー用品店などでお買い求めください。

電池残量の確認のしかた

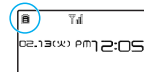
残量の確認は目安としてご利用ください。

電池残量表示で確認する

FOMA端末の電源を入れると、電池残量を示すアイコンが自動的に表示されます。

（白色）：十分残っています

（白色）：まだ大丈夫です

（赤色）：電池残量がほとんどありません。充電してください。

音と表示で確認する　MENU71

電池残量を音と表示でお知らせします。

MENU▶「各種設定」▶「その他」▶「電池残量」

確認画面が表示され、電池残量に合わせて音が鳴ります。約3秒たつと電池残量のグラフィックは消えます。

「ピッピッピッ」　：十分残っています

「ピッピッ」　：まだ大丈夫です

「ピッ」　：電池残量がほとんどありません。充電してください。

おしらせ

- ◆「ボタン確認音」を「OFF」に設定している場合やマナーモード設定中は音が鳴りません。

電池が切れたときは？

電池切れアラームとともに右のような画面を点滅表示します。電池切れアラームは約10秒間鳴り、約1分後に電源が切れます。電池切れアラームをとめる場合は[⮌]、[MEMO/CHECK]以外のいずれかのボタンを押してください。

おしらせ

◆ 通話中の場合は、電池切れ画面と「ピッピッピッ」音によりお知らせします。約20秒後に通話が切れ、さらに約1分後に電源が切れますのでご注意ください。
◆「マナーモード」に設定中で、マナーモード設定中の動作が「マナーモード」、「スーパーサイレント」の場合や、「低電圧アラーム」を「OFF」に設定している「オリジナルマナー」の場合、または「公共モード（ドライブモード）」に設定中の場合、電池切れアラームは鳴りません。

電源を入れる／切る

● お買い上げ後はじめてお使いになる場合（または長時間お使いにならなかった場合）は、必ず充電してからお使いください。また、充電には必ず専用のACアダプタ（別売）やDCアダプタ（別売）をお使いください。

電源を入れる

● 電源を入れる前にFOMAカードが正しく取り付けられていることを確認してください。

1 （1秒以上）

待受画面または初期設定画面が表示されます。電池パックを取り付けたときや、電源を切ってからすぐに電源を入れ直したときなどは、しばらくの間「Wait a minute」と画面に表示される場合があります。

■「圏外」の表示が出ている場合

サービスエリア外または電波が届かないところにいます。「」など電波の受信レベル表示が点灯するところまで移動してください。受信レベルは以下のように表示されます。

待受画面

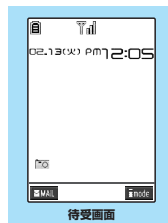
■ PIN1コード入力を「ON」に設定している場合

PIN1コード入力画面が表示されます。→P.140

■ 積算料金自動リセットを「ON」に設定している場合

PIN2コード入力画面が表示されます。

■ 初期設定画面が表示された場合

初期設定を行います。→P.43

おしらせ

◆ FOMAカードを差し替えたときは、電源を入れたあと4～8桁の端末暗証番号を入力する必要があります。正しい端末暗証番号が入力されると待受画面が表示されます。5回誤った端末暗証番号を入力した場合は、電源が切れます。（ただし、再度電源を入れることは可能です。）

電源を切る

1 （2秒以上）

終了画面が表示され、電源が切れます。

おしらせ

◆ 移動しながら通話すると電波の強さが安定しません。急に通話が切れることがあります。できるだけ「」が表示されている状態で使用することをおすすめします。
◆ 電源を切った後は、しばらくたってから電源を入れてください。

〈初期設定〉
初期設定を行う

電源を入れた後に初期設定として「時計設定」、「端末暗証番号の変更」、「ボタン確認音」を設定することができます。
- それぞれの機能をすでに設定しているときは、その機能の設定画面は表示されません。
- 操作1～5を行うと、以後電源を入れたときに初期設定の画面は表示されません。また、初期設定の画面が表示されない状態で「設定リセット」を行っても、初期設定の画面は表示されません。
- PIN1コード入力を「ON」に設定している場合は、電源を入れた後、PIN1コード入力画面が表示されます。正しいPIN1コードを入力すると初期設定の画面が表示されます。→P.140

初期設定画面

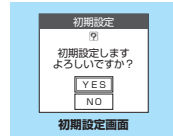
1 「初期設定画面」▶「YES」

2 時計を設定
日付・時刻は、お買い上げ時は設定されていません。時計設定について→P.43

3 端末暗証番号を変更
端末暗証番号は、お買い上げ時は「0000」に設定されています。「端末暗証番号を変更する」→P.139

4 文字サイズを設定
文字サイズの設定について→P.128

5 ボタン確認音を設定
ボタン確認音について→P.115

6 ソフトウェアの更新
ソフトウェアを更新するかどうかの確認画面が表示されます。ソフトウェアの更新について→P.364

おしらせ
- ◆ 設定中に電話がかかってきたり、[☎]または[CLR]を押すなどして初期設定が途中で終了した場合でも、設定が完了した機能については有効になります。
- ◆ それぞれの機能を個別に設定することもできます。
- ◆ 初期設定を中止した場合もソフトウェアの更新をするかどうかの確認画面が表示されます。

〈時計設定〉 MENU31
日付・時刻を合わせる
お買い上げ時 自動時刻補正する

FOMA端末の日付と時刻を設定します。日付と時刻は自動で補正するように設定できます。
- 日付・時刻を設定すると、待受画面などに表示されるようになり、「アラーム機能」や「スケジュール」など、日付・時刻を管理する機能が使えるようになります。
- 「初期設定」（P.43）から設定する場合は操作2から行ってください。
- 設定できる日付･時刻は、2004年1月1日00時00分から2037年12月31日23時59分までです。日付・時刻の表示は2037年12月31日23時59分以降進みません。

1 [MENU]▶「各種設定」▶「時計」▶「時計設定」

2 以下の項目から選択

自動時刻補正する （お買い上げ時）	日付・時刻を自動で設定します。 「自動時刻補正する」を選択したときに時刻情報を取得して自動的に日付と時刻を設定します。
自動時刻補正しない	日付・時刻を手動で設定します。時刻をずらして設定したいときなどに設定します。

■「自動時刻補正しない」を選択した場合
年（西暦）、月、日、時刻（24時間表示）を入力します。
<例：2007年2月13日、12時05分に設定する場合>
[◎]を押して反転表示を移動させ、ダイヤルボタンで入力します。
ここでは[2]、[0]、[0]、[7]、[0]、[2]、[1]、[3]、[1]、[2]、[0]、[5]と押します。

おしらせ

◆ 手動で日付・時刻を設定する場合は正しく入力してください。
◆ 設定した日付・時刻は、内蔵のバックアップ電池を用いて保持していますので、電池パックを交換するときでも保持されます。ただし約2週間以上電池パックを外していると保持されない場合があります。そのような場合で、「自動補正しない」に設定するときは、電池パックを充電してから、もう一度日付・時刻の設定を行ってください。また、バックアップ電池は電池パックを充電すると、同時に充電されます。

＜自動時刻補正＞
◆ 次の場合にドコモネットワークからの時刻情報をもとに、FOMA 端末の時刻を補正します。ただし、電波状況によっては自動補正を行わない場合もあります。
- 電源を入れたとき
- 待受画面表示中で、ほかの機能が起動していないときに充電を開始したとき
- 「自動時刻補正する」を設定したとき

◆ FOMAカードが取り付けられていない場合や「圏外」が表示されているところでは補正が行われません。
◆ 数秒程度の誤差が生じる場合があります。

〈発信者番号通知〉　MENU17

相手に自分の電話番号を通知する

ご契約時：通知しない	お申し込み：不要	月額使用料：無料

FOMA端末は、電話をかけたときに相手の電話機のディスプレイへお客様の電話番号をお知らせすることができます。電話番号はお客様の大切な情報ですので、通知する際には十分にご注意ください。

● 「圏外」が表示されているところで、発信者番号通知の操作はできません。
● 発信者番号通知は相手の電話機が発信者番号表示が可能なときだけ有効です。
● 電話をかけたときに番号通知お願いガイダンスが流れた場合は、電話を切って発信者番号を「通知する」に設定してかけ直せば相手に電話がかかります。

1 ▶「サービス」▶「発信者番号通知」▶以下の項目から選択

発信者番号通知設定	ネットワーク暗証番号について→P.138	
	通知する	▶ネットワーク暗証番号を入力
	通知しない	▶ネットワーク暗証番号を入力
発信者番号通知設定確認	▶発信者番号の通知設定を確認して●	

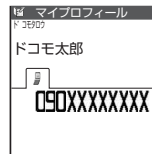
おしらせ

◆ 電話番号をダイヤルしたときや、「電話帳」、「リダイヤル」または「着信履歴」で電話番号を表示させたときに、発信者番号を通知する／しないを設定することもできます。→P.47

〈マイプロフィール〉　MENU0

自分の電話番号を確認する

お客様のFOMAカードに登録されている電話番号（自局番号）を表示して確認できます。

 ▶「ユーザデータ」▶「マイプロフィール」

おしらせ

◆ お買い上げ時は自局番号のみ表示されます。
◆ お客様の個人データ（名前、自宅などの電話番号や住所、メールアドレスなど）を登録することもできます。登録、表示のしかた→P.293
◆ ｉモードのメールアドレスは、ｉモードメニュー▶「Menu」▶「料金＆お申込・設定」▶「メール設定」▶「アドレス確認」の順に操作すると確認できます。

●電話のかけかた／受けかた

■電話のかけかた

電話をかける.. 46
音声電話からテレビ電話へ切り替える........................ 48
着もじを使う.. 着もじ 49
前にかけた相手にかけ直す.......................... リダイヤル／発信履歴 51
1回の通話ごとに発信者番号を通知／非通知にする...... 186／184 53
プッシュ信号を手早く送り出す.......................... ポーズダイヤル 54
プレフィックスを設定する.......................... プレフィックス設定 55
国際電話を利用する.................................... WORLD CALL 55
サブアドレスを指定して電話をかける.................. サブアドレス設定 58
再接続するときのアラームを設定する.................... 再接続機能 58
周囲の騒音を抑えて通話を明瞭にする.................. ノイズキャンセラ 58
ハンズフリーを利用する................................ ハンズフリー 59
車の中で手を使わずに話す.............................. 車載ハンズフリー 59

■電話の受けかた

電話を受ける.. 60
音声電話からテレビ電話に切り替えて電話を受ける.............. 61
ダイヤルボタンを押して電話に出られるようにする.... 着信アンサー設定 61
FOMA端末を折り畳んで通話を終了／保留する.......... クローズ動作設定 62
着信履歴を利用する.................................... 着信履歴 62
相手の声の音量を調節する.............................. 受話音量 65
着信音の音量を調節する................................ 着信音量 65

■電話に出られないとき／出られなかったとき

すぐに電話に出られないときに保留にする.................. 応答保留 66
保留音を設定する...................................... 保留音設定 66
公共モード（ドライブモード）を利用する.... 公共モード(ドライブモード) 67
公共モード（電源OFF）を利用する............ 公共モード(電源OFF) 68
不在着信を確認する.................................... 確認機能設定 70
電話に出られないときに用件を録音／録画する......... 伝言メモ 71
着信中の電話に出られないときに用件を録音／録画する.................. クイック伝言メモ 73
伝言メモや音声メモを再生／消去する........................ 73
テレビ電話伝言メモを再生／消去する...................... 動画メモ 74

電話をかける

1 相手の市外局番からダイヤル

「電話番号入力画面」が表示されます。
同一市内への通話でも、必ず市外局番からダイヤルしてください。

市外局番 ― 市内局番 ― 電話番号

26桁を超えて入力すると、先頭の番号から入力画面に表示されなくなりますが、最大80桁まで入力して発信できます。

■携帯電話にかける場合
090－××××－××××
または
080－××××－××××

■PHSにかける場合
070－××××－××××

電話番号入力画面

機能メニュー ➡P.47

2 [電話]

電話番号が一度消えた後、右端から表示されて電話がかかります。
発信中は「[アイコン]」が点滅し、通話中は点灯します。
「通話中画面」が表示されます。

■通話中にテレビ電話での通話に切り替える場合
「音声電話からテレビ電話へ切り替える」→P.48

■「ツーツー」という話中音が聞こえる場合
相手が話し中です。[電話]を押して、しばらくたってからおかけ直しください。

■電話がかからないことを通知するガイダンスが聞こえる場合
相手の携帯電話、PHSの電源が入っていない、または相手が電波の届かない場所にいます。[電話]を押して、しばらくたってからおかけ直しください。

■電話番号の通知をお願いするガイダンスが聞こえる場合
相手が番号通知お願いサービスを「開始」に設定しています。電話番号を通知しておかけ直しください。

通話中画面

3 通話が終了したら[電話]

おしらせ

◆ｉモード中でも電話をかけることができます。
◆電話をかける際に、絵文字／記号／全角／半角問わず10文字までのメッセージ（着もじ）を付けることができます。相手側の着信中画面に着もじが表示されます。→P.49
◆64Kデータ通信中、テレビ電話中には電話をかけられません。ただし、相手側が切り替え可能なFOMA端末の場合、テレビ電話中に機能メニューから「音声電話切替」を選択して音声電話に切り替えることはできます（音声⇔テレビ電話切り替え対応端末どうしでご利用いただけます）。→P.81
◆電話帳に相手の名前、電話番号が登録されている場合は、発信中の相手の名前と電話帳登録時に選択したアイコンも表示されます。ただし、電話帳に静止画が登録されていても、静止画は表示されません。
◆ハンズフリーを利用して通話することができます→P.59
◆平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）を使って電話をかけることができます。→P.301

電話番号入力画面の機能メニュー

発番号設定	相手に電話番号を通知するかどうかを「通知しない」または「通知する」から選択します。 ■「発番号設定」の「通知しない」／「通知する」を解除する場合 ▶「発番号設定消去」 「発番号設定消去」を選択すると「発信者番号通知設定」（P.44）で設定した内容になります。
プレフィックス	▶付加したいプレフィックスの登録名を選択 「プレフィックスを設定する」→P.55
着もじ	「着もじを付けて電話をかける」→P.50
国際電話発信	■「＋」が付いている（国番号が付いている）場合※ ▶国際アクセス番号を選択 「＋」が、選択した国際アクセス番号に置き換わります。 ■「＋」が付いていない（国番号が付いていない）場合 ▶国番号を選択▶国際アクセス番号を選択 選択した国番号と国際アクセス番号が付加されます。地域番号（市外局番）が「0」ではじまる場合は自動的に先頭の「0」が削除されます。 国際電話を発信するときの設定や登録を変更する→P.56
マルチナンバー	「マルチナンバー」→P.315
電話帳登録	「FOMA端末（本体）電話帳に登録する」→P.93 「FOMAカード電話帳に登録する」→P.94
ｉモードメール作成	「ｉモードメールを作成して送信する」→P.211
通信速度設定	テレビ電話をかけるときの通信速度を「64K」または「32K」から選択します。
テレビ電話画像選択	テレビ電話中に送信する画像を設定します。→P.84 「設定解除」を選択すると、自画像／キャラ電の設定を解除します。

※：「＋81」が付いている（国番号が日本）場合は、「国際電話発信」を利用できません。

電話番号の入力を間違えたとき

■ 番号を挿入する場合

を押して挿入したい位置の１つ左の番号にカーソルを移動して番号を入力します。

■ 番号を削除する場合

を押して削除したい番号にカーソルを合わせて CLR を押します。
CLR を１秒以上押すと、カーソルのあたっている番号とその左側にあるすべての番号が削除されます。

■ 入力し直す場合

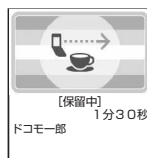
カーソルを番号の先頭または最後に合わせて CLR を１秒以上押すと、待受画面に戻ります。

通話中に保留にする〈通話中保留〉

1 通話中▶CLR

相手に保留音が流れます。

■保留中に電話を切る場合
▶

■保留中に相手が電話を切った場合
通話が切れます。

2 電話に出られるようになったら CLR、 または

おしらせ

◆ 通話を保留にしている間も、通話料金はかかります。
◆ 通話を保留にしている間に流れる保留音は「保留音設定」で設定できます。
◆ 保留中は、自分のFOMA端末も保留音が鳴ります。ただし、「着信音量」の「電話」を「消去」に設定している場合やマナーモード設定中は、保留音は鳴りません（「マナーモード選択」で「オリジナルマナー」を選択し、オリジナルマナーの設定で「電話着信音量」を「消去」以外にしている場合は音が鳴ります）。

音声電話からテレビ電話へ切り替える

音声通話中に発信側からテレビ電話に切り替えることができます。

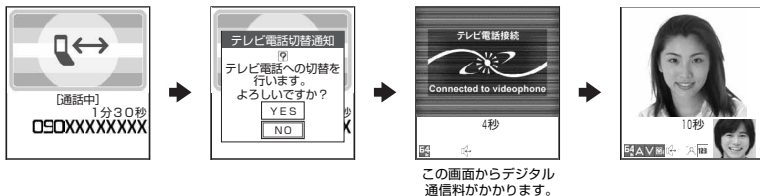
● 相手側が切り替え可能なFOMA端末の場合、音声通話中は「テレビ電話」が表示され、音声電話とテレビ電話の切り替えができます（音声⇔テレビ電話切り替え対応端末どうしでご利用いただけます）。

● 切り替え操作は、音声電話を発信した側からのみ行うことができます。着信した側からは、切り替え操作を行うことができません。

● 切り替え操作を行うには、あらかじめ相手がテレビ電話切替通知を通知するように設定しておく必要があります。→P.87

1 「通話中画面」▶ [テレビ電話] ▶「YES」

音声電話からテレビ電話に切り替えている間は、音声ガイダンスが流れます。
テレビ電話切替通知画面で「NO」を選択すると音声通話中画面に戻ります。

この画面からデジタル通信料がかかります。

おしらせ

◆ 音声電話とテレビ電話の切り替えは、繰り返し行うことができます。
◆ テレビ電話中にも音声電話へ切り替えることができます。→P.81
◆ 切り替えには、5秒程度の時間がかかります。なお、電波の状態などにより、切り替わるまでに時間がかかることがあります。
◆ 以下の場合は、通話中にテレビ電話と音声電話を切り替えることができません。
  • 「キャッチホン」が動作しているとき
  • 相手側が通話を保留にしているとき
  • 相手側が伝言メモを起動したとき
◆ 表示されている通話時間は、通話を切り替えるたびに0秒にリセットされます。ただし、切り替え操作を行った後、テレビ電話で通話が終了した場合、通話終了後に表示される通話時間は音声電話とテレビ電話の合計となります。
◆ 切り替え操作を行うと、テレビ電話中に送信する画像についてのメッセージが相手側のテレビ電話画面に表示されて、相手側でカメラ映像を送信するか代替画像を送信するかを選択できます。→P.61
◆ 切り替え操作を行った場合でも、リダイヤル／発信履歴には、最初に発信した電話の履歴が記憶されます。また、着信履歴には最初に着信した電話の履歴が記憶されます。
◆ 発信側がパケット通信中（ i モード含む）の場合は、パケット通信を切断してテレビ電話に切り替えます。
◆ 相手側がパケット通信中（ i モード含む）の場合は、「切替できません」というメッセージが表示され、音声電話からテレビ電話に切り替えることはできず、音声通話を継続します。
◆ 相手側の利用状態や電波の状態などにより、音声電話からテレビ電話に切り替えることができず、通話が切断されることがあります。
◆ 切り替えを行った際に、「通話時間／料金」に表示される通話料金は実際の通話料金と異なる場合があります。
◆ 切り替え前のハンズフリーの状態にかかわらず、切り替えたときのハンズフリーのON／OFFは、「ハンズフリー切替」の設定に従います。→P.86

〈着もじ〉

着もじを使う

お買い上げ時	メッセージ表示設定：番号通知ありのみ

音声電話やテレビ電話をかける際、呼び出し中に相手側へメッセージ（着もじ）を送り、あらかじめ用件などを伝えることができます。

- 着もじには絵文字や顔文字を含めることができ、絵文字／記号／全角／半角問わず10文字まで送れます。
- 着もじの送信には送信料金がかかります。なお、受信側は料金はかかりません。
- 対応機種は、902iSシリーズ、SH902iSL、SH702iS、P702iD、D702iF、N902iX HIGH-SPEED、903iシリーズです。
- 着もじは、海外に送信することはできません。

着もじの編集や設定をする

1. MENU ▶「サービス」▶「着もじ」▶以下の項目から選択

メッセージ作成	「よく使う着もじを登録する」→P.49	
メッセージ表示設定	着もじが付いた着信があったときの着もじの表示条件を設定します。	
	すべて表示	すべての着もじを表示します。
	電話帳登録番号のみ	電話帳に登録されている相手からの着もじのみを表示します。
	番号通知ありのみ	番号通知のある相手からの着もじのみを表示します。
	表示しない	すべての着もじを表示しません。

● よく使う着もじを登録する

着もじをあらかじめ登録しておくと、簡単な操作で着もじを付けて電話をかけることができます。

- お買い上げ時には5件登録されており、お買い上げ時に登録されている着もじの内容は変更できます。
- 着もじは、最大30件（お買い上げ時に登録されている5件を含む）まで登録できます。

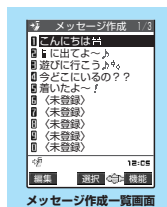
1. MENU ▶「サービス」▶「着もじ」▶「メッセージ作成」

「メッセージ作成一覧画面」が表示されます。

2. 「＜未登録＞」を反転表示して ✉［編集］

■ すでに登録されている着もじの内容を変更する場合

▶変更する項目を反転表示して ✉［編集］

3. 着もじを入力

メッセージ作成一覧画面

機能メニュー ➡P.49

おしらせ

◆「メッセージ作成一覧画面」で「＜未登録＞」を反転表示して ● を押しても、着もじを登録することができます。

メッセージ作成一覧画面の機能メニュー

編集	着もじを編集します。	
削除	1件削除	反転表示した着もじを削除します。
	選択削除	▶ ◎ で□（チェックボックス）を選択▶ ✉［完了］▶「YES」 複数の着もじを削除できます。
	全削除	▶端末暗証番号を入力▶「YES」 着もじをすべて削除します。

おしらせ

◆ お買い上げ時に登録されている着もじを変更する際、何も文字を入力しないで確定した場合は、お買い上げ時の内容になります。

◆ お買い上げ時に登録されている着もじは削除できません。なお、お買い上げ時に登録されている着もじを変更し、その着もじを削除した場合、お買い上げ時の内容に戻ります。

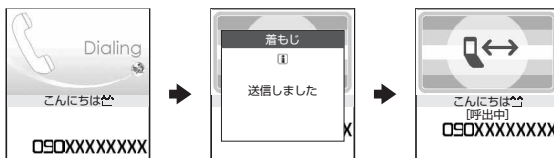
着もじを付けて電話をかける

「ダイヤル入力」、「電話帳」、「着信履歴」、「発信履歴」、「リダイヤル」で音声電話やテレビ電話をかける際に、着もじを付けることができます。

<例：「電話番号入力画面」から着もじを付けて電話をかける場合>

1 「電話番号入力画面」（P.46）▶ i ［機能］▶「着もじ」▶以下の項目から選択

メッセージ作成	着もじを入力します。絵文字／記号／全角／半角問わず10文字まで入力できます。
メッセージ選択	登録済みの着もじから選択します。 メッセージ選択画面で ✉ ［編集］を押して、着もじの内容を編集することもできます。
送信メッセージ履歴	過去に送信した着もじから選択します。送信メッセージ履歴画面で ✉ ［編集］を押して、着もじを編集することもできます。

着もじが相手側の端末に届いた場合、「送信しました」という送信結果が表示され、送信料金がかかります。

■ テレビ電話をかける場合

▶ ✉ ［テレビ電話］

■ 入力した着もじを消去（着もじなしで発信）する場合

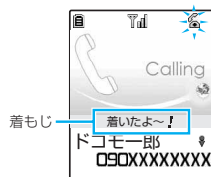
▶ i ［機能］▶「着もじ」▶「メッセージ作成」▶入力されている着もじをすべて消去して ●

おしらせ

- ◆ 送信メッセージ履歴には送信した着もじを30件まで記憶できます。同じ着もじを繰り返し送信した場合、最新の1件だけが記憶されます。また、最大件数を超えた場合、古いものから順に上書きされます。
- ◆ 着信側が以下の場合などは、着もじが送信できず「送信できませんでした」という送信結果が表示されます。このとき送信料金はかかりません。
  - 着もじ対応端末でない場合
  - 着信側の「メッセージ表示設定」により、発信側の着もじが着信側に表示されない場合
- ◆ 着信側が以下の場合などは、着もじを送信することができません。この場合、送信結果は表示されず、送信料金もかかりません（着信側の着信履歴にも着もじは残りません）。
  - 公共モード（ドライブモード）設定中の場合
  - 伝言メモの呼出時間を0秒に設定している場合
  - サービスエリア外や電波が届かないところにいる場合、または電源が入っていない場合
- ◆ 電波状態によっては、相手側の端末に着もじが届いていても発信側に送信結果が表示されない場合があります。この場合、送信料金はかかります。
- ◆「音声自動再発信」（P.84）を「ON」に設定しているときに、着もじが付いたテレビ電話がかからなかった場合、音声電話に切り替えて再発信する際、着もじが付いた音声電話として発信します。
- ◆ メッセージ選択にて、登録済みの着もじの内容を編集しても、その編集内容は1回のみ有効です。メッセージ作成一覧画面には反映されません。

● 着もじが付いた音声電話やテレビ電話を受けると

着もじが着信中画面に表示されます。なお、通話を開始すると着もじは消えます。

● 着もじを受信すると、メッセージで表示されます。

例：音声電話

おしらせ

◆ 着信側や発信側の状態によっては、着もじが付いた着信であっても、着もじが表示されない場合があります。この場合、着信履歴に着もじは残りません。
◆「呼出時間表示設定」の「無音時間設定」で設定した時間より呼出時間が短い着信であっても、着もじは表示されます。この場合、着信履歴にも着もじは残り、相手側には送信料金がかかります。

● 着信履歴から着もじを表示する

着もじを受信すると、着信履歴に着もじが残ります。

1 「着信履歴画面（一覧）」(P.62) ▶「✎」が表示されている着信履歴を選択

「着信履歴画面（詳細）」が表示され、着もじの内容を確認できます。

おしらせ

◆ 着信履歴を利用して電話をかけた場合でも、履歴に残されている着もじは送信されません。

〈リダイヤル／発信履歴〉

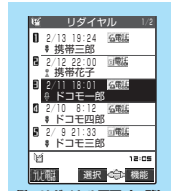
前にかけた相手にかけ直す

かけた相手の電話番号や日付・時刻などの情報を、リダイヤル／発信履歴として記録する機能です。
● リダイヤルは音声電話、テレビ電話の電話番号を30件まで記憶できます。発信履歴は音声電話、テレビ電話の履歴を30件、パケット通信と64Kデータ通信の履歴を30件まで記憶できます。
● 同じ電話番号に繰り返し発信した場合、リダイヤルには常に最新の1件だけが記憶され、発信履歴にはすべて記憶されます。
● リダイヤル／発信履歴は最大件数を超えた場合、古いものから順に上書きされます。
● テレビ電話中は、リダイヤル／発信履歴を表示できません。

1 待受画面表示中▶[○]

「リダイヤル画面（一覧）」が表示されます。

■ 発信履歴を表示する場合

▶待受画面表示中▶[MENU]▶「ユーザデータ」▶「発信履歴」
「発信履歴画面（一覧）」が表示されます。

例：リダイヤル画面（一覧）

機能メニュー ➡P.52

2 確認したいリダイヤル／発信履歴を選択

「リダイヤル画面（詳細）／発信履歴画面（詳細）」が表示されます。
画面右上には「現在の番号／全体の件数」が表示されます。番号が若いほど、最近かけた電話番号となります。

■ 前後のリダイヤル／発信履歴を確認する場合
[○]を押すと前(新しい)の番号に、[○]を押すと次(古い)の番号に切り替わります。

■ 電話帳に登録した電話番号の場合
電話帳に登録された名前も一緒に表示されます。

例：リダイヤル画面（詳細）

機能メニュー ➡P.52

3 [☎]または[●]

■ テレビ電話をかける場合
▶[✉]［テレビ電話］

4 通話が終了したら[☎]

おしらせ

- ◆電源を切っても、リダイヤル／発信履歴は削除されません。発信した電話番号をほかの人に見られたくない場合は、リダイヤル／発信履歴を削除するか、「オリジナルロック」の「発信履歴」をロックしてください。
- ◆待受画面で[☎]を押して[◎]を押すと、最新のリダイヤルに音声電話をかけることができます。
- ◆機能メニューから「マルチナンバー」を選択して発信した場合、リダイヤル画面（詳細）／発信履歴画面（詳細）には、発信した際に選択した項目（「基本契約番号」、付加番号１または付加番号２の登録名）が表示されます。
- ◆「指定発信制限」を設定すると、それまでのリダイヤル／発信履歴はすべて削除されます。ただし、設定後にかけた電話はリダイヤル／発信履歴に記憶されます。
- ◆前にかけた電話番号は「発信履歴」にも記憶されます。同じ番号にかけた場合でも「発信履歴」では別の１件として、電話をかけたときの情報が記憶されます。

リダイヤル画面／発信履歴画面の機能メニュー

● リダイヤル画面／発信履歴画面の機能メニューの表示は、一覧表示のときと詳細表示のときで同じです。

発番号設定※1	相手に電話番号を通知するかどうかを「通知しない」または「通知する」から選択します。 **■「発番号設定」の「通知しない」／「通知する」を解除する場合** **▶「発番号設定消去」** 「発番号設定消去」を選択すると「発信者番号通知設定」（P.44）で設定した内容になります。	
プレフィックス※1	**▶付加したいプレフィックスの登録名を選択** 「プレフィックスを設定する」→P.55	
着もじ※1	「着もじを付けて電話をかける」→P.50	
国際電話発信※1	**■「＋」が付いている（国番号が付いている）場合※2** **▶国際アクセス番号を選択** 「＋」が、選択した国際アクセス番号に置き換わります。 **■「＋」が付いていない（国番号が付いていない）場合** **▶国番号を選択▶国際アクセス番号を選択** 選択した国番号と国際アクセス番号が付加されます。地域番号（市外局番）が「0」ではじまる場合は自動的に先頭の「0」が削除されます。 国際電話を発信するときの設定や登録を変更する→P.56	
マルチナンバー※1	「マルチナンバー」→P.315	
電話帳登録	「リダイヤルや発信履歴などから電話帳に登録する」→P.95	
電話帳参照	「リダイヤルや発信履歴などから電話帳を呼び出す」→P.99	
デスクトップ貼付	「デスクトップアイコンを利用する」→P.130	
iモードメール作成	「iモードメールを作成して送信する」→P.211	
SMS作成	「SMS（ショートメッセージ）を作成して送信する」→P.249	
送信アドレス一覧	送信アドレス一覧を表示します。	
通信速度設定※1	テレビ電話をかけるときの通信速度を「64K」または「32K」から選択します。	
テレビ電話画像選択	テレビ電話中に送信する画像を設定します。→P.84 「設定解除」を選択すると、自画像／キャラ電の設定を解除します。	
削除	リダイヤルまたは発信履歴を削除します。	
	1件削除	反転表示したリダイヤル、または発信履歴を削除します。
	選択削除	**▶[◎]で□（チェックボックス）を選択▶[✉]［完了］▶「YES」** 複数のリダイヤルまたは発信履歴を削除できます。
	全削除	**▶端末暗証番号を入力▶「YES」** リダイヤルと発信履歴をすべて削除します。

※１：詳細表示のときのみ利用可能な機能です。
※２：「＋81」が付いている（国番号が日本）場合は、「国際電話発信」を利用できません。

おしらせ

- ◆「iモードメール作成」は電話番号が電話帳に登録されていて、その電話帳にメールアドレスが登録されている場合、メールアドレスを宛先としたメールを作成します。電話帳に複数のメールアドレスが登録されている場合は、１番目のメールアドレスを宛先としたメールを作成します。
- ◆「全削除」を行うと、リダイヤルと発信履歴の両方がすべて削除されます。リダイヤルを「1件削除」、「選択削除」しても発信履歴からは削除されず、また発信履歴を「1件削除」、「選択削除」してもリダイヤルからは削除されず、履歴が残りますのでご注意ください。発信履歴を削除するときは発信履歴画面の機能メニューからリダイヤルを削除するときはリダイヤル画面の機能メニューから、削除してください。

■ 表示されるリダイヤル／発信履歴のアイコンについて

アイコン	説明	アイコン	説明
電話	音声電話の発信	INT'L 電話	国際テレビ電話の発信
INT'L 電話	国際電話の発信	パケット	パケット通信の発信
電話	テレビ電話の発信	64k	64Kデータ通信の発信

〈186／184〉

1回の通話ごとに発信者番号を通知／非通知にする

相手の電話機が発信者番号表示に対応している場合、音声電話やテレビ電話をかけたときにお客様の電話番号（発信者番号）を相手の電話機（ディスプレイ）へ表示させることができます。発信者番号はお客様の大切な情報ですので、通知する際には十分ご注意ください。

機能名	機能内容	参照ページ
発信者番号通知	電話をかけたときに、お客様の電話番号を通知するかどうかを一括して設定します。	P.44
「186」／「184」ダイヤル	電話をかけるたびに、お客様の電話番号を通知するかどうかを「186」／「184」をダイヤルして設定します。	P.53
発番号設定	電話をかけるたびに、お客様の電話番号を通知するかどうかを機能メニューから設定します。	P.47

相手の電話番号の前に「186」／「184」を付けてダイヤルする

電話をかけるたびに、電話番号を通知する場合は相手の電話番号の前に「186」を、通知しない場合は相手の電話番号の前に「184」をダイヤルします。

● 国際電話では、「186」／「184」を付けてダイヤルしても無効になりますので、機能メニューから「発番号設定」を選択してください。→P.47

■ 電話番号を通知する場合

音声電話　：186－［相手先の電話番号］－[☎]
テレビ電話：186－［相手先の電話番号］－[✉]［テレビ電話］

■ 電話番号を通知しない場合

音声電話　：184－［相手先の電話番号］－[☎]
テレビ電話：184－［相手先の電話番号］－[✉]［テレビ電話］

おしらせ

◆ 電話番号の通知をお願いするガイダンスが流れた場合は、「186」を付けてダイヤルし直すと通話できます。
◆「186」または「184」を付けて電話をかけたときは、リダイヤルや発信履歴に「186」または「184」を付けた電話番号で記憶されます。

プッシュ信号を手早く送り出す

FOMA端末からプッシュ信号を送信して、ポケットベルへのメッセージ送信やチケットの予約、銀行の残高照会などのサービスを利用できます。

ダイヤルデータをポーズダイヤルに登録する

プッシュ信号として送信するダイヤルデータをポーズダイヤルにあらかじめ登録します。ポーズ（p）を入力しておくと、ポーズが入力されている箇所でダイヤルデータを区切りながら送出できます。

- 登録できるダイヤルデータは1件、最大128文字まで入力できます。
- ダイヤルデータに登録できる文字は0～9、#、✱、ポーズ（p）です。
- ポーズ（p）をダイヤルデータの先頭に入力したり、連続して入力することはできません。

1 MENU ▶「各種設定」▶「発信」▶「ポーズダイヤル」

「ポーズダイヤル画面」が表示されます。

■ **すでにダイヤルデータが登録されている場合**

登録されているダイヤルデータが表示されます。

2 ✉［編集］▶ダイヤルデータを入力

0～9、#、✱を押してダイヤルデータを入力してください。

■ **ポーズ（p）を入力する場合**

▶✱（1秒以上）

ポーズダイヤル画面

機能メニュー➡P.54

ポーズダイヤル画面の機能メニュー

編集	▶ダイヤルデータを編集
ポーズダイヤル送信	▶送信先の電話番号を入力▶☎または◉ ☎または◉を押すたびに、ポーズ（p）までのダイヤルデータが送出されます。
削除	登録されているダイヤルデータを削除します。

ダイヤルデータをポーズダイヤルとして送信する

1 MENU ▶「各種設定」▶「発信」▶「ポーズダイヤル」

2 ◉▶送信先の電話番号をダイヤル

■ **電話番号の一部から電話帳を検索して入力する場合**

▶電話番号の一部をダイヤル▶◉を押して検索

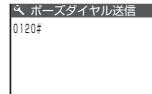
■ **電話番号以外から電話帳を検索して入力する場合**

▶◉▶電話帳検索画面から検索方法を選択して検索

■ **着信履歴やリダイヤルから検索して入力する場合**

▶◉▶着信履歴または◉を押してリダイヤルから検索

3 ☎または◉

入力した電話番号に電話がかかり、呼び出し中になると最初のポーズ（p）までのダイヤルデータが表示されます。ポーズ（p）は表示されません。

4 ☎または◉

☎または◉を押すたびに、ポーズ（p）までのダイヤルデータが送出されます。最後の番号を送り終えると通話中画面になります。

■ **ダイヤルデータをまとめて送出する場合**

▶◉（1秒以上）▶「一括送出」

相手によっては一括送出できない場合があります。

おしらせ

◆ 受信側の機器によっては、信号を受信できない場合があります。
◆ 音声通話中にポーズダイヤル画面を表示すると、通話中の相手にダイヤルデータを送信できます。
◆ テレビ電話中は、ポーズダイヤルを送信できません。

〈プレフィックス設定〉

プレフィックスを設定する

お買い上げ時
WORLD CALL（009130010）

よく使用する特定の番号（プレフィックス）をあらかじめ設定します。設定した番号は「ダイヤル入力」、「電話帳」、「着信履歴」、「発信履歴」、「リダイヤル」で電話をかけるときに電話番号の前に付けてダイヤルできます。「発信者番号通知」などの番号を設定しておくと便利です。

● プレフィックスは7件まで登録できます。
● 番号に登録できる文字は0～9、#、＊、＋です。

プレフィックス設定画面

機能メニュー➡P.55

1 MENU ▶「各種設定」▶「発信」▶「プレフィックス設定」

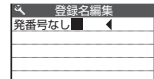
「プレフィックス設定画面」が表示されます。

2 「＜未登録＞」を反転表示して ✉［編集］

■ **すでに登録されている項目の内容を変更する場合**
▶変更したい項目を反転表示して ✉［編集］

■ **すでに登録されている項目の内容を確認する場合**
▶確認したい項目を選択

3 登録名を入力

登録名は全角で8文字、半角で16文字まで入力できます。

4 番号（プレフィックス）を入力

番号は10桁まで入力できます。

プレフィックス設定画面の機能メニュー

編集	プレフィックスを編集します。
1件削除	反転表示したプレフィックスを削除します。
全削除	▶**端末暗証番号を入力**▶「**YES**」 プレフィックスをすべて削除します。

〈WORLD CALL〉

国際電話を利用する

お申し込み：不要
月額使用料：無料

WORLD CALLはドコモの携帯電話からご利用いただける国際電話サービスです。
FOMAサービスをご契約のお客様はご契約時にあわせて「WORLD CALL」もご契約いただいています（ただし、不要のお申し出をされた方を除きます）。
※一部ご利用になれない料金プランがあります。

● 通話先は世界約240の国と地域です。
● 「WORLD CALL」の料金は毎月のFOMAの通話料金と合わせてご請求いたします。
● 国際電話をかけるには電話番号を直接ダイヤルしてかける方法以外に、「+」を利用してかけたり、電話番号入力画面、リダイヤル／発信履歴画面、着信履歴画面、電話帳詳細画面の各機能メニューから「国際電話発信」や「プレフィックス」を選択してかけることができます。

国際電話ダイヤル手順の変更について

携帯電話などの移動体通信は、「マイライン」サービスの対象外であるため、WORLD CALLについても「マイライン」サービスをご利用いただけませんが、「マイライン」サービスの導入に伴い携帯電話などから国際電話をご利用になる場合のダイヤル手順が変更となりました。従来のダイヤル手順（下記ダイヤル手順から「010」を除いたもの）ではご利用いただけませんので、ご注意ください。

WORLD CALLについてのご不明な点は、取扱説明書裏面の総合お問い合わせ先をご覧になりお問い合わせください。

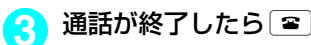
海外の特定3G携帯端末をご利用のお客様に対し、下記ダイヤル方法の後に[✉][TV電話]で発信すれば「国際テレビ電話」がご利用いただけます。
- 接続可能な国および通信事業者などの情報についてはドコモのホームページをご覧ください。
- 国際テレビ電話の接続先の端末により、FOMA端末に表示される相手側の画像が乱れたり、接続できない場合があります。

電話番号をダイヤルして国際電話をかける

1 009130→010→国番号→地域番号（市外局番）→相手先電話番号の順にダイヤル

地域番号（市外局番）が「0」ではじまる場合には、「0」を除いてダイヤルしてください。ただし、イタリアの一般電話などにおかけになる場合は「0」が必要です。

2 [☎]

国際電話がかかります。

3 通話が終了したら[☎]

「＋」を利用して国際電話をかける

「＋」を利用すれば、009130-010などの国際アクセス番号をダイヤルすることなく、国際電話をかけることができます。
- お買い上げ時は「国際ダイヤル設定」の「自動付加設定」が「自動付加」に設定されているため、国際アクセス番号が自動的にダイヤルされます。

1 待受画面表示中に、＋（[0]（1秒以上））→国番号→地域番号（市外局番）→相手先電話番号の順にダイヤル

地域番号（市外局番）が「0」ではじまる場合には、「0」を除いてダイヤルしてください。ただし、イタリアなど一部の国・地域におかけになるときは「0」が必要な場合があります。

2 [☎]▶「発信」

国際電話がかかります。

■「＋」を国際アクセス番号に変換しないでかける場合

▶「元の番号で発信」

※ 本端末ではご利用になれません。

■ 電話をかけるのをやめる場合

▶「中止」

国際電話の発信を簡単な操作でできるようにする〈国際ダイヤル設定〉

お買い上げ時	自動付加設定：自動付加 国際電話設定：「WORLD CALL」（009130010）　国番号設定：「アメリカ」（国番号：1）

国際電話を発信するときの設定内容を変更したり、国番号を登録することができます。設定できる項目は以下のとおりです。

自動付加設定	国内から国際電話をかけるときには、入力した「＋」を本機能で設定した国際アクセス番号に自動的に置き換えます。
国際電話設定	国際電話をかけるときに使用する国際アクセス名と国際アクセス番号を登録します。
国番号設定	国際電話をかけるときに使用する国名と国番号を登録します。

●「＋」の自動変換について設定する

国際電話をかけるときの「＋」の自動変換について設定します。

1 MENU▶「各種設定」▶「発信」▶「国際ダイヤル設定」▶「自動付加設定」▶「自動付加」

■ 自動変換しない場合
▶「付加なし」

2 国際アクセス名を選択

● 国際アクセス番号を登録する

10桁までの国際アクセス番号を3件まで登録できます。

国際電話設定画面

機能メニュー➡P.57

1 MENU▶「各種設定」▶「発信」▶「国際ダイヤル設定」▶「国際電話設定」

「国際電話設定画面」が表示されます。

2 「＜未登録＞」を反転表示して✉［編集］

■ すでに登録されている項目を変更する場合
▶変更したい項目を反転表示して✉［編集］

3 国際アクセス名を入力▶国際アクセス番号を入力

国際電話設定画面の機能メニュー

編集	国際アクセス番号を編集します。
1件削除	反転表示した国際アクセス番号を削除します。
全削除	▶**端末暗証番号を入力**▶**「YES」** 登録されている国際アクセス番号をすべて削除します。

おしらせ

◆「自動付加設定」で設定されている国際アクセス番号は削除できません。また、「自動付加設定」が「自動付加」に設定されている場合は、全削除も行えません。

● 国番号を登録する

3件までの国番号を登録できます。国番号についてはドコモのホームページをご覧ください。

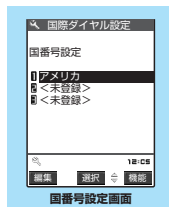
国番号設定画面

機能メニュー➡P.57

1 MENU▶「各種設定」▶「発信」▶「国際ダイヤル設定」▶「国番号設定」

「国番号設定画面」が表示されます。

2 「＜未登録＞」を反転表示して✉［編集］

3 国名称を入力▶国番号を入力

国番号設定画面の機能メニュー

編集	国番号を編集します。
1件削除	反転表示した国番号設定を削除します。
全削除	▶**端末暗証番号を入力**▶**「YES」** 登録されている国番号設定をすべて削除します。

〈サブアドレス設定〉

サブアドレスを指定して電話をかける

お買い上げ時 ON

電話番号に含まれる「＊」を区切り文字とし、「＊」以降をサブアドレスとして認識するように設定できます。サブアドレスはISDNで特定の通信機器へ指定着信するときや「Vライブ」でコンテンツを選択するときなどに利用します。

 MENU ▶「各種設定」▶「発信」▶「サブアドレス設定」▶「ON」

■ サブアドレス設定を無効にする場合
▶「OFF」

おしらせ

◆ 以下のような場合、「＊」はサブアドレスの区切り文字にはなりません。「＊」も含めて普通の電話番号として認識されます。
- 電話番号の先頭に「＊」がある場合
- 電話番号の先頭に「186／184」があり、その直後に「＊」がある場合
- 「プレフィックス」で入力した番号の直後に「＊」がある場合
- 電話番号内に「＊590#／＊591#／＊592#」がある場合

〈再接続機能〉 MENU77

再接続するときのアラームを設定する

お買い上げ時 アラーム高音

FOMA端末は音声通話中、テレビ電話中に電波の状態が悪くなって通話が途切れても、すぐに電波の状態がよくなった場合には自動的に通話を再接続します。本機能では通話を再接続しているときのアラームの鳴りかたを設定できます。

● ご利用状態や電波の状態により、再接続が可能な時間は異なります。約10秒間が目安です。

 MENU ▶「各種設定」▶「通話」▶「再接続機能」▶「アラームなし」、「アラーム高音」または「アラーム低音」

おしらせ

◆ 急に電波の状態が悪くなった場合は、アラームが鳴らずに通話が切れてしまうことがあります。
◆ 再接続されるまでの間（最長約10秒間）も通話料金がかかります。
◆ 電波が途切れている間、相手は無音状態となります。

〈ノイズキャンセラ〉 MENU76

周囲の騒音を抑えて通話を明瞭にする

お買い上げ時 ON

ノイズキャンセラとは、周囲の騒音を抑える機能です。周囲に騒音がある場所でも、音声通話やテレビ電話においての声を相手に聞きやすくすることができます。

 MENU ▶「各種設定」▶「通話」▶「ノイズキャンセラ」▶「ON」

■ ノイズキャンセラを使わない場合
▶「OFF」

〈ハンズフリー〉

ハンズフリーを利用する

通話中にハンズフリーに切り替える

通話中にハンズフリーに切り替えて、通話中の相手の音声をスピーカから流して通話できます。

例：音声電話

1 「通話中画面」(P.46)▶[✉][🔈→ON]

音声電話の場合は、呼出中に[✉][🔈→ON]を押してもハンズフリーに切り替えることができます。

ハンズフリー通話中は「🔈」が表示され、相手の音声がスピーカから流れます。

■ ハンズフリーを解除する場合

▶ハンズフリー通話中に[✉][🔈→OFF]

ハンズフリーはOFFになり、音声電話の場合は「🔈」が消えます。テレビ電話の場合は「🔈」が「🔈」に変わります。

● ハンズフリーを利用するときは

ハンズフリー通話では、FOMA端末から約30cm程度離して使用することを推奨します。これより離れたり近づきすぎたりすると、相手側で聞き取り難い場合や、音声の聞こえかたが変わることがあります。

おしらせ

◆ ハンズフリーに設定すると相手の音声が周囲にもれますので、ほかの人の迷惑にならないような場所へ移動してからハンズフリーに切り替えてください。
◆ 通話が終了すると、ハンズフリーの設定は解除されます。

〈車載ハンズフリー〉

車の中で手を使わずに話す

FOMA端末を車載ハンズフリーキット01（別売）やカーナビなどのハンズフリー対応機器と接続することにより、ハンズフリー対応機器から音声電話の発着信などの操作ができます。
ハンズフリー対応機器の操作については、各ハンズフリー対応機器の取扱説明書をご覧ください。なお、車載ハンズフリーキット01（別売）をご利用時には、FOMA車載ハンズフリー接続ケーブル01（別売）が必要です。

おしらせ

◆ 着信時のディスプレイ表示や着信音などの動作は、FOMA端末の設定に従います。
◆ ハンズフリー対応機器を接続し、ハンズフリー対応機器から音を鳴らす設定にしている場合、FOMA端末でマナーモード設定中や着信音量を「消去」に設定中でも、音声電話／テレビ電話やメールなどの着信時にはハンズフリー対応機器から着信音が鳴ります。
◆ 公共モード（ドライブモード）設定中の着信動作は、「公共モード（ドライブモード）」の設定に従います。
◆ 伝言メモ設定中の着信動作は、「伝言メモ」の設定に従います。
◆ ハンズフリー対応機器から電話帳やリダイヤルを利用してテレビ電話をかけた場合、通信速度はハンズフリー対応機器の設定に従います。設定されていない場合、通信速度は「64K」になります。
◆ ハンズフリー対応機器を接続し、FOMA端末から音を鳴らす設定にしている場合、通話中にFOMA端末を折り畳んだときの動作は、「クローズ動作設定」の設定に従います。ハンズフリー対応機器から音を鳴らす設定にしている場合、「クローズ動作設定」の設定にかかわらず、FOMA端末を折り畳んでも通話状態は変化しません。

電話を受ける

1 電話がかかってきたら[電話]または[●]

電話がかかってくると着信音が鳴り、着信ランプが点滅し、「着信中画面」が表示されます。
「バイブレータ」の「電話」を「OFF」以外に設定している場合は、振動でもお知らせします。

■ 着もじが付いた着信の場合

着信中画面に着もじが表示されます。あらかじめ用件などを確認することができます。→P.49

2 通話が終了したら[終話]

着信中画面

機能メニュー➡P.60

着信中画面（着もじ付き）

着信中画面の機能メニュー

着信拒否	電話を受けないで着信をそのまま切ります。
転送でんわ	電話を転送します。 「転送でんわサービス」の「開始／停止」にかかわらず転送先に接続します。 「転送でんわサービス」→P.311
留守番電話	電話を留守番電話サービスセンターへ接続します。 「留守番電話サービス」の「開始／停止」にかかわらず留守番電話サービスセンターへ接続します。 「留守番電話サービス」→P.308
表示切替	付加番号１または付加番号２から転送元番号に表示を切り替えます。 マルチナンバー（付加番号１または付加番号２）着信で、かつ転送でんわ着信のときに選択できます。 「マルチナンバー」→P.315

おしらせ

- ◆ [電話]、[●]以外に[0]～[9]、[＊]、[CLR]、[方向]、[メール]、[⮌]のいずれかのボタンを押しても電話を受けるように設定できます（エニーキーアンサー）。ただし、FOMA端末を閉じた状態で[⮌]を押したときには、通話中保留の状態になります。その際「クローズ動作設定」を「保留」に設定していると保留音が流れますが、「ミュート」または「終話」に設定していると保留音は流れません。
また、ボタンを押すと着信音のみがとまるように設定することもできます（クイックサイレント）。
- ◆ 着信中に[＃]または[MEMO/CHECK]を押すと、「伝言メモ」へ移り、相手の用件を録音できます（[＃]を押した場合は、同時にマナーモードに設定されます）。→P.73
- ◆ 電話帳に登録されている相手から電話番号が通知されて電話がかかってきたときは、電話番号と相手の名前が表示されます。また、電話帳に画像が登録されている場合は、その画像が表示されます。ただし、シークレットデータとして登録されている場合は名前や画像は表示されず、電話番号のみが表示されます。また、電話番号を通知してこない相手の場合は、その理由（発信者番号非通知理由）が表示されます。
- ◆ 同じ電話番号を異なる名前で複数の電話帳に登録している場合、電話がかかってきたときは、電話帳のフリガナの検索順に従って電話帳の名前が表示されます。→P.98
- ◆ 電話の着信は「着信履歴」に30件まで記憶されます。相手が電話番号を通知してきた場合は、相手の電話番号が表示されます。また、電話番号を通知してきた相手が電話帳に登録されている場合は、電話番号と名前が表示されます。
- ◆「通話中着信設定」を有効にし、「着信動作選択」を「通常着信」に設定すると、通話中に別の電話がかかってきたときに「ププ…ププ…」という通話中着信音が鳴り、以下の動作が可能です。
  - ・「留守番電話サービス」をご契約されている場合は、留守番電話サービスセンターへ転送できます。
  - ・「転送でんわサービス」をご契約されている場合は、転送先へ転送できます。

  さらに、「キャッチホン」をご契約いただき、「着信動作選択」を「通常着信」に、「キャッチホン」を「開始」に設定すると、通話中の電話を保留にし、かかってきた電話に応答することもできます。詳しくはP.310を参照してください。
- ◆「公共モード（ドライブモード）」に設定中は、着信音は鳴らず、着信ランプも点滅しません。着信は不在着信として着信履歴に残ります。
- ◆ 電話帳に登録されていない相手からの電話を受けないように設定できます。→P.157
- ◆ 電話帳に登録されていない電話番号から着信があった場合、着信があった時点から呼出動作を開始する（着信を知らせる）までの時間を設定できます。→P.157
- ◆ 電話帳の電話番号に「指定着信拒否」を設定した場合、その電話番号からの着信は受けることはできません。また、電話帳の電話番号に「指定着信許可」を設定した場合、その電話番号以外の着信は受けることはできません。→P.154
- ◆ ハンズフリーを利用して通話することができます。→P.59

音声電話からテレビ電話に切り替えて電話を受ける

相手からかかってきた音声通話中、相手が操作を行うことによりテレビ電話に切り替わります。

● 切り替え操作は、音声電話を発信した側からのみ行うことができます。着信した側からは、切り替え操作を行うことができません（音声⇔テレビ電話切り替え対応端末どうしでご利用いただけます）。
● 発信側が切り替え操作を行うには、あらかじめ着信側が「テレビ電話切替通知」を「切替機能通知開始」に設定しておく必要があります。→P.87

1 「通話中画面」（P.46）▶相手側がテレビ電話切替操作を行う▶「YES」

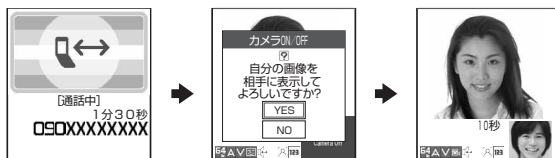
音声電話からテレビ電話に切り替えている間は、音声ガイダンスが流れます。
テレビ電話に切り替わり、自画像が相手側に送信されます。

■ 相手側に代替画像を送信する場合

▶「NO」

設定している代替画像が送信されます。

➡

➡

おしらせ

◆ 切り替え前のハンズフリーの状態にかかわらず、切り替えたときのハンズフリーのON／OFFは、「ハンズフリー切替」の設定に従います。→P.86

〈着信アンサー設定〉 MENU58

ダイヤルボタンを押して電話に出られるようにする

お買い上げ時 エニーキーアンサー

音声電話やテレビ電話の着信があったとき、すぐに着信音をとめたり、着信に応答するように設定します。周囲に迷惑がかかるような場所で着信があった場合などに便利です。

1 MENU▶「各種設定」▶「着信」▶「着信アンサー設定」▶以下の項目から選択

エニーキーアンサー	音声電話がかかってきたとき、[発信]、[●]以外にも[0]～[9]、[*]、[CLR]、[方向キー]、[メール]、[⮌]のいずれかのボタンを押すと、すぐに電話に出ることができます。FOMA端末を閉じた状態で[⮌]を押すと通話中保留になります。※ テレビ電話の場合は無効になります。
クイックサイレント	音声電話やテレビ電話がかかってきたとき、[0]～[9]、[*]、[CLR]、[方向キー]、[⮌]のいずれかのボタンを押すかFOMA端末を開くと、着信音およびバイブレータがとまります。着信音をとめても相手には呼び出し音が鳴ったままです。音声電話のときに[メール]を押しても、着信音およびバイブレータがとまります。 音声電話の場合は、[発信]または[●]を押すと電話に出ることができます。テレビ電話の場合は、[メール][テレビ電話]または[発信]を押すとカメラ映像で、[●]を押すと代替画像で電話に出ることができます。
OFF	音声電話がかかってきた場合は、[発信]または[●]を押したときのみ電話に出ることができます。テレビ電話がかかってきた場合は、[メール][テレビ電話]、[発信]、[●]のいずれかのボタンを押したときのみ電話に出ることができます（[●]を押したときは代替画像でテレビ電話に出ます）。

※：「クローズ動作設定」を「保留」に設定していると保留音が流れますが、「ミュート」または「終話」に設定していると保留音は流れません。

おしらせ

◆「クイックサイレント」に設定していても、「マナーモード」設定中は「エニーキーアンサー」として機能します。
◆「エニーキーアンサー」や「クイックサイレント」に設定中でも、[5]を1秒以上押したり（バックライトのON／OFF切り替え）、[8]を1秒以上押した（プライバシーアングルのON／OFF切り替え）場合は、「エニーキーアンサー」や「クイックサイレント」は働きません。
◆ 平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）を接続しているときは、「着信アンサー設定」の設定にかかわらず、平型スイッチ付イヤホンマイクのスイッチを押しても音声電話、テレビ電話（自画像応答）に応答することができます。
◆「外部ボタン操作」を「閉じた時無効」に設定している場合、FOMA端末を閉じている状態では[⮌]を押しても、「エニーキーアンサー」や「クイックサイレント」は働きません。
◆ 着信中に[MEMO/CHECK]、[#]を押すと伝言メモを起動して用件を録音／録画することができます。→P.73

〈クローズ動作設定〉 MENU18

FOMA端末を折り畳んで通話を終了／保留する

お買い上げ時 終話

音声通話中やテレビ電話中にFOMA端末を折り畳んだときの動作を設定できます。

MENU ▶「各種設定」▶「通話」▶「クローズ動作設定」▶以下の項目から選択

ミュート	音声電話の場合、音声をミュート（消音）します。テレビ電話の場合、音声をミュートして相手側に「代替画像」を送信します。保留音は流れません。FOMA端末を開くと閉じる前の状態に戻ります。※	
保留	通話を保留（通話中保留）にします。また、自分のFOMA端末のスピーカからも保留音を流す／流さないを設定できます。音声電話の場合、折り畳んでいる間相手に「保留音設定」で設定した保留音が流れます。テレビ電話の場合、「保留音設定」で設定した保留音が流れ、相手側に通話中保留画像を送信します。→P.66、P.84 FOMA端末を開くと閉じる前の状態に戻ります。※	
	スピーカ鳴動する	相手に保留音が流れ、スピーカからも保留音が流れます。
	スピーカ鳴動しない	相手にのみ保留音が流れます。
終話	通話を終了します。[☎]を押す操作と同じです。	

※：通話中保留の状態から閉じて再度開いた場合は、音声電話のときは通話中の状態になり、テレビ電話のときは保留の状態を保持します。

おしらせ

- ◆ マナーモード設定中は「スピーカ鳴動する」を選択していてもスピーカから音は鳴りません。
- ◆ 平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）を接続している場合、本機能は無効になり、FOMA端末を折り畳んでも通話状態は変化しません。ただし、カメラ映像でテレビ電話を使用している場合は、FOMA端末を折り畳むと代替画像に切り替わります。
- ◆「保留」に設定していても、「キャッチホン」で切り替え通話しているときにFOMA端末を折り畳むと「ミュート」の動作になります。

〈着信履歴〉 MENU24

着信履歴を利用する

かかってきた相手の電話番号や日付・時刻などの情報は着信履歴として記憶されます。

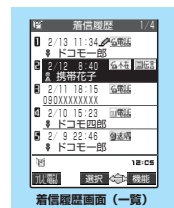
- 着信履歴は音声電話、テレビ電話の履歴を30件、パケット通信と64Kデータ通信の履歴を30件まで記憶できます。
- 履歴が最大件数を超えた場合は、古い履歴から順に上書きされます。
- テレビ電話中は、着信履歴を表示できません。
- 通話中に音声電話とテレビ電話を切り替えた場合、最初に着信した電話の履歴が記憶されます。

1 MENU ▶「ユーザデータ」▶「着信履歴」▶以下の項目から選択

全着信 （件数を表示）	すべての着信履歴を表示します。
不在着信 （件数を表示）	不在着信履歴のみを表示します。

未確認件数：確認していない不在着信の件数を表示します。

2 着信履歴の一覧を確認

「着信履歴画面（一覧）」が表示されます。

着信履歴画面（一覧）

機能メニュー➡P.64

❸ 詳細を確認したい着信履歴を選択

「着信履歴画面（詳細）」が表示されます。
画面右上には「現在の履歴番号／全体の履歴の件数」が表示されます。番号が若いほど、最近かかってきた電話番号となります。

■ **前後の着信履歴を確認する場合**

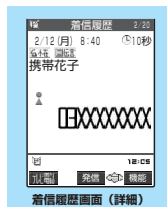
上を押すと前（新しい）の履歴に、下を押すと次（古い）の履歴に切り替わります。

■ **電話帳に登録した電話番号の場合**

電話帳に登録された名前も一緒に表示されます。

着信履歴画面（詳細）

機能メニュー➡P.64

❹

■ **テレビ電話をかける場合**

▶ ［テレビ電話］

❺ 通話が終了したら

おしらせ

- ◆ 電源を切っても、着信履歴は削除されません。着信した電話番号をほかの人に見られたくないときは、着信履歴を削除するか、「オリジナルロック」の「着信履歴」をロックしてください。
- ◆「呼出時間表示設定」の「時間内不在着信表示」を「表示しない」に設定しているとき、「無音時間設定」で設定した時間より呼出時間が短い着信を受けた場合は、着信履歴に表示されません。→P.157
- ◆ 着信履歴は待受画面で を押しても呼び出すことができます。
- ◆ 待受画面で を押して を押すと最新の着信履歴に音声電話をかけることができます。
- ◆ マルチナンバー（付加番号1または付加番号2）着信の場合、着信履歴画面（詳細）に、付加番号1または付加番号2の登録名が表示されます。
- ◆ 相手がダイヤルインを利用している場合、ダイヤルイン番号とは異なった番号が表示されることがあります。
- ◆ 電話番号を通知してきた電話番号が電話帳に登録されている場合は電話番号と名前が、電話番号を通知してこなかった場合は非通知理由（P.156）が着信履歴に表示されます。ただし、電話帳に登録されている電話番号を通知してきても、「指定発信制限」設定中の場合は「指定発信制限」に設定されている電話番号のときのみ電話番号と名前を表示します。設定されていない電話番号の場合は電話番号のみが表示されます。
- ◆ 同じ電話番号を異なる名前で複数の電話帳に登録している場合、着信履歴には、電話帳のフリガナの検索順に従って電話帳の名前が表示されます。→P.98

■ 表示される着信履歴／不在着信履歴のアイコンについて

アイコン	説明	アイコン	説明
電話／不在／不在	音声電話の着信／不在着信／未確認の不在着信	INT'L 電話／INT'L 不在／INT'L 不在	国際テレビ電話の着信／不在着信／未確認の不在着信
INT'L 電話／INT'L 不在／INT'L 不在	国際音声電話の着信／不在着信／未確認の不在着信	パケット／不在／不在	パケット通信の着信／不在着信／未確認の不在着信
電話／不在／不在	テレビ電話の着信／不在着信／未確認の不在着信	64k／不在／不在	64Kデータ通信の着信／不在着信／未確認の不在着信
伝言／伝言	音声伝言メモ／テレビ電話伝言メモに用件が録音／録画されている	接続ナシ	外部機器が接続されていないときに受けたパケット通信や64Kデータ通信の着信
遠隔	遠隔監視の着信		着もじの付いた着信

着信履歴画面の機能メニュー

● 着信履歴画面の機能メニュー表示は、一覧表示のときと詳細表示のときで同じです。

<table>
<tr><td>発番号設定※1</td><td colspan="2">相手に電話番号を通知するかどうかを「通知しない」または「通知する」から選択します。
■「発番号設定」の「通知しない」／「通知する」を解除する場合
▶「発番号設定消去」
「発番号設定消去」を選択すると「発信者番号通知設定」（P.44）で設定した内容になります。</td></tr>
<tr><td>プレフィックス※1</td><td colspan="2">▶付加したいプレフィックスの登録名を選択
「プレフィックスを設定する」→P.55</td></tr>
<tr><td>着もじ※1</td><td colspan="2">「着もじを付けて電話をかける」→P.50</td></tr>
<tr><td>国際電話発信※1</td><td colspan="2">■「+」が付いている（国番号が付いている）場合※2
▶国際アクセス番号を選択
「+」が、選択した国際アクセス番号に置き換わります。
■「+」が付いていない（国番号が付いていない）場合
▶国番号を選択▶国際アクセス番号を選択
選択した国番号と国際アクセス番号が付加されます。地域番号（市外局番）が「0」ではじまる場合は自動的に先頭の「0」が削除されます。
国際電話を発信するときの設定や登録を変更する→P.56</td></tr>
<tr><td>マルチナンバー※1</td><td colspan="2">「マルチナンバー」→P.315</td></tr>
<tr><td>呼出時間表示</td><td colspan="2">不在着信履歴が表示され、呼出時間が表示されます。着信履歴画面（一覧）表示中のみ有効です。</td></tr>
<tr><td>電話帳登録</td><td colspan="2">「リダイヤルや発信履歴などから電話帳に登録する」→P.95</td></tr>
<tr><td>電話帳参照</td><td colspan="2">「リダイヤルや発信履歴などから電話帳を呼び出す」→P.99</td></tr>
<tr><td>デスクトップ貼付</td><td colspan="2">「デスクトップアイコンを利用する」→P.130</td></tr>
<tr><td>ｉモードメール作成</td><td colspan="2">「ｉモードメールを作成して送信する」→P.211</td></tr>
<tr><td>SMS作成</td><td colspan="2">「SMS（ショートメッセージ）を作成して送信する」→P.249</td></tr>
<tr><td>受信アドレス一覧</td><td colspan="2">受信アドレス一覧を表示します。</td></tr>
<tr><td>通信速度設定※1</td><td colspan="2">テレビ電話をかけるときの通信速度を「64K」または「32K」から選択します。</td></tr>
<tr><td>テレビ電話画像選択</td><td colspan="2">テレビ電話中に送信する画像を設定します。→P.84
「設定解除」を選択すると、自画像／キャラ電の設定を解除します。</td></tr>
<tr><td rowspan="4">削除</td><td colspan="2">着信履歴を削除します。</td></tr>
<tr><td>1件削除</td><td>反転表示した着信履歴を削除します。</td></tr>
<tr><td>選択削除</td><td>▶で□（チェックボックス）を選択▶［完了］▶「YES」
複数の着信履歴を削除できます。</td></tr>
<tr><td>全削除</td><td>▶端末暗証番号を入力▶「YES」
着信履歴をすべて削除します。</td></tr>
</table>

※1：詳細表示のときのみ利用可能な機能です。
※2：「+81」が付いている（国番号が日本）場合は、「国際電話発信」を利用できません。

おしらせ

◆ パケット通信および64Kデータ通信の着信履歴から電話帳に登録したり、新規メールを作成することはできません。

〈受話音量〉

相手の声の音量を調節する

お買い上げ時
レベル4

通話中の相手の声の大きさを「レベル1」(最小)~「レベル6」(最大)の6段階で調節できます。

● 通話中や待受中に調節した音量は調節、通話が終わっても設定は保持されます。

通話中に相手の声の音量を調節する

＜例:音声通話中の場合＞

1 通話中▶[↩]または[MEMO/CHECK]で音量を調節

または を1秒以上押しても同じように調節できます。受話音量調節中に[↩]または[MEMO/CHECK]を1秒以上押すと音量を連続で調節できます。
受話音量画面の表示中に2秒以上操作がなければ、調節を終了し、通話中の画面に戻ります。

おしらせ

◆ テレビ電話中やハンズフリーのときも調節できます。
◆ テレビ電話中は、 または を押して調節します。受話音量調節中に[↩]または[MEMO/CHECK]を1秒以上押しても音量を連続的に調節できません。

待受中に相手の声の音量を調節する

1 待受画面表示中▶ または (1秒以上)▶ または で音量を調節

または を1秒以上押すと音量を連続的に調節できます。
受話音量画面の表示中に2秒以上操作がなければ、調節を終了し、待受画面に戻ります。

〈着信音量〉 MENU50

着信音の音量を調節する

お買い上げ時
すべてレベル4

音声電話、テレビ電話の着信があったときや、メールやチャットメール、メッセージR/Fを受信したときの着信音の大きさをそれぞれ6段階で調節できます。また、着信音を消したり、次第に音量を大きくする(ステップトーン)こともできます。

1 MENU▶「各種設定」▶「着信」▶「着信音量」▶以下の項目から選択

電話	音声電話、64Kデータ通信などの着信音量を調節します。
テレビ電話	テレビ電話の着信音量を調節します。
メール	iモードメールやSMS、パケット通信の着信音量を調節します。
チャットメール	チャットメールの着信音量を調節します。
メッセージR	メッセージRの着信音量を調節します。
メッセージF	メッセージFの着信音量を調節します。

2 または ▶

■ **ステップトーン(次第に音を大きくする)に設定する場合**

▶「レベル6」のときに

「ステップ」に設定しているときに着信すると、3秒ごとに無音、「レベル1」~「レベル6」の順で着信音量が大きくなります。

■ **着信音を消すように設定する場合**

▶「レベル1」のときに

消去に設定すると、着信音が鳴らなくなります。
待受画面のアイコンで、「消去」に設定されている項目が確認できます。

:「電話」、「テレビ電話」を1つ以上「消去」に設定したことを示します。

:「メール」、「チャットメール」、「メッセージR」、「メッセージF」を1つ以上「消去」に設定したことを示します。

:「 」と「 」の両方を設定したことを示します。

次ページにつづく

おしらせ

◆ 本機能で設定した「電話」の着信音量は、音声電話の「着信音選択」、「スケジュール」や「To Doリスト」のアラーム音などに反映されます。

〈応答保留〉

すぐに電話に出られないときに保留にする

音声電話やテレビ電話の着信中、すぐに電話に出られないときは、応答保留にして相手にしばらく待ってもらうことができます。

［応答保留中］

1 着信中▶☎

「ピッピッピッ」という音が鳴り、応答保留の状態になります。
相手には現在応答できないとのガイダンスが流れ、電話がつながった状態のまま保留されます。
応答保留中に流れるガイダンスは「保留音設定」で設定できます。

■ 応答保留中に電話を切る場合

▶☎

■ 応答保留中に相手が電話を切った場合

通話が切れます。

2 電話に出られるようになったら☎または●

「着信アンサー設定」を「エニーキーアンサー」に設定している場合はさらに0～9、＊、CLR、○、✉、◯[↩]を押しても電話に出ることができます。また、◯[MEMO/CHECK]、＃、iを押しても電話に出ることができます。

テレビ電話の場合→P.81

おしらせ

◆ 応答保留中でも、相手に通話料金がかかります。

◆「着信音量」の「電話」、「テレビ電話」を「消去」に設定している場合やマナーモード設定中は、応答保留にしたときの「ピッピッピッ」という音は鳴りません。ただし、「マナーモード選択」で「オリジナルマナー」を選択し、オリジナルマナーの設定で「電話着信音量」を「消去」以外にしている場合は音が鳴ります。

◆「留守番電話サービス」や「転送でんわサービス」をご契約されている場合は、着信中に機能メニューから「留守番電話」または「転送でんわ」を選択すると、留守番電話サービスセンターへの接続や転送先への転送ができます。

〈保留音設定〉

保留音を設定する

お買い上げ時	応答保留音：応答保留音１　通話中保留音：エリーゼのために

音声電話やテレビ電話の応答を保留にしたときや、通話中の電話を保留したときに流れるガイダンスを設定できます。

1 MENU▶「各種設定」▶「通話」▶「保留音設定」▶以下の項目から選択

応答保留音	応答を保留にするときのガイダンスを設定します。	
	応答保留音１	以下のガイダンスが流れます。 「ただいま電話に出ることができません。そのままお待ちになるかしばらくたってからおかけ直しください」
	応答保留音２	以下のガイダンスが流れます。 「ただいま電話に出ることができません。しばらくたってからおかけ直しください」
	おしゃべり１※	「おしゃべり機能」で録音した内容が流れます。 「アラーム音や応答保留音を録音／再生する」→P.296
	おしゃべり２※	

通話中保留音	通話中の保留音を設定します。	
	エリーゼのために	「エリーゼのために」が流れます。
	メリーさんのヒツジ	「メリーさんのヒツジ」が流れます。
	交響曲第２５番ト短調	「交響曲第２５番ト短調」が流れます。
	おしゃべり１※	「おしゃべり機能」で録音した内容が流れます。 「アラーム音や応答保留音を録音／再生する」→P.296
	おしゃべり２※	

※： おしゃべりが録音されていないときは表示されません。

おしらせ

◆ ガイダンスの選択画面で［✉］［デモ］を押すと、選択しているガイダンスを確認することができます。
◆「バイリンガル」の設定を「English」に変更しても、「応答保留音１」または「応答保留音２」のガイダンスは日本語になります。

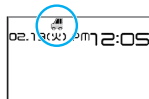
〈公共モード（ドライブモード）〉

公共モード（ドライブモード）を利用する

公共モードは、公共性の高い場所でのマナーを重視した自動応答サービスです。公共モードに設定すると、電話をかけてきた相手に運転中または通話を控える必要のあるような場所（電車、バス、映画館等）にいるため、電話に出られないことを通知するガイダンスが流れ、通話を終了します。

● 公共モードの設定／解除は、待受画面表示中のみできます（画面に「圏外」が表示されているときも可能です）。
● 公共モードを設定中でも電話をかけることができます。
● 本機能は、データ通信中はご利用できません。
● 番号通知お願いサービスを「開始」に設定中に「非通知設定」の着信をした場合、番号通知お願いガイダンスが流れます（公共モードのガイダンスは流れません）。

1 待受画面表示中▶［＊］（１秒以上）

公共モードに設定され、「🚗」が表示されます。
着信時に「ただいま運転中もしくは携帯電話の利用を控えなければならない場所にいるため、電話に出られません。のちほどおかけ直しください。」というガイダンスが流れます。

■ 公共モード（ドライブモード）を解除する場合
公共モードが設定されている状態で、待受画面表示中に［＊］（１秒以上）を押します。
公共モードが解除され、「🚗」の表示が消えます。

おしらせ

◆「伝言メモ」を「ON」に設定していても公共モードが優先され、「伝言メモ」は無効となります。
◆ マナーモード設定中の着信動作は、公共モードが優先されます。
◆ 公共モード設定中に緊急通報番号（110番、119番、118番）へ音声電話をかけると、公共モードが解除されます。
◆ 公共モード設定中には、以下の音が鳴りません。
- 音声電話／テレビ電話
- メッセージR/F着信音
- アラーム機能のアラーム音
- To Doリストのアラーム音
- 電池切れアラーム音
- パケット通信／64Kデータ通信着信音
- メール着信音
- チャットメール着信音
- スケジュールのアラーム音
- 通話料金通知のアラーム音
- 充電確認音

● 公共モード（ドライブモード）を設定すると

お客様のFOMA端末に音声電話、テレビ電話の着信があっても着信音は鳴りません。「着信履歴」には「不在着信履歴」として記憶され、「不在着信あり」のデスクトップアイコンが待受画面に表示されます。
● 音声電話をかけてきた相手には、運転中または携帯電話の利用を控えなければならない場所にいるため電話に出られないことを通知するガイダンスが流れ、通話を終了します。
● テレビ電話をかけてきた相手には、公共モードの映像ガイダンスを表示した後、通話を終了します。

おしらせ

◆ 公共モード設定中でも、電源が入っていない場合や画面に「圏外」が表示されている場合は、公共モードの通知はされずに「圏外」が表示されているときと同じガイダンスが流れます。
◆ メールを受信したときは「新着メールあり」のデスクトップアイコンが待受画面に表示されます。

● 各ネットワークサービスと公共モード（ドライブモード）設定中の着信動作

公共モードと各ネットワークサービスを同時に設定しているときに音声電話およびテレビ電話がかかってくると、以下のように動作します。

サービス名	音声電話を着信した場合	テレビ電話を着信した場合
留守番電話サービス	相手に公共モードのガイダンスを流した後、留守番電話サービスセンターへ接続します。※1	相手に公共モードの映像ガイダンスは表示されず、留守番電話サービスセンターに接続されます。
転送でんわサービス	• 相手に公共モードのガイダンスを流した後、転送先に転送します。※2 • 相手に流れる公共モードのガイダンスの有無は、転送でんわサービスの設定に従います。	相手に公共モードの映像ガイダンスは表示されず、かかってきたテレビ電話を転送先に転送します。※3
キャッチホン	相手に公共モードのガイダンスを流した後、通話を終了します。	相手に公共モードの映像ガイダンスを表示した後、通話を終了します。
迷惑電話ストップサービス	• 迷惑電話拒否登録されている電話番号の場合は、相手に接続できなかったことを通知するガイダンスを流した後、通話を終了します。 • それ以外の電話番号の場合は、相手に公共モードのガイダンスを流した後、通話を終了します。	• 迷惑電話拒否登録されている電話番号の場合は、相手に接続できなかったことを通知する映像ガイダンスを表示した後、通話を終了します。 • それ以外の電話番号の場合は、相手に公共モードの映像ガイダンスを表示した後、通話を終了します。
番号通知お願いサービス	• 相手が電話番号を通知していない場合は、相手に番号通知お願いのガイダンスを流した後、通話を終了します。 • 相手が電話番号を通知している場合は、相手に公共モードのガイダンスを流した後、通話を終了します。	• 相手が電話番号を通知していない場合は、相手に番号通知お願いの映像ガイダンスを表示した後、通話を終了します。 • 相手が電話番号を通知している場合は、相手に公共モードの映像ガイダンスを表示した後、通話を終了します。

※1：留守番電話サービスの呼出時間を0秒に設定している場合、公共モードのガイダンスは流れません。また、「着信履歴」には記憶されず、「不在着信あり」のデスクトップアイコンも表示されません。
※2：転送でんわサービスの呼出時間を0秒に設定している場合、公共モードのガイダンスは流れません。また、「着信履歴」には記憶されず、「不在着信あり」のデスクトップアイコンも表示されません。
※3：転送先を3G-324Mに準拠したテレビ電話に設定していないと接続されません。

〈公共モード（電源OFF）〉

公共モード（電源OFF）を利用する

公共モード（電源OFF）は、公共性の高い場所でのマナーを重視した自動応答サービスです。公共モード（電源OFF）に設定すると、電源を切っている場合の着信時に、電話をかけてきた相手に電源を切る必要がある場所（病院、飛行機、電車の優先席付近等）にいるため、電話に出られないことを通知するガイダンスが流れ、通話を終了します。

1 待受画面表示中▶[＊][2][5][2][5][1]▶[発信]

公共モード（電源OFF）が設定されます（待受画面上の変化はありません）。
公共モード（電源OFF）設定後、電源を切った際の着信時に「ただいま携帯電話の電源を切る必要がある場所にいるため、電話に出られません。のちほどおかけ直しください。」というガイダンスが流れます。

■ 公共モード（電源OFF）を解除する場合

▶待受画面表示中▶[＊][2][5][2][5][0]▶[発信]
公共モード（電源OFF）が解除されます。

■ 公共モード（電源OFF）の設定を確認する場合

▶待受画面表示中▶[＊][2][5][2][5][9]▶[発信]
公共モード（電源OFF）の設定状況を確認できます。

● 公共モード（電源OFF）を設定すると

「¥25250」をダイヤルして公共モード（電源OFF）を解除するまで設定は継続されます。電源を入れるだけでは設定は解除されません。
サービスエリア外または電波が届かないところにいる場合も、公共モード（電源OFF）ガイダンスが流れます。

● 音声電話をかけてきた相手には、電源を切る必要がある場所にいるため、電話に出られないことを通知するガイダンスが流れ、通話を終了します。
● テレビ電話をかけてきた相手には、公共モード（電源OFF）の映像ガイダンスを表示した後、通話を終了します。

● 各ネットワークサービスと公共モード（電源OFF）設定中の着信動作

公共モード（電源OFF）と各ネットワークサービスを同時に設定しているときに音声電話およびテレビ電話がかかってくると、以下のように動作します。

サービス名	音声電話を着信した場合	テレビ電話を着信した場合
留守番電話サービス	相手に公共モード（電源OFF）のガイダンスを流した後、留守番電話サービスセンターへ接続します。※1	相手に公共モード（電源OFF）の映像ガイダンスは表示されず、留守番電話サービスセンターに接続されます。
転送でんわサービス	・相手に公共モード（電源OFF）のガイダンスを流した後、転送先に転送します。※2 ・相手に流れる公共モード（電源OFF）のガイダンスの有無は、転送でんわサービスの設定に従います。	相手に公共モード（電源OFF）の映像ガイダンスは表示されず、かかってきたテレビ電話を転送先に転送します。※3
迷惑電話ストップサービス	・迷惑電話拒否登録されている電話番号の場合は、相手に接続できなかったことを通知するガイダンスを流した後、通話を終了します。 ・それ以外の電話番号の場合は、相手に公共モード（電源OFF）のガイダンスを流した後、通話を終了します。	・迷惑電話拒否登録されている電話番号の場合は、相手に接続できなかったことを通知する映像ガイダンスを表示した後、通話を終了します。 ・それ以外の電話番号の場合は、相手に公共モード（電源OFF）の映像ガイダンスを表示した後、通話を終了します。
番号通知お願いサービス	・相手が電話番号を通知していない場合は、相手に番号通知お願いのガイダンスを流した後、通話を終了します。 ・相手が電話番号を通知している場合は、相手に公共モード（電源OFF）のガイダンスを流した後、通話を終了します。	・相手が電話番号を通知していない場合は、相手に番号通知お願いの映像ガイダンスを表示した後、通話を終了します。 ・相手が電話番号を通知している場合は、相手に公共モード（電源OFF）の映像ガイダンスを表示した後、通話を終了します。

※1：留守番電話サービスの呼出時間を0秒に設定している場合、公共モードのガイダンスは流れません。また、「着信履歴」には記憶されず、「不在着信あり」のデスクトップアイコンも表示されません。
※2：転送でんわサービスの呼出時間を0秒に設定している場合、公共モードのガイダンスは流れません。また、「着信履歴」には記憶されず、「不在着信あり」のデスクトップアイコンも表示されません。
※3：転送先を3G-324Mに準拠したテレビ電話に設定していないと接続されません。

不在着信を確認する

お買い上げ時 ボイス

FOMA端末を折り畳んだままで[MEMO/CHECK]を押すと不在着信、新着メール、新着チャットメール、伝言メモ、留守番電話があるかどうかを音や振動、着信ランプの点灯／点滅で確認できます。

● 本機能は待受画面に「不在着信あり」や「新着メールあり」、「新着チャットメールあり」、「伝言メモあり」、「テレビ電話伝言メモあり」、「留守番電話あり」のデスクトップアイコンが表示されているときに「あり」としてお知らせします。→P.131

確認結果のお知らせのしかたを設定する

1 MENU▶「各種設定」▶「着信」▶「確認機能設定」▶以下の項目から選択

電子音	「ピピ、ピピ」などの電子音でお知らせします。
ボイス	声でお知らせします。
OFF	お知らせしません。

不在着信または新着メールや新着チャットメールがあるか確認する

確認動作は以下のとおりです。

確認機能設定	不在着信または新着メールや新着チャットメールがある場合		不在着信または新着メールや新着チャットメールがない場合	
	音と振動	着信ランプの色	音と振動	着信ランプの色
電子音	「ピピ、ピピ」という音が鳴り、約1秒間振動します。※1	「着信イルミネーション」の「電話」、「メール」、「チャットメール」でそれぞれ設定されている色が約5秒間点灯します。 不在着信、新着メール、新着チャットメールがあるときは、それぞれの色※2が1秒ずつ点滅します。	「ピピピ」という音が鳴り、約0.2秒間振動します。※1	着信ランプが「色12」で約5秒間点滅します。
ボイス	「ピピ」という音が鳴り、約1秒間振動し※1、「新着チャットメールあり」、「新着メールあり」、「不在着信あり」、「伝言メモあり」、「留守番電話あり」の順に声でお知らせします。			

※1：「バイブレータ」の「電話」を「OFF」以外に設定している場合に振動します。
※2：「着信イルミネーション」の点滅色が「グラデーション」に設定されている場合は、不在着信は「色5」、新着メールは「色1」、新着チャットメールは「色3」で点滅します。

おしらせ

◆ 外部ボタン操作を「閉じた時無効」に設定している場合は、FOMA端末を折り畳んだままで[MEMO/CHECK]を押しても不在着信や新着メールなどは確認できません。
◆「ボイス」、「電子音」の音量は「着信音量」の「電話」で設定した音量になります。「消去」、「ステップ」に設定している場合は「レベル2」の音量になります。
◆ マナーモード設定中は音が鳴らず、振動でお知らせします。ただし、「マナーモード選択」で「オリジナルマナー」を選択し、オリジナルマナーの設定で「電話着信音量」を「消去」以外にしている場合は音が鳴り、「バイブレータ」を「OFF」に設定している場合は振動しません。
◆ｉモードセンターに保管されている新着メールを本機能で確認することはできません。
◆ お知らせ中にFOMA端末を開くとお知らせを停止します。
◆「着信イルミネーション」で「不在お知らせ」を「OFF」にしている場合、着信ランプは点灯／点滅しません。

現在の時刻を読み上げる〈ボイスクロック〉

●「確認機能設定」を「ボイス」に設定した場合、FOMA端末を折り畳んだ状態で[MEMO/CHECK]を押すと、現在の時刻を読み上げます。

電話に出られないときに用件を録音／録画する

お買い上げ時	伝言メモ：OFF　応答メッセージ：標準　呼出時間：8秒

音声電話やテレビ電話に出られないときに、かけてきた相手の用件をお客様に代わってFOMA端末に録音しておくことができます。テレビ電話伝言メモの場合は、相手のカメラ映像も録画されます。

- 音声伝言メモとして録音できる件数は5件、録音時間は1件につき約20秒間です。
- テレビ電話伝言メモとして録画できる件数は2件、録画時間は1件につき約20秒間です。
- 本機能と留守番電話サービスとの違いは以下のとおりです。

項目	伝言メモ	留守番電話サービス
録音／録画時間と件数	• 音声電話：最大20秒、5件まで • テレビ電話：最大20秒、2件まで	• 音声電話：最大3分、20件まで • テレビ電話：最大3分、20件まで
保存期間	制限なし	最大72時間
保存場所	FOMA端末内	留守番電話サービスセンター
再生可能な条件	制限なく再生可	圏内のみで再生可
録音／録画可能な条件	• 電話を受ける側が、圏内で電源が入っている場合に録音／録画可 • 伝言メモを「ON」に設定	• 電話を受ける側が、圏内または圏外で、電源を切っていても録音／録画可 • 留守番電話サービス開始を設定（P.308）

伝言メモを設定する

MENU ▶「各種設定」▶「着信」▶「伝言メモ」▶以下の項目から選択

ON	応答メッセージの種類を選択します。	
	標準	「ただいま電話に出ることができません。ピーッという発信音の後に20秒以内でお名前とご用件をお話しください。」と流れます。
	プライベート	「せっかく電話をもらったけど、いま出られません。ピーッという発信音の後にメッセージを入れてね。」と流れます。
	英語	「I can't take your call now. Please leave the message. Thank you.」と流れます。
	おしゃべり1※	「おしゃべり機能」で録音した内容が流れます。 「アラーム音や応答保留音を録音／再生する」→P.296
	おしゃべり2※	
OFF	伝言メモの設定を解除します。	

※： おしゃべりが録音されていないときは表示されません。

呼出時間を000～120秒の範囲で入力

3桁の時間を入力すると、自動的に伝言メモが設定され、待受画面に「[icon]」と「[icon]」が表示されます。

■ 表示されている時間をそのまま設定する場合

▶時間を入力しないで[center key]

おしらせ

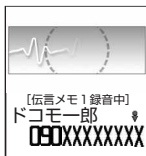
- ◆ 音声伝言メモ、テレビ電話伝言メモが共に記録できる最大件数に達しているときは、伝言メモを「ON」に設定できません。
- ◆ 応答メッセージの選択画面で[mail key]［デモ］を押すと、選択している応答メッセージを確認することができます。
- ◆ 応答メッセージを「おしゃべり1」「おしゃべり2」に設定しているときに、「おしゃべり1」「おしゃべり2」を消去した場合、応答メッセージは「標準」になります。
- ◆「留守番電話サービス」や「転送でんわサービス」を伝言メモと同時に設定している場合、伝言メモを優先させるには、「留守番電話サービス」や「転送でんわサービス」の呼出時間よりも伝言メモの呼出時間を短く設定してください。
- ◆「呼出時間表示設定」で設定した無音時間が伝言メモの呼出時間よりも長いと、呼出動作を行わず伝言メモに移ります。呼出動作を行ってから伝言メモに移行させるには、伝言メモの呼出時間を無音時間よりも長く設定してください。
- ◆ 応答メッセージは、「発着信識別機能」で電話番号ごと、「グループ識別機能」でグループごとに設定することもできます。→P.105

伝言メモを「ON」に設定中に電話がかかってくると

設定した時間を経過すると伝言メモが起動します。

- 音声電話をかけてきた相手には、応答メッセージが流れ録音を開始します。
- テレビ電話をかけてきた相手には、「伝言メモ準備中 Preparing」画像を送信し応答メッセージを再生、「伝言メモ録画中 Recording」画像を送信し録画を開始します。

■ 伝言メモの録音／録画がはじまると

- 録音／録画中の画面が表示されます。録音中はFOMA端末の受話口から相手の声が聞こえます。
- 録音／録画時間にかかわらず、録音／録画がはじまると1件として数えられます。

例：音声電話

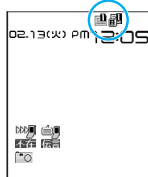
■ 録音中に音声電話に出る場合

▶ または

■ 録画中にテレビ電話に出る場合

▶カメラ映像で出るときは または [ ]、代替画像で出るときは

■ 伝言メモの録音／録画が終了すると

- 元の画面に戻り、待受画面には「不在着信あり」と「伝言メモあり」または「テレビ電話伝言メモあり」のデスクトップアイコンが表示されます。デスクトップアイコンを選択すると、それぞれの内容を確認できます。→P.131
- 音声伝言メモが1件録音されると「 」が「 」の表示に変わり、2件録音されると「 」、3件録音されると「 」・・・と表示されます。テレビ電話伝言メモが1件録画されると「 」が「 」の表示に変わり、2件録画されると「 」と表示されます。

おしらせ

- ◆「 」が表示されているときは伝言メモを利用して用件を録音／録画できません。
- ◆ すでに記録できる最大件数に達しているときは、伝言メモで次にかけてきた相手の用件を録音／録画することはできません。
- ◆ マナーモードを設定している場合、録音中の相手の声は聞こえません。
- ◆ 伝言メモの録音／録画中はほかの電話がかかってきても受けることができません。ほかの電話には話中音が流れます。

■ お願い

- 伝言メモの内容は、別にメモを取ったりして保管することをおすすめします。
- FOMA端末の故障・修理やその他の取扱いによって、メモ機能で録音した内容が消失する場合があります。当社としては責任を負いかねますので、万一に備えメモ機能で録音した内容は、別にメモをお取りくださるようお願いします。

〈クイック伝言メモ〉

着信中の電話に出られないときに用件を録音／録画する

伝言メモを「ON」に設定していなくても、音声電話やテレビ電話の着信中にボタン1つで伝言メモを起動することができます。

1 着信中▶[MEMO/CHECK]

伝言メモとしての録音／録画が開始されます。
[MEMO/CHECK]の代わりに#を押すと、伝言メモの録音／録画開始と同時にマナーモードを設定できます。

おしらせ

- ◆本機能での録音／録画は1回の着信のみ有効で、「伝言メモ」を「ON」に設定することはできません。
- ◆「マナーモード選択」で「オリジナルマナー」を選択し、オリジナルマナーの設定で「伝言メモ」を「OFF」にしていても、本機能は有効です。
- ◆すでに伝言メモが5件（テレビ電話伝言メモは2件）録音済みのときに音声電話やテレビ電話がかかってきた場合は、伝言メモは起動せず着信し続けます（#を押したときは、「マナーモード選択」で設定された動作条件で着信し続けます）。

伝言メモや音声メモを再生／消去する

- 音声電話からの伝言メモまたは音声メモが録音されている場合は「メモの再生／消去画面」に「★」が表示されます。

1 MENU▶「LifeKit」▶「メモの再生／消去」

「メモの再生／消去画面」が表示されます。

2 再生する項目を選択

「ピッ」という音が鳴って再生がはじまります。再生が終了すると「ピッピッ」という音が鳴り、再生中の表示が消えます。

メモの再生／消去画面

機能メニュー➡P.73

■ **次のメモを再生する場合**

▶[MEMO/CHECK]
[MEMO/CHECK]を押すごとに、新しい順でメモが再生されます。
音声メモは最後に再生されます。

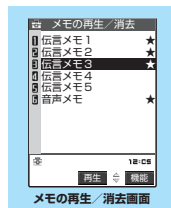
■ **再生を途中でとめる場合**

▶またはCLR

■ **再生中に表示されている電話番号に音声電話、テレビ電話を発信する**

▶、
を押すと音声電話、を押すとテレビ電話を発信します。

■ **再生中のメモを消去する場合**

▶i［機能］▶「消去」▶「YES」

おしらせ

- ◆相手が電話番号を通知してきた伝言メモは、再生中に相手の電話番号が表示されます。また、相手が電話帳に登録されている場合は名前も表示されます。
- ◆待受画面表示中に[MEMO/CHECK]を押しても、メモを再生できます。

メモの再生／消去画面の機能メニュー

再生	反転表示した伝言メモを再生します。
1件消去	反転表示した伝言メモを消去します。
伝言メモ全消去	伝言メモをすべて消去します。
全消去	伝言メモ、音声メモをすべて消去します。

■お願い

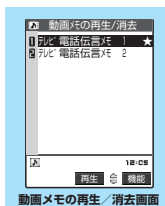
- 音声電話からの伝言メモや音声メモの内容は、別にメモを取ったりして保管することをおすすめします。
- FOMA端末の故障・修理やその他の取扱いによって、メモ機能で録音した内容が消失する場合があります。当社としては責任を負いかねますので、万一に備えメモ機能で録音した内容は、別にメモをお取りくださるようお願いします。

〈動画メモ〉

テレビ電話伝言メモを再生／消去する

- テレビ電話からの伝言メモが録画されている場合は「動画メモの再生／消去画面」に「★」が表示されます。

1 MENU ▶「LifeKit」▶「動画メモの再生／消去」

「動画メモの再生／消去画面」が表示されます。

動画メモの再生／消去画面

機能メニュー ➡P.74

2 再生する項目を選択

「動画メモの再生画面」が表示されます。

■ 前または次のメモを再生する場合

▶ [左] または [右]

[左] または [右] を押すごとに、1つ前または次のメモが再生されます。

■ 再生を途中でとめる場合

▶ [●]

■ 再生中に表示されている電話番号に音声電話、テレビ電話を発信する場合

▶ [発信]、[メール]

[発信] を押すと音声電話、[メール] を押すとテレビ電話を発信します。

■ 再生中のメモを消去する場合

▶ [i]［機能］▶「消去」▶「YES」

■ 再生中にスピーカのON／OFFを切り替える場合

▶ [i]［機能］▶「スピーカー ON」または「スピーカー OFF」

おしらせ

◆ 相手が電話番号を通知してきたテレビ電話伝言メモは、再生中に相手の電話番号が表示されます。また、相手が電話帳に登録されている場合は名前も表示されます。

◆ 再生中に [上]（[⤺]）または [下]（[MEMO/CHECK]）を押して、音量を調節できます。

動画メモの再生／消去画面の機能メニュー

再生	反転表示したテレビ電話伝言メモを再生します。
1件消去	反転表示したテレビ電話伝言メモを消去します。
全消去	テレビ電話伝言メモをすべて消去します。

■お願い

- テレビ電話からの伝言メモの内容は、別にメモを取ったりして保管することをおすすめします。
- FOMA端末の故障・修理やその他の取扱いによって、メモ機能で録音した内容が消失する場合があります。当社としては責任を負いかねますので、万一に備えメモ機能で録音した内容は、別にメモをお取りくださるようお願いします。

●テレビ電話のかけかた／受けかた

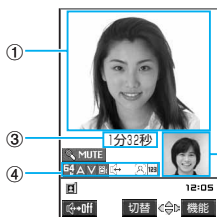
テレビ電話について.. 76
テレビ電話をかける.. 77
テレビ電話から音声電話へ切り替える.................................... 81
テレビ電話を受ける.. 81
キャラ電を利用する.. 83
相手側に送信する映像について設定する.................................. 84
テレビ電話のハンズフリーについて設定する... ハンズフリー切替 86
テレビ電話中に表示される映像について設定する 86
音声電話とテレビ電話の切り替えについて設定する
.... テレビ電話切替通知 87
ｉモード中にテレビ電話がかかってきたときの応答方法を設定する
.... パケット通信中着信設定 87
外部機器と接続してテレビ電話を使用する.............................. 88
外出先から室内の様子などを確認する.................... 遠隔監視設定 88

テレビ電話について

テレビ電話機能は、ドコモのテレビ電話に対応した端末どうしでご利用いただけます。

● ドコモのテレビ電話は「国際基準の3GPP※1で標準化された、3G-324M※2」に準拠しています。ドコモのテレビ電話と異なる方式を利用しているテレビ電話対応端末とは接続できません。
 ※1：3GPP（3rd Generation Partnership Project）
  第3世代移動通信システム（IMT-2000）に関する共通技術仕様開発のために設置された地域標準化団体です。
 ※2：3G-324M
  第3世代携帯テレビ電話の国際規格です。

● テレビ電話は、64K／32Kの通信速度で行います。
 • 64K：通信速度64kbpsで通信をします。
 • 32K：通信速度32kbpsで通信をします。

テレビ電話画面の見かた

①親画面です。お買い上げ時は相手側のカメラ映像が表示されます。
②子画面です。お買い上げ時は自分側のカメラ映像が表示されます。
③通話時間を示します。
④テレビ電話の各種機能の設定内容を示します。

- 64k：64Kテレビ電話通信中
- 32k：32Kテレビ電話通信中
- A：音声送受信中
- A×：音声送受信失敗
- V：映像送受信中
- V×：映像送受信失敗
- カメラ映像送信中
- 「画像選択」で設定した代替画像送信中
- ハンズフリーON
- MUTE：マイクミュート中（消音中）
- 撮影モード（ポートレート）
- 撮影モード（風景）
- 撮影モード（接写）
- 123：キー操作／DTMFモード
- キー操作／全体アクションモード
- キー操作／パーツアクションモード
- キャラ電送信中
- ハンズフリーOFF
- ビジュアルチェック中

操作ボタン	テレビ電話の動作
●	外側カメラ／内側カメラの切り替え
●（1秒以上押す）	親画面表示の切り替え→P.78
▲（▲[↩]）、▼（▼[MEMO/CHECK]）	音量調節
◀▶	倍率の調節
✉	ハンズフリーの切り替え
i	機能メニューの表示
▼[MEMO/CHECK]（1秒以上）	通話中の相手の声を録音
CLR	保留
▲[↩]（1秒以上）	マイクミュート（消音）

テレビ電話をかける

1 相手の市外局番からダイヤル

「テレビ電話番号入力画面」が表示されます。
同一市内への通話でも、必ず市外局番からダイヤルしてください。

市外局番 － 市内局番 － 電話番号

■ 携帯電話にかける場合
090－××××－××××
または
080－××××－××××

■ PHSにかける場合
070－××××－××××

テレビ電話番号入力画面

機能メニュー ➡P.78

2 [テレビ電話]

「テレビ電話中画面」が表示されます。
相手の音声がスピーカから流れて通話できます。
「ハンズフリーを利用する」→P.59

この画面からデジタル通信料がかかります。

テレビ電話中画面

機能メニュー ➡P.78

■ テレビ電話中に音声電話での通話に切り替える場合
「テレビ電話から音声電話へ切り替える」→P.81

■ テレビ電話中にカメラ映像と代替画像を切り替える場合
▶機能メニューから「代替画像切替」または「自画像切替」を選択します。

■ テレビ電話中に外側カメラの映像を送信する場合
▶
テレビ電話中はを押すたびに外側カメラ／内側カメラを切り替えることができます（カメラ切替）。

■ 通話中のテレビ電話を保留にする場合
▶CLR
相手に保留音が流れ、相手側のテレビ映像には「保留　Holding」の画像が表示されます。
保留中のテレビ電話にカメラ映像で出るには［テレビ電話］またはを、代替画像で出るにはを押します。保留にする前の状態でテレビ電話に出るにはCLRを押します。

■ テレビ電話中に送信する音声をミュート（消音）する場合（マイクミュート）
▶[↩]（1秒以上）
ミュート中「MUTE」が表示されます。映像はそのまま送信されます。
再度[↩]を1秒以上押すと、ミュートが解除されます。

■ 平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）を利用している場合
相手の声をイヤホンから聞くことができます。

■ テレビ電話がかからなかった場合→P.80

3 通話が終了したら

おしらせ

◆ テレビ電話発信中は「」が点滅し、通話中は点灯します。「32K」の通信速度で発信した場合は「」が点滅し、通話中は点灯します。
◆「32K」の通信速度は、ネットワーク状況によって「64K」で通信できないPHSなどの機器とテレビ電話を利用するためのものです。「64K」でテレビ電話をかけても、相手が「32K」エリアなどの通信環境であった場合は、自動的に「32K」に切り替えて再発信します。ただし、「32K」でテレビ電話をかけた場合でも、「64K」でテレビ電話をかけたときと同じデジタル通信料になります。
◆ テレビ電話をかける際に、絵文字／記号／全角／半角問わず10文字までのメッセージ（着もじ）を付けることができます。相手側の着信中画面に着もじが表示されます。→P.49
◆ ドコモの国際電話サービス「WORLD CALL」を利用して国際テレビ電話を利用することができます。→P.55
◆ 発信時の映像は、テレビ電話番号入力画面の機能メニューの「テレビ電話画像選択」でキャラ電が設定されていない場合、自画像を送信します。→P.78
◆ カメラ映像から代替画像（キャラ電）に切り替える場合、キャラ電によっては切り替えに数秒程度の時間がかかることがあります。

テレビ電話番号入力画面の機能メニュー

発番号設定	相手に電話番号を通知するかどうかを「通知しない」または「通知する」から選択します。 **■「発番号設定」の「通知しない」／「通知する」を解除する場合** **▶「発番号設定消去」** 「発番号設定消去」を選択すると「発信者番号通知設定」（P.44）で設定した内容になります。
プレフィックス	**▶付加したいプレフィックスの登録名を選択** 「プレフィックスを設定する」→P.55
着もじ	「着もじを付けて電話をかける」→P.50
国際電話発信	**■「＋」が付いている（国番号が付いている）場合※** **▶国際アクセス番号を選択** 「＋」が、選択した国際アクセス番号に置き換わります。 **■「＋」が付いていない（国番号が付いていない）場合** **▶国番号を選択▶国際アクセス番号を選択** 選択した国番号と国際アクセス番号が付加されます。地域番号（市外局番）が「0」ではじまる場合は自動的に先頭の「0」が削除されます。 国際電話を発信するときの設定や登録を変更する→P.56
マルチナンバー	「マルチナンバー」→P.315
電話帳登録	「FOMA端末（本体）電話帳に登録する」→P.93 「FOMAカード電話帳に登録する」→P.94
ｉモードメール作成	「ｉモードメールを作成して送信する」→P.211
通信速度設定	テレビ電話をかけるときの通信速度を「64K」または「32K」から選択します。
テレビ電話画像選択	テレビ電話中に送信する画像を設定します。→P.84 「設定解除」を選択すると、自画像／キャラ電の設定を解除します。

※：「＋81」が付いている（国番号が日本）場合は、「国際電話発信」を利用できません。

おしらせ

◆「通信速度設定」が変更されるのは１回の通話（発信）のみです。リダイヤル、発信履歴にも通信速度は記憶されません。また、「通信速度設定」を設定した後に音声電話をかけると、設定は無効になります。

テレビ電話中画面の機能メニュー

代替画像切替、自画像切替	自画像と代替画像を切り替えます。		
外側カメラ、内側カメラ	外側カメラと内側カメラを切り替えます。 通話中のみ設定が保持されます。		
親画面表示切替	親画面の表示を切り替えます。 切り替えるたびに「親画面に相手側のカメラ映像を表示」→「親画面に自分側のカメラ映像を表示」→「相手側のカメラ映像のみを表示」→「自分側のカメラ映像のみを表示」の順で画面が切り替わります。		
ビジュアルチェック、ビジュアルチェック終了	「テレビ電話中に自分の顔を確認する」→P.85		
テレビ電話設定	テレビ電話の画面について設定します。		
	送信画質設定	相手に送信する映像と相手から受信する映像について設定します。 通話中のみ設定が保持されます。	
		標準 （お買い上げ時）	画質、動きともに標準の設定です。
		画質優先	きめ細やかな映像で送信します。動きが少ない場合に有効です。
		動き優先	動きが滑らかな映像で送信します。動きが多い場合に有効です。
	明るさ調節	**▶で明るさを調節▶** 画像の明るさを「－2～0～＋2」の5段階で調節します。	

<table>
<tr><td rowspan="10">テレビ電話設定</td><td rowspan="6">ホワイトバランス設定</td><td colspan="2">画像の色あいを設定します。
設定内容はカメラの同機能にも反映されます。→P.174</td></tr>
<tr><td>オート
（お買い上げ時）</td><td>自動的に色あいを補正するときに選択します。</td></tr>
<tr><td>晴天</td><td>晴れている野外のときに選択します。</td></tr>
<tr><td>曇天</td><td>曇っている野外や日陰のときに選択します。</td></tr>
<tr><td>電球</td><td>白熱電球の明かりのときに選択します。</td></tr>
<tr><td>蛍光灯</td><td>蛍光灯の明かりのときに選択します。</td></tr>
<tr><td rowspan="4">色調切替</td><td colspan="2">画像の効果を設定します。
通話中のみ設定が保持されます。</td></tr>
<tr><td>通常
（お買い上げ時）</td><td>通常の画像に設定します。</td></tr>
<tr><td>セピア</td><td>セピア調の画像に設定します。</td></tr>
<tr><td>白黒</td><td>白黒（モノクロ）の画像に設定します。</td></tr>
<tr><td rowspan="5">キャラ電設定</td><td colspan="3">キャラ電を設定します。
キャラ電について→P.83
カメラ画像のときは設定できません。</td></tr>
<tr><td>キャラ電切替</td><td colspan="2">▶キャラクタを選択
表示するキャラクタの種類を選択します。</td></tr>
<tr><td>アクション一覧</td><td colspan="2">▶アクションとボタンを確認
操作できるアクションとそのアクションに割り当てられているボタンを確認できます。
＊を押してもアクション一覧を表示できます。</td></tr>
<tr><td>アクション切替</td><td colspan="2">アクションモードを切り替えます。</td></tr>
<tr><td>静止画切替</td><td colspan="2">相手側の画面に自作の画像を表示します。→P.84</td></tr>
<tr><td rowspan="3">照明設定</td><td colspan="3">バックライトの点灯を設定します。</td></tr>
<tr><td>常時点灯
（お買い上げ時）</td><td colspan="2">常時バックライトを点灯します。</td></tr>
<tr><td>15秒点灯</td><td colspan="2">15秒間のみバックライトを点灯します。</td></tr>
<tr><td rowspan="3">内側カメラ反転表示</td><td colspan="3">通話中に自分側のFOMA端末に表示される自画像を設定します。</td></tr>
<tr><td>ON
（お買い上げ時）</td><td colspan="2">自画像を鏡像表示します。</td></tr>
<tr><td>OFF</td><td colspan="2">自画像を正像表示します。</td></tr>
<tr><td>通話中時間表示
（お買い上げ時：ON）</td><td colspan="3">通話中に通話時間を表示するかどうか設定します。</td></tr>
<tr><td>自局番号</td><td colspan="3">テレビ電話中にお客様の電話番号を表示します。</td></tr>
<tr><td>DTMF送信、DTMF解除</td><td colspan="3">キャラ電中にプッシュ信号の送信モードを設定／解除します。
キャラ電以外のテレビ電話中は常にプッシュ信号モードになります。</td></tr>
<tr><td>音声電話切替</td><td colspan="3">「テレビ電話から音声電話へ切り替える」→P.81</td></tr>
</table>

次ページにつづく

● テレビ電話がかからなかった場合

テレビ電話がかからなかったときは、接続できなかった理由を示すメッセージが表示されます。ただし、状況によっては接続できなかった理由を示すメッセージが表示されない場合があります。また、接続する相手の電話機種別やネットワークサービスのご契約の有無により、実際の相手の状況と理由表示が異なる場合があります。

表示	理由
番号をご確認の上おかけ直しください	使われていない電話番号にかけた場合
お話中です※1	相手がお話し中の場合
パケット通信中です	相手がパケット通信中の場合
電波の届かない所にいるか電源が切れています	相手が圏外にいる、または電源が入っていない場合
発信者番号通知をONにしてください	発信者番号非通知で接続した場合に表示されます（ビジュアルネット等への発信時）
転送致しますのでお待ち下さい	転送中の場合（転送先が3G-324Mに準拠したテレビ電話対応端末であればテレビ電話にかかります）
音声電話でおかけ直しください	転送先がテレビ電話非対応の場合
電話番号を通知しておかけ直しください	相手が番号通知お願いサービスを設定している場合
お客様のご要望によりおつなぎできません	相手が迷惑電話ストップサービスを設定している場合
上限額を超過しているため接続出来ません	リミット機能付料金プラン（タイプリミット、ファミリーワイドリミット）の上限額を超えている場合
接続できませんでした	発信者番号非通知を「通知する」に設定の上、おかけ直しください。 • 上記以外の場合にも表示されることがあります。

※1：相手の端末によっては、パケット通信中の場合にも表示されることがあります。

おしらせ

◆ FOMA端末から緊急通報番号（110番、119番、118番）へテレビ電話をかけたときは、自動的に音声電話での発信になります。

◆ テレビ電話に対応していない電話機にテレビ電話をかけたときや、相手がテレビ電話に対応していても圏外や電源が入っていないときは接続できません。テレビ電話に対応していない電話機にかけたときに「音声自動再発信」（P.84）を「ON」に設定している場合は、テレビ電話接続前に相手から切断され、自動的に音声電話でかけ直します。ただし、ISDNの同期64KやPIAFSのアクセスポイント、3G-324Mに対応していないISDNのテレビ電話等（2006年11月現在）にかけたときや間違い電話をしたときなどは、このような動作にならないことがあります。通信料金が発生する場合もありますのでご注意ください。

◆「32K」の通信速度は、ネットワーク状況によって「64K」で通信できないPHSなどの機器とテレビ電話を利用するためのものです。「64K」でテレビ電話をかけても、相手が「32K」エリアなどの通信環境であった場合は、自動的に「32K」に切り替えて再発信します。ただし、「32K」でテレビ電話をかけた場合でも、「64K」でテレビ電話をかけたときと同じデジタル通信料になります。

◆ テレビ電話がかからなかった場合、「音声自動再発信」（P.84）を「ON」に設定していると、自動的に音声電話に切り替えて発信します。「音声自動再発信」の動作は以下のようになります。

	通信速度を「64K」に設定している場合	通信速度を「32K」に設定している場合
「音声自動再発信」を「ON」に設定している場合	通信速度を「32K」に自動的に切り替えます。それでもテレビ電話がかからない場合は、音声電話に切り替えます。	音声電話に切り替えます。
「音声自動再発信」を「OFF」に設定している場合	通信速度を「32K」に自動的に切り替えます。それでもテレビ電話がかからない場合は、テレビ電話を切ります。	テレビ電話を切ります。

◆ テレビ電話中にｉモードメールやメッセージR/Fは受信できません。ｉモードセンターに保管されますので、テレビ電話終了後に「ｉモード問い合わせ」を行って受信してください。

◆ テレビ電話中でもSMSは受信できます。

◆ テレビ電話中に「電池充電してください」という電池切れアラームが表示されたときは、相手側に「カメラオフ Camera Off」というメッセージが表示され、約20秒後に切断されます。切断される前に充電を開始した場合は、電池切れアラームが発生する前の画像でテレビ電話通話が継続されます。

◆ テレビ電話中に代替画像を表示しているときも、デジタル通信料がかかります。

テレビ電話から音声電話へ切り替える

テレビ電話（通信速度64K）中に発信側から音声電話に切り替えることができます。

● 相手側が切り替え可能なFOMA端末の場合、テレビ電話中は機能メニューから「音声電話切替」が選択可能になり、テレビ電話と音声電話の切り替えができます（音声⇔テレビ電話切り替え対応端末どうしでご利用いただけます）。
● 切り替え操作は、テレビ電話を発信した側からのみ行うことができます。着信した側からは、切り替え操作を行うことができません。
● 切り替え操作を行うには、あらかじめ相手がテレビ電話切替通知を通知するように設定しておく必要があります。→P.87

1 「テレビ電話中画面」（P.77）▶ [i]［機能］▶「音声電話切替」

テレビ電話から音声電話に切り替えている間は、切り替え中であることを示す画面が表示され、音声ガイダンスが流れます。

おしらせ

◆ テレビ電話と音声電話の切り替えは、繰り返し行うことができます。
◆ 音声通話中にもテレビ電話へ切り替えることができます。→P.48
◆ 切り替えには、5秒程度の時間がかかります。なお、電波の状態などにより、切り替えるまでに時間がかかることがあります。
◆ 以下の場合は、通話中に音声電話とテレビ電話を切り替えることができません。
  • 相手側が通話を保留にしているとき
  • 相手側が伝言メモを起動したとき
◆ 表示されている通話時間は、通話を切り替えるたびに0秒にリセットされます。ただし、切り替え操作を行った後、テレビ電話で通話が終了した場合、通話終了後に表示される通話時間は音声電話とテレビ電話の合計となります。
◆ 相手側の利用状態や電波の状態などにより、テレビ電話から音声電話に切り替えることができず、通話が切断されることがあります。
◆ 切り替え操作を行った場合でも、リダイヤル／発信履歴には、最初に発信した電話の履歴が記憶されます。また、着信履歴には最初に着信した電話の履歴が記憶されます。
◆「SWITCHING VOICE/VIDEO」が表示されている間は通話料はかかりません。
◆ 切り替えを行った際に、「通話時間／料金」に表示される通話料金は実際の通話料金と異なる場合があります。
◆ 音声通話に切り替えると、ハンズフリーはOFFになります。

テレビ電話を受ける

かかってきたテレビ電話を受けます。カメラ映像としてすぐに出られないときは、自分側のカメラ映像を相手側に表示させないで代わりの画像（代替画像）でテレビ電話に出ることもできます。

1 テレビ電話がかかってきたら [✉]［テレビ電話］または [☎]

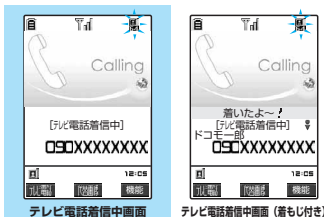
「テレビ電話中画面」（P.77）が表示されます。
相手の音声がスピーカから流れて通話できます。
「ハンズフリーを利用する」→P.59

■ 着もじが付いた着信の場合

テレビ電話着信中画面に着もじが表示されます。あらかじめ用件などを確認することができます。→P.49

テレビ電話着信中画面

機能メニュー➡P.82

テレビ電話着信中画面（着もじ付き）

■ 代替画像で出る場合

▶ [●]

相手側の画面には代替画像が表示されます。
代替画像で出た後でも、機能メニューから「自画像切替」を選択してカメラ映像に切り替えることができます。

■ 平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）を利用している場合

▶ スイッチ付イヤホンマイクのスイッチを押す

自画像で出ることができます。「オート着信」を「ON」に設定している場合は、設定した呼出時間経過後、自動的に代替画像で出ることができます。
相手の声をイヤホンから聞くことができます。

■ 着信中のテレビ電話を応答保留にする場合

▶ [☎]

相手側のテレビ映像に「応答保留中　On Hold」の画像が表示され、メッセージが流れます。
応答保留中のテレビ電話にカメラ映像で出るには[✉]［TV電話］または[☎]を、代替画像で出るには[●]を押します。

■ テレビ電話中にカメラ映像と代替画像を切り替える場合

▶ 機能メニューから「代替画像切替」または「自画像切替」を選択します。

■ テレビ電話中に外側カメラの映像を送信する場合

▶ [●]

テレビ電話中は[●]を押すたびに外側カメラ／内側カメラを切り替えることができます（カメラ切替）。

■ 通話中のテレビ電話を保留にする場合

▶ [CLR]

相手に保留音が流れ、相手側のテレビ映像には「保留　Holding」の画像が表示されます。
保留中のテレビ電話にカメラ映像で出るには[✉]［TV電話］または[☎]を、代替画像で出るには[●]を押します。保留にする前の状態でテレビ電話に出るには[CLR]を押します。

■ テレビ電話中に送信する音声をミュート（消音）する場合（マイクミュート）

▶ [⮌]（1秒以上）

ミュート中「MUTE」が表示されます。映像はそのまま送信されます。
再度[⮌]を1秒以上押すと、ミュートが解除されます。

2 通話が終了したら[☎]

テレビ電話着信中画面の機能メニュー

着信拒否	電話を受けないで着信をそのまま切ります。
転送でんわ	電話を転送します。 「転送でんわサービス」の「開始／停止」にかかわらず転送先に接続します。 「転送でんわサービス」→P.311
留守番電話	電話を留守番電話サービスセンターへ接続します。 「留守番電話サービス」の「開始／停止」にかかわらず留守番電話サービスセンターへ接続します。 「留守番電話サービス」→P.308
表示切替	付加番号1または付加番号2から転送元番号に表示を切り替えます。 マルチナンバー（付加番号1または付加番号2）着信で、かつ転送でんわ着信のときに選択できます。 「マルチナンバー」→P.315

おしらせ

- テレビ電話中に代替画像を表示しているときも、テレビ電話をかけてきた相手にはデジタル通信料がかかります。
- 「転送でんわサービス」を「開始」に設定していても、転送先を3G-324M（P.76）に準拠したテレビ電話対応機器に設定していない場合は、かかってきたテレビ電話を転送できません。転送先の機器をあらかじめご確認の上、転送設定を行ってください。
- 「迷惑電話ストップサービス」で拒否登録した電話番号からテレビ電話がかかってきたときは、相手に着信拒否の映像ガイダンスが表示され、通話を終了します。
- テレビ電話の着信中に[#]または[MEMO/CHECK]を押すと、「伝言メモ」へ移り、相手の用件を録画できます（[#]を押した場合は、同時にマナーモードに設定されます）。→P.73
- ｉモード通信中に、テレビ電話がかかってきた場合の着信動作は、「パケット通信中着信設定」の設定に従います。→P.87
- テレビ電話中にｉモードメールやメッセージR/Fは受信できません。ｉモードセンターに保管されますので、テレビ電話終了後に「ｉモード問い合わせ」を行って受信してください。
- テレビ電話中でもSMSは受信できます。

◆「キャッチホン」、「留守番電話サービス」、「転送でんわサービス」をご契約されている場合、テレビ電話中にテレビ電話の着信があったとき、現在の通話を終了してから着信に応答することができます。
◆ テレビ電話中に「電池充電してください」という電池切れアラームが表示されたときは、相手側に「カメラオフ Camera Off」というメッセージが表示され、約20秒後に切断されます。切断される前に充電を開始した場合は、電池切れアラームが発生する前の画像でテレビ電話通話が継続されます。
◆「公共モード（ドライブモード）」に設定中は、着信音は鳴らず、着信ランプも点滅しません。着信は不在着信として着信履歴に残ります。
◆ 相手側の設定により映像が送信されてこない場合は、代替画像が表示されます。

テレビ電話から音声電話に切り替えて電話を受ける

相手からかかってきたテレビ電話中、相手が操作を行うことにより音声電話に切り替わります。
● 切り替え操作は、テレビ電話を発信した側からのみ行うことができます。着信した側からは、切り替え操作を行うことができません。
● 発信側が切り替え操作を行うには、あらかじめ着信側が「テレビ電話切替通知」を「切替機能通知開始」に設定しておく必要があります。→P.87

1 「テレビ電話中画面」（P.77）▶相手側がテレビ電話切替操作を行う

テレビ電話から音声電話に切り替えている間は、切り替え中であることを示す画面が表示され、音声ガイダンスが流れます。

おしらせ

◆ 音声電話に切り替えると、ハンズフリーはOFFになります。

キャラ電を利用する

テレビ電話で自分の映像の代わりにキャラクタを送信します。
● キャラ電で操作できるアクションを事前に確認できます。→P.271
● キャラ電を楽しむにはあらかじめ以下の機能を設定しておいてください。また、電話帳や発着信識別機能にキャラ電を設定しておいてもキャラ電を利用することができます。
・「画像選択」の「代替画像選択」から「キャラ電」を設定する→P.84

<例：電話帳に登録していない相手からテレビ電話がかかってきた場合>

1 テレビ電話がかかってきたら[●]

2 ダイヤルボタンを押してキャラ電を操作する

ダイヤルボタンを押すと、そのボタンに割り当てられているアクションを表現します。

キャラ電

■ アクションモードを切り替える場合

機能メニューの「キャラ電設定」から「全体アクション」と「パーツアクション」を切り替えることができます。→P.79
「全体アクション」とは感情などキャラ電全体の動きを表現するアクションモードです。[1]～[9]または[#][1]～[#][9]を押して表現します。
「パーツアクション」とは顔や手足などキャラ電の部分的な動きを表現するアクションモードです。[1][1]～[9][9]を押して表現します。

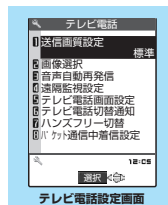
■ アクションを確認する場合

[＊]を押すとアクション一覧を表示できます。
[◎]でアクションを選択してそのアクションを実行することもできます。

相手側に送信する映像について設定する

1 MENU ▶「各種設定」▶「テレビ電話」

「テレビ電話設定画面」が表示されます。

テレビ電話設定画面

2 以下の項目から選択

送信画質設定	テレビ電話中の画質を設定します。	
	標準（お買い上げ時）	画質、動きともに標準の設定です。
	画質優先	きめ細やかな映像で送信します。動きが少ない場合に有効です。
	動き優先	動きが滑らかな映像で送信します。動きが多い場合に有効です。
画像選択	「テレビ電話中に送信する画像を設定する」→P.84	
音声自動再発信	テレビ電話に接続できなかった場合の動作を設定します。	
	ON	テレビ電話に接続できなかった場合、自動的に音声電話に切り替えて電話をかけます。
	OFF（お買い上げ時）	テレビ電話に接続できなかったメッセージが表示され、待受画面に戻ります。
遠隔監視設定	「外出先から室内の様子などを確認する」→P.88	
テレビ電話画面設定	「テレビ電話中に表示される映像について設定する」→P.86	
テレビ電話切替通知	「音声電話とテレビ電話の切り替えについて設定する」→P.87	
ハンズフリー切替	「テレビ電話のハンズフリーについて設定する」→P.86	
パケット通信中着信設定	「iモード中にテレビ電話がかかってきたときの応答方法を設定する」→P.87	

● テレビ電話中に送信する画像を設定する

お買い上げ時	応答保留選択、通話保留選択：内蔵　代替画像選択：キャラ電 ビーンズ（Beans） 伝言メモ選択、伝言メモ準備選択、音声メモ選択：内蔵

カメラ映像の代わりに送信する画像を設定できます。

- 本機能で設定できる画像は、ファイルサイズが100Kバイト以下で、690×690ドット以下のJPEG形式、690×480ドット以下のGIF形式ファイルです。
- テレビ電話を終了しても、本機能の設定は保持されます。

1 「テレビ電話設定画面」（P.84）▶「画像選択」▶以下の項目から選択

応答保留選択	応答保留のときに送信する画像を設定します。
通話保留選択	通話中保留のときに送信する画像を設定します。
代替画像選択	代替画像のときに送信する画像を設定します。
伝言メモ選択	テレビ電話伝言メモ録画中に送信する画像を設定します。
伝言メモ準備選択	テレビ電話伝言メモ準備中に送信する画像を設定します。
音声メモ選択	音声メモ録音中に送信する画像を設定します。

❷ 送信する画像を選択

内蔵	メッセージのみを送信します。
自作	画像とメッセージを送信します。 **■設定内容を変更する場合** **▶ i ［機能］▶「設定内容変更」▶フォルダを選択▶画像を選択**
キャラ電	「代替画像選択」を選択したときのみ表示されます。 「代替画像設定」で設定されているキャラ電を送信します。 「キャラ電一覧画面の機能メニュー」→P.272 キャラ電設定の優先順位→P.94 **■設定内容を変更する場合** **▶ i ［機能］▶「設定内容変更」▶画像を選択**

■ 送信されるメッセージについて

送信されるメッセージは以下のとおりです。

応答保留の場合 ：「応答保留中　On Hold」
通話中保留の場合 ：「保留　Holding」
代替画像を送信の場合 ：「カメラオフ　Camera Off」
テレビ電話伝言メモ録画中の場合 ：「伝言メモ録画中　Recording」
テレビ電話伝言メモ準備中の場合 ：「伝言メモ準備中　Preparing」
音声メモ録音中の場合 ：「音声メモ録音中　Recording Voice only」

おしらせ

<送信画質設定>

◆ テレビ電話中に機能メニューから設定することもできます。ただし、テレビ電話を終了すると、本機能の設定に戻ります。
◆ テレビ電話中に電波状況が悪くなった場合、「送信画質設定」の設定内容にかかわらず、画像がモザイク表示になるときがあります。

<画像選択>

◆ GIF形式の画像の種類によっては「自作」に設定できない場合があります。
◆ テレビ電話中にカメラ映像と代替画像を切り替えることができます。
◆ 画像を確認するときは、確認したい項目を選択し、✉［デモ］を押します。
◆「自作」から「内蔵」、「キャラ電」へ設定を変更しても登録した静止画は削除されません。
◆ 設定した静止画は自分のFOMA端末と相手の電話機の双方に表示されます。ただし、伝言メモの応答メッセージは相手側にのみ送信されます。
◆「自作」の設定内容は削除できません。なお、マイピクチャから「イメージ貼付」（P.257）を選択しても「自作」の設定内容を変更できます。貼り付け元の静止画を削除すると、相手には「内蔵」の静止画が表示（送信）されます。
◆ 代替画像に設定したキャラ電を削除したときなど、「キャラ電」の代替画像が表示できない場合は、お買い上げ時に登録されているキャラ電「ビーンズ（Beans）」を送信します。「ビーンズ（Beans）」が削除されている場合は「内蔵」の静止画の代替画像を送信します。

<音声自動再発信>

◆ 音声電話に切り替えて再発信したときの通話料金は、デジタル通信料ではなく音声通話料になります。
◆ 再発信が行われたとき、「リダイヤル」や「発信履歴」には音声電話の履歴のみが記憶されます。
◆ 音声自動再発信を「ON」に設定している場合でも、相手が話し中など、ネットワークや相手の状況によって再発信が行われない場合があります。

テレビ電話中に自分の顔を確認する〈ビジュアルチェック〉

❶「テレビ電話中画面」（P.77）▶ i ［機能］▶「ビジュアルチェック」

内側カメラの映像で確認することができます。
ビジュアルチェック中は「▨」が表示されます。
相手には代替画像が送信されます。

❷ i ［機能］▶「ビジュアルチェック終了」

ビジュアルチェックを終了します。ビジュアルチェック前の状態に戻ります。

送信する画像を拡大する

テレビ電話中に自分側の映像を拡大して相手側に送信できます。
- ズームは、外側カメラ、内側カメラとも1倍、約2倍の2段階に調節できます。
- テレビ電話中は内側カメラと外側カメラの切り替えなどを行っても、それぞれのズームの倍率を保持します。テレビ電話を終了すると、ズームは標準に戻ります。
- 代替画像を送信中のときは画像を拡大できません。

1 テレビ電話中▶[カーソルキー]▶倍率を調節

〈ハンズフリー切替〉
テレビ電話のハンズフリーについて設定する

お買い上げ時 ON

テレビ電話での通話開始時に、自動的にハンズフリーに切り替わるように設定できます。

1 「テレビ電話設定画面」(P.84)▶「ハンズフリー切替」▶「ON」または「OFF」

おしらせ
- ◆ハンズフリー切替を「ON」に設定していても、通話中に[メールキー]「[ハンズフリーOff]」を押してハンズフリーを解除できます。
- ◆以下の場合はハンズフリー切替を「ON」に設定していても、自動的にハンズフリーに切り替わりません。
  - マナーモード設定中の場合
  - 平型スイッチ付イヤホンマイク(別売)接続中の場合(ただし、マイクは「イヤホン接続時マイク切替」の設定に従います。)
  - 着信時に応答保留または伝言メモが起動した場合

テレビ電話中に表示される映像について設定する

親画面に表示される映像や自画像の表示方法について設定する〈テレビ電話画面設定〉

お買い上げ時	親画面表示:親画面相手画像表示　内側カメラ反転表示:ON

1 「テレビ電話設定画面」(P.84)▶「テレビ電話画面設定」▶以下の項目から選択

親画面表示	テレビ電話の親画像を設定します。	
	親画面相手画像表示	親画面に相手側のカメラ映像を表示します。
	親画面自画像表示	親画面に自分側のカメラ映像を表示します。
内側カメラ反転表示	通話中に自分側のFOMA端末に表示される自画像を設定します。	
	ON	自画像を鏡像表示します。
	OFF	自画像を正像表示します。

〈テレビ電話切替通知〉

音声電話とテレビ電話の切り替えについて設定する

お買い上げ時 切替機能通知開始

相手側のFOMA端末に、本FOMA端末が音声電話とテレビ電話の切り替えが可能な端末であることを通知するように設定できます。

● 本機能を「切替機能通知開始」に設定すると、電話を受けたときに相手側のFOMA端末に切替機能が使用可能であることを通知し、相手側端末での切り替え操作が可能になります。
● 通話中または「 圏外 」が表示されているときは、本機能の設定を行うことはできません。

1 「テレビ電話設定画面」(P.84) ▶「テレビ電話切替通知」▶以下の項目から選択

切替機能通知開始	相手側のFOMA端末に、本FOMA端末が音声電話とテレビ電話の切り替えが可能な端末であることを通知します。
切替機能通知停止	相手側のFOMA端末に、本FOMA端末が音声電話とテレビ電話の切り替えが可能な端末であることを通知しません。
切替機能通知設定確認	「テレビ電話切替通知」の設定状態が表示されます。

〈パケット通信中着信設定〉

iモード中にテレビ電話がかかってきたときの応答方法を設定する

お買い上げ時 テレビ電話優先

● テレビ電話はマルチアクセスを使用できないため、iモード通信中やメールの送受信中のテレビ電話の着信に対しては、本機能の設定に従って動作します。→P.352

1 「テレビ電話設定画面」(P.84) ▶「パケット通信中着信設定」▶以下の項目から選択

テレビ電話優先	テレビ電話の着信中画面に移行します。テレビ電話の着信に応答するとiモード通信が切断されます。
パケット通信優先	テレビ電話の着信を拒否します。
留守番電話	留守番電話サービスをご契約されている場合、テレビ電話を留守番電話サービスセンターに接続します。「留守番電話サービス」の「開始／停止」にかかわらず留守番電話サービスセンターに接続します。
転送でんわ	転送でんわサービスをご契約されている場合、テレビ電話を転送でんわサービスで設定した転送先へ転送します。「転送でんわサービス」の「開始／停止」にかかわらず転送先に接続します。

おしらせ

◆「テレビ電話優先」に設定していても、音声電話中にiモード通信を行っているときなど、マルチアクセスを使用している場合はテレビ電話の着信に応答することはできません。
◆「パケット通信優先」、「留守番電話」、「転送でんわ」に設定した場合、テレビ電話の着信は「着信履歴」に「不在着信履歴」として記憶されます。
◆「留守番電話」または「転送でんわ」に設定していても、「留守番電話サービス」または「転送でんわサービス」が未契約の場合、転送先が未設定の場合は、「パケット通信優先」の動作になります。
◆「テレビ電話優先」または「パケット通信優先」に設定していても、「留守番電話サービス」や「転送でんわサービス」の呼出時間を0秒に設定している場合は、「留守番電話サービス」または「転送でんわサービス」が有効になります。

iモード通信中にテレビ電話を受ける

あらかじめ「パケット通信中着信設定」を「テレビ電話優先」に設定しておくと、iモード通信中やメールの送受信中にテレビ電話を受けることができます。

1 iモード通信中にテレビ電話の着信を受けたら ✉ [TV電話] または 📞 を押す

■ 代替画像で出る場合
▶ ⊙
iモード通信が切断され、テレビ電話通信中画面に切り替わります。

2 通話が終了したら[☎]

■ ｉモード通信を継続して利用するには

「パケット通信中着信設定」を「テレビ電話優先」に設定している場合でも、テレビ電話着信中画面の機能メニューから「着信拒否」、「転送でんわ」または「留守番電話」を選択することで、ｉモード通信を継続して利用することが可能です。

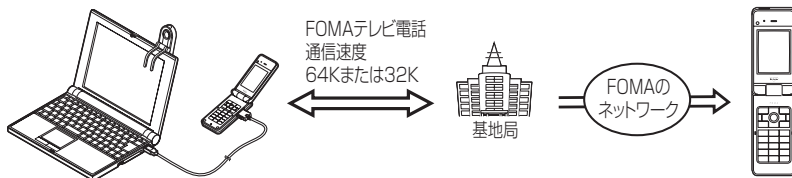
テレビ電話着信中画面の機能メニューについて→P.82

外部機器と接続してテレビ電話を使用する

パソコンなどの外部機器とFOMA端末をFOMA USB接続ケーブル（別売）で接続することで、外部機器からテレビ電話の発着信操作ができます。

この機能を利用するためには、専用の外部機器、またはパソコンにテレビ電話アプリケーションをインストールし、さらにパソコン側にイヤホンマイクやUSB対応Webカメラなどの機器（市販品）を用意する必要があります。

- テレビ電話アプリケーションの動作環境や設定・操作方法については、外部機器の取扱説明書などを参照してください。
- 本機能対応アプリケーションとして、「ドコモテレビ電話ソフト 2005」をご利用いただけます。
  ドコモテレビ電話ソフトは、ホームページからダウンロードしてご利用ください。
  （パソコンでのご利用環境等詳細についてはサポートホームページでご確認ください。）

http://videophonesoft.nttdocomo.co.jp/

おしらせ

◆ 音声通話中は、外部機器からテレビ電話をかけられません。
◆ キャッチホンをご契約いただいていると、音声通話中に外部機器からのテレビ電話の着信があった場合、現在の通信を終了してから着信に応答することができます。外部機器からテレビ電話中に音声電話・テレビ電話・64Kデータ通信の着信があった場合も同様です。

〈遠隔監視設定〉

外出先から室内の様子などを確認する

お買い上げ時	対局番号登録：未登録　応答時間設定：５秒　設定：OFF

遠隔監視できるのは3G-324Mに準拠したテレビ機能を持つ電話機とFOMA端末間、およびFOMA端末どうしです。本FOMA端末は、遠隔監視の発信側としても着信側としても利用できます。

- 遠隔監視を受ける側が監視する側の電話番号をあらかじめ登録していて、遠隔監視設定が「ON」に設定されている場合のみ、遠隔監視を行うことができます。

着信側の準備をする

遠隔監視を受ける側（着信側）で、発信側の電話番号（対局番号）や遠隔監視を開始するまでの時間（応答時間）を設定します。

- 対局番号は５件まで登録できます。

1 「テレビ電話設定画面」(P.84)▶「遠隔監視設定」▶端末暗証番号を入力▶「対局番号登録」

「対局番号登録画面」が表示されます。

対局番号登録画面

機能メニュー ➡P.89

2 「〈未登録〉」の項目を選択

■ すでに登録されている対局番号を変更する場合

▶変更したい対局番号を選択

3 対局の電話番号を入力▶[●]▶[CLR]

遠隔監視設定画面に戻ります。

4 「応答時間設定」▶応答時間(003~120秒)を入力

時間は3桁で入力します。3桁の時間を入力すると、応答時間が設定されます。

■ 表示されている時間をそのまま設定する場合

▶時間を入力しないで[●]

5 「設定」▶「ON」

遠隔監視を受けるように設定され、待受画面に「[アイコン]」が表示されます。

■ 遠隔監視を受けない場合

▶「OFF」

6 FOMA端末を設置する

遠隔監視は内側カメラの映像を発信側に送信します。
着信側のFOMA端末は電源を入れて開いた状態にしたまま設置してください。
閉じたまま設置した場合は、音声のみを送信しカメラ画像は送信せず、代替画像に「カメラオフ　Camera Off」の文字を重ねて送信します。

おしらせ

◆ 遠隔監視設定の応答時間は、「伝言メモ」の呼出時間や「オート着信」の呼出時間と同じ時間には設定できません。
◆ 着信側の「転送でんわサービス」の応答時間が、遠隔監視設定の応答時間より短く設定されていると「転送でんわ」が優先されます。遠隔監視を優先させるには、「転送でんわサービス」より短い応答時間に設定してください。

対局番号登録画面の機能メニュー

宛先参照入力	宛先の番号を設定します。	
	電話帳	電話帳に登録されている番号を登録します。 電話帳の検索のしかた(検索方法の指定)→P.98
	発信履歴	発信履歴の番号を登録します。 「前にかけた相手にかけ直す」→P.51
	着信履歴	着信履歴の番号を登録します。 「着信履歴を利用する」→P.62
1件削除	反転表示した対局番号登録を削除します。	
全削除	対局番号をすべて削除します。 対局番号をすべて消去すると、「設定」は「OFF」となります。	

遠隔監視を行う

● 遠隔監視を行うには、必ず着信側が対局番号として登録したFOMA端末から電話番号を通知してテレビ電話をかけてください。
● 本FOMA端末を着信側に使用した場合、発信側の映像が表示され、音声も流れます。

1 着信側へテレビ電話をかける

着信側で設定した応答時間経過後、遠隔監視がはじまります。
発信側では着信側の映像が表示され、スピーカから音声が流れます。平型スイッチ付イヤホンマイク(別売)を利用している場合は、着信側の音声をイヤホンから聞くことができます。

発信側

■ 着信側で遠隔監視を受けずにテレビ電話(カメラ映像)に出る場合

▶応答時間が経過する前に[✉]([応答])または[☎]
代替画像で出る場合は[●]を押します。

おしらせ

- ◆ ダイヤルロック設定中／おまかせロック設定中でも、遠隔監視設定で登録した電話番号からの遠隔監視による着信は受けられます。
- ◆ 電話番号を通知しない場合は、遠隔監視にならずテレビ電話着信となります。
- ◆ 遠隔監視設定と以下の機能を同時に設定した場合は、遠隔監視ができなくなります。
  - ・公共モード（ドライブモード） ・マナーモード ・指定着信拒否／許可※ ・登録外着信拒否※
  - ※ 対局番号以外の電話番号に「指定着信許可」が設定されている場合、または対局番号の電話番号に「指定着信拒否」が設定されている場合、対局番号が電話帳未登録時に「登録外着信拒否」が設定されている場合
- ◆ 遠隔監視設定と伝言メモ、オート着信を同時に設定した場合、伝言メモやオート着信の呼出時間が遠隔監視設定の応答時間より短く設定されていても、遠隔監視で登録した電話番号から着信があると、遠隔監視が優先されます。
- ◆ 平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）を接続している場合は、「通知音出力切替」の設定にかかわらず着信音はイヤホンとスピーカから鳴ります。
- ◆ 着信音は遠隔監視専用の着信音となり、変更できません。
- ◆ 着信音は「着信音量」の「テレビ電話」で設定した音量で鳴ります。ただし、「消去」や「レベル1」、「ステップ」に設定している場合は「レベル2」の音量で鳴ります。
- ◆ 遠隔監視の着信時は、「着信イルミネーション」の設定にかかわらず点滅色は「グラデーション」、点滅パターンは「固定パターン」となります。
- ◆ 遠隔監視の着信中に応答保留にすることはできません。☎を押すと電話は切れます。
- ◆ 着信側で遠隔監視設定を「ON」に設定している場合、対局番号に登録された電話番号からのテレビ電話の着信は、遠隔監視の着信履歴として記憶されます。遠隔監視が実行されなかった場合、「着信履歴」にはテレビ電話の「不在着信履歴」として記憶されます。
- ◆ 遠隔監視中で着信側の場合、音声電話やテレビ電話を受けることはできません。遠隔監視中に音声電話やテレビ電話の着信があると、「着信履歴」には「不在着信履歴」として記憶され、「不在着信あり」のデスクトップアイコンが待受画面に表示されます。
- ◆ 遠隔監視中にFOMA端末を閉じると、「クローズ動作設定」の設定に従って動作します。ただし、平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）を接続しているときは「クローズ動作設定」は無効になり、FOMA端末を閉じると相手には代替画像が送信されます。
- ◆ 遠隔監視中で着信側の場合、カメラを切り替えることはできません。

遠隔監視を終了する

通信時間が表示された後、遠隔監視が終了します。
着信側で☎を押しても遠隔監視が終了します。

カメラ付き携帯電話を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシー等にご配慮ください。お客様がFOMA端末を利用して公衆に著しく迷惑をかける不良行為等を行う場合、法律、条例（迷惑防止条例等）に従い処罰されることがあります。

電話帳

FOMA端末で使用できる電話帳について 92
FOMA端末（本体）電話帳に登録する................... 電話帳登録 93
FOMAカード電話帳に登録する .... FOMAカード電話帳登録 94
リダイヤルや発信履歴などから電話帳に登録する 95
グループ名を変更する.. グループ設定 96
電話帳から電話をかける.. 電話帳検索 97
電話帳を修正する .... 電話帳修正 101
電話帳を削除する .... 電話帳削除 102
電話帳をFOMAカードにコピーする .... FOMAカード(UIM)操作 102
電話帳の登録状況を確認する 104
電話番号やメールアドレスごとに発着信の設定を変える
.... 発着信識別機能／グループ識別機能 105
直デンを利用する .... 直デン 107
少ないボタン操作で電話をかける .... ツータッチダイヤル 108
いつもかける相手にワンタッチで電話をかける .... オート表示 108
電話帳をお預かりセンターに保存（復元・更新）する
.... 電話帳お預かりサービス 109

FOMA端末で使用できる電話帳について

FOMA端末では、さまざまな機能を設定できるFOMA端末（本体）の電話帳とほかのFOMA端末でも使うことのできるFOMAカードの電話帳の2種類の電話帳があります。お客様の用途に合わせて使い分けてください。

● この他に、直デン専用の「直デン」があります。直デンは、FOMA端末（本体）電話帳の登録データを利用して作成します。→P.107

FOMA端末（本体）電話帳とFOMAカード電話帳の違い

■ 登録内容

FOMA端末（本体）の電話帳とFOMAカードの電話帳の登録内容は以下のとおりです。

登録内容	FOMA端末（本体）の電話帳	FOMAカードの電話帳
件数	最大700件まで登録可能です。	最大50件まで登録可能です。
グループ※1	グループ00～19に分類可能です。	グループ00～10に分類可能です。
電話番号の登録※2	1つの電話帳につき4番号まで、電話帳全体で2800番号まで登録可能です。相手の携帯電話の電話番号や会社の電話番号などを1つの電話帳として登録できます。また1つの番号を直デンに登録できます。	1つの電話帳に1件登録可能です。
	「 」「 」のような24種類のアイコンから選択して登録できます。相手の「携帯電話の電話番号」「会社の電話番号」などがすぐに区別できます。	アイコンの選択はできません。「 」が自動的に登録されます。
メールアドレスの登録	1つの電話帳につき3アドレスまで、電話帳全体で2100アドレスまで登録可能です。相手の自宅のメールアドレスや会社のアドレスなどを1つの電話帳として登録できます。また1つのアドレスを直デンに登録できます。	1つの電話帳に1件登録可能です。
	「 」「 」のような5種類のアイコンから選択して登録できます。相手の「自宅のメールアドレス」「会社のメールアドレス」などがすぐに区別できます。	アイコンの選択はできません。「 」が自動的に登録されます。
画像の登録	1つの電話帳につき静止画1件、キャラ電1件登録可能です。それぞれ電話帳全体で100件まで登録可能です。	－
その他のデータの登録	1つの電話帳につき名前、フリガナ、郵便番号、住所、誕生日、メモをそれぞれ1件登録可能です。相手の電話番号やメールアドレスと一緒に1つの電話帳として登録できます。	名前とフリガナが登録可能です。

※1：「グループ01」～「グループ19」（FOMAカードの電話帳では「グループ01」～「グループ10」）のグループ名は変更できます。あらかじめお好きなグループ名に変更しておくと便利です。→P.96

※2：電話番号には0～9、＃、✱、p（ポーズ）、＋ を入力できます。サブアドレス（P.58）を利用する場合は、✱を入力してください。

■ FOMA端末（本体）の電話帳の特徴

FOMA端末（本体）の電話帳に登録すると、以下のような便利な機能が使えます。

- メモリ番号「000」～「009」に指定すると、ボタン操作2つで電話をかけられる「ツータッチダイヤル」を利用できます。→P.108
- 着信時や発信時の設定を電話番号やメールアドレスごと、グループごとに設定できる「発着信識別機能」、「グループ識別機能」を利用できます。→P.105
- 電話番号ごとに発信や着信を制限する「電話帳指定設定」を利用できます。→P.154
- 知られたくない電話帳を「シークレットモード」、「シークレット専用モード」でシークレットデータとして登録できます。→P.143
- 「電話帳にシークレットコードを設定する」→P.101

■ FOMAカードの電話帳の特徴

電話帳のデータがFOMAカードに登録されるので、FOMAカードを差し替えることにより、ほかのFOMA端末でも同じ電話帳を利用できます。複数のFOMA端末を使い分けるときに便利です。

名前の表示について

■ 音声電話、テレビ電話

電話番号を電話帳に登録した相手から電話番号を通知してかかってくると、電話番号と名前が表示されます。

また、電話帳に静止画が登録されていて、「電話帳画像着信設定」が「ON」に設定されている場合は、その画像が表示されます。ただし、登録した画像のサイズやデータ量によっては、表示が遅れることがあります。
「着信履歴」、「発信履歴」、「リダイヤル」にも相手の名前が表示されます。

■ ｉモードメール、SMS

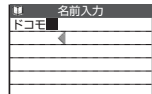
ｉモードメールのアドレスを電話帳に登録した相手からのｉモードメール、または電話番号を電話帳に登録した相手からのSMSは、受信メールの一覧画面、詳細画面で相手の名前が表示されます。その相手にｉモードメールまたはSMSを送信した場合も、送信メールの一覧画面、詳細画面で相手の名前が表示されます。
また、「受信アドレス一覧」、「送信アドレス一覧」にも相手の名前が表示されます。

〈電話帳登録〉

FOMA端末（本体）電話帳に登録する

● 「名前」は必ず入力してください。「名前」を入力していない場合は電話帳の登録ができません。

1 MENU ▶「電話帳」▶ ｉ［機能］▶「電話帳登録」▶「本体」▶名前を入力

漢字、ひらがな、カタカナ、英字、数字、記号、絵文字で入力します。
全角で16文字、半角で32文字まで登録できます。

2 フリガナを確認

■ フリガナが間違っていた場合

カタカナ、英字、数字、記号で修正します。
半角で32文字まで登録できます。
「電話帳検索」のフリガナ検索では、ここで登録した名前のフリガナで検索します。

3 それぞれの項目を設定 ▶ ✉［完了］

項目	内容
グループ	▶グループを選択 登録するグループを「00」～「19」から選択します。グループを選択しない場合は、自動的に「グループ00」に登録されます。
電話番号	▶電話番号を入力▶アイコンを選択 電話番号を入力してアイコンを選択します。電話番号は26桁まで入力できます。 1件目の電話番号を登録すると、電話帳の編集画面に「<追加登録>」が表示されます。この項目を選択すると電話番号を追加登録できます。 一般の電話機の電話番号を登録する場合は、同じ市内の相手でも必ず市外局番から入力してください。
メールアドレス	▶メールアドレスを入力▶アイコンを選択 メールアドレスを入力してアイコンを選択します。メールアドレスは半角の英字、数字、記号で50文字まで入力できます。 1件目のメールアドレスを登録すると、電話帳の編集画面に「<追加登録>」が表示されます。この項目を選択するとメールアドレスを追加登録できます。
住所	▶郵便番号を入力▶住所を入力 郵便番号と住所を入力します。郵便番号は7桁の半角数字で入力します。住所は漢字、ひらがな、カタカナ、英字、数字、絵文字などを入力でき、全角で50文字、半角で100文字まで入力できます。

次ページにつづく

誕生日	▶誕生日を入力 誕生日（西暦・月日）を入力します。 設定できる西暦は、1800年から2099年までです。
メモ	▶メモを入力 メモを入力します。メモは漢字、ひらがな、カタカナ、英字、数字、絵文字などを入力でき、全角で100文字、半角で200文字まで入力できます。
静止画	着信時に表示される静止画を選択します。「カメラ撮影」を選択すると「静止画撮影画面」が起動し、静止画を撮影することができます。→P.168
キャラ電	テレビ電話の代替画像として表示されるキャラ電を選択します。
メモリ番号	▶メモリ番号を入力 メモリ番号は電話帳の登録時に自動的※に割り当てられますが、000～699の範囲でお好きな番号に変更できます。 、 * 、 # を押すと、自動的※に空き番号に割り当てられます。

※：010～699の空き番号に、若い順に割り当てられます。ただし、010～699に空き番号がないときは、000～009の空き番号に割り当てられます。

おしらせ

◆ 名前に「ゎ、ヮ（全角小文字）」を入力した場合、フリガナは「ワ（半角大文字）」と表示されます。名前に記号を入力した場合は、英字入力モード、数字入力モードでダイヤルボタンから入力したときのみフリガナに反映されます。絵文字はフリガナに反映されません。
◆ 記号、絵文字を使って登録された電話帳は、データ転送などを行うと正しく表示されない場合があります。
◆ メールアドレスは、ドメイン名まで正しく登録してください。ドメイン名とは、@（アットマーク）より後の文字のことです。
（例）docomo.taro.△△@docomo.ne.jp
◆ 相手のメールアドレスが「電話番号@docomo.ne.jp」の場合は、メールアドレスに電話番号のみを登録してください。
◆ 電話帳に登録した静止画やキャラ電の元のデータが変更されたり、削除された場合は、電話帳の静止画やキャラ電も同じように変更、削除されます。
◆ 登録した静止画を着信時に表示させるには、「電話帳画像着信設定」を「ON」に設定してください。→P.122
◆ 静止画を登録した電話帳の電話番号から着信があったとき、登録した静止画が「画面表示設定」の「電話着信」の画像表示エリアより大きい場合は、横と縦が同じ比率で縮小表示されます。小さい場合は画面中央に表示されます。
◆ 電話番号／メールアドレスが複数登録されている場合、機能メニューから「先頭へ移動」を選択すると、反転表示されている電話番号／メールアドレスを1番目の電話番号／メールアドレスとして登録します。

<キャラ電設定の優先順位>
◆ キャラ電の設定が重なった場合の優先順位は以下のとおりです。
①発着信識別機能のキャラ電設定→P.105　②グループ識別機能のキャラ電設定→P.105
③電話帳登録のキャラ電　④画像選択の代替画像選択→P.84

〈FOMAカード電話帳登録〉
FOMAカード電話帳に登録する

● 「名前」は必ず入力してください。「名前」を入力していない場合は電話帳の登録ができません。

1 MENU ▶「電話帳」▶ i ［機能］▶「電話帳登録」▶「FOMAカード（UIM）」▶名前を入力

漢字、ひらがな、カタカナ、英字、数字、記号で入力します。
全角で10文字、半角英数字（一部の半角記号を含む）で21文字まで登録できます。

2 フリガナを確認

■ フリガナが間違っていた場合
全角のカタカナ、英字、数字、記号で修正します。
フリガナは全角で12文字、半角英数字（一部の半角記号を含む）で25文字まで登録できます。
「電話帳検索」のフリガナ検索では、ここで登録した名前のフリガナで検索します。

3 それぞれの項目を設定▶ ✉ ［完了］

グループ	▶グループを選択 登録するグループを「00」～「10」から選択します。グループを選択しない場合は、自動的にグループ「00」に登録されます。

電話番号	▶電話番号を入力 電話番号を入力します。電話番号は青色のFOMAカードの場合は20桁まで、緑色のFOMAカードの場合は26桁まで入力できます。 一般の電話機の電話番号を登録する場合は、同じ市内の相手でも必ず市外局番から入力してください。
メールアドレス	▶メールアドレスを入力 メールアドレスを入力します。メールアドレスは半角の英字、数字、記号で50文字まで入力できます。

おしらせ

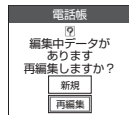
◆ 名前に「ゎ、ヮ（全角小文字）」を入力した場合、フリガナは「ワ（全角大文字）」と表示されますが、フリガナに「ヮ（全角小文字）」を入力することはできます。名前に記号を入力した場合は、英字入力モード、数字入力モードでダイヤルボタンから入力したときのみフリガナに反映されます。
◆ メールアドレスは、ドメイン名まで正しく登録してください。ドメイン名とは、@（アットマーク）より後の文字のことです。
（例）docomo.taro.△△@docomo.ne.jp
◆ 相手のメールアドレスが「電話番号@docomo.ne.jp」の場合は、メールアドレスに電話番号のみを登録してください。

編集を中断した電話帳があるとき

1 MENU ▶「電話帳」▶ i ［機能］▶「電話帳登録」▶「本体」または「FOMAカード（UIM）」▶「再編集」

編集中に電池切れアラームが鳴った場合など中断した電話帳の編集を再開できます。
編集を再開しているときに、登録しないで編集を中止すると編集中のデータは消えます。

■ 新規に登録する場合
▶「新規」

おしらせ

◆ 編集中データとして一時保存されるのは最新の1件のみです。
◆ 電話帳の編集中に音声電話、テレビ電話の着信があった場合は、編集中の電話帳のデータはそのままで電話に出ることができます。
音声電話、テレビ電話が終了すると、元の編集画面に戻ります。

■お願い

● 「電話帳」に登録した内容は、別にメモを取って保管することをおすすめします。
● FOMA端末の故障・修理・電話機の変更やその他取扱いによって、登録内容が消失してしまう場合があります。また、ドコモショップなど窓口にて機種変更時など新機種へ登録内容をコピーする際は、仕様によっては、FOMA端末にコピーできない場合もあります。あらかじめご了承ください。
万一、電話帳などに登録した内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
なお、ドコモケータイdatalink（P.322）をご利用いただくことにより、電話帳の内容をパソコンへ転送・保管していただくことができます。

リダイヤルや発信履歴などから電話帳に登録する

「着信履歴」、「発信履歴」、「リダイヤル」、「受信アドレス一覧」、「送信アドレス一覧」またはサイト画面などから電話帳に登録したり、電話番号をダイヤルしてから電話帳に登録できます。

<例：音声電話の「着信履歴」からFOMA端末（本体）電話帳に追加登録する場合>

1 「着信履歴画面」（P.62）▶ i ［機能］▶「電話帳登録」

2 「本体」

■ FOMAカードに登録する場合
▶「FOMAカード（UIM）」

3 「追加登録」▶登録する電話帳を検索

電話帳の検索のしかた（検索方法の指定）→P.98

■ 新規に登録する場合

▶「新規登録」

■ FOMAカードの場合

▶「新規登録」または「上書き登録」

4 電話帳の詳細画面を表示▶ [選択]

電話番号が自動的に入力され、電話帳の編集画面が表示されます。
電話帳の修正のしかた→P.101

5 修正が終わったら [完了]

■ 上書きするかどうかのメッセージが表示された場合

▶「YES」

おしらせ

◆「発信履歴」、「リダイヤル」に表示される発番号設定の情報（「通知」／「非通知」）は、電話帳には登録されません。
◆ 返信不可の受信アドレスは電話帳に登録できません。
◆ 電話帳に登録できる文字数を超えた文字は削除されます。また、登録できない文字はスペースに変換されることがあります。

〈グループ設定〉 MENU26

グループ名を変更する

お買い上げ時	FOMA端末（本体）：グループ01～19　FOMAカード：グループ01～10

電話帳を「会社」や「友達」のようなお付き合いごとに、また「野球」や「サッカー」のような趣味ごとにグループ分けすることによって、用途別に分けられた数冊の電話帳のように活用できます。
変更できるグループと登録できる文字数は以下のとおりです。

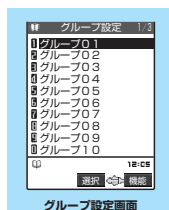
	変更できるグループ	登録できる文字数
FOMA端末（本体）	グループ01～グループ19	全角で10文字、半角で21文字
FOMAカード	グループ01～グループ10	全角で10文字、半角で21文字

●「グループ00」のグループ名は変更できません。

1 MENU▶「電話帳」▶ [機能]▶「グループ設定」

「グループ設定画面」が表示されます。

2 グループを選択▶グループ名を入力

「 」が表示されているグループは、FOMAカードのグループを示します。
FOMA端末（本体）とFOMAカードに同じグループ名を付けた場合でも、別々のグループとして表示されます。

グループ設定画面

機能メニュー ➡P.96

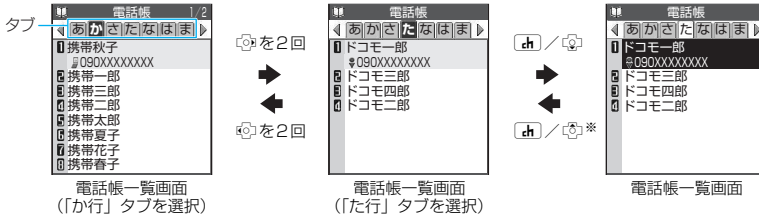
グループ設定画面の機能メニュー

グループ名編集	グループ名を編集します。
グループ識別機能	「電話番号やメールアドレスごとに発着信の設定を変える」→P.105
グループ名初期化	変更したグループ名を初期化して、お買い上げ時のグループ名に戻します。

おしらせ

◆ グループ名を初期化しても、そのグループに設定した「グループ識別機能」の設定は解除されません。
◆ グループ名を変更するときに何も文字を入力しないで確定した場合は、お買い上げ時のグループ名になります。

〈電話帳検索〉
電話帳から電話をかける

電話をかける相手の電話帳をFOMA端末（本体）電話帳またはFOMAカードの電話帳から呼び出して、簡単に電話をかけることができます。
● 電話帳一覧画面で、タブが表示されている場合は、以下のように表示を切り替えられます。
<例：50音タブ表示のときに、「か行」から「た行」にタブを切り替える場合>

※： タブ内の先頭ページの先頭電話帳を選択しているときのみ有効です。

おしらせ

◆ で同一タブ内におけるページの切り替えが可能です。ただし、タブを選択時には[↩]、[MEMO/CHECK]で行います。
◆ 50音タブ表示の場合、タブを選択時には、行に対応するボタンを押すことでタブを切り替えることが可能です。行に対応するボタンについては、電話帳検索方法の表の「行検索」（P.99）を参照してください。
◆ メモリ番号タブ表示の場合、タブを選択時には、メモリ番号を直接ダイヤルボタンで押して該当のメモリ番号の電話帳を表示することが可能です。
◆ グループタブ表示の場合、タブを選択時には、グループ番号を直接ダイヤルボタンで押して該当のグループのタブを選択することが可能です（FOMAカードに登録されているグループの場合は頭に「＊」を付けて指定します）。

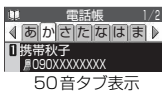
電話をかける相手の電話帳を呼び出して電話をかける

1 MENU ▶「電話帳」

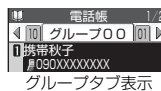
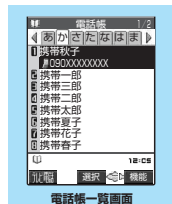
「電話帳一覧画面」が表示されます。

■ 一覧画面から電話をかける場合
▶電話をかける電話帳を反転表示して または [TV電話]
を押すと音声電話が、[TV電話]を押すとテレビ電話がかかります。
電話帳に複数の電話番号が登録されている場合は、1番目に登録されている電話番号に電話がかかります。

■ タブの種類を切り替える場合
▶ [機能] ▶「タブ表示切替」
「50音タブ表示」、「メモリ番号タブ表示」、「グループタブ表示」から選択できます。

電話帳一覧画面

機能メニュー ➡P.99

50音タブ表示

メモリ番号タブ表示

グループタブ表示

2 目的の電話帳を選択

「電話帳詳細画面」が表示されます。

3 または [TV電話]

を押すと音声電話が、[TV電話]を押すとテレビ電話が現在表示されている電話番号にかかります。

■ 同じ電話帳に複数の電話番号が登録されている場合
で電話番号の表示を切り替えることができます。

電話帳詳細画面

機能メニュー ➡P.100

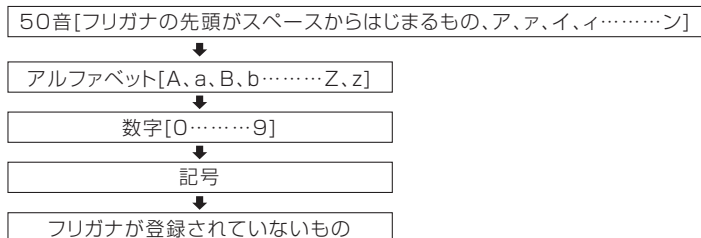
おしらせ

◆ 複数の電話番号を登録している場合は、1番目に登録されている電話番号を入れ替えることができます。→P.100
◆ 通話中に を押した場合はグループ検索画面が表示され、 を押した場合は行検索画面が表示されます。

検索方法を指定して電話帳を呼び出す

目的に応じて、フリガナ、名前、電話番号、メールアドレス、メモリ番号、グループ、行（アカサタナ順）、全件の8通りの検索方法から選んで、電話帳を検索できます。

■ 検索結果の表示について

メモリ番号検索以外は電話帳を登録するときに入力したフリガナによって、以下の順で検索してその結果を表示します。ただし、全検索や検索条件を入力せず全件表示した場合は、50音タブ表示にて「あ行」タブが表示されます。

1 待受画面表示中▶▶検索する方法を選択

電話番号検索する場合は、「電話番号入力画面」（P.46）▶電話番号の一部を入力▶または でも検索できます。

電話帳検索
1 フリガナ検索 ★
2 名前検索
3 電話番号検索
4 アドレス検索
5 メモリ番号検索
6 グループ検索
7 行検索
8 全検索

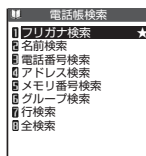
■ 優先して表示する検索方法を設定する場合

▶優先して表示したい検索方法を反転表示▶［優先］▶

優先に設定した検索方法には「★」が付きます。

次回検索するときに、待受画面表示中にを押すと優先に設定した検索方法画面が表示されます。

■ 検索方法の優先設定を解除する場合

▶待受画面表示中▶▶CLR▶「★」が付いている検索方法を反転表示▶［解除］

2 電話帳を検索

検索が終了すると、検索条件を満たした「電話帳一覧画面」が表示されます。FOMAカードに登録されている電話帳は、検索結果の一覧画面で「」が表示されます。

検索条件を満たす電話帳が登録されていない場合は、データがないことを通知するメッセージが表示されます。

検索方法	操作と説明
フリガナ検索	**▶フリガナの一部を入力▶または** フリガナは先頭から入力します。すべてを入力しなくても構いません。
名前検索	**▶名前の一部を入力▶［閉］▶または** 名前は先頭から入力します。すべてを入力しなくても構いません。
電話番号検索	**▶電話番号の一部を入力▶または** 最初の数桁または途中の数桁を入力しても検索できます。
アドレス検索	**▶メールアドレスの一部を入力▶または**
メモリ番号検索	**▶3桁のメモリ番号を入力** FOMAカードの電話帳はメモリ番号で検索できません。
グループ検索	**▶目的のグループを選択** FOMAカードの電話帳はFOMA端末（本体）の電話帳のグループとは別グループになります。

検索方法	操作と説明
行検索	▶検索したい行に対応するボタンを押す 1：「あ行」タブを表示 2：「か行」タブを表示 3：「さ行」タブを表示 4：「た行」タブを表示 5：「な行」タブを表示 6：「は行」タブを表示 7：「ま行」タブを表示 8：「や行」タブを表示 9：「ら行」タブを表示 0：「わ行」タブを表示 ＊：「他行」タブを表示
全検索	登録されているすべての電話帳を50音タブで表示します。

おしらせ

◆ 優先して表示する検索方法を設定しない場合は を押すと電話帳検索画面が表示され、最後に選択した検索方法が反転表示されます。

リダイヤルや発信履歴などから電話帳を呼び出す

「着信履歴」、「発信履歴」、「リダイヤル」、「受信アドレス一覧」、「送信アドレス一覧」の各詳細画面から登録済みの電話帳詳細画面を呼び出して、簡単に電話をかけたり、メールを発信することができます。

＜例：音声電話の「着信履歴」から電話帳参照する場合＞

1 「着信履歴画面（詳細）」（P.63）▶ i ［機能］▶「電話帳参照」

「電話帳詳細画面」が表示されます。

電話帳一覧画面の機能メニュー

● 待受画面から表示した場合や検索方法、タブの選択状態など、表示のしかたによって利用できる機能が異なります。

電話帳登録	「FOMA端末（本体）電話帳に登録する」→P.93、「FOMAカード電話帳に登録する」→P.94	
お預かりセンターに接続	▶端末暗証番号を入力▶「YES」▶ ［完了］ 電話帳データをドコモのお預かりセンターに預けます。 電話帳お預かりサービスについて→P.109、158	
ソート※2	指定した条件に従って電話帳一覧を並び替えます。	
タブ表示切替	タブ表示を切り替えます。「50音タブ表示」、「メモリ番号タブ表示」、「グループタブ表示」から選択できます。	
発着信識別機能	「発着信識別機能の設定状況を確認する」→P.107	
電話帳指定設定	「電話帳指定設定の設定状況を確認する」→P.155	
グループ設定	「グループ名を変更する」→P.96	
赤外線送信※1※3	「データを1件ずつ転送する」→P.280	
赤外線全送信※3	「データをまとめて転送する」→P.280	
電話帳登録件数	電話帳の登録状況を確認します。→P.104	
拡大表示、標準表示	電話帳一覧画面、電話帳詳細画面で表示される文字サイズを切り替えます。	
電話帳削除	電話帳を削除します。	
	1件削除※1	反転表示した電話帳を削除します。
	選択削除	▶ で□（チェックボックス）を選択▶ ［完了］▶「YES」 複数の電話帳を削除できます。
	全削除	▶端末暗証番号を入力▶「YES」▶「YES」 電話帳をすべて削除します。

※1：タブ表示のとき、タブを選択している場合は利用できません。
※2：タブ表示のときは利用できません。
※3：FOMAカードに登録されている電話帳の場合は利用できません。

おしらせ

◆ 電話帳を削除すると、その電話帳が直デンに登録されている場合は、直デンのメンバーリスト、グループメンバーリストからも削除されます。
◆ 電話帳を全削除すると、FOMAカードの電話帳、直デンも削除されます。

<拡大表示、標準表示>
◆「フォント設定」(P.128)の「文字サイズ」でも文字サイズを変更することができます。

電話帳詳細画面の機能メニュー

機能	項目	説明
電話帳編集		「電話帳を修正する」→P.101
発番号設定		相手に電話番号を通知するかどうかを「通知しない」または「通知する」から選択します。 **■「発番号設定」の「通知しない」/「通知する」を解除する場合** **▶「発番号設定消去」** 「発番号設定消去」を選択すると「発信者番号通知設定」(P.44)で設定した内容になります。
着もじ		「着もじを付けて電話をかける」→P.50
発信設定	**プレフィックス**	**▶付加したいプレフィックスの登録名を選択** 「プレフィックスを設定する」→P.55
	国際電話発信	**■「+」が付いている(国番号が付いている)場合※1** **▶国際アクセス番号を選択** 「+」が、選択した国際アクセス番号に置き換わります。 **■「+」が付いていない(国番号が付いていない)場合** **▶国番号を選択▶国際アクセス番号を選択** 選択した国番号と国際アクセス番号が付加されます。地域番号(市外局番)が「0」ではじまる場合は自動的に先頭の「0」が削除されます。 国際電話を発信するときの設定や登録を変更する→P.56
	マルチナンバー	「マルチナンバー」→P.315
	テレビ電話画像選択	テレビ電話中に送信する画像を設定します。→P.84 「設定解除」を選択すると、自画像/キャラ電の設定を解除します。
	通信速度設定	テレビ電話をかけるときの通信速度を「64K」または「32K」から選択します。
発着信識別機能		「電話番号やメールアドレスごとに発着信の設定を変える」→P.105
電話帳指定設定		「指定した電話番号の着信や発信を制限する」→P.154
先頭へ移動		電話番号/メールアドレスが複数登録されている場合、選択されている電話番号/メールアドレスを1番目の電話番号/メールアドレスとして登録します。
直デン登録※2		直デンに登録します。→P.107
デスクトップ貼付		「デスクトップアイコンを利用する」→P.130
i モードメール作成		「i モードメールを作成して送信する」→P.211
SMS作成		「SMS(ショートメッセージ)を作成して送信する」→P.249
赤外線送信※2		「データを1件ずつ転送する」→P.280
赤外線全送信※2		「データをまとめて転送する」→P.280
オート表示※2		「オート表示させる電話番号を指定する」→P.109
コピー		電話帳に登録されている内容をコピーします。 コピーした内容は、入力画面などで貼り付けることができます。 「文字のコピー/切り取り/貼り付け」→P.334
	名前	電話帳に登録されている名前をコピーします。
	電話番号※3	電話帳に登録されている電話番号をコピーします。
シークレットコード※2		**▶端末暗証番号を入力▶以下の項目から選択** 「電話帳にシークレットコードを設定する」→P.101
	コード設定	**▶4桁のシークレットコードを入力▶「YES」** シークレットコードを設定します。
	コード参照	設定したシークレットコードを確認します。
	設定解除	設定したシークレットコードを解除します。
シークレット設定※2※4		「電話帳やスケジュールの登録データを表示できないようにする」→P.143
FOMAカードへコピー※5		電話帳のデータをコピーします。 「電話帳をFOMAカードにコピーする」→P.102
拡大表示、標準表示		電話帳一覧画面、電話帳詳細画面で表示される文字サイズを切り替えます。

電話帳削除	「電話帳を削除する」→P.102

※1：「＋81」が付いている（国番号が日本）場合は、「国際電話発信」を利用できません。
※2：FOMAカードに登録されている電話帳の場合は利用できません。
※3：選択している項目によって以下のようになります。
- メールアドレスを選択しているときは「メールアドレス」になります。
- 住所を選択しているときは「住所」になります。
- 誕生日を選択しているときは「誕生日」になります。
- メモを選択しているときは「メモ」になります。

※4：シークレットデータの電話帳を選択しているときは「シークレット解除」になります。
※5：FOMAカードの電話帳を選択しているときは「本体へコピー」になります。

おしらせ

＜直デン登録＞
◆ 直デンに登録した場合、機能メニューに「★」が表示されます。

＜拡大表示、標準表示＞
◆「拡大表示」に設定しても、電話帳詳細画面では名前のみが拡大表示されます。
◆「フォント設定」（P.128）の「文字サイズ」でも文字サイズを変更することができます。

● 電話帳にシークレットコードを設定する

相手のメールアドレスが「電話番号@docomo.ne.jp」で相手側がシークレットコードを登録している場合、メールの宛先には「電話番号＋シークレットコード@docomo.ne.jp」を指定する必要があります。
電話帳登録時にシークレットコードを設定しておけば、電話帳を検索してｉモードメールを作成するときに自動的にシークレットコードが付加されます。

おしらせ

◆ シークレットコードの設定が有効なのは、「電話番号@docomo.ne.jp」のメールアドレスまたは電話番号だけです。
◆ FOMAカードの電話帳にはシークレットコードを設定できません。
◆ 必ず、相手側で登録しているのと同じシークレットコードを設定してください。
◆ 相手のメールアドレスを「電話番号＋シークレットコード」または「電話番号＋シークレットコード@docomo.ne.jp」の形で電話帳に登録した場合は、本機能でシークレットコードを設定しないでください。

〈電話帳修正〉

電話帳を修正する

● フリガナは名前を修正しても自動で修正されません。

1 「電話帳詳細画面」（P.97）▶ [i]［機能］▶「電話帳編集」▶ それぞれの項目を修正

「電話帳登録」と同じ操作で、必要な項目を修正します。
電話帳の登録のしかた→P.93

■ 新しいメモリ番号に登録する場合

▶「No」▶ 電話帳が登録されていないメモリ番号（000～699）を入力
修正前の電話帳は元の内容のまま残り、修正後の電話帳の内容が別のメモリ番号で新しく登録されます。

2 修正が終わったら [✉]［完了］▶「YES」

■ FOMAカードの場合

▶ [✉]［完了］▶「上書き登録／追加登録」
「上書き登録」を選択すると、修正した内容で登録します。
「追加登録」を選択すると、修正前の電話帳は元の内容のまま残り、修正後の電話帳の内容は新しい電話帳として登録されます。

おしらせ

◆ 電話帳を修正すると、その電話帳が直デンに登録されている場合は、直デンも自動的に修正されます。

〈電話帳削除〉
電話帳を削除する

1 「電話帳詳細画面」（P.97）▶ [i]［機能］▶「電話帳削除」▶以下の項目から選択

電話番号削除※	選択した電話番号（またはメールアドレス、住所、誕生日、メモ、静止画、キャラ電）を削除します。
1件削除	詳細表示している電話帳を削除します。

※： 選択している項目によって以下のようになります。
- メールアドレスを選択しているときは「メールアドレス削除」になります。
- 住所を選択しているときは「住所削除」になります。
- 誕生日を選択しているときは「誕生日削除」になります。
- メモを選択しているときは「メモ削除」になります。
- 静止画を選択しているときは「静止画削除」になります。
- キャラ電を選択しているときは「キャラ電削除」になります。

おしらせ

◆ 電話帳一覧画面からも削除できます。ただし、電話帳詳細項目の削除はできません。
◆ 複数の電話番号、メールアドレスが登録されているときに1番目の電話番号、メールアドレスを削除すると、次の電話番号、メールアドレスが表示されます。
◆「電話番号削除」または「1件削除」を選択すると、その電話番号または電話帳が直デンに登録されている場合は、直デンからも削除されます。

〈FOMAカード（UIM）操作〉
電話帳をFOMAカードにコピーする

FOMA端末（本体）とFOMAカードの間で、電話帳やSMSのデータをやりとりできます。また、FOMA端末（本体）やFOMAカードに登録されている電話帳やSMSのデータを削除することもできます。
- データのコピー中または削除中は、音声電話やテレビ電話、メールの送受信はできません。また、ほかの機能を起動することもできません。
- FOMAカードの電話帳に登録できない項目はコピーできません。
  コピーできる項目や登録件数について→P.92

FOMA端末（本体）とFOMAカードの間でデータをコピーする

FOMA端末（本体）とFOMAカードの間で電話帳やSMSのデータをコピーします。

1 [MENU]▶「LifeKit」▶「FOMAカード（UIM）操作」▶端末暗証番号を入力

端末暗証番号を入力すると、着信などの通信動作ができないようになり「圏外」が表示されます。端末暗証番号入力前に着信などの通信動作があった場合は、FOMAカード（UIM）操作を終了します。

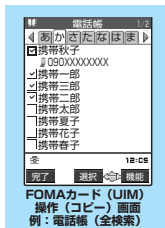
2 「コピー」▶「本体→FOMAカード（UIM）」または「FOMAカード（UIM）→本体」

3 以下の項目から選択

電話帳	▶**電話帳を検索** 電話帳の一覧画面を表示します。 電話帳の検索のしかた（検索方法の指定）→P.98	
SMS	SMSのデータを選択します。	
	受信BOX	受信BOXの一覧画面を表示します。
	送信BOX	送信BOXの一覧画面を表示します。

4 で□(チェックボックス)を選択▶[完了]▶「YES」

操作３で電話帳を選択した場合、電話帳一覧画面でタブが表示されているときは、タブを切り替えて選択することが可能です。

FOMAカード（UIM）操作（コピー）画面
例：電話帳（全検索）

機能メニュー➡P.103

おしらせ

◆ FOMAカードに異常があるときは、FOMAカードとのデータのやりとりはできません。
◆ FOMA端末（本体）からFOMAカードへ電話帳をコピーすると名前とフリガナに含まれる「カタカナ」は全角に変換されます。名前は全角10文字まで、半角21文字までがコピーされ、フリガナは全角12文字まで、半角25文字までコピーされますが、残りの文字はコピーされません。
◆ FOMA端末（本体）とFOMAカードでは、１つの電話帳に登録できる電話番号／メールアドレスの件数が異なるため、FOMA端末（本体）に登録された２番目以降の電話番号／メールアドレスはFOMAカードへコピーできません。
◆ FOMA端末（本体）とFOMAカードでは、利用できる文字の種類が異なるため、一部の文字がスペースや違う文字に変換される場合があります。
◆ 電話帳のデータは、グループ単位でのコピーはできません。
◆ シークレットデータとして登録された電話帳は、「シークレットモード」または「シークレット専用モード」にしても、本機能でコピーはできません。
◆ FOMA端末（本体）とFOMAカードに同じグループ名が設定されている場合は、電話帳のグループ設定は保持されます。FOMA端末（本体）とFOMAカードに同じグループ名が設定されていない場合は、グループ00に登録されます。
◆ SMS送達通知のみのコピーはできません。ただし、送信SMSのSMS送達通知を受信している場合は、送信SMSをコピーすると送信SMSに保存されたSMS送達通知もコピーできます。
◆ SMSのデータはBOX単位、フォルダ単位でのコピーはできません。
◆ FOMAカードへコピーしたSMSは保護できません。保護されているSMSをFOMAカードへコピーした場合、FOMAカード内のSMSは保護が解除されます。また、返信や転送のマークは既読のマークになります。
◆ 追加したフォルダ･「チャット」フォルダ･「ゴミ箱」フォルダ内のSMSをFOMA端末（本体）からFOMAカードへコピーした場合は、「受信BOX」フォルダまたは「送信BOX」フォルダで確認できます。
◆ FOMAカードからFOMA端末（本体）へコピーした場合は、「受信BOX」フォルダまたは「送信BOX」フォルダへコピーされます。

FOMAカード（UIM）操作（コピー）画面の機能メニュー

● タブの選択状態などによって利用できる機能が異なります。

コピー開始	コピー操作を開始します。
１件選択	反転表示したデータを選択します。
全選択	すべてのデータを選択します。
１件解除	反転表示したデータの選択を解除します。
全解除	すべてのデータの選択を解除します。
詳細表示	反転表示したデータを詳細表示します。

電話帳やSMSのデータを削除する

1 MENU▶「LifeKit」▶「FOMAカード（UIM）操作」▶端末暗証番号を入力

2 「削除」▶「本体」または「FOMAカード（UIM）」

3 以下の項目から選択

電話帳	▶電話帳を検索 電話帳の一覧画面を表示します。 電話帳の検索のしかた（検索方法の指定）→P.98	
SMS	SMSのデータを選択します。	
	受信BOX	受信BOXの一覧画面を表示します。
	送信BOX	送信BOXの一覧画面を表示します。

4 で□（チェックボックス）を選択▶[完了]▶「YES」

操作3で電話帳を選択した場合、電話帳一覧画面でタブが表示されているときは、タブを切り替えて選択することが可能です。

FOMAカード（UIM）操作（削除）画面
例：電話帳（全検索）

機能メニュー➡P.104

FOMAカード（UIM）操作（削除）画面の機能メニュー

● タブの選択状態などによって利用できる機能が異なります。

削除開始	削除操作を開始します。
1件選択	反転表示したデータを選択します。
全選択	すべてのデータを選択します。
1件解除	反転表示したデータの選択を解除します。
全解除	すべてのデータの選択を解除します。
詳細表示	反転表示したデータを詳細表示します。

MENU22

電話帳の登録状況を確認する

1 「電話帳一覧画面」（P.97）▶ [機能] ▶「電話帳登録件数」

本体（FOMA端末に登録されている電話帳）

電話帳　　　：電話帳の登録件数を表示します。
登録されている件数／700（登録できる件数）

シークレット：シークレットデータとして登録されている件数を表示します。「シークレットモード」または「シークレット専用モード」のときのみ表示できます。

静止画　　　：電話帳に登録されている静止画の件数を表示します。
登録されている件数／100（登録できる件数）

キャラ電　　：電話帳に登録されているキャラ電の件数を表示します。
登録されている件数／100（登録できる件数）

FOMAカード（FOMAカードに登録されている電話帳）

電話帳　　　：電話帳の登録件数を表示します。
登録されている件数／50（登録できる件数）

電話番号やメールアドレスごとに発着信の設定を変える

お買い上げ時 すべて解除

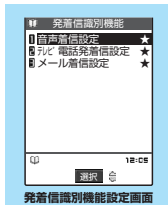
電話帳の電話番号やメールアドレスごと、またはグループごとに着信音や伝言メモの応答メッセージなどを設定できます。音だけで誰からの着信なのかを区別したいときなどに便利です。

- FOMA端末（本体）の「グループ00」、FOMAカードの電話帳とグループには設定できません。
- シークレットデータとして登録された電話帳には設定できません。
- 相手が電話番号を通知してこない場合、発着信識別機能およびグループ識別機能は無効となります。「番号通知お願いサービス」を設定しておくと便利です。→P.312

1 「電話帳詳細画面」（P.97）▶ i ［機能］▶「発着信識別機能」

「発着信識別機能設定画面」が表示されます。
設定されている機能には「★」が付きます。
電話帳詳細画面にて選択されている項目によって、利用できる機能が異なります。

■ グループごとに発着信の設定を変える場合
▶「グループ設定画面」（P.96）▶ i ［機能］▶「グループ識別機能」

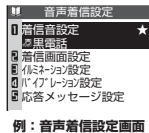
発着信識別機能設定画面

2 以下の項目から選択

音声着信設定	指定した電話番号またはグループから音声電話を着信したときのお知らせ方法を設定します。
テレビ電話発着信設定	指定した電話番号またはグループからテレビ電話を発着信したときのお知らせ方法を設定します。
メール着信設定	指定した電話番号またはグループからSMSを受信したとき、または指定したメールアドレスまたはグループからｉモードメールを受信したときのお知らせ方法を設定します。

3 以下の項目から選択

設定されている機能には「★」が付きます。

■ 設定されている機能を解除する場合
▶「★」が付いている機能を反転表示して ✉ ［解除］
機能が解除されて「★」が消えます。

例：音声着信設定画面

着信音設定※1	誰からの電話／メールかを、着信音で区別します。 「携帯電話から鳴る着信音を変える」→P.112
着信画面設定※2	誰からの電話かを、着信画像で区別します。 「画面の表示を変える」→P.119
キャラ電設定※3	テレビ電話のときのキャラ電を相手によって使い分けます。 「キャラ電設定」→P.79
イルミネーション設定※1	誰からの電話／メールかを、着信ランプの点滅で区別します。 「着信時の着信ランプの点滅のしかたを設定する」→P.127
バイブレーション設定	誰からの電話／メールかを、バイブレーションで区別します。 「着信を振動で知らせる」→P.114
応答メッセージ設定※2	伝言メモが起動したときの応答メッセージを、相手によって変えます。 「電話に出られないときに用件を録音／録画する」→P.71
通信速度設定※3	テレビ電話をかけるときの通信速度を、相手によって使い分けます。「64K」または「32K」から選択します。

※1：64Kデータ通信の着信時も区別できます。
※2：「音声着信設定」または「テレビ電話発着信設定」を選択したときのみ表示されます。
※3：「テレビ電話発着信設定」を選択したときのみ表示されます。

次ページにつづく

■ 発着信識別機能を設定すると

電話帳の詳細画面に以下の機能が設定されていることを示すアイコンが表示されます。

例：テレビ電話発着信設定

- ：音声電話／テレビ電話の「着信音設定」
- ：メールの「着信音設定」
- ：音声電話／テレビ電話の「イルミネーション設定」
- ：メールの「イルミネーション設定」
- ：音声電話／テレビ電話の「バイブレーション設定」
- ：メールの「バイブレーション設定」
- ：音声電話／テレビ電話の「着信画面設定」
- ：音声電話／テレビ電話の「応答メッセージ設定」
- ：テレビ電話の「キャラ電設定」
- 64k：テレビ電話の「通信速度設定」を「64K」に設定
- 32k：テレビ電話の「通信速度設定」を「32K」に設定

おしらせ

◆ 電話番号に対して設定する「メール着信設定」の「着信音設定」、「イルミネーション設定」、「バイブレーション設定」は、SMSや相手のメールアドレスが「電話番号@docomo.ne.jp」からのメールを受信したときに動作します。それ以外のメールアドレスからの受信に対しては、電話帳のメールアドレスに設定した動作となります。

◆ シークレットデータとして登録された電話帳と普通の電話帳が混在して登録されているグループや、シークレットデータのみが登録されているグループにも本機能を設定することができます。ただし、シークレットデータとして登録している相手からの着信では、本機能の設定は無効になります。

◆ 発着信識別機能／グループ識別機能の設定がほかの機能の設定と重なった場合や、それぞれ異なる設定をしているメールやメッセージR/Fを同時に受信した場合で動作が変わります。

◆ 複数のメールやメッセージR/Fを同時に受信した場合の動作は以下のとおりです。

	着信音、着信イルミネーションの動作
メールのみを複数受信	最後に受信したメールに設定されている条件で動作します。チャットメールが含まれている場合は、チャットメールに設定されている着信音が鳴ります。
メッセージRとメッセージFを同時に受信	メッセージRに設定されている条件で動作します。
メールとメッセージR/Fを同時に受信	最後に受信したメールに設定されている条件で動作します。チャットメールが含まれている場合は、チャットメールに設定されている着信音が鳴ります。

<着信ランプ動作の優先順位>

◆ 着信の設定が重なった場合の着信ランプの動作の優先順位について→P.127

<バイブレータ動作の優先順位>

◆ 着信の設定が重なった場合のバイブレータ動作の優先順位について→P.115

<着信音動作の優先順位>

◆ 着信の設定が重なった場合の着信音動作の優先順位について→P.114

◆ メール着信の設定が重なった場合の着信音動作の優先順位について→P.222、251

<着信画像表示の優先順位>

◆ 音声電話、テレビ電話にて、着信の設定が重なった場合の画像表示の優先順位について→P.122

<通信速度設定の優先順位>

◆ 通信速度の設定が重なった場合の優先順位は以下のとおりです。

①通信速度設定→P.78、100　②発着信識別機能の通信速度設定

③グループ識別機能の通信速度設定

発着信識別機能の設定状況を確認する　MENU62

「発着信識別機能」を設定している電話帳およびグループを各機能または項目ごとに確認できます。

1 「電話帳一覧画面」（P.97）▶ [i]［機能］▶「発着信識別機能」

「発着信識別機能確認画面」が表示されます。
本機能が設定されている項目には「★」が付いています。

2 「発着信識別機能確認画面」にて「★」が付いている機能または項目を選択▶「★」が付いている機能または項目を反転表示して※ [i]［機能］▶以下の項目から選択

※：設定している機能または項目によって回数が変わります。

設定確認	選択した機能または項目が設定されている電話帳およびグループを確認します。
設定解除	選択した機能または項目の設定をまとめて解除します。

〈直デン〉

直デンを利用する

直デンに登録すると、登録した相手の電話番号やメールアドレスをすばやく呼び出すことができます。

直デンに登録する

- 直デンは、FOMA端末（本体）の電話帳の登録データ（電話番号など）を利用して登録します。
- あらかじめ、登録したい相手をFOMA端末（本体）の電話帳に登録しておきます。→P.93
- 直デンには最大5件まで登録できます。

1 [MENU]▶「ユーザデータ」▶「直デン」

「直デン一覧画面」が表示されます。

直デン一覧画面

機能メニュー➡P.108

2 [✉]［登録］▶登録する電話帳を検索

電話帳検索のしかた（検索方法の指定）→P.98

3 [◎]で登録したい電話番号の□（チェックボックス）を選択

電話帳に複数の電話番号が登録されている場合は選択します。

4 [◎]で登録したいメールアドレスの□（チェックボックス）を選択

電話帳に複数のメールアドレスが登録されている場合は選択します。

5 [✉]「完了」

おしらせ

◆ 直デン詳細画面で[CLR]を押すと、直デン一覧画面が表示されます。

直デンから電話をかける

1 [MENU]▶「直デン」

「直デン詳細画面」が表示されます。
待受画面表示中に[◎]を押しても表示されます。

直デン詳細画面

機能メニュー➡P.108

2 で目的の相手を選択▶［電話する］

■ テレビ電話をかける場合
▶[✉]［テレビ電話］

■ メールを作成する場合
▶［メールする］

直デン一覧画面の機能メニュー

登録	「直デンに登録する」→P.107
編集	直デンを修正します。
ｉモードメール一斉送信	直デンに登録したすべてのメールアドレス宛にｉモードメールを作成します。「ｉモードメールを作成して送信する」→P.211
チャットメール一斉送信	直デンに登録したすべてのメールアドレス宛にチャットメールを作成します。「チャットメールを作成して送信する」→P.244
1件削除	反転表示した直デンを削除します。
全削除	▶端末暗証番号を入力▶「YES」 直デンをすべて削除します。

直デン詳細画面の機能メニュー

編集	直デンを修正します。
画像変更	直デン詳細画面での画像を変更します。

〈ツータッチダイヤル〉

少ないボタン操作で電話をかける

メモリ番号を「000」～「009」に登録すると、[0]から[9]のうちの1つを押して[☎]を押すだけですばやく電話をかけることができます。

[0]～[9]▶[☎]

■ テレビ電話をかける場合
▶[✉]［テレビ電話］

おしらせ

◆ 電話帳に複数の電話番号を登録している場合は、1番目の電話番号に電話をかけます。
◆ シークレットモード、シークレット専用モード時は、メモリ番号000～009にシークレット登録された電話帳にツータッチダイヤルで発信することができます。
◆「指定発信制限」を設定したときに、メモリ番号000～009の電話帳の1番目の電話番号が「指定発信制限」に指定されていないと、ツータッチダイヤルは使用できません。

〈オート表示〉　MENU47

いつもかける相手にワンタッチで電話をかける

お買い上げ時 OFF

待受画面表示中に折り畳んだFOMA端末を開くと、指定した電話番号を自動的に表示するように設定できます。[☎]や[✉]［テレビ電話］を押すだけで、表示された電話番号に音声電話、テレビ電話を発信することができます。

● オート表示に指定できる電話番号は1件です。メールアドレスは指定できません。
● FOMAカードの電話帳、直デンは指定できません。

オート表示機能を有効にする

[MENU]▶「各種設定」▶「ディスプレイ」▶「オート表示」▶「ON」

■ オート表示機能を無効にする場合
▶「OFF」

オート表示させる電話番号を指定する

1 「電話帳詳細画面」（P.97）▶[i]［機能］▶「オート表示」

「電話帳詳細画面」の機能メニューで「オート表示」に「★」が付きます。

■ **同じ電話帳に複数の電話番号が登録されている場合**

▶でオート表示させる電話番号を反転表示

■ **オート表示の指定を解除する場合**

▶操作1を再度行う

指定が解除されて「★」が消えます。

おしらせ

◆ オート表示の電話番号表示中に、、CLR、[⮌]を押すと待受画面に戻ります。
◆ 以下のような場合、本機能の設定は無効になります。
- シークレット専用モード設定中
- 各機能の操作中や文字の入力中にFOMA端末を閉じて再度開いた場合
- オート表示に設定している電話番号に指定発信制限が設定されておらず、ほかの電話番号に指定発信制限が設定されている場合

〈電話帳お預かりサービス〉

電話帳をお預かりセンターに保存（復元・更新）する

お客様のFOMA端末に保存されている電話帳、画像、メールのデータをドコモのお預かりセンターに預けることができます。

- 本サービスを利用するには、「電話帳お預かりサービス」のお申し込みが必要です。
- 「電話帳お預かりサービス」をご契約されていない場合は、「電話帳お預かりサービス」未契約のお知らせが表示されます。その画面からサイトに接続してサービスを申し込むことができます。
  電話帳お預かりサービスについて→P.158
- 「圏外」が表示されているところでは、電話帳お預かりサービスの操作はできません。
- 電話帳お預かりサービスのご利用時には、データ更新時にデータの大きさに応じたパケット通信料がかかります。
- 電話帳お預かりサービス利用中に、テレビ電話の着信があった場合は途中で中断されます。通話が終了した後は、中断した時点のデータからバックアップを再開します。
- お預かりセンターの容量がいっぱいになった場合は、途中で中断されます。この場合、バックアップ済みのデータはそのまま保存されます。

● 電話帳お預かりサービスの対象データ

データ		保存項目	参照ページ
電話帳	FOMA端末の電話帳	名前、フリガナ、電話番号、メールアドレス、メモ、住所、誕生日、静止画、シークレット属性、グループ番号、グループ名	P.109
メール	送信／受信／保存BOX内のｉモードメール、チャットメール、SMS	未読／既読、メッセージタイプ、差出人、宛先、タイトル、受信／送信日時、本文、添付	P.239
画像	INBOX、カメラ、デコメールピクチャ、ユーザ作成のフォルダ内の画像	JPEG形式（プログレッシブJPEG形式含む）およびGIF形式ファイル、タイトル名	P.258

※ FOMAカードに登録されている電話帳やSMSはお預かりセンターに保存できません。また、シークレットフォルダ内に保存されているデータもお預かりセンターに保存できません。

● 電話帳をお預かりセンターに保存する

FOMA端末（本体）の電話帳データを、ドコモのお預かりセンターに預けることができます。

- すでにお預かりセンターに電話帳データが保存されている場合、本操作を行うと、FOMA端末（本体）の内容に更新されます。

1 MENU▶「LifeKit」▶「電話帳お預りサービス」▶「お預りセンターに接続」

■ **電話帳内の画像送信について設定する場合**

▶「電話帳内画像送信設定」▶「する／しない」

お買い上げ時は、「しない」に設定されています。「する」に設定すると、電話帳に登録されている画像もお預かりセンターに保存されます。

2 端末暗証番号を入力▶「YES」

お預かりセンターに接続して電話帳の保存（更新）を開始します。

3 ✉［完了］

おしらせ

◆ 100Kバイトを超える画像が登録されている電話帳は、保存・更新することはできませんのでご注意ください。

■ 電話帳を復元／更新する

お預かりセンターに預けている電話帳データは、FOMA端末に復元することができます。復元は、i モードに接続して行います。また、お預かりセンターに預けている電話帳データをパソコンなどから編集したり、編集した電話帳をFOMA端末に更新することもできます。

ご利用方法の詳細等については、『ご利用ガイドブック（i モード<FOMA>編）』をご覧ください。

おしらせ

◆ 電話帳の更新時にほかの機能を起動していた場合、機能によっては更新されない場合があります。この場合、待受画面に「更新」のデスクトップアイコンを表示してお知らせします。

◆ お預かりセンターに預けている電話帳データをFOMA端末に復元すると、電話番号やメールに登録されているアイコンの種類によっては「☎」や「✉」に置き換わることがあります。

● お預かりセンターとの通信履歴を確認する

● 通信履歴は30件まで記憶できます。履歴が最大件数を超えた場合は、古い履歴から順に上書きされます。

● 通信履歴詳細画面では通信結果、日付、通信内容、通信データサイズ、お預かりセンターへの送信結果、携帯電話の受信結果、お預かりセンター残件数が表示されます。

1 MENU▶「LifeKit」▶「電話帳お預りサービス」▶「通信履歴表示」

「通信履歴一覧画面」が表示されます。

2 通信履歴項目を選択

通信履歴一覧画面

機能メニュー ➡P.110

おしらせ

◆ 通信履歴詳細画面に表示される通信データサイズは、あくまでも目安です。

通信履歴一覧画面の機能メニュー

1件削除	反転表示した通信履歴を削除します。
選択削除	▶で□（チェックボックス）を選択▶✉［完了］▶「YES」 複数の通信履歴を削除できます。
全削除	▶端末暗証番号を入力▶「YES」 通信履歴をすべて削除します。

●音／画面／照明設定

■音の設定

携帯電話から鳴る着信音を変える .... 着信音選択 112
ｉモーションの再生音に音響効果を加える
.... SRS_WOW 設定 114
着信を振動で知らせる .... バイブレータ 114
ボタンを押したときに鳴る音を設定する .... ボタン確認音 115
充電時の確認音を設定する .... 充電確認音 115
時刻アラーム音を設定する .... 時刻アラーム音設定 115
通話が切れそうなときはアラームで知らせる
.... 通話品質アラーム 116
メールの着信音を鳴らす時間を設定する
.... メール／メッセージ鳴動 116
イヤホンとスピーカから着信音を鳴らす .... 通知音出力切替 116
電話から鳴る音を消す .... マナーモード 117
マナーモードを変更する .... マナーモード選択 117

■画面／照明の設定

画面の表示を変える .... 画面表示設定 119
着信時に電話帳に設定した画像を表示する
.... 電話帳画像着信設定 122
周りから画面が見えないようにする .... プライバシーアングル 123
ディスプレイとボタンの照明を設定する .... 照明設定 123
ディスプレイの色を変更する .... 画面デザイン 124
メニュー表示を変更する .... メニュー画面設定 124
着信時の着信ランプの点滅のしかたを設定する
.... 着信イルミネーション 127
通話中の着信ランプの点滅のしかたを設定する
.... 通話中イルミネーション 128
通話中の通話時間表示を設定する .... 通話中時間表示 128
文字のフォントを変える .... フォント設定 128
待受画面の時計表示を設定する .... 待受時計表示 129
画面を英語表示に切り替える .... バイリンガル 129
デスクトップアイコンを利用する .... デスクトップ 130
待受画面の表示アイコンを選択できるようにする
.... 表示アイコン設定 132
スタイルモードを設定する .... スタイルモード 134

携帯電話から鳴る着信音を変える

お買い上げ時	電話：Morning Call（本体色ホワイト&ペリドット）、Something New（本体色ブラック&サファイア）、Night Table（本体色ピンク&ルビー） テレビ電話：Morning Call（本体色ホワイト&ペリドット）、Something New（本体色ブラック&サファイア）、Night Table（本体色ピンク&ルビー） メール：You've Got Mail　チャットメール：You've Got Mail メッセージR：Notify　メッセージF：Notify

音声電話、テレビ電話、メール、チャットメール、メッセージR/Fを受けたときのそれぞれの着信音を設定できます。また、特定の電話番号やメールアドレス、アドレス帳のグループを指定してそれぞれに着信音を設定することもできます。→P.105

- お買い上げ時に登録されている着信音やメロディ以外にも、iモードのサイトやインターネットホームページから取得したiモーションやメロディを着信音に設定できます。
- 着信音と着信画面に映像と音声が含まれるiモーションを設定した場合は、着信音に設定されたiモーションの映像と音声が再生されます。
- 着信音に映像と音声が含まれるiモーション以外を設定し、着信画面に映像と音声が含まれるiモーションを設定した場合は、着信画面に設定されたiモーションの映像と音声が再生されます。
- iモーションによっては設定できないものがあります。
- メロディ一覧の見かたについて→P.273

1 MENU ▶「各種設定」▶「着信」▶「着信音選択」▶以下の項目から選択

電話	音声電話、64Kデータ通信の着信音と着信画面（「画面の表示を変える」→P.119）が設定できます。
テレビ電話	テレビ電話の着信音と着信画面（「画面の表示を変える」→P.119）が設定できます。
メール	iモードメール、SMS、パケット通信の着信音とメールの着信画面（「画面の表示を変える」→P.119）が設定できます。
チャットメール	チャットメールの着信音とメールの着信画面（「画面の表示を変える」→P.119）が設定できます。
メッセージR	メッセージRの着信音とメールの着信画面（「画面の表示を変える」→P.119）が設定できます。
メッセージF	メッセージFの着信音とメールの着信画面（「画面の表示を変える」→P.119）が設定できます。

2 「着信音」▶以下の項目から選択

メロディ	お買い上げ時に登録されている着信音やメロディを「プリインストール」フォルダから、iモードのサイトやインターネットホームページなどからダウンロードしたメロディを「INBOX」またはお客様が作成したフォルダから選択します。
iモーション	FOMA端末に取得したiモーションやカメラで撮影した動画（iモーション）を「INBOX」、「カメラ」またはお客様が作成したフォルダから選択します。お買い上げ時に登録されているiモーションは「プリインストール」フォルダから選択します。 着信時には選択したiモーションに応じて映像や音声が再生されます（着モーション機能）。
おしゃべり	「おしゃべり1～2」から選択します。
ランダムメロディ	メロディが保存されているフォルダを選択します。着信時にはフォルダに保存されているメロディがランダムで選曲され、再生されます。
OFF	着信音を鳴らしません。

3 着信音またはiモーションを選択

メロディを選択すると、そのメロディが鳴ります。☎、＊、＃、✉、i、0のいずれかのボタンを押すと、メロディはとまります。
着信音を設定したら、必要に応じて着信画面の設定をします。

■ 設定を確認する場合
▶✉［デモ］

お買い上げ時に登録されている着信音・メロディ一覧

表示	曲名※1	作曲者※1 ※2
着信音1～4	–	–
Morning Call	MORNING CALL	–
Something New	SOMETHING NEW	–
Night Table	NIGHT TABLE	–
Afternoon Tea	AFTERNOON TEA	–
Wonderful Moments	WONDERFUL MOMENTS	–
皇帝	EMPEROR OP.73	LUDWIG VAN BEETHOVEN
アヴェ・マリア	ELLENS GESANG III OP.52の6, D.839	FRANZ SCHUBERT
木星	SUITE 'THE PLANETS' OP.32 JUPITER	GUSTAV HOLST
トロイメライ	KINDERSZENEN OP.15 TRAUMEREI	ROBERT SCHUMANN
ジュトゥヴ	JE TE VEUX	ERIK SATIE
黒電話	–	–
You've Got Mail	–	–
Bossa Jingle	–	–
Jazz Jingle	–	–
Piano	–	–
Notify	–	–
ひよこ	–	–
足音	–	–

※：JASRACの権利管理楽曲はありません。
※1：曲名、作曲者のローマ字は大文字で表記しています。
※2：作曲者はJASRACホームページに準拠して表記しています。

お買い上げ時に登録されている着モーション

「ｉモーション」の「プリインストール」フォルダに「Private Cafe」が登録されています。

おしらせ

- ◆ 映像のみのｉモーション、テロップ付きｉモーションは着信音に設定できません。
- ◆ ｉモーションによっては設定できないものがあります。
- ◆ 着モーションや着信画像に設定できる動画／ｉモーションでも、以下の場合は着モーションや着信画像に設定できません。
  - ・赤外線通信やドコモケータイdatalinkなどを使用してパソコンやほかのFOMA端末に転送してから、もう一度FOMA端末本体に戻した場合
- ◆ 着信音選択中に再生される着信音の音量は、「着信音量」で設定した音量となります。「着信音量」を「消去」に設定している場合は鳴りません。
- ◆ メロディは、あらかじめ再生部分が指定されていることがあります。そのため着信音などに設定したときは指定部分のみが再生されます。→P.273
- ◆ データBOX内の「メロディ」で「着信音設定」を行うと、本機能の設定に反映されます。→P.274
- ◆ データBOX内の「ｉモーション」で「着信音設定」を行うと、本機能の設定に反映されます。→P.264
- ◆ 着信音と着信画面の組み合わせ、優先順位によって着信音か着信画面のどちらかがお買い上げ時の設定で動作する場合があります。
- ◆ 相手が電話番号を通知してこない音声電話の着信音は、「非通知着信設定」で設定できます。相手が電話番号を通知してこないテレビ電話の着信音は、本機能の「テレビ電話」の設定に従います。
- ◆ メールの着信音にｉモーションを設定している場合、パケット通信の着信音はお買い上げ時の「メール」の着信音となります。また、着信画面の設定にかかわらず、パケット通信の着信時には専用の着信画面が表示されます。

<着信音動作の優先順位>

◆ 音声電話、テレビ電話にて、着信の設定が重なった場合の着信音動作の優先順位は以下のとおりです。
①マルチナンバー（付加番号1、2）の着信音→P.315
②発着信識別機能の着信音→P.105　③グループ識別機能の着信音→P.105
④着信音選択／スタイルモードの着信音（テレビ電話）→P.112、134
⑤非通知着信設定の着信音→P.156
⑥着信音選択／スタイルモードの着信音（テレビ電話以外）→P.112、134
なお、上記の発着信識別機能やグループ識別機能での優先順位は以下のとおりです。
①着信音設定のｉモーション　②着信画面設定のｉモーション
③着信音設定のｉモーション（歌手の歌声など映像のないｉモーション）、メロディ
メール着信の設定が重なった場合の着信音動作の優先順位について→P.222、251

〈SRS_WOW設定〉　MENU64

ｉモーションの再生音に音響効果を加える

お買い上げ時 OFF

音響効果ありのｉモーションを再生したときに、スピーカから聞こえる再生音には「楽器や声の輪郭がはっきりしたサウンド」といった音響効果が加わり、イヤホンから聞こえてくるステレオ再生音には「自然な立体音場感」、「豊かな低音」、「楽器や声の輪郭がはっきりしたサウンド」といった音響効果が同時に加わります。

● 音響効果ありのｉモーションは、動画一覧画面のアイコンで確認できます。→P.255

1 ▶「各種設定」▶「着信」▶「SRS_WOW設定」▶「ON」

■ ｉモーション再生音に音響効果を加えない場合
▶「OFF」

〈バイブレータ〉　MENU54

着信を振動で知らせる

お買い上げ時 すべてOFF

音声電話、テレビ電話、メール、チャットメール、メッセージR/Fを受けたときのそれぞれの振動パターンを設定できます。

1 MENU ▶「各種設定」▶「着信」▶「バイブレータ」▶以下の項目から設定

電話	音声電話や64Kデータ通信のバイブレータを設定します。
テレビ電話	テレビ電話のバイブレータを設定します。
メール	ｉモードメールやSMS、パケット通信のバイブレータを設定します。
チャットメール	チャットメールのバイブレータを設定します。
メッセージR	メッセージRのバイブレータを設定します。
メッセージF	メッセージFのバイブレータを設定します。

2 振動パターンを選択

パターン1	パターン1で振動します。
パターン2	パターン2で振動します。
パターン3	パターン3で振動します。
メロディ連動	着信音に設定されているメロディのパターンにあわせてFOMA端末が振動します。ただし、メロディにバイブレータのパターンが指定されていない場合、または着信音をｉモーションに設定している場合は、パターン2で振動します。
OFF	振動しません。

振動パターンを選ぶと、そのパターンでFOMA端末が振動します。
待受画面のアイコンで、バイブレータが動作する対象を確認することができます。

：音声電話、テレビ電話のいずれかの着信で振動することを示しています。
：メール／チャットメール／メッセージR／メッセージFのいずれかの着信で振動することを示しています。
：「」と「」の両方の状態であることを示しています。

おしらせ

◆「バイブレータ」の「メール」「チャットメール」「メッセージR」「メッセージF」のそれぞれの設定は、「メール／メッセージ鳴動」のそれぞれの設定を「ON」にしなければ着信時に鳴動しないため、バイブレータも振動しません。
◆バイブレータを「OFF」以外に設定した場合は、着信時の振動でFOMA端末が火気（ストーブなど）に近づいたり、机から落ちたりしないよう注意してください。
◆「着信音量」を「消去」以外に設定し、バイブレータを設定したときは、音と振動でお知らせします。「着信音量」を「消去」に設定したときは、振動だけでお知らせします。
◆バイブレータの振動は、着信音量にかかわらず、一定の強さとなります。
◆「メロディ連動」に設定した場合、振動パターンは主旋律に連動しないこともあります。

<バイブレータ動作の優先順位>
◆着信の設定が重なった場合のバイブレータ動作の優先順位は以下のとおりです。
①発着信識別機能のバイブレーション設定→P.105　②グループ識別機能のバイブレーション設定→P.105
③バイブレータの設定

〈ボタン確認音〉 MENU30

ボタンを押したときに鳴る音を設定する

お買い上げ時 ON

● 本機能を「OFF」に設定した場合、以下の音も鳴りません。
- 各種警告音
- 受話音量の調節を開始したときの音
- 電池残量表示の音
- アラーム機能のスヌーズ解除音

● ボタン確認音の音量は、通話中の場合には「受話音量」で設定した音量、通話していない場合には一定の音量になります。
● 本機能の設定にかかわらず、以下の操作を行うときは確認音が鳴ります。
- FOMA端末を閉じた状態で[MEMO/CHECK]を押したとき
- カメラで撮影したときのシャッター音
- メモの再生開始時／終了時（受話口から鳴ります）
- 待受中音声メモ、おしゃべりの録音開始時／終了時（受話口から鳴ります）

● 「初期設定」（P.43）からボタン確認音を設定する場合は、「ON」または「OFF」から選択してください。

1 MENU ▶「各種設定」▶「その他」▶「ボタン確認音」▶「ON」

■ ボタン確認音を鳴らさない場合
▶「OFF」

〈充電確認音〉

充電時の確認音を設定する

お買い上げ時 ON

充電したままFOMA端末を放置することがないように、充電をはじめたときや完了したときに「ピッピッ」と確認音が鳴るように設定できます。
● 本機能の設定にかかわらず、以下の場合は確認音が鳴りません。
- 発信中
- 音声通話中
- 公共モード（ドライブモード）設定中の場合
- おしゃべり機能録音中
- 電源が切れている場合
- 着信中
- マナーモード設定中の場合
- 待受中音声メモ録音中
- データ通信中
- 待受画面以外の画面が表示されている場合

1 MENU ▶「各種設定」▶「その他」▶「充電確認音」▶「ON」

■ 充電確認音を鳴らさない場合
▶「OFF」

〈時刻アラーム音設定〉

時刻アラーム音を設定する

お買い上げ時 アラーム音

アラーム機能、スケジュール、To Doリストで設定できる時刻アラーム音を変更することができます。

1 MENU ▶「各種設定」▶「時計」▶「時刻アラーム音設定」▶以下の項目から選択

メロディ	▶フォルダを選択 着信音やメロディを選択します。→P.112

iモーション	▶フォルダを選択 iモーションを選択します。→P.112
おしゃべり	「おしゃべり機能」に録音されている「おしゃべり1」、「おしゃべり2」から選択します。 「アラーム音や応答保留音を録音／再生する」→P.296
OFF	時刻アラーム音を鳴らしません。

〈通話品質アラーム〉 MENU75

通話が切れそうなときはアラームで知らせる

お買い上げ時 アラーム高音

音声通話中やテレビ電話中に電波の状態が悪くなって途中で通話が切れそうな場合は、直前にアラームを鳴らしてお知らせします。

● 急に電波の状態が悪くなった場合は、アラームが鳴らずに通話が切れてしまうことがあります。

1 MENU▶「各種設定」▶「通話」▶「通話品質アラーム」▶「アラームなし」、「アラーム高音」または「アラーム低音」

〈メール／メッセージ鳴動〉 MENU68

メールの着信音を鳴らす時間を設定する

お買い上げ時 すべてON（鳴動時間5秒）

メールやチャットメール、メッセージR/Fを受信したときに、着信音を鳴らすかどうか、鳴らす場合にはその時間を設定します。

1 MENU▶「各種設定」▶「着信」▶「メール／メッセージ鳴動」▶以下の項目から設定

メール	iモードメールやSMSの鳴動時間を設定します。
チャットメール	チャットメールの鳴動時間を設定します。
メッセージR	メッセージRの鳴動時間を設定します。
メッセージF	メッセージFの鳴動時間を設定します。

2 鳴らす／鳴らさないを選択

ON	▶鳴動時間（01～30秒）を入力 鳴動時間で設定した時間で鳴ります。 時間は2桁で入力します。表示されている時間をそのまま設定するときは●を押します。
OFF	鳴らしません。

おしらせ

◆「メール」、「チャットメール」、「メッセージR」、「メッセージF」のいずれかを「OFF」に設定すると待受画面に「」が表示されます。

〈通知音出力切替〉 MENU51

イヤホンとスピーカから着信音を鳴らす

お買い上げ時 イヤホン（イヤホンのみ）

平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）などを接続しているときに、イヤホンとスピーカから着信音やアラーム通知音などが鳴るように設定できます。

1 MENU▶「各種設定」▶「外部接続」▶「通知音出力切替」▶「イヤホン+スピーカ」、「イヤホン（20秒後スピーカ）」または「イヤホン（イヤホンのみ）」

おしらせ

◆ 本機能を「イヤホン（20秒後スピーカ）」、「イヤホン（イヤホンのみ）」に設定していても、イヤホンマイクを接続していない場合はスピーカから音が鳴ります。また、イヤホンマイクを接続していてもカメラのシャッター音などはスピーカから音が鳴ります。

◆「イヤホン（20秒後スピーカ）」に設定している場合、着信音やアラーム通知音が鳴って約20秒後にイヤホンとスピーカの両方から鳴ります。

◆ 平型スイッチ付イヤホンマイクのコードをFOMA端末に巻き付けないでください。電波の受信レベルが低下する場合があります。また、通話中に平型スイッチ付イヤホンマイクのコードをFOMA端末に近づけると、雑音が入ることがあります。

〈マナーモード〉
電話から鳴る音を消す

ボタン1つの操作で着信音やボタン確認音などスピーカから出る音を鳴らさないように設定し、周囲に迷惑がかからないようにします。

● マナーモード設定中は、以下の音を振動でお知らせします。
- 着信音※1
- アラーム機能、スケジュール、To Doリスト、通話料金通知の各アラーム通知音※2
- FOMA端末を折り畳んでいるときの不在着信／新着メールの確認音

※1：「バイブレータ」の設定パターンで振動します。「バイブレータ」が「OFF」に設定されている場合は「パターン2」で振動します。
※2：「バイブレータ」の「電話」の設定パターンで振動します。「バイブレータ」の「電話」が「OFF」に設定されている場合は「パターン2」で振動します。

● マナーモード設定中の動作は「マナーモード選択」で「マナーモード」、「スーパーサイレント」、「オリジナルマナー」の3種類から選択することができます。→P.117

1 待受画面表示中または通話中▶#（1秒以上）

マナーモードが設定されて「」が表示されます。
通話中は「ピッピッ」という音が鳴り、マナーモードに設定したことを通知するメッセージが表示されます。
マナーモード設定中は「」のほかに、「マナーモード選択」で設定した内容が表示されます。

：「バイブレータ」でお知らせすることを示します。
、、：「着信音量」を「消去」に設定していることを示します。
～：「伝言メモ」で用件を録音するように設定していることを示します。数字は録音されている伝言メモの件数を示します。
～：「テレビ電話伝言メモ」で用件を録画するように設定していることを示します。数字は録画されているテレビ電話伝言メモの件数を示します。

■ マナーモードを解除する場合
マナーモードが設定されている状態で、待受画面表示中または通話中に#（1秒以上）を押します。
マナーモードが解除されて「」の表示が消えます。
通話中は「ピッピッ」という音が鳴り、マナーモードを解除したことを通知するメッセージが表示されます。

おしらせ

◆ マナーモード設定中でも、カメラで撮影するときのシャッター音は鳴ります。

〈マナーモード選択〉 MENU20
マナーモードを変更する

お買い上げ時 マナーモード

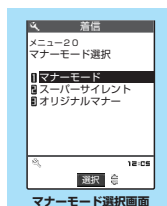
マナーモード設定中の動作を選択することができます。

● お買い上げ時では、「オリジナルマナー」の動作は以下のように設定されています。
- 伝言メモ：OFF
- バイブレータ：ON
- 電話着信音量：消去
- メール着信音量：消去
- アラーム機能音量：消去
- メモ確認音：ON
- ボタン確認音：OFF
- 通話中マイク感度：アップ
- 低電圧アラーム：OFF

1 MENU▶「各種設定」▶「着信」▶「マナーモード選択」

「マナーモード選択画面」が表示されます。

マナーモード選択画面

2 以下の項目から選択

マナーモード	スピーカから出るすべての音を消去し、着信などをバイブレータ（振動）でお知らせします。ただし、受話口から鳴る確認音（音声メモやメモの再生／消去で[MEMO/CHECK]を押したときの確認音）は消去しません。

スーパーサイレント	スピーカから出るすべての音と、受話口から鳴る確認音を消去し、着信などをバイブレータ（振動）でお知らせします。
オリジナルマナー	お客様のお好みによってマナーモード設定中の動作を設定できます。マナーモード設定中に電話がかかってきたときの動作、アラーム機能のアラーム音量などをあらかじめ設定しておくことができます。 「オリジナルマナーを設定する」→P.118

オリジナルマナーを設定する

1 「マナーモード選択画面」（P.117）▶「オリジナルマナー」▶以下の項目から選択

伝言メモ	伝言メモを設定します。 「電話に出られないときに用件を録音／録画する」→P.71
バイブレータ	バイブレータを設定します。 「着信を振動で知らせる」→P.114
電話着信音量	**▶で音量を調節** 音声電話とテレビ電話、64Kデータ通信の着信音量を設定します。 「着信音の音量を調節する」→P.65
メール着信音量	**▶で音量を調節** メール、チャットメール、パケット通信、メッセージR/Fの着信音量を設定します。 「着信音の音量を調節する」→P.65
アラーム音量	**▶で音量を調節** アラーム機能のアラーム音量を設定します。 「アラーム機能を設定する」→P.287
メモ確認音	「伝言メモ」や「音声メモ」などの確認音を設定します。
ボタン確認音	ボタン確認音を設定します。 「ボタンを押したときに鳴る音を設定する」→P.115
通話中マイク感度	通話中のマイク感度を「標準」、「アップ」から選択します。
低電圧アラーム	電池切れアラームを設定します。 「電池が切れたときは?」→P.42

2 設定が終わったら ［完了］

■ マナーモードに設定すると

各マナーモードは以下のような設定になります。

<table>
<tr><th>項目</th><th>マナーモード</th><th>スーパーサイレント</th><th>オリジナルマナー（オリジナルマナーの設定項目を示します）</th></tr>
<tr><td>伝言メモの起動</td><td colspan="2">OFF</td><td>「伝言メモ」の設定値</td></tr>
<tr><td>バイブレータ</td><td colspan="2">ON</td><td>「バイブレータ」の設定値</td></tr>
<tr><td>音声電話、テレビ電話、64Kデータ通信の着信音量</td><td colspan="2">消去</td><td>「電話着信音量」の設定値</td></tr>
<tr><td>メール、チャットメール、パケット通信、メッセージR/Fの着信音量</td><td colspan="2">消去</td><td>「メール着信音量」の設定値</td></tr>
<tr><td>アラーム機能のアラーム音量（スヌーズ機能を含む）</td><td colspan="2">消去</td><td>「アラーム」の設定値</td></tr>
<tr><td>スケジュール／To Doリスト／料金通知のアラーム音量</td><td colspan="2">消去</td><td>「電話着信音量」の設定値</td></tr>
<tr><td>音声メモや伝言メモなどの確認音、起動音、終了音</td><td>ON</td><td>OFF</td><td>「メモ確認音」の設定値</td></tr>
<tr><td>ボタン確認音</td><td colspan="2">OFF</td><td>「ボタン確認音」の設定値</td></tr>
<tr><td>通話中のマイクの感度※1</td><td colspan="2">アップ</td><td>「通話中マイク感度」の設定値</td></tr>
<tr><td>通話中保留音</td><td colspan="2">消去</td><td>「電話着信音量」の設定値
「消去」に設定している場合は、「消去」になります。
「消去」以外に設定している場合は、「レベル1」で鳴ります。</td></tr>
<tr><td>応答保留音</td><td colspan="2">消去</td><td>「電話着信音量」の設定値※2</td></tr>
</table>

項目	マナーモード	スーパーサイレント	オリジナルマナー（オリジナルマナーの設定項目を示します）
電池切れアラーム	OFF		「低電圧アラーム」の設定値 「ON」に設定していても、本機能の「電話着信音量」を「消去」に設定している場合は、電池切れアラームは「レベル1」で鳴ります。
FOMA端末を折り畳んでいるときの不在着信／新着メールの確認音	消去		「電話着信音量」の設定値※2

※1：通話中のマイクの感度がアップの状態になっていると、通話中に小さな声で話しても相手に聞こえる声が大きくなります。ただし、「カメラ」の動画撮影時には、マイク感度は「標準」になります。
※2：「ステップ」に設定している場合は、「レベル2」の音量で鳴ります。

■ イヤホン接続時は

イヤホン接続時は以下のような設定になります。

項目	マナーモード	スーパーサイレント	オリジナルマナー（オリジナルマナーの設定項目を示します）
ボイスクロック（待受中、スヌーズ中）、FOMA端末を折り畳んでいるときの不在着信／新着メールの確認音	「着信音量」（P.65）の「電話」の設定値		「電話着信音量」の設定値 「ステップ」に設定している場合は、「レベル2」の音量で鳴ります。

おしらせ

◆「伝言メモ」（P.71）の設定のON／OFFにかかわらず、「オリジナルマナー」の「伝言メモ」を「ON」に設定し、マナーモードに設定すると、伝言メモが動作します。
◆ マナーモード設定中に「オリジナルマナー」で設定していた伝言メモが動作した場合、「伝言メモ」（P.71）の「ON」で設定している呼出時間の後に伝言メモを開始します（「OFF」に設定している場合は8秒後に開始）。
◆ マナーモード設定中の動作をバイブレータでお知らせするように設定した場合は、着信時の振動でFOMA端末が火気（ストーブなど）に近づいたり、机から落ちたりしないようご注意ください。

〈画面表示設定〉 MENU56

画面の表示を変える

お買い上げ時	待受画面：ホワイト&ペリドット1（本体色ホワイト&ペリドット）、ブラック&サファイア1（本体色ブラック&サファイア）、ピンク&ルビー1（本体色ピンク&ルビー） ウェイクアップ表示：Wake up 電話発信画像、電話着信画像、テレビ電話発信画像、テレビ電話着信画像、メール送信画像、メール受信画像、問い合わせ画像：ホワイト&ペリドット（本体色ホワイト&ペリドット）、ブラック&サファイア（本体色ブラック&サファイア）、ピンク&ルビー（本体色ピンク&ルビー）

撮影した静止画やダウンロードした画像などを、待受画面や発着信画面などに表示させることができます。

● 着信音と着信画面に映像と音声が含まれるｉモーションを設定した場合は、着信音に設定されたｉモーションの映像と音声が再生されます。
● 着信音に映像と音声が含まれるｉモーション以外を設定し、着信画面に映像と音声が含まれるｉモーションを設定した場合は、着信画面に設定されたｉモーションの映像と音声が再生されます。
● 音声のみのｉモーション（歌手の歌声など映像のないｉモーション）は着信画面に設定できません。
● ｉモーションによっては設定できないものがあります。

1 MENU ▶「各種設定」▶「ディスプレイ」▶「画面表示設定」

「画面表示設定画面」が表示されます。
着信画面にｉモーション以外を設定した場合は、必要に応じて着信音の設定をします。

画面表示設定画面

2 以下の項目から選択

待受画面	「待受画面のイメージを変える」→P.121

項目	設定		説明
ウェイクアップ表示			FOMA端末の電源を入れたときに表示されるメッセージや画像を設定します。
	OFF		画像などを表示しません。
	メッセージ		▶メッセージを入力 メッセージは全角で50文字、半角で100文字まで入力できます。
	マイピクチャ		イメージを設定します。お客様が作成したフォルダがあるときは「プリインストール」の項目の次に表示されます。
		INBOX	ｉモードのサイトやインターネットホームページなどからダウンロードした画像や、内蔵カメラで撮影した静止画から設定します。
		カメラ	
		プリインストール	お買い上げ時に登録されている画像から設定します。
		自作アニメ	自作アニメから設定します。
電話発信			音声電話の発信画像を設定します。 お客様が作成したフォルダがあるときは「プリインストール」の項目の次に表示されます。
	INBOX		ｉモードのサイトやインターネットホームページなどからダウンロードした画像や、内蔵カメラで撮影した静止画から設定します。
	カメラ		
	プリインストール		お買い上げ時に登録されている画像から設定します。
	自作アニメ		自作アニメから設定します。
電話着信			音声電話の着信音と着信画面を設定します。
	着信音		「携帯電話から鳴る着信音を変える」→P.112
	着信画面		「着信画面やメール着信画面を設定する」→P.120
テレビ電話発信			テレビ電話の発信画面を設定します。 お客様が作成したフォルダがあるときは「プリインストール」の項目の次に表示されます。
	INBOX		ｉモードのサイトやインターネットホームページなどからダウンロードした画像や、内蔵カメラで撮影した静止画から設定します。
	カメラ		
	プリインストール		お買い上げ時に登録されている画像から設定します。
	自作アニメ		自作アニメから設定します。
テレビ電話着信			テレビ電話の着信音と着信画面を設定します。
	着信音		「携帯電話から鳴る着信音を変える」→P.112
	着信画面		「着信画面やメール着信画面を設定する」→P.120
メール送信			ｉモードメール、SMSの送信画像を設定します。 お客様が作成したフォルダがあるときは「プリインストール」の項目の次に表示されます。
	INBOX		ｉモードのサイトやインターネットホームページなどからダウンロードした画像や、内蔵カメラで撮影した静止画から設定します。
	カメラ		
	プリインストール		お買い上げ時に登録されている画像から設定します。
	自作アニメ		自作アニメから設定します。
メール受信			ｉモードメール、SMSの着信音と着信画面を設定します。
	着信音		「携帯電話から鳴る着信音を変える」→P.112
	メール着信画面		「着信画面やメール着信画面を設定する」→P.120
問い合わせ			メッセージ問い合わせ、ｉモード問い合わせのときに表示される画像を設定します。 お客様が作成したフォルダがあるときは「プリインストール」の項目の次に表示されます。
	INBOX		ｉモードのサイトやインターネットホームページなどからダウンロードした画像や、内蔵カメラで撮影した静止画から設定します。
	カメラ		
	プリインストール		お買い上げ時に登録されている画像から設定します。
	自作アニメ		自作アニメから設定します。

● 着信画面やメール着信画面を設定する

＜例：電話着信の着信画面を設定する場合＞

1 「画面表示設定画面」（P.119）▶「電話着信」▶「着信画面」▶以下の項目から選択

<table>
<tr><td rowspan="5">マイピクチャ</td><td colspan="2">イメージを設定します。お客様が作成したフォルダがあるときは「プリインストール」の項目の次に表示されます。</td></tr>
<tr><td>INBOX</td><td rowspan="2">ｉモードのサイトやインターネットホームページなどからダウンロードした画像や、内蔵カメラで撮影した静止画から設定します。</td></tr>
<tr><td>カメラ</td></tr>
<tr><td>プリインストール</td><td>お買い上げ時に登録されている画像から設定します。</td></tr>
<tr><td>自作アニメ</td><td>自作アニメから設定します。</td></tr>
<tr><td rowspan="4">ｉモーション※</td><td colspan="2">ｉモーションを設定します。お客様が作成したフォルダがあるときは「プリインストール」の項目の次に表示されます。
ｉモーションによっては、設定できないものもあります。</td></tr>
<tr><td>INBOX</td><td rowspan="2">ｉモードのサイトやインターネットホームページなどからダウンロードしたｉモーションや、内蔵カメラで撮影した動画から設定します。</td></tr>
<tr><td>カメラ</td></tr>
<tr><td>プリインストール</td><td>お買い上げ時に登録されているｉモーションから設定します。</td></tr>
</table>

※： メール着信画面のときは、「ｉモーション」は表示されません。

■ 設定を確認する場合

▶ ✉ ［デモ］

おしらせ

◆ Flash画像を「着信画面」／「メール着信画面」に設定することができますが、着信音は「着信音」で設定した音が鳴ります。
◆ 着モーションや着信画像に設定できる動画／ｉモーションでも、以下の場合は着モーションや着信画像に設定できません。
・ 赤外線通信やドコモケータイdatalinkなどを使用してパソコンやほかのFOMA端末に転送してから、もう一度FOMA端末本体に戻した場合
◆ 着信の設定が重なった場合の画像表示は優先順位に従って動作します。→P.122

<画面設定の優先順位>

◆ 画面の設定が重なった場合の優先順位は以下のとおりです。
①オート表示　②画面表示設定／スタイルモード

待受画面のイメージを変える

● 「プリインストール」フォルダには、お買い上げ時に登録されている待受画面／ウェイクアップ表示の画面が入っています。
お買い上げ時に登録されている待受画面／ウェイクアップ表示の画面→P.343

1 「画面表示設定画面」（P.119）▶「待受画面」▶以下の項目から選択

<table>
<tr><td>OFF</td><td colspan="3">画像などを表示しません。</td></tr>
<tr><td rowspan="6">カレンダー</td><td colspan="3">カレンダーを設定します。</td></tr>
<tr><td rowspan="4">背景画像あり</td><td colspan="2">カレンダーの背景画像を選択して設定することができます。お客様が作成したフォルダがあるときは「プリインストール」の項目の次に表示されます。</td></tr>
<tr><td>INBOX</td><td rowspan="2">ｉモードのサイトやインターネットホームページなどからダウンロードした画像や、内蔵カメラで撮影した静止画から設定します。</td></tr>
<tr><td>カメラ</td></tr>
<tr><td>プリインストール</td><td>お買い上げ時に登録されている画像から設定します。</td></tr>
<tr><td>背景画像なし</td><td colspan="2">カレンダーのみを表示します。</td></tr>
<tr><td rowspan="5">マイピクチャ</td><td colspan="3">イメージを設定します。お客様が作成したフォルダがあるときは「プリインストール」の項目の次に表示されます。</td></tr>
<tr><td>INBOX</td><td colspan="2" rowspan="2">ｉモードのサイトやインターネットホームページなどからダウンロードした画像や、内蔵カメラで撮影した静止画から設定します。</td></tr>
<tr><td>カメラ</td></tr>
<tr><td>プリインストール</td><td colspan="2">お買い上げ時に登録されている画像から設定します。</td></tr>
<tr><td>自作アニメ</td><td colspan="2">自作アニメから設定します。</td></tr>
</table>

iモーション	iモーションを設定します。お客様が作成したフォルダがあるときは「プリインストール」の項目の次に表示されます。 iモーションによっては、設定できないものもあります。	
	INBOX	iモードのサイトやインターネットホームページなどからダウンロードしたiモーションや、内蔵カメラで撮影した動画から設定します。
	カメラ	
	プリインストール	お買い上げ時に登録されているiモーションから設定します。

■ 待受画面の画像の表示方法を設定すると

画面の表示方法は、センタリング表示（画面中央に表示）、画面サイズで表示（縦横どちらかが画面サイズになるまで拡大縮小して表示）、全画面表示（画面サイズいっぱいに拡大縮小／切り出して表示）から選択して設定することができます。

■ 待受画面にカレンダーを設定すると

待受画面にカレンダーが表示されます。簡単な操作で前後のカレンダーを確認したり、スケジュールを起動できます。
土曜日は青字、休日は赤字、記念日はピンク色の背景で表示されます。

■ 前後の月のカレンダーを確認する場合

待受画面表示中に[●]を押すと、カレンダーの選択状態になります（[●]を押し、カレンダー以外のデスクトップアイコンが選択状態になっている場合は、[▲▼]でカレンダーを選択状態にします）。もう一度[●]を押してから[▲]を押すと前の月のカレンダーが、[▼]を押すと次の月のカレンダーが表示されます。

■ スケジュール機能を起動する場合

[▲]または[▼]で前の月、次の月のカレンダーが表示される状態で[●]を押すと、スケジュール機能が起動して表示している月のスケジュールを登録できます。

おしらせ

- ◆ 動画やiモーションを待受画面に設定した場合、FOMA端末を開くと動画やiモーションが再生されます。[☎]、[CLR]、[☎]、[✣]、[i]、[✉]、[●]のいずれかのボタンを押すと再生は終了します。また、マナーモード設定中には映像のみが表示されます。再生が終了すると動画やiモーションの1コマ目が待受画面に表示されます。
- ◆ Flash画像を待受画面に設定した場合、FOMA端末を開くとFlash画像が再生されます（メロディは再生されません）。再生が終了するとFlash画像の最後の1コマが待受画面に表示されます。なお、再生中に[CLR]または[☎]を押すと再生が終了し、その時点でのFlash画像が待受画面に表示されます。
- ◆ アニメーションGIF形式の画像の再生が終了すると最初の1コマが待受画面に表示されます。アニメーション再生中に[CLR]または[☎]を押すと再生が終了し、最初の1コマが待受画面に表示されます。
- ◆ 待受画面などに設定している画像、動画やiモーションを削除すると、その設定は解除されてお買い上げ時の状態に戻ります。
- ◆ カレンダーを待受画面に設定した場合、「待受時計表示」で「さらに大きく表示」を選択していても「大きく表示」されます。→P.129

〈電話帳画像着信設定〉

着信時に電話帳に設定した画像を表示する

お買い上げ時 ON

静止画を登録している電話帳の相手から音声電話やテレビ電話がかかってきた場合、着信時に静止画を表示するかしないか設定できます。

1 [MENU]▶「各種設定」▶「着信」▶「電話帳画像着信設定」▶「ON」

■ 電話帳に登録している画像を表示しない場合
▶「OFF」

おしらせ

- ◆ 着信画面と着信音の組み合わせまたは優先順位により、着信画面か着信音のどちらかがお買い上げ時の設定で動作する場合があります。
- ◆ 相手が電話番号を通知してこなかった場合は、画像は表示されません。
- ◆ 本機能の設定にかかわらず、シークレットデータとして登録された電話帳の画像は表示されません。

<着信画像表示の優先順位>

- ◆ 音声電話、テレビ電話にて、着信の設定が重なった場合の画像表示の優先順位は以下のとおりです。
  ①発着信識別機能の着信画面設定→P.105　②グループ識別機能の着信画面設定→P.105
  ③電話帳登録の静止画→P.92　④着信音選択のiモーション→P.112
  ⑤画面表示設定／スタイルモード→P.119、134
  なお、上記の発着信識別機能やグループ識別機能での優先順位は以下のとおりです。
  ①着信音設定のiモーション
  ②着信画面設定のiモーション（映像のみのiモーションを含む）、静止画

〈プライバシーアングル〉

周りから画面が見えないようにする

お買い上げ時 OFF

周りから表示内容が見えにくいように、ディスプレイの視野角を狭くできます。

1 MENU▶「各種設定」▶「ディスプレイ」▶「プライバシーアングル」▶「ON」

プライバシーアングルが設定されて「」が表示されます。

文字入力中以外の画面で 8 を1秒以上押しても設定できます。

■ プライバシーアングルを設定しない場合

▶「OFF」

〈照明設定〉 MENU70

ディスプレイとボタンの照明を設定する

お買い上げ時	通常時：ON（点灯）＋省電（待ち時間3分） 充電時：標準 範囲：液晶＋ボタン 明るさ：レベル2 メール／ｉモード中省電力：ON

1 MENU▶「各種設定」▶「ディスプレイ」▶「照明設定」▶以下の項目から選択

通常時	通常時のバックライトの動作を選択します。 「OFF」に設定すると待受画面に「 」が表示されます。		
	ON	省電力モードを設定します。	
		ON	▶待ち時間（01～20分）を入力 設定した待ち時間経過後、待受画面の表示が消えます（省電力モード）（音声通話中の場合も通話中画面の表示が消えます）。 省電力モードに移るまでの時間を設定します。 時間は2桁で入力します。表示されている時間をそのまま設定するときは を押します。
		OFF	省電力モードを無効にします。
	OFF	省電力モードを設定します。	
		ON	▶待ち時間（01～20分）を入力 設定した待ち時間経過後、待受画面の表示が消えます（省電力モード）（音声通話中の場合も通話中画面の表示が消えます）。 省電力モードに移るまでの時間を設定します。 時間は2桁で入力します。表示されている時間をそのまま設定するときは を押します。
		OFF	省電力モードを無効にします。
充電時	充電時のバックライトの動作を選択します。		
	標準	充電中は「通常時」の「ON」と同じ設定で点灯します。	
	常時点灯	充電中はバックライトが点灯し続けます。	
範囲	バックライトの範囲を選択します。		
	液晶＋ボタン	ディスプレイとボタンに設定します。	
	液晶	ディスプレイのみに設定します。	
明るさ	明るさを「レベル3～1」から選択します。		
メール／ｉモード中省電力	省電力モードを設定します。		
	ON	メールとｉモード中にディスプレイの明るさを下げます。	
	OFF	省電力モードを無効にします。	

おしらせ

◆ バックライトの点灯／消灯は 5 を1秒以上押しても切り替えることができます。

◆「通常時」を「ON」に設定したときは、着信中は点灯したままとなり、電源を入れたときやボタン操作を行ったとき、FOMA端末を開いたときにバックライトを約15秒間点灯します。カメラ起動中、動画／ｉモーション再生中は常時点灯します。「OFF」に設定すると、バックライトは点灯しません。ただし、動画撮影中は「通常時」の設定にかかわらず、常時点灯します。

次ページにつづく

◆「充電時」の設定を「常時点灯」に設定した場合、「範囲」の設定（「液晶＋ボタン」、「液晶」）に従ってディスプレイとダイヤルボタンが常時点灯します。「充電時」の設定を「標準」に設定した場合は、「通常時」の設定に従って動作します。
◆「充電時」の設定を「常時点灯」に設定した充電状態であっても、約15秒間操作のない場合は、充電の効率を高めるためにディスプレイのバックライトの明るさを「レベル1」にして点灯し続けます。
◆メールやメッセージR/Fの本文を表示させたときは、本文の長さにより点灯時間が異なります。
◆FOMA端末を開いているときに省電力モードになると、[✉]と[i]が約5秒間隔で点滅します。ボタン操作などを行うと省電力モードは解除されます。

〈画面デザイン〉 MENU86

ディスプレイの色を変更する

お買い上げ時	配色パターン：フレッシュグレー（本体色ホワイト＆ペリドット、ピンク＆ルビー）、カームブラック（本体色ブラック＆サファイア） 背景パターン1：OFF　背景パターン2：背景色1 電池アイコン：ホワイト（本体色ホワイト＆ペリドット）、ブラック（本体色ブラック＆サファイア）、ピンク（本体色ピンク＆ルビー）　アンテナアイコン：ホワイト（本体色ホワイト＆ペリドット）、ブラック（本体色ブラック＆サファイア）、ピンク（本体色ピンク＆ルビー）

文字や背景、アイコン、ディスプレイ上下部やソフトキーのデザインを変更します。

1 [MENU]▶「各種設定」▶「ディスプレイ」▶「画面デザイン」▶以下の項目から選択

配色パターン	配色パターンを「フレッシュグレー」、「ムーンイエロー」、「チャームラベンダー」、「トワイライトローズ」、「カームブラック」から選択します。 選択中は選択されているパターンがディスプレイに表示されます。
背景パターン1	背景パターン1（ディスプレイ上部25ドット、下部25ドットの背景パターン）を「OFF」（表示しない）、「ホワイト」、「ピンク」、「ストライプ」、「メッシュ」、「ダイヤ」、「スカイ」、「さくら」、「和風」から選択します。 反転表示したパターンのイメージがディスプレイに表示されます。
背景パターン2	背景パターン2（ソフトキーの背景パターン）を「背景色1〜3」から選択します。 選択中は選択されているパターンがディスプレイに表示されます。
電池アイコン	電池アイコンを「ホワイト」、「ブラック」、「ピンク」、「グレー」から選択します。
アンテナアイコン	アンテナアイコンを「ホワイト」、「ブラック」、「ピンク」、「グレー」から選択します。

おしらせ

◆画像は本機能を変更しても色は変わりません。またｉモードのサイトの画面など、本機能の設定を変更しても配色の変わらない画面や機能があります。

〈メニュー画面設定〉

メニュー表示を変更する

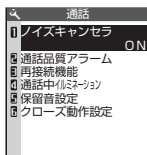
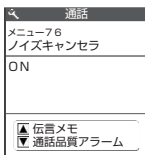
メニュー表示のしかたを設定する MENU57

お買い上げ時	メニュー表示：一覧表示 テーマ：ホワイト＆ペリドット（本体色ホワイト＆ペリドット）、ブラック＆サファイア（本体色ブラック＆サファイア）、ピンク＆ルビー（本体色ピンク＆ルビー）　フォーカス記憶：ON

「各種設定」のメニュー小項目（機能）の表示方法を設定したり、メインメニューやシンプルメニューのアイコンのラストワン機能を設定できます。
● 本機能の設定にかかわらず、オリジナルメニューは一覧表示されます。

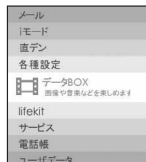
■ メニュー表示について

「一覧表示」の場合

通話
メニュー76
ノイズキャンセラ
ON
▲ 伝言メモ
▼ 通話品質アラーム

「詳細表示」の場合

■ テーマについて

ホワイト&ペリドットの場合

ブラック&サファイアの場合

ピンク&ルビーの場合

キラゴツの場合

Herbの場合

Floralの場合

Simple Styleの場合

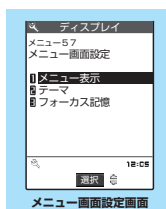
Art Candyの場合

Dogs & Fashionの場合

1 MENU ▶「各種設定」▶「ディスプレイ」▶「メニュー画面設定」

「メニュー画面設定画面」が表示されます。

2 以下の項目から選択

メニュー画面設定画面

メニュー表示	小項目の表示のしかたを「一覧表示」または「詳細表示」から選択します。	
テーマ	大項目の選択画面の背景やアイコンを設定します。	
	ホワイト&ペリドット	ホワイト&ペリドットに設定します。
	ブラック&サファイア	ブラック&サファイアに設定します。
	ピンク&ルビー	ピンク&ルビーに設定します。
	キラゴツ	キラゴツに設定します。
	Herb	Herbに設定します。
	Floral	Floralに設定します。
	Simple Style	Simple Styleに設定します。
	Art Candy	Art Candyに設定します。
	Dogs & Fashion	Dogs & Fashionに設定します。
	オリジナルテーマ	「メインメニューの画面を変更する」→P.126

次ページにつづく

フォーカス記憶	メインメニューやシンプルメニューを再表示した際、前回選択したアイコンを選択状態にするかどうかを設定します（ラストワン機能）。

メインメニューの画面を変更する

大項目の選択画面（メインメニュー）の各アイコンと背景のイメージを変更することができます。

1 「メニュー画面設定画面」（P.125）▶「テーマ」▶「オリジナルテーマ」

「オリジナルテーマ画面」が表示されます。
画像は、マイピクチャのINBOX、カメラ、プリインストール、お客様が作成したフォルダから選択します。

オリジナルテーマ画面

機能メニュー ➡P.126

2 以下の項目から選択

メール	メールアイコンの画像を設定します。
ｉモード	ｉモードアイコンの画像を設定します。
直デン	直デンアイコンの画像を設定します。
各種設定	各種設定アイコンの画像を設定します。
データBOX	データBOXアイコンの画像を設定します。
LifeKit	LifeKitアイコンの画像を設定します。
サービス	サービスアイコンの画像を設定します。
電話帳	電話帳アイコンの画像を設定します。
ユーザデータ	ユーザデータアイコンの画像を設定します。
背景イメージ	背景イメージの画像の色を設定します。

おしらせ

- ◆ 選択画面で［✉］［デモ］を押すと、選択している項目の画像を確認することができます。
- ◆ FOMAカード動作制限機能（P.36）の対象となる画像がメニューアイコンおよび背景イメージに1つでも設定されていると、ほかのFOMAカードに差し替えた場合やFOMAカードを抜いた場合にオリジナルテーマはお買い上げ時の表示になります。
- ◆ 本機能で設定できる画像は、ファイルサイズが100Kバイト以下で、690×690ドット以下のJPEG形式、690×480ドット以下のGIF形式ファイルです。画像表示エリア（アイコン：横64×縦63ドット、背景：横240×縦345ドット）より大きい場合は、横と縦が同じ比率で縮小表示されます。小さい場合は中央に表示されます。
- ◆ メニューアイコンに設定したアニメーションGIF形式の画像は、あらかじめ設定されている繰り返し回数の情報にかかわらず、アニメーション動作回数は1回となります。また、背景イメージにアニメーションGIF形式の画像を設定してもアニメーションは動作しません。

オリジナルテーマ画面の機能メニュー

1件リセット	反転表示した大項目のアイコンまたは背景イメージをお買い上げ時の設定に戻します。
全リセット	メインメニューのアイコンと背景イメージをお買い上げ時の設定に戻します。

オリジナルメニューを作成する〈オリジナルメニュー〉

お買い上げ時	マイプロフィール、ｉモード問い合わせ、着信音量、バイブレータ、アラーム機能、端末暗証番号変更

よく使う機能をオリジナルメニューに登録しておくと簡単に呼び出すことができます。

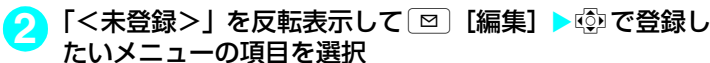
- ● オリジナルメニューは最大10件まで登録できます。
- ● オリジナルメニューに登録できる機能は、「メール」、「ｉモード」の大項目と「各種設定」、「データBOX」、「LifeKit」、「サービス」、「電話帳」、「ユーザデータ」の各中項目および小項目です。
- ● 同じ機能を登録することはできません。

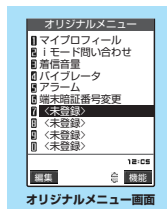
オリジナルメニュー画面

機能メニュー➡P.127

1 MENU ▶ MENU

「オリジナルメニュー画面」が表示されます。

2 「<未登録>」を反転表示して ✉［編集］▶ ⊕で登録したいメニューの項目を選択

「メール／ｉモード」は大項目のみ登録可能です。

■ すでに登録されている機能を変更する場合
▶機能が登録されている項目を反転表示

オリジナルメニュー画面の機能メニュー

メニュー登録	オリジナルメニューを登録します。
並び替え	**▶⊕で位置を選んで⊙** オリジナルメニューを並び替えます。
デスクトップ貼付	「デスクトップアイコンを利用する」→P.130
オリジナルメニュー初期化	お買い上げ時の設定に戻します。
解除	反転表示した機能をオリジナルメニューから解除します。
全解除	登録されているすべての機能をオリジナルメニューから解除します。

〈着信イルミネーション〉 MENU89

着信時の着信ランプの点滅のしかたを設定する

お買い上げ時	電話：色5　テレビ電話：色5　メール：色1　チャットメール：色3 メッセージR：色1　メッセージF：色1　パターン設定：固定パターン　不在お知らせ：ON

音声電話、テレビ電話の着信があったときや、メール、チャットメール、メッセージR/Fを受信したときの着信ランプの点滅色や点滅のしかた（点滅パターン）を設定できます。

● 指定した電話番号やメールアドレス、グループからの着信それぞれに点滅色を設定することもできます。→P.105
● ✉とｉの点滅は、着信ランプと同じパターン設定で点滅します。

1 MENU ▶「各種設定」▶「着信」▶「着信イルミネーション」▶以下の項目から選択

着信イルミネーション選択	「電話」（音声電話）、「テレビ電話」、「メール」、「チャットメール」、「メッセージR」、「メッセージF」の着信ランプの点滅色を選択します。 選択中は選択されている点滅色が着信ランプに表示されます。	
	色1～色12　：それぞれの色で点滅します。 グラデーション：色1～色12が順番に点滅します。	
パターン設定	着信ランプの点滅パターンを選択します。	
	固定パターン	固定パターン（0.5秒間隔で点滅）に設定します。
	メロディ連動	メロディ連動に設定します。
不在お知らせ	ディスプレイに不在着信または新着メール（ｉモードメール、チャットメール、SMS）のアイコンが表示されているときに、着信ランプを点滅させ続けるか点滅させないかを設定します。	

おしらせ

◆ 着信音に「着信音1～4」を設定している場合は、本機能の設定にかかわらず着信音にあわせて点滅します。
◆「メロディ連動」に設定していても、着信音にメロディ連動対応の点滅パターンが登録されていない場合や着モーションの場合は「固定パターン」で点滅します。

<着信ランプ動作の優先順位>
◆ 着信の設定が重なった場合の着信ランプの動作の優先順位は以下のとおりです。
①発着信識別機能のイルミネーション設定→P.105　②グループ識別機能のイルミネーション設定→P.105
③着信イルミネーション

〈通話中イルミネーション〉

通話中の着信ランプの点滅のしかたを設定する

お買い上げ時 OFF

音声通話中、テレビ電話中の着信ランプの点滅色を設定できます。

1 MENU ▶「各種設定」▶「通話」▶「通話中イルミネーション」▶色を選択

OFF：着信ランプを点滅させません。
色1～色7：それぞれの色で点滅します。
グラデーション1：着信ランプの色がゆっくり点滅して変化します。
グラデーション2：着信ランプの色が点灯したまま変化します。
グラデーション3：着信ランプの色がすばやく変化します。

おしらせ

◆「伝言メモ」の録音／録画中、応答メッセージの再生中、応答保留中なども通話中と同じパターンで着信ランプが点滅します。

〈通話中時間表示〉 MENU48

通話中の通話時間表示を設定する

お買い上げ時 ON

音声通話中、テレビ電話中に通話時間を表示するかしないかを設定できます。

● 通話時間が「19時間59分59秒」を超えた場合は、「0秒」から再カウントされます。
● 表示される通話時間はあくまでも目安であり、正確なものではありません。
● ｉモード中およびパケット通信中の通信時間はカウントされません。

1 MENU ▶「各種設定」▶「時間／料金」▶「通話中時間表示」▶「ON」

■ **通話中の通話時間を表示しない場合**
▶「OFF」

おしらせ

◆ 表示される通話時間は音声電話やテレビ電話の通話中に切り替えの操作をするたびに0秒にリセットされます。ただし、切り替え操作を行った後、テレビ電話で通話を終了した場合は、表示される通話時間は音声電話とテレビ電話の合計となります。

〈フォント設定〉 MENU66

文字のフォントを変える

お買い上げ時	文字パターン：フォント1　太さ：太字　文字サイズ：ふつう

ディスプレイに表示される文字をお好みのフォント（書体）に切り替えることができます。

1 MENU ▶「各種設定」▶「ディスプレイ」▶「フォント設定」▶以下の項目から選択

文字パターン	文字パターンを「フォント1～2」から選択します。選択したフォントの文字例が画面の下部に表示されます。	
太さ	太さを「細字」、「太字」から選択します。選択した太さの文字例が画面の下部に表示されます。	
文字サイズ	以下の画面の文字サイズを設定します。 文字入力（編集）画面、メール詳細画面、サイトのページ、画面メモ、メッセージR/Fの詳細画面、電話帳一覧画面、電話帳詳細画面、マイプロフィール画面	
	ふつう	文字サイズを標準に設定します。
	大きい	文字サイズを最大に設定します。
	個別設定	文字入力、メール、ｉモード、電話帳から選択して文字サイズを個別に設定します。

おしらせ

◆ 電話番号入力画面などの文字は、本機能の設定対象外です。
◆「フォント2」に切り替わるのは、英字（全角、半角）、数字（全角、半角）、ひらがな、カタカナ（全角、半角）と一部の記号、ギリシャ文字、ロシア文字だけです。漢字などほかの文字はすべて「フォント1」で表示されます。
◆「文字サイズ」の「ふつう」または「大きい」を設定すると、各機能の文字サイズが一括して変更されます。
◆「文字サイズ」の「個別設定」で「電話帳」の文字サイズを変更すると、マイプロフィール画面にも反映されます。

〈待受時計表示〉 MENU39

待受画面の時計表示を設定する

お買い上げ時	表示方法：日本語　表示形式：12時間形式　表示サイズ：大きく表示

待受画面の曜日を日本語または英語に設定したり、時計を12時間形式または24時間形式に設定したり、時計の表示サイズを設定できます。また、日付や時計を表示しないように設定することもできます。

● 待受画面以外の場合は、本設定にかかわらず画面下に小さく時計が表示されます。→P.28

1 MENU ▶「各種設定」▶「時計」▶「待受時計表示」▶以下の項目から選択

表示方法	「日本語」または「英語」から選択します。	
表示形式	「12時間形式」または「24時間形式」から選択します。	
表示サイズ	さらに大きく表示	日付と時計をディスプレイいっぱいに表示します。
	大きく表示	日付と大きい時計を表示します。
	小さく表示	日付と小さい時計を表示します。
	下に小さく表示	時計を下に小さく表示します。
	OFF	日付と時計を表示しません。

おしらせ

◆「表示サイズ」を「さらに大きく表示」に設定した場合、待受画面にカレンダーを設定すると解除されます。→P.121

◆「表示サイズ」を「下に小さく表示」に設定した場合、ｉチャネルの「テロップ表示設定」を「表示する」または「受信時のみ表示する」に設定していると、テロップ表示中は時計表示が見えなくなります。

〈バイリンガル〉 MENU15

画面を英語表示に切り替える

お買い上げ時
Japanese

ディスプレイに表示される各機能名やメッセージなどを日本語表示／英語表示に切り替えることができます。

1 MENU ▶「各種設定」▶「ディスプレイ」▶「バイリンガル」▶「English」

■ 日本語表示から英語表示に切り替える場合

▶「English」

日本語表示のとき

■ 英語表示から日本語表示に切り替える場合

▶「日本語」

英語表示のとき

おしらせ

◆ FOMAカードを挿入している場合、バイリンガルの設定はFOMAカードに記憶されている設定内容になります。

◆「バイリンガル」の設定が「English」のときは、「待受時計表示」の「表示方法」は変更できません。また、「確認機能設定」の選択肢が「ON」または「OFF」の2項目になります。

デスクトップアイコンを利用する

お買い上げ時
フォトモード

よくかける電話番号やよく使う機能をデスクトップアイコンとして待受画面に貼り付けると、簡単な操作で電話番号を表示したり機能を呼び出したりできます。

デスクトップアイコンを貼り付ける

貼り付けたい機能の画面、データの一覧画面または詳細画面で機能メニューから「デスクトップ貼付」を選択します。

● デスクトップに貼り付けられるアイコンは以下のとおりです。15件まで貼り付けることができます。

分類	表示されるアイコン（種類）	アイコンのタイトル※1
データを呼び出す	（電話番号）	電話帳に登録されている名前（アイコンのタイトルがない場合は電話番号）
	（メールアドレス）	電話帳に登録されている名前（アイコンのタイトルがない場合はメールアドレス）
	（SMSアドレス）	電話帳に登録されている名前（アイコンのタイトルがない場合は電話番号）
	（URL）	ページのタイトル（アイコンのタイトルがない場合は「http://」または「https://」を除いたURLの表示）
	（メロディ）※2	メロディのタイトル（アイコンのタイトルがない場合は「メロディ」）
	（画像）※2	画像のタイトル（アイコンのタイトルがない場合は「イメージ」）
	（動画またはｉモーション）※2	動画またはｉモーションのタイトル（アイコンのタイトルがない場合は「ｉモーション」）
	（キャラ電）	キャラ電のタイトル（アイコンのタイトルがない場合は「キャラ電」）
機能を呼び出す※3	（フォトモード）／（ムービーモード）／（ボイスモード）／（To Doリスト）／（スケジュール）／（テキストメモ）／（ｉチャネル）／（赤外線受信）／（辞典）／（オリジナルメニュー）	それぞれの機能名（左記「種類」と同じ）
フォルダを呼び出す	（受信BOXのフォルダ）	フォルダのタイトル（アイコンのタイトルがない場合は「フォルダ」）

※1：デスクトップアイコンを選択したときに表示されるタイトルは、いずれの場合も先頭から全角で11文字、半角で22文字までです。
※2：お買い上げ時に登録されているメロディや画像、ｉモーション、または自作アニメをデスクトップに貼り付けることはできません。
※3：同じ機能のデスクトップアイコンを複数貼り付けることはできません。

＜例：電話帳の電話番号を貼り付ける場合＞

1 「電話帳詳細画面」（P.97）▶ i ［機能］▶「デスクトップ貼付」▶「YES」

デスクトップアイコンからデータや機能を呼び出す

1 待受画面表示中▶◉

「デスクトップアイコン画面」が表示されます。
カーソルの位置にあるデスクトップアイコンのタイトルが表示されます。

2 呼び出したいデスクトップアイコンを選択

■ デスクトップアイコンが6件以上登録されている場合

画面の左右に「◁▷」が表示されます。◎でデスクトップアイコンをスクロールできます。

デスクトップアイコン画面

機能メニュー➡P.131

デスクトップアイコン画面／デスクトップ画面の機能メニュー

デスクトップ表示設定※	常に表示	デスクトップアイコンを常に表示します。
	使用時のみ表示	◉を押したときのみ、デスクトップアイコンを表示します。カレンダーを設定している場合も、同様に表示します。
タイトル編集	▶タイトルを入力 タイトルは全角で16文字、半角で32文字まで入力できます。	
並び替え	▶「YES」▶◎で移動▶◉ 反転表示したデスクトップアイコンを移動します。	
アイコン情報※	デスクトップアイコンのタイトル、種別、内容などを表示します。	
デスクトップ初期化	お買い上げ時の状態（「フォトモード」のみ）に戻します。	
削除	1件削除	反転表示したデスクトップアイコンを削除します。
	選択削除	▶◎で□（チェックボックス）を選択▶✉［完了］▶「YES」 複数のデスクトップアイコンを削除できます。
	全削除	デスクトップアイコンをすべて削除します。

※：デスクトップアイコン画面のみ表示されます。

デスクトップアイコンの情報を確認する

MENU63

1 MENU▶「各種設定」▶「ディスプレイ」▶「デスクトップ」

「デスクトップ画面」が表示されます。

2 デスクトップアイコンのタイトルを選択

デスクトップ画面

おしらせ

◆ URLのデスクトップアイコンの情報表示画面では、◎で画面をスクロールしてURLのすべてを確認できます。

情報を通知するデスクトップアイコン

アイコン	通知内容	操作後の表示／起動内容
メール	新着メールの着信があったことを通知します。アイコンを選択すると、メールの内容に合わせた感情お知らせメールのアイコンと「新着メールあり」を表示します。→P.223	最新の受信メール詳細画面を表示します。
チャット	新着チャットメールがあったことを通知します。アイコンを選択すると、チャットメールの内容に合わせた感情お知らせメールのアイコンと「チャットメールあり」を表示します。→P.223	チャット画面を表示します。

アイコン	通知内容	操作後の表示／起動内容
不在	不在着信があったことを通知します。アイコンを選択すると、不在着信の件数を表示します。	「不在着信履歴」を表示します。
伝言	音声電話の伝言メモがあることを通知します。	「メモの再生／消去」を起動します。
伝言	テレビ電話伝言メモがあることを通知します。	「動画メモの再生／消去」を起動します。
留守	留守番電話サービスセンターに伝言メッセージが入っていることを通知します。	「留守番電話」を起動します。
アラーム	アラーム機能、スケジュール、To Doリストのアラーム通知ができなかったことを通知します。	通知できなかった最新のアラームの情報を表示します。
更新	ソフトウェア更新が終了したことを通知します。	端末暗証番号を入力した後、更新結果表示画面を表示します。
上限	積算料金が設定した通知金額を超えたことを通知します。	端末暗証番号を入力した後、「通話料金通知」のアラーム情報を表示します。
更新	スキャン機能のパターンデータ自動更新が終了したことを通知します。または、スキャン機能の新規パターンデータがリリースされたことを通知します。	スキャン機能のパターンデータ自動更新結果を表示します。更新が正常に行えなかった場合や新規パターンデータがリリースされた場合は、スキャン機能のパターンデータ更新実行を推奨する画面を表示します。
更新	電話帳お預かりサービスの更新ができなかったことを通知します。	電話帳お預かりサービスの起動情報画面を表示します。

おしらせ

◆ 情報を通知するデスクトップアイコンから各機能を呼び出した場合、またはメニューから各機能を呼び出した場合、そのデスクトップアイコンは消えます。ただし、「伝言」のデスクトップアイコンは伝言メモを再生または消去しないと消えません。
◆ 情報を通知するデスクトップアイコンを消したい場合はCLRを1秒以上押します(表示が消えるだけで内容は消去されません)。ただし、「更新」、「上限」、「更新」のデスクトップアイコンは消えません。
◆「呼出時間表示設定」の「時間内不在着信表示」を「表示しない」に設定しているとき、「無音時間設定」で設定した時間より呼出時間が短い着信を受けた場合は、「不在」のデスクトップアイコンは表示されません。ただし、電話帳に登録されている電話番号からの着信は通知します。→P.157
◆ 保存先の受信BOXやフォルダがセキュリティ設定中のときに受信した新着メール、新着チャットメールは、デスクトップアイコンを選択しても、感情お知らせメールのアイコンは表示されず、「新着メールあり」または「チャットメールあり」のみを表示します。

〈表示アイコン設定〉

待受画面の表示アイコンを選択できるようにする

お買い上げ時 ON

で待受画面から表示アイコンや日付、時計を選択し、設定できます。

1 MENU ▶「各種設定」▶「ディスプレイ」▶「表示アイコン設定」▶「ON」

■ 選択できないようにする場合
▶「OFF」

マルチファンクションボタン（）で表示アイコンを選択する

1 待受画面表示中 ▶ ▶ でアイコンを反転

日付表示、時計表示を反転することもできます。
反転したアイコンのタイトルが表示されます。

2

選択できるアイコン・表示	選択後の状態
	「画面デザイン」を表示します。
／	「オリジナルロック」を解除する画面を表示します。
	「受信BOX」を表示します。
（白色）／（赤色）／ （白色）／（赤色）	未読メールの一覧を表示します。
（白色）／（赤色）	「メッセージR」を表示します。
（白色）／（赤色）	「メッセージF」を表示します。
（R、F：白色）／ （R、F：赤色）／ （R：赤色、F：白色）／ （R：白色、F：赤色）	「メッセージR」と「メッセージF」を選択する画面を表示します。
（白色）／（赤色）／ （白色）／（赤色）／ （白色）／（赤色）	「ｉモード問い合わせ」を行います。
／	「画面デザイン」を表示します。
self	「セルフモード」を解除する画面を表示します。
／／	「バイブレータ」と「メール／メッセージ鳴動」の選択画面を表示します。
／／	• 通常のとき（マナーモードでないとき） 「着信音量」と「メール／メッセージ鳴動」の選択画面を表示します。 • マナーモード、スーパーサイレントのとき 設定できないことを通知するメッセージが表示されます。 • オリジナルマナーのとき 「オリジナルマナー」と「メール／メッセージ鳴動」の選択画面を表示します。
	「マナーモード選択」を表示します。
	「遠隔監視設定」を表示します。
／	「アラーム設定」を表示します。
1／2／3／4／ 5／6／7／8／ 9／+	「留守番電話」を表示します。 留守番電話の伝言メッセージが11件以上の場合でも「留守番電話 10件」と表示します。
	録音されていないことを通知するメッセージが表示されます。
1／2／3／4／5	「メモの再生／消去」を表示します。
	録画されていないことを通知するメッセージが表示されます。
1／2	「動画メモの再生／消去」を表示します。
	「照明設定」を表示します。
	「キー操作ロック」を解除する画面を表示します。
KEY	「外部ボタン操作」を表示します。
	「プライバシーアングル」を設定する画面を表示します。
日付	「スケジュール」を表示します。 時計設定をしていないときは「時計設定」を表示します。
時計	「アラーム機能」を表示します。 時計設定をしていないときは「時計設定」を表示します。

スタイルモードを設定する

待受画面や着信音など、FOMA端末のさまざまな設定項目を一括設定します。

● 一括設定できる対象項目は以下のとおりです。
- 「画面表示設定」(P.119)
- 「着信音選択」(P.112)
- 「メニュー画面設定」(P.124)の「オリジナルテーマ」
- 「待受時計表示」(P.129)の「表示方法」、「表示形式」、「表示サイズ」
- 「画面デザイン」(P.124)

スタイルモードを一括設定する

スタイルモード一覧画面に表示された項目を選んで設定項目を一括設定します。

● 一括設定する前に、現在の設定内容を「お気に入り」に登録しておくと、後でその設定に戻すことができます。→P.135

● お買い上げ時には、本体色に合わせたデザインがあらかじめ一括設定されています。

＜例：「Herb」を設定する場合＞

1 MENU ▶「各種設定」▶「スタイルモード」

「スタイルモード一覧画面」が表示されます。

スタイルモード一覧画面

機能メニュー➡P.134

2 「Herb」▶「YES」

■ 設定内容を確認する場合

▶項目を反転表示▶[✉]［詳細］▶項目を反転表示▶[✉]［デモ］

おしらせ

◆ 設定内容を確認しているときに以下の項目を反転表示させると自動的に画面表示されます。
- 「配色パターン」、「背景パターン1」、「背景パターン2」は表示中画面の背景に表示されます。

◆「発着信識別機能」、「グループ識別機能」が設定されている場合や電話帳に画像が設定されている場合は、本機能で設定された項目よりも優先して表示されます。

◆ スタイルモードを設定した後に、一括設定された項目を本機能以外から個別に設定した場合は、その設定が優先されます。

◆ Flash画像によっては、設定済項目でも設定内容を確認できない場合があります。

スタイルモード一覧画面の機能メニュー

タイトル編集	スタイルモードの項目のタイトルを編集します。タイトルは全角で11文字、半角で22文字まで入力できます。
設定情報リセット	「お気に入り」の設定内容を消去します。

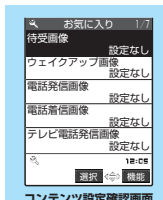
現在の設定をお気に入りに登録する

コンテンツ設定確認画面

機能メニュー➡P.135

1 「スタイルモード一覧画面」(P.134)▶「お気に入り」を反転表示▶[✉][詳細]

現在、お気に入りに登録されている項目が表示されます。
未登録の場合は「設定なし」と表示されます。

2 [i][機能]▶「現在の設定情報取得」▶「YES」

●「お気に入り」の項目を設定変更する

「お気に入り」に登録した項目はコンテンツ設定確認画面の各項目から設定変更できます。

1 「コンテンツ設定確認画面」(P.135)▶項目を選択▶設定を変更

おしらせ

◆サイトからダウンロードしたり、メールに添付されていた画像やｉモーション、メロディなどは、「お気に入り」に登録したり、一括設定できない場合があります。
◆「お気に入り」に登録された画像やｉモーション、メロディなどが削除された場合、「お気に入り」の登録内容から消去され「設定なし」と表示されます。
◆「お気に入り」以外のコンテンツ設定確認画面の各項目から設定変更はできません。

コンテンツ設定確認画面の機能メニュー

設定を反映	「お気に入り」に登録されている設定を各項目に一括設定します。
現在の設定情報取得	現在の各項目の設定を「お気に入り」に登録します。
設定情報リセット	「お気に入り」に登録されている設定を消去します。

●あんしん設定

■暗証番号について

FOMA端末で利用する暗証番号について 138
端末暗証番号を変更する .... 端末暗証番号変更 139
PINコードを設定する .... PIN設定 139
PINロックを解除する 140

■携帯電話の操作や機能を制限する

各種ロック機能について 141
ほかの人が使用できないようにする
.... ダイヤルロック／おまかせロック 141
電話帳やスケジュールの登録データを表示できないようにする
.... シークレットモード／シークレット専用モード 143
各種データを表示できないようにする...... シークレットフォルダ 145
個人情報の表示や電話・メールの操作をできないようにする
.... オリジナルロック 147
ボタン操作を自動的にロックする .... キー操作ロック 152
外部ボタンの誤操作を防止する .... 外部ボタン操作 153

■発着信や送受信を制限する

メールを無断で表示できないようにする
.... メールセキュリティ設定 153
指定した電話番号の着信や発信を制限する...... 電話帳指定設定 154
発信者番号のわからない電話を受けない.......... 非通知着信設定 156
電話帳未登録の相手の着信音を無音にする... 呼出時間表示設定 157
電話帳未登録の相手からの電話を受けない...... 登録外着信拒否 157
発信や着信ができないようにする .... セルフモード 158

■その他の「あんしん設定」について

本体データをネットワークに保存する... 電話帳お預かりサービス 158
その他の「あんしん設定」について 159

FOMA端末で利用する暗証番号について

FOMA端末には、便利にお使いいただくための各種機能に、暗証番号の必要なものがあります。各種端末操作用の端末暗証番号のほか、ネットワークサービスでお使いになるネットワーク暗証番号、iモードパスワードなどがあります。用途ごとに上手に使い分けて、FOMA端末を活用してください。

■各種暗証番号に関するご注意

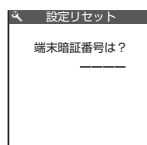
- 設定する暗証番号は「生年月日」、「電話番号の一部」、「所在地番号や部屋番号」、「1111」、「1234」などの他人にわかりやすい番号はお避けください。また、設定した暗証番号はメモを取るなどしてお忘れにならないようお気をつけください。
- 暗証番号は、他人に知られないように十分ご注意ください。万一暗証番号が他人に知られ悪用された場合、その損害については、当社は一切の責任を負いかねます。
- ドコモからお客様の暗証番号をうかがうことは一切ございません。
- 各種暗証番号を忘れてしまった場合は、契約者ご本人であることが確認できる書類（運転免許証など）やFOMA端末、FOMAカードをドコモショップ窓口までご持参いただく必要があります。
  詳しくは取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までご相談ください。

● 端末暗証番号

端末暗証番号は、お買い上げ時は「0000」（数字のゼロ4つ）に設定されていますが、お客様ご自身で番号を変更できます。→P.139

端末暗証番号の入力画面が表示された場合は、4～8桁の端末暗証番号を入力し、◉を押します。

- 入力した端末暗証番号は、ディスプレイに「_」で表示され、数字は表示されません。

- 間違った端末暗証番号を入力した場合や、約15秒間何もしなかった場合は、警告音が鳴り、警告メッセージが表示されます。

● ネットワーク暗証番号

ドコモｅサイトでの各種手続き時や、各種ネットワークサービスご利用時にお使いいただく数字4桁の番号で、ご契約時に任意の番号を設定いただきますが、お客様ご自身で番号を変更できます。

パソコン向け総合サポートサイト「My DoCoMo」の「DoCoMo ID／パスワード」をお持ちの方は、パソコンから新しいネットワーク暗証番号への変更手続きができます。

なお、iモードからは、ドコモeサイト内の「各種手続き」からお客様ご自身で変更ができます。

※「My DoCoMo」「ドコモeサイト」については、取扱説明書裏面をご覧ください。

● iモードパスワード

マイメニューの登録・削除、メッセージサービス、iモードの有料サービスのお申し込み・解約等を行う際には4桁の「iモードパスワード」が必要になります。

（この他にも各情報サービス提供者が独自にパスワードを設定していることがあります）

iモードパスワードは、ご契約時は「0000」（数字のゼロ4つ）に設定されていますが、お客様ご自身で番号を変更できます。

iモードから変更される場合は、MENU▶「iモード」▶「i Menu」▶「料金＆お申込・設定」▶「オプション設定」▶「iモードパスワード変更」から変更ができます。

● PIN1コード・PIN2コード

FOMAカードには、PIN1コード、PIN2コードという2つの暗証番号を設定できます。

これらの暗証番号は、ご契約時は「0000」（数字のゼロ4つ）に設定されていますが、お客様ご自身で番号を変更できます。→P.139

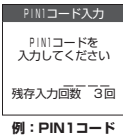
PIN1コードは、第三者による無断使用を防ぐため、FOMAカードをFOMA端末に差し込むたびに、またはFOMA端末の電源を入れるたびに使用者を確認するために入力する4～8桁の番号（コード）です。PIN1コードを入力することにより、発着信および端末操作が可能となります。

PIN2コードは、積算通話料金リセット、ユーザ証明書利用時や発行申請を行うときなどに使用する4～8桁の番号です。

新しくFOMA端末を購入されて、現在ご利用中のFOMAカードを差し替えてお使いになる場合は、以前にお客様が設定されたPIN1コード、PIN2コードをご利用ください。

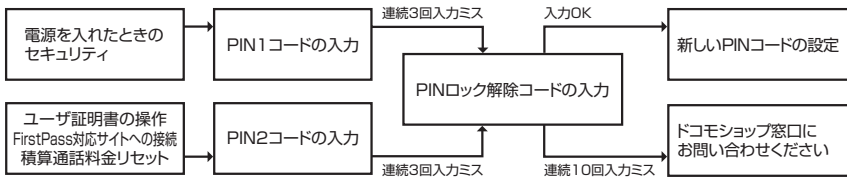
PIN1コードまたはPIN2コードの入力画面が表示された場合は、4～8桁のPIN1コードまたはPIN2コードを入力し、を押します。

● 入力したPIN1コード、PIN2コードは「＿」で表示され、数字は表示されません。
● 3回誤ったPIN1コード、PIN2コードを入力した場合は、PIN1コード、PIN2コードがロックされて使えなくなります（入力可能な残り回数は「残存入力回数」として画面に表示されます）。正しいPIN1コード、PIN2コードを入力すると、残存入力回数が3回に戻ります。

PIN1コード入力
PIN1コードを
入力してください
残存入力回数 3回

例：PIN1コード

● PINロック解除コード

PINロック解除コードは、PIN1コード、PIN2コードがロックされた状態を解除するための8桁の番号です。なお、お客様ご自身では変更することができません。

● PINロック解除コードの入力を10回連続して失敗すると、FOMAカードがロックされます。

〈端末暗証番号変更〉 MENU29

端末暗証番号を変更する

お買い上げ時
0000（数字のゼロ4つ）

MENU▶「各種設定」▶「ロック／セキュリティ」▶「端末暗証番号変更」▶端末暗証番号を入力▶新しい4～8桁の端末暗証番号を入力▶「YES」を選択

■「初期設定」から端末暗証番号を変更する場合
▶端末暗証番号を入力▶新しい4～8桁の端末暗証番号を入力▶「YES」

〈PIN設定〉

PINコードを設定する

ご契約時	PIN1コード：0000（数字のゼロ4つ） PIN2コード：0000（数字のゼロ4つ） PIN1コード入力設定：OFF

● PIN1コード、PIN2コード、およびPIN1コード入力設定はFOMAカードに記憶されます。新しくFOMA端末を購入されて、現在ご利用中のFOMAカードを差し替えてお使いになる場合は、これまでお使いのPIN1コード、PIN2コードをそのままご利用になれます。
● PIN1コード、PIN2コードの入力をそれぞれ続けて3回誤ると自動的にPINロックされ、PINコードが使えなくなります。設定した番号はメモを取るなどしてお忘れにならないようご注意ください。
● PINロック解除コードとは、PIN1コード、PIN2コードがロックされたときにロックを解除するための8桁の番号です。
● PINロック解除コードの入力を続けて10回誤ると、FOMAカードが完全にロックされます。
● PINロック解除コードを忘れた場合や完全にロックされた場合は、FOMA端末、ご利用中のFOMAカード、およびご契約されたご本人であるかどうかが確認できるもの（運転免許証など）をドコモショップ窓口までご持参いただくことが必要になりますのでご注意ください。

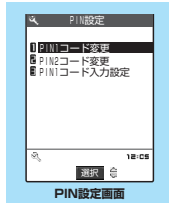
PIN1コード、PIN2コードの番号を変更する

● PIN1コードを変更する場合は、「PIN1コード入力設定」を「ON」に設定しておいてください。

1 MENU▶「各種設定」▶「ロック／セキュリティ」▶「PIN設定」▶端末暗証番号を入力

「PIN設定画面」が表示されます。

PIN設定画面

2 以下の項目から選択

PIN1コード変更	▶現在設定されている4～8桁のPIN1コードを入力▶新しい4～8桁のPIN1コードを入力▶新しい4～8桁のPIN1コードを再度入力 PIN1コードを変更します。
PIN2コード変更	▶現在設定されている4～8桁のPIN2コードを入力▶新しい4～8桁のPIN2コードを入力▶新しい4～8桁のPIN2コードを再度入力 PIN2コードを変更します。
PIN1コード入力設定	電源を入れたときにPIN1コードを入力するように設定できます。

電源を入れたときにPIN1コードを入力する

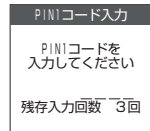
「PIN1コード入力設定」を「ON」に設定した場合は、電源を入れるとPIN1コードの入力画面が表示されますので、PIN1コードを入力してください。

1 FOMA端末の電源を入れ、4～8桁のPIN1コードを入力

PIN1コードを正しく入力すると、待受画面が表示されます。

PIN1コード入力

PIN1コードを
入力してください

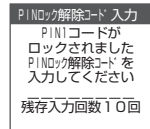
残存入力回数　3回

PINロックを解除する

PIN1コード、PIN2コードの入力を続けて3回誤った場合は、PIN1コード、PIN2コードのロックを解除して、新しいPIN1コード、PIN2コードを設定する必要があります。

<例：PIN1コードのロックを解除する場合>

1 8桁のPINロック解除コードを入力

2 4～8桁の新しいPIN1コードを入力

3 新しい4～8桁のPIN1コードを再度入力

各種ロック機能について

目的	機能名	参照ページ
ほかの人にFOMA端末を使われるのを防ぐ	ダイヤルロック／おまかせロック	P.141
ほかの人に知られたくない「電話帳」や「スケジュール」のデータを表示できないようにし、見られることを防ぐ	シークレットモード／シークレット専用モード	P.143
ほかの人に見られたくない画像やメールなどを表示できないようにし、見られることを防ぐ	シークレットフォルダ	P.145
ほかの人に個人情報を見られたり、書き換えられたりするのを防ぐ	オリジナルロック	P.147
電話やメールの操作をできないようにする		
ほかの人に発着信の履歴を見られるのを防ぐ		
ボタン操作を自動的にロックする	キー操作ロック	P.152
外部ボタンの誤操作を防ぐ	外部ボタン操作	P.153
音声電話やテレビ電話の着信を気にしないでFOMA端末を操作する	セルフモード	P.158

〈ダイヤルロック／おまかせロック〉

ほかの人が使用できないようにする

ほかの人が使用できないようにロックを設定する方法は、FOMA端末を操作して行う「ダイヤルロック」と遠隔操作で行う「おまかせロック」があります。

● ダイヤルロック、おまかせロックは電源を切っても解除されません。

● ダイヤルロック／おまかせロック設定中に利用できる操作や機能

機能	ダイヤルロック	おまかせロック
電源を入れる／切る	○	○
緊急通報番号（110番、119番、118番）に電話をかける	○	×
ダイヤルロックを設定／解除する	○	×
おまかせロックを設定／解除する	○	○
音声電話、テレビ電話の着信を受ける※	○	○
遠隔監視の着信を受ける	○	○
電話帳お預かりサービスの更新を受ける	○	×
上記以外の機能を利用する	×	×

○：利用できます。×：利用できません。

※：音声電話、テレビ電話を発信することはできません。また、着もじが付いた着信を受けると着信中画面に着もじを表示します。公共モード（ドライブモード）設定中は着信を受けることができません。

● ダイヤルロック／おまかせロックを設定すると、「アラーム機能」、「スケジュール」、「To Doリスト」で設定した時刻になってもアラームは通知されません。ダイヤルロック／おまかせロックを解除後、「未通知アラームあり」のデスクトップアイコンが待受画面に表示されます。
● ダイヤルロック／おまかせロックを設定すると、デスクトップに貼り付けられているアイコンは表示されなくなります。ダイヤルロック／おまかせロック解除後、アイコンが再び表示されます。
● 電話帳に登録されている相手からの着信でもダイヤルロック／おまかせロック設定中は電話番号だけが表示されます。
● ダイヤルロック／おまかせロック設定中の着信は「着信履歴」に記憶されます。

FOMA端末を操作してダイヤルロックを設定する

お買い上げ時 解除

1 MENU ▶「各種設定」▶「ロック／セキュリティ」▶「ロック」▶端末暗証番号を入力▶「ダイヤルロック」

● ダイヤルロック設定中の動作について

- 正面のディスプレイに「ダイヤルロック」と「 」が表示されます。
- ダイヤルロック設定中にメッセージR/F、ｉモードメール、SMS、チャットメールの自動受信はできますが、受信中の画面および受信結果の画面は表示されません。ダイヤルロック解除後、受信したことを示すアイコンが待受画面に表示されます。

ダイヤルロックを解除する

- ダイヤルロックの解除に５回続けて失敗すると、FOMA端末の電源が切れます。ただし、再度電源を入れることはできます。

1 ダイヤルロック設定中の画面で端末暗証番号を入力▶

ダイヤルロックが解除されて「 」の表示が消えます。

➡

おしらせ

◆ダイヤルロックを解除するときに、間違った端末暗証番号を入力してもエラーメッセージは表示されません。 を押し、再度正しい端末暗証番号を入力してください。

おまかせロックを利用する

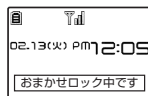
お買い上げ時 解除

FOMA端末を紛失した際などに、ドコモにご連絡いただくか、またはMy DoCoMoからの操作により、遠隔操作でFOMA端末にロックをかけることができるサービスです。お客様の大切なプライバシーを守ります。お客様からのお電話などによりロックを解除することができます。

おまかせロックの設定／解除
0120-524-360 受付時間24時間
※パソコン等でMy DoCoMoのサイトからも設定／解除ができます。

※ おまかせロックのご利用方法の詳細については『ご利用ガイドブック（各種サービス・手続き編）』をご覧いただくか、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

● おまかせロック設定中の動作について

- 正面のディスプレイに「おまかせロック中です」と表示します。
- おまかせロックはお客様がご契約中のFOMAカードが挿入されているFOMA端末に対してロックをかけるサービスです。
- おまかせロック中は、音声電話、テレビ電話の着信に対する応答と電源ON／OFFの操作を除いて、すべてのボタン操作がロックされ、各機能を使用することができなくなります。
- おまかせロック設定中に受信したメールはｉモードメールセンターに保管されます。
- FOMAカードにはロックがかかりません。

おしらせ

◆ほかの機能が動作中の場合は、動作中の機能を終了してロックをかけます（編集中のデータがある場合は編集中のデータを破棄して終了することがあります）。

◆ほかのロック機能が設定中でも、おまかせロックをかけることができます。この場合、おまかせロックを解除すると、おまかせロック設定前のロック状態に戻ります（ただしシークレットモード／シークレット専用モードは解除されます）。

◆以下の場合はロックがかかりません。
- FOMA端末の電源が入っていないときや圏外にあるとき
- セルフモード設定中、赤外線通信／ケーブル接続によるデータ送受信中などの理由でFOMA端末に「圏外」が表示されているとき

◆「デュアルネットワークサービス」をご契約のお客様が、movaサービスをご利用中の場合は、ロックがかかりません。

◆ おまかせロックはFOMA端末に挿入されているFOMAカードのご契約者の方からのお申し出によりロックをかけるサービスです。ご契約者の方とFOMA端末を使用している方が異なる場合でも、ご契約者の方からのお申し出があればロックがかかります。
◆ ロックの解除は、ロックをかけたときと同じFOMAカードを挿入している場合にのみ行うことができます。解除できない場合は、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。
◆ おまかせロックを解除しようとしたときにFOMA端末が音声通話中またはテレビ電話中の場合は、通話終了後にロックが解除されます。

〈シークレットモード／シークレット専用モード〉

電話帳やスケジュールの登録データを表示できないようにする

お買い上げ時	シークレットモード：解除　シークレット専用モード：解除

ほかの人に知られたくない「電話帳」や「スケジュール」のデータは、端末暗証番号を入力しないと呼び出せないシークレットデータとして登録できます。シークレットデータにするにはシークレットモード設定中またはシークレット専用モード設定中に「電話帳」や「スケジュール」を登録します。シークレットモードではシークレットデータも含めた「電話帳」、「スケジュール」のすべてのデータを呼び出すことができます。シークレット専用モードではシークレットデータの「電話帳」、「スケジュール」のみを呼び出すことができます。

● ほかの人に見られたくない「マイピクチャ」や「ｉモーション」、「受信BOX」、「送信BOX」、「Bookmark」の各データを、「シークレット」フォルダに保管することもできます。→P.145
● シークレットモード設定中またはシークレット専用モード設定中に、音声電話、テレビ電話を発信したり着信したりすると、設定中のモードは解除されます。また、シークレットフォルダ内のデータを表示していた場合は、各フォルダの一覧画面に戻ります。
● FOMAカードにはシークレットデータとして電話帳を登録できません。
● 電源を切った場合、シークレットモードおよびシークレット専用モードは解除されます。

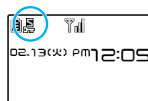
シークレットデータとして電話帳やスケジュールを登録する MENU40

● シークレットモード設定中およびシークレット専用モード設定中の「電話帳」、「スケジュール」の操作方法は、シークレットモードおよびシークレット専用モードが設定されていない場合と同じです。

<例：シークレットモードで登録する場合>

1 MENU ▶「各種設定」▶「ロック／セキュリティ」▶「シークレットモード」▶端末暗証番号を入力

02.13(火) PM12:05

シークレットモードに設定されて「S」が表示されます。
ほかのロック機能が同時に設定されているときのアイコンの表示について→P.27

■ シークレットモードを解除する場合
▶ ☎
シークレットモードが解除されて「S」の表示が消えます。

2 「電話帳」または「スケジュール」を登録

シークレットデータとして登録されます。
電話帳の登録のしかた→P.93
スケジュールの登録のしかた→P.289

おしらせ

◆ 直デンに登録されている電話帳の場合、登録時に確認メッセージが表示されます。「YES」を選択すると直デンから削除され、シークレットデータとして登録されます。

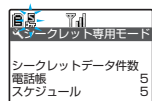
シークレットデータのみ表示する〈シークレット専用モード〉MENU41

1 MENU▶「各種設定」▶「ロック／セキュリティ」▶「シークレット専用モード」▶端末暗証番号を入力

シークレット専用モードに設定されて「 」が点滅します。約2秒たつと待受画面に戻ります。
ほかのロック機能が同時に設定されているときのアイコンの表示について→P.27

■ **シークレット専用モードを解除する場合**

▶

シークレット専用モードが解除されて「 」の表示が消えます。

2 電話帳の検索またはスケジュールの確認を行う

電話帳の検索のしかた→P.97
スケジュールの確認のしかた→P.291

おしらせ

◆ 電話帳のデータは、電話帳詳細画面の機能メニューから「シークレット設定」を選択してもシークレットデータとして登録できます。
◆ シークレットモード設定中に、シークレットデータを選択、表示したり、シークレットフォルダやシークレットフォルダ内のデータを表示すると、「 」が点滅します。
◆ シークレットデータとして登録した「電話帳」や「スケジュール」は、シークレットモードおよびシークレット専用モードにしないと、呼び出し、修正、削除、参照ができません。また、「スケジュール」は通常のモードでもアラーム通知は行いますが、アラームメッセージは表示されません。
◆ シークレットデータとして「電話帳」をメモリ番号「000」～「009」に登録した場合は、シークレットモードやシークレット専用モードにしないと、「ツータッチダイヤル」で電話をかけることはできません。
◆ シークレットデータとして登録した相手が電話番号を通知して電話をかけてきた場合、登録されている名前は表示されず、電話番号が表示されます。また、「着信履歴」にも電話番号のみが表示されます。ただし、シークレットモードまたはシークレット専用モードにすると、「着信履歴」に登録されている名前が表示されます。
◆ シークレットデータとして登録した相手がメールを送信してきたときは、シークレットモードまたはシークレット専用モードを解除していると、登録されている名前は表示されず、メールアドレスが表示されます。また「受信アドレス一覧」にメールアドレスは記憶されません。
◆ シークレットデータの「電話帳」には以下の機能を設定できません。
 ・オート表示→P.108　・電話帳指定設定→P.154　・発着信識別機能→P.105
◆ シークレットモード設定中に「電話帳」や「スケジュール」を修正した場合、修正したデータはシークレットデータになります。なお、電話帳を修正した場合は、修正した電話帳のメモリ番号に登録されているすべての情報がシークレットデータになります。
◆ シークレットモード、シークレット専用モードは、シークレットモード設定中、シークレット専用モード設定中に、MENU▶「各種設定」▶「ロック／セキュリティ」から「シークレットモード」または「シークレット専用モード」を選択しても解除されます。
◆「ダイヤルロック／おまかせロック」と「シークレットモード」または「シークレット専用モード」を同時に設定している場合は、「ダイヤルロック／おまかせロック」を解除すると「シークレットモード」または「シークレット専用モード」も解除されます。
◆ シークレットモード、シークレット専用モードで電話帳／スケジュールの編集中、スケジュールの表示中、または電話帳検索の結果表示中に着信などがあると、シークレットモードまたはシークレット専用モードが解除され、端末暗証番号を入力する画面が表示されます。端末暗証番号を入力すると再びシークレットモードまたはシークレット専用モードに設定され、操作を続けることができます。
◆ シークレットデータとして登録された電話帳を呼び出して電話をかけたりメールを送信した場合は、「リダイヤル」や「発信履歴」、「送信アドレス一覧」には記憶されません。

シークレットデータを通常のデータに戻す

シークレットモードまたはシークレット専用モードに設定し、解除したい電話帳またはスケジュールを呼び出します。

＜例：電話帳を解除する場合＞

1 「電話帳詳細画面」（P.97）▶ [機能] ▶「シークレット解除」

シークレットが解除されます。シークレットモードの場合は、「」の点滅表示が点灯に変わります。

■ スケジュールの場合

▶「スケジュール一覧画面」▶ [機能] ▶「シークレット解除」▶「YES」

シークレットモードの場合は、「」の点滅表示が点灯に変わります。

「スケジュール一覧画面の機能メニュー」→P.291

〈シークレットフォルダ〉

各種データを表示できないようにする

ほかの人に見られたくないBookmark、受信メール、送信メール、画像、動画の各データを「シークレット」フォルダに保管します。

- 「シークレット」フォルダは、シークレットモード設定中またはシークレット専用モード設定中のみ、Bookmark／受信BOX／送信BOX／データBOXの各フォルダ内に表示されます。
- シークレットモード設定中やシークレット専用モード設定中に、音声電話、テレビ電話を発信したり着信したりすると、電話に出なくても設定中のモードは解除されます。
  また、シークレットフォルダ内のデータを表示していた場合は、各フォルダの一覧画面に戻ります。
- 各フォルダ内の「シークレット」フォルダに保管できるデータの最大件数は次のとおりです。

ｉモードのBookmark	受信BOX	送信BOX	マイピクチャ	ｉモーション
10件 （3Kバイト）	100件 （150Kバイト）	100件 （150Kバイト）	100件 （1Mバイト）	10件 （1Mバイト）

※： 1件あたりのデータ容量によって最大件数まで登録できない場合があります。

＜例：マイピクチャの画像をシークレットフォルダに保管する場合＞

1 「シークレットモード」または「シークレット専用モード」にする

「電話帳やスケジュールの登録データを表示できないようにする」→P.143

2 「画像一覧画面」（P.255）▶画像を選んで [機能] ▶「シークレットに保管」

おしらせ

◆ シークレットフォルダはFOMA端末にあらかじめ用意されています。シークレットフォルダの追加や削除、フォルダ名の変更はできません。

◆「プリインストール」フォルダに保存されている画像やｉモーション、未読メール、FOMAカードに保存したSMS、SMS送達通知は、シークレットフォルダに保管できません。

◆ シークレットモード、シークレット専用モードは、シークレットモード設定中、シークレット専用モード設定中に、MENU ▶「各種設定」▶「ロック／セキュリティ」▶「シークレットモード」またはMENU ▶「各種設定」▶「ロック／セキュリティ」▶「シークレット専用モード」を選択しても解除されます。

＜ｉモードのBookmark＞

◆ シークレットフォルダ内のBookmarkからサイト閲覧を行った場合、ラストURLには登録されません。

＜受信BOX／送信BOX＞

◆ シークレットフォルダに保管されているメールは、フォルダが満杯状態のときにメールの送受信を行っても自動削除されません。

◆ シークレットフォルダ内の大容量画像や動画、ｉモーションが添付されたメールは、メール本文のみが保管され、添付ファイルは保管されません。一覧画面や詳細画面では、添付ファイルが表示／再生できないことを示す「」「」「」「」が表示されます。また、メールをシークレットフォルダから出しても、添付ファイルは表示／再生できません。

◆ シークレットフォルダに保管されているメールからPhone To／AV Phone To機能、Mail To機能、Web To機能は使用できません。

◆ シークレットフォルダ内のメールをシークレットフォルダから出すと通常のメールに戻るため、フォルダの状態によっては日付の古いメールはほかのメールの受信時／送信時に削除される場合があります。メールを保護状態にしてからシークレットフォルダから出すことをおすすめします。
◆ シークレットフォルダに保管されているチャットメールは、シークレットモード設定中やシークレット専用モード設定中でも、チャット画面には表示されません。
◆ シークレットフォルダに保管されているSMSの送達通知を受信した場合、一覧画面やSMSの詳細画面で「 」が表示されていても、SMSの詳細画面の機能メニューから「SMS送達通知表示」を選択できません。メールをシークレットフォルダから出すと機能メニューから「SMS送達通知表示」を選択してSMS送達通知内容を確認できるようになります。

<マイピクチャ／ｉモーション>
◆ 待受画面、電話帳、チャット画面の画像などに設定されている場合は、その設定が解除され、お買い上げ時の設定に戻ります。
◆ ｉモーションからのPhone To／AV Phone To機能、Mail To機能、Web To機能は使用できません。

<デスクトップアイコン>
◆ デスクトップアイコンとして貼り付けた画像、動画、ｉモーションをシークレットフォルダに保管すると、デスクトップアイコンを選択しても表示されなくなります。
◆ デスクトップアイコンとして貼り付けた Bookmark、受信メール、送信メールをシークレットフォルダに保管しても、デスクトップアイコンを選択したときは通常の動作となります。

● シークレットフォルダの機能メニューについて

シークレットフォルダでは、フォルダやフォルダ内のデータに対して、使用できる機能は制限されています。シークレットフォルダで使用できる機能は以下のとおりです。

■ シークレットフォルダの機能メニュー

フォルダ一覧画面▶「シークレット」フォルダを反転表示▶[i][機能]で表示します。

ｉモードのBookmark (P.188)	受信BOX／送信BOX (P.234)	マイピクチャ (P.276)	ｉモーション (P.276)
フォルダ追加 登録件数確認※1 赤外線全送信※1 Bookmark全削除※1	フォルダ追加 保存件数確認※1 フォルダ内表示 赤外線全送信※1 既読メール全削除※1※2 受信メール全削除※1※3	フォルダ追加 画像全削除※1	フォルダ追加 動画全削除※1

※1：「シークレット」フォルダ内のデータは対象となりません。
※2：受信メールフォルダ一覧画面のみ表示されます。
※3：送信メールフォルダ一覧画面のときは「送信メール全削除」になります。

■ データ一覧画面の機能メニュー

ｉモードのBookmark (P.188)	受信BOX／送信BOX (P.236、237)	マイピクチャ (P.256)	ｉモーション (P.264)
登録件数確認 削除 シークレットから出す	色分け 一覧表示切替 保護／保護解除 保護全解除 メール情報※ 保存件数確認 削除 シークレットから出す	イメージ表示 イメージ情報 保存容量確認 タイトル名一覧、ピクチャー覧 削除 シークレットから出す	ｉモーション情報 保存容量確認 一覧表示切替 削除 シークレットから出す

※： 受信メール一覧画面のみ表示されます。

■ データ詳細表示画面の機能メニュー

受信BOX／送信BOX (P.239、240)	マイピクチャ (P.258)	ｉモーション (P.267)
保護／保護解除 スクロール設定 文字サイズ設定 削除 シークレットから出す	イメージ情報 画像表示設定 リトライ 1件削除	通常再生 スロー再生 早送り再生 停止 ｉモーション情報 画像表示設定

シークレットフォルダのデータを通常のデータに戻す

シークレットデータを通常のデータに戻すにはシークレットフォルダから別のフォルダに移動します。

<例：マイピクチャのシークレットフォルダの画像を通常のデータに戻す場合>

1 「シークレットモード」または「シークレット専用モード」にする

「電話帳やスケジュールの登録データを表示できないようにする」→P.143

2 「フォルダ一覧画面」(P.255)▶「シークレット」▶画像を選んで[i][機能]▶「シークレットから出す」

3 保存するフォルダを選択

おしらせ

◆ シークレットフォルダ内のメールをシークレットフォルダから出すと通常のメールに戻りますので、ほかのメールを受信時または送信時などに削除される場合があります。メールを保護状態にしてからシークレットフォルダから出すことをおすすめします。

〈オリジナルロック〉

個人情報の表示や電話・メールの操作をできないようにする

お買い上げ時(オリジナルロック1～3)	解除 (詳細項目　データ閲覧・編集・削除：すべて選択　発信・メール送信：すべて解除　着信・メール受信表示：すべて解除)

メールや電話帳などの個人情報を利用する機能にロックをかけて、ほかの人にそれらの情報を見られたり、不正に書き換えられたりすることを防ぎます。また、音声電話やテレビ電話の発着信を制限したり、ｉモードメールやSMSの送受信を制限することができます。

- ロック対象の機能やデータはオリジナルロック1～3に個別に登録できますので用途･目的に応じて使い分けることができます。
- ロックは電源を切っても解除されません。

オリジナルロックを有効にする

1 [MENU]▶「各種設定」▶「ロック／セキュリティ」▶「ロック」▶端末暗証番号を入力

「ロック機能選択画面」が表示されます。

2 オリジナルロック1～3を選択

ロックが有効になり、ロック対象の機能やデータにロックがかかります。画面には「[icon]」が表示されます。

ほかのロック機能が同時に設定されているときのアイコンの表示について→P.27

ロック機能選択画面

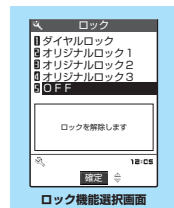
■ ロックする機能やデータを変更する場合

「ロックする機能やデータをカスタマイズする」→P.151

■ タイトルを編集する場合

▶オリジナルロック1～3を反転表示▶[i][機能]▶「タイトル編集」▶タイトルを入力▶[●][確定]

■ オリジナルロックを解除する場合

▶「OFF」

● オリジナルロック設定中の操作について

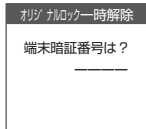
オリジナルロック設定中にロック対象の機能やデータを利用しようとすると、端末暗証番号の入力が求められます。

● 端末暗証番号を正しく入力すると一時的にロックが無効になり、ロック対象の機能やデータを利用できるようになります。起動中のすべての機能を終了して待受画面に戻ると、再度ロックが有効になります。

<例：オリジナルロック設定中にｉモードメールを閲覧する場合>

1 待受画面表示中▶✉［MAIL］

右のような端末暗証番号入力画面が表示されます。

オリジﾅﾙﾛｯｸ一時解除
端末暗証番号は？
––––

2 端末暗証番号を入力

オリジナルロックが一時的に解除され、メールメニューが表示されます。

3 ｉモードメールを読む→P.228

4 メールメニューを終了し、待受画面に戻る

オリジナルロックが有効になり、画面に「」が表示されます。

おしらせ

◆ オリジナルロック設定中は、以下の機能を利用できません（オリジナルロックを解除する必要があります）。
- 設定リセット
- ソフトウェア更新
- 端末初期化
- スキャン機能の「パターンデータ更新」と「自動更新設定」

◆「発信・メール送信」、「着信・メール受信表示」以外の機能をロックの対象にした場合、オリジナルロックを一時的に解除して利用することができます（「発信・メール送信」、「着信・メール受信表示」の機能はオリジナルロック中には利用できません）。

◆「発信・メール送信」、「着信・メール受信表示」の機能と、ほかの機能とを同時にロック対象に組み合わせていた場合に、オリジナルロックを一時的に解除すると、に変わります。

● ロック対象の機能やデータについて

● オリジナルロックの対象となる機能や項目、データは以下のとおりです。各グループごと、項目ごとにロック対象とするかどうかを設定（カスタマイズ）できます。→P.151

カテゴリー	グループ	機能	ロック中の動作／注意事項
データ閲覧・編集・削除	メール	メール	メール機能をロックします。 • メールBOXの表示などはできません。 • メール作成や送信はできません。
		メールメンバー	各機能の起動をロックします。
		チャットグループ	
	ｉモード	ｉモード	ｉモード機能をロックします。 • ｉモードやｉチャネルなどが利用できません。 • ｉチャネルのテロップ表示も行われません。
		Bookmark	ｉモードのブックマーク一覧の表示をロックします。
	マルチメディア	マイピクチャ	各機能の起動をロックします。また、ほかの機能からデータを呼び出すこともできません。 • ロック対象となるデータを着信音や着信画面、待受画面などに設定している場合、ロック中はお買い上げ時の設定で動作します。 •「マイピクチャ」または「キャラ電」がロック対象になっている場合、ロック中にテレビ電話で代替画像を送信すると、「内蔵」の代替画像が送信されます。
		ｉモーション	
		メロディ	
		キャラ電	
		おしゃべり機能	
		カメラ	各機能の起動をロックします。
	スケジュール	スケジュール	各機能の起動をロックします。また、設定した時刻になってもアラーム通知を行いません。 • ロック中はアラーム通知を行わず「未通知アラームあり」のデスクトップアイコンが表示されます。 •「スケジュール」がロック対象になっており待受画面にカレンダーを設定している場合、ロック中は待受画面のカレンダーからスケジュール機能を起動できません。
		アラーム	
		To Doリスト	

カテゴリー	グループ	機能	ロック中の動作／注意事項
データ閲覧・編集・削除	メモ	メモの再生／消去	各機能の起動をロックします。 ・FOMA 端末を閉じた状態で [MEMO/CHECK] を押しても「伝言メモあり」、「テレビ電話伝言メモあり」の確認はできません。
		動画メモの再生／消去	
		待受中音声メモ	各機能の起動をロックします。
		通話中音声メモ	
	電話帳	電話帳／直デン	電話帳、直デンの起動をロックします。また、あらゆる場面で電話帳参照が行われなくなります（電話帳を利用する多くの機能に影響があります）。 ・電話帳に登録されている相手であっても音声電話、テレビ電話の発信中画面や着信中画面に電話番号だけが表示されます。また、ｉモードメール、チャットメールの新着メール表示では送信元の登録名の代わりにメールアドレスが表示されます。 ・「着もじ」の「メッセージ表示設定」が「電話帳登録番号のみ」に設定されている場合は、着信中画面に着もじは表示されません。 ・電話帳に登録されている相手であっても着信や発信に対する「着信履歴」、「発信履歴」、「リダイヤル」には電話番号だけが表示されます。 ・メール一覧画面や詳細画面には、電話帳に登録されている名前の表示は行われず、代わりにメールアドレスが表示されます。 ・「指定着信拒否」、「指定着信許可」、「指定転送でんわ」、「指定留守番電話」の設定は無効になります。 ・FOMA 端末を閉じた状態で [MEMO/CHECK] を押しても「不在着信あり」、「新着メールあり」、「新着チャットメールあり」、「伝言メモあり」の発信者名の読み上げはできません。
		マイプロフィール	「マイプロフィール」の起動をロックします。
		発信履歴	「発信履歴」、「リダイヤル」、「送信アドレス一覧」の起動をロックします。
		着信履歴	「着信履歴」、「受信アドレス一覧」の起動をロックします。 ・FOMA 端末を閉じた状態で [MEMO/CHECK] を押しても「不在着信あり」の確認はできません。
	その他	テキストメモ	テキストメモの起動をロックします。
		通話料金通知	設定した上限料金を超えてもアラームを通知しません。 ・ロック解除後、「通話料金通知」のデスクトップアイコンが待受画面に表示されます。 ・「通話料金通知」の設定操作は本機能でロックされませんので設定することはできます。
		着もじ	「着もじ」の利用をロックします。 ・着もじの着信動作は本機能でロックされません（「着もじ」の「メッセージ表示設定」に従って表示動作を行います）。 ・機能メニューの「メッセージ作成」から着もじを付けて発信することはできます。

カテゴリー	グループ	機能	ロック中の動作／注意事項
発信・メール送信	ダイヤル発信	ダイヤル発信	電話番号の直接ダイヤルや着信履歴による音声電話やテレビ電話の発信はできません。 • 電話帳の新規登録、編集、FOMAカード（UIM）操作はできません。 • 電話帳、リダイヤル／発信履歴からの発信はできます。 • 緊急通報番号（110番、119番、118番）には直接ダイヤルして音声電話をかけることができます。 • デスクトップアイコンからの発信はできません。
	メール送信	メールアドレス直接入力	宛先を直接入力によるｉモードメールやSMSの送信はできません。 • 電話帳の新規登録、編集、FOMAカード（UIM）操作はできません。 • 着信履歴、メールメンバー、受信アドレス一覧、チャットグループは、メール作成時のメールアドレスとして利用することはできません。 • デスクトップアイコンからのメール作成はできません。 • 電話帳、リダイヤル／発信履歴、送信アドレス一覧からのメール作成はできます。 •「自分」を除くチャットメンバーはすべて削除されます。 • 保存BOX内のメールの宛先はすべて削除されます。また、宛先のみ入力された保存BOX内のメールはすべて削除されます。
		メール送信	ｉモードメール、SMSの送信はできません。 • チャットメールは利用できません。
着信・メール受信表示	着信		音声電話、テレビ電話、パケット通信の着信を拒否します。着信動作は行わず不在着信履歴として記憶されます。 • ロック解除後、「不在着信あり」のデスクトップアイコンが待受画面に表示されます。
	メール／メッセージ受信表示		メッセージR/F、ｉモードメール、チャットメール、SMSの自動受信はできますが、受信動作は行わず受信中の画面および受信結果の画面は表示されません。 • ロック解除後、「新着メールあり」、「チャットメールあり」のデスクトップアイコンが待受画面に表示されます。 • チャットメールは利用できません。

おしらせ

◆ ロック対象となるデータを「デスクトップアイコン」として待受画面に貼り付けている場合、ロック中はそのデスクトップアイコンは表示されません。

ロックする機能やデータをカスタマイズする

- たとえば「電話帳だけをロックする」、「電話とメール発信だけを制限したい」といった設定をオリジナルロック1～3に個別に登録できますので用途・目的に応じて使い分けることができます。
- ロック対象の設定（カスタマイズ）は、カテゴリー、グループ、機能ごとに行います。→P.148
- ロック対象の設定（カスタマイズ）内容は、オリジナルロックの有効／無効を切り替えても保持されます。

1 「ロック機能選択画面」（P.147）▶オリジナルロック1～3を反転表示▶[✉]［詳細］

「カテゴリー一覧画面」が表示されます。
カテゴリー内のいずれかの項目がロック対象になっている場合は「🔑」が、すべての項目がロック対象になっている場合は「ALL」が付いて表示されます。

カテゴリー一覧画面

機能メニュー➡P.151

2 設定変更したいカテゴリーを選択

「グループ一覧画面」が表示されます。
グループ内のいずれかの項目がロック対象になっている場合は「🔑」が、すべての項目がロック対象になっている場合は「ALL」が付いて表示されます。

3 設定変更したいグループを選択

「機能一覧画面」が表示されます。

グループ一覧画面

機能メニュー➡P.151

4 [◎]で□（チェックボックス）を選択▶[✉]［完了］

チェックを付けた（☑にした）項目が、ロック対象となります。
ロック対象外にしたい項目はチェックを外します。

5 [✉]［完了］▶[✉]［完了］▶[●]［確定］

機能一覧画面

機能メニュー➡P.151

カテゴリー一覧／グループ一覧画面の機能メニュー

グループ選択	反転表示している項目より下の階層の項目をすべて選択します。
グループ解除	反転表示している項目より下の階層で選択されている項目をすべて解除します。
全グループ選択	表示されている項目より下の階層の項目をすべて選択します。
全グループ解除	表示されている項目より下の階層で選択されている項目をすべて解除します。

機能一覧画面の機能メニュー

全選択	表示されている項目をすべて選択します。
全選択解除	表示されている項目の選択をすべて解除します。

〈キー操作ロック〉
ボタン操作を自動的にロックする

お買い上げ時	閉じたとき：OFF　タイマー：OFF

FOMA端末を閉じたときや、FOMA端末を何も操作しない状態が一定時間経ったときに、ボタン操作できないように自動的にロックをかけることができます。

● キー操作ロックは電源を切っても解除されません。

キー操作ロックを設定する

1 MENU ▶「各種設定」▶「ロック／セキュリティ」▶「キー操作ロック」▶端末暗証番号を入力

2 以下の項目から選択 ▶ ✉［完了］

閉じたとき	ON	FOMA端末を閉じたときに自動的にロックがかかります。
	OFF	FOMA端末を閉じてもロックはかかりません。
タイマー	▶「1分後ON」、「5分後ON」、「15分後ON」、「30分後ON」、「OFF」から選択 たとえば、「5分後ON」に設定すると、FOMA端末を何も操作しない状態が5分間続くと、自動的にロックがかかります。「OFF」を選択するとタイマーは無効になり、ロックはかかりません。	

おしらせ

◆ キー操作ロックがかかるまでのタイマーのカウントは、ボタン操作をしたり、FOMA端末を開くとリセットされます。

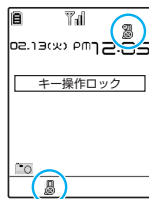
● キー操作ロック中の動作について

● キー操作ロック中は正面のディスプレイに「キー操作ロック」と「 」、「 」が表示されます。
ほかのロック機能が同時に設定されているときのアイコン表示について→P.27

● キー操作ロック中は、音声電話、テレビ電話の着信に対する応答、電源を入れる／切る、[⮌]の操作を除くすべてのボタン操作ができなくなります。

● キー操作ロック中にメッセージR/F、iモードメール、SMS、チャットメールの着信動作は行われますが、受信結果画面の閲覧はできません。

● キー操作ロック中でも、「アラーム機能」、「スケジュール」、「To Doリスト」のアラームは通知されます。

02.13(火) PM12:05
キー操作ロック

おしらせ

◆ キー操作ロック中でも、緊急通報番号（110番、119番、118番）には直接ダイヤルして音声電話をかけることができます。

◆ 通話中やデータの通信中（iモード中など）、メロディ／iモーションの再生中（一時停止含む）、カメラ起動中などの場合は、FOMA端末を閉じたり、タイマーで設定した時間になっても、ロックはかかりません。

キー操作ロックを一時解除する

1 キー操作ロック中の画面で端末暗証番号を入力 ▶ ●

おしらせ

◆ キー操作ロックを一時解除してもキー操作ロックの設定は解除されません。キー操作ロックの設定を完全に解除したい場合は、「閉じたとき」と「タイマー」の設定をいずれも「OFF」に設定してください。

◆ 音声通話中に、MENU を押すとキー操作ロックの一時解除画面が表示されます。一時解除を行うとメインメニューを表示させることができます。通話が終了するとキー操作ロック待機状態に戻ります。

〈外部ボタン操作〉 MENU ＊（1秒以上）

外部ボタンの誤操作を防止する

お買い上げ時 閉じた時有効

FOMA端末を閉じたときに、外部ボタン（[]、[MEMO/CHECK]）の機能を無効にできます。

● 以下のような場合は、本機能の設定にかかわらず外部ボタンの機能は有効になります。
- FOMA端末を開いているとき
- イヤホン接続端子に平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）などを接続しているとき
- 外部接続端子にパソコンなどを接続し、画面に「」が表示されているとき

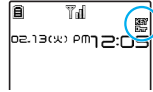
1 MENU▶＊（1秒以上）

外部ボタンの操作が無効（閉じた時無効）になり「」が表示されます。

■ 閉じた時有効にする場合

▶操作1を再度行う

「」の表示が消えます。

〈メールセキュリティ設定〉

メールを無断で表示できないようにする

お買い上げ時 セキュリティなし

ほかの人にメールの内容を無断で見られないように受信BOX、送信BOX、保存BOXやそれぞれのフォルダにセキュリティをかけます。セキュリティをかけたBOXやフォルダは、端末暗証番号を入力しないと開けなくなります。

● 入力した端末暗証番号は受信／送信フォルダ一覧画面を閉じてメールのタスクを終了させるまで有効ですので、その間は受信／送信フォルダにセキュリティがかかっている場合でも、端末暗証番号を入力せずに開くことができます。

● セキュリティをかけたBOXには、「」のアイコンが表示されます。

● セキュリティをかけたフォルダは、フォルダ一覧画面で先頭に表示されるアイコンが「」、「」、「」、「」などの表示になります。

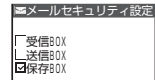
● 送信BOX、受信BOXにセキュリティを設定すると、メールアドレスは送信アドレス一覧、受信アドレス一覧に記憶されません。

BOXごとにセキュリティを設定する

1 MENU▶「メール」▶「メール設定」▶「メールセキュリティ設定」▶端末暗証番号を入力

2 で□（チェックボックス）を選択

選択したBOXがチェックされます。
チェックされたBOXをもう一度選択すると、選択を解除します。

メールセキュリティ設定
□受信BOX
□送信BOX
☑保存BOX

3 設定が終わったら［完了］

フォルダごとにセキュリティを設定する

1 「受信フォルダ一覧画面」（P.228）／「送信フォルダ一覧画面」（P.229）▶［機能］▶「メールセキュリティ」▶端末暗証番号を入力▶「YES」

■ メールセキュリティを解除する場合

▶操作1を再度行う

〈電話帳指定設定〉

指定した電話番号の着信や発信を制限する

お買い上げ時 すべて解除

私用電話を防止したり、迷惑電話を防止するために、電話帳に登録されている電話番号ごとに電話の発信や着信を制限します。

● 設定できる機能は以下のとおりです。

項目	説明
指定発信制限	指定した電話番号以外への電話をかけられないようにします。指定した電話番号に電話をかけるときは、電話帳から発信します。
指定着信拒否	指定した電話番号からの電話を受けないようにします。
指定着信許可	指定した電話番号からの電話だけを受けるようにします。
指定転送でんわ	指定した電話番号からの電話を、転送でんわサービスの開始／停止の設定にかかわらず、自動的に転送するようにします。
指定留守番電話	指定した電話番号からの電話を、留守番電話サービスの開始／停止の設定にかかわらず、留守番電話サービスセンターに自動的に接続するようにします。

● 電話番号はそれぞれ20件まで指定できます。
● FOMAカードの電話帳には設定できません。
● 相手が電話番号を通知してきた場合のみ有効です。「番号通知お願いサービス」および「非通知着信設定」もあわせて設定することをおすすめします。
● 同じ電話番号に対して指定着信拒否と指定着信許可、または指定転送でんわと指定留守番電話を同時に設定することはできません。
●「シークレットモード」、「シークレット専用モード」で登録した電話帳には設定できません。
● 指定した電話帳の電話番号を変更したり削除すると、電話帳指定設定の各機能は解除されます。ただし、「指定発信制限」を設定した場合は電話帳の編集や削除が制限されるため、電話番号を変更したり削除して指定発信制限を解除することはできません。

● 指定発信制限を設定すると

● 指定した電話番号を含むすべてのダイヤル発信、着信履歴からの発信ができなくなります。また、指定した電話番号以外の呼び出しと、電話帳の登録、修正、削除、FOMA端末（本体）とFOMAカード間でのコピー、「FOMAカード（UIM）操作」での電話帳の操作もできません。
● 設定前に記録されていたリダイヤル／発信履歴、送信アドレス一覧は削除されます。ただし、指定発信制限の設定後に記録されたリダイヤル／発信履歴からの発信や、送信アドレス一覧からのメール送信は行えます。

電話番号に発信／着信制限機能を設定する

1 「電話帳詳細画面」（P.97）▶ i ［機能］▶「電話帳指定設定」▶端末暗証番号を入力▶設定したい機能を選択

設定した機能には「★」が付きます。

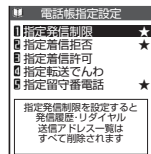
■ 設定されている機能を解除する場合

▶「★」が付いている機能を選択

機能が解除されて「★」が消えます。

■ 複数の電話番号に発信制限／着信制限の各機能を設定したい場合

▶ CLR を2回押して電話帳一覧画面に戻る▶ で設定したい電話番号を表示▶操作1を行う

指定発信制限を設定した後に を押して待受画面に戻ると、電話帳指定設定が続けて登録できなくなります。追加設定をする場合は、すでに設定されている電話番号の電話帳指定設定を解除し、解除した電話番号も含めてもう一度設定し直してください。

おしらせ

＜指定発信制限＞

◆ 指定発信制限設定中でも、緊急通報番号（110番、119番、118番）には電話をかけることができます。
◆ 指定発信制限と同時に「オート表示」をご利用になる場合は、「オート表示」に指定している電話番号に本機能を設定してください。
◆ 電話帳には、指定した電話番号のデータしか表示されません。

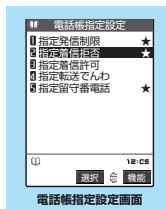
<指定着信拒否／指定着信許可>
◆ ｉモードメールやSMSは、本機能に関係なく受信されます。
◆ 指定着信拒否を設定した電話番号および指定着信許可を設定した以外の電話番号から電話がかかってきた場合、「着信履歴」には「不在着信履歴」として記憶され、「不在着信あり」のデスクトップアイコンが待受画面に表示されます。
◆ 指定着信拒否を設定した電話番号および指定着信許可を設定した以外の電話番号から電話がかかってきた場合、「留守番電話サービス」や「転送でんわサービス」を「開始」に設定していても着信を拒否します。ただし、「留守番電話サービス」や「転送でんわサービス」の呼出時間を0秒に設定している場合やサービスエリア外、電源が入っていない場合は、「留守番電話サービス」または「転送でんわサービス」が有効になります。この場合、かかってきた電話番号は「着信履歴」に記憶されず、「不在着信あり」のデスクトップアイコンも待受画面に表示されませんのでご注意ください。
◆「電話帳」項目に「オリジナルロック」を設定中は、本機能が無効になるため、指定着信拒否を設定した電話番号からの着信および指定着信許可を設定した以外の電話番号からの着信も行います。
◆ 指定着信拒否および指定着信許可を設定していても、電話をかけることはできます。

<指定転送でんわ／指定留守番電話>
◆ 指定した電話番号から電話がかかってきたときは、着信音を約1秒間鳴らしてから転送先に転送または留守番電話サービスセンターに接続します。
◆ 転送先が未設定の場合、「転送でんわサービス」または「留守番電話サービス」が未契約の場合は、指定した電話番号からかかってきた電話は不在着信となります。
◆「電話帳」項目に「オリジナルロック」を設定中は、本機能が無効になるため、指定した電話番号から電話がかかってきたときも通常の着信動作を行います。

電話帳指定設定の設定状況を確認する

MENU12

1 「電話帳一覧画面」（P.97）▶ [i]［機能］▶「電話帳指定設定」▶端末暗証番号を入力

「電話帳指定設定画面」が表示されます。

電話帳指定設定画面

機能メニュー ➡P.155

電話帳指定設定画面の機能メニュー

1 「電話帳指定設定画面」▶「★」が付いている項目を反転表示▶ [i]［機能］▶以下の項目から選択

設定確認	反転表示した機能に設定されている電話帳の一覧画面が表示されます。
設定解除	反転表示した機能の設定をまとめて解除します。

〈非通知着信設定〉 MENU10

発信者番号のわからない電話を受けない

お買い上げ時	すべて許可（着信音：通常着信音と同じ　着信画面：通常着信画面と同じ）

電話番号を通知してこない音声電話、テレビ電話の着信許可／拒否を、非通知理由ごとに設定できます。

 MENU▶「各種設定」▶「ロック／セキュリティ」▶「非通知着信設定」▶端末暗証番号を入力▶以下の項目から選択

項目			説明
通知不可能			海外からの着信や一般電話から各種転送サービスを経由しての着信など、発信者番号を通知できない相手から発信してきた場合の電話をつなげるか設定します。 経由する電話会社により発信者番号が通知される場合もあります。
	許可		着信を許可します。
		着信音	通知不可能で着信した場合の着信音を「通常着信音と同じ」、「メロディ」、「ｉモーション」、「おしゃべり」、「ランダムメロディ」、「OFF」から選択します。→P.112 「通常着信音と同じ」を選択したときは、「着信音選択」の「電話」の設定で着信します。
		着信画面	通知不可能で着信した場合の着信画像を「通常着信画面と同じ」、「マイピクチャ」、「ｉモーション」から選択します。→P.120 「通常着信画面と同じ」を選択したときは、「画面表示設定」の「電話着信」の設定で着信します。
	拒否		着信を拒否します。
公衆電話			公衆電話などから発信してきた場合の電話をつなげるか設定します。
	許可		着信を許可します。
		着信音	公衆電話で着信した場合の着信音を「通常着信音と同じ」、「メロディ」、「ｉモーション」、「おしゃべり」、「ランダムメロディ」、「OFF」から選択します。→P.112 「通常着信音と同じ」を選択したときは、「着信音選択」の「電話」の設定で着信します。
		着信画面	公衆電話で着信した場合の着信画像を「通常着信画面と同じ」、「マイピクチャ」、「ｉモーション」から選択します。→P.120 「通常着信画面と同じ」を選択したときは、「画面表示設定」の「電話着信」の設定で着信します。
	拒否		着信を拒否します。
非通知設定			発信者側の設定により発信者番号を通知しないで発信してきた場合の電話をつなげるか設定します。
	許可		着信を許可します。
		着信音	非通知設定で着信した場合の着信音を「通常着信音と同じ」、「メロディ」、「ｉモーション」、「おしゃべり」、「ランダムメロディ」、「OFF」から選択します。→P.112 「通常着信音と同じ」を選択したときは、「着信音選択」の「電話」の設定で着信します。
		着信画面	非通知設定で着信した場合の着信画像を「通常着信画面と同じ」、「マイピクチャ」、「ｉモーション」から選択します。→P.120 「通常着信画面と同じ」を選択したときは、「画面表示設定」の「電話着信」の設定で着信します。
	拒否		着信を拒否します。

おしらせ

◆本機能で選択する着信音や着信画像は非通知の音声電話の設定です。非通知のテレビ電話がかかってきたときは、「着信音選択」の「テレビ電話」や「画面表示設定」の「テレビ電話着信」と同じになります。
◆「拒否」に設定した場合、相手には話中音が流れます。
◆「拒否」に設定した相手から電話がかかってきた場合、「留守番電話サービス」や「転送でんわサービス」を「開始」に設定していても着信を拒否します。ただし、「留守番電話サービス」や「転送でんわサービス」の呼出時間を0秒に設定している場合やサービスエリア外、電源が入っていない場合は、「留守番電話サービス」または「転送でんわサービス」が有効になります。
◆ｉモードメールやSMSは、本機能に関係なく受信されます。

〈呼出時間表示設定〉　MENU90

電話帳未登録の相手の着信音を無音にする

お買い上げ時	無音時間設定：OFF　無音時間：1秒　時間内不在着信表示：表示する

FOMA端末（本体）電話帳またはFOMAカードの電話帳に登録されていない電話番号から音声電話やテレビ電話の着信があった場合、呼出動作が開始されるまでの時間を設定します（無音時間設定）。呼出動作が短い迷惑電話などに対し、着信履歴からの誤った発信を防ぐことができます。

● 非通知の音声電話、テレビ電話の着信があった場合や音声通話中、テレビ電話中に着信があった場合にも無音時間設定は動作します。

1 MENU▶「各種設定」▶「着信」▶「呼出時間表示設定」▶以下の項目から選択

無音時間設定	ON	▶**無音時間（01～99秒）を入力** 呼出動作を開始するまでの時間を設定します。 時間は2桁で入力します。表示されている時間をそのまま設定するときは●を押します。
	OFF	呼出動作を開始するまでの時間を0秒に設定します。
時間内不在着信表示		呼出動作を開始しなかった着信を不在着信履歴に表示するか設定します。

おしらせ

◆ 呼出動作とは、着信音やバイブレータが動作し、着信ランプの点灯／点滅が行われる動作のことです。
◆ シークレットで登録されている電話帳の相手から着信があった場合は、本機能で設定した動作になります。
◆ 無音時間設定が「伝言メモ」の呼出時間より長いと、呼出動作を行わず「伝言メモ」に移ります。呼出動作を行ってから「伝言メモ」に移行させるには、「伝言メモ」の呼出時間を無音時間設定よりも長く設定してください。「留守番電話サービス」、「転送でんわサービス」、「オート着信」の呼出時間でも同じです。

〈登録外着信拒否〉

電話帳未登録の相手からの電話を受けない

お買い上げ時
許可

FOMA端末（本体）およびFOMAカードの電話帳に登録されていない電話番号からの着信を拒否するように設定できます。

● 相手が電話番号を通知してきた場合のみ有効です。「番号通知お願いサービス」および「非通知着信設定」もあわせて設定することをおすすめします。

1 MENU▶「各種設定」▶「ロック／セキュリティ」▶「登録外着信拒否」▶端末暗証番号を入力▶「拒否」

■ **電話帳未登録の相手からの電話を受ける場合**
▶「許可」

おしらせ

◆ 本機能を「拒否」に設定しても、「非通知着信設定」で公衆電話や電話番号を通知してこない着信を許可している場合は、「非通知着信設定」の設定に従って着信を受けられます。
◆ 本機能を「拒否」に設定しても、シークレットで登録されている電話帳の相手から着信があった場合は、この設定にかかわらず、着信は拒否されません。
◆ 本機能を「許可」に設定しても、「電話帳指定設定」の「指定着信許可」を設定している場合は、「指定着信許可」にて指定した電話番号以外からの着信を受けられません。
◆ 本機能を「拒否」に設定しているときに、電話帳に登録されていない電話番号から電話がかかってきた場合、「着信履歴」に「不在着信履歴」として記憶され、「不在着信あり」のデスクトップアイコンが待受画面に表示されます。また、「留守番電話サービス」や「転送でんわサービス」を「開始」に設定していても発信者側には話中音が流れます。ただし、「留守番電話サービス」や「転送でんわサービス」の呼出時間を0秒に設定したときやサービスエリア外、電源が入っていない場合は、話中音は流れず、「留守番電話サービス」または「転送でんわサービス」が有効になります。この場合、かかってきた電話番号は「着信履歴」に記憶されず、「不在着信あり」のデスクトップアイコンも待受画面に表示されませんのでご注意ください。
◆ ｉモードメールやSMSは、本機能に関係なく受信されます。

〈セルフモード〉

発信や着信ができないようにする

音声電話、テレビ電話の発着信、ｉモードの利用、メールの送受信ができないように設定できます。音声電話、テレビ電話の着信などを気にしないでFOMA端末を操作したいときに便利です。

● セルフモード設定中でも、緊急通報番号（110番、119番、118番）には音声電話をかけることができます。緊急通報番号に音声電話をかけると、セルフモードは解除されます。

1 MENU ▶「各種設定」▶「ロック／セキュリティ」▶「セルフモード」▶「YES」

セルフモードが設定されて「self」が表示されます。

■ セルフモードを解除する場合

▶操作１を再度行う

セルフモードが解除されて「self」の表示が消えます。

● セルフモードを設定すると

● 音声電話やテレビ電話の着信は着信履歴には記憶されず、「不在着信あり」のデスクトップアイコンも待受画面に表示されません。
● 音声電話をかけてきた相手には、電波が届かないか電源が入っていないことを通知するガイダンスが流れます。テレビ電話をかけてきた相手には、画面に電波が届かないか電源が入っていないことを通知するメッセージが表示されます。なお、「留守番電話サービス」や「転送でんわサービス」をご利用の場合は、FOMA端末の電源を切っているときと同じサービスをご利用になれます。
● セルフモード設定中に送られてきたメッセージR/Fやｉモードメールはｉモードセンターで、SMSはSMSセンターでお預かりします。
● 赤外線通信機能またはOBEXによるデータの送受信、パソコンなどと接続してのパケット通信、64Kデータ通信もできません。

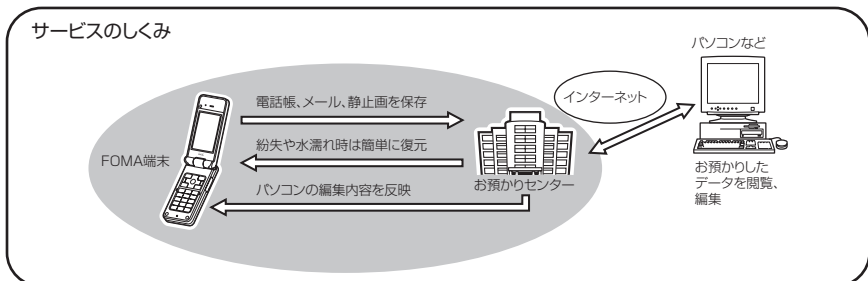
〈電話帳お預かりサービス〉

本体データをネットワークに保存する

お申し込み
必要

● 電話帳お預かりサービスとは

電話帳お預かりサービスとは、お客様のFOMA端末に保存されている電話帳・静止画・メール（以下「保存データ」といいます。）を、ドコモのお預かりセンターに預けることができるサービスです。万一の紛失や水濡れ等で保存データが消失しても、ｉモードで操作することにより、お預かりセンターに預けている電話帳などのデータを新しいFOMA端末に復元させることができます。さらに、お預かりセンターに預けている保存データを簡単にパソコンからMy DoCoMoのページで編集したり、編集した保存データをFOMA端末内に保存させることができます。

※ 電話帳お預かりサービスのご利用方法の詳細等については、『ご利用ガイドブック（ｉモード<FOMA>編）』をご覧ください。

● 電話帳お預かりサービスは、お申し込みが必要な有料サービスです（お申し込みには、ｉモード契約が必要です）。
● お預かりセンターへの保存操作については以下のページをご覧ください。

・「電話帳をお預かりセンターに保存する」→P.109
・「メールをお預かりセンターに保存する」→P.239
・「画像をお預かりセンターに保存する」→P.258
・「お預かりセンターとの通信履歴を確認する」→P.110

その他の「あんしん設定」について

本章でご紹介した以外にも、以下のようなあんしん設定に関する機能／サービスがありますのでご活用ください。

目的	機能／サービス名称	参照ページ
いたずら電話や悪質なセールス電話などの「迷惑電話」を着信したくない	迷惑電話ストップサービス	P.312
発信者番号を通知してこない電話を着信したくない	番号通知お願いサービス	P.312
電子認証サービスを利用することにより、安全で信頼性のあるデータ通信を行いたい ※FirstPass対応サイトに限ります	FirstPass	P.199
必要な場合にFOMA端末のソフトウェアを更新したい	ソフトウェア更新	P.364
障害を引き起こすデータからFOMA端末を守りたい	スキャン機能	P.369
ｉモードメールを受信する際に、必要なメールのみを受信したい	メール選択受信	P.223
災害が発生した際にｉモードを利用して安否情報を登録／確認したい	「ｉモード災害用伝言板」サービス	『ご利用ガイドブック（ｉモード＜FOMA＞編）』をご覧ください
メールアドレスを変更したい	アドレス変更	
メールアドレスを忘れてしまったときなどに確認したい	アドレス確認	
指定したドメインからのメールを受信／拒否したい	迷惑メール対策（受信／拒否設定）	
ｉモードどうしのメールだけを受信／拒否したい		
指定したアドレスからのメールを受信／拒否したい		
SMSを受信したくない	迷惑メール対策（SMS拒否設定）	
1日に1台のｉモード対応携帯電話から送信される200通目以降のｉモードメールを受信拒否したい	ｉモードメール大量送信者からのメール受信制限	
一方的に送られてくる広告メールを受信したくない	未承諾広告※メール拒否	
受信するメールのサイズを制限したい	メールサイズ制限	
メール機能の設定状況を確認したい	設定状況確認	
メール機能を一時的に停止したい	メール機能停止	

おしらせ

◆ 見知らぬ着信履歴には、おかけ直ししないようご注意ください。とくに、相手にお客様の電話番号を通知する設定にしてのおかけ直しは、無用なトラブルの原因となります。

＜迷惑電話防止機能の優先順位＞

◆ 迷惑電話を防止する機能を同時に設定した場合の優先順位は以下のとおりです。
①迷惑電話ストップサービス
②登録外着信拒否または呼出時間表示設定／非通知着信設定／指定着信拒否

カメラ

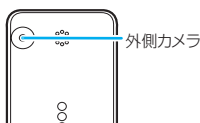
カメラをご利用になる前に …… 162
静止画を撮影する …… 静止画撮影 168
動画を撮影する …… 動画撮影 173
撮影時の設定を変える …… 176

カメラをご利用になる前に

内蔵カメラを使ってお好みの静止画や動画を撮影できます。

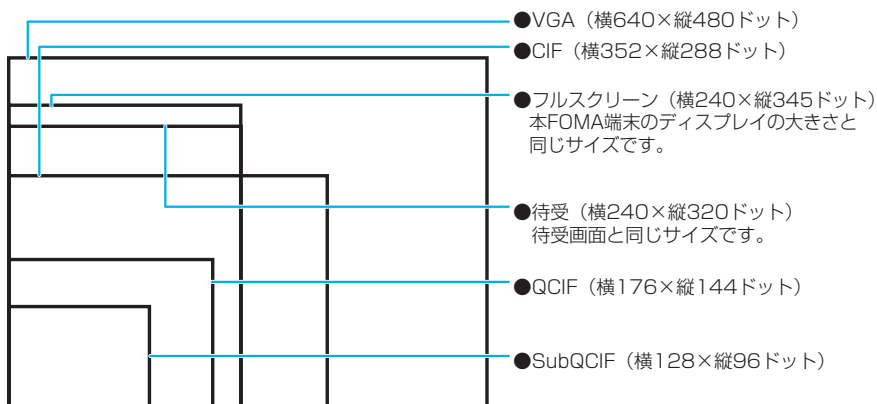
カメラの使いかた

外側カメラと内側カメラを切り替えるときは、撮影画面で［i］［機能］を押し、機能メニューから「内側カメラ」または「外側カメラ」を選択します。

■ **外側カメラ**
ほかの人や動物、風景などを撮影するときに使うと便利です。画面には、自分が見たとおりに表示されます（正像表示：画面に表示された向きで撮影されます）。

■ **内側カメラ**
自分を撮影するときに使うと便利です。画面には鏡と同じ向きに表示（鏡像表示）され、撮影結果は表示と逆向き（正像）に保存されます。

- カメラは非常に精密度の高い技術で作られておりますが、一部に暗く見える点や線、常に明るく見える点や線がある場合があります。また、とくに光量が少ない場所での撮影ではランダムな色の点のノイズが増えますので、ご了承ください。
- 撮影する前に、柔らかい布などでレンズをきれいにふいておいてください。レンズに指紋や油脂などが付くと、ピントが合わなくなったり不鮮明な画像になったりすることがあります。
- FOMA端末を閉じるときにレンズに力がかからないようにご注意ください。故障の原因となります。
- FOMA端末を暖かい場所に長時間置いていた後は、画質が劣化することがあります。
- レンズ部分に直射日光を長時間当てたり、太陽や明かりの強いランプなどを直接撮影したりしないでください。撮影した画像の色が変色したり、故障の原因となります。

画像サイズについて

- FOMA N601iで撮影できる画像サイズは次のとおりです。画像サイズは目的に合わせて使い分けてください。

※： 画像サイズを表す枠は目安です。実際のサイズとは異なります。

静止画撮影の仕様

● 保存可能枚数の表示は撮影時の設定状態で何枚保存可能かの目安となりますので、撮影内容によっては保存可能枚数が変化しないことや、保存可能枚数が0と表示されていても保存できることがあります。
● 静止画の画像サイズと、おおよその登録件数は以下のとおりです。

画像サイズ	カメラ		画像保存設定	登録可能件数
	外側カメラ	内側カメラ		
VGA （横640×縦480ドット）	○	○	スーパーファイン	約3件
			ファイン	約18件
			ノーマル	約32件
CIF （横352×縦288ドット）	○	○	スーパーファイン	約8件
			ファイン	約32件
			ノーマル	約45件
フルスクリーン （横240×縦345ドット）	○	○	スーパーファイン	約18件
			ファイン	約32件
			ノーマル	約45件
待受 （横240×縦320ドット）	○	○	スーパーファイン	約18件
			ファイン	約32件
			ノーマル	約45件
QCIF （横176×縦144ドット）	○	○	スーパーファイン	約32件
			ファイン	約90件
			ノーマル	約120件
SubQCIF （横128×縦96ドット）	○	○	スーパーファイン	約60件
			ファイン	約90件
			ノーマル	約120件

動画撮影の仕様

● お買い上げ時の設定では、動画の撮影時間は約45秒です。ただし、撮影対象などの条件によってデータ量が異なるため、1件あたりの撮影時間も変化します。
● 動画は撮影時間によってデータ量が異なるため、最大登録件数も変化します。
● 動画の画像サイズと、おおよその登録件数は以下のとおりです。

画像サイズ	カメラ		動画容量設定	撮影種別設定	登録可能件数
	外側カメラ	内側カメラ			
QCIF （横176×縦144ドット）	○	○	メール（小）	通常	約10件
				映像のみ	約10件
				音声のみ	約10件
			メール（大）	通常	約6件
				映像のみ	約6件
				音声のみ	約6件
			動画メモ	通常	約3件
				映像のみ	約3件
				音声のみ	約3件
SubQCIF （横128×縦96ドット）	○	○	メール（小）	通常	約10件
				映像のみ	約10件
				音声のみ	約10件
			メール（大）	通常	約6件
				映像のみ	約6件
				音声のみ	約6件
			動画メモ	通常	約3件
				映像のみ	約3件
				音声のみ	約3件

カメラ利用にあたってのご注意

■ 撮影するときのご注意

- 内蔵カメラで撮影した静止画や動画は、実際の被写体と明るさや色あいが異なる場合があります。
- レンズ部分に直射日光を長時間当てたり、太陽や明かりの強いランプなどを直接撮影したりしないでください。撮影した画像の色が変色したり、故障の原因となります。
- 撮影時は、レンズに指や髪、ストラップなどがかからないようにしてください。
- カメラ撮影中は電池の消費量が多くなるため、撮影が終了したらすみやかにカメラを終了させることをおすすめします。電池残量が少ない状態でカメラ撮影を行うと、画面が暗くなったり乱れたりすることがあります。
- 連続撮影中や動画撮影中に以下の動作があった場合は、撮影が中止されてそれらの画面に切り替わります。その後、切り替わった画面を終了させると、カメラの画面に戻りますので、着信やアラーム通知などの前に撮影したデータを保存できます。カメラの明るさを調節中に以下の動作があったときには、調節中の設定が確定され、カメラメニューに戻ります。なお、セルフタイマー実行中に以下の動作があったときには、セルフタイマーは中止されます。
  - 音声電話、テレビ電話、64Kデータ通信の着信があったとき
  - アラーム機能、スケジュール、To Doリストのアラーム通知が実行されたとき
- 以下の場合は中止されません。
  - カメラ撮影中（撮影画面表示時含む）にメールやメッセージR/Fを受信した場合は、「受信表示設定」（P.242）の設定にかかわらず、受信結果画面は表示されずにカメラの撮影が継続して行われます。
  - 「アラーム通知設定」を「操作優先」に設定しておくと、アラームを設定した時刻になっても、カメラの撮影や設定、セルフタイマーは中止されずに継続して行うことができます。
- シャッター音、タイマーの開始音は、「マナーモード」や「公共モード（ドライブモード）」に設定中でも一定の音量で鳴ります。また、「通知音出力切替」の設定を「イヤホン（20秒後スピーカ）」または「イヤホン（イヤホンのみ）」にし、イヤホンを付けている場合でもスピーカから鳴ります。
- 静止画を撮影するときは、撮影後シャッター音が鳴り、取り込みが完了するまで（撮影確認画面が表示されるまで）はFOMA端末を動かさないでください。また、撮影後に処理中であることを示すメッセージが表示されている間も、FOMA端末を動かさないでください。
- 撮影画面を表示したりカメラを切り替えたりカメラの設定を変更した直後は、明るさや色あいなどが最適に表示されるまでに時間がかかることがあります。
- 「自動保存設定」（P.168、174）を「ON」に設定すると、撮影後、撮影確認画面を表示せずに「画像保存先選択」や「動画保存先選択」で設定されている保存先に自動的に保存できます。
- 約3分以上ボタン操作をしなかったときは、自動的にカメラ機能が終了します。

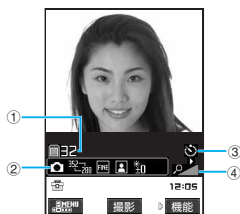
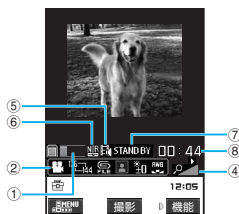
■ 著作権について

- FOMA 端末を利用して撮影または録音等したものを複製、編集等する場合は、著作権侵害に当たる利用方法はお控えいただくことはもちろん、他人の肖像を勝手に使用、改変等すると肖像権を侵害することとなりますので、そのような利用方法もお控えください。なお、実演や興行、展示物などの中には、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影または録音等が禁止されている場合がありますので、ご注意ください。

カメラ付き携帯電話を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシー等にご配慮ください。

撮影画面の見かた

撮影画面にはカメラの設定状態がアイコンで表示されます。

フォトモードの撮影画面

ムービーモードの撮影画面

機　能	アイコン	説　明	参照ページ
① 保存可能枚数／保存容量表示	32	静止画撮影画面で保存可能枚数を示します。 • 白文字：11枚以上 • 黄文字：10枚以下 • 赤文字：空きメモリなし	－
		動画撮影開始前に全体容量と保存可能容量を、バー表示と色で示します。 • 青：残り500Kバイト以上 • 黄：残り500Kバイト未満 • 赤：空きメモリなし※	－
② 撮影メニュー	352 288 FINE ±0	撮影の設定状態を示します。また[MENU]または、1～6を押し、機能を呼び出して設定することができます。	P.166
③ セルフタイマー		セルフタイマーが設定されていることを示します。	P.177
④ ズーム状態表示	～	ズームの設定状態を示します。ズームガイド[◀・▶]が表示されているときは、またはでズームを調節できます。	P.176
⑤ 撮影種別設定		動画を撮影するときに映像と音声が保存できるように設定されています。	P.174
		動画を撮影するときに映像のみ保存できるように設定されています。	
		動画を撮影するときに音声のみ保存できるように設定されています。	
⑥ 動画保存設定	NOR	動画を撮影するときの画質が「標準」に設定されています。	P.173
		動画を撮影するときの画質が「画質優先」に設定されています。	
		動画を撮影するときの画質が「時間優先」に設定されています。	
		動画を撮影するときの画質が「動き優先」に設定されています。	
⑦ 撮影状態表示	●REC	動画撮影中を示します。	P.173
	STAND BY	動画撮影待機中を示します。	
⑧ 撮影時間	00：44	動画撮影の残り時間（分：秒）を示します。	P.173

※：　撮影可能です。撮影後に空き容量に保存、または上書き保存します。

おしらせ

◆ 保存可能枚数の表示は撮影時の設定状態で何枚保存可能かの目安となりますので、撮影内容によっては保存可能枚数が変化しないことや、保存可能枚数が0と表示されていても保存できることがあります。

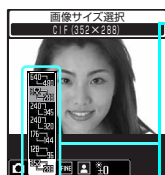
● 撮影メニューの見かた

● 撮影メニューは［✉］［MENU］を押すと表示されます。また、［1］～［6］を押しても表示されます。
● ［i］［機能］を押して「ヘルプ」を選択すると、撮影メニューを呼び出すボタンや撮影操作ができるボタンを確認できます。また、［0］を押しても確認できます。
● 撮影メニューから設定できる機能は、機能メニューから設定することもできます。

1 「撮影画面」▶［✉］［MENU］▶［◎］で以下の項目を選択

カメラモードによって選択できる撮影メニューの項目が異なります。

カメラモード切替

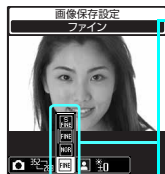
- ムービーモード ･････ 動画を撮影します。→P.173
- チャンスキャプチャ ･･･ 終了時点からさかのぼって動画を撮影します。→P.175
- ピクチャボイス（フォトモード）･････ 撮影した静止画に音声を録音します。→P.175
- フォトモード ･･･････ 静止画を撮影します。→P.168
- オート連続撮影 ･････ 一度に静止画を連続撮影します。→P.170
- マニュアル連続撮影 ････ 1枚ずつ静止画を連続撮影します。→P.170
- ボイスモード ･･･････ 音声のみを録音します。→P.176

画像サイズ選択（「フォトモード」の例）

- VGA ･･････････････ VGA（640×480）で撮影します。
- CIF ･･････････････ CIF（352×288）で撮影します。
- フルスクリーン ････フルスクリーン（240×345）で撮影します。
- 待受 ･･････････････ 待受（240×320）で撮影します。
- QCIF ･････････････ QCIF（176×144）で撮影します。
- SubQCIF ･････････ SubQCIF（128×96）で撮影します。

（お買い上げ時：CIF）

画像サイズ選択（「ムービーモード」の例）

- QCIF ･････････････ QCIF（176×144）で撮影します。
- SubQCIF ･････････ SubQCIF（128×96）で撮影します。

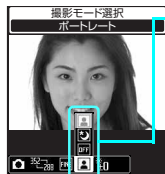
（お買い上げ時：QCIF）

画像保存設定（「フォトモード」の例）

- スーパーファイン ･･･ 撮影した静止画のファイル容量を大容量で保存します。
- ファイン ･･････････ 撮影した静止画のファイル容量を中容量で保存します。
- ノーマル ･･････････ 撮影した静止画のファイル容量を小容量で保存します。

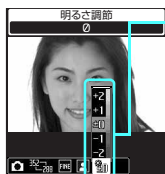
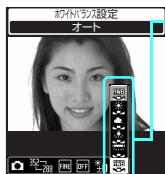
（お買い上げ時：ファイン）

動画容量設定（「ムービーモード」の例）

- メール（小）････････ 290Kバイトまでのファイル容量で撮影します。
- メール（大）････････ 490Kバイトまでのファイル容量で撮影します。
- 動画メモ ･･･････････ 800Kバイトまでのファイル容量で撮影します。

（お買い上げ時：メール（小））

撮影モード選択（「フォトモード」の例）

- ポートレート ･･･････ 人物などに適したモードで撮影します。
- ナイトモード ･･･････ 暗いところで人物などを撮影するのに適したモードで撮影します。
- 効果OFF ･･････････ 撮影効果を無効にして撮影します。

（お買い上げ時：ポートレート）

明るさ調節 ―― -2／-1／±0／+1／+2 ････ 撮影する画像の明るさ（－２／－１／±０／+1／+2）を設定します。
（カメラ起動時：±０）

ホワイトバランス設定
- オート･･･自動的に色あいを補正して撮影します。
- 晴天･････晴れている野外に適した設定で撮影します。
- 曇天･････曇っている野外や日陰に適した設定で撮影します。
- 電球･････白熱電球の明かりに適した設定で撮影します。
- 蛍光灯･･･蛍光灯の明かりに適した設定で撮影します。

（お買い上げ時：オート）

おしらせ

◆ MENU▶「LifeKit」▶「カメラ」の機能メニューから、「ムービーモード」「フォトモード」「ボイスモード」のデスクトップアイコンを作成することができます。なお、お買い上げ時は「フォトモード」のデスクトップアイコンが貼り付けられています。
デスクトップアイコンについて→P.130

〈静止画撮影〉
静止画を撮影する

内蔵カメラを使ってお好みの静止画を撮影します。

● あらかじめ保存先のフォルダを設定することができます。また、撮影後にそのフォルダに自動的に保存するように設定することもできます。

撮影する

1 待受画面表示中▶[•]▶「[📷]」▶[•]

「静止画撮影画面」が表示されます。

待受画面表示中に[📷]を1秒以上押しても「静止画撮影画面」を起動できます。

静止画撮影画面

機能メニュー ➡P.168

2 カメラを被写体に向ける▶[•]または[📷]

静止画が撮影され、着信ランプが赤色で約3秒間点灯します。「静止画確認画面」が表示されます。

■ 撮影し直す場合

▶[CLR]▶「YES」

静止画確認画面

機能メニュー ➡P.169

3 [•]

「画像保存先選択」(P.169)で設定したフォルダに保存されます。

おしらせ

◆静止画撮影画面の表示は、以下の操作でも行えます。

・[MENU]▶「LifeKit」▶「カメラ」▶「フォトモード」

◆画像サイズによっては画質が粗くなる場合があります。また、「表示サイズ設定」を「画面サイズで表示」に設定してQCIF(176×144)、SubQCIF(128×96)で撮影した場合、静止画確認画面では拡大して表示されるため、画質が粗く見える場合があります。

◆電池残量が少ないとき、撮影した静止画を保存できない場合があります。

◆ファイル保存中に電源を切ったり、電池パックが抜かれたときなど、不完全なファイルが保存される場合があります。

静止画撮影画面／連続撮影画面の機能メニュー

項目	説明
内側カメラ、外側カメラ	外側カメラと内側カメラを切り替えます。
カメラモード切替	カメラモードを切り替えます。
画像サイズ選択	撮影メニュー(P.166)と同じ設定ができます。
画像保存設定	
データ閲覧	マイピクチャのフォルダ一覧を表示します。
撮影間隔／枚数※1	連続撮影時の撮影間隔と枚数を設定します。➡P.171
画質調整	
・撮影モード選択	「撮影する場面に合ったモードにする」➡P.174
・明るさ調節	▶[◎]で明るさを調節▶[•] 撮影する明るさを「−2〜±0〜+2」の5段階で調整します。 2秒間ボタン操作をしないと自動的に設定されます。 カメラ機能を起動したときは「±0」に設定されています。
・ホワイトバランス設定	「ホワイトバランスを設定する」➡P.174 撮影モード選択が「効果OFF」以外のときは設定できません。
・色調切替	「撮影する画像の効果を設定する」➡P.174
シャッター音選択	シャッター音を設定します。お買い上げ時は「シャッター音1」に設定されています。
セルフタイマー設定	セルフタイマーを設定します。➡P.177
フレーム選択※2	重ねて撮影するフレームを設定します。➡P.172
自動保存設定	自動保存設定のON／OFFを切り替えます。
・ON	撮影時に静止画確認画面は表示されず、「画像保存先選択」で設定されている保存先に自動保存されます。
・OFF(お買い上げ時)	撮影時に静止画確認画面を表示します。
画像保存先選択	撮影した画像の保存先を設定します。 お買い上げ時は、マイピクチャのカメラフォルダに設定されています。
ファイル制限	ファイル制限を設定します。
・なし(お買い上げ時)	送付先のFOMA端末から送信／転送することができます。
・あり	送付先のFOMA端末では送信／転送することができなくなります。
表示サイズ設定	待受(240×320)より小さな画像の表示方法を設定します。 画像サイズがQCIF(176×144)、SubQCIF(128×96)以外のときは設定できません。
・等倍表示(お買い上げ時)	実際の画像サイズで画面に表示します。
・画面サイズで表示	画面のサイズに拡大して表示します。
保存容量確認	保存されている画像のデータ容量と空きデータ容量を表示します。
ヘルプ	撮影についての説明を表示します。

※1:静止画撮影では設定できません。
※2:連続撮影では設定できません。

おしらせ

<シャッター音選択>
◆マナーモード設定中は、確認のためのシャッター音は鳴りません。ただし、「マナーモード選択」で「オリジナルマナー」を選択し、オリジナルマナーの設定で「メモ確認音」を「ON」に設定している場合、確認のためのシャッター音は鳴ります。ダウンロードしたメロディをシャッター音に設定できません。またシャッター音の音量は変更できません。

<ファイル制限>
◆保存後もファイル制限の設定を変更することができます。

● 静止画の画質を設定する

1 「静止画撮影画面」(P.168)/「連続撮影画面」(P.170)▶ i [機能]▶「画像保存設定」▶「スーパーファイン/ファイン/ノーマル」から選択

撮影メニューから設定することもできます。
→P.166
画像保存設定と画像サイズの関係は以下のとおりです。スーパーファイン>ファイン>ノーマルの順に画質が高くなりますが、データ容量も大きくなります。
保存すると下記のサイズから最大5Kバイト増加します。

画像保存設定 / 画像サイズ	スーパーファイン	ファイン(お買い上げ時)	ノーマル
VGA(640×480)	約500Kバイト以下	約100Kバイト以下	約55Kバイト以下
CIF(352×288)	約500Kバイト以下	約55Kバイト以下	約40Kバイト以下
フルスクリーン(240×345) 待受(240×320)	約100Kバイト以下	約55Kバイト以下	約40Kバイト以下
QCIF(176×144) SubQCIF(128×96)	約100Kバイト以下	約20Kバイト以下	9,000バイト以下

静止画確認画面の機能メニュー

保存	「画像保存先選択」(P.168)で設定したフォルダに保存されます。
鏡像保存	撮影した静止画を、左右を反転させて「画像保存先選択」で設定したフォルダに保存されます。
i モードメール作成	「撮影した静止画を添付/挿入した i モードメールを作成する」→P.172
画像編集	▶**画像を編集** 撮影した静止画にフレームを付けたり、効果を付けます。 「静止画を編集する」→P.261
イメージ貼付	**■待受画面に設定する場合** **▶画面を選択▶表示方法を選択** **■電話発信、電話着信などの画面に設定する場合** **▶画面を選択** **■テレビ電話関係(テレビ電話発信、テレビ電話着信を除く)の画面に設定する場合** **▶画面を選択▶画像を確認▶●▶「YES」** 撮影した静止画を待受画面などに設定します。 VGA(640×480)、CIF(352×288)で画像保存設定がスーパーファインで撮影した場合は貼り付けできません。
フレーム取替え	「フレームを変更する」→P.172
鏡像表示、正像表示	確認画面の画像を鏡像表示に切り替えます。撮影画像が鏡像で表示されているときは「正像表示」と表示されます。
表示サイズ設定	待受(240×320)より小さな画像の表示方法を設定します。 画像サイズがQCIF(176×144)、SubQCIF(128×96)以外のときは設定できません。
・**等倍表示**(お買い上げ時)	実際の画像サイズで画面に表示します。
・**画面サイズで表示**	画面のサイズに拡大して表示します。
画像保存先選択	撮影した画像の保存先を設定します。 お買い上げ時は、マイピクチャのカメラフォルダに設定されています。
ファイル制限	ファイル制限を設定します。
・**なし**(お買い上げ時)	送付先のFOMA端末から送信/転送することができます。
・**あり**	送付先のFOMA端末では送信/転送することができなくなります。
取り消し	撮影した静止画を削除して静止画撮影画面に戻ります。

おしらせ

◆静止画確認画面で ✉ [MAIL] を押しても撮影した静止画を添付/挿入した i モードメールを作成することができます。

<画像編集>
◆「画像編集」を選択すると正像表示になります。
◆「i モードメール作成」、「保存」は画像編集後に利用できます。

<鏡像表示>
◆内側カメラで撮影した場合、左右が反転した鏡像表示になっています。「正像表示」を選択すると実際に撮影された画像の表示にすることができます。

<ファイル制限>
◆保存後もファイル制限の設定を変更することができます。

連続撮影する〈連続撮影〉

お買い上げ時	画像サイズ：CIF（352×288） 撮影間隔：0.5秒（オート連続撮影時） 撮影枚数：4枚

最大20枚までの静止画を連続撮影することができます。連続撮影には、オート連続撮影とマニュアル連続撮影があります。

- オート連続撮影は、撮影したい枚数と撮影する間隔を設定してシャッターを切ると、設定した間隔で残りの枚数を自動的に撮影する機能です。
- マニュアル連続撮影は、1枚ずつシャッターを切りながら設定した枚数を撮影する機能です。
- CIF（352×288）、フルスクリーン（240×345）、待受（240×320）、QCIF（176×144）、SubQCIF（128×96）の画像サイズで撮影できます。
- 連続撮影した静止画を、自作アニメに登録してアニメーションとして楽しむこともできます。

1 「静止画撮影画面」(P.168)▶[✉][MENU]または[1]▶「AUTO」または「」

「連続撮影画面」が表示されます。

撮影枚数／撮影可能枚数

連続撮影画面（例：マニュアル）

機能メニュー ➡P.168

2 カメラを被写体に向ける▶[●]または[📷]

静止画が撮影された後、4枚の静止画が同時に表示された「連続撮影確認画面」が表示されます。

■ 連続撮影を中止する場合

オート連続撮影：▶[☎]▶「NO」
マニュアル連続撮影：▶[CLR]（または[☎]▶「NO」）
撮影を終了して連続撮影確認画面が表示されます。

連続撮影確認画面

機能メニュー ➡P.171

3 [i]［機能］▶保存する方法（選択保存／全保存／全保存＆自作アニメ）を選択

「連続撮影確認画面の機能メニュー」→P.171
「画像保存先選択」（P.168）で設定されているフォルダに保存されます。
「選択保存」を選択した場合は画像の保存が終了すると、保存した画像が削除された「連続撮影確認画面」が表示されます。

■ 保存する静止画を選択状態にする場合

▶[◎]で静止画を選択

選択された静止画には☑（チェックマーク）が付きます。
操作を繰り返して静止画を選択します。
選択を解除するときは、解除したい静止画を選択します。

■ 詳細表示して確認する場合

▶[◎]で静止画を選ぶ
▶[✉]［詳細］
[◎]で確認する静止画を切り替えることができます。
一覧表示に戻るときは[CLR]を押します。
詳細表示した静止画を保存するには、[●]を押します。
「画像保存先選択」（P.168）で設定されているフォルダに保存されます。

詳細表示確認画面

機能メニュー ➡P.171

おしらせ

◆連続撮影中に電話の着信など撮影を中断する動作があった場合、撮影を終了し、通話終了後はそれまでの撮影された画像の連続撮影確認画面が表示されます。
◆電池残量が少ないとき、撮影した静止画を保存できない場合があります。
◆ファイル保存中に電源を切ったり、電池パックを外したときなど、不完全なファイルが保存される場合があります。
◆マニュアル連続撮影時には撮影ごとに着信ランプが赤色に点灯します。オート連続撮影中は赤色で点灯します。
◆強い光源や動きが大きいものを被写体としてオート撮影する場合、撮影間隔が設定した時間よりも長くなることがあります。
◆撮影確認画面が表示されるまで、または静止画の撮影後に処理中であることを示すメッセージが表示されている間はFOMA端末を動かさないでください。

● 撮影間隔と撮影枚数を設定する

- フルスクリーン（240×345）、待受（240×320）、QCIF（176×144）、SubQCIF（128×96）のお買い上げ時の設定は、「撮影間隔：0.5秒、撮影枚数：5枚」です。

1 「連続撮影画面」（P.170）▶ i ［機能］▶「撮影間隔／枚数」▶以下の項目から選択

撮影間隔	撮影する間隔を「0.5秒」、「1.0秒」、「2.0秒」から選択します。 マニュアル連続撮影のときは設定できません。
撮影枚数	▶撮影する枚数（2桁）を入力 「05～20」（5枚～20枚）※の2桁の数字を入力します。 2桁の数字を入力したら、自動的に撮影枚数が設定されます。表示されている枚数をそのまま設定するときは◉を押します。

※：フルスクリーン（240×345）、待受（240×320）サイズの場合は「05～10」（5枚～10枚）

2 設定が終わったら CLR ▶ CLR

おしらせ

<撮影枚数>

◆画像サイズをCIF（352×288）に設定すると、撮影枚数は4枚固定となります。

◆画像サイズをCIF（352×288）からほかのサイズに変更すると、撮影枚数は5枚に変わります。

◆撮影枚数を11枚以上に設定している場合、画像サイズをフルスクリーン（240×345）または待受（240×320）に変更すると、撮影枚数は10枚に変わります。

連続撮影確認画面の機能メニュー

選択保存	選択状態の静止画を保存します。 ▶「保存」または「鏡像保存」 「画像保存先選択」で設定されているフォルダに保存されます。
全保存	撮影したすべての静止画を保存します。 ▶「保存」または「鏡像保存」 「画像保存先選択」で設定されているフォルダに保存されます。
全保存＆自作アニメ	撮影したすべての静止画を保存し、自作アニメにも登録します。 ▶「保存」または「鏡像保存」▶自作アニメの番号を選択 「画像保存先選択」で設定されているフォルダに保存されます。
1件選択	選択した静止画に☑を表示して選択状態にします。
全選択	すべての静止画に☑を表示して選択状態にします。
1件解除	選択した静止画の選択状態を解除します。☑は消えます。
全解除	すべての静止画の選択状態を解除します。☑は消えます。
鏡像表示、正像表示	確認画面の画像を鏡像表示に切り替えます。撮影画像が鏡像で表示されているときは「正像表示」と表示されます。
画像保存先選択	撮影した画像の保存先を設定します。 お買い上げ時は、マイピクチャのカメラフォルダに設定されています。
選択ファイル制限	選択状態の静止画のファイル制限を設定します。
・なし（お買い上げ時）	送付先のFOMA端末から送信／転送することができます。
・あり	送付先のFOMA端末では送信／転送することができなくなります。
全ファイル制限	撮影したすべての静止画のファイル制限を設定します。
・なし（お買い上げ時）	送付先のFOMA端末から送信／転送することができます。
・あり	送付先のFOMA端末では送信／転送することができなくなります。
取り消し	撮影した静止画をすべて削除して連続撮影画面に戻ります。

おしらせ

<全保存＆自作アニメ>

◆1枚だけ撮影した場合や、撮影した静止画をすでに1枚以上保存している場合、「全保存＆自作アニメ」は選択できません。

<鏡像表示>

◆内側カメラで撮影した場合、左右が反転した鏡像表示になっています。「正像表示」を選択すると実際に撮影された画像の表示にすることができます。

<選択ファイル制限／全ファイル制限>

◆保存後もファイル制限の設定を変更することができます。

詳細表示確認画面の機能メニュー

保存	表示している静止画を保存します。
鏡像保存	撮影した静止画を、左右を反転させて保存します。
iモードメール作成	「撮影した静止画を添付／挿入したiモードメールを作成する」→P.172
鏡像表示、正像表示	確認画面の画像を鏡像表示に切り替えます。撮影画像が鏡像で表示されているときは「正像表示」と表示されます。
表示サイズ設定	待受（240×320）より小さな画像の表示方法を設定します。 画像サイズがQCIF（176×144）、SubQCIF（128×96）以外のときは設定できません。
・等倍表示（お買い上げ時）	実際の画像サイズで画面に表示します。
・画面サイズで表示	画面のサイズに拡大して表示します。

次ページにつづく

ファイル制限	ファイル制限を設定します。
・なし（お買い上げ時）	送付先のFOMA端末から送信／転送することができます。
・あり	送付先のFOMA端末では送信／転送することができなくなります。

おしらせ

◆詳細表示確認画面で[✉][MAIL]を押しても撮影した静止画を添付／挿入したｉモードメールを作成することができます。

<鏡像表示>

◆内側カメラで撮影した場合、左右が反転した鏡像表示になっています。「正像表示」を選択すると実際に撮影された画像の表示にすることができます。

フレームを重ねて撮影する〈フレーム撮影〉

画像サイズがCIF（352×288）、フルスクリーン（240×345）、待受（240×320）、QCIF（176×144）、SubQCIF（128×96）のときに、フレームを重ねて撮影することができます。

- お買い上げ時に登録されているフレーム→P.343
- フレームは、サイトからダウンロードすることもできます。

1 「静止画撮影画面」（P.168）▶[i]［機能］▶「フレーム選択」▶フレームを選択

■フレーム撮影を解除する場合
▶「OFF」

2 カメラを被写体に向ける▶[●]または[▼][📷]

フレーム撮影確認画面が表示されます。

3 「静止画を撮影する」（P.168）と同様の操作で撮影した静止画を確認して保存

撮影した静止画を保存する前にフレームを変更することができます。→P.172

おしらせ

◆フレーム選択画面で[✉]［デモ］を押すと、選択しているフレームを確認することができます。

◆内側カメラでフレーム撮影した静止画は鏡像表示になっています。保存するときは自動的に正像で保存されます。このとき、正像に変換するときにフレームの左右も反転されます。

◆画像サイズとフレームサイズが同じ場合は、縦横関係なくフレーム撮影できます。

- 横長の画像サイズに縦長のフレームを選択した場合は、フレームを左に90度回転します。
- 縦長の画像サイズに横長のフレームを選択した場合は、フレームを右に90度回転します。

◆カメラ機能を終了するとフレームは解除されます。

● フレームを変更する

フレーム撮影した静止画を保存する前にフレームを変更できます。

- フレームを削除することはできません。

1 「フレーム撮影確認画面」▶[i]［機能］▶「フレーム取替え」▶フレームを選択

[◎]でフレームを取り替えできます。

フレーム撮影確認画面

2 フレームが変更された画像を確認▶[●]

フレーム撮影確認画面に戻ります。

■フレームを180°回転させる場合
▶[✉]［回転］

■選択したフレームを取り消す場合
▶[i]［機能］▶「取消」

● 撮影した静止画を添付／挿入したｉモードメールを作成する

撮影した静止画をそのまま添付／挿入できない場合は、添付／挿入できるように画像サイズやファイル容量を変更します。

<例：静止画確認画面から「ｉモードメール作成」を選択するとき>

1 「静止画確認画面」（P.168）▶[i]［機能］▶「ｉモードメール作成」▶以下の項目から選択

画像添付※1（ｉモードメール作成）	
・そのまま添付	ファイル容量のみを変更して添付します。
・QVGA縮小添付	画像の横と縦の比率を保持したまま、画像サイズとファイル容量を変更して添付します。
画像挿入※2（デコメール作成）	
・そのまま挿入※3	ファイル容量のみを変更して挿入します。
・SubQCIF縮小挿入	画像の横と縦の比率を保持したまま、画像サイズとファイル容量を変更して挿入します。

※1：待受（240×320）以下の画像サイズで撮影した場合は、「そのまま添付／QVGA縮小添付」の選択画面は表示されません。
※2：SubQCIF（128×96）の画像サイズで撮影した場合は、「そのまま挿入／SubQCIF縮小挿入」の選択画面は表示されません。
※3：QCIF（176×144）以外のときは選択できません。

2 ｉモードメール／デコメールを作成

ｉモードメールの作成／送信のしかた→P.211
デコメールの作成のしかた→P.214

おしらせ

◆静止画確認画面で✉［MAIL］を押しても撮影した静止画をｉモードメールに添付したり、デコメールの本文に挿入することができます。
◆10,000 バイトを超える静止画は大容量画像になります。大容量画像をｉモード端末に送信した場合、ｉショットセンターにてｉモード端末が受信するのに適したサイズに変換されます。
◆10,001 バイト～500Kバイトの静止画（大容量画像）を添付する場合、添付の静止画が「画像保存先選択」（P.168）で設定したフォルダに保存されます。
◆保存メールが20件ある場合はｉモードメール作成できません。

〈動画撮影〉

動画を撮影する

内蔵カメラを使って音声付きの動画を撮影します。
● 撮影時間は被写体などの撮影条件によって異なります。
● 通話中は動画撮影できません。

1「静止画撮影画面」(P.168)▶✉[MENU]または1▶「 」

デスクトップアイコンを利用して「動画撮影画面」を起動することもできます。
→P.130

動画撮影画面

機能メニュー ➡P.173

2 カメラを被写体に向ける▶●または[📷]

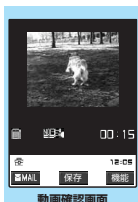
撮影が開始されます。撮影中は着信ランプが赤色に点滅します。
撮影中にズームの調節をすることができます。
残り撮影時間の目安を画面で確認できます。

■ **動画容量設定で設定した容量を超えた場合**
▶●
動画確認画面が表示されます。

3 ●または[📷]

撮影が終了して「動画確認画面」が表示されます。

■ **撮影した動画を再生して確認する場合**
▶i［機能］▶「再生」

■ **撮影し直す場合**
▶CLR▶「YES」

動画確認画面

機能メニュー ➡P.175

4 ●

「動画保存先選択」（P.174）で設定されているフォルダに保存されます。

おしらせ

◆動画撮影画面の表示は、以下の操作でも行えます。
• MENU▶「LifeKit」▶「カメラ」▶「ムービーモード」
◆動画撮影中に電話の着信など撮影を中断する動作があった場合、撮影を終了し、通話終了後はそれまで撮影された動画の「動画確認画面」が表示されます。
◆電池残量が少ないとき、撮影した動画を保存できない場合があります。
◆ファイル保存中に電源を切ったり、電池パックを外したときなど、不完全なファイルが保存される場合があります。
◆動画撮影中にズーム調節などのボタン操作を行った場合、その音が録音される場合があります。

動画撮影画面の機能メニュー

項目	説明
内側カメラ、外側カメラ	外側カメラと内側カメラを切り替えます。
カメラモード切替	カメラモードを切り替えます。
画像サイズ選択	撮影メニュー（P.166）と同じ設定ができます。
動画容量設定	
動画保存設定	動画を撮影するときの画質、撮影時間を設定します。
・**標準**（お買い上げ時）	標準の画質、撮影時間で撮影します。
・**画質優先**	よりよい画質で撮影したいときに選択します。撮影時間は標準より短くなります。
・**時間優先**	撮影する時間を長くしたいときに選択します。画質は標準より劣ります。
・**動き優先**	動きのある被写体を撮影したいときに選択します。撮影時間は標準より短くなります。
データ閲覧	ｉモーションのフォルダ一覧を表示します。
画質調整	
・**撮影モード選択**※	「撮影する場面に合ったモードにする」→P.174
・**明るさ調節**	▶**●で明るさを調節**▶● 撮影する明るさを「－2～±0～+2」の5段階で調節します。 2秒間ボタン操作しないと自動的に設定されます。 カメラ機能を起動したときは「±0」に設定されています。
・**ホワイトバランス設定**	「ホワイトバランスを設定する」→P.174
・**色調切替**	「撮影する画像の効果を設定する」→P.174
動画シャッター音選択	シャッター音を設定します。お買い上げ時は「シャッター音1」に設定されています。
セルフタイマー設定	セルフタイマーを設定します。→P.177

撮影種別設定	
・通常（カメラ起動時）	動画と音声を録画します。
・映像のみ	映像のみの動画として録画します。
・音声のみ	音声のみの動画として録音します。
自動保存設定	自動保存設定のON／OFFを切り替えます。
・ON	撮影時に動画確認画面は表示されず、「動画保存先選択」で設定されている保存先に自動保存されます。
・OFF（お買い上げ時）	撮影時に動画確認画面を表示します。
動画保存先選択	撮影した動画の保存先を設定します。 お買い上げ時は、ｉモーションの「カメラ」フォルダに設定されています。
ファイル制限	ファイル制限を設定します。
・なし（お買い上げ時）	送付先のFOMA端末から送信／転送することができます。
・あり	送付先のFOMA端末では送信／転送することができなくなります。
表示サイズ設定	画像の表示方法を設定します。
・等倍表示（お買い上げ時）	実際のサイズで表示します。
・画面サイズで表示	画面のサイズに拡大して表示します。
保存容量確認	保存されている動画のデータ容量と空きデータ容量を表示します。
ヘルプ	撮影についての説明を表示します。

※：動画撮影では設定できません。

おしらせ

<動画シャッター音選択>

◆マナーモード設定中は、確認のためのシャッター音は鳴りません。ただし、「マナーモード選択」で「オリジナルマナー」を選択し、オリジナルマナーの設定で「メモ確認音」を「ON」に設定している場合は、確認のためのシャッター音が鳴ります。ダウンロードしたメロディを動画シャッター音に設定できません。また動画シャッター音の音量は変更できません。

<撮影種別設定>

◆ボイスモードの場合は設定できません。

<ファイル制限>

◆保存後もファイル制限の設定を変更することができます。

● ホワイトバランスを設定する

1 「静止画撮影画面」（P.168）／「連続撮影画面」（P.170）／「動画撮影画面」（P.173）▶ i ［機能］▶「画質調整」▶「ホワイトバランス設定」▶以下の項目から選択

撮影メニューから設定することもできます。→P.166

オート（お買い上げ時）	通常の状況下で自動的に画面全体の色バランスを補正します。画面内の色が偏っている場合、鮮やかさが減ってしまう場合があります。
晴天	晴れた屋外での撮影時に選択します。
曇天	曇った屋外や日陰での撮影時に選択します。
電球	白熱電球の明かりのときに選択します。
蛍光灯	蛍光灯の明かりのときに選択します。

おしらせ

◆フォトモード、オート連続撮影、マニュアル連続撮影、ピクチャボイスで撮影モード選択が「効果OFF」以外のときは本機能は自動的に「オート」になります。

◆「晴天」、「曇天」、「電球」、「蛍光灯」を選択すると、設定の光源下ではオートよりも鮮やかな発色になる場合があります。

◆設定内容はカメラ機能終了後も保持され、テレビ電話での映像撮影にも反映されます。→P.79

● 撮影する画像の効果を設定する

1 「静止画撮影画面」（P.168）／「連続撮影画面」（P.170）／「動画撮影画面」（P.173）▶ i ［機能］▶「画質調整」▶「色調切替」▶以下の項目から選択

通常（カメラ起動時）	通常のカラー撮影をするときに選択します。
セピア	セピア調の画像で撮影するときに選択します。
白黒	白黒（モノクロ）の画像で撮影するときに選択します。

● 撮影する場面に合ったモードにする

1 「静止画撮影画面」（P.168）／「連続撮影画面」（P.170）▶ i ［機能］▶「画質調整」▶「撮影モード選択」▶以下の項目から選択

撮影メニューから設定することもできます。→P.166

ポートレート（お買い上げ時）	人物などを撮影するのに適したモードです。
ナイトモード※	暗いところで人物などを撮影するのに適したモードです。
効果OFF	撮影効果を無効にします。

※：連続撮影では設定できません。

おしらせ

◆連続撮影の内側カメラと動画撮影ではポートレートに固定されます。
◆静止画撮影または連続撮影でナイトモード(静止画撮影のみ)、効果OFFのときにムービーモードやチャンスキャプチャに切り替えた場合は、ポートレートに戻ります。
◆静止画撮影でナイトモードのときに連続撮影に切り替えた場合は、ポートレートに戻ります。

動画確認画面の機能メニュー

再生	撮影した動画を再生します。
保存	撮影した動画が「動画保存先選択」で設定されているフォルダに保存されます。
iモードメール作成	▶iモードメールを作成 撮影した動画を添付したiモードメールを作成します。 「iモードメールを作成して送信する」→P.211
待受画面設定	撮影した動画を待受画面に設定します。
表示サイズ設定	画像の表示方法を設定します。
・等倍表示(お買い上げ時)	実際のサイズで表示します。
・画面サイズで表示	画面のサイズに拡大して表示します。
タイトル編集	動画のタイトルを編集します。
動画保存先選択	撮影した動画の保存先を設定します。 お買い上げ時は、iモーションの「カメラ」フォルダに設定されています。
ファイル制限	ファイル制限を設定します。
・なし(お買い上げ時)	送付先のFOMA端末から送信/転送することができます。
・あり	送付先のFOMA端末では送信/転送することができなくなります。
取り消し	撮影した動画を削除して撮影し直します。

おしらせ

<iモードメール作成>
◆送信する動画は、「動画保存先選択」で設定されているフォルダに保存されます。
◆動画確認画面で[✉][MAIL]を押しても動画を添付したiモードメールを作成することができます。

<待受画面設定>
◆待受画面に設定する動画は、「動画保存先選択」で設定されているフォルダに保存されます。
◆音声のみの動画の場合は設定できません。

大切な場面を逃さず撮影する〈チャンスキャプチャ〉

動画を撮影するときに本機能を利用すると、残したい場面を逃さずに撮影できるので便利です。

● 撮影した動画は、撮影を終了した時点から撮影可能な時間分(お買い上げ時の設定では約45秒)までさかのぼって保存されます。それ以前に撮影した部分は保存されません。

1 「静止画撮影画面」(P.168)▶[✉][MENU]または[1]▶「」

2 カメラを被写体に向ける▶[●]または[📷]

撮影が開始されます。
撮影中にズームの調節をすることができます。
撮影可能時間を過ぎると、残り撮影時間の表示が「00:00」の点滅になります。

3 [●]または[📷]

撮影が終了します。

4 「動画を撮影する」(P.173)と同様の操作で撮影した動画を確認して保存

おしらせ

◆「静止画撮影画面」で[i][機能]▶「カメラモード切替」▶「チャンスキャプチャ」を押してもチャンスキャプチャを呼び出すことができます。
◆撮影可能容量を超える前に撮影を終了した場合は、「ムービーモード」と同様に撮影開始時から撮影終了時まで保存されます。

静止画に音声を入れる〈ピクチャボイス〉

QCIF(176×144)またはSubQCIF(128×96)の静止画を使い、その静止画に音声を付けた動画を作成することができます。

<例:静止画を撮影してピクチャボイスにするとき>

1 「静止画撮影画面」(P.168)▶[✉][MENU]または[1]▶「」

2 カメラを被写体に向ける▶[●]または[📷]

静止画を撮影します。
「録音開始画面」が表示されます。
音声録音前に、機能メニューから「動画容量設定」を選択することで、録音後のファイル容量を設定できます。

録音開始画面

機能メニュー➡P.176

3 決定キーまたは[カメラ]

録音が開始されます。
録音できる残り秒数の目安を画面で確認できます。

4 決定キーまたは[カメラ]

録音が終了します。

5「動画を撮影する」(P.173)と同様の操作で作成したピクチャボイスを確認して保存

おしらせ

◆静止画撮影画面で［i］[機能]▶「カメラモード切替」▶「ピクチャボイス」▶「フォトモード」を押してもピクチャボイスを作成することができます。
◆保存済みの静止画でピクチャボイスを作成する場合は、以下の操作の後、操作3以降を行います。
静止画撮影画面で［i］[機能]▶「カメラモード切替」▶「ピクチャボイス」▶「マイピクチャ」▶フォルダを選択▶静止画を選択

録音開始画面の機能メニュー

動画容量設定	録音するときのファイル容量を設定します。
・メール(小)(カメラ起動時)	290Kバイトまで録音することができます。標準的な動画データとしてｉモードメールに添付したいときに選択します。
・メール(大)	490Kバイトまで録音することができます。容量の大きな動画データとしてｉモードメールに添付したいときに選択します。
動画シャッター音選択	シャッター音を設定します。お買い上げ時は「シャッター音1」に設定されています。

ボイスモードを使う

● 音声のみの動画として、音声を録音します。

1「静止画撮影画面」(P.168)▶［メール］[MENU]または［1］▶「マイク」

デスクトップアイコンを利用して「録音開始画面」を起動することもできます。→P.130

2 決定キーまたは[カメラ]

録音が開始されます。
録音できる残り秒数の目安を画面で確認できます。

3 決定キーまたは[カメラ]

録音が終了すると「録音確認画面」が表示されます。

4 決定キー

「動画保存先選択」(P.174)で設定されているフォルダに保存されます。

おしらせ

◆「動画撮影画面」で［i］[機能]▶「撮影種別設定」▶「音声のみ」を選択してもボイスモードで録音できます。
◆ボイスモードで録音できる音声のみの動画はMP4(Mobile MP4)形式です。

撮影時の設定を変える

ズームやセルフタイマーを利用したり画質の設定をするなど、カメラ機能の設定をします。

ズームを使う

ズーム機能を使って、撮影する画像を写したい大きさに調節することができます。
● 画像サイズがVGA(640×480)、フルスクリーン(240×345)、待受(240×320)のときは調節できません。
● 動画撮影中にズームを調節することもできます。
● ズームはデジタルズームです。

1「静止画撮影画面」(P.168)/「連続撮影画面」(P.170)/「動画撮影画面」(P.173)▶左右キーでズームを調節

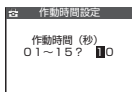
画面サイズ	ズーム段階	最大倍率
VGA(640×480)	−	−
CIF(352×288)	2段階	約1.8倍
フルスクリーン(240×345)	−	−
待受(240×320)		
QCIF(176×144)	2段階	約2倍
SubQCIF(128×96)		

おしらせ

◆カメラ機能を起動したときは「1倍」になっています。また、画像サイズやカメラモードを切り替えたときも「1倍」になります。
◆ズームを調節すると画質が多少変化する場合があります。

セルフタイマーを使う

セルフタイマーは集合写真を撮影したり、手ブレを防止したいときなど、FOMA端末を持たずに撮影するときに利用すると便利な機能です。

- 静止画撮影、オート連続撮影、動画撮影で利用することができます。マニュアル連続撮影では、セルフタイマーを利用できません。
- 撮影すると、セルフタイマーは「OFF」に戻りますので、撮影するたびに設定してください。

1 「静止画撮影画面」(P.168)／「連続撮影画面」(P.170)／「動画撮影画面」(P.173) ▶ i［機能］▶「セルフタイマー設定」▶「ON」▶ セルフタイマーの時間(2桁)を入力

作動時間設定
作動時間（秒）
01～15？ 10

セルフタイマーの時間は、「01」～「15」の2桁の数字を入力します。
2桁の数字を入力したら、自動的にセルフタイマーが設定されます。表示されている時間をそのまま設定するときは●を押します。
お買い上げ時は「10秒」に設定されています。

● セルフタイマーを設定すると

ディスプレイに「⏱」が表示され、セルフタイマーが設定されていることを示します。

●または▽[📷]を押すと、セルフタイマーの開始音が鳴ってセルフタイマーが動作をはじめます。
着信ランプと✉、i、「⏱」が点滅します。
撮影される約5秒前からカウント音が鳴り、着信ランプと✉、iの点滅が早くなります。
セルフタイマーのカウント中に●または▽[📷]を押して手動で撮影することもできます。

■ セルフタイマーの設定を解除する場合
▶ i［機能］▶「セルフタイマー設定」▶「OFF」

■ タイマーの動作をとめる場合
▶ ✉［中止］または CLR

おしらせ

◆カメラ機能を終了すると、セルフタイマーの設定は「OFF」となります。

●ｉモード／ｉモーション／ｉチャネル

ｉモードとは......180
ｉモードメニューを表示する......ｉモードメニュー 180

■サイトを表示する

サイトを表示する......181
サイトの見かたと操作......184
マイメニューに登録する......マイメニュー 186
ｉモードパスワードを変更する......ｉモードパスワード変更 186
インターネットホームページを表示する......インターネット接続 186
インターネットホームページやサイトを登録してすばやく表示する......ブックマーク 187
サイトの内容を保存する......画面メモ 189

■サイトから画像やメロディなどをダウンロードする

サイトやメッセージから画像を取得する......画像保存 190
サイトからメロディをダウンロードする......ｉメロディ 191
サイトからキャラ電をダウンロードする......192
サイトからデータファイルをダウンロードする......192

■ｉモードの便利な機能

Phone To・Mail To・Web To機能を使う......Phone To･Mail To･Web To 機能 192

■ｉモードの設定を行う

ｉモードの設定を行う......193

■メッセージサービスを利用する

メッセージを受信したときは......メッセージ受信 195
メッセージがあるかどうかを問い合わせる......ｉモード問い合わせ 197
メッセージBOXのメッセージを表示する......メッセージR/F 197

■証明書を利用する

SSL証明書を操作する......198
FirstPassの設定を行う......199
証明書発行接続先を変更する......200

■ｉモーションを利用する

ｉモーションとは......200
サイトからｉモーションを取得する......ｉモーション取得 201
ｉモーションについて設定する......202

■ｉチャネルを利用する

ｉチャネルとは......203
チャネル一覧からサイトを表示する......204
ｉチャネルの設定を行う......ｉチャネル設定 205

ｉモードとは

ｉモードでは、ｉモード対応FOMA端末（以下ｉモード端末）のディスプレイを利用して、サイト（番組）接続、インターネット接続、ｉモードメールなどのオンラインサービスをご利用いただけます。

- ｉモードはお申し込みが必要な有料サービスです。お申し込みに関するお問い合わせは、取扱説明書裏面をご覧ください。
- ｉモードのサービスの詳細な内容については、最新の『ご利用ガイドブック（ｉモード<FOMA>編）』をご覧ください。

■ ｉモードのご使用にあたって

- サイト（番組）やインターネット上のホームページ（インターネットホームページ）の内容は、一般に著作権法で保護されています。これらのサイト（番組）やインターネットホームページからｉモード端末に取り込んだ文章や画像などのデータを、個人として楽しむ以外に、著作権者の許可なく一部あるいは全部をそのまま、または改変して販売、再配布することはできません。
- ｉモード端末に保存されている内容（メール、メッセージR/F、画面メモ、ｉモーション）やブックマークなどの登録内容は、ｉモード端末の故障、修理やその他の取扱いによって消失する場合がありますので、登録内容や重要な内容は控えをとっておくことをおすすめします。万一、保存されている内容や登録した内容が消失した場合、当社としては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- ｉモード端末の修理などを行った場合、ｉモード、ｉモーションにてダウンロードした情報は、一部を除き著作権法により新しい携帯電話への移行を行っておりません。また、別のFOMAカードに差し替えたり、FOMAカードを未挿入のまま電源を入れた場合、機種によってサイトから取り込んだ静止画、動画、メロディやメールで送受信した添付ファイル（静止画、動画、メロディなど）、「画面メモ」および「メッセージR/F」などを表示、再生できません。
- FOMAカードにより表示、再生が制限されているファイルが待受画面や着信音などに設定されている場合、別のFOMAカードを差し替えたり、FOMAカードを未挿入のまま電源を入れると、お買い上げ時の設定内容で動作します。

■お願い

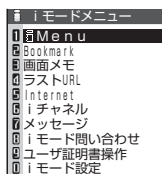
- ブックマークに登録した内容は、別にメモを取って保管することをおすすめします。パソコンをお持ちの場合は、ドコモケータイdatalink（P.322）とFOMA USB接続ケーブル（別売）を利用してパソコンに転送して保管することもできます。

〈ｉモードメニュー〉

ｉモードメニューを表示する

ｉモードを開始する

1 MENU ▶「ｉモード」

ｉモードメニュー
1 Menu
2 Bookmark
3 画面メモ
4 ラストURL
5 Internet
6 ｉチャネル
7 メッセージ
8 ｉモード問い合わせ
9 ユーザ証明書操作
0 ｉモード設定

「ｉモードメニュー画面」が表示されます。ｉモードメニューは10項目あります。
待受画面表示中に［ｉ］［ｉmode］を押しても「ｉモードメニュー画面」を表示できます。

■「圏外」が表示されている場合
サービスエリア外または電波が届かないところにいます。「Y.ıll」など電波の受信レベル表示が点灯するところまで移動してください。

■「⇔」が点滅する場合
ｉモードセンターとの通信中に点滅します。サービスエリア内でｉモードのサービスを受けていないときに、サイト（P.181）やインターネットホームページ（P.186）への接続やｉモードメールの送信（P.211）などをしようとしたときは「⇔」が点滅し、ｉモード開始まで時間がかかることがあります。

■「ｉ」が点滅している場合
ｉモードのサービスを受けているとき（ｉモード中）は「ｉ」が点滅します。

項　目	説　明	参照ページ
ｉMenu	ｉモードセンターへ接続すると、最初に表示されるページです。ここから各サイト（番組）や「週刊ｉガイド」などへアクセスします。	P.181
Bookmark	お気に入りのホームページアドレスをｉモード端末に登録しておくと、次回から直接アクセスできます。	P.187
画面メモ	ｉモード端末に保存されたｉモードの画面を見ることができます。	P.189
ラストURL	最後に表示したｉモードのサイトやインターネットホームページを表示します。	P.184
Internet	ホームページアドレスを直接入力することでインターネットのｉモード対応のホームページに接続することができます。	P.186
ｉチャネル	チャネル一覧画面を表示します。	P.203

項　目	説　明	参照ページ
メッセージ	受信したメッセージR/Fを表示します。メッセージサービスは、欲しい情報が自動的に携帯電話に届くサービスです。	P.197
ｉモード問い合わせ	ｉモードセンターにｉモードメールやメッセージR/Fが保管されているかどうか問い合わせをします。	P.197、224
ユーザ証明書操作	FirstPassセンターに接続して、ユーザ証明書の発行申請やダウンロードなどを行います。	P.199
ｉモード設定	ｉモードに関係するFOMA端末の設定を行います。	P.193

おしらせ

◆ｉモードのサービスエリアはFOMAのサービスエリア（通話のできるエリア）と同じです。

◆圏外でもｉモードメニュー画面を表示できます。ただし、圏外ではサイトやインターネットで情報の送受信などはできません。

ｉMenu画面を表示する

1 MENU ▶「ｉモード」▶「ｉMenu」

ｉモードセンターに接続して、「ｉMenu画面」（ｉモード画面の最初）が表示されます。

ｉモードメニュー画面

ｉMenu画面

■ページの取得を中止する場合

▶CLRまたは✉［中止］

ｉモードを終了する

1 ｉモード中に☎▶「終了する」

「⇔」が点滅した後、「i」が消灯します。

おしらせ

◆☎を2秒以上押したときは、電源が切れます。

ｉモードを中断する

1 ｉモード中に☎▶「中断する」

待受画面が表示されます。

メニューの選択方法→P.30

おしらせ

◆☎を2秒以上押したときは、電源が切れます。

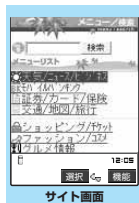
サイトを表示する

IP（情報サービス提供者）が提供する各種サービスをご利用いただけます（別途お申し込みが必要なことがあります）。

1 MENU ▶「ｉモード」▶「ｉMenu」

2 「メニュー／検索」▶サイトの項目を選択

「サイト画面」が表示されます。

サイト画面

機能メニュー➡P.182

●「みんなＮらんど」について

ｉMenuの中のサイト「みんなＮらんど」から、FOMA端末で利用できる辞書、デコメールのテンプレートなどのデータファイルをダウンロードして保存し、いろいろな用途に利用することができます。

「みんなＮらんど」への接続のしかたは以下のとおりです。

「ｉMenu」→「メニュー／検索」→「ケータイ電話メーカー」→「みんなＮらんど」の順に選択します。

おしらせ

◆サイトによっては、ご利用になるために情報料が必要なものがあります。

◆サイトによっては、画像を表示できない場合があります。

◆画像を取得できなかった場合、「」が表示されます。ただし、背景画像を取得できなかった場合「」は表示されません。

◆サイトに接続中でも、音声電話をかけたり受けたりすることができます（P.284）。また、メールを送受信することもできます。

◆表示したサイトの画面で下線が表示されている項目があるときは、その項目を選択することにより関連するページ（リンク先）へ進むことができます。

◆表示中のサイト画面は情報が自動的に更新されませんので、最新の情報を表示するには機能メニューから「再読み込み」を行ってください。

◆サイトによっては、サイトの画面の表示色数がFOMA端末の最大表示色数を超えるため、実際のサイトの画面と表示が異なることがあります。

◆ｉモード対応のサイトやインターネットホームページによっては、設定されている配色で文字が見えにくい場合や、見えない場合があります。

サイト画面の機能メニュー

Bookmark登録	表示中のページのURLをブックマークに登録します。 「ブックマークに登録する」→P.187
Bookmark一覧	Bookmarkフォルダ一覧画面を表示します。ブックマークからインターネットホームページやサイトを表示します。→P.187
画面メモ保存	表示中のページを画面メモに保存します。 「画面メモを保存する」→P.189
画面メモ一覧	画面メモ一覧画面を表示します。 「画面メモを表示する」→P.189
画像保存	表示中のページの画像を保存することができます。「通常画像」または「背景画像」を選択できます。 「サイトやメッセージから画像を取得する」→P.190
ｉモードメール作成	表示中のページのURLを本文に貼り付けたり、画像を添付、挿入してｉモードメールやデコメールを作成することができます。
・URL貼付	表示中のページのURLを本文に貼り付けてｉモードメールを作成します。 「ｉモードメールを作成して送信する」→P.211
・画像添付	▶画像を選択 表示中のページの画像を添付してｉモードメールを作成します。 「ｉモードメールを作成して送信する」→P.211
・画像挿入	▶画像を選択 表示中のページの画像が本文中に挿入されたデコメールを作成します。 「デコメールを作成して送信する」→P.214
URL入力	▶▶URLを入力▶「OK」▶ URL を入力してインターネットホームページに接続します。
電話帳登録	「電話番号やメールアドレスを電話帳に登録する」→P.185
デスクトップ貼付	表示中のページのURLをデスクトップアイコンとして貼り付けます。 「デスクトップアイコンを利用する」→P.130
スケジュール参照登録	表示中のページを参照しながらスケジュールを登録します。 「スケジュールや休日、記念日を登録する」→P.288
辞典検索	表示中のページから辞典を利用します。「その他の機能から辞典を利用する」→P.301
ホーム登録／表示	
・ホーム登録	表示中のページの URL をホームURLに登録します。ホームURLに登録できるURLは1件です。
・ホーム表示	ホームURLに登録されているページを表示します。

文字コード変換	表示中のページが正しく表示されていない場合に文字コードを変えて表示し直します。
再読み込み	表示中のページを新しい情報に更新します。
リトライ	表示中のページのFlash画像やアニメーションを最初から再生します。
ｉMenu	ｉMenu画面を表示します。
ｉモードメニュー	ｉモードメニューを表示します。
サイト情報表示	
・タイトル表示	▶タイトルを確認する▶「OK」 表示中のページのタイトルを確認します。
・URL表示	▶URLを確認する▶「OK」 表示中のページのURLを表示します。
・証明書表示	表示中のページがSSL対応の場合にSSL証明書の内容を表示します。
サイト設定	表示中のページの画像表示の設定をしたり、効果音の設定をすることができます。
・画像表示設定	ページの画像表示について設定します。「表示しない」を選択したときは、表示されない画像の代わりに「」が表示されます。
・効果音設定	Flash画像の効果音について設定します。

おしらせ

<ｉモードメール作成>

◆本文に貼り付けできるURLの文字数は半角256文字までです。半角256文字を超えるときは貼り付けできません。

<ホーム登録>

◆「ホーム登録」でURLを登録しても、「ホームURL設定」の「有効」、「無効」は変更されません。

<ホーム表示>

◆「ホームURL設定」が「無効」に設定されているときは、「ホーム表示」は利用できません。

◆平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）を接続している場合は、待受画面でスイッチを押してもホーム登録したサイトが表示されます。

<タイトル表示>

◆タイトルは全角64文字、半角128文字まで表示されます。

<URL表示>

◆すべてのURLが表示されない場合は、を押してカーソルを表示させます。でカーソルを移動して確認します。もう一度を押すとカーソルが消えます。「OK」を選択するとページの画面に戻ります。

<証明書表示>
◆証明書は最大5枚まで表示され、証明書が複数枚あるときは、で前後の証明書を確認できます。
◆証明書が表示されているときは、「スクロール設定」の設定にかかわらず1行スクロールで表示されます。

<文字コード変換>
◆正しく表示されないときは、操作を繰り返してください。ただし、4回操作をすると、元の文字コードで表示されます。
◆変換操作を繰り返しても正しく表示されないことがあります。
◆正しく表示されているときに文字コード変換をすると、正しく表示されなくなる場合があります。
◆「文字コード変換」は表示中のサイトに対してのみ有効です。

<リトライ>
◆再生中に選択すると、画像を最初から再生します。

SSL対応ページを表示する

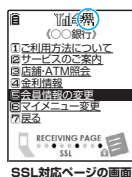
SSL対応ページを表示するには、以下の証明書が必要です。

- CA証明書：認証会社が発行した証明書で、お買い上げ時にFOMA端末内に保存されています。
- ドコモ証明書：FirstPass センターへ接続するために必要な証明書で、FOMAカード（緑色）内に保存されています。
- ユーザ証明書：ｉモードメニューの「ユーザ証明書操作」（P.199）を選択することにより、FirstPassセンターからダウンロードした証明書が、FOMAカード（緑色）内に保存されます。

1 SSL対応ページを表示

SSL対応ページの画面が表示され、「」が表示されます。

■ 認証中に中止する場合
▶

■ 認証後のページを取得中に中止する場合
▶ ［中止］

SSL対応ページの画面

2 SSL対応ページから通常のページを表示▶「YES」

SSL通信が終了し、「」の表示が消えます。

おしらせ

◆SSL 対応ページを表示するときに「このサイトの安全性が確認できません　接続しますか？」などのメッセージが表示されることがあります。これらは、ページのSSL証明書が期限切れになっている場合や、サポートしていない場合などに表示されます。「YES」を選択すると、続けてページを表示できますが、お客様の個人情報（クレジットカード番号、連絡先など）を安全に送信できない可能性がありますのでご注意ください。接続しない場合は、「NO」を選択します。「SSL通信を切断しました」というメッセージが表示され、を押すと元の画面に戻ります。

スクロール機能について

サイトのページやメッセージR/F、ｉモードメール、SMSなどを表示している場合で、文章や一覧が画面内におさまらずに続きがあるときは、スクロールすることにより続きを見ることができます。

■ 行単位でスクロールする場合

を押すと、行単位で下方向にスクロールされ、文章や一覧の続きが表示されます。
を押すと、行単位で上方向にスクロールされ、前の文章や一覧が表示されます。
またはを押したときのスクロールの速度やリンク先の表示を設定することができます。
→P.193

■ 画面単位でスクロールする場合

[MEMO/CHECK]を押すと、画面単位で下方向にスクロールされ、文章や一覧の続きが表示されます。
[⮌]を押すと、画面単位で上方向にスクロールされ、前の文章や一覧が表示されます。

携帯電話／FOMAカード（UIM）の製造番号について

サイトやインターネットホームページの画面を表示しているときに項目を選択すると、携帯電話／FOMAカード（UIM）の製造番号を送信することを示すメッセージが表示されることがあります。送信してもよいときは「YES」を選択します。送信したくないときは「NO」を選択します。［戻る］またはCLRを押すと前の画面に戻ります。

- 携帯電話／FOMAカード（UIM）の製造番号が送信される前には必ず、送信することを示すメッセージが表示されます。自動的に送信されることはありません。

おしらせ

◆送信される「携帯電話／FOMAカード（UIM）の製造番号」は、IP（情報サービス提供者）がお客様を識別し、お客様にカスタマイズした情報を提供したり、IP（情報サービス提供者）の提供するコンテンツが、お客様の携帯電話で使用できるかどうかを判定するために用いられます。
◆送信するお客様の「携帯電話／FOMAカード（UIM）の製造番号」は、インターネットを経由してIP（情報サービス提供者）に送信されるため、場合によっては第三者に知得されることがあります。なお、この操作によりご使用の電話番号、お客様の住所や年齢、性別がIP（情報サービス提供者）等に通知されることはありません。

最後に表示したページに再接続する〈ラストURL〉

ページを表示するたびに、表示中のURLが「ラストURL」に更新され、iモードを終了したときには、最後に表示していたページのURLが「ラストURL」に記憶されます。「ラストURL」を使って、最後に表示したページに再接続することができます。

1 MENU ▶「iモード」▶「ラストURL」▶「YES」

おしらせ

◆次のような場合は、「ラストURL」に履歴は保存されません。
- シークレットフォルダのBookmarkからサイトに接続したとき

◆データ取得完了画面のURLは「ラストURL」に記憶されません。この場合、「ラストURL」はデータ取得完了画面の前に表示していたページのURLになります。

サイトの見かたと操作

サイトを見るときに使う操作について説明します。

画像の表示について

- 本端末では、GIF形式、JPEG形式の各画像と、Flash画像（P.185）を表示します。ただし、画像によってはそれらの形式であっても表示できない場合があります。
- Flash画像が表示されているときは、表示動作が通常のサイト表示とは異なることがあります。
- 画像を表示するかしないかを「サイト設定」から「画像表示設定」（P.182）で設定できます。

■ 表示される画像のアイコンについて

（カラー）：画像を取得中、または「画像表示設定」を「表示しない」に設定している場合に表示されます。

：画像を取得できなかった場合に表示されます。

（白黒）：取得できない画像の場合に表示されます。

項目を選択する

iモード接続中に、サイトによっては以下の操作が必要となる場合があります。
- 詳しくは『ご利用ガイドブック（iモード<FOMA>編）』をご覧ください。

● ラジオボタン

選択肢の中から1つだけ選択することができます。サイトに表示される◉が選択された状態です。

● チェックボックス

選択肢の中から複数の項目を選択することができます。☑が選択された状態です。

● テキストボックス

文字を直接入力することができます。テキストボックスを選択すると文字入力の画面が表示されます。

● プルダウンメニュー

選択肢の一覧から項目を選択することができます。選択肢の一部だけが見えている状態で表示され、プルダウンメニューを選択すると隠れている複数の選択肢が一覧で表示されます。

おしらせ

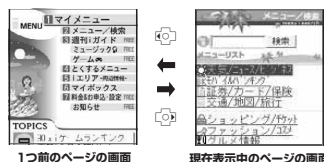
◆プルダウンメニューでは、サイトなどの作りによって□が表示され、複数の項目を選択できる場合があります。で□を移動させ、を押すごとに□内の項目の選択／選択解除を繰り返します。項目を選択し終わった後に[✉]［完了］または CLR を押すと操作が完了します。

前のページに戻る／進む

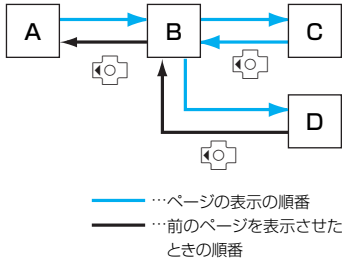
最大30ページまでキャッシュに取得済みの前のページに戻ったり、キャッシュに取得済みのページへ進むことができます。

1 前のページに戻るときは、次のページに進むときは

1つ前のページの画面

現在表示中のページの画面

おしらせ

◆ を続けて押すことにより、これまで表示したページをさかのぼって表示できます。ただし、途中で を押して前のページに戻り（「C」から「B」に戻る）、そのページからほかのページ（「B」から「D」）を表示させたときは、「D」から を2回押しても「C」は表示されません。「D」→「B」→「A」の順で前のページを表示します。

■画面「A」→「B」→「C」→「B」→「D」の順番でページを表示させた場合

■キャッシュに記憶されたページを表示するときは

- キャッシュとは、表示したサイトやインターネットホームページなどのデータを一時的に記憶する端末内の場所です。サイトやインターネットホームページなどを表示中に を押してページを移動すると、通信を行わずにキャッシュとして記憶されたページを表示します。ただし、端末のキャッシュサイズをオーバーしていたり、必ず最新情報を読み込むように設定（作成）されたページを表示するときは、 を押した場合でも通信を行います。また、ページがキャッシュに記憶されていても、そのページの日付時刻情報が更新されている場合は通信を行って最新情報を表示します。
- キャッシュから読み込んだ場合でも、以前接続したときに入力した文字や設定は表示されません。
- ｉモードを終了すると、キャッシュはクリアされます。
- SSL対応のページをキャッシュから読み込んだときは、SSLページを表示するという内容のメッセージが表示されます。

情報を再読み込みする

表示中のページを新しい情報に更新します。

1 「サイト画面」（P.181）▶ ［機能］▶「再読み込み」

おしらせ

◆アンケートの回答などの送信完了画面で「再読み込み」をした場合、再度送信するかどうかのメッセージが表示されます。「YES」を選択すると、一度送信した内容と同じものが再び送信されますのでご注意ください。

電話番号やメールアドレスを電話帳に登録する〈電話帳登録〉

サイトのページや画面メモなどに表示されている電話番号やメールアドレスを電話帳に登録することができます。

<例：サイトに表示されている電話番号を登録するとき>

1 「サイト画面」（P.181）▶ ［機能］▶「電話帳登録」▶「YES」▶電話帳に登録

「FOMA端末（本体）電話帳に登録する」→P.93
「FOMAカード電話帳に登録する」→P.94
電話番号に名前やフリガナ、メールアドレスの情報が付加されている場合は、電話番号とともに入力されます。残りの必要な項目を入力して電話帳に登録します。

Flash画像の操作について

絵や音によるアニメーション技術を用いたFlash画像に対応しており、多彩なアニメーションや表現力豊かなサイトを利用できます。また、Flash画像をダウンロードし、待受画面に設定することもできます。

- 再生中にエラーが発生した Flash 画像は保存することができません。
- バイブレータ振動が設定されている Flash 画像を再生した場合、「バイブレータ」の設定にかかわらず振動しますのでご注意ください。
- Flash画像が表示されていても、正しく動作しない場合があります。
- 画面下部に「」が表示されていなくても、Flash画像の操作ができる場合があります。
- 「画像表示設定」を「表示しない」に設定した場合は、Flash画像も表示されません。
- 「端末情報データ利用設定」（P.195）を「利用する」に設定した場合は、端末情報データ（時刻、日付、電波状態、電池残量、着信音量、使用言語、機種種別、機種情報）を利用することができます。

おしらせ

◆Flash画像を再度動作させたい場合は、サイト画面の機能メニューなどから「リトライ」を選択してください。→P.182

◆Flash画像によっては、効果音が鳴るものがあります。効果音を鳴らさない場合は、サイト画面の機能メニューから「サイト設定」の「効果音設定」を選択して、「効果音OFF」に設定してください。なお、「バイブレータ」が「メロディ連動」に設定されていても、Flash画像の効果音には連動しません。

◆「画面表示設定」でFlash画像を待受画面などに設定した場合、Flash画像に設定されている効果音やバイブレータ振動は動作しません。また、「リトライ」による再度動作もできません。

◆Flash画像によっては画像を保存したり、画面メモに保存しても、画像の一部が保存されないなど、サイトでの見えかたと異なる場合があります。

◆Flash画像が表示されている場合は、表示動作が異なることがあります。

次ページにつづく

◆Flash画像によっては、バイブレータが有効に設定されていて振動するものがあります。このようなFlash画像を着信中画面、テレビ電話着信中画面、メール受信中画面に設定した場合は、「バイブレータ」や「マナーモード選択」の設定に従って振動します。ただし、待受画面、ウェイクアップ表示に設定した場合は、振動しません。

〈マイメニュー〉

マイメニューに登録する

よく利用するサイトをマイメニューに登録することで、次回からそのサイトに簡単に接続できます。

- マイメニューは最大45件まで登録できます。
- マイメニューに登録できないサイトもあります。
- インターネットホームページに簡単に接続するには、「ブックマーク」(P.187)をご利用ください。

1 「サイト画面」(P.181)▶「マイメニュー登録」▶「iモードパスワード入力」のボックスを選択▶4桁のiモードパスワードを入力▶「決定」

iモードパスワードについて→P.138

おしらせ

◆iMenuのメニュー/検索内の有料サイトに申し込まれると自動的にマイメニューに登録されます。

マイメニューに登録したサイトを表示する

1 MENU▶「iモード」▶「iMenu」▶「マイメニュー」▶表示したいサイトを選択

おしらせ

◆マイメニューからサイトに接続するためには、あらかじめマイメニューに登録しておく必要があります。

◆デュアルネットワークサービスをご利用の方は、movaサービスのiモード端末で登録したマイメニューをFOMA端末で、FOMA端末で登録したマイメニューをmovaサービスのiモード端末でご利用になれない場合があります。

〈iモードパスワード変更〉

iモードパスワードを変更する

マイメニューの登録/削除、メッセージサービスやiモード有料サイトの申し込み/解約、メール設定などをするときは、4桁の「iモードパスワード」が必要になります。

- iモードパスワードが変更されるまでは、「0000」(数字のゼロ4つ)に設定されています。お客様のお好みで、FOMA端末から自由にiモードパスワードを変更してください。
- iモードパスワードは他人に知られないよう十分にご注意ください。
- iモードパスワードを万一お忘れになったときは、ご契約されたご本人であるかどうかが確認できるもの(運転免許証など)をドコモショップ窓口までご持参いただき、iモードパスワードを「0000」にリセットさせていただくことになります。

1 MENU▶「iモード」▶「iMenu」▶「料金&お申込・設定」▶「オプション設定」▶「iモードパスワード変更」

2 「現在のパスワード」のボックスを選択▶現在のiモードパスワードを入力

入力した数字は「*」で表示されます。

3 「新パスワード」のボックスを選択▶新しく設定するiモードパスワードを入力

iモードパスワードは4桁の数字で入力してください。

4 「新パスワード確認」のボックスを選択▶新しく設定するiモードパスワードを再度入力

操作3で入力した数字と同じものを入力します。

5 「決定」を選択

■「現在のパスワード」が間違っている場合

iモードパスワードが間違っていることを通知するメッセージが表示されます。

■「新パスワード」と「新パスワード確認」が一致しない場合

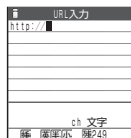
iモードパスワードが一致しないことを通知するメッセージが表示されます。

〈インターネット接続〉

インターネットホームページを表示する

任意のURLを入力してインターネットホームページを表示できます。

- iモード対応のインターネットホームページ以外は正しく表示されない場合があります。
- パソコン上での表示とは異なる場合があります。

1 MENU▶「iモード」▶「Internet」▶「URL入力」▶「<新規入力>」を選択

2 URLを入力▶「OK」

入力したURLのサイトを表示できない可能性があることを通知するメッセージが表示されます。●またはCLRを押すと、入力したURLのインターネットホームページに接続します。

■「http://」または「https://」以外ではじまるURLを入力したり、何も入力されていない場合
URLが間違っていることを通知するメッセージが表示されます。

おしらせ

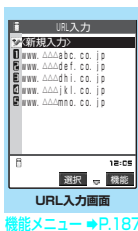
◆接続するインターネットホームページによっては、正しく表示されないことがあります。
◆受信したデータが取得可能な1ページの最大サイズを超えたときは、受信を中断します。◉を押すと、取得したところまでのデータが表示される場合があります。
◆URLに入力できる文字数は、「http://」または「https://」を含めて半角256文字までです。

URL履歴を使って表示する

これまでに入力したURLをURL履歴として10件まで記録します。

1 MENU▶「iモード」▶「Internet」▶「URL入力」

「URL入力画面」が表示されます。

URL入力画面

機能メニュー➡P.187

2 URL番号を選択▶「OK」▶「OK」

■選択したURLを編集する場合
▶「Internetアドレス」のボックスを選択▶URLを編集

おしらせ

◆履歴が10件を超えたときは、古いものから順に自動的に上書きされます。
◆URLを入力して接続したときは、同じURLでも別の履歴として記録されます。
◆URL履歴は「http://」または「https://」を除いた半角22文字までが表示されます。

URL入力画面の機能メニュー

デスクトップ貼付	「デスクトップアイコンを利用する」→P.130
iモードメール作成	選択したURLを本文に貼り付けたiモードメールを作成します。 「iモードメールを作成して送信する」→P.211
ホーム登録	選択したURLをホームURLに登録します。ホームURLに登録できるURLは1件です。
削除	URLを削除します。
・1件削除	反転表示したURLを削除します。
・選択削除	▶◎で□（チェックボックス）を選択▶✉［完了］▶「YES」 複数のURLを削除できます。
・全削除	▶端末暗証番号を入力▶「YES」 登録されているURLをすべて削除します。

〈ブックマーク〉

インターネットホームページやサイトを登録してすばやく表示する

よく見るインターネットホームページやサイトをすぐに接続できるようにしたいときは、ブックマークに登録します。

- 登録したブックマークは、タイトルを変更したり、フォルダごとに分けて管理することができます。

ブックマークに登録する

- ブックマークは、100件まで登録できます。
- 登録できる1件あたりのURLの文字数は、半角256文字までです。256文字を超えるページは、ブックマークに登録できません。
- シークレットフォルダ内には通常のBookmarkとは別に10件まで登録できます。
- サイトによっては、ブックマークに登録できないことがあります。

<例：サイト表示中の場合>

1 「サイト画面」（P.181）▶i［機能］▶「Bookmark登録」▶「YES」▶フォルダ番号を選択

おしらせ

◆ブックマークのタイトルは、全角12文字、半角24文字まで登録され、超えた部分は削除されます。タイトルがないときは、「http://」または「https://」を除いたURLが表示されます。

ブックマークからインターネットホームページやサイトを表示する

1 MENU▶「iモード」▶「Bookmark」

「Bookmarkフォルダ一覧画面」が表示されます。

Bookmarkフォルダ一覧画面

機能メニュー➡P.188

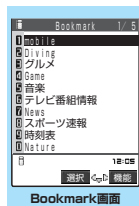
2 フォルダ番号を選択

「Bookmark画面」が表示されます。

3 ブックマーク番号を選択

Bookmark画面

機能メニュー➡P.188

次ページにつづく

おしらせ

◆ブックマークの一覧から表示したページのタイトルは、利用した順に表示されます。

Bookmarkフォルダ一覧画面の機能メニュー

お買い上げ時にすでにある「Bookmark」フォルダは、削除やフォルダ名の変更はできません。

フォルダ追加	▶**フォルダ名を入力** 追加作成できるフォルダは9個までです。入力できる文字数は全角10文字、半角20文字までです。
フォルダ名編集	▶**フォルダ名を入力** 入力できる文字数は全角10文字、半角20文字までです。
フォルダ並び替え	▶**移動先を選択** フォルダを並び替えます。
登録件数確認	すべてのフォルダ内のブックマークの件数を表示します。ただし、シークレットフォルダ内の件数は表示されません。
赤外線全送信	すべてのブックマークを赤外線送信します。 「データをまとめて転送する」→P.280
フォルダ削除	▶**端末暗証番号を入力**▶「YES」 反転表示したフォルダとそのフォルダ内のブックマークを削除します。
Bookmark全削除	▶**端末暗証番号を入力**▶「YES」 ブックマークをすべて削除します。ただし、シークレットフォルダ内のブックマークは削除されません。

おしらせ

◆ブックマークのフォルダにセキュリティをかけることはできません。

◆シークレットモード設定中およびシークレット専用モード設定中は、シークレットフォルダを含んだすべてのフォルダが表示されます。

＜フォルダ追加＞

◆追加作成したフォルダは既存のフォルダの一番下に追加されます。

◆フォルダを追加してもシークレットフォルダの位置は変わりません。

＜赤外線全送信＞

◆シークレットフォルダ内のBookmarkは送信されません。

Bookmark画面の機能メニュー

フォルダ移動	ブックマークを移動します。
・**1件移動**	▶**フォルダ番号を選択**▶「YES」 反転表示したブックマークを移動します。
・**選択移動**	▶**フォルダ番号を選択**▶**でブックマークの□（チェックボックス）を選択**▶［完了］▶「YES」 ブックマークを別のフォルダに移動させて種類別に管理することができます。
・**全移動**	▶**フォルダ番号を選択**▶「YES」 フォルダ内に登録されているブックマークをすべて移動します。
タイトル編集	▶**タイトルを入力** 入力できる文字数は、全角12文字、半角24文字までです。
デスクトップ貼付	ブックマークのURLをデスクトップアイコンとして貼り付けます。 「デスクトップアイコンを利用する」→P.130
iモードメール作成	ブックマークのURLをiモードメール本文に貼り付け、新規メールを作成します。 「iモードメールを作成して送信する」→P.211
赤外線送信	「データを1件ずつ転送する」→P.280
ホーム登録	ブックマークのURLをホームURLに登録します。ホームURLに登録できるURLは1件です。
URLコピー	▶**でコピーする部分の先頭の文字を反転表示**▶▶**でコピーする部分の最後の文字を反転表示**▶ ブックマークのURLをコピーします。
登録件数確認	フォルダ内のブックマークの件数を表示します。
削除	ブックマークを削除します。
・**1件削除**	反転表示したブックマークを削除します。
・**選択削除**	▶**で□（チェックボックス）を選択**▶［完了］▶「YES」 複数のブックマークを削除できます。
・**全削除**	▶**端末暗証番号を入力**▶「YES」 フォルダ内に登録されているブックマークをすべて削除します。
シークレットに保管※	「各種データを表示できないようにする」→P.145

※：シークレットモード、シークレット専用モードのときのみ表示されます。また、シークレットフォルダのときは「シークレットから出す」になります。→P.145

おしらせ

＜フォルダ移動＞
◆シークレットフォルダへ移動することはできません。

＜タイトル編集＞
◆タイトルを削除してを押した場合は、「http://」または「https://」を除いたURLが登録されます。

＜デスクトップ貼付＞
◆デスクトップに貼り付けたブックマークは、シークレットフォルダに保管してもデスクトップアイコンから表示できます。

＜全削除＞
◆「全削除」で削除されるのは表示しているフォルダ内のブックマークです。ほかのフォルダのブックマークは削除されません。

〈画面メモ〉

サイトの内容を保存する

乗り換え案内の検索結果など、一度表示したページを画面メモとしてFOMA端末に保存しておくことができます。

- 画面メモは最大100件まで保存できます。保存可能件数は、保存するページのデータ量により2～100件と変動します。

画面メモを保存する

1 「サイト画面」（P.181）▶ [機能] ▶「画面メモ保存」▶「YES」

おしらせ

◆SSL対応ページの画面を保存すると、そのページのSSL証明書も保存されます。
◆画面メモのタイトルは全角11文字、半角22文字までが保存され、超えた部分は削除されます。
◆同じページを保存したときは、上書きされずに別の画面メモとして保存されます。
◆サイト画面を画面メモに保存するときにラジオボタン、チェックボックス、テキストボックス、プルダウンメニュー、セレクトボックスに項目を入力していても、登録した画面メモには入力されていません。
◆データ取得完了画面などを保存すると、画面とともにそのデータも保存されます。ただし、再生期限付きのｉモーションのデータ取得完了画面は、画面メモとして保存できません。
◆データ取得完了画面以外は、そのページのURLを半角256文字まで保存します。

画面メモを表示する

1 MENU ▶「ｉモード」▶「画面メモ」

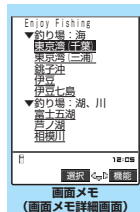
「画面メモ一覧画面」が表示されます。

画面メモ一覧画面

機能メニュー➡P.189

2 画面メモ番号を選択

画面メモ（画面メモ詳細画面）が表示されます。

画面メモ（画面メモ詳細画面）

機能メニュー➡P.190

おしらせ

◆画面メモの情報は、保存したときの情報のため、最新の情報とは異なる場合があります。
◆保存したページにタイトルがないときは、画面メモ一覧画面で「無題」と表示されます。

画面メモ一覧画面の機能メニュー

タイトル編集	▶タイトルを入力 入力できる文字数は全角11文字、半角22文字までです。
保護／保護解除	画面メモを保護／保護解除します。保護をすると、タイトルに「」が表示されます。保護解除すると、「」の表示が消えます。なお、保護されている画面メモは削除できません。
保存件数確認	保存されている画面メモの件数と、そのうち、保護されている画面メモの件数を表示します。
削除	画面メモを削除します。
・1件削除	反転表示した画面メモを削除します。
・選択削除	▶で□（チェックボックス）を選択▶ [完了] ▶「YES」 複数の画面メモを削除できます。
・全削除	▶端末暗証番号を入力▶「YES」 登録されている画面メモをすべて削除します。

おしらせ

＜タイトル編集＞
◆タイトルを削除した場合は、「無題」と登録されます。

＜保護／保護解除＞
◆保護できる画面メモは最大50件までです。保護できる最大件数は画面メモのデータ量により変動します。

＜削除＞
◆保護されている画面メモは削除できません。保護を解除してから削除してください。

画面メモ詳細画面の機能メニュー

画像保存	画面メモに表示されている画像や背景画像を保存することができます。「通常画像」または「背景画像」を選択できます。 「サイトやメッセージから画像を取得する」→P.190
電話帳登録	画面メモに表示されている電話番号やメールアドレスを電話帳に登録します。 「FOMA端末（本体）電話帳に登録する」→P.93 「FOMAカード電話帳に登録する」→P.94
タイトル編集	▶タイトルを入力 入力できる文字数は全角11文字、半角22文字までです。
保護／保護解除	画面メモを保護／保護解除します。保護をすると、タイトルに「🔑」が表示されます。保護解除すると、「🔑」の表示が消えます。なお、保護されている画面メモは削除できません。
ｉモードメール作成	画面メモのURLを貼り付けたり、画像を添付、挿入してｉモードメールやデコメールを作成することができます。
・URL貼付	画面メモのURLを本文に貼り付けてｉモードメールを作成します。 「ｉモードメールを作成して送信する」→P.211
・画像添付	▶画像を選択 画面メモに表示されている画像を添付してｉモードメールを作成します。 「ｉモードメールを作成して送信する」→P.211
・画像挿入	▶画像を選択 画面メモに表示されている画像が本文中に挿入されたデコメールを作成します。 「デコメールを作成して送信する」→P.214
スケジュール参照登録	画面メモを参照しながらスケジュールを登録します。 「スケジュールを登録する」→P.289
辞典検索	画面メモから辞典を利用します。 「その他の機能から辞典を利用する」→P.301
URL表示	画面メモのURLを表示します。
証明書表示	画面メモがSSL対応ページの場合にSSL証明書の内容を表示します。
効果音設定	Flash画像の効果音について設定します。「効果音ON」または「効果音OFF」を選択します。
リトライ	画面メモに表示されているFlash画像やアニメーションを最初から再生します。
削除	表示中の画面メモを削除します。

おしらせ

<URL表示>
◆表示されたURLの編集はできません。

<リトライ>
◆再生中に選択すると、画像を最初から再生します。

<削除>
◆保護されている画面メモは削除できません。保護を解除してから削除してください。

〈画像保存〉

サイトやメッセージから画像を取得する

表示中のサイトや画面メモ、ｉモードメール、メッセージR/Fに表示または添付されている画像や背景画像、アニメーションを保存すると、待受画面やウェイクアップ表示などに設定できます。

<例：サイトに表示されている画像を保存するとき>

1. 「サイト画面」（P.181）／「メッセージ詳細画面」（P.197）▶[i]［機能］▶「画像保存」▶「通常画像」▶画像を選択▶「YES」▶フォルダ番号を選択

   保存する画像に □ を合わせます。

   ■ 背景画像を保存する場合
   ▶「画像保存」▶「背景画像」▶「YES」▶フォルダ番号を選択

2. 「YES」▶項目を選択

   ■ 待受画面などに設定しない場合
   ▶「NO」

おしらせ

◆横の最大サイズ1,616ドットまたは縦の最大サイズ1,212ドットを超えるJPEG形式の画像は保存できません。
◆横または縦の最大が690ドットを超えるプログレッシブJPEG形式の画像、総ドット数が690×480ドットを超えるプログレッシブJPEG形式※の画像は保存できません。
　※：プログレッシブJPEG形式はサイトやインターネットホームページなどで広く利用されている画像形式のひとつで、最初は画像全体が粗く表示され徐々に鮮明に表示されます。
◆ファイル容量が100Kバイトを超える画像は保存できません。
◆保存された画像のファイル名は半角36文字まで保存されます。ファイル名が指定されていない場合は、ダウンロードしたURLの最後の「/」から「.」の間の文字がファイル名になります。ただし「/」から「.」の間がない場合などは、「imageXXX」（XXXは数字）のファイル名で保存されます。
◆「 」が表示されている場合は保存できません。
◆大容量画像を受信中に画像を保存しようとした場合は、大容量ファイル受信中で操作できないことを表す確認画面が表示されます。
◆アニメーションGIFファイルではない透過GIFファイルで、ファイルの拡張子が「ifm」の画像は、以下の画像サイズによって、フレームまたはスタンプとして保存されます。
- フレームは画像サイズがCIF（352×288）、CIF縦（288×352）、QVGA（320×240）、フルスクリーン（240×345、345×240）、待受（240×320）、QCIF（176×144）、QCIF縦（144×176）、SubQCIF（128×96）、SubQCIF縦（96×128）の画像
- スタンプはフレーム画像以外の240×240ドット以下の画像

■お願い

● パソコンをお持ちの場合は、ドコモケータイdatalink（P.322）とFOMA USB接続ケーブル（別売）を利用してパソコンに転送して保管することもできます。（メールへの添付やFOMA端末外への出力が禁止されている画像はパソコンに転送できません。）
● FOMA端末の故障・修理やその他の取扱いによって、登録した画像の内容が消失する場合があります。当社としては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

〈iメロディ〉

サイトからメロディをダウンロードする

サイトから保存した最新のメロディやお好みのメロディ、またiモードメールに添付されているメロディを保存すると、着信音などに設定することができます。

● メロディは最大200件まで保存できます（実際に保存できる件数は、保存されているメロディのデータ量により少なくなる場合があります）。

<例：サイトからメロディを保存するとき>

1 「サイト画面」（P.181）▶メロディを選択

2 「保存」▶「YES」▶フォルダを選択

■メロディを再生する場合
▶「再生」

■メロディの情報を表示する場合
▶「情報表示」

3 「YES」▶項目を選択

■着信音などに設定しない場合
▶「NO」

おしらせ

◆接続するサイトやメロディのサイズによっては、ダウンロードできない場合があります。
◆ダウンロードしたメロディには、あらかじめ再生部分が指定されている場合があります。そのようなメロディでは、再生するときにはメロディのすべての部分が再生されますが、着信音などに設定したときは、指定部分だけが再生されます。
◆ダウンロードしたメロディは正しく再生されない場合があります。
◆保存されたメロディのファイル名が半角英数字のみの場合は、そのファイル名で半角36文字まで保存されます。ファイル名が指定されていない場合は、ダウンロードしたURLの最後の「/」から「.」の間の文字がファイル名になります。ただし「/」から「.」の間がない場合などは、「melodyXXX」（XXXは数字）のファイル名で保存されます。
◆ダウンロードしたメロディを再生する際、「着信音量」の「電話」で設定された音量で再生されます。

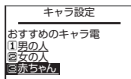
■お願い

● パソコンをお持ちの場合は、ドコモケータイdatalink（P.322）とFOMA USB接続ケーブル（別売）を利用してパソコンに転送して保管することもできます。（メールへの添付やFOMA端末外への出力が禁止されているメロディは、パソコンに転送できません。）
● FOMA端末の故障・修理やその他の取扱いによって、登録したメロディの内容が消失する場合があります。当社としては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

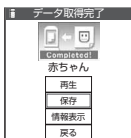
サイトからキャラ電をダウンロードする

サイトからお好みのキャラ電をダウンロードして保存できます。

- キャラ電はお買い上げ時に登録されているデータを含めて10件まで保存できます。
- お買い上げ時に登録されているキャラ電を削除した場合、元に戻したいときは「ケータイ電話メーカー」サイト内の「みんなＮらんど」からダウンロードしてください。
  「みんなＮらんど」への接続のしかた→P.181

1 「サイト画面」(P.181)▶キャラ電を選択

2 「保存」▶「YES」

■ キャラ電を再生する場合
▶「再生」
キャラ電の操作方法について→P.271

■ キャラ電の情報を表示する場合
▶「情報表示」

おしらせ

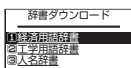
◆1件につき100Kバイトまでのキャラ電をダウンロードすることができます。

サイトからデータファイルをダウンロードする

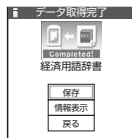
サイトから辞書、デコメールのテンプレートなどのデータファイルをダウンロードして保存し、いろいろな用途に利用することができます。

- 辞書は最大５件まで、デコメールピクチャなどの画像は撮影した静止画などと合わせて最大360件まで、デコメールテンプレートはお買い上げ時に登録されているデータと合わせて最大45件まで、保存できます（実際に保存できる件数は、保存されているデータのデータ量により少なくなる場合があります）。

<例：サイトから辞書ファイルをダウンロードするとき>

1 「サイト画面」(P.181)▶データファイルを選択

2 「保存」▶「YES」

■ 辞書の情報を表示する場合
▶「情報表示」

■ 保存されている辞書がいっぱいの場合
▶削除する辞書を選択▶「YES」
選択した辞書に上書きされて、辞書が登録されます。

おしらせ

◆テンプレートのタイトル名は「YYYY/MM/DD hh:mm」となります（Y：西暦、M：月、D：日、h：時、m：分）。
◆接続するサイトやデータファイルのサイズによっては、ダウンロードできない場合があります。

〈Phone To・Mail To・Web To機能〉

Phone To・Mail To・Web To機能を使う

サイトのページやメールなどに表示されている情報（電話番号、メールアドレス、URL）を利用して、簡単な操作で音声電話、テレビ電話を発信したり、メールを送信したり、インターネットホームページを表示することができます。

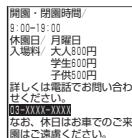
- パソコンなどから送信されたメールでは、Phone To、AV Phone To、Mail To、Web To機能が使用できない場合があります。

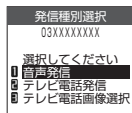
Phone To機能

サイトのページやメールに表示されている電話番号に音声電話、テレビ電話を発信することができます。

- テレビ電話でのPhone To機能のことをAV Phone To機能と呼びます。
- サイトによっては、Phone To機能をご利用になれない場合があります。
- 電話番号として使える桁数は26桁までです。

<例：サイトの画面で音声電話をかけるとき>

1 「サイト画面」(P.181)▶電話番号を選択

2 「音声発信」

■ テレビ電話をかける場合
▶「テレビ電話発信」

3 「発信」

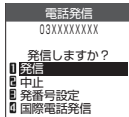
■「発信者番号通知設定」が「通知する」のときに電話番号を通知しないでかける場合

▶「発番号設定」▶「通知しない」

■「発信者番号通知設定」が「通知しない」のときに電話番号を通知してかける場合

▶「発番号設定」▶「通知する」

■「発信者番号通知設定」の設定に従ってかける場合

▶「発番号設定」▶「発番号設定消去」

おしらせ

◆電話番号を表す数字列以外でも、電話番号が登録された項目（「ご連絡はこちら」など）を使ってPhone To機能を利用できる場合もあります。

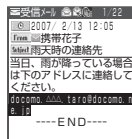
◆受信メールの送信元や送信メールの宛先が電話番号や「電話番号@･･･」の場合、その送信元や宛先を選択して電話をかけることができます。

Mail To機能

サイトのページやメールに表示されているメールアドレスにメールを送信することができます。

- サイトによっては、Mail To機能をご利用になれない場合があります。
- 保存メールが20件ある場合は、Mail To機能を利用できません。
- メールアドレスが2つ以上続けて表示されているときは、Mail To機能をご利用できない場合があります。
- メールアドレスとして使える文字数は半角50文字までです。

＜例：受信メール詳細画面でメールを送信するとき＞

1 「受信メール詳細画面」（P.230）▶メールアドレスを選択

2 iモードメールを作成して送信

これ以降の詳しい操作手順については、P.211の操作3～7を参照してください。

おしらせ

◆メールアドレスが正しく入力されていないときは、正しいメールアドレスに修正してからメールを送信してください。

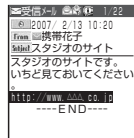
◆メールアドレス以外でも、メールアドレスが登録された項目（「ご連絡先はこちら」など）を使ってMail To機能を利用できる場合もあります。

Web To機能

サイトのページやメールに表示されているURLのインターネットホームページを表示できます。

- サイトによっては、Web To機能をご利用になれない場合があります。
- URLとして使える文字数は半角512文字までです。

＜例：受信メール詳細画面からページを表示するとき＞

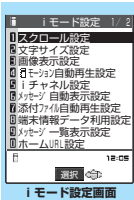
1 「受信メール詳細画面」（P.230）▶URLを選択▶「YES」

おしらせ

◆URL以外でも、URLが登録された項目（「詳しくはこちら」など）を使ってWeb To機能を利用できる場合もあります。

iモードの設定を行う

1 MENU▶「iモード」▶「iモード設定」

「iモード設定画面」が表示されます。

iモード設定画面

2 以下の項目から選択

スクロール設定	サイトのページ、画面メモ、メッセージR/Fの詳細画面のスクロールの速度やリンク先の表示を設定します。
・**速度設定**（お買い上げ時：高速）	スクロール速度を「高速」または「低速」から選択します。
・**スクロール中のフォーカス表示**（お買い上げ時：表示しない）	スクロール中にページ（リンク先）の選択（反転表示）を「表示する」または「表示しない」から選択します。
文字サイズ設定（お買い上げ時：標準表示）	サイトのページ、画面メモ、メッセージR/Fの詳細画面の文字サイズを設定します。
画像表示設定（お買い上げ時：表示する）	サイトのページ、画面メモの詳細画面の画像表示について設定します。「表示しない」を設定した場合は表示されない画像の代わりに「[icon]」のアイコンが表示されます。また、Flash画像は表示されません。
iモーション自動再生設定	「iモーションを自動再生するかどうかを設定する」→P.202

次ページにつづく

ｉチャネル設定	ｉチャネルのテロップ表示および速度についての設定を行います。 「ｉチャネルの設定を行う」 →P.205
メッセージ自動表示設定 （お買い上げ時：メッセージR優先）	メッセージR/Fの自動表示のしかたを設定します。
添付ファイル自動再生設定 （お買い上げ時：自動再生する）	メッセージR/Fを開いたときに、添付されているメロディや貼り付けられているメロディがある場合に自動再生するかどうかを設定します。
端末情報データ利用設定 （お買い上げ時：利用する）	「Flash画像で端末情報データを利用するかどうかを設定する」 →P.195
メッセージ一覧表示設定 （お買い上げ時：2行表示）	メッセージ一覧画面の表示行数を設定します。
ホームURL設定	ホーム表示を利用するための設定をします。 URLに入力できる文字数は半角256文字までです。
・**無効** （お買い上げ時）	ホーム表示設定を無効にします。
・**有効**	ホーム表示設定を有効にします。 ホームURL欄を選択して、登録したいURLを入力します。
効果音設定 （お買い上げ時：効果音ON）	サイトのページや画面メモのFlash画像の効果音を鳴らすかどうか設定します。
ｉモード設定確認	「ｉモード設定」で設定した内容を確認できます。
ラストURL初期化	記憶されているラストURLを初期化します。初期化するとラストURLはｉMenu画面のURLになります。
ｉモード設定リセット	▶**端末暗証番号を入力**▶**「YES」** 「ｉモード設定」の設定内容をお買い上げ時の状態に戻します。

おしらせ

<スクロール設定>
◆証明書表示時は、本機能の設定にかかわらず1行スクロールで表示されます。

<文字サイズ設定>
◆「フォント設定」（P.128）の「文字サイズ」でも文字サイズを変更することができます。

<画像表示設定>
◆「表示する」に設定していても、画像を取得できなかった場合は、「 」が表示されます。

<効果音設定>
◆「効果音ON」に設定していても、Flash画像によっては効果音が鳴らない場合があります。

<ラストURL初期化>
◆お買い上げ時、または「ｉモード設定リセット」をした後やラストURLを初期化した後に「ラストURL」を選択すると、ｉMenu画面が表示されます。

接続待ち時間を設定する

〈接続待ち時間設定〉 お買い上げ時 60秒間

サイトなどが混み合っていて応答がなかったときに、自動的に接続を中止するまでの時間を設定します。

1 MENU▶「各種設定」▶「アプリケーション通信設定」▶「接続待ち時間設定」▶項目を選択

「60秒間」、「90秒間」、または「無制限」から選択します。

おしらせ

◆「無制限」に設定したときでも、電波状況によっては通信が切断されることがあります。

ｉモードから接続先を変更する（ISP接続通信）〈接続先選択〉 MENU81

お買い上げ時 ｉモード

※通常は設定を変更する必要はありません。

ｉモード以外のサービスを受けるときに使う接続先の設定をします。「ｉモード」以外の接続先に変更すると、ｉモードやｉモードメールをご利用できなくなります。

● 接続先は「ｉモード」のほかに10件まで登録できます。

1 MENU▶「各種設定」▶「アプリケーション通信設定」▶「接続先選択」▶「<未登録>」を反転表示して✉［編集］▶端末暗証番号を入力▶以下の項目から選択

接続先名称	接続先名称を設定します。入力できる文字数は全角9文字、半角18文字までです。
接続先番号	接続先番号を設定します。入力できる文字数は半角99文字までです。
接続先アドレス	接続先アドレスを設定します。入力できる文字数は半角30文字までです。
接続先アドレス2	接続先アドレス2を設定します。入力できる文字数は半角30文字までです。

2 設定が終わったら✉［完了］

おしらせ

◆ｉモード中は、接続先を変更することはできません。ｉモードを終了してから接続先を変更してください。
◆「ｉモード」以外の接続先に接続した際のパケット通信はパケ・ホーダイの対象とはなりませんので、あらかじめご了承ください。
◆登録した「ユーザ指定接続先」を変更するときは、登録と同じ操作で変更します。

◆登録した「ユーザ指定接続先」を削除するときは、削除する接続先を選択して、機能メニューから「削除」を選択し、端末暗証番号を入力し、「YES」を選択します。接続先に設定されていた場合は、接続先は「ｉモード」に戻ります。
◆接続先を登録したときと異なるFOMAカードを入れた場合は、接続先が「ｉモード」に戻ることがあります。
◆接続先変更をした場合、ｉチャネルのテロップは表示されなくなります。情報が自動更新されるか、ch を押して最新の情報を受信すると、テロップも自動的に流れるようになります。
◆接続先を変更すると、ｉチャネルの情報が自動更新されない場合があります。最新の情報を受信したい場合は、ch を押してチャネル一覧を表示してください。

Flash画像で端末情報データを利用するかどうかを設定する
〈端末情報データ利用設定〉

Flash画像を動作させるときに端末情報データを利用するかどうかを設定します。
- Flash画像によっては、端末情報データを利用するものがあります。端末情報データを画像が利用するためには、「ｉモード設定」の「端末情報データ利用設定」を「利用する」に設定してください。お買い上げ時は、「利用する」に設定されています。なお、画像が利用する端末情報データには以下のものがあります。
  - 電池残量
  - 受信レベル
  - 日付時刻情報
  - 着信音量設定
  - バイリンガル設定
  - 機種情報

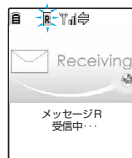
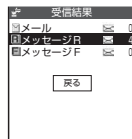
1 「ｉモード設定画面」(P.193) ▶「端末情報データ利用設定」▶項目を選択
「利用する」または「利用しない」を選択します。

〈メッセージ受信〉
メッセージを受信したときは

FOMA端末が圏内にあるときは、メッセージR/Fがｉモードセンターから自動的に送られてきます。
- 受信したメッセージR/Fは、FOMA端末にそれぞれ最大100件まで保存できます。メッセージR/Fの保存可能件数はデータ量により、メッセージRが20～100件、メッセージFが10～100件と変動します。

新着メッセージを表示する

- 自動表示しないようにするときは、「メッセージ自動表示設定」(P.194) を「自動表示しない」に設定してください。

「R（白色）」や「F（白色）」のアイコンが点滅し「メッセージR受信中…」または「メッセージF受信中…」と表示されます。

- 受信が完了すると、アイコンは点灯に変わります。
- 受信中に i [中止] または CLR を1秒以上押すと、受信を中止します。ただし、中止したタイミングによりメッセージを受信することがあります。
- 受信が完了すると、受信結果画面に受信したメールやメッセージR/Fの件数が約15秒間表示されます。受信結果画面が表示される時間は「メール／メッセージ鳴動」の設定によって変わる場合があります。

- 「メッセージR」または「メッセージF」を選択すると、メッセージR一覧画面またはメッセージF一覧画面が表示されます。
- 待受画面表示中に受信した場合、受信したメッセージR/Fの内容が約15秒間表示されます。ただし、ほかの機能を1つでも操作しているときに待受画面を表示した場合は自動表示されません。

- メッセージR/F表示中に画面スクロールなどの操作をすると、メッセージR/Fの内容が表示され続けます。

■ 自動表示しない場合
FOMA端末の操作中にメッセージR/Fを受信したときは、受信結果画面が表示されます。

おしらせ
◆新しいメッセージR/Fが届いたときは、ｉモードメールセンターに保管されているメッセージR/Fやｉモードメールもあわせて受信します。
◆待受画面以外を表示中、公共モード（ドライブモード）設定中、ダイヤルロック設定中、「ｉモード」または「メール／メッセージ受信表示」にオリジナルロック設定中は、メッセージR/Fを受信しても自動表示しません。
◆メッセージR/Fを受信したときに、すでに最大保存件数までメッセージR/Fが保存されていた場合、未読または保護されているメッセージR/F以外で一番古いメッセージR/Fから順に削除して受信します。

◆「R（赤色）」または「F（赤色）」のアイコンが表示されたときは、FOMA端末はこれ以上メッセージR/Fを受信できません。不要なメッセージR/Fを削除するか、これらのアイコンが表示されなくなるまで未読のメッセージR/Fを読むことで受信できるようになります。
なお、「RF（R、F：赤色）」、「RF（R：赤色、F：白色）」、「RF（R：白色、F：赤色）」のように2種類の状態を同時に表示する場合もあります。

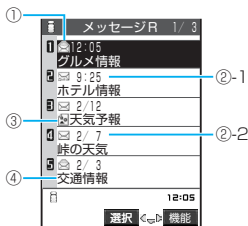
◆「R（白色）」または「F（白色）」のアイコンが表示されたときは、iモードセンターにメッセージR/Fが保管されています。iモード問い合わせをしてメッセージR/Fを受信してください。

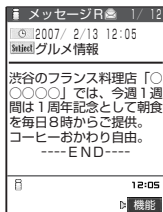
◆「R（赤色）」または「F（赤色）」のアイコンが表示されたときは、iモードセンターのメッセージR/Fがいっぱいです。不要なメッセージR/Fを削除するか、未読のメッセージR/Fを読んだ後に、iモード問い合わせをしてください。

◆自動表示後も、メッセージR/F一覧画面の表示では未読になります。ただし、自動表示中に画面スクロールなどの操作を行ったときは、メッセージR/F一覧画面では既読となります。

◆複数のiモードメール、SMS、チャットメール、メッセージR/Fを同時に受信したときは、チャットメールに設定されている条件で着信音が鳴り、着信ランプが点滅します。

メッセージR/F画面の見かた

● メッセージR/F一覧画面で表示されるアイコンは、メッセージR/F詳細画面でも表示されます。ただし、一部表示されないアイコンもあります。

一覧画面 （2行表示）

一覧画面 （1行表示）

詳細画面

① メッセージR/Fの状態を示しています。
- ：未読メッセージR/F
- ：既読メッセージR/F
- ：未読で保護されているメッセージR/F
- ：既読で保護されているメッセージR/F

② 受信した時刻や日付を示しています。
- ②-1 当日受信したメッセージR/Fは時刻が表示されます。
- ②-2 前日までに受信したメッセージR/Fは日付が表示されます。

③ 添付または貼り付けられているファイルを示しています。
- ：メロディが添付または貼り付けられている
- ：複数のメロディが添付または貼り付けられていて、そのうちの一部のデータが正しくない
- ：添付または貼り付けられているすべてのメロディのデータが正しくない
- ：画像が添付されている
- ：複数の画像が添付されていて、そのうちの一部のデータが正しくない
- ：添付されているすべての画像のデータが正しくない
- ：複数のデータが貼り付けられている

以下のアイコンは、一覧画面が1行表示の場合に表示されます。
- ：添付または貼り付けられているデータがある
- ：添付または貼り付けられているデータのうちの一部のデータが正しくない
- ：添付または貼り付けられているすべてのデータが正しくない

④ 題名を示しています。

〈ｉモード問い合わせ〉

メッセージがあるかどうかを問い合わせる

お買い上げ時	すべて（メール、メッセージR/F）問い合わせする

● ｉモードセンターに届いたメッセージR/Fは自動的にFOMA端末へ送信されますが、以下の場合などはｉモードセンターに保管されます。
- FOMA端末の電源が入っていないとき
- 「圏外」が表示されているとき
- メッセージBOXが満杯のとき
- テレビ電話中／遠隔監視中
- セルフモード設定中
- FirstPassセンター接続中

● 問い合わせる項目は「ｉモード問い合わせ設定」（P.244）で設定します。

1 MENU▶「ｉモード」▶「ｉモード問い合わせ」

メール問い合わせ画面が表示されます。
ｉモード問い合わせは、以下の手順でも行えます。
- ｉ［ｉmode］▶「ｉモード問い合わせ」
- ✉［✉MAIL］（1秒以上）
- ✉［✉MAIL］▶「ｉモード問い合わせ」

問い合わせは「メール」→「メッセージR」→「メッセージF」の順で行います。

問い合わせ中は「✉（白色）」「R（白色）」「F（白色）」が点滅して「問い合わせ中…」と表示され、ｉモードメールやメッセージR/Fを受信します。
新しく受信したｉモードメールとメッセージR/Fの件数が表示されます。

■ 問い合わせを中止する場合
▶問い合わせ中にｉ［中止］またはCLR（1秒以上）
問い合わせを中止したときでも、中止したタイミングによりｉモードメールやメッセージR/Fを受信することがあります。

2 新しく受信したｉモードメールとメッセージR/Fの件数を確認

おしらせ

◆「R（白色）」または「F（白色）」のアイコンが表示されたときは、ｉモードセンターにメッセージRまたはメッセージFが保管されています。ｉモードセンターに保管されているメッセージRまたはメッセージFがいっぱいになると「R（赤色）」または「F（赤色）」のアイコンの表示になります。

◆ ｉモードセンターでのメッセージR/Fの保管件数、保管期間は以下のとおりです。

	最大保管件数	最大保管期間
メッセージR	300件	72時間
メッセージF	300件	72時間

最大保管件数を超えた場合は、各メッセージの最も古いものから順に削除されます。

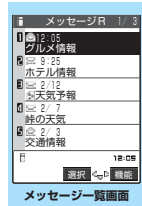
◆ ｉモードセンターにメッセージR/Fが保管されている場合でも、FOMA端末の電源が入っていないときや「圏外」が表示されているときにセンターに届いた場合などは、「R（白色）」または「F（白色）」のアイコンが表示されないことがあります。

〈メッセージR/F〉

メッセージBOXのメッセージを表示する

● ｉモードセンターからFOMA端末にメッセージR/Fが届くと画面の上部に「R（白色）」や「F（白色）」が表示されます。

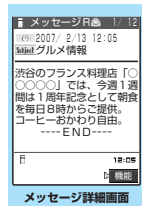
1 MENU▶「ｉモード」▶「メッセージ」▶「メッセージR」または「メッセージF」

「メッセージ一覧画面」が表示されます。

メッセージ一覧画面

機能メニュー ➡P.197

2 表示したいメッセージを選択

「メッセージ詳細画面」が表示されます。
メッセージ詳細画面で前または次のメッセージを表示させるときは◎を押します。
メッセージ詳細画面でCLRを押すと、メッセージ一覧画面に戻ります。

メッセージ詳細画面

機能メニュー ➡P.198

おしらせ

◆メッセージR/Fに「OK」や「Cancel」などのボタンが表示されることがあります。表示されたときは、サイトなどと同じ操作を行ってください。

メッセージ一覧画面の機能メニュー

全表示	ソート表示またはフィルタ機能による表示を元の表示（すべてを新しい順）に戻します。
ソート	指定した条件に従ってメッセージを並べ替えます。
フィルタ	指定した条件に合うメッセージだけを表示します。
保護／保護解除	メッセージR/Fを保護／保護解除します。
保護全解除	保護されているすべてのメッセージR/Fを保護解除します。
保存件数確認	保存されているメッセージR/Fの件数および未読件数、保護件数を表示します。

次ページにつづく

削除	メッセージR/Fを削除します。
・１件削除	反転表示したメッセージR/Fを削除します。
・選択削除	▶〔〕で□（チェックボックス）を選択▶〔〕［完了］▶「YES」 複数のメッセージR/Fを削除できます。
・既読削除	既読のメッセージR/Fを削除します。
・全削除	▶端末暗証番号を入力▶「YES」 登録されているメッセージR/Fをすべて削除します。

おしらせ

＜ソート／フィルタ＞
◆ソートとフィルタを併用することができます。
◆メッセージR/F一覧画面を終了するとソートとフィルタは解除されます。
◆元に戻すには「全表示」を選択します。

＜１件削除＞
◆未読のメッセージR/Fも削除できます。
◆保護されているメッセージR/Fは削除できません。

＜選択削除＞
◆未読のメッセージR/Fも削除できます。
◆保護されているメッセージR/Fは削除できません。

＜既読削除＞
◆保護されている既読のメッセージR/Fは削除されません。

＜全削除＞
◆未読のメッセージR/Fも削除されます。
◆保護されているメッセージR/Fは削除されません。
◆フィルタで指定したメッセージR/Fだけを表示しているときは、「全削除」を選択すると一覧画面に表示されていて保護されていないすべてのメッセージR/Fのみが削除されます。

メッセージ詳細画面の機能メニュー

電話帳登録	メッセージR/Fに表示されている電話番号やメールアドレスを電話帳に登録します。 「FOMA端末（本体）電話帳に登録する」→P.93 「FOMAカード電話帳に登録する」→P.94
メロディ保存	メッセージR/Fに添付または貼り付けられているメロディを保存します。
画像保存	メッセージR/Fに添付されている画像や背景画像を保存します。 「サイトやメッセージから画像を取得する」→P.190
保護／保護解除	メッセージR/Fを保護／保護解除します。
削除	メッセージ詳細画面に表示中のメッセージR/Fを削除します。

おしらせ

＜メロディ保存＞
◆添付されているメロディを選択すると、指定したメロディを再生できます。
◆貼付メロディ保存時には、ファイル名ではなくタイトルが登録されます。メロディにタイトルが設定されていない場合は、ファイル名が登録されます。
◆保存したメロディは正しく再生されない場合があります。

＜画像保存＞
◆「画像表示設定」の設定にかかわらず、添付されている画像はすべて表示されます。

＜削除＞
◆保護されているメッセージR/Fは削除できません。

SSL証明書を操作する

SSL証明書の内容を確認したり、有効／無効の設定をします。

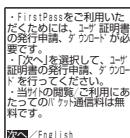
1 MENU▶「各種設定」▶「アプリケーション通信設定」▶「証明書」

2 証明書を選択▶証明書を確認

■ SSL証明書を有効または無効に設定する場合
▶証明書を反転表示▶〔i〕［機能］▶「有効／無効設定」

おしらせ

◆お買い上げ時は、すべての証明書が「有効」に設定されています。
◆「有効」に設定すると、「 」のアイコンが表示されます。「無効」に設定すると、「 」のアイコンが表示されます。
◆「無効」に設定すると、そのSSL証明書を持っているSSL対応ページが表示できなくなります。
◆ドコモ証明書２は常に「有効」のため、「無効」に設定することはできません。

FirstPassの設定を行う

ユーザ証明書は、お客様がFOMAサービスをご契約されていることを証明するものです。ダウンロードしたユーザ証明書はFOMAカードに保存され、クライアント認証に対応しているサイトでご利用になれます。

FirstPassセンターに接続する

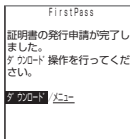
ユーザ証明書の発行申請からダウンロードするまでの操作をします。

- FirstPassセンターからユーザ証明書の発行要求や、ダウンロードができます。
- FOMAカード（青色）ではご利用になれません。
- FirstPassセンターに接続するには、日付・時刻設定が必要です。→P.43
- FirstPassセンターで表示される画面や操作方法は、変更されることがあります。

1 MENU▶「iモード」▶「ユーザ証明書操作」▶内容を確認▶「次へ」

2「証明書発行」

■ はじめてFirstPassをご利用になる場合

「ご利用規則」を選択し、内容をよくお読みください。

■ 失効申請をする場合

「その他」を選択し、「証明書失効」を選択します。

PIN2コードを入力し、画面の指示に従って操作してください。

3 内容を確認▶「実行」

4 PIN2コードを入力

PIN2コードについて→P.138

5 メッセージを確認▶「ダウンロード」▶内容を確認▶「実行」▶「メニュー」

確認のメッセージが表示されます。

ダウンロードが完了したら、FirstPassのメニュー画面に戻ります。

おしらせ

◆FirstPassセンターに接続する際のパケット通信料は無料です。

◆FirstPassセンターを利用する前には、「ご利用規則」を選択し、ご利用規則をよくお読みください。

◆FirstPassセンターへ接続中は、以下の機能が利用できません。
- iモードメールの送受信（SMSの送受信は利用可）
- iモード問い合わせ（SMS問い合わせは利用可）
- メッセージR/Fの受信
- iモーションの取得
- Web To機能

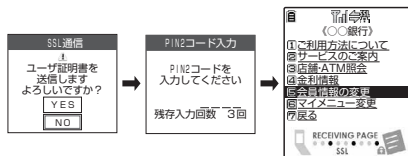
◆ユーザ証明書を新規で発行する場合も更新で発行する場合も、必ず発行申請をした後にダウンロードを行ってください。発行の申請をしていないユーザ証明書はダウンロードすることができません。

◆ユーザ証明書の失効申請が完了すると、そのユーザ証明書が必要なFirstPass対応サイトを表示できなくなります。

◆失効が完了した後にFirstPassを利用する場合は、再度ユーザ証明書の発行申請とダウンロードをしてください。

◆ダウンロードしたユーザ証明書を確認する場合は、「SSL証明書を操作する」（P.198）をご覧ください。

ユーザ証明書を使ってサイトに接続する

1「サイト画面」（P.181）▶ユーザ証明書の送信を確認▶「YES」▶PIN2コードを入力

おしらせ

◆FirstPass対応サイトに接続する際のパケット通信料はパケ・ホーダイに含まれます。

◆ユーザ証明書がない状態でFirstPass対応サイトに接続した場合や、ユーザ証明書の有効期限が切れている場合、そのことを通知するメッセージが表示されます。接続を継続する場合は「YES」を選択すると続けてページを表示できる場合がありますが、これらのサイトではお客様の個人情報（クレジットカード番号、連絡先など）を安全に送信できない可能性がありますのでご注意ください。接続を切断する場合は「NO」を選択すると「SSL通信を切断しました」というメッセージが表示され、●を押すと元の画面に戻ります。FirstPassセンターからユーザ証明書をダウンロードした後、再度接続してください。

■ FirstPassご利用にあたって
- FirstPassとはドコモの電子認証サービスです。FirstPassを利用することにより、サイト側がFOMA端末側を認証するクライアント認証が可能となります。
- FirstPassはFOMA端末からのインターネット通信と、FOMA端末をパソコンに接続した状態でのインターネット通信でお使いいただくことが可能です。パソコンでご利用いただくためには、添付の「FOMA N601i用CD-ROM」のFirstPass PCソフトが必要です。詳しくはCD-ROM内の「FirstPassPCSoft」フォルダ内の「FirstPassManual」(PDF形式)をご覧ください。
「FirstPassManual」(PDF形式)をご覧になるには、Adobe Reader(バージョン6.0以上を推奨)が必要です。
お使いのパソコンにインストールされていない場合は、同CD-ROM内のAdobe Readerをインストールしてご覧ください。ご使用方法等の詳細につきましては、Adobe Readerヘルプを参照してください。
- ユーザ証明書の発行申請をする際は、画面に表示される「FirstPassご利用規則」をよくお読みになり、ご同意の上、申請してください。
- ユーザ証明書のご利用にはPIN2コード(P.138)の入力が必要です。PIN2コード入力後になされたすべての行為がお客様によるものとみなされますので、FOMAカードまたはPIN2コードが他人に使用されないよう十分ご注意ください。
- FOMAカードの紛失、盗難にあった場合などは、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」でユーザ証明書の失効を行うことができます。
- FirstPass対応サイトによって提供されるサイトや情報については、ドコモは、何らの義務もないものとし、一切の責任を負いません。お客様とFirstPass対応サイトとの間で解決をお願いいたします。
- FirstPassおよびSSLのご利用にあたり、ドコモおよび認証会社は安全性等に関し保証を行うものではありませんので、お客様ご自身の判断と責任においてご利用ください。

証明書発行接続先を変更する

お買い上げ時
ドコモ

※通常は設定を変更する必要はありません。

ユーザ証明書をダウンロードするときの接続先の設定をします。

1 MENU ▶「各種設定」▶「アプリケーション通信設定」▶「証明書センター接続設定」

2 「<未登録>」を反転表示して ✉ [編集] ▶端末暗証番号を入力▶以下の項目から設定

初期画面URL	接続先の初期画面のURLを設定します。入力できる文字数は半角100文字までです。
接続先番号	接続先番号を設定します。入力できる文字数は半角99文字までです。

3 設定が終わったら ✉ [完了]

おしらせ
◆登録した「ユーザ指定接続先」を変更するときは、登録と同じ操作で変更します。
◆登録した「ユーザ指定接続先」を削除するときは、機能メニューから「削除」を選択します。

iモーションとは

iモーションは、映像や音声、音楽のデータです。iモーション対応サイトからFOMA端末に取り込みます。また、iモーションを着信音に設定することもできます。
着モーション→P.112

● iモーションのタイプ

iモーションには、大きく分けて以下の2つのタイプがありますが、FOMA N601iは標準タイプのiモーションにのみ対応しています(ストリーミングタイプのiモーションを取得することはできません)。

■ 標準タイプ
FOMA端末に最大500Kバイトまで保存することができ、以下の2つの形式があります。
iモーションによっては、標準タイプでも保存できない場合があります。
① 取得後に再生可能な形式
② 取得しながら再生可能な形式

■ ストリーミングタイプ（FOMA N601i では非対応）
FOMA端末に保存することはできません。データを取得しながら同時に再生するタイプで、最大2Mバイトまで再生できます。再生し終わったデータは破棄されるため、再生させるたびにデータを取得します。

おしらせ

◆再生できるｉモーションはMP4（Mobile MP4）形式です。
◆ASF形式のｉモーションは取り込むことができません。

〈ｉモーション取得〉
サイトからｉモーションを取得する

サイトからｉモーションを取得して再生する

1 MENU ▶「ｉモード」▶「ｉMenu」▶「メニュー／検索」▶サイトの項目を選択

2 ｉモーションを選択
データの取得が完了すると、「データ取得完了画面」が表示されます。
「ｉモード設定」の「ｉモーション自動再生設定」（P.202）で取得しながら自動再生するかどうかを設定できます。ただし、ｉモーションによっては取得後に再生される場合があります。

■ データ取得を中止する場合
▶ ✉［中止］

3「再生」
取得したｉモーションを再生します。
「ｉモーション再生中の操作について」→P.266

データ取得完了画面

おしらせ

◆タイトルが付いていないｉモーションは、データ取得完了画面で「無題」と表示されます。
◆接続するサイトやｉモーションによっては、取得またはデータ取得中の再生ができないことがあります。
◆データ取得中の再生を途中で停止しても、データの取得自体は継続されます。
◆「ｉモーション自動再生設定」が「自動再生する」に設定されていても、データ取得中に再生した場合は、取得した後に自動再生はされません。
◆再生制限付きのｉモーションもあります。再生回数、再生期間、再生期限のいずれかに制限があるｉモーションは、タイトルの先頭に「🕒」が表示されます。再生できる期間が制限されているｉモーションは、期間前や期間後には再生できません。また、長い期間電池パックを外していると、FOMA端末で保持している日付時刻情報がリセットされることがあります。その場合、再生期間や再生期限が決められているｉモーションについては、再生することができません。
「ｉモーション情報について」→P.265
◆取得したｉモーションによっては、正しく再生できないことがあります。
◆ｉモーションを取得しながら再生している場合（初回再生時のみ）は、早送り・コマ送り・スロー再生の操作はできません。
◆電波状況により、データ取得を中断した場合や、最大サイズを超えてデータを取得した場合は、データ取得完了画面の「再生」、「保存」、「情報表示」のいずれかが表示可能であれば、データを取得できなかったことを示すメッセージを表示した後、データ取得完了画面が表示されます。
◆電波状況により、データ取得中の再生が途中でとまったり、画像が乱れたりする可能性があります。
◆データ取得完了画面（P.201）の機能メニューの「画面メモ保存」で「画面メモ」（P.189）として保存し、画面メモから再生することもできます。
ただし、以下のｉモーションのデータ取得完了画面は「画面メモ」に保存することができません。
・再生制限付きのｉモーション
・データが不完全なｉモーション
◆画面メモに保存したｉモーションは、データBOXにあるｉモーションのフォルダ内の一覧には含まれません。そのため、プログラム再生や待受画面設定などの機能は利用できません。

ｉモーションを保存する

データ取得完了画面で「保存」を選択できるｉモーションは、FOMA端末に保存できます。
- ｉモーションによっては、取得したデータをFOMA端末に保存できない場合があります。
- ｉモーションはカメラでの撮影動画と合わせて最大100件まで保存できます。ｉモーションの保存可能件数は、ｉモーションのデータ量によって4～100件に変動します。
- ｉモーションのフォルダについて→P.254

1 「データ取得完了画面」(P.201)▶「保存」▶「YES」

■ 保存を中止する場合

▶「NO」

保存せずにデータ取得完了画面に戻ります。

2 保存先のフォルダを選択

保存したことを通知するメッセージが表示されます。

おしらせ

◆タイトルが付いていないｉモーションは一覧で「movieXXX」(XXXは数字)と表示されます。

◆サイトなどから取得した ｉ モーションを待受画面に設定することができます。→P.121

ｉモーションによっては、待受画面に設定できないものがあります。

◆待受画面に設定したｉモーションからPhone To機能、Mail To機能、Web To機能は利用できません。

ｉモーションの詳細情報を表示する

ｉモーションのタイトル、再生制限の有無、ファイルサイズなどの詳しい情報を確認できます。

1 「データ取得完了画面」(P.201)▶「情報表示」

ｉモーション情報画面が表示されます。[カーソルキー]で画面をスクロールし、再生できる残りの回数、再生期限、再生期間制限などの情報を確認します。
情報を確認したら[CLR]を押します。

ｉモーションについて設定する

ｉモーションを自動再生するかどうかを設定する〈ｉモーション自動再生設定〉

お買い上げ時 自動再生する

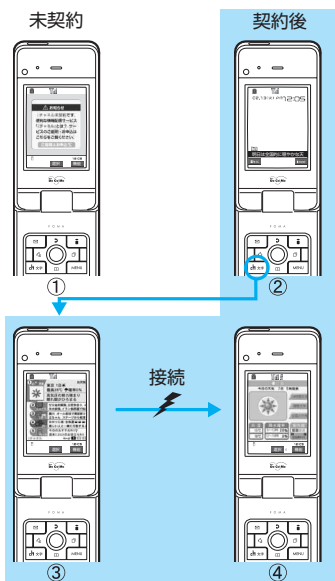
以下のときに、ｉモーションを自動的に再生するかどうかを設定できます。
- サイト画面からｉモーションを取得したとき
- 受信メール画面からｉモーションを取得したとき
- ｉモーション取得完了画面の画面メモを表示したとき

1 「ｉモード設定画面」(P.193)▶「ｉモーション自動再生設定」▶以下の項目から選択

自動再生する	ｉモーションを取得した後、自動再生します。一部のｉモーションは、データを取得しながら再生します。
自動再生しない	ｉモーションを取得しても、自動再生せずにｉモーション取得完了画面を表示します。

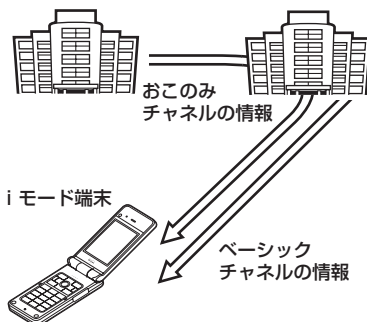
ｉチャネルとは

ニュースや天気などをグラフィカルな情報としてドコモまたはIP（情報サービス提供者）がｉチャネル対応端末に配信するサービスです。定期的に情報を受信し、最新の情報が、待受画面にテロップとして流れたり、ｉチャネル対応ボタン（ch）を押すことでチャネル一覧に表示されます（P.204）。さらに、チャネル一覧でお好きなチャネルを選択することにより、リッチな詳細情報を取得できます。

- ｉチャネルのご利用にあたっての注意事項およびご利用方法の詳細等については、『ご利用ガイドブック（ｉモード<FOMA>編）』をご覧ください。

※ 各画像はイメージです。実際の画面とは異なります。

① ｉチャネルをご契約いただいていない場合。
② ｉチャネルをご契約いただいた後､情報を受信したタイミング、またはチャネル一覧を表示したタイミングで、待受画面に自動的にテロップが流れます。
③ 待受画面表示中に ch を押すとチャネル一覧が表示されます。各チャネルごとにテロップで流れていた情報などを一覧で見ることができます。
④ 各チャネルを選択するとそれぞれの詳細情報画面が閲覧できます。

■ チャネルの種類

チャネルには「ベーシックチャネル」と「おこのみチャネル」の2種類があります。「ベーシックチャネル」はドコモが提供するチャネルであり、お買い上げ時に登録されていますのでｉチャネルの利用開始時からすぐに利用することができます。「ベーシックチャネル」に関して配信される情報の自動更新にかかるパケット通信料はｉチャネルのサービス利用料に含まれます。「おこのみチャネル」はドコモ以外のIP（情報サービス提供者）が提供するチャネルで、お客様ご自身がお好きなチャネルを登録して利用できます。「おこのみチャネル」に関して配信される情報の自動更新にかかるパケット通信料などは、ｉチャネルのサービス利用料には含まれません。
なお、待受画面にテロップとして流すことができるのは、「ベーシックチャネル」の情報のみとなります。

※ ｉチャネルはお申し込みが必要な有料サービスです（お申し込みにはｉモード契約が必要です）。
- 操作方法は→P.204

おしらせ

◆「おこのみチャネル」には、ご利用にあたり情報料がかかるものがあります。
◆「おこのみチャネル」には、ご利用にあたりチャネルを提供するIP（情報サービス提供者）に対し別途お申し込みが必要になるものがあります。
◆「ベーシックチャネル」も「おこのみチャネル」も、チャネル一覧から詳細情報を閲覧する際は、ｉチャネルのサービス利用料とは別にパケット通信料がかかります。

■ おためしサービス

ｉモードをご契約のうえｉチャネル対応端末を利用しているお客様で、ｉチャネル対応端末を利用している契約者回線についてｉチャネルを申し込んだことがない場合、一定期間、サービス利用料無料で「ベーシックチャネル」を利用できます。なお、チャネル一覧から詳細情報を閲覧される際にかかるパケット通信料は、お客様のご負担となります。

- おためしサービスのご利用にあたっての注意事項およびご利用方法の詳細等については、『ご利用ガイドブック（ｉモード<FOMA>編）』をご覧ください。

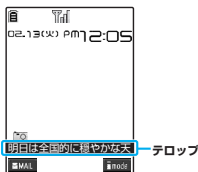
次ページにつづく

おしらせ

◆おためしサービスは、原則としてFOMAカードを挿入してｉチャネル対応端末の利用を開始した際、一定時間経過後に自動的に開始されます。自動的に開始しない場合は、ch を押すことで開始できます。
◆おためしサービスを利用できるのは、1つのご契約者回線につき1回のみです。
◆おためしサービスは開始後一定期間経過すると、自動的に終了します。また途中で終了したい場合の操作方法については、『ご利用ガイドブック（ｉモード<FOMA>編）』をご参照ください。

● 待受画面のテロップ表示について

ｉチャネルをご契約された場合、情報を受信したタイミングで待受画面のテロップに自動的に情報が流れます。

- ｉチャネル情報を受信中は が点滅します。
- 「ｉチャネル設定」でテロップ表示について設定することができます。→P.205

おしらせ

◆待受画面にｉモーションを設定していても、テロップは表示されます。
◆FOMAカード未挿入時、公共モード（ドライブモード）設定中、省電力モード時は、テロップは表示されません。
◆セルフモード設定中でも、待受画面のテロップは表示できます。

チャネル一覧からサイトを表示する

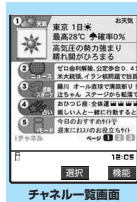
チャネル一覧を表示し、ｉチャネルの情報サイトにアクセスします。
チャネル画面には公式のチャネルと一般のチャネルを合わせて最大15件まで表示することができます。

1 待受画面表示中▶ch

「チャネル一覧画面」が表示されます。
ｉモードメニューで「ｉチャネル」を選択しても、チャネル一覧画面を表示することができます。

チャネル一覧画面

機能メニュー➡P.204

2 チャネル項目を選択

おしらせ

◆ｉチャネルをご契約されていない場合は、ｉチャネルを起動するとｉチャネル未契約のお知らせが表示されます。その画面から『ご説明＆お申込』を選択するとｉチャネル紹介ページになり、ｉチャネル契約をすることができます。通信状態によっては、ｉチャネルがご契約されていないことを通知するメッセージが表示され、元の画面にもどることがあります。
◆ご利用の状況により、チャネル一覧を表示したタイミングで情報を受信する場合があります。
◆情報を受信しても、着信音・バイブレータは鳴動しません。また、着信ランプも点灯／点滅しません。
◆通常は変更する必要はありませんが、ｉチャネルの接続先を変更することができます。→P.194
◆以下の場合、チャネル情報が取得できなかったというメッセージが表示されることがあります。
- 着信通知を受信したとき
- FOMA端末を初期化したとき
- FOMAカードを差し替えたとき
- 接続先選択を変更したとき

チャネル一覧画面の機能メニュー

デスクトップ貼付	チャネル一覧画面を起動するデスクトップアイコンとして待受画面に貼り付けます。「デスクトップアイコンを利用する」→P.130
リトライ	表示中のチャネル一覧画面を最初から表示します。
効果音設定	チャネル一覧画面の効果音を鳴らすかどうか（ON／OFF）を設定します。

おしらせ

◆チャネル一覧画面で設定した「効果音設定」は、「ｉモード設定」の「効果音設定」（P.194）に反映されます。

〈ｉチャネル設定〉

ｉチャネルの設定を行う

お買い上げ時	テロップ表示設定：表示する テロップ速度設定：標準

待受画面にテロップを表示するかしないか、また表示するときのスクロール速度を設定します。

● テロップ表示設定を「受信時のみ表示する」に設定すると、新しい情報を受信したときにテロップが2回表示されます。

1 MENU ▶「ｉモード」▶「ｉモード設定」▶「ｉチャネル設定」▶以下の項目から選択

テロップ表示設定	待受画面にチャネル情報をテロップ表示するかしないか（表示する／受信時のみ表示する／表示しない）を設定します。
テロップ速度設定	テロップのスクロール速度（標準／高速／低速）を設定します。

おしらせ

◆FOMAカード未挿入時、公共モード（ドライブモード）設定中の場合は、ｉチャネルの設定を変更できません。

＜テロップ表示設定＞

◆ｉチャネル解約前にｉモード解約を行った場合や、ｉチャネル解約後は、テロップ表示設定はそのままになりますが､テロップは自動的に表示されなくなります。

●メール

ｉモードメールとは 208
メールメニューを表示する .... メールメニュー 210

■ｉモードメール／デコメールを作成する

ｉモードメールを作成して送信する ..... ｉモードメール作成･送信 211
デコメールを作成して送信する .... デコメール 214
自動的にメールの文面に合った装飾をする .... おまかせデコメール 216
テンプレートを利用してデコメールを作成する 217
ファイルを添付する................ メロディ／画像／動画／ｉモーション 218
ｉモードメールを保存しておき、後で送信する .... ｉモードメール保存 220
宛先をメールメンバーに登録する 220

■ｉモードメールを受ける・操作する

ｉモードメールを受信したときは .... メール自動受信 221
ｉモードメールを選択して受信する .... メール選択受信 223
ｉモードメールがあるかどうかを問い合わせる .... ｉモード問い合わせ 224
ｉモードメールに返事を出す .... ｉモードメール返信 225
ｉモードメールをほかの宛先に転送する ... ｉモードメール転送 226
メールアドレスを電話帳に登録する 226
ｉモードメールからメロディを再生・保存する ..... メロディ保存 227
画像を表示・保存する....................................... 画像メール受信 227
ｉモーションメールからｉモーションを再生・保存する
.... ｉモーションメール 227

■メールBOXを操作する

送信／受信メールBOXのメールを表示する
.... 送信メールBOX／受信メールBOX 228

■メールの履歴を利用する

メールの履歴を利用する.......... 送信アドレス一覧／受信アドレス一覧 241

■メールの設定を行う

FOMA端末のメール機能を設定する...................... メール設定 242

■チャットメールを使う

チャットメールを作成して送信する ..... チャットメール作成･送信 244
チャットグループにメンバーを登録する 247

■SMS（ショートメッセージ）を使う

SMS（ショートメッセージ）を作成して送信する...... SMS作成･送信 249
SMS（ショートメッセージ）を受信したときは....... SMS受信 250
SMS（ショートメッセージ）があるかどうかを
問い合わせる .... SMS問い合わせ 251
SMS（ショートメッセージ）の設定を行う .... SMS設定 252
SMS（ショートメッセージ）をFOMAカードに保存する
.... FOMAカード操作 252

ｉモードメールとは

FOMA端末はｉモードメールとSMSを送受信できるメール機能を持っています。
ｉモードメールをご利用いただくには「ｉモード」のご契約が必要です。
ｉモードメールの送信、受信方法について
→P.211、221

- ｉモードをご契約されていなくても、FOMA端末との間でSMSの送受信（文字メッセージのやりとり）ができます。SMSの送信、受信方法について→P.249、250

● ｉモードメールについて

ｉモードをご契約されるだけで、ｉモード端末（mova端末含む）間はもちろん、インターネットを経由してe-mail（電子メール）とのメールのやりとりができます。
ｉモードご契約時のメールアドレスは以下のようになります。

■新規にｉモードをご契約の場合

@マークより前がランダムな英数字の組み合わせになっていますので、ｉモードご契約後にお客様のメールアドレスをご確認ください。
（例） abc1234～789xyz@docomo.ne.jp

＜お客様のメールアドレスの確認方法＞
Menu画面▶料金＆お申込・設定▶メール設定▶「アドレス確認」

- ｉモード端末（mova端末含む）間でメールをやりとりするときは、@マークより前の部分のみのアドレスで送信可能です。
- パソコンなどのe-mailからメールを受信する場合は、「@docomo.ne.jp」も含めたアドレス全体を使用します。
- ｉモードメールの送信方法は→P.211
- ｉモードメールの受信方法は→P.221
- ｉモードのサービスの詳細な内容については、最新の『ご利用ガイドブック（ｉモード＜FOMA＞編）』をご覧ください。

■メール選択受信

ｉモードセンターに保管されているメールの題名などを確認し、受信するメールを選択したり、受信前にｉモードセンターでメールを削除することができます。→P.223

■メール設定を行う

以下の各種設定を行うことができます。

＜設定方法＞
Menu画面▶料金＆お申込・設定▶メール設定▶「各設定」

※詳細はｉモードご契約時にお渡しいたします『ご利用ガイドブック（ｉモード＜FOMA＞編）』をご覧ください。

■メールアドレス変更【メールアドレス設定（アドレス変更）】

たとえば「docomo.taro_ab1234yz@docomo.ne.jp」のように、メールアドレスの@マークより前の部分を、お好みのアドレスに変更することができます。

■メールアドレス確認【メールアドレス設定（アドレス確認）】

現在設定されているメールアドレスを確認することができます。

■シークレットコード登録【メールアドレス設定（その他設定）▶シークレットコード登録】

電話番号のアドレス利用時に、メールアドレスに加えて4桁のシークレットコードを登録できます。シークレットコードを指定していないメールは受信されなくなるため、不要なメールの受信を避けられます。

■メールアドレスリセット【メールアドレス設定（その他設定）▶アドレスリセット】

メールアドレスを「携帯電話番号@docomo.ne.jp」にすることができます。

■迷惑メール対策

以下のいずれかの方法でメールの受信／拒否設定を行うと、メールの受信を制限することができます。

① 受信／拒否設定【メール受信設定（迷惑メール対策）▶受信／拒否設定】
- ドコモ、au、ソフトバンク、ツーカー、ウィルコムのうち、指定する会社からのメールの受信ができます。
また上記の会社以外から送信されたメールのうち、指定するドメインまたはアドレスから受信できます。そして、インターネットからの携帯・PHSドメインになりすましたメールを拒否することもできます。

② SMS拒否設定【メール受信設定（迷惑メール対策）▶SMS拒否設定】
- 受信するSMSを制限することができ、「SMS一括拒否」「非通知SMS拒否」「国際SMS拒否」「非通知SMS及び国際SMS拒否」の4つの中からいずれか1つを選択いただけます。また設定の状況を確認することができます。

③ ｉモードメール大量送信者からのメール受信制限【メール受信設定（その他設定）▶ｉモードメール大量送信者からのメール受信制限】
- 1日に1台のｉモード端末（mova端末含む）から送信される200通目以降のｉモードメールを受信拒否します。初期設定では「拒否する」に設定されていますので、大量送信者からのメールを拒否したい場合は設定する必要はありません。

④ 未承諾広告※メール拒否【メール受信設定（その他設定）▶未承諾広告※メール拒否】
- 受信者の同意なしに一方的に広告･宣伝を行うために送信される、メール件名欄の最前部に「未承諾広告※」と記載されているメールを受信拒否します。初期設定では「拒否する」に設定されていますので、未承諾広告※メールを拒否したい場合は設定する必要はありません。（送信者はメール件名欄の最前部に「未承諾広告※」（全角6文字）と記載することが法律で義務づけられています。）

■メールサイズ制限【メール受信設定（メールサイズ制限）】

あらかじめ指定したサイズによって、受信するｉモードメールを制限することができます。

■設定状況確認【メール受信設定（設定状況確認）】

現在設定されているメール受信／拒否などの設定状況を確認できます。

■メール機能停止【メール機能停止】

メール機能を利用しない場合、ｉモードセンターでのメール機能停止を行うことができます。

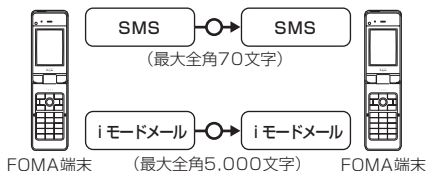
■迷惑メールを防ぐために

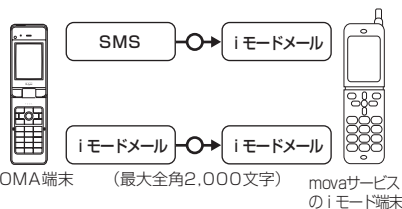
メールアドレス変更や、アドレス指定受信／拒否などの利用は、迷惑メールを防ぐのに効果的です。

● SMS（ショートメッセージ）の宛先

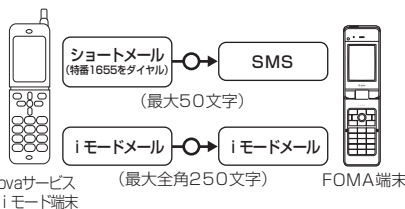
SMSの宛先は「ご契約の携帯電話番号」です。

● 3種類のメール機能の送受信について

FOMA端末 ⇒ FOMA端末へ

FOMA端末 ⇒ movaサービスのｉモード端末へ

FOMA端末から送信したSMSは、movaサービスのｉモード端末ではｉモードメールとして受信されます。

※「SMS送達通知設定」（P.250）を「要求する」に設定した場合は、movaへSMSを送信することはできません。

movaサービスのｉモード端末 ⇒ FOMA端末へ

movaサービスのｉモード端末から送信したショートメール※は、FOMA端末ではSMSとして受信できます。

※：ショートメールとは、ドコモの携帯電話どうしで文字メッセージをやりとりできるサービスです。
- FOMA端末では、movaサービスのｉモード端末などから送られてきたショートメールをSMSとして受信します。

● メールを受信できないとき

ｉモードセンターに届いたメールは、すぐにお客様のｉモード端末に送信されます。ただし、お客様のｉモード端末の電源が入っていない場合やｉモード圏外などで受信できないときは、メールはｉモードセンターに保管されます。
ｉモードセンターで保管しているときは、一定の時間をおいて最大3回まで再送します。
また、メール選択受信設定により、ｉモードセンターでｉモードメールを選択して受信することができます。

次ページにつづく

● こんなこともできます

■ファイル添付メール

- **メロディ添付メール**
サイトやインターネットホームページからダウンロードしたメロディを、ｉモードメールに添付して送受信できます（メール添付やFOMA端末外への出力が禁止されているメロディファイルは送信できません）。
  - ｉモードメールにメロディを添付して送信するには→P.218
  - メロディが添付されたｉモードメールを受信したときは→P.227
- **画像添付メール**
サイトやインターネットホームページからダウンロードした静止画ファイルを、ｉモードメールに添付して送受信できます（メール添付やFOMA端末外への出力が禁止されている静止画ファイルは送信できません）。
  - ｉモードメールに画像を添付して送信するには→P.218
  - 画像が添付されたｉモードメールを受信したときは→P.227

■ｉモーションメール

ｉモーションメール対応端末で撮影した動画やサイトから取得した動画をｉモーションメール対応端末およびパソコンや他社携帯電話の間で送受信できます（メール添付やFOMA端末外への出力が禁止されている動画ファイルは送信できません）。

- ｉモーションメールを送信するには→P.218
- ｉモーションメールを受信したときは→P.227

■デコメール

ｉモードメール編集時に文字の大きさや背景の色などを変えたり、画像を本文中に貼り付けることによって、自分のオリジナルメールを作成して送信したり、装飾された楽しいメールを受信することが可能になります（パソコンから装飾したメールを受信する場合、ｉモード端末では非対応の装飾があるため、パソコン上と同じ動作にならない場合もあります）。
デコメールを非対応端末へ送信した場合は、URLの記載されたメールとして受信されます。その場合、受信者は表示されているURLを選択し、デコメールを閲覧できます。

- デコメールを作成して送信する→P.214
- 対応機種：デコメール対応機種でご利用いただけます。詳しくは『ご利用ガイドブック（ｉモード<FOMA>編）』をご覧ください。

おしらせ

<ファイル送信>

◆内蔵カメラで撮影した静止画の場合、「ファイル制限」を「あり」に設定していても送信できます。

◆movaサービスのｉモード端末（501全機種、R691i、R209iを除く）へｉモードメールを送信した場合、添付できる画像はJPEG形式の画像で１ファイルのみ送信できます。

■お願い

- 受信メール、送信メール、保存メールの内容は、別にメモを取るなどして保管することをおすすめします。パソコンをお持ちの場合は、ドコモケータイdatalink（P.322）とFOMA USB接続ケーブル（別売）を利用して、受信メール、送信メール、保存メールの内容をパソコンに保管することもできます。
- FOMA端末の故障・修理やその他の取扱いによって、受信メール、送信メール、保存メールの内容が消失する場合があります。当社としては責任を負いかねますので、万一に備え受信メール、送信メール、保存メールの内容は、別にメモをお取りくださるようお願いします。

〈メールメニュー〉

メールメニューを表示する

1 MENU ▶「メール」

待受画面表示中に✉［✉MAIL］を押してもメールメニューを表示できます。

受信BOX	受信フォルダ一覧画面を表示します。フォルダごとにメールを分けて管理できます。チャットメールは、専用のフォルダに振り分けられます。フォルダを開くと、受信したｉモードメールやSMSの履歴、内容を確認できます。→P.228
送信BOX	送信フォルダ一覧画面を表示します。フォルダごとにメールを分けて管理できます。チャットメールは、専用のフォルダに振り分けられます。フォルダを開くと、送信したｉモードメールやSMSの履歴、内容を確認できます。→P.228
保存BOX	保存メール一覧画面を表示します。一時保存したｉモードメールやSMSの内容を確認できます。→P.220
新規メール作成	ｉモードメールを作成する画面を表示します。→P.211
チャットメール	「チャット画面」を表示します。→P.245
SMS作成	SMSを作成する画面を表示します。→P.249
ｉモード問い合わせ	ｉモード問い合わせを行って、ｉモードセンターに保管されているｉモードメールを受信します。→P.224
メール選択受信	「メール選択受信設定」を「ON」に設定している場合、ｉモードセンターに保管されているｉモードメールの題名などを確認して受信するｉモードメールを選択したり、受信前にｉモードセンターでｉモードメールを削除できます。→P.223

SMS問い合わせ	「SMS問い合わせ」を行って、SMSセンターに保管されているSMSを受信します。→P.251
テンプレート	テンプレート画面を表示します。→P.218
メール設定	「FOMA端末のメール機能を設定する」→P.242

〈ｉモードメール作成・送信〉

ｉモードメールを作成して送信する

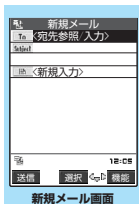
ｉモードメールを新規に作成して送信します。

● メール本文の文字色やサイズを変更したり、本文に動きを付けたり、画像やラインを挿入して装飾できます。デコメールについて→P.214

1 MENU ▶「メール」▶「新規メール作成」

「新規メール画面」が表示されます。

「メールメニュー」表示中に ✉[✉NEW]を選択しても、「新規メール画面」が表示されます。

新規メール画面

機能メニュー ➡P.212

2「To」▶宛先の入力方法を選択

電話帳	電話帳を検索してメールアドレスを入力します。 電話帳の検索のしかた（検索方法の指定）→P.98
送信アドレス一覧	送信アドレス一覧からメールアドレスを入力します。
受信アドレス一覧	受信アドレス一覧からメールアドレスを入力します。
メールメンバー	メールメンバーからメールアドレスを入力します。 「メールメンバーから宛先を入力する」→P.213
直接編集	直接メールアドレスを入力します。

3「Subject」

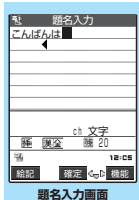
「題名入力画面」が表示されます。

4 題名を入力

題名に入力できる文字数は全角15文字、半角30文字までです。

題名入力画面

機能メニュー ➡P.213

5「📄」

「本文入力画面」が表示されます。

本文入力画面

機能メニュー ➡P.213

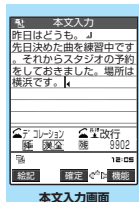
6 本文を入力

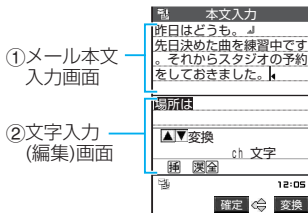
本文に入力できる文字数は全角で5,000文字までです。

本文編集中に改行することもできます。改行したときは「↵」も全角1文字分としてカウントされます。スペースも文字と同じように文字数にカウントされます。

本文入力画面の文字サイズを選択することもできます。→P.325

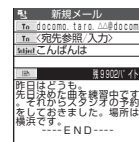
デコメールを作成して送信することもできます。→P.214

テンプレートを利用してデコメールを作成し送信することもできます。→P.217

■ ｉモードメール本文入力中の画面について

ｉモードメール本文入力中の画面は以下のように表示されます。

① メール本文入力画面：入力を確定したメール本文が表示されます。

② 文字入力（編集）画面：文字入力エリア、操作ガイダンスエリア、情報表示エリアが表示されます。入力確定前の文字はここに表示されます。
文字入力（編集）画面でワード予測機能を利用して入力できます。→P.327

7 内容を確認 ▶ ✉［送信］

メール送信中のアニメーション画面が表示され、ｉモードメールが送信されます。● を押すとメールメニュー画面に戻ります。

■ 送信を途中で中止する場合

▶ i［中止］または CLR（1秒以上）

ただし、タイミングによりｉモードメールが送信されることもあります。

■ 再度送信の要求がある場合

▶「YES」

● 電話帳の画面から、ｉモードメールを作成する

電話帳に登録されているメールアドレスを検索して表示し、［MAIL］を押します。
表示されていたメールアドレスが新規メール画面の宛先に貼り付けられます。

おしらせ

◆FOMA端末に保存されている送信メール（ｉモードメールとSMSの合計）が400件または最大保存容量を超えた場合は、送信メールのうち古いメールから順に自動的に上書きされます。ただし、シークレットフォルダ内のｉモードメールやSMSは削除されません。必要なメールは保護することをおすすめします。
◆題名や本文に半角カタカナや絵文字が使われていると受信側で正しく表示されないことがあるため、ｉモード端末どうしでのメールのやりとり以外に使わないでください。
◆宛先が電話番号で、先頭に「184」または「186」が入力されている場合、送信しようとすると「184」または「186」を削除して送信することを確認するメッセージが表示されます。「YES」を選択すると「184」または「186」を削除して送信します。「NO」を選択すると元の画面に戻ります。
◆宛先に「,（カンマ）」やスペース（空白）が入力されている場合は送信できません。
◆電波状況により、相手の方に文字が正しく表示されない場合があります。また、送信できていても「送信できませんでした」と表示される場合があります。
◆「シークレットコード」（P.101）が設定されている電話帳の宛先を入力した場合は、送信するときに自動的にシークレットコードが追加されます。ただし、送信したメールの宛先にはシークレットコードは保存されません。

新規メール画面の機能メニュー

項目	説明
送信	ｉモードメールを送信します。
送信プレビュー	送信する前にメールの宛先や内容の確認ができます。また送信プレビュー中に機能メニューから「保存」を選択すると、メールを保存することができます。
保存	編集中のメールを保存BOXに保存します。 「ｉモードメールを保存する」→P.220
宛先削除	追加した宛先を削除します。削除した宛先の後に宛先が入力されているときは、宛先はつめて表示されます。宛先が1件しか入力されていないときは、宛先を削除できません。
宛先タイプ変更	宛先を反転表示した状態で宛先のタイプを変更します。
・To	送信相手の宛先です。Toの宛先に入力したメールアドレスは、ほかの送信相手に表示されます。
・Cc	同報の宛先です。Ccの宛先に入力したメールアドレスは、ほかの送信相手に表示されます。Toの宛先に送信するメールのコピーとしてほかの宛先に送信する場合に選択します。
・Bcc	同報の宛先です。Bccの宛先に入力したメールアドレスは、ほかの送信相手には表示されません。
テンプレート	テンプレートを利用してデコメールを作成し送信することもできます。 「テンプレートを利用してデコメールを作成する」→P.217
添付ファイル追加	ｉモードメールに画像、ｉモーション、メロディのデータを添付します。 「ファイルを添付する」→P.218
カメラ起動	カメラ機能を起動します。 「静止画を撮影する」→P.168 「動画を撮影する」→P.173
・フォトモード	カメラ機能を起動して静止画を撮影します。撮影できる画像サイズは待受（240×320）またはSubQCIF（128×96）です。
・ムービーモード	カメラ機能を起動して動画を撮影します。動画容量設定はメール（小）またはメール（大）です。撮影できる画像サイズはQCIF（176×144）またはSubQCIF（128×96）です。
添付ファイル削除	反転表示した添付ファイルを削除します。
添付ファイル全削除	添付ファイルをすべて削除します。
冒頭文貼付	メールの本文に冒頭文を貼り付けます。
署名貼付	メールの本文に署名を貼り付けます。
本文消去	編集中のメールの本文を消去します。
メール削除	編集中のメールを削除します。

おしらせ

<宛先タイプ変更>
◆宛先をTo、Cc、Bccに分けて送信することができます。ただし、「To」を設定しないでｉモードメールは送信できません。
◆「To」と「Cc」に入力したメールアドレスは、受信側に表示されます。ただし、受信側の端末や機器、メールソフトなどによっては、表示されない場合があります。

<冒頭文貼付><署名貼付>
◆「冒頭文／署名設定」で「自動貼付」のチェックボックスを選択していると、ｉモードメール作成時に自動的に冒頭文や署名が貼り付けられます。→P.243

電話帳から宛先を検索する

電話帳でメールアドレスを検索して、宛先に入力することができます。

1 **「新規メール画面」（P.211）▶「To」▶「電話帳」▶検索する方法を選択**

電話帳の検索のしかた（検索方法の指定）→P.98

❷ 電話帳詳細画面でメールアドレスを選択

❸ 題名、本文を編集して送信

これ以降の詳しい操作手順については、P.211の操作3～7を参照してください。

宛先を追加する

宛先を追加して、一度に複数の宛先にメールを送信することができます（同報送信）。

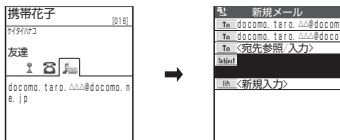
● 宛先は5件まで入力できます。

<例：電話帳を参照して宛先を追加するとき>

❶「新規メール画面」（P.211）▶宛先が未入力の「 To 」▶「電話帳」▶検索する方法を選択

電話帳の検索のしかた（検索方法の指定）→P.98

❷ 電話帳詳細画面でメールアドレスを選択

さらに宛先を追加するときは操作1～2を繰り返します。

➡
■ 入力した宛先を変更する場合

▶変更したい宛先を選択▶宛先の入力方法を選択

上書きするかどうかを確認するメッセージが表示された場合は「YES」を選択してください。

❸ 題名、本文を編集して送信

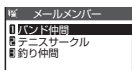
これ以降の詳しい操作手順については、P.211の操作3～7を参照してください。

メールメンバーから宛先を入力する〈メールメンバー〉

メールメンバーを利用すると、一度に複数の宛先を指定できます。
メールメンバーを利用するには、あらかじめメールメンバーにメールアドレスを登録しておく必要があります。→P.220

❶「新規メール画面」（P.211）▶「 To 」▶「メールメンバー」

❷ メールメンバーを選択

メールメンバーを選択すると、宛先に入力されます。

❸ 題名、本文を編集して送信

これ以降の詳しい操作手順については、P.211の操作3～7を参照してください。

おしらせ

◆すでに宛先が入力されているときにメールメンバーで宛先を指定すると、参照方法を選択後に、宛先を上書きするかどうかを確認するメッセージが表示されます。すべて上書きするときは「YES」を選択します。上書きしないときは「NO」を選択します。

宛先入力／題名入力画面の機能メニュー

●「文字入力（編集）画面」の機能メニューと同じです。→P.332

本文入力画面の機能メニュー

● 下記の項目以外については、「文字入力（編集）画面」の機能メニュー（P.332）を参照してください。

受信メール参照	「受信メールを参照する」→P.214
デコレーション	「本文を装飾する」→P.214
範囲選択	範囲選択した文字の装飾、コピーや切り取りができます。→P.216
テンプレート読込み	テンプレートを利用してデコメールを作成することができます。「テンプレートを利用してデコメールを作成する」→P.217
カメラ起動	カメラを起動します。→P.168
プロパティ	本文に挿入した画像のファイル名、ファイルサイズを表示します。
元に戻す	入力した文字や本文の装飾を1つ前の状態に戻します。
プレビュー	本文のプレビュー画面を表示します。

おしらせ

<カメラ起動>

◆カメラ機能で撮影できる静止画の画像サイズはSubQCIF（128×96）です。

<元に戻す>

◆「元に戻す」で1つ前の状態に戻した後、「元に戻す」の取り消しはできません。

◆本文入力画面で ⦿ を押して新規メール画面に戻ると、再度本文入力画面を表示しても「元に戻す」で1つ前の状態には戻せません（本文入力画面で「プレビュー」を選択してプレビューを表示後の場合は戻すことができます）。

<プレビュー>

◆プレビュー画面でメール本文に電話番号やメールアドレス、URLが入力されている場合は、アンダーラインで表示されますが、Phone To（AV Phone To）機能、Mail To機能、Web To機能を利用することはできません。

受信メールを参照する

本文入力時に受信メールを参照できます。

1 「本文入力画面」（P.211）▶[i]［機能］▶「受信メール参照」

受信メールを参照します。
- 返信メール／転送メール作成時は、返信元／転送元のメール詳細画面が表示されます。
- その他の場合は、受信フォルダ一覧画面が表示されます。

[✉]［終了］を押すと本文入力画面に戻ります。

おしらせ

◆受信メール参照時には、機能メニューから以下の機能が実行できます。
- 受信メール一覧画面：「メール検索」「全表示」「ソート」「フィルタ」「一覧表示切替」
- 受信メール詳細画面：「コピー」

〈デコメール〉

デコメールを作成して送信する

デコメールは、ｉモードメール（テキストメール）本文の文字色、文字サイズや背景色などを変更したり、文字に動きを付けたり、ラインや画像を本文内に挿入して表現力豊かなメールにしたものです。

- デコメールの作成方法には、デコレーションを選択してから本文を入力する方法と、本文を入力してから装飾する方法があります。

おしらせ

◆受信したデコメールを引用返信、転送した場合は、装飾と挿入した画像は引用された状態で本文が表示されます。
◆メール送信できない画像が含まれたデコメールを引用返信、転送した場合は、画像が削除されます。

デコメールを作成する

- デコメールのイメージは、「マイピクチャ」の「デコメールピクチャ」フォルダに保存されています。
  お買い上げ時に登録されているデコメールピクチャ→P.343
- デコメールで本文を装飾すると、テキストメールでの本文入力より入力できる文字数が減ります。
- 装飾に応じて、文字入力および装飾で使用できる残り文字数が少なくなります。
- 装飾内容は、本文入力画面の機能メニューから「プレビュー」を選択して確認できます。

<例：文字サイズを変更する場合>

1 「新規メール画面」（P.211）で宛先、題名を入力▶「[本文]」

「本文入力画面」が表示されます。

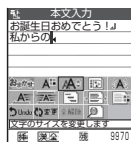
2 本文を入力▶[i]［機能］▶「デコレーション」

デコレーションメニューが表示されます。
新規ｉモードメール作成中の本文入力画面で[✆]を押しても、デコレーションメニューを表示できます。

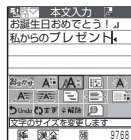
3 「[AA]」

■入力済みの文字をデコレーションする場合

▶「[変更]」▶[◎]で装飾する文字の始点を選択▶[◎]で装飾する文字の終点を選択▶「[AA]」▶サイズを選択

範囲を指定した文字のサイズが変更されます。

4 サイズを選択

5 装飾する文字を入力

[i]［閉］または[CLR]を押すとデコレーションメニューが終了します。

本文を装飾する

1 「本文入力画面」（P.211）▶[i]［機能］▶「デコレーション」▶以下の項目から選択

[おまかせ]	「自動的にメールの文面に合った装飾をする」→P.216
[A]	▶[◎]で色を選択▶本文を入力 入力する文字、ラインの色をカラーパレットから選択します。[✉]［切替］を押すごとにカラーパレットが25色と256色に切り替わります。

		▶以下の項目から選択▶本文を入力 入力する文字のサイズを選択します。
		大きい文字サイズに設定します。
		標準の文字サイズに設定します。
		小さい文字サイズに設定します。
		マイピクチャに保存されている画像を選択し、挿入します。→P.255
		▶A開始▶点滅させる文字を入力 入力した文字を点滅させます。
	A開始	点滅を開始する位置を指定します。
	A終了	点滅を終了する位置を指定します。
		▶A開始▶テロップ表示させる文字を入力 入力した文字を左右スクロール（テロップ表示）させます。
	A開始	テロップを開始する位置を指定します。
	A終了	テロップを終了する位置を指定します。
		▶A開始▶スウィングさせる文字を入力 入力した文字を左右に揺らして表示（スウィング表示）させます。
	A開始	スウィングを開始する位置を指定します。
	A終了	スウィングを終了する位置を指定します。
		▶以下の項目から選択▶本文を入力 入力する文字位置を設定します。 文字位置を指定した行の長さが画面上の1行に表示しきれない場合は、複数の行にわたって文字位置が変更されます。
		文字を左寄せに指定します。
		文字を中央に指定します。
		文字を右寄せに指定します。
		ラインを挿入します。
		▶で色を選択 カラーパレットから背景色を選択します。 ［切替］を押すごとにカラーパレットが25色と256色に切り替わります。
Undo		入力した文字や本文の装飾を1つ前の状態に戻します（メール本文入力画面を終了すると利用できません）。
変更		「装飾を変更する」→P.216
全解除		すべての装飾を解除します。

	入力した文字や装飾などを、送信イメージで確認できます。

おしらせ

- ◆256色パレットで選択した最新の5色が、25色パレットの最下段に表示されます。
- ◆背景色の設定を変更すると、カーソルの色も設定した色に応じて変わります。
- ◆絵文字の色も指定した文字色で表示されます。元の色に戻したいときは「変更」を選択し、戻す範囲を指定して「解除」を選択してください。
- ◆装飾を設定している範囲内に新たに文字を入力した場合、その文字にも同じような装飾が施されます。
- ◆メール本文と画像の合計が10,000バイト（全角5,000文字相当）までとなるJPEG形式の画像またはGIF形式の画像を挿入することができます。
- ◆同一の画像を複数挿入した場合、挿入件数は1件として扱われます。ただし、一度保存や送信をした後で再編集して挿入した場合は、別途1件として扱われます。
- ◆編集画面上ですでに挿入されている画像をコピー／貼り付けした場合も同一画像の挿入とみなされ、コピー元と合わせて1件として扱われます。
- ◆アニメーションを挿入した場合、プレビュー表示時にアニメーション動作を行いますが、一定の時間が経過すると停止します。
- ◆文字を点滅、テロップあるいはスウィング表示する設定にした場合、プレビュー表示時にこれらの動作を行いますが、一定の時間が経過すると停止します。
- ◆メール作成画面の「冒頭文貼付」や「署名貼付」で、装飾されていないテキストのみの冒頭文や署名を貼り付けると、冒頭文は本文先頭の、署名は本文末の文字色、文字サイズの装飾を引き継いだ状態で貼り付けられます。
- ◆背景色によっては、画像やｉモーションの取得先URLの文字色と重なり、URLが見えない場合があります。
- ◆装飾した文字を削除しても、装飾データのみが残り、入力できる文字数が少なくなる場合があります。装飾の解除を行ってから文字を削除してください。なお、CLRを1秒以上押してすべての文字を削除した場合は、装飾データも含めてすべて削除されます。
- ◆パソコンなど、デコメール対応ｉモード端末以外とメールを送受信すると、装飾が正しく表示されない場合があります。
- ◆デコメール非対応端末にデコメールを送信した場合、ｉモードセンターで最大10日間保存されます。保存されている間はWeb To機能を利用してメールの内容をｉモードで表示することができます。

装飾を変更する

1 「本文入力画面」（P.211）▶ i ［機能］▶「デコレーション」▶「変更」▶ ✥ で始点を選択 ▶ ✥ で終点を選択 ▶ 以下の項目から選択

■ **範囲指定してから装飾を変更する場合**
▶「本文入力画面」（P.211）▶ i ［機能］▶「範囲選択」▶ ✥ で始点を選択 ▶ ✥ で終点を選択 ▶「デコレーション」▶ 以下の項目から選択

A（色）		▶ ✥ で色を選択 変更する文字、ラインの色をカラーパレットから選択します。✉［切替］を押すごとにカラーパレットが25色と256色に切り替わります。
A（サイズ）		範囲指定した文字のサイズを変更します。
		大きい文字サイズに変更します。
		標準の文字サイズに変更します。
	AAA（小）	小さい文字サイズに変更します。
A（点滅）		範囲を指定した文字の点滅を変更または解除します。
	設定	点滅の設定を変更します。
	解除	点滅を解除します。
A（テロップ）		範囲を指定した文字のテロップ表示を変更または解除します。
	設定	テロップの設定を変更します。
	解除	テロップ表示を解除します。
A（スウィング）		範囲を指定した文字のスウィングを変更または解除します。
	設定	スウィングを変更します。
	解除	スウィングを解除します。
（文字位置）		範囲を指定した文字位置を変更します。
	L	文字を左寄せに変更します。
	C	文字を中央に変更します。
	R	文字を右寄せに変更します。
Undo		入力した文字や本文の装飾を1つ前の状態に戻します（本文入力画面を終了すると利用できません）。
解除		装飾を解除します。
		入力した文字や装飾などを、送信イメージで確認できます。

おしらせ

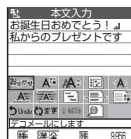
◆ 挿入した画像またはラインを変更することはできません。変更する場合は、本文入力画面で画像またはラインを削除してから挿入してください。
◆ 指定した背景色を変更する場合は、本文入力画面の機能メニューから「デコレーション」を選択し、「▦」（背景色の変更）を選択してください。

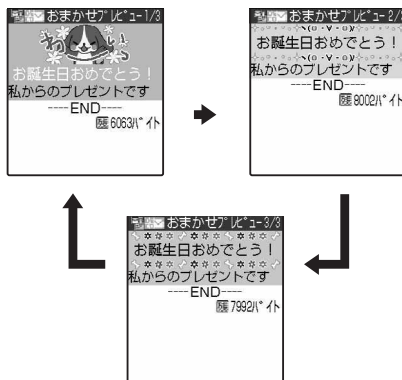
〈おまかせデコメール〉

自動的にメールの文面に合った装飾をする

テキスト入力したメールの文面から感情を理解し、最適なデコレーションを加えたデコメールに自動変換します。本文全体は感情を表す背景色で表示され、文章に合った文字色、文字サイズ、テロップ等で装飾されます。

1 「本文入力画面」（P.211）▶ i ［機能］▶「デコレーション」

2 「」

3 i ［次候補］を押して候補を選択

デコレーションは3パターン生成されます。

おしらせ

◆以下の場合、おまかせデコメールは作成できません。
- 添付ファイルが10個あるとき
- 添付ファイルと本文を合わせて残バイト数が5,000バイト以下のとき
- 本文のみで1,000バイト以上あるとき

◆おまかせデコメールのデコメール案のプレビュー表示中に、不正な終了があった場合は、表示中のデコメール案のメールデータを保存します。
◆おまかせデコメール画面から本文入力画面に戻った直後は、機能メニューの「元に戻す」は選択できません。

◆すでに本文が装飾されている状態でおまかせデコメールを実行した場合、装飾がすべて解除されることを通知するメッセージが表示されます。
◆感情の理解には次の種類があります。以下の優先順位で、本文の感情が理解されます。

優先順	感情の分類
1	急ぎ
2	好き／嫌い／喜び／怒り／哀しみ／楽しい／驚き
3	質問／アドバイス／ファイト／お誘い・募集／感想／お願い／通知／ＯＫ
4	返事／お知らせ

◆おまかせデコメールのデコレーションには、以下の内容があります。
- 背景色
- 文字色／文字サイズ（大／小）
- 文字位置（センタリング）
- テロップ／スウィング／点滅
- 画像挿入（アニメーションGIF、静止画）

◆本文の内容によって、「おまかせデコメールピクチャ」の中から最適な画像を自動的に表示します。本文の内容によっては、お客様の意図した画像が表示されない場合がありますので、あらかじめご了承ください。
お買い上げ時に登録されているおまかせデコメールピクチャ→P.344

テンプレートを利用してデコメールを作成する

お買い上げ時に登録されているテンプレートを利用して、デコメールを作成できます。テンプレートとは、レイアウトや装飾がすでに決められているデコメール用の雛形です。テンプレートを利用することにより、簡単にデコメールを作成／送信することができます。

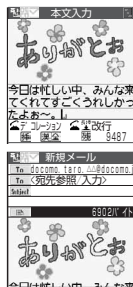
- お買い上げ時に登録されているテンプレート→P.345
- テンプレートは、サイトからダウンロードすることもできます。
  「サイトからデータファイルをダウンロードする」→P.192
- テンプレートは、テンプレートプレビュー画面で編集することができます。→P.218
- テンプレートにはあらかじめ装飾情報が含まれています。このため、テキストメールより入力できる文字数が少なくなります。
- 以下のような場合にテンプレートを使用しようとすると本文の編集内容を破棄するか確認するメッセージが表示されます。
  - すでにメール本文が入力されている場合
  - 冒頭文・署名が自動挿入されている場合
  - 添付ファイルがある場合

1 **「新規メール画面」（P.211）▶i［機能］▶「テンプレート」▶「テンプレート読込み」▶テンプレートを選択**

■ **テンプレートをプレビュー表示する場合**
▶テンプレートを反転表示▶✉［デモ］
- テンプレートがプレビュー表示されます。→P.218
- プレビュー表示中は ◎ を押してほかのテンプレートに表示を切り替えることができます。
- テンプレートが１画面に収まらない場合は ◎ でスクロールできます。
- プレビュー表示中にも、◉ を押してテンプレートを選択できます。

■ **本文入力画面からテンプレートを読み込む場合**
▶「本文入力画面」（P.211）▶i［機能］▶「テンプレート読込み」▶テンプレートを選択

2 **◉▶本文を編集**

テンプレートを適用した後も、本文を編集できます。「デコレーション」（P.214）を使い、さまざまな装飾を追加できます。

3 **◉**

編集したメール本文が確定し、新規メール画面に戻ります。

4 **✉［送信］**

テンプレートを保存する

作成中のデコメールをテンプレートとして保存することができます。

- テンプレートは最大45件まで保存することができます。
- 挿入画像以外の添付ファイルがある場合、挿入画像以外の添付ファイルは削除されます。
- テキストメールの場合は、テンプレートとして保存することができません。
- テンプレートは、メールメニューの「テンプレート」に保存されます。
- 受信メール詳細画面の機能メニュー（P.239）および送信メール詳細画面の機能メニュー（P.240）からテンプレートを保存することもできます。

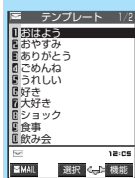
1 **「新規メール画面」（P.211）▶i［機能］▶「テンプレート」▶「テンプレート保存」▶「YES」**

おしらせ

◆作成中のメールの題名がテンプレートのタイトル名となります。題名が入力されていない場合は「YYYY/MM/DD hh:mm」となります（Y：西暦、M：月、D：日、h：時、m：分）。

テンプレートの一覧を表示する

1 MENU ▶「メール」▶「テンプレート」

「テンプレート画面」が表示されます。

テンプレート画面

機能メニュー ➡P.218

テンプレート画面の機能メニュー

ｉモードメール作成	テンプレートを利用してデコメールを作成することができます。 「テンプレートを利用してデコメールを作成する」→P.217
ソート	指定した条件に従ってテンプレートを並び替えます。
タイトル編集	▶**タイトルを入力** 入力できる文字数は、全角15文字、半角30文字までです。
情報表示	テンプレートのサイズ、保存日時、画像の有無を表示します。
保存件数確認	テンプレートの保存件数を表示します。
削除	テンプレートを削除します。
・1件削除	反転表示したテンプレートを削除します。
・選択削除	▶**で□（チェックボックス）を選択▶ [完了] ▶「YES」** 複数のテンプレートを削除できます。
・全削除	▶**端末暗証番号を入力▶「YES」** 登録されているテンプレートをすべて削除します。

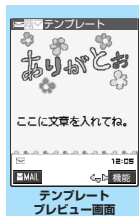
おしらせ

＜ｉモードメール作成＞

◆「冒頭文／署名設定」で冒頭文や署名を自動で貼り付けるように設定していても、冒頭文や署名は貼り付けられません。

テンプレートのプレビューを表示する

1「テンプレート画面」(P.218)▶テンプレートを選択

「テンプレートプレビュー画面」が表示されます。

テンプレートプレビュー画面

機能メニュー ➡P.218

テンプレートプレビュー画面の機能メニュー

ｉモードメール作成	テンプレートを利用してデコメールを作成することができます。 「テンプレートを利用してデコメールを作成する」→P.217
編集	テンプレートを編集します。
挿入画像保存	▶**画像を選択▶「YES」▶フォルダを選択** ■**待受画面などに設定できる画像の場合** ▶**「YES」▶項目を選択** テンプレートに挿入されている画像を保存します。待受画面などに設定しない場合は、フォルダを選択した後に「NO」を選択します。

おしらせ

＜ｉモードメール作成＞

◆「冒頭文／署名設定」で冒頭文や署名を自動で貼り付けるように設定していても、冒頭文や署名は貼り付けられません。

＜編集＞

◆別データとして保存したときのタイトル名は「YYYY/MM/DD hh:mm」となります（Y：西暦、M：月、D：日、h：時、m：分）。

◆編集後、装飾が1つもなくなった場合は保存できません。

〈メロディ／画像／動画／ｉモーション〉

ファイルを添付する

1「新規メール画面」(P.211)▶ [機能] ▶「添付ファイル追加」▶以下の項目から選択

イメージ添付	▶**フォルダを選択▶画像を選択** 画像を添付します。
ｉモーション添付	▶**フォルダを選択▶ｉモーションを選択** ｉモーションを添付します。
メロディ添付	▶**フォルダを選択▶メロディを選択** メロディを添付します。

■ 画像の一覧表示を切り替える場合

▶画像一覧表示中▶ i ［機能］▶「タイトル名一覧」

ピクチャ一覧表示がタイトル名一覧表示に切り替わります。添付できない画像は選択できません。
ピクチャ一覧表示に戻す場合は、機能メニューから「ピクチャ一覧」を選択します。

■ 画像を表示する場合

▶表示したい画像を◎で反転表示▶ ✉ ［デモ］

添付できない画像は表示できません。
一覧画面に戻るときは CLR を押します。

■ メロディを再生する場合

▶再生したいメロディを反転表示▶ ✉ ［デモ］

添付できないメロディは選択できません。
メロディの再生をとめるときは ☎、＊、＃、CLR、◎［↩］、◎[MEMO/CHECK]のいずれかを押します。
マナーモードに設定中の場合は、再生するかどうかを確認する画面が表示されます。再生するときは「YES」を選択します。

■ movaサービスのｉモード端末へ画像をｉショットとして送信する場合

画像を添付したメールをmovaサービスのｉモード端末へｉショットとして送信できます。
movaサービスのｉモード端末へ送信する場合、添付できるファイルはJPEG形式の画像1つだけです。サイトなどからダウンロードしたGIF形式の画像を添付した場合は、添付したファイルが削除されて本文だけが相手に届きます。
movaサービスのｉモード端末へ送信する場合、相手側が受信文字数設定をしていないときは、相手が受信できる本文は最大全角184文字（369バイト）になります。相手側が受信文字数設定をしているときは、相手が受信できる本文はｉショットのURL（画像の保管先）を含み全角で2,000文字までになります。

■ メールに添付するｉモーションのサイズを変更する場合

500Kバイトを超えるｉモーションを添付するときは、動画編集画面の機能メニューから「メールサイズ切り出し」を選択し、500Kバイト以下に切り出します。→P.270

おしらせ

◆ｉモードメールに添付できるファイルは以下のとおりです。

ファイルの種類	1件のメールにつき添付できる最大ファイル数
メロディ	メロディと画像を合わせて最大10件、10,000バイト（全角5,000文字相当）まで添付することができます。ファイルの大きさによって、最大ファイル数は変動します。
画像※1	
大容量画像※2	大容量画像と動画／ｉモーションは、どちらか1件だけを添付することができます。※ ※：ｉモーションによっては、添付できないものがあります。
動画／iモーション※3（ｉモーションメール）	

※1：内蔵カメラで撮影した静止画やサイトからダウンロードした10,000バイト（全角5,000文字相当）以下のJPEG形式、GIF形式の画像。
※2：10,000バイト（全角5,000文字相当）を超えて500Kバイト(全角256,000文字相当)以下のJPEG形式の画像。ただし、ｉショットセンターでｉモード対応端末で受信するのに適したサイズに変換して送信されます。10,000バイト（全角5,000文字相当）を超えるGIF形式の画像をメールに添付することはできません。
※3：500Kバイト（全角256,000文字相当）までの動画／ｉモーション

◆「イメージ添付」でQVGA（横320×縦240）または、待受（横240×縦320）を超える画像を選択した場合は、「画像添付」が表示され、「そのまま添付」、「QVGA縮小添付」から選択することができます。
◆本文（添付したファイルを含む）の残りのデータ量が、ｉモードメールで200バイト（全角100文字相当）未満、デコメールで400バイト（全角200文字相当）未満のときは、大容量画像、動画やｉモーションを添付することはできません。
◆大容量画像、動画やｉモーションを添付したときは、本文に入力できる文字数がｉモードメールで200バイト（全角100文字相当）、デコメールで400バイト（全角200文字相当）減ります。
◆ｉモーションメールを送信すると、ｉモーション閲覧用URL付メールが送信されｉモーションを閲覧することができます。
◆画像を送信した場合は、送信相手の機種によっては、画像が正しく表示されなかったり、表示できない場合があります。また、画像が粗く表示されることもあります。
◆ｉモーションメールを送信した場合、送信相手の機種によっては、動画が粗くなったり、連続静止画に変換されて表示される場合があります。
◆内蔵カメラで撮影した静止画ファイルを添付ファイルとしてｉモード端末およびパソコンや他社携帯電話へ送信できます。ただし、movaサービスのｉモード端末へは添付ファイル形式ではなく、画像閲覧用URLおよび画像の保存期限が自動的に付与されて送信され、そのURLを選択することで画像を取得できます。
◆添付されたメロディやGIF形式の画像はmovaサービスのｉモード端末では受信できません。
◆メールへの添付やFOMA端末外への出力が禁止されているファイルは、添付することができません。

◆内蔵カメラで撮影した静止画や動画の場合、「ファイル制限」が「あり」に設定されていても添付することができます。
◆受信側がFOMA N601i以外の場合、送信したメロディが正しく再生できない場合があります。

〈iモードメール保存〉

iモードメールを保存しておき、後で送信する

メールの作成中に操作を中断しなければならないときは、FOMA端末に一時保存しておくことができます。また、保存しているメールを編集して送信できます。

iモードメールを保存する

作成中のメールが保存BOXに保存されます。

● SMSと合わせて20件まで保存できます。
● 保存BOXにメールが20件保存されている場合は、メールを作成することができません。

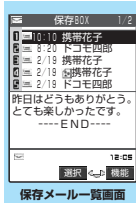
1「新規メール画面」(P.211)▶ [i] [機能] ▶「保存」

宛先、題名、本文のいずれかに文字が入力されていないと保存できません。ただし、添付ファイルがあるときは、文字が入力されていなくても保存できます。

保存したiモードメールを送信する

1 [MENU]▶「メール」▶「保存BOX」

「保存メール一覧画面」が表示されます。

2 メールを選択▶宛先、題名、本文を編集して送信

保存メール一覧画面

機能メニュー ➡P.220

保存メール一覧画面の機能メニュー

一覧表示切替	メールの一覧表示のしかたを「題名表示」、「名前表示」または「アドレス表示」から選択します。
赤外線送信	「赤外線通信でデータを1件ずつ送信する」→P.280
赤外線全送信	保存BOX内のすべてのメールを赤外線送信します。 「データをまとめて転送する」→P.280
保存件数確認	保存BOX内のメールの件数を表示します。
お預りセンターに保存	「メールをお預かりセンターに保存する」→P.239
削除	保存メールを削除します。
・1件削除	反転表示したメールを削除します。
・選択削除	▶[◎]で□(チェックボックス)を選択▶[✉][完了]▶「YES」 複数のメールを削除できます。
・全削除	▶端末暗証番号を入力▶「YES」 保存BOX内のメールをすべて削除します。

MENU97

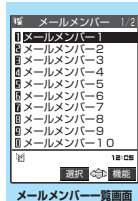
宛先をメールメンバーに登録する

お買い上げ時 未登録

複数の宛先をFOMA端末のメールメンバーに登録することにより、iモードメール作成時に、宛先にメールメンバーを指定するだけで複数の宛先を簡単に入力できます。

● メールメンバーは20件まで登録でき、1件あたりメールアドレスを5件まで登録できます。

1 [MENU]▶「ユーザデータ」▶「メールメンバー」

「メールメンバー一覧画面」が表示されます。

メールメンバー一覧画面

機能メニュー ➡P.221

2 メールメンバーを選択

「メールメンバー詳細画面」が表示されます。

メールメンバー詳細画面

機能メニュー➡P.221

3 「<未登録>」を反転表示して ✉［編集］▶メールアドレスを入力

メールアドレスに入力できる文字数は半角50文字までです。

メールアドレスを追加登録するときは、操作3を繰り返します。

■ **メールアドレスを参照入力する場合**

<例：電話帳アドレスを参照入力するとき>

▶「<未登録>」を選択▶「電話帳」▶検索項目を選択

電話帳の検索のしかた（検索方法の指定）→P.98

メールメンバー一覧画面の機能メニュー

ｉモードメール作成	メールメンバーを宛先に貼り付けたｉモードメールを作成します。 「ｉモードメールを作成して送信する」→P.211
メンバー名編集	▶**メンバー名を入力** メールメンバー名を編集します。入力できる文字数は、全角10文字、半角20文字までです。
メンバー名初期化	メールメンバー名をお買い上げ時の状態にします。

メールメンバー詳細画面の機能メニュー

アドレス編集	▶**メールアドレスを入力** メールアドレスを編集します。入力できる文字数は半角50文字までです。
アドレス参照入力	■**アドレスが登録されていない場合** ▶**以下の項目から選択** ■**アドレスが登録されている場合** ▶「**YES**」▶**以下の項目から選択** 電話帳や履歴を参照してメールアドレスを入力します。
・**電話帳**	電話帳詳細画面からメールアドレスを入力します。 電話帳の検索のしかた（検索方法の指定）→P.98
・**送信アドレス一覧**	送信アドレス一覧からメールアドレスを入力します。
・**受信アドレス一覧**	受信アドレス一覧からメールアドレスを入力します。
1件削除	反転表示したアドレスを削除します。
全削除	▶**端末暗証番号を入力**▶「**YES**」 選択されているメールメンバー内の、すべてのメンバーを削除します。

〈メール自動受信〉

ｉモードメールを受信したときは

FOMA端末が圏内にあるときは、ｉモードセンターから自動的にｉモードメールが送られてきます。

- 受信メールは、ｉモードメールとSMSと合わせて最大で1,000件※まで保存できます。
  ※：受信メールのシークレットフォルダには別途最大100件まで保存できます。
- movaサービスのｉモード端末から送られてくるｉモードメールも、FOMA端末で受信できます。

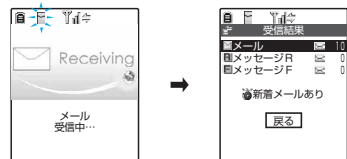
1 ｉモードメールを受信すると、「✉（白色）」のアイコンが点滅し「メール受信中…」と表示される

受信が完了すると、受信結果画面に受信したメール、メッセージR/Fの件数が表示されます。

「メール」を選択すると、受信メール一覧画面が表示されます。

何も操作しないで約15秒経過すると元の画面に戻ります。受信結果画面が表示される時間は「メール／メッセージ鳴動」の設定によって変わる場合があります。

メールの着信音の音量は「着信音量」の「メール」で設定した音量になります。

➡

■ **ｉショットサービスのメールを受信した場合**

movaサービスのｉモード端末から送信されたｉショットサービスのメールを受信した場合、画像は添付ファイルとして受信します。

■ **大容量画像が添付されているメールを受信した場合**

ｉモードメールに添付された10,000バイトを超える大容量画像を自動的に取得した場合は、「📷」が表示され、受信した画像がマイピクチャに保存されます。自動的に取得できなかった場合は、メール詳細画面を表示して「📷」を選択すると、大容量画像を取得してマイピクチャに保存します。

おしらせ

◆「✉（白色）」のアイコンが点滅しているときは、メールを受信中です。受信が完了すると、点灯します。

◆「✉（赤色）」「✉（赤色）」などのアイコンが表示されたときは、FOMA端末はこれ以上ｉモードメールを受信できません。これらのアイコンが表示されなくなるまで、不要なメールを削除するか、未読のメールを読むことで受信できるようになります。受信時には、既読の古いものから順に上書きされます。

次ページにつづく

◆FOMA端末に保存されている受信メール（ｉモードメールとSMSの合計）が1,000件、または1,000件未満でも保存容量を超えた場合は、受信時にゴミ箱のメール、古い受信メールから順に自動的に削除されます。ただし、未読のメールと保護されている受信メール、シークレットフォルダ内のｉモードメールやSMSは削除されません。必要な受信メールは保護することをおすすめします。→P.236
◆「メール選択受信設定」(P.242)を「ON」にし、ｉモードメールを自動受信しないように設定すると、送られてきたｉモードメールはｉモードセンターに保管されます（待受画面にはｉモードセンターにメールが保管されていることを示すメッセージと「」のアイコンが表示されます）。この場合は、「ｉモード問い合わせ」(P.224）を行ってｉモードセンターに保管されているｉモードメールをまとめて受信したり、「メール選択受信」によりｉモードセンターに保管されているｉモードメールの題名などを確認してから選択して受信できます。→P.223
◆極端に容量の大きいメールはｉモードセンターで受け付けないことがあります。
◆メールに添付されているメロディや画像を受信するかどうかを「添付ファイル設定」(P.242）で設定できます。
◆FOMA端末がｉモードメールを受信すると、ｉモードセンターに保管されていたｉモードメールは削除されます。
◆ｉモードメールではメロディや画像を添付ファイルとして送受信できます。対応していない添付ファイルはｉモードセンターで自動的に削除されます。添付ファイルが削除された場合は、「添付ファイル削除」のメッセージが追加されます。
◆新しいｉモードメールが届いたときは、ｉモードセンターに保管されているほかのｉモードメールやメッセージR/Fもあわせて受信します。
◆To、Cc、Bccを設定できる端末からｉモードメールを受信した場合、自分がTo、Cc、Bccのうちどの宛先タイプで受信したかは、メール詳細画面で確認できます。→P.230
◆あらかじめ、受信するｉモードメールのサイズを制限できます。→P.209
◆複数のｉモードメール、SMS、チャットメール、メッセージR/Fを同時に受信したときは、チャットメールに設定されている条件で着信音が鳴り、着信ランプが点滅します。

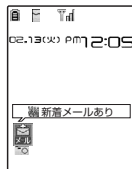
<着信音動作と着信ランプ動作の優先順位>

◆ｉモードメールを受信したときの着信音とイルミネーションの設定の優先順位は以下のとおりです。
①メールアドレスごとに指定した「発着信識別機能」→P.105
②グループごとに指定した「グループ識別機能」→P.105
③「着信音選択」／「スタイルモード」→P.112、134、「着信イルミネーション」→P.127

新着ｉモードメールを表示する

● 新着メールのデスクトップアイコンを選択すると、そのメールの本文の内容にあった感情のアイコンを表示します。

1 待受画面表示中▶▶「」

「（白色）」のアイコンを選択すると未読メールを一覧表示します。未読メール一覧画面の機能メニューについては、受信メール一覧画面の機能メニュー（P.236）を参照してください。

おしらせ

◆表示できない文字はスペースで表示されます。
◆ｉモードメールの本文が受信可能な文字数を超えた場合は、本文の最後に「/」または「//」が挿入され、超えた部分が自動的に削除されます。
◆受信するｉモードメールのサイズが料金＆お申込・設定の「メールサイズ制限」で設定したサイズ（データ量）を超えた場合、添付ファイルや貼付データはｉモードセンターで削除され、再取得はできません。
◆ｉモードメールに添付された画像ファイルは正しく表示できない場合があります。横240ドットを超える場合は、縮小して表示されます。
◆デコメールの背景色によっては、画像やｉモーション取得先URLの文字色と重なり、URLが見えない場合があります。
◆パソコンなどから送信された装飾付きのメール（HTMLメール）を受信した場合、その装飾が正しく表示されないことがあります。
◆パソコンなどから受信したメールの場合、そのメール本文中のPhone To機能、AV Phone To機能、Mail To機能、Web To機能が使用できないことがあります。

● 感情お知らせメールについて

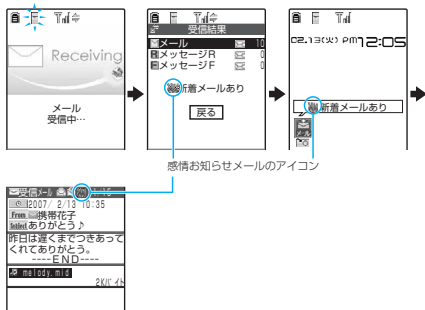
メールを受信したとき、そのメールの内容に合った感情を、アイコンでお知らせします。
また、受信したメールにあらかじめ指定したキーワードが含まれているときにもアイコンでお知らせします。

- 表示される感情お知らせメールのアイコンには次の種類があります。

アイコン	意味	アイコン	意味	アイコン	意味
	急ぎ		アドバイス		OK
	好き		ファイト		返事
	嫌い		質問		お知らせ
	喜び		お誘い・募集		怒り
	感想		哀しみ		お願い
	楽しい		通知	—	アイコン通知対象外※
	驚き				

※：「アイコン通知対象外」は、以下のようなメールなどで表示されます。
- 赤外線通信やケーブル接続により転送されたメール
- お預かりセンターから復元したメール
- FOMAカードからコピーまたは移動したSMS
- FOMAカードのSMS

- アイコンは、「感情／キーワード通知設定」で表示するかどうかを設定できます。→P.244
- 表示されるキーワード通知のアイコンは次の3種類です。
  「キーワード通知」の内容は、「感情／キーワード通知設定」で設定できます。→P.244

- 受信したメールに複数の感情お知らせメールのアイコンや、キーワード通知で指定したアイコンが表示される内容が含まれる場合は、以下の優先順位でアイコンが表示されます。
  ①キーワード通知1　②キーワード通知2
  ③キーワード通知3　④感情通知
- フィルタ機能を使うと、指定した感情お知らせアイコンのメールだけを表示できます。
  →P.236
- 受信したｉモードメール、チャットメールおよびSMSに対して、アイコンは以下のように表示されます。

感情お知らせメールのアイコン

おしらせ

◆受信したメールによっては、内容に合わない感情お知らせメールのアイコンが表示される場合があります。
◆メッセージR/Fに対しては、感情お知らせメールのアイコンは表示されません。
◆受信したメールに合った感情やキーワードの検出は、感情お知らせメールのアイコンの場合、メールの受信日時、題名、本文の先頭から1,000バイト（全角500文字相当）までが対象となり、キーワード通知のアイコンの場合、題名と本文のすべてが対象となります。
◆複数のメールを同時に受信した場合は、日時が最も新しいメールのアイコンだけが、受信結果画面およびデスクトップ上のメールアイコンのポップアップに表示されます。

〈メール選択受信〉

ｉモードメールを選択して受信する

ｉモードセンターに保管されているメールのタイトルなどを確認し、受信するメールを選択したり、受信前にｉモードセンターでメールを削除できます。

- 本機能を利用するには、あらかじめ「メール選択受信設定」（P.242）を「ON」に設定しておく必要があります。なお、「ON」に設定した場合は、自動的にｉモードメールを受信できません。

メールが届いたときは

ｉモードセンターからメールを受信したことを通知されたときは、「 （白色）」や「 （白色）」は表示されず、センターにメールが保管されていることを示すメッセージと「 」が表示されます。

メールを選択受信する

- 本機能を利用してメール選択受信画面を表示した場合、メールを受信、削除しなくても「 」のアイコンは消灯します。
  また、電源を切ったり、メール画面を表示した場合なども「 」のアイコンは消灯します。

1 MENU ▶「メール」▶「メール選択受信」

■「メール選択受信設定」が「OFF」に設定されている場合
メール選択受信を設定するかどうかのメッセージが表示され、「メール選択受信設定へ」を選択すると「メール選択受信」を設定できます。選択受信を「ON」に設定すると、メールメニュー画面に戻ります。

2 メールごとに項目を選択して設定

受信：選択したメールを受信します。
削除：選択したメールを削除します。
保留：選択したメールはそのままｉモードセンターに保管されます。
「ｉモード問い合わせ」(P.224) などで受信してください。

■ メールをすべて削除する場合
▶ページの一番下にある「削除」▶「決定」

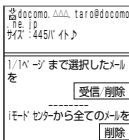
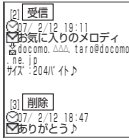
■ ページが複数ある場合
▶「前ページ」または「次ページ」▶ページを前後に移動して選択受信
2ページ目を表示した場合、1ページ目の選択内容はそのまま有効となります。
「サイズ：XXXバイト」の後に表示されているアイコンの意味は以下のとおりです。

アイコン	意味
(カメラ)	画像ファイルが添付されています。
♪	メロディファイルが添付されています。
(ｉモーション)	ｉモーションが添付されています。

3「受信／削除」▶「決定」

完了画面が表示され、メールの受信がはじまります。

■ 選択受信を中止する場合
▶「キャンセル」

■ ページが複数ある場合
ページの途中で「受信／削除」を選択すると、選択したページまで選択受信（保留、受信、削除）を行い、それ以降のページのメールについては、ｉモードセンターにすべて保管されます。

おしらせ

◆メールの選択受信は、以下の手順でも行えます。
・MENU ▶「ｉモード」▶「ｉMenu」▶「メニュー／検索」▶「メール選択受信」

◆メール選択受信設定を「ON」に設定された場合でも「ｉモード問い合わせ」をすると、すべてのメールを受信します。受信したくない場合は、「ｉモード問い合わせ設定」(P.244) で「メール」のチェックを外してご利用ください。

〈ｉモード問い合わせ〉

ｉモードメールがあるかどうかを問い合わせる

お買い上げ時	すべて（メール、メッセージR/F）問い合わせする

● ｉモードセンターに届いたｉモードメールは自動的にFOMA端末へ送信されますが、以下の場合はｉモードセンターに保管されます。
・FOMA端末の電源が入っていないとき
・「圏外」が表示されているとき
・受信BOXが満杯のとき
・「メール選択受信設定」(P.242) が「ON」のとき
・テレビ電話中／遠隔監視中
・セルフモード設定中
・FirstPassセンター接続中

● 問い合わせる項目は「ｉモード問い合わせ設定」(P.244) で設定します。

1 MENU ▶「メール」▶「ｉモード問い合わせ」

メール問い合わせ画面が表示されます。
ｉモード問い合わせは、以下の手順でも行えます。

・ｉ［imode］▶「ｉモード問い合わせ」

・✉［MAIL］（1秒以上）
・✉［MAIL］▶「ｉモード問い合わせ」

問い合わせは「メール」→「メッセージR」→「メッセージF」の順で行います。
問い合わせ中は「(白色)」「R (白色)」「F (白色)」が点滅して「問い合わせ中…」と表示され、ｉモードメールやメッセージR/Fを受信します。

■ 問い合わせを中止する場合
▶問い合わせ中にｉ［中止］またはCLR（1秒以上）
問い合わせを中止したときでも、中止したタイミングによりｉモードメールやメッセージR/Fを受信することがあります。

2 新しく受信したｉモードメールとメッセージR/Fの件数を確認

おしらせ

◆電波状態によっては、問い合わせできなかったり問い合わせが中断される場合があります。

◆「(白色)」のアイコンが表示されたときは、ｉモードセンターにｉモードメールが保管されています。ｉモードセンターに保管されているｉモードメールがいっぱいになると「(赤色)」のアイコンの表示になります。

◆ｉモードセンターにｉモードメールが保管されている場合でも、FOMA端末の電源が入っていないときや「圏外」が表示されているときにセンターに届いた場合などは、「（白色）」のアイコンが表示されないことがあります。
◆本機能でSMSは受信できません。SMSは「SMS問い合わせ」で受信してください。

〈ｉモードメール返信〉

ｉモードメールに返事を出す

ｉモードメールの送信元に返信できます。返信には、新たに本文を入力する方法と、受信したｉモードメールの本文を引用する方法があります。

● 返信するｉモードメールの題名には「Re:」が追加されます。題名の文字数が「Re:」と合わせて全角で15文字を超えたときは、超えた部分が削除されます。

新たに本文を入力して返信する

1「受信メール一覧画面」（P.229）または「受信メール詳細画面」（P.230）▶［返信］▶題名、本文を編集して送信

これ以降の詳しい操作手順については、P.211の操作3～7を参照してください。

■ 複数の宛先があるメールの送信元へ返信する場合

▶「返信」▶「送信元へ」

同報の宛先のすべてに返信したい場合は、「返信」を選択した後に「すべてへ」を選択します。
送信元が返信不可の場合、ほかの同報の宛先を含めすべての宛先が削除されたメール返信画面が表示されます。
同報の宛先に返信不可の宛先が含まれている場合、返信不可の宛先が削除されたメール返信画面が表示されます。
送信が終了すると、受信メール詳細画面が表示され、「」が「」に変わります。

おしらせ

◆返信できない送信元（メールアドレスが半角文字で50文字を超えているときなど）には「」が表示されます。
◆題名に「Re:」（すべて半角文字）が付いたｉモードメールに返信する場合、返信するｉモードメールの題名に「Re:」の代わりに「Re2:」が追加されます。以降、「Re2:」が付いているときは「Re3:」、「Re3:」が付いているときは「Re4:」というように、「Re99:」まで追加されます。「Re:」に全角文字が含まれていたり、「RE:」（「E」が大文字）となっている場合は、題名の先頭に新たに「Re:」が追加されます。
◆送信元が「photo-server@docomo-camera.ne.jp」のｉショットメールには返信できません。

本文を引用して返信する

受信したｉモードメールの本文を引用して返信できます。

● 引用したｉモードメール、デコメールの添付ファイルは削除されます。

1「受信メール詳細画面」（P.230）▶［機能］▶「引用返信」▶題名、本文を編集して送信

■ 複数の宛先のあるメールの送信元へ引用返信する場合

▶「引用返信」▶「送信元へ」

同報の宛先のすべてに返信したい場合は、「引用返信」を選択した後に「すべてへ」を選択します。
返信メールの本文に受信したメールの本文が引用されて表示されます。
引用符（お買い上げ時は「>」）は、引用返信するメールの本文の先頭に1つだけ付きます。本文の行頭のすべてには付きません。
引用符を編集するには→P.243
これ以降の詳しい操作手順についてはP.211の操作3～7を参照してください。
送信が終了すると、受信メール詳細画面が表示され、「」が「」に変わります。

おしらせ

◆引用返信するｉモードメール、デコメールにメールへの添付が禁止されているファイルや、FOMA端末外への出力が禁止されているファイルが添付または貼り付けられているときは、それらのファイルや情報は削除されます。
◆ｉモードメール本文にメロディなどの貼付データがある場合、引用返信をしても貼付データは引用できません。

〈ｉモードメール転送〉

ｉモードメールをほかの宛先に転送する

受信したｉモードメールをほかの人に転送できます。

- 転送するｉモードメールの題名には「Fw:」が追加されます。題名の文字数が「Fw:」と合わせて全角文字で15文字を超えたときは、超えた部分が削除されます。

1 「受信メール詳細画面」(P.230)▶ｉ［機能］▶「転送」▶「To」▶宛先の入力方法を選択

宛先の詳しい入力操作について→P.212
題名、本文を編集できます。受信したメールの本文、追加した文、冒頭文、署名、添付されているメロディや画像を合わせて10,000バイト（全角5,000文字相当）まで転送できます。

2 ✉［送信］

送信が終了すると、受信メール詳細画面が表示され、「✉」が「↑」に変わります。

おしらせ

◆題名に「Fw:」（すべて半角文字）が付いたｉモードメールを転送する場合、転送するｉモードメールの題名に「Fw:」の代わりに「Fw2:」が追加されます。以降「Fw2:」が付いているときは「Fw3:」、「Fw3:」が付いているときは「Fw4:」というように、「Fw99:」まで追加されます。「Fw:」に全角文字が含まれていたり、「FW:」（「W」が大文字）となっている場合は、題名の先頭に新たに「Fw:」が追加されます。
◆転送するｉモードメール、デコメールにメールへの添付が禁止されているファイルや、FOMA端末外への出力が禁止されているファイルが添付または貼り付けられているときは、それらのファイルや情報は削除されます。
◆大容量画像が添付されたｉモードメールを受信し、画像を取得せずに転送した場合、画像は添付されません。
◆ｉモードメール本文にメロディなどの貼付データがある場合は、転送しても貼り付けたデータは引用できません。
◆本文にデコメール参照用URLの付いた受信メールを転送した場合、受信先でURLを選択してWeb To機能でデコメールを閲覧することはできません。また、そのURLを直接入力してデコメールを閲覧することもできません。

メールアドレスを電話帳に登録する

受信したメールの送信元のメールアドレスや電話番号を電話帳に登録できます。

＜例：送信元のメールアドレスを電話帳に登録するとき＞

1 「受信メール詳細画面」(P.230)▶ｉ［機能］▶「アドレス登録」

■登録候補として複数のメールアドレスが存在する場合
▶メールアドレスを選択する画面で登録したいメールアドレスを選択

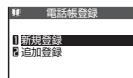
■送信したメールの宛先のメールアドレスや電話番号を電話帳に登録する場合
▶「送信メール詳細画面」（P.230）▶ｉ［機能］▶「アドレス登録」
複数の宛先に送信したｉモードメールの場合は、表示されるメールアドレスのリストから登録するメールアドレスを選択します。

■送信または受信したメールの本文のメールアドレスや電話番号を電話帳に登録する場合
▶「送信メール詳細画面」または「受信メール詳細画面」▶登録するメールアドレスまたは電話番号を反転表示▶ｉ［機能］▶「電話帳登録」

2 「YES」▶「本体」▶「新規登録」

電話帳登録
1 新規登録
2 追加登録

電話帳新規登録画面に、入力された項目の内容が表示されます。必要な項目を入力して電話帳に登録します。
「FOMA端末（本体）電話帳に登録する」→P.93
「FOMAカード電話帳に登録する」→P.94

■FOMAカードの電話帳に登録する場合
▶「YES」▶「FOMAカード（UIM）」
FOMAカードの電話帳に登録するときは、登録方法の「追加登録」の代わりに「上書き登録」と表示されます。

〈メロディ保存〉

ｉモードメールからメロディを再生・保存する

受信したｉモードメールに添付または貼り付けられたメロディ（♫、♪）をFOMA端末に保存できます。

- 送信元がFOMA N601i以外の場合、送られてきたメロディが正しく再生できない場合があります。

1「受信メール詳細画面」(P.230)▶ i ［機能］▶「データ保存」▶「YES」▶フォルダを選択

■ メロディをとめる場合
▶ ☎、0～9、＊、＃

■ メールを開いたときにメロディを自動再生させたくない場合
▶「添付ファイル自動再生設定」（P.242）を「自動再生しない」に設定

2「YES」▶項目を選択

■ 着信音などに設定しない場合
▶「NO」

おしらせ

◆複数のデータが貼り付けされている場合は、貼付データ自体が表示されないことがあります。

〈画像メール受信〉

画像を表示・保存する

受信したｉモードメールに添付された画像、挿入された画像（🖼）を保存できます。
挿入画像を保存するには→P.239

1「受信メール詳細画面」（P.230）で保存する画像を選択

■ 画像表示をファイル名表示に切り替える場合
▶画像を選択
再度画像表示に戻すには、ファイル名を選択します。

2 i ［機能］▶「データ保存」▶「YES」▶フォルダを選択

3「YES」▶項目を選択

■ 待受画面などに設定しない場合
▶「NO」

おしらせ

◆画像のサイズがディスプレイより大きい場合は縮小して表示します。ただし、大きすぎる画像は表示されないことがあります。
◆ｉモードメールでの画像表示とマイピクチャでの画像表示は異なる場合があります。画像を正しく表示するには、「INBOX」フォルダに保存した画像をマイピクチャで表示する必要があります。

〈ｉモーションメール〉

ｉモーションメールからｉモーションを再生・保存する

ｉモーションメールとして送られてきたｉモーションのデータは、メールを受信してもFOMA端末に取得されていないため、ｉモーションメールセンターから取得して保存します。

- ｉモーション閲覧のためのURLが付与されたメールを受信します。
- あらかじめ、ｉモーションメールを選択します。

1「受信メール詳細画面」(P.230)▶URLを選択▶「YES」

データの取得が完了すると、「データ取得完了画面」が表示されます。

データ取得完了画面

■ ｉモーションの取得を途中で中止する場合
▶ ✉ ［中止］

■ 取得したｉモーションを保存する場合
▶データ取得完了画面▶「保存」▶「YES」▶フォルダを選択
ｉモーションの「INBOX」フォルダに保存できます。→P.254

■ 取得したｉモーションの情報を表示する場合
▶データ取得完了画面▶「情報表示」
→P.202

おしらせ

◆「ｉモーション自動再生設定」（P.202）が「自動再生する」に設定されている場合は、ｉモーションを取得しながら再生します。ただし、電波状況等により再生が停止したり、画像が乱れたりすることがあります。このような場合はデータ取得完了後にもう一度再生してください。
◆ｉモーションを取得しながら再生している場合（初回再生時のみ）は、早送り・コマ送り・スロー再生の操作はできません。

〈送信メールBOX／受信メールBOX〉

送信／受信メールBOXのメールを表示する

受信メールはｉモードメールとSMSを合わせて最大1,000件※、送信メールはｉモードメールとSMSを合わせて最大400件※まで保存されます。受信メール、送信メールともに最大保存容量の半分まで保護設定することができます。保存および保護できるメールの件数は、データ量により変動します。ファイルサイズが大きいデータを保存したときは、保存および保護できる件数が少なくなります。

※：受信メールおよび送信メールそれぞれのシークレットフォルダには別途最大100件保存できます。

ｉモードメールの本文を読む

＜例：受信メールの本文を読むとき＞

1 MENU ▶「メール」▶「受信BOX」▶フォルダを選択▶メールを選択

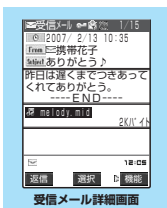
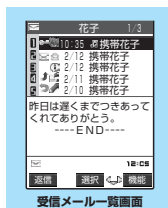
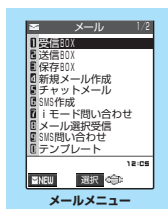
メールメニュー　受信フォルダ一覧画面

機能メニュー ➡P.234

受信メール一覧画面

機能メニュー ➡P.236

受信メール詳細画面

機能メニュー ➡P.239

■ 前後のメールを表示する場合

▶メール詳細画面▶

CLR を押すと、受信メール一覧画面に戻ります。

おしらせ

◆受信したメールの送信元や同報者の宛先、送信するメールの宛先（SMSは電話番号、ｉモードメールはメールアドレス）をデスクトップアイコンとして待受画面に貼り付けることができます。貼り付けたアイコンからそのメールアドレスを宛先とする新規ｉモードメール（SMSは電話番号を宛先とする新規SMS）を作成できます。ただし、「Fm」「To」「Cc」の付いたメールアドレスは、デスクトップアイコンとして貼り付けることができません。また同報メールの場合でも、１回の操作で貼り付けられるメールアドレスは１件だけです。

◆シークレット専用モード設定中でも、シークレットフォルダ以外のメールも表示されます。

◆シークレットフォルダ内のメールからの大容量画像の表示やｉモーションの再生はできません。

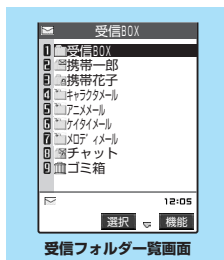
フォルダ一覧画面の見かた

● 受信BOXはフォルダごとにメールを保存できます。お買い上げ時は「受信BOX」、「シークレット」※、「チャット」、「ゴミ箱」フォルダのみですが、受信フォルダ一覧画面の機能メニューでフォルダを追加できます。

● 送信BOXはフォルダごとにメールを保存できます。お買い上げ時は「送信BOX」、「シークレット」※、「チャット」フォルダのみですが、送信フォルダ一覧画面の機能メニューでフォルダを追加できます。

※：シークレットフォルダはシークレットモード、シークレット専用モードのときのみ表示されます。

受信フォルダ一覧画面

機能メニュー ➡P.234

：未読メールがないフォルダ

：未読メールがあるフォルダ

：未読メールがなく、セキュリティ（P.234）がかけられているフォルダ

：未読メールがなく、自動振分け設定（P.235）がされているフォルダ

：未読メールがあり、セキュリティがかけられているフォルダ

：未読メールがあり、自動振分け設定がされているフォルダ

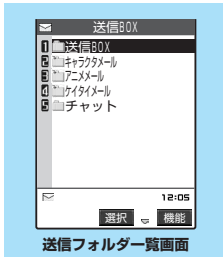
：未読メールがなく、セキュリティがかけられていて、自動振分け設定がされているフォルダ

：未読メールがあり、セキュリティがかけられていて、自動振分け設定がされているフォルダ

：ゴミ箱のフォルダ

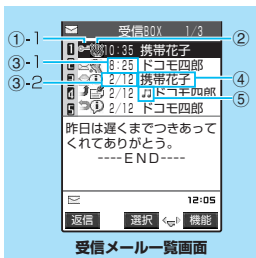
：セキュリティがかけられている、ゴミ箱のフォルダ

：シークレットフォルダ（シークレットモード、シークレット専用モードのときのみ表示）→P.145

送信フォルダ一覧画面

機能メニュー➡P.234

：送信メールのフォルダ
：セキュリティ（P.234）がかけられている、送信メールのフォルダ
：自動振分け設定（P.235）がされている送信メールのフォルダ
：セキュリティがかけられていて、自動振分け設定がされている、送信メールのフォルダ
：シークレットフォルダ（シークレットモード、シークレット専用モードのときのみ表示）→P.145

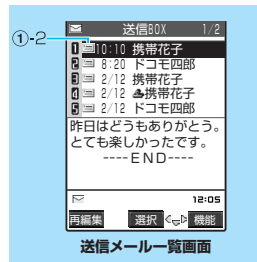
メール一覧画面の見かた

受信メール一覧画面

機能メニュー➡P.236

①メールの状態を示しています。

①-1 受信

：未読メール
：既読メール
：転送したメール
：返信したメール
：未読で保護されているメール
：既読で保護されているメール
：転送して保護されているメール
：返信して保護されているメール

送信メール一覧画面

機能メニュー➡P.237

①-2 送信

：送信に成功したメール
：送信に失敗したメール
：複数の宛先が指定され、そのすべてに送信が成功したメール
：複数の宛先が指定され、その一部に送信が成功したメール
：複数の宛先が指定され、そのすべてに送信が失敗したメール
：送信に成功して保護されているメール
：送信に失敗して保護されているメール
：複数の宛先が指定され、そのすべてに送信が成功して保護されているメール
：複数の宛先が指定され、その一部に送信が成功して保護されているメール
：複数の宛先が指定され、そのすべてに送信が失敗して保護されているメール

②メールの内容を感情お知らせメールのアイコンで示しています。

など：感情お知らせメールのアイコン→P.223

③送受信した時刻や日付を示しています。

③-1 当日送受信したメールは時刻が表示されます。

③-2 前日までに送受信したメールは日付が表示されます。

④送信元／宛先またはメールの題名を示しています。メールアドレスや電話番号で表示するか、名前で表示するか、題名で表示するか切り替えることができます。題名がないｉモードメールの場合、題名が「無題」と表示されます。SMSの場合は本文の冒頭が表示されます（SMS送達通知の場合は「SMS送達通知」が表示されます）。留守番着信通知の場合は「留守番　着信通知」が表示されます。

⑤メールの種別、添付ファイルや貼り付けられている情報の種類を示しています。

〈2行表示の場合〉

：SMS

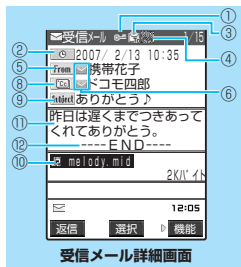
：SMSで、SMS送達通知を受信済み
：SMSで、FOMAカード内にあり
：メロディが添付されている
：複数のメロディが添付されていて、そのうちの一部のデータが正しくなかったり、削除されている
：添付されているすべてのメロディのデータが正しくなかったり、削除されている
：画像が添付されている
：複数の画像が添付されていて、そのうちの一部のデータが正しくなかったり、削除されている
：添付されているすべての画像のデータが正しくなかったり、削除されている（メール詳細画面で、貼付画像が多すぎて表示しきれない）
：大容量画像のデータを取得後、データが正しい
：大容量画像のデータを取得後、データが正しくなかったり、削除されている
：大容量画像が添付されていて、自動取得されていない
：大容量画像のデータを取得する前で、データが正しくない
：ｉモーションを添付したｉモードメールを送信したときに表示
：送信メールに添付したｉモーションが削除されたりファイル名編集されている
：デコメールに貼り付けられた大容量の画像を取得する前で、画像の種類が不明
：複数のデータが貼り付けられている
：メールを送受信したときとは違うFOMAカードが使用されているため、添付または貼り付けられているファイルやデータが利用できない

〈1行表示／1行＋本文表示の場合〉
：大容量のファイルを含まず、1個または複数のファイルが添付または貼り付けられている
：大容量のファイルを含まず、複数のファイルが添付または貼り付けられていて、そのうちの一部のデータが正しくない
：大容量のファイルを含まず、添付または貼り付けられているすべてのファイルデータが正しくない
：大容量のファイルを含み、1個または複数のファイルが添付されている
：大容量のファイルを含み、複数のファイルが添付されていて、そのうちの一部のデータが正しくない
：大容量のファイルを含み、添付されているすべてのファイルデータが正しくない
：メールを送受信したときとは違うFOMAカードが使用されているため、添付または貼り付けられているファイルやデータが利用できない

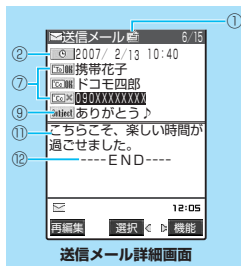
おしらせ

◆画像が添付されたｉモードメールは、受信メール詳細画面や送信メール詳細画面で画像を選択し、◉を押すごとに画像表示とファイル名表示に切り替わります。

メール詳細画面の見かた

受信メール詳細画面

機能メニュー➡P.239

①メールの状態が表示されます（P.229のメール一覧画面の説明①参照）。
②送受信した日付と時刻（センターが受信した日付と時刻）を示しています。
③受信メールの送信タイプを表示します。
　：送信元から宛先に指定されて受信したメール
　：送信元からコピーとして送信するメールの同報宛先に指定されて受信したメール
　：送信元からほかの同報送信の宛先に表示されないよう指定されて受信したメール
④受信メールの内容によって感情お知らせメールのアイコンが表示されます。
　など：感情お知らせメールのアイコン→P.223

送信メール詳細画面

機能メニュー➡P.240

⑤受信メールで、送信元のメールアドレスを表示します。

From ： 送信元のメールアドレス
Fm ： 送信元に返信できないメールアドレス（メールアドレスが半角で50文字を超えているときなど）

⑥ ：送信元／同報のメールアドレスや電話番号が電話帳に登録されている場合、電話帳に登録されているアイコンが表示されます。

⑦送信メールで、宛先のメールアドレスおよび宛先のタイプを表示します。
送信が成功したかどうかを確認できます。宛先が複数指定されているメールでは、宛先がすべて表示されます。

To OK ： 送信に成功した宛先
To × ： 送信に失敗した宛先
Cc OK ： コピーとして同報送信し、送信に成功した宛先
Cc × ： コピーとして同報送信し、送信に失敗した宛先
Bcc OK ： 送信に成功した、ほかの同報送信の宛先に表示されないよう指定した同報の宛先
Bcc × ： 送信に失敗した、ほかの同報送信の宛先に表示されないよう指定した同報の宛先

⑧受信メールで、複数指定されている宛先を表示します（受信者本人は含みません）。最大4件まで宛先が表示されます。

To ： 送信元から宛先に指定されている
To ： 送信元から宛先に指定され、返信できないメールアドレス
Cc ： 送信元からコピーとして送信するメールの同報宛先に指定されている
Cc ： 送信元からコピーとして送信するメールの同報宛先に指定され、返信できないメールアドレス

返信できないメールアドレスには「Fm」、「To」、「Cc」が表示されます。
受信メールの送信元または送信メールの宛先が電話帳に登録されているときには、⑤、⑦、⑧の欄には電話帳に登録されている「名前」が表示されます。
名前を表示するには、相手のメールアドレスを電話帳に正しく登録しておく必要があります。→P.93

⑨題名を示しています。題名がないときは「無題」と表示されます。受信したSMSには「SMS」（SMSがFOMAカード内にあるときは「 」）のアイコンが表示され、タイトルは「SMS」（SMS送達通知の場合は「SMS送達通知」）と表示されます。SMS送達通知を受信済みの場合は、「 」も合わせて表示されます。

⑩添付ファイルや貼付ファイルがあるときは、アイコンとファイル名、バイト数（ファイルサイズ）が表示されます。

： メロディが貼り付けられている（貼り付けられているメロディのデータが正しくない場合は、本文内にテキストとして表示される）
： 複数のデータが貼り付けられている
： 送信メールに添付したｉモーションが削除されたりファイル名編集されている
： 送信メールに添付したｉモーションがオリジナルロックの対象になっている
： 添付されている画像が削除されている
： 大容量画像のデータを取得後、削除されている（取得後にデータが編集され、上書きされた場合にも表示される）
： 添付されている大容量画像がオリジナルロックの対象になっている
： 添付されているメロディが削除されている

添付ファイルアイコンについて→P.229

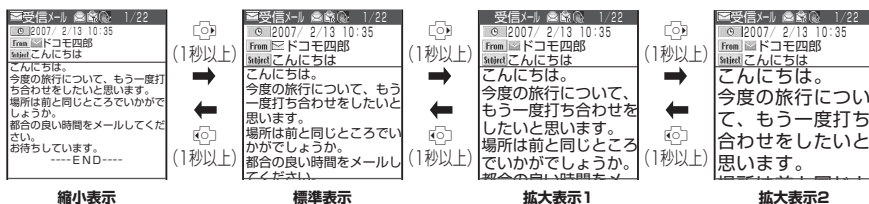
⑪メールの本文を示しています。
⑫本文の終わりに表示されます。

以下の場合は、電話番号やメールアドレスが電話帳に登録されていても「名前」が表示されず、メールアドレスのままの表示となります。
- 「指定発信制限」（P.154）が設定中で、「指定発信制限」に指定されていない電話番号のとき
- シークレット専用モードで、シークレット登録されていない電話番号またはメールアドレスからの受信メールや、シークレット登録されていない電話番号またはメールアドレスへの送信メールを詳細表示したとき
- シークレットモードまたはシークレット専用モード以外で、シークレット登録された電話番号またはメールアドレスからの受信メールや、シークレット登録された電話番号またはメールアドレスへの送信メールを詳細表示したとき

メールの文字サイズや一覧表示方法などを切り替える

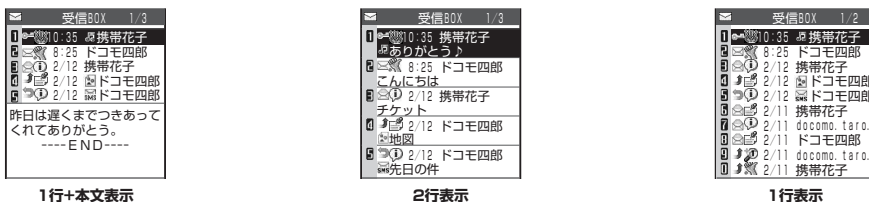
● メールの本文の文字サイズを変えるとき

メール詳細画面を表示しているときに、本文の文字の大きさを変更できます。

縮小表示　標準表示　拡大表示1　拡大表示2

おしらせ

◆ 上記のボタン操作により表示を切り替えたときは、「文字サイズ設定」（P.242）の設定も変更されます。

● メール一覧画面の表示切替（1行+本文表示／1行表示／2行表示）

メールメニューで「メール設定」の「メール一覧表示設定」を選択すると、1行+本文表示で表示するか、2行で表示するか、1行で表示するかを切り替えることができます。→P.242

1行+本文表示

2行表示

1行表示

● メール一覧画面の表示切替（名前表示／アドレス表示／題名表示）

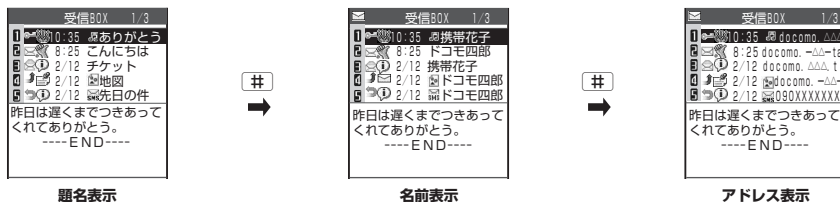
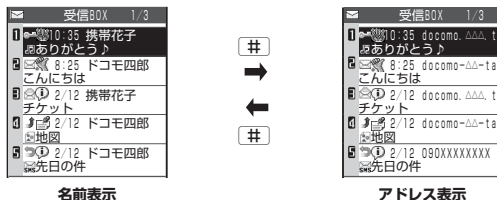
メール一覧画面で、メールを宛先や送信元の名前で表示するか、メールアドレスや電話番号で表示するか、題名で表示するかを切り替えられます。宛先や送信元の名前が電話帳に登録されている場合、その名前を表示できます。

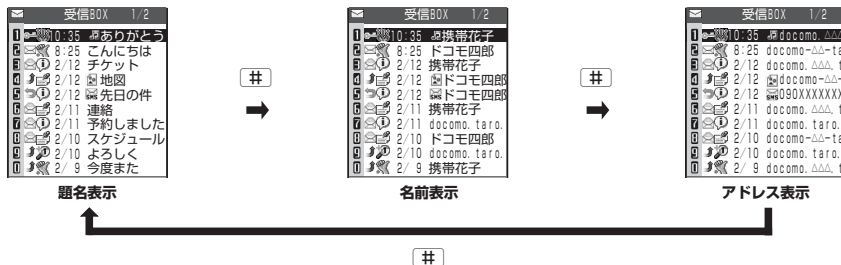
● メール一覧画面（1行+本文表示）

● メール一覧画面（2行表示）

名前表示

#

#

アドレス表示

● メール一覧画面（1行表示）

おしらせ

◆ 受信メール一覧画面／送信メール一覧画面／保存メール一覧画面の機能メニューから「一覧表示切替」を選択して「題名表示」、「名前表示」、「アドレス表示」から項目を選択しても表示の切り替えができます。

● 受信メール／送信メールの保存件数を確認する

すべてのフォルダの保存件数を確認するときは、フォルダ一覧画面で機能メニューから「保存件数確認」を選択します。
フォルダごとの保存件数を確認するときは、確認したいフォルダ内のメール一覧画面を表示した後、機能メニューから、「保存件数確認」を選択します。

● バックライト機能について

FOMA端末を開いたときやボタンを押したとき、iモードメールやSMSを送受信したときなどにバックライトを約15秒間点灯します（点灯時間は「メール／メッセージ鳴動」の設定によって変わります）。ただしiモードメールやSMSの本文を表示させたときは、本文の長さにより点灯時間が異なります。
「照明設定」の「通常時」を「OFF」に設定しているときは点灯しません。

受信フォルダ／送信フォルダ一覧画面の機能メニュー

- 追加できるフォルダは22個までです。

フォルダ追加	▶**フォルダ名を入力**▶**振り分け条件を設定** 新しくフォルダを追加します。また、追加したフォルダに自動振り分けを設定します。 「自動振り分けを設定する」→P.235
自動振分け設定	「自動振り分けを設定する」→P.235
フォルダ名編集	▶**フォルダ名を入力** 入力できる文字数は全角10文字、半角20文字までです。
メールセキュリティ	▶**端末暗証番号を入力**▶**「YES」** フォルダのセキュリティを設定／解除します。 「フォルダごとにセキュリティを設定する」→P.153
フォルダ並び替え	▶**移動先を選択** フォルダを並び替えます。
保存件数確認	すべてのフォルダ内のメールの件数および未読件数、保護件数を表示します。
フォルダ内表示	選択したフォルダ内のメール一覧画面を表示します。
デスクトップ貼付※1	「デスクトップアイコンを利用する」→P.130
赤外線全送信	選択したBOX内のすべてのメールを赤外線送信します。ただし、FOMAカード内のSMS、シークレットフォルダ内のメールは送信されません。 「データをまとめて転送する」→P.280
フォルダ削除	▶**端末暗証番号を入力**▶**「YES」**
既読メール全削除※1	すべての既読メールを削除します。
受信メール全削除※2	▶**端末暗証番号を入力**▶**「YES」** すべてのメールを削除します。

※1：受信フォルダ一覧画面のみ表示されます。
※2：送信フォルダ一覧画面のときは「送信メール全削除」になります。

おしらせ

＜フォルダ名編集＞
◆「受信BOX」フォルダ、「送信BOX」フォルダ、「チャット」フォルダ、「ゴミ箱」フォルダ、「シークレット」フォルダのフォルダ名の編集はできません。
◆メールセキュリティが設定されたフォルダは、フォルダ名の編集はできません。

＜メールセキュリティ＞
◆「シークレット」フォルダにはメールセキュリティを設定することはできません。

＜フォルダ削除＞
◆フォルダ内のメールが保護されているときやメールセキュリティが設定されているときは、フォルダを削除できません。保護またはメールセキュリティを解除してから削除してください。
◆「自動振分け設定」が設定されていたフォルダを削除すると、そのフォルダに設定されていた自動振分け設定は解除されます。
◆お買い上げ時にすでにある「受信BOX」フォルダ、「送信BOX」フォルダ、「チャット」フォルダ、「ゴミ箱」フォルダ、「シークレット」フォルダは、削除できません。

＜フォルダ並び替え＞
◆「受信BOX」フォルダ、「送信BOX」フォルダ、「チャット」フォルダ、「ゴミ箱」フォルダ、「シークレット」フォルダは並び替えはできません。
◆追加したフォルダが1つしかない場合は並び替えできません。

＜保存件数確認＞
◆シークレットフォルダ内のメール件数は表示されません。

＜既読メール全削除＞
◆保護されている既読のｉモードメールやSMSは削除されません。
◆「シークレット」フォルダ内のｉモードメールやSMSは削除されません。

＜送信メール全削除＞
◆保護されているｉモードメールやSMSは削除されません。
◆「シークレット」フォルダ内のｉモードメールやSMSは削除されません。

＜受信メール全削除＞
◆未読のメールも削除されます。ただし、保護されているｉモードメールやSMSは削除されません。
◆「シークレット」フォルダ内のｉモードメールやSMSは削除されません。

● 自動振り分けを設定する

受信メールの送信元や送信メールの送信先のメールアドレスや電話番号、題名など、あらかじめ指定した条件で、指定したフォルダにｉモードメール（同報メール含む）やSMSを自動的に振り分けることができます。

- 自動振り分けをするメールアドレスや電話番号、電話帳のグループ、メールメンバーは、受信BOXと送信BOXの全フォルダを合わせて700件まで登録することができます。1つのフォルダに複数のメールアドレスや電話番号、電話帳のグループ、メールメンバーを登録することもできます。題名はそれぞれのフォルダに1つだけ登録できます。
- 電話帳にオリジナルロック設定中の場合、グループ名は「グループ」となります。また、メールメンバーにオリジナルロック設定中の場合、メールメンバー名は「メールメンバー」となります。
- 受信または送信したメールが複数の振り分け条件に該当する場合、自動振分け設定の優先順位は以下のとおりです。ただし、チャットメールは、自動振分け設定にかかわらず「チャット」フォルダに振り分けられます。
  ①題名振分け　②返信不可振分け／送信失敗振分け　③メールアドレス／電話番号　④メールメンバー　⑤電話帳グループ
- 自動振り分け設定する際に、シークレットデータとして登録されたメールアドレスをグループ参照でフォルダ登録した場合、その相手からメールを受信すると、シークレットモード設定中またはシークレット専用モード設定中でないときは「受信BOX」フォルダに振り分けられ、シークレットモード設定中またはシークレット専用モード設定中には振り分け設定したフォルダに振り分けられます。
  アドレス参照入力でフォルダ登録した場合、シークレットデータとして登録された相手からメールを受信するとシークレットモード、シークレット専用モードの設定にかかわらず振り分け設定したフォルダに振り分けられます。
- 自動振分け設定を設定する前に受信または送信したメールは、設定前に保存されているフォルダに残ります。

1 振り分け先のフォルダを選ぶ

2 「受信フォルダ一覧画面」(P.228)／「送信フォルダ一覧画面」(P.229) ▶ i ［機能］▶「自動振分け設定」

1件でも振り分けの設定がされている場合は、さらに i ［機能］を押します。

3 以下の項目から自動振り分けを設定

項目	説明
アドレス振分け	自動振り分けをするメールアドレスや電話番号を設定します。
・アドレス参照入力	電話帳や履歴を参照してメールアドレスや電話番号を設定します。
・電話帳	電話帳を検索してメールアドレスや電話番号を設定します。 電話帳の検索のしかた（検索方法の指定）→P.98
・受信アドレス一覧	受信アドレス一覧からメールアドレスや電話番号を設定します。
・送信アドレス一覧	送信アドレス一覧からメールアドレスや電話番号を設定します。
・グループ参照	**▶グループを選択** 選択したグループのメールアドレスや電話番号が設定されます。
・メールメンバー参照	**▶メールメンバーを選択** 選択したメールメンバーのメールアドレスや電話番号が設定されます。
・直接入力	1文字ずつ入力してメールアドレスや電話番号を設定します。
題名振分け	**▶題名を入力** 自動振り分けをするメールの題名を設定します。
返信不可振分け※	返信不可のメールアドレスや電話番号（または送信が失敗したメールアドレスや電話番号）を設定します。
アドレス／題名編集	設定済みのメールアドレスや電話番号、メールの題名を編集します。
一覧表示切替	自動振り分けをするメールアドレスや電話番号の一覧の表示方法を「名前表示」または「アドレス表示」から選択します。
解除	自動振り分けの条件を解除します。
・1件解除	選択した自動振り分けの条件を1件解除します。
・選択解除	**▶ で□（チェックボックス）を選択▶ ［完了］▶「YES」** 複数の自動振り分けの条件を解除できます。
・全解除	すべての自動振り分けの条件を解除します。

※：送信フォルダ一覧画面の自動振分け設定画面のときは「送信失敗振分け」になります。

おしらせ

◆「受信BOX」フォルダ、「送信BOX」フォルダ、「チャット」フォルダ、「ゴミ箱」フォルダ、「シークレット」フォルダに自動振り分けを設定することはできません。

◆同報送信した送信メールも、宛先のうち1件でも振り分け条件に該当すれば、アドレス振り分けや送信失敗振り分けを設定したフォルダに振り分けられます。1番目、2番目と入力した宛先の順番で振り分け条件を検索します。

◆メールセキュリティ（P.234）が設定されているフォルダの場合は、受信フォルダ／送信フォルダ一覧画面の機能メニューから「自動振分け設定」を選択した後に端末暗証番号の入力が必要になります。

<アドレス振分け（グループ参照）>
◆「グループ00」やFOMAカード内のグループを設定することはできません。

<アドレス振分け（直接入力）>
◆メールアドレスはドメイン（@マークより後ろの部分）まで正しく入力してください。ただし、「電話番号@docomo.ne.jp」の場合は、電話番号のみを入力してください。

<題名振分け>
◆題名が複数のフォルダの振り分け条件にあてはまる場合、「受信BOX」フォルダまたは「送信BOX」フォルダに最も近いフォルダに振り分けられます。
◆1つのフォルダに設定できる題名は1件のみです。
◆「無題」と設定しても、題名が未入力で「無題」と表示されているｉモードメールは振り分けできません。
◆SMSは題名振り分けできません。

<返信不可振分け>
◆SMS送達通知は振り分けされません。
◆「返信不可振分け」は受信BOXの1つのフォルダにしか設定できません。

<送信失敗振分け>
◆「送信失敗振分け」は送信BOXの1つのフォルダにしか設定できません。

<一覧表示切替>
◆自動振分け設定画面で[#]を押しても、「名前一覧表示」と「アドレス一覧表示」を切り替えることができます。

受信メール一覧画面の機能メニュー

● 受信メール一覧画面と未読メール一覧画面では利用できる機能が異なるため、表示される項目が異なります。

項目	説明
返信	「新たに本文を入力して返信する」→P.225
フォルダ移動	**▶フォルダを選択▶[方向キー]で□（チェックボックス）を選択▶[メール]［完了］▶「YES」** 選択したメールをほかのフォルダへ移動します。
メール検索	送信元または題名を指定してメールを検索します。
・送信元検索	電話帳や履歴を参照してメールアドレスを指定したり、1文字ずつメールアドレスを指定します。
・電話帳	電話帳を検索してメールアドレスを指定します。 電話帳の検索のしかた（検索方法の指定）→P.98
・受信アドレス一覧	受信アドレス一覧からメールアドレスを指定します。
・送信アドレス一覧	送信アドレス一覧からメールアドレスを指定します。
・直接入力	1文字ずつ入力してメールアドレスを指定します。
・題名検索	**▶題名を入力**
全表示	検索、ソート表示またはフィルタ機能による表示を元の表示（すべてを新しい順）に戻します。
ソート	指定した条件に従ってメールを並び替えます。
フィルタ	指定した条件に従ってメールを表示します。
・未読のみ	未読のｉモードメールやSMSだけを表示します。
・既読のみ	既読のｉモードメールやSMSだけを表示します。
・保護のみ	保護されているｉモードメールやSMSだけを表示します。
・画像のみ	画像が添付または挿入されているｉモードメールや大容量画像の取得情報が貼り付けられているｉモードメールだけを表示します。
・メロディのみ	メロディが添付または貼り付けられているｉモードメールだけを表示します。
・SMSのみ	SMSだけを表示します。
・キーワード通知	**▶キーワード通知（1～3）アイコンを選択** 選択したキーワード通知アイコンを表示しているｉモードメールやSMSだけを表示します。 「感情／キーワード通知設定」→P.244
・感情通知	**▶感情通知アイコンを選択** 選択した感情お知らせメールのアイコンを表示しているｉモードメールやSMSだけを表示します。
色分け	受信メール（日時、メールアドレス／名前、題名）の色分けを「指定なし」（黒）、「赤」または「青」から選択します。
一覧表示切替	メールの一覧の表示方法を「題名表示」、「名前表示」または「アドレス表示」から選択します。
すべて既読	フォルダ内のすべての未読メールを既読メールにします。
保護／保護解除	メールを保護／保護解除します。
保護全解除	保護されているすべてのメールの保護を解除します。
赤外線送信	「赤外線通信でデータを1件ずつ送信する」→P.280
FOMAカード操作	FOMA端末（本体）内のSMSをFOMAカードに移動／コピーしたり、FOMAカード内のSMSをFOMA端末（本体）に移動／コピーします。→P.252
メール情報	メールを開かずに送信元などの情報を表示します。
保存件数確認	フォルダ内のメールの件数および未読件数、保護件数を表示します。
お預りセンターに保存	「メールをお預かりセンターに保存する」→P.239
ゴミ箱へ捨てる	**▶[方向キー]で□（チェックボックス）を選択▶[メール]［完了］▶「YES」** 選択したメールをゴミ箱フォルダへ移動します。

1件削除※1	反転表示したメールを削除します。
削除	受信メールを削除します。
・1件削除	反転表示したメールを削除します。
・選択削除	▶で□（チェックボックス）を選択▶ [完了] ▶「YES」
・既読削除	既読のメールを削除します。
・SMS送達通知全削除	▶端末暗証番号を入力▶「YES」 SMS送達通知をすべて削除します。
・全削除	▶端末暗証番号を入力▶「YES」 受信メールをすべて削除します。
シークレットに保管※2	「各種データを表示できないようにする」→P.145

※1：未読メール一覧画面のみ表示されます。
※2：シークレットモード、シークレット専用モードのときのみ表示されます。また、シークレットフォルダのときは「シークレットから出す」になります。→P.145

おしらせ

<フォルダ移動>
◆「ゴミ箱」フォルダ、「シークレット」フォルダへ移動することはできません。
◆FOMAカードのSMSやSMS送達通知はフォルダ移動できません。

<メール検索>
◆検索結果をさらに検索することができます。
◆フィルタやソートを併用することができます。
◆元に戻すには「全表示」を選択します。
◆題名検索で「無題」と設定しても、題名が未入力で「無題」と表示されているｉモードメールは検索できません。

<ソート／フィルタ>
◆ソートとフィルタを併用することができます。
◆受信メール一覧画面を終了するとソートとフィルタは解除されます。

<色分け>
◆受信メール一覧画面で ✱ を押しても色を切り替えることができます。

<一覧表示切替>
◆受信メール一覧画面で # を押しても、「題名表示」、「名前表示」、「アドレス表示」を切り替えることができます。

<すべて既読>
◆フィルタでメールを表示させた後に「すべて既読」を選択すると、表示されているメールのみ既読メールになります。

<保護／保護解除>
◆FOMA端末に保存されている受信メール（ｉモードメールとSMSの合計）が最大保存件数（P.228）を超えた場合、メール受信時に「ゴミ箱」フォルダのメールが優先的に削除されます。「ゴミ箱」フォルダにメールがない場合は、保護されていない既読の受信メールのうちから古い順に削除されます。なお、「シークレット」フォルダ内のｉモードメールやSMSは削除されません。
◆FOMAカードのSMSは保護できません。
◆「ゴミ箱」フォルダにあるメールは保護できません。

<保護全解除>
◆フィルタ機能でメールを表示させた後に「保護全解除」を選択すると、表示されているメールのみ保護が解除されます。

<FOMAカード操作>
◆受信SMSをFOMAカードに移動またはコピーすると、保存されているフォルダにかかわらず受信BOXフォルダ内に表示されます。

<ゴミ箱へ捨てる>
◆削除したいメールは「ゴミ箱」フォルダに捨てます。「ゴミ箱」フォルダに捨てたメールはすぐには削除されず、削除されるまでは「ゴミ箱」フォルダからほかのフォルダに戻すことができます。「ゴミ箱」フォルダに捨てられたメールは、受信BOXがいっぱいになった場合、優先的に削除されます。
◆保護されたメール、FOMAカードのSMS、SMS送達通知は「ゴミ箱」フォルダに捨てることはできません。
◆未読メールを「ゴミ箱」フォルダに捨てると、既読メールになります。

<1件削除>
◆未読のｉモードメールやSMS（FOMAカードのSMS含む）も削除できます。
◆保護されているｉモードメールやSMSは削除できません。

<選択削除>
◆保護されているｉモードメールやSMSは選択できません。

<既読削除>
◆フィルタでメールを表示させた後に「既読削除」を選択すると、表示されているメールから、保護されている既読のｉモードメールやSMSを除いたメールが削除されます。

<SMS送達通知全削除>
◆保護されているSMS送達通知は削除できません。

<全削除>
◆未読のｉモードメールやSMSも削除できます。
◆フィルタでメールを表示させた後に「全削除」を選択すると、表示されているメールから、保護されているｉモードメールやSMSを除いたメールが削除されます。

送信メール一覧画面の機能メニュー

再編集	▶宛先、題名、本文を編集▶ [送信] メールを再編集します。
フォルダ移動	▶フォルダを選択▶で□（チェックボックス）を選択▶ [完了] ▶「YES」 選択したメールをほかのフォルダへ移動します。

メール検索	宛先または題名を指定してメールを検索します。
・宛先検索	電話帳や履歴を参照してメールアドレスを指定したり、1文字ずつメールアドレスを指定します。
・電話帳	電話帳を検索してメールアドレスを指定します。 電話帳の検索のしかた（検索方法の指定）→P.98
・送信アドレス一覧	送信アドレス一覧からメールアドレスを指定します。
・受信アドレス一覧	受信アドレス一覧からメールアドレスを指定します。
・直接入力	1文字ずつ入力してメールアドレスを指定します。
・題名検索	▶題名を入力
全表示	検索、ソートまたはフィルタによる表示を元の表示(すべてを新しい順)に戻します。
ソート	指定した条件に従ってメールを並び替えます。
フィルタ	指定した条件に合うメールだけを表示します。
色分け	送信メール（日時、メールアドレス／名前、題名）の色分けを「指定なし」(黒)、「赤」または「青」から選択します。
一覧表示切替	メールの一覧の表示方法を「題名表示」、「名前表示」または「アドレス表示」から選択します。
保護／保護解除	メールを保護／保護解除します。
保護全解除	保護されているすべてのメールの保護を解除します。
赤外線送信	「データを1件ずつ転送する」→P.280
FOMAカード操作	FOMA端末（本体）内のSMSをFOMAカードに移動／コピーしたり、FOMAカード内のSMSをFOMA端末（本体）に移動／コピーします。→P.252
保存件数確認	フォルダ内のメールの件数および保護件数を表示します。
お預りセンターに保存	「メールをお預かりセンターに保存する」→P.239

削除	送信メールを削除します。
・1件削除	反転表示したメールを削除します。
・選択削除	▶[十字キー]で□（チェックボックス）を選択▶[メール]［完了］▶「YES」 複数のメールを削除できます。
・全削除	▶端末暗証番号を入力▶「YES」 送信メールをすべて削除します。
シークレットに保管※	「各種データを表示できないようにする」→P.145

※：シークレットモード、シークレット専用モードのときのみ表示されます。また、シークレットフォルダのときは「シークレットから出す」になります。→P.145

おしらせ

<フォルダ移動>
◆シークレットフォルダへ移動することはできません。
◆FOMAカードのSMSはフォルダ移動できません。

<メール検索>
◆検索結果をさらに検索することができます。
◆フィルタやソートを併用することができます。
◆元に戻すには「全表示」を選択します。
◆題名検索で「無題」と設定しても、題名が未入力で「無題」と表示されているｉモードメールは検索できません。

<ソート／フィルタ>
◆ソートとフィルタを併用することができます。
◆送信メール一覧画面を終了するとソートとフィルタは解除されます。
◆元に戻すには「全表示」を選択します。

<色分け>
◆送信メール一覧画面で[＊]を押しても色を切り替えることができます。

<一覧表示切替>
◆送信メール一覧画面で[＃]を押しても、「題名表示」、「名前表示」、「アドレス表示」を切り替えることができます。

<保護／保護解除>
◆FOMA端末に保存されている送信メール（ｉモードメールとSMSの合計）が最大保存件数（P.228）を超えた場合、保護されていない送信メールのうちから古い順に削除されます。なお、シークレットフォルダ内のｉモードメールやSMSは削除されません。
◆FOMAカードのSMSは保護できません。

<FOMAカード操作>
◆送信SMSをFOMAカードに移動またはコピーすると、保存されているフォルダにかかわらず送信BOXフォルダ内に表示されます。

<削除>
◆保護されているｉモードメールやSMSは削除できません。
◆フィルタでメールを表示させた後に「全削除」を選択すると、表示されているメールから、保護されているｉモードメールやSMSを除いたメールが削除されます。

● メールをお預かりセンターに保存する〈電話帳お預かりサービス〉

ｉモードメールやSMSを、ドコモのお預かりセンターに預けることができます。

- 本サービスを利用するには、「電話帳お預かりサービス」のお申し込みが必要です。
- 「電話帳お預かりサービス」をご契約されていない場合は、「電話帳お預かりサービス」未契約のお知らせが表示されます。その画面からサイトに接続してサービスを申し込むことができます。
  電話帳お預かりサービスについて
  →P.109、158

1 「受信メール一覧画面」(P.229)／「送信メール一覧画面」(P.229)／「保存メール一覧画面」(P.220)▶ i [機能]▶「お預りセンターに保存」

2 で□(チェックボックス)を選択▶ ✉ [完了]

メールは最大10件まで選択できます。

■ お預かりセンターに保存できない添付ファイル、挿入画像があるメールを保存するとき

▶ で□(チェックボックス)を選択▶ ✉ [完了]▶「OK」

添付ファイル、挿入画像が削除されて保存されます。

3 端末暗証番号を入力▶「YES」

お預かりセンターに接続してメールの保存を開始します。

4 ✉ [完了]

おしらせ

◆FOMAカード内のSMSはお預かりセンターに保存できません。
◆ｉモードメールに大容量画像、動画やｉモーションが添付されている場合は、添付データを削除して保存されます。
◆受信メールにFOMA端末外への出力が禁止されている画像が添付または挿入されている場合、削除された状態で保存されます。
◆受信メール一覧画面、送信メール一覧画面、保存メール一覧画面で設定した「色分け」の設定は保存できません。

■ メールを復元する

お預かりセンターに預けているメールデータは、FOMA端末に復元することができます。復元は、ｉモードに接続して行います。ご利用方法の詳細等については、『ご利用ガイドブック(ｉモード<FOMA>編)』をご覧ください。

受信メール詳細画面の機能メニュー

返信	「新たに本文を入力して返信する」→P.225
引用返信	「本文を引用して返信する」→P.225
転送	「ｉモードメールをほかの宛先に転送する」→P.226
保護／保護解除	メールを保護／保護解除します。
フォルダ移動	**▶フォルダを選択** メールをほかのフォルダへ移動します。
コピー	メールの本文、題名、メールアドレスをコピーします。 「文字をコピー(または切り取り)する」→P.334
アドレス登録	「メールアドレスを電話帳に登録する」→P.226
電話帳登録	
データ保存	メールに添付または貼り付けられているメロディ、画像を保存します。 「ｉモードメールからメロディを再生・保存する」→P.227 「画像メールの画像を保存する」→P.227
挿入画像保存	**▶画像を選択▶「YES」▶フォルダを選択▶「YES」▶項目を選択** デコメールの本文に挿入されている画像を保存します。待受画面などに設定しない場合は、フォルダを選択した後に「NO」を選択します。
デスクトップ貼付	送信元のアドレスをデスクトップアイコンとして貼り付けます。 「デスクトップアイコンを利用する」→P.130
テンプレート保存	受信したメールをテンプレートとして保存します。 「テンプレートを保存する」→P.217
辞典検索	辞典を起動します。 「辞典を利用する」→P.300
プロパティ	**▶画像を選択** デコメールの本文に挿入されている画像のファイル名とファイルサイズを表示します。
貼付URL表示	メールに添付されている大容量画像のURLを表示します。
電話発信	送信元のメールアドレスと電話番号が電話帳に登録されている場合に、発信種別を「音声発信」、「テレビ電話発信」、「テレビ電話画像選択」から選択して電話をかけます。
チャット起動	チャットメールを起動します。→P.245
赤外線送信	「データを1件ずつ転送する」→P.280
FOMAカード操作	FOMA端末(本体)内のSMSをFOMAカードに移動／コピーしたり、FOMAカード内のSMSをFOMA端末(本体)に移動／コピーします。→P.252

スクロール設定	画面のスクロール行数を「1行スクロール」、「3行スクロール」、「5行スクロール」から選択します。
文字サイズ設定	表示される文字のサイズを「標準表示」、「縮小表示」、「拡大表示1」、「拡大表示2」から選択します。
添付ファイル削除	添付されているファイルを削除します。ただし、データBOXに保存されたデータは削除されません。
添付ファイル全削除	複数のファイルが添付されている場合に、すべてのファイルを削除します。ただし、データBOXに保存されたデータは削除されません。
ゴミ箱へ捨てる	メールを「ゴミ箱」フォルダへ移動します。
削除	受信メール詳細画面に表示中の受信メールを削除します。
シークレットに保管※	「各種データを表示できないようにする」→P.145

※：シークレットモード、シークレット専用モードのときのみ表示されます。また、シークレットフォルダのときは「シークレットから出す」になります。→P.145

おしらせ

<フォルダ移動>

◆「ゴミ箱」フォルダ、「シークレット」フォルダへ移動することはできません。

◆FOMAカードのSMSやSMS送達通知はフォルダ移動できません。

<FOMAカード操作>

◆受信SMSをFOMAカードに移動またはコピーすると、保存されているフォルダにかかわらず受信BOXフォルダ内に表示されます。

<貼付URL表示>

◆受信メール詳細画面で「」または「」を選択し、機能メニューから「貼付URL表示」を選択すると画像の取得先URLを確認することができます。URLに表示できる文字数は、「http://」を含めて半角150文字までです。

<添付ファイル削除／添付ファイル全削除>

◆メール本文に貼り付けられたデータは削除されません。

<ゴミ箱へ捨てる>

◆保護されたメール、FOMAカードのSMS、SMS送達通知は「ゴミ箱」フォルダに捨てることはできません。

送信メール詳細画面の機能メニュー

再編集	▶**宛先、題名、本文を編集**▶✉［**送信**］ メールを再編集します。
再送信	メールを再送信します。
保護／保護解除	メールを保護／保護解除します。
フォルダ移動	▶**フォルダを選択** メールをほかのフォルダへ移動します。
コピー	メールの本文、題名、メールアドレスをコピーします。 「文字をコピー（または切り取り）する」→P.334
アドレス登録 電話帳登録	「メールアドレスを電話帳に登録する」→P.226
データ保存	メールに添付されているメロディ、画像を保存します。 「iモードメールからメロディを再生・保存する」→P.227 「画像メールの画像を保存する」→P.227
挿入画像保存	▶**画像を選択**▶**「YES」**▶**フォルダを選択**▶**「YES」**▶**項目を選択** デコメールの本文に挿入した画像を保存します。待受画面などに設定しない場合は、フォルダを選択した後に「NO」を選択します。
デスクトップ貼付	宛先（送信先）のアドレスをデスクトップアイコンとして貼り付けます。 「デスクトップアイコンを利用する」→P.130
テンプレート保存	送信したメールをテンプレートとして保存します。 「テンプレートを保存する」→P.217
辞典検索	辞典を起動します。 「辞典を利用する」→P.300
プロパティ	▶**画像を選択** デコメールの本文に挿入した画像のファイル名とファイルサイズを表示します。
SMS送達通知表示	SMSのSMS送達通知を表示します。→P.250
赤外線送信	「データを1件ずつ転送する」→P.280
FOMAカード操作	FOMA端末（本体）内のSMSをFOMAカードに移動／コピーしたり、FOMAカード内のSMSをFOMA端末（本体）に移動／コピーします。→P.252
スクロール設定	画面のスクロール行数を「1行スクロール」、「3行スクロール」、「5行スクロール」から選択します。
文字サイズ設定	表示される文字のサイズを「標準表示」、「縮小表示」、「拡大表示1」または「拡大表示2」から選択します。
添付ファイル削除	添付されているファイルを削除します。ただし、データBOXに保存されたデータは削除されません。
添付ファイル全削除	複数のファイルが添付されている場合に、すべてのファイルを削除します。ただし、データBOXに保存されたデータは削除されません。
削除	送信メール詳細画面に表示中の送信メールを削除します。
シークレットに保管※	「各種データを表示できないようにする」→P.145

※：シークレットモード、シークレット専用モードのときのみ表示されます。また、シークレットフォルダのときは「シークレットから出す」になります。→P.145

おしらせ

<再送信>

◆「再送信」を選択すると、メールを再編集しないで再送信します。送信に失敗したメールなどを簡単に再送信することができます。

◆送信に失敗したメールは、再送信すると削除され、送信メールとして保存されます。すべての宛先に送信失敗している同報メールも、再送信すると削除され、送信メールとして保存されます。

<SMS送達通知表示>

◆選択しているSMSに対応するSMS送達通知がない場合は、この機能は利用できません。

◆シークレットフォルダに保管されているSMSの送達通知を受信した場合、一覧画面やSMSの詳細画面で「」が表示されていても、SMSの詳細画面の機能メニューから「SMS送達通知表示」を選択できません。メールをシークレットフォルダから出すと機能メニューから「SMS送達通知表示」を選択してSMS送達通知内容を確認できるようになります。

<FOMAカード操作>

◆送信SMSをFOMAカードに移動またはコピーすると、保存されているフォルダにかかわらず送信BOXフォルダ内に表示されます。

〈送信アドレス一覧／受信アドレス一覧〉

メールの履歴を利用する

メールを送信または受信すると、送信アドレス一覧に送信先アドレス、受信アドレス一覧に送信元アドレスが記録されます。アドレス一覧からメールアドレスを選択してメールを送信することができます。アドレス一覧は、ｉモードメールとSMSをアイコンで区別するので、履歴の種類がわかります。

● 送信アドレス一覧、受信アドレス一覧は、ｉモードメールのメールアドレスやSMSの電話番号などをそれぞれ30件まで記録されます。

● 送信BOX、受信BOXにメールセキュリティを設定していると、メールアドレスは送信アドレス一覧、受信アドレス一覧に記憶されません。

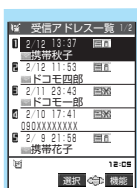
アドレス一覧を確認する

<例：受信アドレス一覧画面を表示するとき>

1 MENU ▶「ユーザデータ」▶「着信履歴」▶「全着信」▶ i [機能] ▶「受信アドレス一覧」

受信アドレス一覧画面

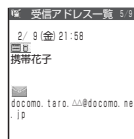
機能メニュー ➡P.241

「受信アドレス一覧画面」が表示されます。
「受信アドレス一覧画面」は、待受画面表示中に を1秒以上押しても表示できます。
また、メールの編集で宛先を選択しているときに を押しても表示できます。

■ 送信アドレス一覧画面を表示する場合

▶ MENU ▶「ユーザデータ」▶「発信履歴」▶ i [機能] ▶「送信アドレス一覧」

送信アドレスの一覧は待受画面表示中に、 を1秒以上押しても表示できます。
また、メールの編集で宛先を選択しているときに を押しても表示できます。

2 送信元を選択

「受信アドレス詳細画面」が表示されます。

3 内容を確認

おしらせ

◆送信アドレス一覧画面、送信アドレス詳細画面で表示されるアイコンは以下のとおりです。

・ : ｉモードメールの送信に成功したことを示します。

・ : ｉモードメールの送信に失敗したことを示します。

・ : SMSの送信に成功したことを示します。

・ : SMSの送信に失敗したことを示します。

◆受信アドレス一覧画面、受信アドレス詳細画面で表示されるアイコンは以下のとおりです。

・ : ｉモードメールを受信したことを示します。

・ : SMSを受信したことを示します。

◆電源を切ったり、送受信メールを削除してもアドレス一覧は削除されません。ほかの人に見られたくないときは、アドレス一覧を削除してください。

送信アドレス一覧画面／受信アドレス一覧画面の機能メニュー

送信アドレス詳細画面／受信アドレス詳細画面の機能メニューも同様です。

電話帳登録	「メールアドレスを電話帳に登録する」→P.226
電話帳参照	メールアドレスが登録されている電話帳の詳細画面を表示します。
デスクトップ貼付	「デスクトップアイコンを利用する」→P.130
ｉモードメール作成※1	メールアドレスを宛先に貼り付けたｉモードメールを作成します。「ｉモードメールを作成して送信する」→P.211
電話発信	メールアドレスが登録されている電話帳の電話番号にPhone To／AV Phone To機能で音声電話、テレビ電話を発信します。→P.192
着信履歴表示※2	着信履歴画面（または発信履歴画面）（一覧）に切り替えます。→P.51、62

削除	メールアドレスを削除します。
・1件削除	反転表示したメールアドレスを削除します。
・選択削除	▶で□（チェックボックス）を選択▶[完了]▶「YES」 選択した送信アドレスまたは受信アドレスを削除します。
・全削除	▶端末暗証番号を入力▶「YES」 受信アドレス一覧または送信アドレス一覧の内容をすべて削除します。

※1：SMSを選択したときは「SMS作成」になります。電話番号を宛先に貼り付けたSMSを作成します。
「SMS（ショートメッセージ）を作成して送信する」→P.249
※2：リダイヤルからの送信アドレス一覧画面のときは「リダイヤル表示」、発信履歴からの送信アドレス一覧画面のときは「発信履歴表示」になります。

おしらせ

＜着信履歴表示＞
◆表示される着信履歴画面は「全着信」（すべての着信履歴を表示）です。

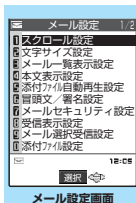
〈メール設定〉

FOMA端末のメール機能を設定する

1 MENU▶「メール」▶「メール設定」

「メール設定画面」が表示されます。

メール設定画面

2 以下の項目から選択

項目	説明
スクロール設定 （お買い上げ時：1行スクロール）	メール詳細画面でを押したときに画面が何行分送られて（スクロールされて）表示されるかを「1行スクロール」、「3行スクロール」または「5行スクロール」から選択します。
文字サイズ設定 （お買い上げ時：標準表示）	メール詳細画面で表示される文字サイズを「標準表示」、「縮小表示」、「拡大表示1」または「拡大表示2」から選択します。
メール一覧表示設定 （お買い上げ時：1行＋本文表示）	メール一覧画面の表示行数と表示内容を設定します。「2行表示」、「1行表示」、「1行＋本文表示」から選択します。 ■メール一覧画面の表示を切り替える場合 ▶表示方法を選択 「題名表示」、「名前表示」または「アドレス表示」に切り替えます。
本文表示設定	メール本文を表示するときの表示開始位置を設定します。
・**通常表示** （お買い上げ時）	メールの先頭（受信日時／送信日時）から表示します。
・**本文から表示**	メールの本文から表示します。
添付ファイル自動再生設定 （お買い上げ時：自動再生する）	受信したｉモードメールを開いたときに、添付または貼り付けられているメロディを自動再生するかどうかを設定します。
冒頭文／署名設定	「冒頭文／署名／引用符を編集する」→P.243
メールセキュリティ設定	「BOXごとにセキュリティを設定する」→P.153
受信表示設定	FOMA端末の操作中にメール、メッセージR/Fを受信したときに、受信中画面および受信結果画面を優先的に表示するかどうかを設定します。
・**通知優先** （お買い上げ時）	受信中画面および受信結果画面を表示します。
・**操作優先**	受信中画面および受信結果画面を表示せず、操作中の画面の表示を優先します。
メール選択受信設定	メールの選択受信をするかどうかを設定します。
・**ON**	メールを自動受信しません。
・**OFF** （お買い上げ時）	メールを自動受信します。
添付ファイル設定 （お買い上げ時：すべて「有効」）	▶で□（チェックボックス）を選択▶[完了] メールを受信したときに、添付されたメロディや画像を受信するかどうかを設定します。
チャット設定	「チャットメールの各種設定をする」→P.248
感情／キーワード通知設定	「感情お知らせメールの通知方法を設定する」→P.244
SMS設定	SMSに関する設定をします。
・**SMS送達通知設定** （お買い上げ時：要求しない）	SMSを送信したときにSMS送達通知を要求するかどうかを設定します。「要求する」または「要求しない」を選択します。
・**SMS有効期間設定** （お買い上げ時：3日）	送信したSMSがSMSセンターに保管される期間を「0日」、「1日」、「2日」、「3日」から選択します。 「0日」を設定すると、SMSセンターに保管されません。
・**SMS本文入力設定** （お買い上げ時：日本語入力（70文字））	SMSの本文の入力方法を設定します。日本語入力は、すべての全角文字および半角文字を70文字まで入力できます。半角英数入力は、半角の英数文字を160文字まで入力できます。
メール設定確認	「メール設定」で設定した内容を確認できます。
メール設定リセット	「メール設定」の設定内容をお買い上げ時の状態に戻します。→P.244

おしらせ

＜スクロール設定＞

◆スクロール行数は、メール詳細画面で機能メニューから「スクロール設定」を選択しても設定できます。この場合、本設定も変更されます。

＜文字サイズ設定＞

◆メール詳細画面で◎または◎を1秒以上押しても文字サイズを変更することができます。また、メール詳細画面で機能メニューから「文字サイズ設定」を選択しても文字サイズを変更することができます。いずれの方法で変更した場合も、本設定も変更されます。

◆メール詳細画面以外に移ったときは、縮小表示や拡大表示になっていても自動的に標準表示になります。メール詳細画面に戻ったときは、再度、縮小表示や拡大表示になります。

◆「フォント設定」（P.128）の「文字サイズ」でも文字サイズを変更することができます。

＜本文表示設定＞

◆メールの本文が1ページ以内に表示できる場合は、「本文から表示」を選択しても、メールの先頭（受信日時／送信日時）の全部または一部と本文が表示されます。

＜添付ファイル自動再生設定＞

◆「自動再生する」に設定していても、FOMA N601i以外から送られてきたメロディは正しく再生できない場合があります。

＜受信表示設定＞

◆音声電話の着信中や発信中、音声通話中、またｉモーション、キャラ電、カメラなどの機能を利用しているときは、「通知優先」に設定していても、メール、メッセージR/Fを受信したときに受信中画面および受信結果画面が表示されない場合があります。

＜メール選択受信設定＞

◆本設定は、ｉモードメールのみ適用されます。SMS、メッセージR/Fは、この設定にかかわらず自動受信します。

＜添付ファイル設定＞

◆本機能でチェックを外した種類のファイルについては、ｉモードセンターで添付ファイルが削除されます。削除された添付ファイルは、ｉモードセンターで再取得できません。

◆「画像有効」のチェックを外しても、デコメール本文に挿入されている画像は受信されます。

◆メロディを受信した場合、FOMA N601i以外から送られてきたメロディは正しく再生できない場合があります。

＜SMS送達通知設定＞

◆受信したSMS送達通知は「受信BOX」フォルダで確認できます。また、送信したSMSの詳細画面から機能メニュー「SMS送達通知表示」を選択しても確認できます。

冒頭文／署名／引用符を編集する

お買い上げ時	冒頭文／署名（未登録）：自動貼付する 引用符：＞

本文の先頭に書く文章（冒頭文）や、本文の最後に書く自分の名前など（署名）をあらかじめ登録しておくと、簡単な操作でｉモードメール（テキストメール）やデコメールの本文に貼り付けることができます。また、受信メールを引用返信するときに引用するメールの本文の先頭に付ける記号や文章（引用符）を編集することもできます。

1 「メール設定画面」（P.242）▶「冒頭文／署名設定」を選択

2 「冒頭文編集」または「署名編集」を選択▶◉

■ 引用符を編集する場合
▶「引用符編集」

3 冒頭文、署名を入力▶✉［完了］

冒頭文、署名に入力できる文字数は全角5,000文字、半角10,000文字、引用符に入力できる文字数は全角10文字、半角20文字までです。

■ 引用符を入力する場合
▶引用符を入力

■ 冒頭文または署名を装飾する場合
冒頭文または署名を装飾することができます。
「デコメールを作成する」→P.214

4 「自動貼付設定」を選択▶「冒頭文自動貼付」または「署名自動貼付」のチェックボックスを選択▶✉［完了］

■ 冒頭文または署名を自動貼り付けしない場合
▶冒頭文または署名の「自動貼付」のチェックボックスのチェックを外す

おしらせ

◆「自動貼付」のチェックボックスを選択しても、テンプレート、チャット画面からｉモードメールを作成するときは、貼り付けられません。

◆冒頭文および署名を装飾する場合、背景色の設定はできません。冒頭文および署名の背景色は、貼り付けるメールの背景色に変わります。

◆ｉモードメール（テキストメール）に、装飾した冒頭文または署名を貼り付けるとデコメールになります。

ｉモードセンターへ問い合わせをする内容を設定する〈ｉモード問い合わせ設定〉

お買い上げ時
すべて「問い合わせをする」

「ｉモード問い合わせ」をするときに問い合わせる項目を設定します。「メール」（ｉモードメール）、「メッセージR」、「メッセージF」それぞれについて、問い合わせるかどうかを設定します。
- 「□」（チェックを外した状態）に設定すると、その項目は問い合わせをしません。

1. MENU ▶「各種設定」▶「アプリケーション通信設定」▶「ｉモード問い合わせ設定」
2. ◎で□（チェックボックス）を選択 ▶ ✉［完了］

感情お知らせメールの通知方法を設定する〈感情／キーワード通知設定〉

お買い上げ時	感情通知：ON キーワード通知：OFF

ｉモードメールやチャットメール、SMSを受信したときに感情お知らせメールのアイコンを表示するかどうかを設定できます。また、受信したメールに指定したキーワードが含まれているときにアイコンでお知らせするように設定することもできます。
- 「感情お知らせメールについて」→P.223

1. 「メール設定画面」（P.242）▶「感情／キーワード通知設定」

感情／キーワード通知設定画面
機能メニュー ➡P.244

「感情／キーワード通知設定画面」が表示されます。

■「感情通知」を利用する場合
▶「感情通知」の□（チェックボックス）を選択
「☑」にすると、メール受信時に感情お知らせメールのアイコンが表示されます。

■「キーワード通知」を利用する場合
▶「キーワード通知」の□（チェックボックス）を選択▶キーワードを１つ以上入力
「☑」にすると、「キーワード」に入力した文字列が含まれているメールを受信したときに、対応する感情お知らせメールのアイコンが表示されます。なお、「キーワード」は最低１つは入力してください（全角15文字、半角30文字までのキーワードを３つまで入力できます）。

2. ✉［完了］

感情／キーワード通知設定画面の機能メニュー

キーワード削除	選択されているキーワードを削除します。
キーワード全削除	設定されているすべてのキーワードを削除します。

おしらせ

◆キーワードを変更または削除した場合は、メール一覧画面などでそのキーワードに対応して表示されていたキーワード通知アイコンの表示も削除されます。

メール機能の設定を初期状態に戻す〈メール設定リセット〉

1. 「メール設定画面」（P.242）▶「メール設定リセット」▶端末暗証番号を入力▶「YES」

〈チャットメール作成・送信〉

チャットメールを作成して送信する

複数の相手と会話をするような感覚でメールの交換ができます。
- 以下のような場合はチャットメールを起動することができません。
  - メール選択受信を「ON」に設定しているとき
  - 受信BOXに保存されているメールが満杯のとき
- 複数の相手にチャットメールを送信した場合の通信料は、同報メールの送信の場合と同じです。
- チャットメールに着信音を設定することができます。同時に複数のメールを受信した場合でチャットメールが含まれているときは、チャットメールに設定されている着信音が鳴ります。

チャットメンバーを設定する〈チャットメンバー設定〉

チャットメールをやりとりする相手を設定します。

1. MENU ▶「メール」▶「チャットメール」▶ ｉ［機能］▶「チャットメンバー」

チャットメンバー設定画面
機能メニュー ➡P.245

「チャットメンバー設定画面」が表示されます。
これ以降の詳しい操作手順については、チャットメンバー設定画面の機能メニューの「メンバー参照入力」を参照してください。

チャットメンバー設定画面の機能メニュー

チャットメンバーは自分を含めて6人まで登録できます。

編集	自分以外のチャットメンバーのメールアドレスを入力して登録します。
メンバー参照入力	**■アドレスが登録されていない場合** **▶以下の項目から選択** **■アドレスが登録されている場合** **▶「YES」▶以下の項目から選択** 電話帳や履歴を参照してチャットメンバーのメールアドレスを入力します。
・電話帳	電話帳からメールアドレスを入力します。 電話帳の検索のしかた（検索方法の指定）→P.98
・送信アドレス一覧	送信アドレス一覧からメールアドレスを入力します。
・受信アドレス一覧	受信アドレス一覧からメールアドレスを入力します。
メンバー入れ替え	「チャットメンバーを入れ替える」→P.245
チャットグループ登録	現在のチャットメンバーを一括してチャットグループに登録します。
詳細設定確認	チャットメンバーの設定の詳細を確認します。
削除	自分以外の選択したチャットメンバーを1名削除します。
全削除	自分以外のすべてのチャットメンバーを削除します。

おしらせ

<編集>
◆登録したメールアドレスがチャットグループに登録されている場合は、メンバー名が表示されます。チャットグループに登録されていない場合、電話帳に登録されているときは電話帳に登録されている名前の先頭から全角4文字、半角8文字までが、電話帳に登録されていないときはメールアドレスの先頭から半角8文字までが表示されます。

<メンバー参照入力（電話帳）>
◆登録済みのチャットメンバーのメールアドレスを電話帳から参照して変更した場合は、電話帳に登録されている名前と画像のファイル名がチャットメンバー設定画面に反映されます（画像が未登録の場合は変更されません）。

<詳細設定確認>
◆自分の詳細設定確認を表示した場合は、メールアドレスは表示されません。

<削除／全削除>
◆自分は削除できません。

● チャットメンバーを入れ替える

1 「チャットメンバー設定画面」(P.244) ▶ i ［機能］▶「メンバー入れ替え」▶以下の項目から選択

チャットグループ	入れ替えるメンバーをグループ一覧またはメンバー一覧から選択します。
・グループ一覧	**▶「チャットグループ」を選択**
・メンバー一覧	**▶ で□（チェックボックス）を選択▶ ［完了］**
メールメンバー	**▶メールメンバーを選択**

おしらせ

◆チャットメンバーから削除されたメンバーからのチャットメールを受信した場合は、チャット画面に表示されません。チャットメールを削除しないで「チャット終了」を選択しても、次回チャットメールを起動したときには、チャット画面には表示されませんが、iモードメールとして保存されています。

チャットメールを作成して送信する

チャットメールを新規に作成して送信します。

1 MENU ▶「メール」▶「チャットメール」

「チャット画面」が表示されます。

チャット画面

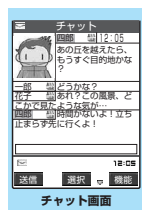
2 ▶発言を入力▶ ［送信］

チャット画面から送信できる文字数は全角で250文字までです。
送信が完了すると、最新発言エリアに自分の発言が表示されます。
続けて送信するには、操作2を繰り返します。

■ 送信に失敗した場合

最新発言エリアの発言がグレー表示になり、文字編集エリアの発言は削除されないので、送信に失敗したチャットメールだけを再送信することができます。

■ チャットメールを終了する場合

▶チャット画面の機能メニュー▶「チャット終了」

おしらせ

◆添付ファイルや貼付データは表示されません。
◆送受信したチャットメールは「チャット」フォルダに保存されます。再送信する場合は、「チャット」フォルダから送信してください。
◆送信したチャットメールの題名は「チャットメール」(半角)となります。
◆チャット画面で表示したチャットメールは、「チャット」フォルダにおいて既読となります。
◆チャットメールを起動中にｉモードメールを受信しても、受信結果画面は表示されません。
◆シークレットフォルダに保管されているチャットメールは、シークレットモード設定中やシークレット専用モード設定中でも、チャット画面には表示されません。

チャット画面の機能メニュー

送信	チャットメールを送信します。
送信先選択	▶で□(チェックボックス)を選択▶[完了]
チャットメンバー	「チャットメンバーを設定する」→P.244
同報宛先確認	「同報メールの宛先を参照してチャットメンバーに追加する」→P.246
更新	ｉモードセンターに保管されているチャットメールを受信します。
先頭表示	最新発言エリアに最新の発言を表示します。
最終表示	最新発言エリアに一番古い発言を表示します。
チャット終了	チャットメールを削除するかどうかを選択してチャットメールを終了します。
既読削除	保護されていない既読の送受信チャットメールを削除します。

おしらせ

<既読削除>
◆送信に失敗したチャットメールも削除されます。

<チャット終了>
◆チャットメールを終了すると、未送信のチャットメールは削除されます。
◆チャットメールを削除しないでチャットメールを終了するときは、「チャット終了」を選択した後に「NO」を選択します。
◆削除しないで終了した場合は、送受信したチャットメールはそれぞれ、送信BOX一覧画面および受信BOX一覧画面の「チャット」フォルダに保存されます。
◆送信に失敗したチャットメールは送信BOX一覧画面の「チャット」フォルダに保存されます。
◆削除しないで終了した場合は、次回のチャットメール起動時にチャット画面の発言履歴エリアに日付が新しい順に表示されます。
◆チャット画面終了時に、チャットメールを一括削除することができます。この場合、チャットフォルダからもチャットメールが削除されます。ただし、保護されているチャットメールは削除されません。

● 同報メールの宛先を参照してチャットメンバーに追加する

● 本機能は、チャットメールに対応したFOMA端末からの同報メールの場合のみ利用することができます。

1 「チャット画面」(P.245)▶[機能]▶「同報宛先確認」▶「YES」▶で□(チェックボックス)を選択▶[完了]

■ 宛先がすべてチャットメンバーの場合
▶「同報宛先確認」▶「OK」

チャットメールを受信する
〈チャットメール受信〉

チャットメールを起動していないときにチャットメールを受信すると、待受画面に「チャット」が表示されます。アイコンを選択するとチャットメールが起動し、チャットメールをはじめることができます。

● チャットメールの表示可能文字数は全角250文字(半角500文字)です。
● 受信したチャットメールに添付ファイルが付いていた場合、チャット画面では本文のみ表示されます。
● 「チャット」を選択した場合や、受信メールの詳細画面で機能メニューから「チャット起動」を選択した場合は、以下の条件でチャットメンバーや送信先が変更されます。
  • 送信元のメールアドレスがチャットメンバーに設定されているときは、前回チャット終了時のチャットメンバーがそのまま設定されます。ただし、受信メールの詳細画面から起動した場合は、送信先一覧の、送信元以外のメンバーは送信の対象から外れます。「チャット」を選択した場合は、「送信先選択」の設定に従い、送信元のメールアドレスが送信の対象から外れているときは、送信先に追加されます。
  • 送信元のメールアドレスがチャットメンバーに設定されていなくて、チャットグループに登録されているときは、送信元のメンバーが登録されているチャットグループのメンバーすべてが、チャットメンバーに設定されます。ただし、送信先一覧の、送信元以外のメンバーは送信の対象から外れます。
  • 送信元のメールアドレスがチャットメンバーに設定されていなくて、チャットグループにも登録されていないときは、送信元のメールアドレスだけが、チャットメンバーに設定されます。

1 待受画面表示中▶◉▶「チャット」

待受画面

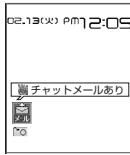
■ **送信者がチャットメンバーに登録されていない場合**

▶「YES」

チャットメンバーを削除してチャットメールを起動するかどうかのメッセージが表示されます。「YES」を選択すると、現在設定されているチャットメンバーの設定を変更してチャットメールを起動します。

■ **現在設定されているチャットメンバーを変更しない場合**

▶「NO」

現在設定されているチャットメンバーの設定をそのままにして、メールメニュー画面が表示されます。

2 **チャットメールをはじめる**

受信したチャットメールが最新発言エリアに表示されます。削除していないチャットメールがある場合は、発言履歴エリアに日時が新しい順に表示されます。

おしらせ

◆FOMA端末は、以下の条件が一致するかどうかでチャットメールを識別します。
- 題名に「チャットメール」（すべて全角またはすべて半角）が含まれている
- 送信元や宛先のメールアドレスがチャットメンバーまたはチャットグループに登録されている
- デコメールではない
- SMSではない

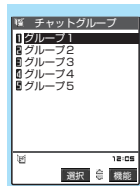
◆チャット画面では、Phone To／AV Phone To機能、Mail To機能、Web To機能は利用できません。受信BOXから表示した場合は、Phone To／AV Phone To機能、Mail To機能、Web To機能は利用できます。

チャットグループにメンバーを登録する

チャットグループにあらかじめメンバーを登録しておくことにより、簡単な操作でチャットメンバーに登録することができます。

- 1件のチャットグループにメンバーを5人まで登録できます。自分を登録する必要はありません。
- チャットグループは5件まで登録できます。
- 1人のメンバーを別々のチャットグループに重複して登録することはできません。
- チャットグループにメンバーを登録すると、メンバー名を編集したり、画像を設定することができます。

1 MENU▶「ユーザデータ」▶「チャットグループ」

「チャットグループ一覧画面」が表示されます。

チャットグループ一覧画面

機能メニュー➡P.247

2 **チャットグループを選択**

「グループメンバー一覧画面」が表示されます。

3 「＜未登録＞」を反転表示して✉［編集］▶メールアドレスを入力▶◉

グループメンバー一覧画面

機能メニュー➡P.248

メールアドレスに入力できる文字数は半角50文字までです。
メールアドレスを追加登録するときは、操作2～3を繰り返します。

■ **電話帳を参照してメールアドレスを入力する場合**

▶「＜未登録＞」を選択▶「電話帳」▶検索する方法を選択▶引用するメールアドレスを選択

電話帳の検索のしかた（検索方法の指定）→P.98

おしらせ

◆チャットメンバーに登録するｉモードメールアドレスが「電話番号@docomo.ne.jp」の場合は、電話番号のみを入力してください。メールアドレスの場合は、@マークより前の部分、あるいは「@docomo.ne.jp」まで含んだ形のどちらでも登録できます。

◆登録したメールアドレスの先頭から半角8文字までがメンバー名として設定されます。登録したメールアドレスが電話帳に登録されている場合は、電話帳に登録されている名前の先頭から全角4文字、半角8文字までが表示されます。電話帳に画像も登録されている場合は、画像も設定されます。

チャットグループ一覧画面の機能メニュー

チャット起動	チャットグループのメンバーをチャットメンバーに設定して、チャットメールを起動します。
グループ名編集	**▶グループ名を編集** グループ名を編集します。入力できる文字数は、全角10文字、半角20文字までです。
グループ名初期化	グループ名をお買い上げ時の状態にします。

グループメンバー一覧画面の機能メニュー

編集	▶メールアドレスを入力 メールアドレスを編集します。入力できる文字数は半角50文字までです。
メンバー参照入力	■アドレスが登録されていない場合 ▶以下の項目から選択 ■アドレスが登録されている場合 ▶「YES」▶以下の項目から選択 電話帳や履歴を参照してグループメンバーのメールアドレスを入力します。
・電話帳	電話帳詳細画面からメールアドレスを入力します。電話帳に登録されている登録名と静止画が登録されます。 電話帳の検索のしかた（検索方法の指定）→P.98
・送信アドレス一覧	送信アドレス一覧からメールアドレスを入力します。
・受信アドレス一覧	受信アドレス一覧からメールアドレスを入力します。
メンバー入れ替え	■メンバーが登録されていない場合 ▶「メールメンバー」▶メールメンバーを選択 ■メンバーが登録されている場合 ▶「メールメンバー」▶「YES」▶メールメンバーを選択
メンバー詳細設定	「メンバーの詳細を設定する」→P.248
1件削除	反転表示したグループメンバーのメールアドレスを削除します。
全削除	▶端末暗証番号を入力▶「YES」 選択されているグループメンバー内のすべてのメンバーを削除します。

● メンバーの詳細を設定する

1 「グループメンバー一覧画面」(P.247) ▶ i ［機能］▶「メンバー詳細設定」▶ i ［機能］▶以下の項目から選択

メンバー名編集	▶メンバー名を入力 メンバー名を編集します。入力できる文字数は、全角4文字、半角8文字までです。
画像設定	チャット画面で表示する各メンバーの画像を選択します。お客様が作成したフォルダがあるときは「プリインストール」の項目の次に表示されます。
・INBOX	INBOXに保存されている画像を選択します。
・カメラ	FOMA端末で撮影した静止画を選択します。
・プリインストール	FOMA端末に用意されている画像を選択します。「ビーンズ」、「サンデー」、「モモ」、「ビター」、「ピータン」、「タン・タン」の中から選択します。

おしらせ

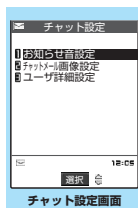
<メンバー名編集>
◆メンバー名に何も入力しない場合は、メールアドレスの先頭から半角8文字までがメンバー名になります。

<画像設定>
◆背景色は変更できません。

チャットメールの各種設定をする

1 「メール設定画面」(P.242) ▶「チャット設定」

「チャット設定画面」が表示されます。

チャット設定画面

2 以下の項目から選択

お知らせ音設定	新しいチャットメールを受信したときやチャットメールを送信したときにチャット画面で鳴るお知らせ音を選択します。お客様が作成したフォルダがあるときは「プリインストール」の項目の次に表示されます。
・INBOX	iモードのサイトやインターネットホームページなどからダウンロードしたメロディからお知らせ音を選択します。
・プリインストール	「チャットお知らせ音1」～「チャットお知らせ音3」からお知らせ音を選択します。
・おしゃべり	「おしゃべり機能」に録音されている着信音やメロディからお知らせ音を選択します。
・OFF	お知らせ音を鳴らしません。
チャットメール画像設定 （お買い上げ時：有効）	チャット画面の最新発言エリアに画像を表示するかしないかを設定します。
ユーザ詳細設定	「ユーザの詳細を設定する」→P.249

おしらせ

<お知らせ音設定>
◆チャットメンバーに登録されていないメンバーからチャットメールを受信した場合は、お知らせ音は鳴りません。

● ユーザの詳細を設定する

1 「チャット設定画面」(P.248)▶「ユーザ詳細設定」▶以下の項目から選択

ユーザ名	▶ユーザ名を入力 ユーザ名を入力します。入力できる文字数は、全角4文字、半角8文字までです。
画像	チャット画面で表示する自分の画像を選択します。お客様が作成したフォルダがあるときは「プリインストール」の項目の次に表示されます。
・INBOX	INBOXに保存されている画像を選択します。
・カメラ	FOMA端末で撮影した静止画を選択します。
・プリインストール	FOMA端末に用意されている画像を選択します。「ビーンズ」、「サンデー」、「モモ」、「ビター」、「ピータン」、「タン・タン」の中から選択します。

おしらせ

<ユーザ名>
◆ユーザ名に何も入力しなかったり、空白のみを入力した場合は、「自分」になります。

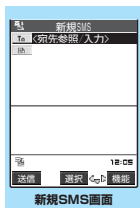
<画像>
◆背景色は変更できません。

〈SMS作成・送信〉

SMS(ショートメッセージ)を作成して送信する

● ドコモ以外の海外通信事業者のお客様との間でも送受信が可能です。ご利用可能な国および海外通信事業者についてはドコモのホームページをご覧ください。

1 MENU▶「メール」▶「SMS作成」

「新規SMS画面」が表示されます。

新規SMS画面

機能メニュー ➡P.250

2 「To」▶宛先(相手先の電話番号)の入力方法を選択

SMSの宛先は1件のみ入力できます。

電話帳	電話帳を検索して電話番号を入力します。 電話帳の検索のしかた(検索方法の指定)→P.98
送信アドレス一覧※1	送信アドレス一覧から電話番号を入力します。
受信アドレス一覧※2	受信アドレス一覧から電話番号を入力します。
直接編集	直接、電話番号を入力します。

※1:「新規SMS画面」で◎を押しても「送信アドレス一覧」を表示することができます。
※2:「新規SMS画面」で◎を押しても「受信アドレス一覧」を表示することができます。

■ 宛先がドコモ以外の海外通信事業者の場合

▶+(0(1秒以上))、国番号、相手先の携帯電話番号の順に入力

携帯電話番号が「0」ではじまる場合には、「0」を除いて入力してください。
また、「010」、「国番号」、「相手先の携帯電話番号」の順に入力しても送信できます(受信した海外からのSMSに返信する場合は、「010」を入力して海外に返信してください)。

■ 入力した宛先を変更する場合

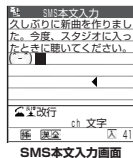
▶宛先を選択▶宛先の入力方法を選択

上書きするかどうかのメッセージが表示された場合は「YES」を選択してください。

以下の場合は、入力した宛先にSMSを送信することはできません。

- 宛先に数字、「✱」、「#」以外の文字が含まれているとき
- 宛先の先頭以外に「+」が含まれているとき
- 宛先にスペースが含まれているとき

3 「📄」

「SMS本文入力画面」が表示されます。

SMS本文入力画面

4 本文を入力

本文編集画面に入力できる文字の種類と文字数は「SMS本文入力設定」(P.250)の設定に従います。「日本語入力」に設定されている場合は、すべての全角/半角文字を70文字まで、「半角英数入力」に設定されている場合は、半角の英数字や記号を160文字まで入力できます。
スペースも文字と同じように文字数にカウントされます。
本文入力中は「文字入力(編集)画面」の機能メニュー(P.332)が使えます。

5 ✉[送信]

メール送信中のアニメーション画面が表示され、SMSが送信されます。「OK」を選択するとメールメニュー画面に戻ります。
送信済み、未送信のSMSを再編集するには→P.240

● SMS（ショートメッセージ）送達通知について〈SMS送達通知表示〉

「SMS送達通知設定」（P.250）を「要求する」に設定した場合、SMS送信後にSMS送達通知が送られてきます。SMS送達通知は受信BOXに保存されますが、送信したSMSにもSMS送達通知が保存され、送信したSMSが相手に届いたかどうかを確認できます。
SMS送達通知（ ）があるSMSを表示し、機能メニューから「SMS送達通知表示」を選択します。
SMS送達通知は、受信メール一覧画面でSMS送達通知を選択しても表示できます。SMS送達通知は題名に「 SMS送達通知」と表示されます。

おしらせ

◆FOMA端末に保存されている送信メール（SMSとｉモードメールの合計）が最大保存件数を超えた場合は、送信メールのうち古いメールから順に自動的に削除されます。ただし、保護されている送信メール、シークレットフォルダ内のｉモードメールやSMSは削除されません。
◆電波状況により、相手の方に文字が正しく表示されない場合があります。
◆発信者番号通知を「通知しない」に設定しても、SMS送信時は受信側に発信者番号が通知されます。
◆マルチナンバーの付加番号を通常発信番号に設定している場合はSMSの送信ができません。通常発信番号を基本契約番号に設定してください。
◆本文編集中に改行することができます。改行は「日本語入力」の場合は2文字、「半角英数入力」の場合は1文字としてカウントされます。
◆送信する文字の種類や、相手側の端末によっては、受信側で正しく表示されない文字があります。

新規SMS画面の機能メニュー

機能	説明
送信	SMSを送信します。
送信プレビュー	送信する前にSMSの宛先や内容を確認します。
保存	編集中のSMSを保存BOXに保存します。ｉモードメールと合わせて20件まで保存できます。保存したSMSは後で送信できます。
SMS送達通知設定（お買い上げ時：要求しない）	SMSを送信したときにSMS送達通知を要求するかどうかを設定します。「要求する」または「要求しない」を選択します。
SMS有効期間設定（お買い上げ時：3日）	送信したSMSが圏外などで届かなかった場合にSMSセンターに保管する期間を設定します。「0日」～「3日」を選択できます。
SMS本文入力設定（お買い上げ時：日本語入力）	SMSの本文の入力方法を設定します。日本語入力は、すべての全角文字および半角文字を70文字まで入力できます。半角英数入力は、半角の英数文字を160文字まで入力できます。
本文消去	本文だけを消去します。
SMS削除	編集中のSMSを削除します。

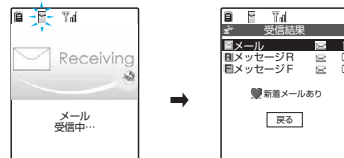
おしらせ

◆メール設定画面で「SMS本文入力設定」、「SMS送達通知設定」、または「SMS有効期間設定」を設定した場合は、電源を切った後でも設定は保持されますが、機能メニューで「SMS本文入力設定」、「SMS送達通知設定」、または「SMS有効期間設定」を設定した場合は、設定中のSMS1件に限り有効です。
◆「SMS有効期間設定」で「0日」を設定した場合、一定時間再送した後にSMSセンターから削除されます。

〈SMS受信〉

SMS（ショートメッセージ）を受信したときは

FOMA端末が圏内にあるときは、SMSセンターから自動的にSMSが送られてきます。
● 受信したSMSは、FOMA端末にｉモードメールと合わせて最大で1,000件まで保存できます。

1 SMSを受信すると、「 （白色）」のアイコンが点滅し「メール受信中…」と表示される

受信が完了すると、受信結果画面に受信したSMS・ｉモードメール、メッセージR/Fの件数が表示されます。
「メール」を選択すると、受信メール一覧画面が表示されます。
何も操作しないで約15秒経過すると元の画面に戻ります。受信結果画面が表示される時間は「メール／メッセージ鳴動」の設定によって変わる場合があります。
着信音の音量は「着信音量」の「メール」で設定した音量になります。

おしらせ

◆FOMA端末に保存されている受信メール（ｉモードメールとSMSの合計）が1,000件、または1,000件未満でも保存容量を超えた場合は、受信時にゴミ箱のメール、古い受信メールから順に自動的に削除されます。ただし、未読のメールと保護されている受信メール、シークレットフォルダ内のｉモードメールやSMSは削除されません。必要な受信メールは保護することをおすすめします。→P.236、239

◆「 (赤色)」のアイコンが表示されたときは、FOMA端末はこれ以上ｉモードメールやSMSを受信できません。このアイコンが表示されなくなるまで、不要なｉモードメールやSMSを削除するか、未読のｉモードメールやSMSを読むことで受信できるようになります。受信時には既読の古いものから順に上書きされます。
◆複数のメール（ｉモードメール、SMS）を同時に受信したときは、最後に受信したメールに設定されている条件で、着信音が鳴り、着信ランプが点滅します。
◆mova端末などからショートメールを受信した場合は、送信元の電話番号が表示されます。ただし、発信者番号が通知されないときは、通知されない理由が表示されます。
◆ｉモーションの再生中にSMSを受信した場合は、映像や音声が途切れることがあります。

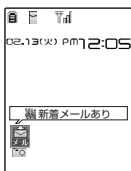
<着信音動作と着信ランプ動作の優先順位>

◆SMSを受信したときの着信音とイルミネーションの設定の優先順位は以下のとおりです。
①電話番号ごとに指定した「発着信識別機能」 →P.105
②グループごとに指定した「グループ識別機能」 →P.105
③「着信音選択」／「スタイルモード」→P.112、134
「着信イルミネーション」→P.127

新着SMS（ショートメッセージ）を表示する

● 受信したSMSの場合、受信メール一覧画面の題名には本文の先頭が表示されます。
● 受信したSMS送達通知の場合、受信メール一覧画面の題名は「SMS送達通知」と表示されます。
● 留守番着信通知の場合、受信メール一覧画面の題名は「留守番　着信通知」と表示されます。
● 新着メールのデスクトップアイコンを選択すると、SMSの本文の内容にあった感情のアイコンを表示します。

1 待受画面表示中▶●▶「メール」

「 (白色)」のアイコンを選択すると未読メールを一覧表示します。未読メール一覧画面の機能メニューについては、受信メール一覧画面の機能メニュー（P.236）を参照してください。

おしらせ

◆受信したSMSに区点コード一覧表にない全角文字が含まれている場合はスペース（空白）で表示されます。
◆表示したSMSの送信元の電話番号は反転表示されます。反転表示した状態で●を押すと、表示されている電話番号に音声電話やテレビ電話を発信できます（Phone To機能／AV Phone To機能）。また、送信元の電話番号が電話帳に登録されているときは、登録されている「名前」が反転表示されます。この場合も同じ操作で電話をかけられます。

受信したSMS（ショートメッセージ）に返信／転送する

SMSの送信元に返信／転送できます。
● 題名の入力はできません。
「新たに本文を入力して返信する」→P.225

おしらせ

◆SMSでは引用返信はできません。
◆送信元が非通知設定／公衆電話／通知不可能のSMSには返信できません。
◆SMS送達通知は返信／転送することはできません。
◆留守番着信通知は返信することはできません。
◆FOMAカード内のSMSを返信／転送した場合、受信メール一覧画面、受信メール詳細画面で「 」／「 」のアイコンは表示されず「 」のアイコンの表示のままとなります。

〈SMS問い合わせ〉

SMS（ショートメッセージ）があるかどうかを問い合わせる

● SMSセンターに届いたSMSは自動的にFOMA端末へ送信されますが、FOMA端末の電源が入っていないときや、圏外、セルフモード設定中、メモリがいっぱいのときなどで受信できないときはSMSセンターに保管されます。

1 MENU▶「メール」▶「SMS問い合わせ」

問い合わせ中は、「SMS問い合わせ中…」と表示されます。問い合わせが完了すると問い合わせを行ったというメッセージが表示されるので、●を押します。
センターにSMSが保管されていれば、自動受信がはじまります。
問い合わせを行った後、自動受信がすぐにはじまらない場合があります。

おしらせ

◆電波状態によっては、問い合わせできなかったり問い合わせが中断される場合があります。
◆本機能でｉモードメール、メッセージR/Fを受信することはできません。ｉモードメール、メッセージR/Fを受信するには、「ｉモード問い合わせ」をして受信してください。

〈SMS設定〉
SMS（ショートメッセージ）の設定を行う

SMS（ショートメッセージ）センターについて設定する
お買い上げ時 ドコモ

※通常は設定を変更する必要はありません。

ドコモのSMSセンターを利用するか、他社のSMSセンターを利用するかを設定します。

<例：他社のSMSセンターを利用するとき>

1 MENU ▶「各種設定」▶「アプリケーション通信設定」▶「SMS center設定」▶以下の項目から選択

ドコモ	ドコモのSMSセンターを利用します。
ユーザ設定	▶SMSセンターのアドレスを入力▶「International」または「Unknown」 他社のSMSセンターを利用します。
リセット	▶端末暗証番号を入力▶「YES」 「ユーザ設定」の内容を削除し、「ドコモ」に設定します。

おしらせ

◆入力したSMSセンターのアドレスに「#」や「＊」が含まれている場合は、「International」を選択することはできません。

〈FOMAカード操作〉
SMS（ショートメッセージ）をFOMAカードに保存する

FOMA端末（本体）に保存されているSMSを、FOMAカードに移動したり、コピーして保存できます。また、FOMAカードに保存されているSMSを本体に移動またはコピーできます。

● FOMAカードには、受信SMSと送信SMSを合計20件まで保存できます。

SMS（ショートメッセージ）をFOMAカードに移動またはコピーする

<例：受信フォルダ内のSMSをFOMAカードに移動するとき>

1 MENU ▶「メール」▶「受信BOX」▶フォルダを選択▶SMSを反転表示▶ i ［機能］▶「FOMAカード操作」▶以下の項目から選択

FOMAカードへ移動	FOMA端末（本体）内のSMSをFOMAカードに移動します。
FOMAカードへコピー	FOMA端末（本体）内のSMSをFOMAカードにコピーします。

おしらせ

◆FOMAカードに移動またはコピーした受信SMS／送信SMSは、受信BOXフォルダ／送信BOXフォルダ内に表示されます。

◆「[icon]」、「[icon]（白色）」または「[icon]（赤色）」のアイコンが表示されている場合は、SMSの移動、コピーはできません。

◆FOMAカードのSMSは保護できません。保護されているSMSをFOMAカードに移動またはコピーした場合、FOMAカード内のSMSは保護が解除されます。

◆電池パックを外すと、FOMAカードの送信SMSの日付・時刻が消去され、一覧の最後に表示されます。ただし、SMS送達通知が一緒に保存されている送信SMSの場合、日付・時刻は消去されません。

FOMAカード内のSMS（ショートメッセージ）をFOMA端末（本体）に移動またはコピーする

<例：FOMAカード内のSMSを受信フォルダに移動するとき>

1 MENU ▶「メール」▶「受信BOX」▶フォルダを選択▶SMSを反転表示▶ i ［機能］▶「FOMAカード操作」▶以下の項目から選択

FOMAカードから移動	FOMAカード内のSMSをFOMA端末（本体）に移動します。
FOMAカードからコピー	FOMAカード内のSMSをFOMA端末（本体）にコピーします。

●データ表示／編集／管理

■静止画を使いこなす
データBOXについて 254
保存した画像を表示する .... マイピクチャ 255
静止画を編集する .... イメージ編集 261
■動画を使いこなす
撮影した動画／ｉモーションを再生する .... ｉモーション 263
動画を編集する .... 動画編集 268
■キャラ電を使いこなす
キャラ電とは .... キャラ電 271
■メロディを使いこなす
メロディを再生する .... メロディ 273
■各種データを使いこなす
フォルダとデータを操作する 276
電話帳の画像を転送しないように設定する ...... 電話帳画像転送 277
■赤外線通信／ケーブル接続でデータをやりとりする
赤外線通信／ケーブル接続によるデータ転送について
.... 赤外線通信／OBEX 277
データを１件ずつ転送する 280
データをまとめて転送する 280

データBOXについて

データBOXには以下のような項目とフォルダが用意されており、内蔵カメラで撮影した静止画や動画、メールやサイトなどからダウンロードしたデータなどが、種類に合わせてフォルダに振り分けられます。

- 本FOMA端末（本体）には、それぞれ以下の件数まで保存が可能です。
  マイピクチャ：撮影した静止画と合わせて最大360件
  ｉモーション：撮影した動画と合わせて最大100件
  メロディ：最大200件
  キャラ電：お買い上げ時に登録されているキャラ電と合わせて最大10件
  シークレットフォルダ：マイピクチャは最大100件、1,000Kバイト、ｉモーションは最大10件、1,000Kバイト
- マイピクチャ、ｉモーション、メロディには、それぞれ20個までフォルダを追加することができます。
- マイピクチャ、ｉモーション、メロディに保存されているデータをその項目内のほかのフォルダに移動することができます。

マイピクチャ

フォルダ	ファイル形式	データの内容
INBOX	JPEG、GIF、SWF※1	すべての画像の保存先として選択できます。赤外線通信などで転送された画像はINBOXフォルダに保存されます。
カメラ		
デコメールピクチャ		お買い上げ時に登録されているデコメール用の画像が保存されています。INBOX、カメラフォルダと同様に、画像の保存先として選択できます。
プリインストール		お買い上げ時に登録されている待受画面やウェイクアップなどの画像、アニメーションが保存されています。
シークレット※2		ほかの人に見られたくない画像を保管します。
（ユーザ作成フォルダ1～20）		INBOX、カメラフォルダと同様に、画像の保存先として選択できます。
自作アニメ	－	連続撮影で登録したアニメーションおよび自作したアニメーションが保存されます。
フレーム	IFM	お買い上げ時に登録されているフレームが保存されています。ダウンロードしたフレームが保存されます。
スタンプ	IFM	お買い上げ時に登録されているマーカースタンプが保存されています。ダウンロードしたマーカースタンプが保存されます。

ｉモーション

フォルダ	ファイル形式	データの内容
INBOX	MP4	すべての動画やｉモーションの保存先として選択できます。ｉモーション、赤外線通信などで転送された動画やｉモーションはINBOXフォルダに保存されます。
カメラ		
プリインストール		お買い上げ時に登録されているｉモーションが保存されています。
シークレット※2		ほかの人に見られたくない動画、ｉモーションを保管します。
（ユーザ作成フォルダ1～20）		INBOX、カメラフォルダと同様に、動画やｉモーションの保存先として選択できます。
プログラム※3	－	－

メロディ

フォルダ	ファイル形式	データの内容
INBOX	SMF、MFi	すべてのメロディの保存先として選択できます。赤外線通信などで転送されたメロディはINBOXフォルダに保存されています。
プリインストール	MFi	お買い上げ時に登録されているメロディや効果音が保存されています。
（ユーザ作成フォルダ1～20）	SMF、MFi	INBOXフォルダと同様に、メロディの保存先として選択できます。
おしゃべり	－	おしゃべり機能で録音した音声が保存されます。
プログラム※3	－	－

キャラ電

フォルダ	ファイル形式	データの内容
－	AFD	お買い上げ時に登録されているキャラ電が保存されています。ダウンロードしたキャラ電が保存されます。

※1：SWFとはFlash画像のファイル形式です。
※2：シークレットモード、シークレット専用モードのときのみ表示されます。お買い上げ時に登録されている画像／ｉモーションは保管できません。
※3：プログラムフォルダは、プログラム再生に利用するためのフォルダです。データ保存やフォルダ削除などはできません。

■お願い

- パソコンをお持ちの場合は、ドコモケータイdatalink（P.322）とFOMA USB接続ケーブル（別売）を利用して、データの内容をパソコンに保管することもできます。（メールへの添付や本FOMA端末外への出力が禁止されている画像や動画、メロディは、パソコンに転送できません。）
- FOMA端末の故障・修理やその他の取扱いによって、登録したデータが消失する場合があります。当社としては責任を負いかねますので、万一に備え登録したデータは、ドコモケータイdatalinkを利用してパソコンに保管くださるようお願いします。

〈マイピクチャ〉 MENU46

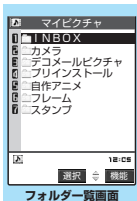
保存した画像を表示する

撮影した静止画やダウンロードした画像は、データBOXのマイピクチャで表示します。

- 横1,616ドット、縦1,212ドットを超える画像、総ドット数が1,616×1,212ドットを超える画像、ファイルサイズが600Kバイトを超える画像は表示できません。また、横または縦の最大が690ドットを超えるプログレッシブJPEG形式の画像、総ドット数が690×480ドットを超えるプログレッシブJPEG形式の画像は表示できません。
プログレッシブJPEG形式の画像→P.191

1 MENU▶「データBOX」▶「マイピクチャ」

「フォルダ一覧画面」が表示されます。
シークレットモード、シークレット専用モードのときには、「シークレット」フォルダも表示されます。
マイピクチャのフォルダ内容について→P.254

フォルダ一覧画面

機能メニュー ➡P.276

2 フォルダを選択

「画像一覧画面（ピクチャー覧）」が表示されます。
画像一覧画面の見かたについて→P.255

画像一覧画面

機能メニュー ➡P.256

3 画像を選択

「マイピクチャ画面」が表示されます。
で前または次の画像を表示することができます。

■ 画像を拡大表示する場合

▶［等倍］

画像が拡大表示されます。
元の表示に戻すときは、［通常］を押します。
画像が画面内に収まらないときは、で画像をスクロールできます。

マイピクチャ画面

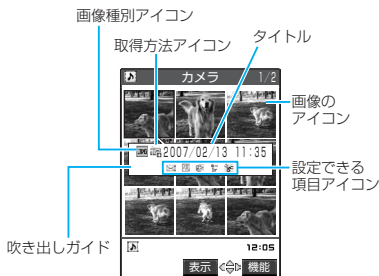
機能メニュー ➡P.258

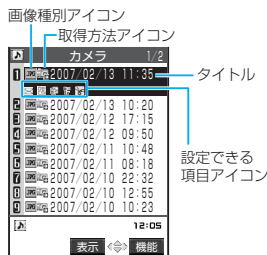
おしらせ

◆等倍／拡大表示をしているとき、で前または次の画像への切り替えや、機能メニューの表示はできません。
◆自作アニメ、GIF形式のアニメーション、Flash画像は等倍表示できません。
◆データが多い場合、表示に時間がかかる場合があります。
◆Flash画像を再生する際の音量は、「着信音量」の「電話」で設定した音量になります。音量を「ステップ」に設定している場合は「レベル2」の音量になります。

ピクチャー覧／タイトル名一覧の見かた

■ ピクチャー覧

本体に保存されている画像は、画面に9枚ずつ表示され、選択されている画像のタイトルが吹き出しガイドに表示されます。また、画像種別とその取得方法、その画像が設定できる項目がアイコンで確認できます。

■ タイトル名一覧

画面に9件の画像がタイトル名で表示され、画像種別とその取得方法、その画像が設定できる項目がアイコンで確認できます。

■ 画像種別アイコン

アイコン	説明
JPG	JPEG形式の画像※1
GIF	GIF形式の画像※1
	GIF（IFM）形式のフレーム、マーカースタンプ※1
	SWF形式のFlash画像
	MP4形式の動画、iモーション※1

アイコン	説明
	音響効果のあるMP4形式のｉモーション※1
	MP4形式の再生制限付きのｉモーション※2
	音響効果があり、再生制限付きのMP4形式のｉモーション※2
	AFD形式のキャラ電
	FOMAカード動作制限に該当している画像

※1：ファイル制限が設定されているデータ、メールへの添付やFOMA端末外への出力が禁止されているデータのアイコンには「　」が付きます。メールや赤外線通信機能などではデータを送付できません。ただし、本FOMA端末で撮影した静止画、動画でファイル制限を設定した場合を除きます。

※2：再生回数、再生期間、再生期限を過ぎたｉモーションは「　」が「　」になります。

■ 取得方法アイコン

アイコン	説明
アイコンなし	お買い上げ時に登録されているデータ
	サイトやメールなどからダウンロードしたデータ
	カメラで撮影したデータ
	赤外線通信やパソコンなどから取得したデータ
	フレーム･マーカースタンプ

■ 設定できる項目アイコン

アイコン	説明
QVGA	QVGA（横320×縦240ドット）サイズの動画、ｉモーションデータ。ｉモーションの各フォルダでのみ表示されます。
／／	ｉモードメールに添付できるデータ（10,000バイト以下／500K～10,001バイト／500Kバイトを超える） 500Kバイトを超える場合、メールに送信できる容量に処理する必要があります。 「動画をメールに添付できるサイズに切り出す」→P.270
	デコメールに挿入できるデータ
	画面などに設定できるデータ
	着信音に設定できるデータ
	赤外線送信可能なデータ
	編集可能なデータ

■ タイトル、ファイル名について

- 内蔵カメラで撮影した静止画や動画には自動的にタイトルとファイル名が付きます。
  タイトル：yyyy/mm/dd　hh:mm
  （年／月／日　時刻）
  ファイル名：yyyymmddhhmmxxx
  　　　　　　　　　　　└── 年月日時刻
  （静止画の場合、xxxの部分に3桁の数字が付きます。）
  ※時刻：静止画は保存を完了した時刻、動画は撮影を終了した時刻になります。ただし、自動保存設定がOFFの場合は動画を保存した時刻が表示されます。
- ダウンロードしたｉモーションやキャラ電にはオリジナルのタイトルが付きます。
- ダウンロードした画像にはファイル名と同じタイトルが付きます。
- タイトルは FOMA 端末の画像一覧画面に表示される名前です。
- ファイル名はパソコンなどに送ったときに表示される画像データの名前です。
- ファイル名の末尾 3 桁の数字は同一ファイル名を区別するためのシリアル番号として付けられます。
- ファイル名に不正な文字があるとき、ファイル名は「imagexxx」あるいは「moviexxx」になります。

● 画像一覧の表示のしかたを設定する〈ピクチャ表示設定〉

- 自作アニメは常にタイトル名一覧表示です。

1 MENU ▶「各種設定」▶「ディスプレイ」▶「ピクチャ表示設定」▶以下の項目から選択

ピクチャ一覧 （お買い上げ時）	ピクチャ一覧に切り替えます。
タイトル名一覧	タイトル名一覧に切り替えます。

画像一覧画面の機能メニュー

- 選択したフォルダによって利用できる機能が異なるため、機能メニューに表示される項目が異なります。

イメージ編集	「静止画を編集する」→P.261
タイトル編集	▶**タイトルを編集** 選んだ画像のタイトルを編集します。 全角文字で9文字、半角文字で18文字まで入力できます。
イメージ表示	選んでいる画像を表示します（マイピクチャ画面を表示します）。

イメージ貼付	設定した項目には★が表示されます。 ■待受画面に設定する場合 ▶項目を選択▶表示方法を選択 ■電話発信、電話着信などの画面に設定する場合 ▶項目を選択 ■テレビ電話関係（テレビ電話発信、テレビ電話着信を除く）の画面に設定する場合 ▶項目を選択▶画像を確認▶[ボタン]▶「YES」
イメージ情報	「イメージ情報について」→P.259
ｉモードメール作成	
・画像添付	「画像を添付したｉモードメールを作成する」→P.259
・画像挿入	「デコメールを作成する」→P.259
赤外線送信	「データを１件ずつ転送する」→P.280
デスクトップ貼付	「デスクトップアイコンを利用する」→P.130
電話帳イメージ登録	選んでいる画像を電話帳に登録します。→P.93
ファイル名編集	▶ファイル名を編集 選んだ画像のファイル名を編集します。 半角の英字、数字と記号（"-"，"_"）で36文字まで入力できます（"-"，"_"以外の記号を入力することはできません）。
ファイル制限	選んだ画像のファイル制限を設定します。
・なし	送付先のFOMA端末から送信／転送することができます。
・あり	送付先のFOMA端末では送信／転送することができなくなります。
フォルダ移動	
・１件移動	▶移動先のフォルダを選択▶「YES」 選んだ画像をほかのフォルダに移動します。
・選択移動	「データを複数選択する」→P.276
・全移動	▶移動先のフォルダを選択▶「YES」 フォルダ内の画像をすべてほかのフォルダに移動します。
保存容量確認	保存されている画像の保存データ容量と空きデータ容量を確認します。ただし、シークレットの容量は含まれません。
ソート	指定した条件に従って画像を並び替えます。
タイトル名一覧、ピクチャ一覧	ピクチャ一覧／タイトル名一覧を切り替えます。
４枚画像合成	「4枚の画像を1枚の静止画に合成する」→P.260
お預りセンターに保存	「画像をお預かりセンターに保存する」→P.258
削除	
・１件削除	選んだ画像を削除します。
・選択削除	「データを複数選択する」→P.276
・全削除	▶端末暗証番号を入力▶「YES」 フォルダ内の画像をすべて削除します。
シークレットに保管※	「各種データを表示できないようにする」→P.145

※：「シークレットモード」または「シークレット専用モード」のときに表示されます。またシークレットフォルダのときは「シークレットから出す」になります。→P.145

おしらせ

<タイトル編集>
◆お買い上げ時に登録されている画像はタイトル編集できません。

<イメージ貼付>
◆INBOX、カメラ、ユーザ作成フォルダの画像の場合は、以下の画面に設定できます。
- 待受画面
- ウェイクアップ表示
- 電話発信
- 電話着信
- テレビ電話発信
- テレビ電話着信
- メール送信
- メール受信
- 問い合わせ
- テレビ電話応答保留
- テレビ電話通話保留
- テレビ電話代替画像
- テレビ電話伝言メモ
- テレビ電話伝言準備
- テレビ電話音声メモ

◆プリインストールフォルダの画像の場合は、待受画面、ウェイクアップ表示の画面に設定できます。
◆以下の画像はイメージ貼付できません。
- 横690ドットより大きい、または縦690ドットより大きい画像
- ファイル容量が100Kバイトを超える画像

◆画像サイズや貼り付け先によっては、表示される大きさが実際のものと異なる場合があります。
◆画像によってはイメージ貼付できない場合があります。

<電話帳イメージ登録>
◆ファイル容量が100Kバイト以下で画像サイズが横690×縦480ドットまたは横480×縦690ドットまでの画像が登録できます。
◆JPEG形式、GIF形式以外の画像は登録できません。

<ファイル名編集>
◆以下の画像はファイル名編集できません。
- お買い上げ時に登録されている画像
- メールへの添付やFOMA端末外への出力が禁止されている画像

◆ファイル名に半角スペースを使用することはできません。

<ファイル制限>
◆以下の画像はファイル制限を設定できません。
- JPEG形式、GIF形式以外の画像

<削除>
◆お買い上げ時に登録されている画像は削除できません。
◆画面や自作アニメ、スケジュールのユーザアイコンなどに設定されている画像を削除しようとしたときは、削除するかどうかの確認メッセージが表示されます。「YES」を選択して削除した場合、設定されていた画面などは以下のようになります。
- 設定されていた画面はお買い上げ時の設定に戻ります。
- 自作アニメは解除されます。
- スケジュールのアラーム通知画面は「🕒」を設定したときの画面に置き換わります。

◆メールに添付した静止画を削除した場合、メールに添付されている静止画は削除されません。ただし、大容量画像のときは添付されている静止画も削除されます。

<保存容量確認>
◆表示される容量はおおよその目安です。シークレットフォルダの容量は、シークレットモード設定中またはシークレット専用モード設定中にのみ表示されます。

<ソート>
◆「ファイル取得元順」は、以下の順にソートされます。
①お買い上げ時に登録されている画像
②ダウンロードした画像
③カメラで撮影した画像
④赤外線通信などから取得した画像
※：フォルダによっては順序が異なる場合があります。

● 画像をお預かりセンターに保存する〈電話帳お預かりサービス〉

「マイピクチャ」のINBOX、カメラ、デコメールピクチャ、ユーザ作成フォルダ内の画像データを、ドコモのお預かりセンターに預けることができます。

- 本サービスを利用するには、「電話帳お預かりサービス」のお申し込みが必要です。
- 「電話帳お預かりサービス」をご契約されていない場合は、「電話帳お預かりサービス」未契約のお知らせが表示されます。その画面からサイトに接続してサービスを申し込むことができます。
電話帳お預かりサービスについて
→P.109、158

1 「画像一覧画面」(P.255) ▶ [i] [機能] ▶ 「お預りセンターに保存」

2 🔘で画像を選ぶ ▶ [✉] [完了]
画像は最大10件まで選択できます。

3 端末暗証番号を入力 ▶ 「YES」
お預かりセンターに接続して画像の保存を開始します。

4 [✉] [完了]

おしらせ
◆1件あたりのファイル容量が100Kバイトを超える画像、FOMA端末外への出力が禁止されている画像、お買い上げ時に登録されているデコメールピクチャは保存できません。

■ 画像を復元する
お預かりセンターに預けている画像データは、FOMA端末に復元することができます。復元は、iモードに接続して行います。ご利用方法の詳細等については、『ご利用ガイドブック（iモード<FOMA>編）』をご覧ください。

マイピクチャ画面の機能メニュー

- 選択したフォルダによって利用できる機能が異なるため、機能メニューに表示される項目が異なります。

イメージ編集	「静止画を編集する」→P.261
イメージ貼付	▶**項目を選択** 表示している画像を待受画面などに設定します。
イメージ情報	「イメージ情報について」→P.259
iモードメール作成	
・**画像添付**	「画像を添付したiモードメールを作成する」→P.259
・**画像挿入**	「デコメールを作成する」→P.259
赤外線送信	「データを1件ずつ転送する」→P.280
画像表示設定	イメージ表示エリア（横240×縦345ドット）より小さな画像の表示方法を設定します。
・**標準**（お買い上げ時）	実際のサイズで表示します。
・**画面サイズで表示**	画面のサイズに拡大して表示します。
デスクトップ貼付	「デスクトップアイコンを利用する」→P.130
電話帳イメージ登録	表示している画像を電話帳に登録します。→P.93
リトライ	アニメーションを表示しているとき、そのアニメーションの最初から再生します。
1件削除	表示している画像を削除します。

おしらせ
<イメージ貼付>
◆以下の画面に設定できます。
- 待受画面
- ウェイクアップ表示
- 電話発信
- 電話着信
- テレビ電話発信
- テレビ電話着信
- メール送信
- メール受信
- 問い合わせ
- テレビ電話応答保留
- テレビ電話通話保留
- テレビ電話代替画像
- テレビ電話伝言メモ
- テレビ電話伝言準備
- テレビ電話音声メモ

◆以下の画像はイメージ貼付できません。
- 横690ドットより大きい、または縦690ドットより大きい画像
- ファイル容量が100Kバイトを超える画像

◆画像サイズや貼り付け先によっては、表示される大きさが実際のものと異なる場合があります。
◆画像によってはイメージ貼付できない場合があります。

<電話帳イメージ登録>
◆ファイル容量が100Kバイト以下で画像サイズが横690×縦480ドットまたは横480×縦690ドットまでの画像が登録できます。
◆JPEG形式、GIF形式以外の画像は登録できません。

<1件削除>
◆画面や自作アニメ、スケジュールのユーザアイコンなどに設定されている画像を削除しようとしたときは、削除するかどうかの確認メッセージが表示されます。「YES」を選択して削除した場合、設定されていた画面などは以下のようになります。
- 設定されていた画面はお買い上げ時の設定に戻ります。
- 自作アニメは解除されます。
- スケジュールのアラーム通知画面は「🕒」を設定したときの画面に置き換わります。

◆メールに添付した静止画を削除した場合、メールに添付されている静止画は削除されません。ただし、大容量画像のときは添付されている静止画も削除されます。

● イメージ情報について

以下の情報が確認できます。

ファイル名	ファイル名を表示
ファイル種別	ファイル形式を表示 Flash画像のときは表示されません。
ファイルサイズ	ファイルサイズをキロバイト（Kバイト）で表示
保存日時	ファイルの保存日時（年／月／日 時：分）を表示
ファイル制限	ファイル制限の「あり／なし」を表示
故障時移行可否	お客様のFOMA端末を修理する際、お客様の情報内容をドコモ指定の故障取扱窓口で移行可能かどうかを表示します（万が一、お客様の情報内容の移行ができない場合および情報内容の消失、変化に関し、当社としては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください）。ダウンロードした画像／メロディのうち、移行を許可されているものが「可」になります。
表示サイズ	ファイルの表示サイズ（横×縦ドット）を表示
取得元	ファイルの取得元を表示
イメージ貼付	イメージ貼付の設定先を表示 設定されていないときは「設定なし」の表示になります。

● 画像を添付したｉモードメールを作成する

● 画像をそのまま添付できない場合は、添付できるように画像サイズやファイル容量を変更します。

1 「画像一覧画面」（P.255）▶ i ［機能］▶「ｉモードメール作成」▶「画像添付」

■横240×縦320ドットまたは横320×縦240ドットより大きなJPEG形式の画像の場合

▶以下の項目から選択▶変更された画像を確認

そのまま添付	画像サイズを変更せずに添付します。
QVGA縮小添付	画像の横と縦の比率を保持したまま画像サイズを変更して添付します。

2 ｉモードメールを作成

「ｉモードメールを作成して送信する」→P.211

おしらせ

◆画像のサイズ／ファイル容量によっては「画像添付」が表示されません。
◆10,000バイトを超えていて500Kバイト以下のJPEG形式の画像は大容量画像となります。大容量画像をFOMA端末に送信した場合、ｉショットセンターでｉモード端末が受信するのに適したサイズに変換されます。
◆以下の場合はｉモードメール作成できません。
- 保存メールが20件あるとき
- Flash画像のとき
- 10,000バイトを超えるGIF形式の画像のとき
- メールへの添付やFOMA端末外への出力が禁止されている画像

● デコメールを作成する

● 画像をそのまま挿入できない場合は、挿入できるように画像サイズやファイル容量を変更します。

1 「画像一覧画面」（P.255）▶ i ［機能］▶「ｉモードメール作成」▶「画像挿入」

■横128×縦96ドットまたは横96×縦128ドットより大きなJPEG形式の画像、またはデコメールへ挿入時に最大容量を超えたJPEG形式の画像の場合

▶以下の項目から選択▶変更された画像を確認

そのまま挿入	画像サイズを変更せずに挿入します。※
SubQCIF縮小挿入	画像の横と縦の比率を保持したまま画像サイズを変更して挿入します。※

※：デコメールへ挿入時にファイル容量が最大容量を超える場合は、ファイル容量も変更します。

2 デコメールを作成

デコメールの作成／送信のしかた→P.214

おしらせ

◆画像のサイズ／ファイル容量によっては「画像挿入」が表示されません。
◆以下の場合はデコメール作成できません。
- 保存メールが20件あるとき
- 9,000バイトを超えるGIF形式の画像のとき

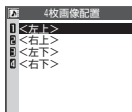
● 4枚の画像を1枚の静止画に合成する

- 横640×縦480ドットより大きな画像、横480×縦640ドットより大きな画像は設定できません。

1 「画像一覧画面」(P.255)▶[i]［機能］▶「4枚画像合成」

2 配置する位置を選択▶フォルダを選択▶画像を選択▶操作を繰り返して4枚の画像を選択

■ 設定した画像を解除する場合
▶解除する画像を選択▶フォルダの選択画面で「イメージ解除」

3 [✉]［完了］▶[●]

■ 4枚合成をし直す場合
▶[✉]［取消］

おしらせ

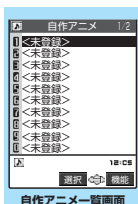
◆合成した画像は、4枚画像合成をはじめたときのフォルダに保存されます。
◆画像は横と縦の比率を保持したまま4枚合成されます。なお、合成に使用した元の画像はリサイズされません。
◆画像選択画面で[✉]［デモ］を押すと、選択している画像を確認することができますが、等倍表示はできません。

アニメーションを作成する 〈自作アニメ〉

登録されている画像を使って20フレームまでのアニメーションを作成することができます。
- 20件まで作成できます。

1 [MENU]▶「データBOX」▶「マイピクチャ」▶「自作アニメ」

「自作アニメ一覧画面」が表示されます。

自作アニメ一覧画面

機能メニュー➡P.260

2 「<未登録>」

3 フレームを選択▶フォルダを選択▶画像を選択▶操作を繰り返して画像を設定

■ 設定した画像を解除する場合
▶解除するフレームを選択▶フォルダの選択画面で「イメージ解除」

4 [✉]［完了］

おしらせ

◆画像選択画面で[✉]［デモ］を押すと、選択している画像を確認することができます。
◆静止画が設定されていないコマがある場合、設定されているコマのみ順番に再生されます。
◆画像サイズが横640×縦640ドット以下のJPEG形式の静止画や画像を自作アニメに設定できます。

自作アニメ一覧画面の機能メニュー

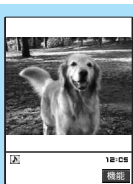
タイトル編集	**▶タイトルを編集** 反転表示した自作アニメのタイトルを編集します。 全角文字で9文字、半角文字で18文字まで入力できます。
自作アニメ設定	「<未登録>」を反転表示しているときは、自作アニメを新規登録します。 作成した自作アニメを反転表示しているときは、その自作アニメを編集します。
イメージ表示	反転表示した自作アニメを再生します(自作アニメ再生画面を表示します)。
イメージ貼付	**▶項目を選択** 反転表示した自作アニメを待受画面などに設定します。
イメージ情報	イメージ貼付で設定した自作アニメの設定先を確認します。 設定されていないときは「設定なし」の表示になります。
自作アニメ解除	反転表示した自作アニメを解除します。

おしらせ

<イメージ貼付>
◆以下の画面に設定できます。
- 待受画面
- 電話発信
- テレビ電話発信
- メール送信
- 問い合わせ
- ウェイクアップ表示
- 電話着信
- テレビ電話着信
- メール受信

自作アニメを表示する

1「自作アニメ一覧画面」(P.260) ▶ 自作アニメを選択

「自作アニメ再生画面」が表示されます。
自作アニメを2つ以上登録しているときは、◎で前または次の自作アニメを再生できます。

自作アニメ再生画面

機能メニュー ➡P.261

自作アニメ再生画面の機能メニュー

イメージ貼付	▶項目を選択 再生している画像を待受画面などに設定します。
画像表示設定	イメージ表示エリア（横240×縦345ドット）より小さな画像の表示方法を設定します。
・標準（お買い上げ時）	実際のサイズで表示します。
・画面サイズで表示	画面のサイズに拡大して表示します。
リトライ	アニメーションの最初から再生します。

おしらせ

<イメージ貼付>

◆以下の画面に設定できます。

- 待受画面
- ウェイクアップ表示
- 電話発信
- 電話着信
- テレビ電話発信
- テレビ電話着信
- メール送信
- メール受信
- 問い合わせ

〈イメージ編集〉

静止画を編集する

撮影した静止画や本体へコピーした画像などを編集することができます。

● 編集内容と画像サイズは以下のとおりです。

編集の内容	画像サイズ（編集前）
フレーム合成 ・フレーム付きの画像にします。→P.262	横352×縦288ドットまで※1 横288×縦352ドットまで※1
フォトレタッチ ・セピア調の画像にするなど、画像に効果を付けます。→P.262	横690×縦480ドット以下 横480×縦690ドット以下
マーカースタンプ ・ハートなどのマーカースタンプを画像に貼り付けます。→P.262	横1,616×縦1,212ドット以下※2 横1,280×縦960ドット以下※2 横690×縦480ドット以下 横480×縦690ドット以下 横640×縦480ドット以下※3 横480×縦640ドット以下※3
文字スタンプ ・入力した文字のスタンプを画像に貼り付けます。→P.263	
トリミング ・お好みのサイズに画像を切り抜きます。→P.263	
明るさ ・画像の明るさを調節します。→P.262	
回転 ・画像を左右90度または180度回転します。→P.262	
サイズ変更 ・画像サイズを変更します。→P.262	
逆光補正 ・逆光により暗くなっている部分をはっきりとした画像にします。→P.262	横690×縦480ドット以下 横480×縦690ドット以下
肌色補正 ・肌色の部分を補正し、きれいな画像にします。→P.262	

※1：横352×縦288ドット、横288×縦352ドット、横240×縦320ドット、横320×縦240ドット、横240×縦345ドット、横345×縦240ドット、横176×縦144ドット、横144×縦176ドット、横128×縦96ドット、横96×縦128ドット以外の画像はフレーム合成できません。
※2：横640×縦480ドット、または横480×縦640ドットに縮小してからの編集となります。
※3：編集項目によって画像サイズ（編集前）との関係で編集できない場合があります。

● 編集できる画像について→P.256
● 静止画確認画面の機能メニューで「画像編集」を選択した場合、編集できるのは「フレーム合成」、「フォトレタッチ」、「肌色補正」、「逆光補正」のみです。

1「マイピクチャ画面」(P.255) ▶ i［機能］▶「イメージ編集」

イメージ編集画面の機能メニュー（P.262）が表示されます。

2 編集する項目を選択

3 編集した画像を確認▶[●]

「イメージ編集画面」が表示されます。続けて編集する場合は[i][機能]を押して、編集する項目を選択します。

イメージ編集画面

機能メニュー➡P.262

4 [●]▶「YES」または「NO」

「YES」を選択したときは、編集元の画像に上書きされます。
「NO」を選択したときは、編集元の画像と同じフォルダに新規保存されます。

おしらせ

◆画像の編集を繰り返して行うと、画質が劣化したり、ファイル容量が増える場合があります。
◆画像によっては、編集効果が表れにくい場合があります。

イメージ編集画面の機能メニュー

フレーム合成	「フレームを重ねる」→P.262
フォトレタッチ	画像に効果を付けます。
・シャープ	よりシャープな感じの画像にします。
・ソフト	よりソフトな感じの画像にします。
・セピア	セピア調の画像にします。
・浮き彫り	レリーフのような浮き彫り効果のある画像にします。
・ネガ	ネガ画像にします。
・ミラー	左右を反転した画像にします。
マーカースタンプ	「マーカースタンプを貼り付ける」→P.262
文字スタンプ	「文字スタンプを貼り付ける」→P.263
トリミング	「トリミングする」→P.263
明るさ	**▶[◎]で明るさを調節** 画像の明るさを「－2～±0～＋2」の5段階で調節します。
回転※1	画像を回転します。 「右90度」、「左90度」、「180度」から選択できます。
サイズ変更	縦横の比率を保ち、選択したサイズを超えない最大のサイズに拡大／縮小を行います。 「VGA（640×480）」、「CIF（352×288）」、「QVGA（320×240）」、「QCIF（176×144）」、「SubQCIF（128×96）」、「VGA+縦（480×690）」、「VGA縦（480×640）」、「フルスクリーン（240×345）」、「待受（240×320）」、「CIF縦（288×352）」、「QCIF縦（144×176）」、「SubQCIF縦（96×128）」から選択できます。※2
逆光補正	逆光により暗くなっている部分をはっきりとした画像にします。
肌色補正	肌色の部分を補正し、きれいな画像にします。
iモードメール作成	「画像を添付したiモードメールを作成する」→P.259
保存	編集した画像を保存します。

※1：回転すると画像の縦横比が変わる場合があります。
※2：( )内の数字は横×縦のドット数で画像のサイズを表しています。

● フレームを重ねる

● お買い上げ時に登録されているフレーム（P.343）のほかに、ダウンロードしたフレームを利用することもできます。

1 「マイピクチャ画面」（P.255）▶[i][機能]▶「イメージ編集」▶「フレーム合成」▶フレームを選択

フレームが重なった画像が表示されます。
[◎]でほかのフレームに変更することができます。

■ フレームを180°回転する場合
▶[✉][回転]

■ 設定したフレームを取り消す場合
▶[i][機能]▶「取消」

おしらせ

◆ダウンロードしたフレームには縦向きと横向きのものがあり、画像のサイズが同じ場合のみフレーム合成できます。
◆トリミングやサイズ変更した画像がフレームと同じサイズのときはフレーム合成できます。このとき、サイズ変更してフレーム合成した画像は、画質が劣化する場合があります。

● マーカースタンプを貼り付ける

● お買い上げ時に登録されているマーカースタンプのほかに、ダウンロードしたスタンプを利用することもできます。
● マーカースタンプを回転したり、拡大／縮小することができます。

1 「マイピクチャ画面」（P.255）▶[i][機能]▶「イメージ編集」▶「マーカースタンプ」▶マーカースタンプを選択

■ マーカースタンプを編集する場合
▶[i][機能]▶以下の項目から選択

右90度	時計回りに90度回転します。
左90度	反時計回りに90度回転します。
180度	180度回転します。
拡大	2倍のサイズに拡大します。
縮小	1／2のサイズに縮小します。

❷ マーカースタンプの位置を決定▶[決定]

[方向キー]でマーカースタンプの位置を調整できます。

■ ほかのマーカースタンプを押す場合
▶[メール]［追加］▶操作1～2を繰り返す

おしらせ

◆ダウンロードして使用できるスタンプのサイズは横240×縦240ドット以下の画像となります。それ以外はGIF形式の画像として扱われます。
◆マーカースタンプの拡大や縮小は繰り返して操作できます。
◆編集する静止画のサイズよりマーカースタンプを拡大することはできません。また、1ドット未満に縮小することはできません。

● 文字スタンプを貼り付ける

お買い上げ時	文字色：黒　フォント：ゴシック体 文字サイズ：通常サイズ

- 一度に入力できる最大文字数は全角文字で3～15文字、半角文字で6～30文字です。ただし、入力できる文字数は画像サイズ、文字サイズによって変わります。
- 文字スタンプの色、フォント、文字サイズを変更することができます。

❶「マイピクチャ画面」（P.255）▶[i]［機能］▶「イメージ編集」▶「文字スタンプ」▶文字を入力

■ 文字スタンプを編集する場合
▶[i]［機能］▶以下の項目から選択

文字入力	▶文字を入力 文字を入力し直します。
文字色	▶[方向キー]で色を選択 文字スタンプの色を設定します。 色パレットを切り替えるときは[メール]［切替］を押します。
フォント	文字スタンプのフォントを「ゴシック体」または「ポップ体」から選択します。
文字サイズ	文字スタンプの大きさを「拡大サイズ」、「通常サイズ」、「縮小サイズ」から選択します。

❷ 文字スタンプの位置を決定▶[決定]

[方向キー]で文字スタンプの位置を調整できます。

おしらせ

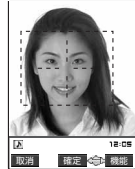
◆フォントの太さは「フォント設定」で設定した太さになります。

● トリミングする

❶「マイピクチャ画面」（P.255）▶[i]［機能］▶「イメージ編集」▶「トリミング」

「VGA（640×480）」、「CIF（352×288）」、「QVGA（320×240）」、「QCIF（176×144）」、「SubQCIF（128×96）」、「VGA縦（480×640）」、「フルスクリーン（240×345）」、「待受（240×320）」、「CIF縦（288×352）」、「QCIF縦（144×176）」、「SubQCIF縦（96×128）」、「メニューアイコン（64×63）」、「チャット（80×80）」から選択できます。※
※：（ ）内の数字は横×縦のドット数で画像のサイズを表しています。

❷ 切り抜き枠の位置を決定▶[決定]

[方向キー]で切り抜き枠の位置を調整できます。

〈ｉモーション〉

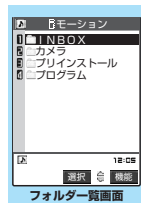
撮影した動画／ｉモーションを再生する

撮影した動画、ｉモードのサイトやインターネットホームページから取得したｉモーションは、データBOXのｉモーションで再生します。また、QVGA（320×240）以下の動画を回転させ、横画面で再生することもできます。

- ｉモーションのFOMA端末への取得について→P.201
- 「連続再生設定」で、動画やｉモーションの再生開始後、FOMA端末を折り畳んだ状態で音声のみの再生ができます。→P.267

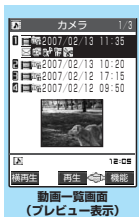
❶ [MENU]▶「データBOX」▶「ｉモーション」

「フォルダ一覧画面」が表示されます。
シークレットモード、シークレット専用モードのときには、「シークレット」フォルダも表示されます。
ｉモーションのフォルダ内容について→P.254

フォルダ一覧画面

機能メニュー➡P.276

❷ フォルダを選択

「動画一覧画面」（プレビュー表示）が表示されます。
動画一覧画面の見かたについて→P.264

動画一覧画面
（プレビュー表示）
機能メニュー ➡P.264

❸ 動画を選択

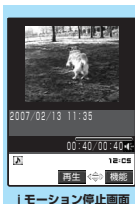
縦画面で再生する場合は[●]を、横画面で再生する場合は[✉]［横再生］を押します。
「ｉモーション画面」が表示され、動画の再生がはじまります。
再生中の操作について
→P.266

ｉモーション画面（縦画面）

■「続きを再生しますか？YES/NO」と表示された場合

- 「YES」を選択すると、前回停止位置から再生を開始します。
- 「NO」を選択すると最初から再生します。

ｉモーション画面（横画面）

再生が終了すると、「ｉモーション停止画面」になります。

ｉモーション停止画面
機能メニュー ➡P.267

おしらせ

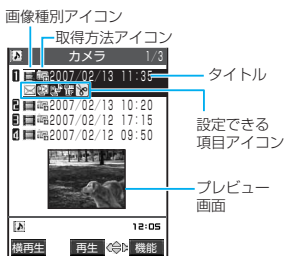
◆マナーモードに設定中、音声のある動画またはｉモーションを再生しようとしたときは、再生するかどうかの確認メッセージが表示されます。「YES」を選択すると音声付きで再生されます。「NO」を選択すると音声なしで映像のみが再生されますが、音声のみのｉモーション（歌手の歌声など映像のないｉモーション）を再生しようとした場合や、連続再生中やプログラム再生中に音声のみのｉモーション（歌手の歌声など映像のないｉモーション）の順番になった場合は再生を中止します。
◆動画やｉモーションの再生中にメールやメッセージR/Fなどを受信した場合、映像や音声が途切れる場合があります。
◆FOMA N601i以外で撮影した動画は正しく再生できない場合があります。
◆前回終了位置から再生可能な動画やｉモーションは、以下のとおりです。ただし、正確な前回終了位置から再生できない場合があります。

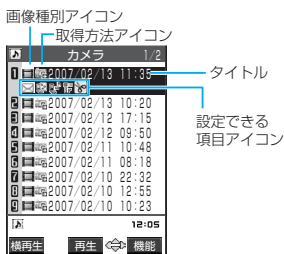
- ｉモーションで、再生中に音声着信等があった場合、[CLR]または[☎]によって再生が終了した場合。

プレビュー表示／タイトル一覧の見かた

- 画像種別アイコン、取得方法アイコン、設定できる項目アイコンについて→P.255
- タイトル、ファイル名について→P.256

■ プレビュー表示

画面に4件の動画がタイトル一覧で表示され、選択されている動画のプレビュー画像がタイトル一覧の下に表示されます。また、画像種別とその取得方法、その動画が設定できる項目がアイコンで確認できます。
音声のみのｉモーション（歌手の歌声など映像のないｉモーション）などはプレビュー画面に表示されません。

■ タイトル一覧

画面に9件の動画がタイトル一覧で表示され、画像種別とその取得方法、その動画が設定できる項目がアイコンで確認できます。

動画一覧画面の機能メニュー

- 選択したフォルダによって利用できる機能が異なるため、機能メニューに表示される項目が異なります。

ｉモーション編集	「動画を編集する」→P.268
タイトル編集	▶**タイトルを編集** 反転表示した動画のタイトルを編集します。 全角文字で9文字、半角文字で18文字まで入力できます。
着信音設定	反転表示した動画を着信音に設定します。→P.112
待受画面設定	反転表示した動画を待受画面に設定します。→P.121

ｉモーション情報	「ｉモーション情報について」→P.265
ｉモードメール作成	反転表示した動画を添付したｉモードメールを作成します。 「ｉモードメールを作成して送信する」→P.211
赤外線送信	「データを1件ずつ転送する」→P.280
フォルダ移動	
・1件移動	▶移動先のフォルダを選択▶「YES」 反転表示した動画をほかのフォルダに移動します。
・選択移動	「データを複数選択する」→P.276
・全移動	▶移動先のフォルダを選択▶「YES」 フォルダ内の動画をすべてほかのフォルダに移動します。
デスクトップ貼付	「デスクトップアイコンを利用する」→P.130
ファイル名編集	▶ファイル名を編集 反転表示した動画のファイル名を編集します。 半角の英字、数字と記号（"-"、"_"）で36文字まで入力できます（"-"、"_"以外の記号を入力することはできません）。
ファイル制限	反転表示した動画のファイル制限を設定します。
・なし	送付先のFOMA端末から送信／転送することができます。
・あり	送付先のFOMA端末では送信／転送することができなくなります。
タイトル初期化	変更したタイトルを取得したときのタイトルに戻します。
保存容量確認	保存されている動画の保存データ容量と空きデータ容量を確認します。シークレットの容量は含まれません。
ソート	指定した条件に従って動画を並び替えます。
一覧表示切替	動画の一覧表示のしかたを設定します。
・タイトル	タイトル一覧表示に切り替えます。
・タイトル＋画像（お買い上げ時）	プレビュー表示に切り替えます。
削除	
・1件削除	反転表示した動画を削除します。
・選択削除	「データを複数選択する」→P.276
・全削除	▶端末暗証番号を入力▶「YES」 フォルダ内の動画をすべて削除します。
シークレットに保管※	「各種データを表示できないようにする」→P.145

※：「シークレットモード」または「シークレット専用モード」のときに表示されます。またシークレットフォルダのときは「シークレットから出す」になります。→P.145

おしらせ

<着信音設定>
◆以下の場合は着信音に設定できません。
- 音声がない動画やｉモーションのとき
- 再生制限付きのｉモーションのとき
- テロップ付きの動画やｉモーションのとき

◆着信音設定が「可」の動画やｉモーションのみ設定できます。着信音設定の「可／不可」は、「ｉモーション情報」で確認できます。

<待受画面設定>
◆以下の場合は待受画面に設定できません。
- 音声だけの動画やｉモーション、テキストだけのｉモーションのとき
- 再生制限付きのｉモーションのとき

◆動画によっては、待受画面で正しく表示されない場合があります。
◆待受画面に設定したｉモーションからWeb To機能、Mail To機能、Phone To／AV Phone To機能は利用できません。

<ｉモードメール作成>
◆以下の場合はｉモードメール作成できません。
- 保存メールが20件あるとき
- 再生制限付きのｉモーションのとき
- メールへの添付やFOMA端末外への出力が禁止されているｉモーションのとき

◆QVGA（320×240）の動画を添付する場合、添付可能なサイズに変換するかどうかを通知するメッセージが表示されます。変換すると、QCIF（176×144）のサイズで添付されます。

<ソート>
◆「ファイル取得元順」は、以下の順にソートされます。また、同じ取得元アイコンの動画やｉモーションは、「ファイル取得元順」を選択する前の順番でソートされます。
①ダウンロードしたｉモーション
②カメラで撮影した動画
③赤外線通信などから取得した動画

● ｉモーション情報について

以下の情報が確認できます。

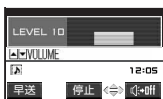
ファイル名	ファイル名を表示
フォーマット	ファイル形式を表示
初期タイトル	オリジナルタイトル名を表示
作成者	ファイルの作成者情報を表示 情報がないときは「不明」の表示になります。
コピーライト	ファイルの著作権情報を表示 情報がないときは「不明」の表示になります。
保存日時	ファイルの保存日時（年／月／日　時：分）を表示
ファイルサイズ	ファイルサイズをキロバイト（Kバイト）で表示
表示サイズ	ファイルの表示サイズ（横×縦ドット）を表示
取得元	ファイルの取得元を表示

説明	ファイルの説明を表示 情報がないときは「不明」の表示になります。
ファイル制限	ファイル制限の「あり／なし」を表示
再生制限	
・回数制限がある場合	残り再生回数と全再生回数を表示
・期限制限がある場合	再生期限日時を表示
・期間制限がある場合	「再生開始可能日時～再生期限日時」を表示
・再生制限がない場合	「なし」と表示
ビデオ	映像の「あり／なし／再生不可」を表示
オーディオ	音声の情報「AMR／AAC／なし／再生可／再生不可（MP4）／Enhanced aacPlus／HE-AAC」を表示
テキスト	テキストの「あり／なし／再生不可」を表示
着信音設定	着信音設定の「可／不可」を表示 着信音に設定されているときは、設定先が表示されます。
着信画面設定	着信画面設定の「可／不可」を表示 着信画面に設定されているときは、設定先が表示されます。

ｉモーション再生中の操作について

ｉモーション再生中には以下の操作を行うことができます。

再生中の場合

テロップ表示の場合

音量調節の場合

操作ボタン	動作
	一時停止／再生を再開
（）、（）	音量調節
	前後の動画やｉモーションの再生※1※3
	早送り再生※3※4
	消音（ミュート）（音声や音楽がないときは無効になります）※4
を1秒以上	スキップ戻し※2
を1秒以上	スキップ送り※2

操作ボタン	動作
で再生一時停止後、	コマ送り（押すごとにコマが進みます）※3
で再生一時停止後、機能メニューから「スロー再生」	スロー再生※3
CLR	終了

※1：「データ取得完了画面」（P.201）から再生した場合は、操作できません。
※2：ｉモーションによっては利用できない場合があります。
※3：データを取得しながら再生しているｉモーションでは操作できません。
※4：横再生時は操作できません。

おしらせ

◆お買い上げ時のｉモーションの音量は「レベル10」に設定されています。音量は「レベル0」～「レベル20」まで設定でき、次回も設定した音量で再生されます。
◆ｉモーションで設定した音量は、「着信音量」で設定されている着信音量などには反映されません。
◆シーク（スキップ戻し、スキップ送り）は、動画の再生中（スロー再生、早送り再生も含む）または一時停止中に実行できます。
◆シーク（スキップ戻し、スキップ送り）中は無音です。
◆以下の場合はシーク（スキップ戻し、スキップ送り）ができません。
- データを取得しながら再生できるｉモーションを再生中のとき
- シークポイントがないｉモーションのとき
- シークポイントの間隔が広いｉモーションのとき
- シークポイントが先頭にしかないｉモーションのとき

◆シーク（スキップ戻し、スキップ送り）やコマ送り中にテロップは表示されません。

● Phone To機能、Mail To機能、Web To機能を利用する

● 次の場合は、Phone To／AV Phone To機能、Mail To機能、Web To機能（P.192）を利用できます。
- 再生が終わった後、または停止した後に画面に下線の付いた電話番号やメールアドレス、URLが表示された場合
- 動画再生中のテロップに電話番号やメールアドレス、URLが表示されたとき、機能メニューから「リンク選択」を選択した場合

● Phone To／AV Phone To機能やMail To機能を利用できる場合は、電話帳に登録できます。再生が終わった後に表示される画面で「電話帳登録」を選択します。

● 電話帳の登録について
「FOMA端末（本体）電話帳に登録する」→P.93
「FOMAカード電話帳に登録する」→P.94

Phone To機能の場合

Mail To機能の場合

Web To機能の場合

ｉモーション停止（一時停止）画面の機能メニュー

● 再生した画像や選択したフォルダによって利用できる機能が異なるため、機能メニューに表示される項目が異なります。

通常再生	一時停止のとき、一時停止した位置から再生を再開します。
スロー再生	スロー再生をします。通常の再生に戻るときは、［再生］を押すか、一時停止させて機能メニューから「通常再生」を選択します。
早送り再生	早送り再生をします。通常の再生に戻るときは、［再生］を押すか、一時停止させて機能メニューから「通常再生」を選択します。
停止	ｉモーションを終了して動画一覧画面に戻ります。
再生位置選択	▶◎▶**再生したい位置を選択** 位置を指定して再生をはじめます。
リンク選択	動画再生中のテロップに電話番号やメールアドレス、URLが表示されたとき、Phone To／AV Phone To機能、Mail To機能、Web To機能（P.192）を利用できます。
ｉモーション編集	「動画を編集する」→P.268
ｉモードメール作成	表示している動画を添付したｉモードメールを作成します。 「ｉモードメールを作成して送信する」→P.211
着信音設定	表示している動画を着信音に設定します。→P.112
待受画面設定	再生している動画を待受画面に設定します。→P.121
連続再生設定 （お買い上げ時：OFF）	フォルダ内のファイル順にｉモーションを連続再生するかどうかを設定します（本FOMA端末ではリピート再生となります）。動画やｉモーションの再生開始後、FOMA端末を折り畳んだ状態で音声のみを再生することもできます。 「ON」（連続再生）または「OFF」から選択します。
ｉモーション情報	「ｉモーション情報について」→P.265
赤外線送信	「データを1件ずつ転送する」→P.280
デスクトップ貼付	「デスクトップアイコンを利用する」→P.130
画像表示設定	画像の表示方法を設定します。
・**標準**（お買い上げ時）	実際のサイズで表示します。
・**画面サイズで表示**	画面のサイズに拡大して表示します。
・**横再生**	画面を横向きにして再生します。

おしらせ

<スロー再生>
◆スロー再生中は無音です。
◆データを取得しながら再生しているｉモーションは、スロー再生できません。

<早送り再生>
◆早送り再生中は無音です。
◆データを取得しながら再生しているｉモーションは、早送り再生できません。

<再生位置選択>
◆動画やｉモーションによっては、再生位置を選択できない場合があります。

<ｉモードメール作成>
◆以下の場合はｉモードメール作成できません。
- 保存メールが20件あるとき
- 再生制限付きのｉモーションのとき
- メールへの添付やFOMA端末外への出力が禁止されているｉモーションのとき

◆QVGA（320×240）の動画を添付する場合、添付可能なサイズに変換するかどうかを通知するメッセージが表示されます。変換すると、QCIF（176×144）のサイズで添付されます。

<着信音設定>
◆着信音設定が「可」の動画やｉモーションのみ設定できます。着信音設定の「可／不可」は、「ｉモーション情報」で確認できます。

<待受画面設定>
◆待受画面に設定した動画やｉモーションを削除すると、待受画面はお買い上げ時の設定に戻ります。
◆以下の場合は待受画面に設定できません。
- 音声だけの動画やｉモーション、テキストだけのｉモーションのとき
- 再生制限付きのｉモーションのとき
- QVGA（320×240）より大きい動画のとき

◆動画によっては、待受画面で正しく表示されない場合があります。
◆待受画面に設定したｉモーションからWeb To機能、Mail To機能、Phone To／AV Phone To機能は利用できません。

<連続再生設定>
◆ｉモーションを終了した後も連続再生設定の設定は保持されます。
◆連続再生設定を「ON」に設定している場合、再生できないデータは自動的にスキップして連続再生します。また、ｉモーションからのPhone To／AV Phone To機能、Mail To機能、Web To機能は利用できません。
◆再生制限付きのｉモーションなどを再生しようとすると、その制限についてのメッセージ画面が表示され連続再生が停止する場合があります。

● 動画を好きな順に再生する〈動画プログラム再生〉

ｉモーションや動画を10件まで選んで登録しておき、連続して再生できます。

1 「フォルダー覧画面」(P.263)▶「プログラム」を反転表示して[i][機能]▶「プログラム編集」▶登録する番号を選択▶フォルダを選択▶動画を選択▶操作を繰り返して登録

■ 登録した動画を解除する場合
▶解除したい動画を選択▶フォルダ選択画面で「ムービー解除」▶「YES」

2 [✉][完了]

ｉモーションのフォルダー覧画面が表示されます。
プログラムフォルダを選択するとプログラム再生がはじまり、登録した動画が繰り返し再生されます。

おしらせ

◆プログラム再生で登録したｉモーションや動画を削除した場合、削除したファイルはプログラム再生からも削除されます。

プログラムフォルダの機能メニュー

1 ｉモーションの「フォルダー覧画面」(P.263)で「プログラム」を反転表示して[i][機能]▶以下の項目から選択

フォルダ追加	▶タイトルを入力 フォルダを追加します。 全角文字で10文字、半角文字で20文字まで入力できます。
フォルダ名編集	プログラムフォルダのフォルダ名は変更できません。
フォルダ削除	プログラムフォルダは削除できません。
動画全削除	▶端末暗証番号を入力▶「YES」 INBOXフォルダ、カメラフォルダ、ユーザ作成フォルダ内のすべての動画／ｉモーションを削除します。シークレットフォルダに保管したｉモーションは削除されません。
プログラム編集	プログラム編集を開始します。すでにプログラムされているときは、プログラムを編集することができます。 「動画を好きな順に再生する」→P.268
プログラム解除	プログラムを解除します。

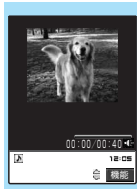
〈動画編集〉

動画を編集する

● 編集できる動画について→P.256

＜例：INBOX、カメラ、ユーザ作成フォルダの動画一覧画面＞

1 「動画一覧画面」(P.264)▶[i][機能]▶「ｉモーション編集」

「動画編集画面」が表示されます。

動画編集画面
機能メニュー ➡P.268

2 [i][機能]▶編集する項目を選択→P.268

おしらせ

◆動画編集によって画質が劣化したり、ファイル容量が増減する場合があります。
◆編集後の確認画面で電話がかかってきたり、電池がなくなった場合、FOMA端末を折り畳んだ場合は、確定している編集内容で保存されます。ただし、保存されている動画がいっぱいのときは保存されません。
◆動画編集中に表示されるファイル容量は目安です。

動画編集画面の機能メニュー

ｉモーション切り出し	「動画の一部を切り出す」→P.269
イメージ切り出し	▶[◎]▶切り出したい場面で、[◎]▶[✉][確定]▶「YES」▶フォルダを選択 お好みの1コマを静止画に切り出します。
アフレコ編集	音声部分を消して新たに音声を録音できます。 「アフレコで音声を録音する」→P.269
テロップ編集	「動画にテロップを入れる」→P.269
メールサイズ切り出し	「動画をメールに添付できるサイズに切り出す」→P.270
ｉモードメール作成	編集した動画を添付したｉモードメールを作成します。 「ｉモードメールを作成して送信する」→P.211
ファイル制限	編集した動画のファイル制限を設定します。
・なし	送付先のFOMA端末から送信／転送することができます。
・あり	送付先のFOMA端末では送信／転送することができなくなります。

おしらせ

<ｉモードメール作成>
◆以下の場合はｉモードメール作成できません。
- 編集した動画のファイル容量が500Kバイトを超えるとき
- 保存メールが20件あるとき
- QVGA（320×240）の動画のとき

● 動画の一部を切り出す

1 「動画編集画面」（P.268）▶ [i] ［機能］▶「ｉモーション切り出し」▶ [✉] ［始点］

切り出しが開始されます。

■ 途中の場面から切り出す場合
▶ [●] ▶切り出しを開始する場面で [●] ▶ [✉] ［始点］

2 切り出したい最後の場面で [●] ▶ [✉] ［終点］

切り出した動画が再生され、再生が終わったら自動的に停止します。

■ もう一度確認する場合
▶ [✉] ［デモ］

3 [●] ▶ [●] ▶「YES」

おしらせ

◆切り出し中は、切り出したときのおおよそのファイル容量が表示されます。
◆QCIF（176×144）より大きなサイズの動画は切り出しできません。

● アフレコで音声を録音する

動画に新たに音声を付け加えることができます。

1 「動画編集画面」（P.268）▶ [i] ［機能］▶「アフレコ編集」▶ [✉] ［始点］

録音が開始されます。

■ 途中の場面から録音する場合
▶ [●] ▶録音を開始する場面まで再生 ▶ [✉] ［始点］

2 録音が終わったら [✉] ［終点］

動画の再生は続いています。[✉]［始点］、[✉]［終点］を押して続けて録音することができます。

3 アフレコ編集を終了するときは [●]

■ アフレコした動画を確認する場合
▶ [✉] ［デモ］

4 [●] ▶ [●] ▶「YES」

おしらせ

◆テロップのある動画にアフレコ編集を行うと、テロップが削除されます。

● 動画にテロップを入れる

お買い上げ時	文字色：黒　背景色：白 文字サイズ：標準 文字位置：左寄せ 点滅／下線／スクロール：OFF

動画に新しくテロップ（再生中に表示される文字情報）を追加したり、編集することができます。
- 1つの動画につき、5件のテロップを編集できます。1件につき全角文字で20文字まで入力できます。

1 「動画編集画面」（P.268）▶ [i] ［機能］▶「テロップ編集」▶「新規作成」

2 [✉] ［始点］▶テロップの文字を入力

■ 途中の場面からテロップを入れる場合
▶ [●] ▶テロップを入れたい場面で [●] ▶ [✉] ［始点］

3 テロップの効果を設定

設定が終わったら「設定完了」を選択します。

項目	内容
文字色	**▶ [◎] で色を選択** 文字の色を設定します。 色パレットを切り替えるときは [✉]［切替］を押します。
背景色	**▶ [◎] で色を選択** 背景の色を設定します。 色パレットを切り替えるときは [✉]［切替］を押します。
文字サイズ	文字の大きさを「標準」または「拡大」から選択します。
文字位置	文字を表示する位置を設定します。「左寄せ」、「センタリング」、「右寄せ」に設定できます。 スクロールの設定によっては、この設定が無効になる場合があります。
点滅	文字の点滅を設定します。
下線	文字の下線を設定します。
スクロール	スクロールのしかたを設定します。
・OFF	スクロールを行いません。
・スクロールイン	**▶スクロールする方向を「右から左へ」、「左から右へ」、「下から上へ」、「上から下へ」から選択**
・スクロールアウト	
・スクロールイン･アウト	
設定完了	テロップ効果の設定を終了します。

4 ▶テロップ表示を終了する場面で ▶ [終点]

操作2～4を繰り返してテロップを続けて入れることができます。

■ テロップリストが表示された場合
▶ [完了]
次に操作6へ進みます。

5 テロップの編集が終わったら [機能] ▶「テロップ編集完了」

■ テロップを入れた動画を確認する場合
▶ [デモ]

■ テロップを修正する場合
▶ [修正]
テロップの修正について→P.270

6 ▶ ▶「YES」

おしらせ

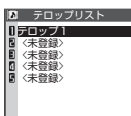
◆テロップ編集を行うと、編集したデータは着信音に設定できません。
◆スクロールの速度は始点から終点までの時間に合わせて自動的に設定されます。
◆FOMA N601iに未対応のテロップ効果は削除されたり、変更される場合があります。

● 登録されているテロップを修正する

● すでにテロップが登録されている動画の場合、テロップ情報が削除される可能性があることを通知するメッセージが表示されます。

1「動画編集画面」(P.268) ▶ [機能] ▶「テロップ編集」▶「YES」▶「編集」

テロップリスト画面が表示されます。

■ テロップの詳細を確認する場合
▶テロップを選択▶詳細を確認▶CLR

2 [機能] ▶以下の項目から選択

文字変更	テロップの文字を編集します。
効果変更	文字色、背景色、スクロールの方向などテロップの効果を変更します。
開始位置変更	テロップの始点を指定し直します。
終了位置変更	テロップの終点を指定し直します。
テロップ追加	▶「<追加可能>」▶テロップを追加
テロップ削除	反転表示したテロップを削除します。

3 編集が終わったら [完了]

4 ▶ ▶「YES」

おしらせ

◆テロップが1つも登録されていない動画は、テロップ編集できません。

● 動画をメールに添付できるサイズに切り出す

● 本機能で切り出し可能な動画は、内蔵カメラで撮影した290Kバイトを超える動画です。

1「動画編集画面」(P.268) ▶ [機能] ▶「メールサイズ切り出し」▶以下の項目から選択

メール大	490Kバイトを超える動画を、490Kバイト以下に切り出します。
メール小	290Kバイトを超える動画を、290Kバイト以下に切り出します。

2 ▶切り出しを開始する場面で ▶ [始点]

切り出しが開始されます。
メールに添付できる最大サイズになると、自動的に再生が停止します。

■ 切り出した動画を確認する場合
▶ [デモ]

3 ▶ ▶「YES」

おしらせ

◆テロップが登録されている動画の場合、テロップが付いた状態での切り出しはできません。
◆切り出し中は、切り出したときのおおよそのファイル容量が表示されます。
◆QVGA (320×240) の動画は「メールサイズ切り出し」ができません。

〈キャラ電〉
キャラ電とは

テレビ電話をお使いのときに、相手のFOMA端末に自分側のカメラ映像を送信する代わりにキャラクタを代替画像として送信することができます。

キャラ電を表示する

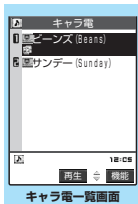
お買い上げ時	画像表示設定：画面サイズで表示 代替画像設定：ビーンズ（Beans）

- キャラ電をダウンロードする→P.192
- お買い上げ時に登録されているキャラ電は以下のとおりです。

ビーンズ（Beans）

サンデー（Sunday）

1 MENU ▶「データBOX」▶「キャラ電」

「キャラ電一覧画面」が表示されます。
キャラ電一覧画面の見かたについて→P.271

キャラ電一覧画面

機能メニュー ➡P.272

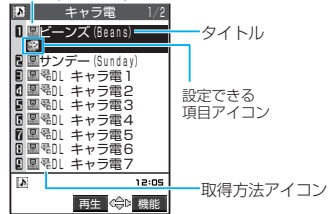
2 キャラ電を選択

「キャラ電画面」が表示されます。
キャラ電の操作について→P.271

キャラ電画面

機能メニュー ➡P.272

キャラ電一覧の見かた

- 画像種別アイコン、取得方法アイコン、設定できる項目アイコンについて→P.255
- タイトル、ファイル名について→P.256

画面に9件のキャラ電がタイトル一覧で表示され、画像種別（キャラ電）とその取得方法、そのキャラ電が設定できる項目がアイコンで確認できます。

キャラ電を操作する

用意されているいろいろなアクションから選択して再生できます。

1「キャラ電画面」（P.271）▶キャラ電を操作する

■ **アクション一覧を確認する場合**

▶ ＊

一覧表示されるアクションは、キャラ電の種類によって異なります。
アクション一覧でアクション名の右にある「1」や「#1」などは、キャラ電表示中にそのダイヤルボタンを押すと、対応するアクションを再生することを示しています。

■ **アクションの詳細を確認する場合**

▶アクションを反転表示▶ ✉［詳細］▶詳細を確認▶ i［閉］

■ **アクションモードを切り替える場合**

▶ ✉［パーツ］または ✉［全体］

（アイコン）が表示されているときはパーツアクションモードに、（アイコン）が表示されているときは全体アクションモードに切り替わります。

（全体アクション）：
感情などキャラ電全体の動きを表現するアクションモードです。

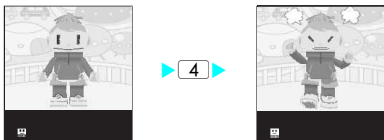
（パーツアクション）：
頭や手足などのキャラ電の部分的な動きを表現するアクションモードです。

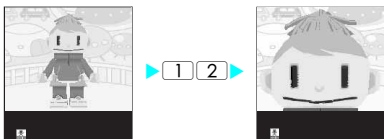
■キャラ電表示中にダイヤルボタンでアクションを選択する場合

キャラ電表示中の画面で以下のダイヤルボタンを押してアクションを再生します。

「全体アクション」:
アクション一覧でアクション名の右にある1桁の数字（1～9）または#1～#9
「パーツアクション」:
アクション一覧でアクション名の右にある2桁の数字（11～99）

<例：全体アクション「怒る」を選択する場合>
※キャラ電は正像表示です。

▶[全体]▶

<例：パーツアクション「顔アップ」を選択する場合>

▶[パーツ]▶

■音声に合わせてキャラ電の口の動きに変化を付ける場合

キャラ電によっては、送話口からの音声に合わせてキャラ電も一緒に話しているような口の動きを与えることができるものもあります。
機能メニューやダイヤルボタンを押してアクションの再生が行われた場合は、送話口からの音声よりも選択したアクションの動きが優先されます。

キャラ電一覧画面の機能メニュー

キャラ電発信	▶電話番号を入力▶ または 反転表示したキャラ電を代替画像としてテレビ電話をかけます。 キャラ電発信画面で を押すと、着信履歴、リダイヤル、電話帳検索から電話番号を検索できます。
代替画像設定	反転表示したキャラ電をテレビ電話の代替画像に設定します。
タイトル編集	▶タイトルを編集 反転表示したキャラ電のタイトルを編集します。 全角文字で18文字、半角文字で36文字まで入力できます。
キャラ電情報	「キャラ電情報について」→P.273
保存容量確認	キャラ電の保存データ容量と空きデータ容量を確認します。
デスクトップ貼付	「デスクトップアイコンを利用する」→P.130
画像表示設定	画像の表示方法を設定します。
・等倍表示	実際のサイズで表示します。
・画面サイズで表示（お買い上げ時）	画面のサイズに拡大して表示します。
タイトル初期化	変更したタイトルを取得したときのタイトルに戻します。
削除	
・1件削除	反転表示したキャラ電を削除します。
・選択削除	「データを複数選択する」→P.276
・全削除	▶端末暗証番号を入力▶「YES」 キャラ電をすべて削除します。

おしらせ

<保存容量確認>
◆表示される容量はおおよその目安です。

<削除>
◆テレビ電話の代替画像に設定されているキャラ電を削除しようとした場合、削除するかどうかの確認メッセージが表示されます。「YES」を選択して削除した場合は、お買い上げ時に登録されているキャラ電「ビーンズ（Beans）」が代替画像に設定されます。「ビーンズ（Beans）」が削除されている場合はお買い上げ時に登録されている静止画の代替画像を送信します。
◆電話帳に設定されているキャラ電を削除しようとした場合、削除するかどうかの確認メッセージが表示されます。「YES」を選択して削除した場合は、電話帳に設定されているキャラ電も削除されます。

キャラ電画面の機能メニュー

キャラ電発信	▶電話番号を入力▶ または 表示しているキャラ電を代替画像としてテレビ電話をかけます。 キャラ電発信画面で を押すと、着信履歴、リダイヤル、電話帳検索から電話番号を検索できます。
代替画像設定	表示しているキャラ電をテレビ電話の代替画像に設定します。
キャラ電切替	▶キャラ電を選択 表示するキャラ電を切り替えます。
デスクトップ貼付	「デスクトップアイコンを利用する」→P.130
アクション一覧	アクション一覧を表示します。
アクション切替	アクションモードを切り替えます。→P.271
キャラ電情報	表示しているキャラ電の情報を確認します。
画像表示設定	画像の表示方法を設定します。
・等倍表示	実際のサイズで表示します。
・画面サイズで表示（お買い上げ時）	画面のサイズに拡大して表示します。

● キャラ電情報について

以下の情報が確認できます。

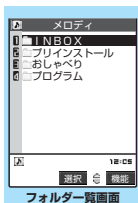
初期タイトル	オリジナルタイトル名を表示
ファイル名	ファイル名を表示
ファイル制限	ファイル制限の「あり／なし」を表示 ただし、ファイル制限なしのキャラ電でも、ダウンロードするとファイル制限ありになります。
表示サイズ	ファイルの表示サイズ（横×縦ドット）を表示
ファイルサイズ	ファイルサイズをキロバイト（Kバイト）で表示
取得元	ファイルの取得元を表示 お買い上げ時に登録されているキャラ電のときは空白になります。
保存日時	ファイルの保存日時（年／月／日時：分）を表示
代替画像設定	代替画像の設定先を表示 設定されていないときは「設定なし」の表示になります。

〈メロディ〉 MENU16

メロディを再生する

内蔵メロディや効果音、サイトなどからダウンロードしたメロディは、データBOXのメロディで再生できます。

1 MENU▶「データBOX」▶「メロディ」

「フォルダ一覧画面」が表示されます。

フォルダ一覧画面

機能メニュー ➡P.276

2 フォルダを選択

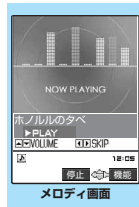
「メロディ一覧画面」が表示されます。
メロディ一覧の見かたについて→P.273

メロディ一覧画面

機能メニュー ➡P.274

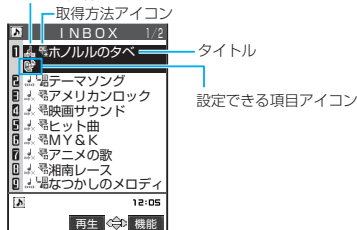
3 メロディを選択

「メロディ画面」が表示され、メロディの再生がはじまります。
再生中の操作について
→P.274

メロディ画面

機能メニュー ➡P.275

おしらせ

◆再生中の音量は、着信音量の「電話」で設定した音量になります。「消去」または「ステップ」に設定されているときは「レベル2」で再生します。

メロディ一覧の見かた

画面に9件のメロディがタイトル一覧で表示され、メロディ種別とその取得方法、そのメロディが設定できる項目がアイコンで確認できます。

■ メロディ種別アイコン

(アイコン)	MFi／SMFのメロディ※1※2

※1：ファイル制限が設定されているメロディ、メールへの添付やFOMA端末外への出力が禁止されているメロディのアイコンには「(アイコン)」が付きます。

※2：メロディにはあらかじめ再生部分が指定されていることがあります。そのため着信音などに設定したときは指定部分のみが再生されます。データBOXのメロディで再生を行うと、すべてのメロディを再生できます。また、これらのメロディもファイル名やタイトルの変更を行うことができます。

■ 取得方法アイコン

アイコンなし	お買い上げ時に登録されているメロディ
(アイコン)	サイトなどから取得したメロディ
(アイコン)	赤外線通信やパソコンなどから取得したメロディ

■ 設定できる項目アイコン

(アイコン)	iモードメールに添付できるメロディ（10,000バイト以下）
(アイコン)	着信音に設定できるメロディ
(アイコン)	赤外線通信で送信可能なメロディ

■ タイトル、ファイル名について

サイトなどから取得したメロディにはオリジナルのタイトルが付きます。
タイトルはFOMA端末のメロディ一覧画面に表示される名前です。
ファイル名はパソコンなどに送ったときに表示されるメロディデータの名前です。
ファイル名に不正な文字があるときのファイル名は「melodyxxx」(xxx:3桁の数字)になります。ファイル名の末尾3桁の数字は同一ファイル名を区別するためのシリアル番号として付けられます。

メロディ再生中の操作について

メロディを再生中には以下の操作を行うことができます。

操作ボタン	動　作
◎	前または次の曲を再生
◎ (▲)、◎ (▼)	音量調節※1※2
0～9、＊、＃、☎、✉、●	再生の停止
CLR	終了

※1：音量を調節した後、● を押すか、約2秒間待つとメロディ画面に戻ります。
※2：再生中に音量を変更しても、メロディを終了すると「着信音量」で設定されている音量に戻ります。

メロディ一覧画面の機能メニュー

メロディ一覧画面の機能メニューはメロディが保存されているフォルダによって変わります。

● INBOX、ユーザ作成フォルダのメロディ一覧画面の機能メニュー→P.274
● プリインストール、おしゃべりフォルダのメロディ一覧画面の機能メニュー→P.275

■ INBOX、ユーザ作成フォルダのメロディ一覧画面の機能メニュー

タイトル編集	▶タイトルを編集 反転表示したメロディのタイトルを編集します。 全角文字で25文字、半角文字で50文字まで入力できます。
ファイル名編集	▶ファイル名を編集 反転表示したメロディのファイル名を編集します。 半角の英字、数字、記号("-"、"_")で36文字まで入力できます("-"、"_"以外の記号を入力することはできません)。
メロディ再生	反転表示したメロディを再生します(メロディ画面を表示します)。
着信音設定	反転表示したメロディを着信音に設定します。→P.112
ファイル制限	反転表示したメロディのファイル制限を設定します。
・なし	送付先のFOMA端末から送信／転送することができます。
・あり	送付先のFOMA端末では送信／転送することができなくなります。
デスクトップ貼付	「デスクトップアイコンを利用する」→P.130
ｉモードメール作成	反転表示したメロディを添付したｉモードメールを作成します。 「ｉモードメールを作成して送信する」→P.211
赤外線送信	「データを1件ずつ転送する」→P.280
メロディ情報	「メロディ情報について」→P.275
保存容量確認	メロディの保存データ容量と空きデータ容量を確認します。
タイトル初期化	変更したタイトルを取得したときのタイトルに戻します。
ソート	指定した条件に従ってメロディを並び替えます。
フォルダ移動	
・1件移動	▶移動先のフォルダを選択▶「YES」 反転表示したメロディをほかのフォルダに移動します。
・選択移動	「データを複数選択する」→P.276
・全移動	▶移動先のフォルダを選択▶「YES」 フォルダ内のメロディをすべてほかのフォルダに移動します。
削除	
・1件削除	反転表示したメロディを削除します。
・選択削除	「データを複数選択する」→P.276
・全削除	▶端末暗証番号を入力▶「YES」 フォルダ内のメロディをすべて削除します。

おしらせ

<ファイル名編集>
◆ファイル制限が「あり」に設定されているメロディは、ファイル名編集できません。ただし、赤外線通信やOBEXで受信したメロディはファイル名編集できます。

<ｉモードメール作成>
◆ファイル形式がMFiのメロディは、取得方法、ファイル制限のあり／なしにかかわらず添付することはできません。
◆ファイル容量が 10,000 バイトを超えるメロディは添付することができません。

<メロディ情報>
◆メロディ情報の「ファイル制限」が「なし」になっていても、ｉモードメールに添付できない場合があります。

<保存容量確認>
◆表示される容量はおおよその目安です。

<削除>
◆着信音やアラーム音などに設定されているメロディを削除しようとしたときは、削除するかどうかの確認メッセージが表示されます。「YES」を選択して削除すると、設定されていた着信音やアラーム音はお買い上げ時の状態に戻ります。

<ソート>
◆メロディ一覧画面を終了すると、ソートは解除されます。
◆「ファイル取得元順」は、以下の順にソートされます。また、同じ取得元アイコンのメロディは、「ファイル取得元順」を選択する前の順番でソートされます。
①ダウンロードしたメロディ
②赤外線通信などから取得したメロディ

■ プリインストール、おしゃべりフォルダのメロディ一覧画面の機能メニュー

メロディ再生	選択しているメロディを再生します。
着信音設定	選択しているメロディを着信音に設定します。→P.112

メロディ画面の機能メニュー

着信音設定	再生しているメロディを着信音に設定します。→P.112
連続再生設定※1	同じフォルダ内のメロディを続けて再生します。
デスクトップ貼付※2	「デスクトップアイコンを利用する」→P.130
iモードメール作成※2	再生しているメロディを添付したiモードメールを作成します。「iモードメールを作成して送信する」→P.211
メロディ情報※2	「メロディ情報について」→P.275

※1：おしゃべりフォルダでは表示されません。
※2：プリインストール、おしゃべりフォルダでは表示されません。

● メロディ情報について

以下の情報が確認できます。

初期タイトル	オリジナルタイトル名を表示
ファイル名	ファイル名を表示
ファイルサイズ	ファイルサイズをキロバイト（Kバイト）で表示
ファイル制限	ファイル制限の「あり／なし」を表示
ファイル種別	メロディのファイル種別「MFi／SMF」を表示
故障時移行可否	故障時のファイルの移行の「可／不可」を表示→P.259
取得元	ファイルの取得元を表示
保存日時	ファイルの保存日時（年／月／日　時：分）を表示
バイブレータ連動	バイブレータ連動の「あり／なし」を表示
着信イルミネーション連動	着信イルミネーション連動の「あり／なし」を表示
着信音設定	着信音設定の設定先を表示 設定されていないときは「設定なし」の表示になります。

● メロディを好きな順に再生する〈プログラム再生〉

お好きな曲を10曲まで選んで登録しておき、連続して再生できます。

1 「フォルダ一覧画面」（P.273）▶「プログラム」を反転表示して［i］［機能］▶「プログラム編集」▶登録する番号を選択▶フォルダを選択▶メロディを選択▶操作を繰り返して登録

■ 登録したメロディを解除する場合
▶解除したいメロディを選択▶フォルダ選択画面で「メロディ解除」

2 ［✉］［完了］
メロディのフォルダ一覧画面が表示されます。プログラムフォルダを選択するとプログラム再生がはじまり、登録したメロディが繰り返し再生されます。

おしらせ
◆プログラムに登録されているメロディのタイトルおよびファイル名を変更または、データを削除すると、プログラム再生が解除されます。

プログラムフォルダの機能メニュー

1 メロディの「フォルダ一覧画面」で「プログラム」を反転表示して［i］［機能］▶以下の項目から選択

フォルダ追加	▶フォルダ名を入力 フォルダを追加します。 全角文字で10文字、半角文字で20文字まで入力できます。
フォルダ名編集	プログラムフォルダのフォルダ名は変更できません。
プログラム編集	プログラム編集を開始します。すでにプログラムされているときは、プログラムを編集することができます。 「メロディを好きな順に再生する」→P.275
プログラム解除	プログラムを解除します。
フォルダ削除	プログラムフォルダは削除できません。
メロディ全削除	▶端末暗証番号を入力▶「YES」 INBOXフォルダ、ユーザ作成フォルダ、おしゃべりフォルダ内のすべてのメロディファイル、およびプログラムフォルダに設定されているメロディファイルを削除します。

フォルダとデータを操作する

マイピクチャ、ｉモーション、メロディのフォルダ一覧画面にフォルダを追加して、それぞれのデータを整理することができます。

フォルダを作成／編集／削除する

フォルダ一覧画面の機能メニュー

- ｉモーション、メロディのプログラムフォルダを反転表示しているときの機能メニューについて→P.268、275

フォルダ追加	▶フォルダ名を入力 フォルダを追加します。 フォルダ名は全角文字で10文字、半角文字で20文字まで入力できます。
フォルダ名編集	▶フォルダ名を編集 追加したフォルダのフォルダ名を編集します。 全角文字で10文字、半角文字で20文字まで入力できます。
フォルダ削除	▶端末暗証番号を入力▶「YES」 データが保存されているフォルダも削除できます。
全削除※	▶端末暗証番号を入力▶「YES」 お客様が保存したすべてのデータを削除します。ただし、シークレットフォルダに保管したデータは削除されません。

※：マイピクチャでは「画像全削除」、ｉモーションでは「動画全削除」、メロディでは「メロディ全削除」が表示されます。

おしらせ

<フォルダ名編集>
◆ユーザ作成フォルダのみフォルダ名編集ができます。

<フォルダ削除／画像全削除／動画全削除／メロディ全削除>
◆ユーザ作成フォルダのみフォルダ削除ができます。
◆画面や自作アニメ、スケジュールのユーザアイコンなどに設定されている画像や動画を「フォルダ削除」または「画像全削除」、「動画全削除」で削除しようとしたときや、着信音、アラーム、プログラムやランダムメロディなどに設定されているメロディを「フォルダ削除」または「メロディ全削除」で削除しようとしたときは、削除するかどうかの確認メッセージが表示されます。「YES」を選択して削除した場合、設定されていた画面などは以下のようになります。
- 設定されていた画面、着信音、アラームはお買い上げ時の設定に戻ります。
- 自作アニメ、プログラムは解除されます。
- スケジュールのアラーム通知画面は「🕒」を設定したときの画面になります。

◆メールに添付した画像を「フォルダ削除」または「画像全削除」で削除した場合、メールに添付されている画像は削除されません。ただし、大容量画像の場合、添付されている画像は削除されます。
◆メールに添付した動画を「フォルダ削除」または「動画全削除」で削除した場合、メールに添付されている動画も削除されます。

データを複数選択する

複数選択した画像や動画などのデータをまとめて削除したり、その項目内のほかのフォルダに移動することができます。

1 画像一覧画面（ピクチャ一覧）などの機能メニュー

■ 削除する場合
▶「削除」▶「選択削除」

■ 移動する場合
▶「フォルダ移動」▶「選択移動」▶移動先のフォルダを選択

2 で画像を選ぶ▶ ▶ [完了]▶「YES」

タイトル名一覧のときは、で□（チェックボックス）を選び、を押します。

複数選択画面

機能メニュー ➡P.276

複数選択画面の機能メニュー

全選択	すべての画像や動画が選択されます。
全選択解除	すべての複数選択を解除します。
タイトル名一覧、ピクチャ一覧※	ピクチャ一覧／タイトル名一覧を切り替えます。

※：「マイピクチャ」の場合にのみ表示されます。

メモリ不足や保存件数オーバーになったときは

撮影した静止画や動画を保存しようとした場合や、サイトなどから画像やメロディ、ｉモーション、キャラ電を保存しようとした場合に、登録するためのメモリ容量が不足しているときや保存件数がいっぱいのときは、不要なデータを削除して保存するかどうかの確認メッセージが表示されます。

1 確認メッセージで、「YES」

■ 保存しない場合
▶「NO」

2 フォルダを選択▶削除するデータを選択

複数選択のしかた→P.32、276

3 [✉]［完了］▶「YES」

データを登録するためのメモリ容量が確保できるまで[✉]［完了］は表示されません。

おしらせ

◆画面などに設定されている画像、動画、または着信音に設定されているメロディを削除しようとしたときは、設定中のファイルを削除するかどうかの確認メッセージが表示されます。「YES」を選択して削除すると、設定されていた画面や着信音などはお買い上げ時の設定になります。

〈電話帳画像転送〉

電話帳の画像を転送しないように設定する

お買い上げ時 する

赤外線通信機能やデータの送受信（OBEX）機能で電話帳のデータを送信するとき、電話帳に登録されている静止画を転送しないように設定します。

1 [MENU]▶「LifeKit」▶「電話帳画像転送」▶「しない」

■ 送信する場合
▶「する」

〈赤外線通信／OBEX〉

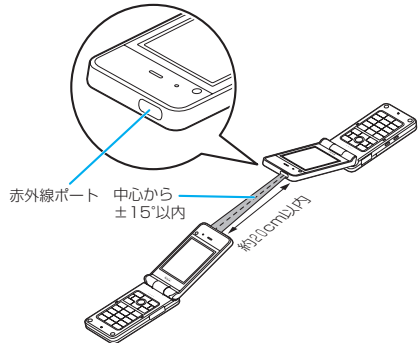
赤外線通信／ケーブル接続によるデータ転送について

赤外線通信またはケーブル接続で、パソコンやほかのFOMA端末との間で電話帳や受信メールなどのデータを転送できます。

● 赤外線通信機能を搭載したほかのFOMA端末やパソコンなどと赤外線通信して、データを1件ずつまたはまとめて転送できます。赤外線通信中は、ディスプレイに「[icon]」が表示されます。
● パソコンと「FOMA USB接続ケーブル（別売）」を使ってケーブル接続し、データ通信用のプロトコルであるOBEXを利用してパソコンからのデータを1件ずつ受信したり、パソコンとFOMA端末の間でデータをまとめて転送できます。ケーブル接続中は、ディスプレイに「[icon]」が表示されます。

● 転送できるデータは次のとおりです。
  - 受信メール
  - 送信メール
  - 保存メール
  - ｉモードのブックマーク
  - 電話帳
  - マイプロフィールの個人データ
  - To Doリスト
  - テキストメモ
  - スケジュール
  - 静止画※
  - 動画（ｉモーション）※
  - メロディ※

※： 赤外線通信で全件送信できません。

赤外線通信でデータ転送するときは

● 受信側のFOMA端末を先に受信状態にして、送信側FOMA端末と受信側FOMA端末の赤外線ポートを約20cm以内に近づけます。
● 机などの安定した台の上に、赤外線ポートが平行に向き合うように置いてください。
● 通信中はFOMA端末を動かさないでください。
● 通信中はFOMA端末の間にものを置いたり、赤外線ポートをふさいだりしないでください。
● データ転送できなかったときは、FOMA端末の位置を調節して再度通信を行ってください。
● 直射日光が当たっている場所や蛍光灯の真下、赤外線装置の近くでは、これらの影響によって正常に通信できない場合があります。

ケーブル接続でデータ転送するときは

● データ転送にはドコモケータイdatalinkなどの通信ソフトが必要です。
「ドコモケータイdatalinkの紹介」→P.322

■お願い

- FOMA端末とパソコンの接続が正しくできているか十分に確認してください。正しく接続されていない場合、データを転送できないだけでなく、データが失われることがあります。また、N601i通信設定ファイル（ドライバ）をインストールしてください。→P.321
- FOMA端末の電池レベルがほとんど残っていない状態や電池切れの状態では、データ転送ができないだけでなく、データが失われることがあります。FOMA端末の電池が十分残っていることを確認してください。また、パソコンの電源についても確認してください。
- パソコンからFOMA端末への全件送信の途中で送信エラーが起こると、FOMA端末内の書き込み対象のデータがすべて消去されることがあります。全件送信の前にケーブルの接続、FOMA端末の電池レベル、パソコンの電源の状態を確認してください。

データ転送するときのご注意

データ転送を行う前に

- ほかの機能が動作中は、データ転送できません。ほかの機能をすべて終了させてから操作を行ってください。また、データ転送中は、ほかの機能を利用できません。
- ダイヤルロック設定中、セルフモード設定中、おまかせロック設定中は、データ転送できません。
- 「指定発信制限」が設定されている場合、電話帳のデータは受信できません。ただし、電話帳データの送信の際には、「指定発信制限」を設定した電話帳データ、「マイプロフィール」のデータを送信できます。
- 送信する相手のFOMA端末の状態によっては、データ転送できない場合があります。また、相手の機種によって、受信メールやブックマークのフォルダ分けの設定などが反映されなかったり、デコメールの内容などが正常に登録できない場合があります。
- FOMA端末の赤外線通信およびケーブル接続によるデータ転送機能はIrMC1.1に準拠しています。IrMC1.1に準拠していない端末やパソコンとデータ転送できない場合があります。また、相手の機種やアプリケーションによっては、IrMC1.1に準拠していても転送できないデータがあります。
- 静止画およびメロディ、動画やｉモーションをケーブル接続でデータ転送する場合は、IrMC規格外となるため、FOMA N601iに対応したデータ転送用のソフトが必要です。
- FOMA USB接続ケーブル（別売）が接続されている場合、赤外線通信ができない場合があります。

データ転送中の動作について

- データ転送中は圏外になるため、音声電話、テレビ電話、ｉモード、ｉモードメール、パケット通信、64Kデータ通信などはできません。ただし、データ転送を開始直後などは着信を受ける場合があります。その場合、データ転送は中止されます。また、データ転送の終了後、しばらく圏外の状態が続くことがあります。
- 赤外線通信中、次のようなときは通信が中断されて、続けるかどうかのメッセージが表示されます。
  - 受信側で約30秒以内にデータの受信がないとき
  - 送信側で受信側の端末を検出できないとき

  「YES」を選択すると、もう一度通信をやりなおすことができます。通信をやめるときは、「NO」を選択します。
  このとき、約30秒以内に操作しないと、自動的に赤外線通信を終了します。
- 転送するデータ量によっては、通信に時間がかかる場合があります。また、受信できない場合があります。電話帳を転送するときは、登録されている静止画も転送されるため、転送に時間がかかることがあります。送信の時間を短縮するために、「電話帳画像転送」を「しない」に設定し、電話帳の静止画を送信しないようにできます。

データ転送で送受信されるデータについて

- 本FOMA端末で受信したデータは、次のように登録されます。

データ	保存場所／保存順	
静止画、画像	INBOXフォルダの1番目に登録されます。	
動画・ｉモーション		
メロディ		
電話帳、マイプロフィール	電話帳のメモリ番号「010」～「699」の空いているメモリ番号のうち最も小さいメモリ番号に登録されます。「010」～「699」がすべて登録されているときは、「000」～「009」の空いているメモリ番号のうち最も小さいメモリ番号に登録されます。	
スケジュール	受信したスケジュールの開始日時に従って登録されます。	
To Doリスト	To Doリストの1番目に登録されます。	
受信メール	（1件受信）	受信BOXフォルダに、受信メールの日付の順に登録されます。
	（全件受信）	転送元のフォルダ構成に合わせて、ユーザ作成フォルダやごみ箱フォルダに格納されます。

データ	保存場所／保存順	
送信メール	（1件受信）	送信BOXフォルダに、送信メールの日付の順に登録されます。
	（全件受信）	転送元のフォルダ構成に合わせて、ユーザ作成フォルダに格納されます。
保存メール	保存BOXに、保存メールの日付の順に登録されます。	
テキストメモ	<未登録>の一番先頭の番号に登録されます。	
iモードのブックマーク	（1件受信）	iモードメニューのBookmarkフォルダの1番目に登録されます。
	（全件受信）	iモードメニューのBookmarkフォルダの送信元と同じ順番で登録されます。※

※：送信元の相手の機種によっては、同じ順番で登録されない場合があります。

- 静止画を全件受信すると、電話帳に登録された静止画もすべて削除されます。
- 電話帳を受信すると、受信した電話帳に登録されていた静止画は「マイピクチャ」のINBOXフォルダに登録されます。ただし「マイピクチャ」の保存可能容量を超えた場合は、超えた静止画を削除して電話帳が登録され、静止画を登録できなかった電話帳があることを通知するメッセージが表示されます。
- 静止画や動画、iモーションのタイトルは、全角で最大9文字、半角で最大18文字を送受信できます。メロディのタイトルは、全角で最大25文字、半角で最大50文字を送受信できます。タイトルが最大文字数を超えた場合、超えた分の文字が削除されて登録されます。
- メールや電話帳などに入力されている絵文字や一部の記号は、正しく受信できない場合があります。

● 次のデータは、送受信できません。
- FOMAカードの電話帳、SMS
- シークレットフォルダ内のデータ
- フレーム・スタンプのデータ（受信のみ可能）やFlash画像
- FOMAカード動作制限が設定されたメロディ、静止画、動画やiモーション

● 次のデータは、受信できません。
- JPEG、GIF形式以外の静止画
- MP4、3GP形式以外の動画
- 本FOMA端末で扱うことのできないサイズや容量の静止画、動画、iモーション、メロディ

● 次の場合は登録できません。
- 同じURLのブックマークを受信したとき
- 同じ日付時刻で同じ繰り返し設定（なし／あり）のスケジュールのデータを受信したとき
- 時計設定が行われていないときに、スケジュールまたはTo Doリストのデータを受信したとき
- すでにデータの最大保存件数まで保存されていたり、メモリがいっぱいの状態で、同じ種類のデータを受信したとき

● 電話帳のデータを転送するときは、次のことに注意してください。
- 転送される電話帳のデータは、名前、フリガナ、電話番号、メールアドレス、郵便番号、住所、メモ、誕生日、静止画の各データおよびアイコン情報です。電話帳に複数の電話番号およびメールアドレスが登録されているときは、すべてのデータが転送されます。
- 電話帳のシークレットコードは転送できません。
- シークレットデータとして登録された電話帳を赤外線通信で1件送信すると、シークレットが解除されて転送されます。
- 全件送信をすると、電話帳はメモリ番号順に送信されます。
- 電話帳を全件送信すると、「マイプロフィール」のデータが一緒に送信されます。受信側では、「マイプロフィール」に登録されている個人データ（電話番号を除く）が上書きされます。
- 電話帳に絵文字や記号を使用している場合、対応機種以外の携帯電話やパソコンなどに送信すると、受信側で絵文字や一部の記号が正しく表示されないことがあります。

● メールのデータを転送するときは、次のことに注意してください。
- 大容量画像取得情報が貼り付けられているメールは、貼り付けられているデータを削除して送信します。メールに添付されているデータのファイル制限が「あり」の場合、そのデータも削除されて送信されます。また、静止画の形式によっては削除されて送信されるものがあります。ただし、送信メールと保存メールの場合で、ケーブル接続で受信したデータは、ファイル制限を「あり」に設定していても送信されます。
- 受信メールの1件受信で受信BOXフォルダの空き容量が足りないときは、ゴミ箱のメール、古い受信メールから順に自動的に削除されます。ただし、未読のメールと保護されている受信メール、シークレットフォルダ内のiモードメールやSMSは削除されません。必要なメールは保護することをおすすめします。
- 送信メールの1件受信で送信BOXフォルダの空き容量がないときは、送信BOXフォルダの保護されていない最も古い送信メールに上書きされます。
- メールの全件受信の場合は既存の全メールおよび全ユーザフォルダを削除してから受信します。
- メールの本文などに絵文字や記号を使用している場合、対応機種以外の携帯電話やパソコンなどに送信すると、受信側で絵文字や一部の記号が正しく表示されないことがあります。
- データBOXに登録できる空き容量がない場合は、添付ファイルが削除されて登録されます。
- iモードメール本文に、貼付データがある場合は貼付データは転送できません。
- 受信メール一覧画面や送信メール一覧画面で設定した「色分け」の設定は転送できません。

データを１件ずつ転送する

パソコンやほかのFOMA端末との間でデータを１件ずつ転送します。

- ケーブル接続でFOMA端末からパソコンへ１件ずつデータを送信することはできません。
- 通信状況を表すバー表示は送信した容量を目安としてお知らせします。

赤外線通信でデータを１件ずつ送信する〈赤外線送信〉

送信したいデータの一覧画面または詳細画面で機能メニューから「赤外線送信」を選択します。

＜例：電話帳のデータを１件送信するとき＞

1 「電話帳詳細画面」(P.97) ▶ i ［機能］▶「赤外線送信」

2 赤外線ポートを相手側に向ける ▶「YES」

相手の端末を受信状態にしておきます。
データの送信がはじまります。
送信が完了すると、通信終了を通知するメッセージが表示されます。

■ 送信を中止する場合
▶「NO」

■ 送信中に中止する場合
▶ ✉ ［中止］

赤外線通信でデータを１件ずつ受信する〈赤外線受信〉 MENU79

1 MENU ▶「LifeKit」▶「赤外線受信」

「赤外線受信画面」が表示されます。

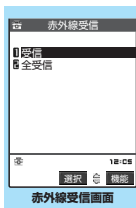
2 「受信」▶ 赤外線ポートを相手側に向ける ▶ 相手のFOMA端末からデータを受信する

データの受信がはじまります。
通信相手によっては、通信状況を示すバーが表示されない場合があります。

赤外線受信画面

3 「YES」

受信したデータの登録が完了すると、登録完了を通知するメッセージが表示されます。
受信後、約30秒間操作しないときは受信したデータが破棄されます。

■ 受信したデータを登録しない場合
▶「NO」

おしらせ

◆相手の端末から全送信された場合は、赤外線全受信できることがあります。その場合は、赤外線全受信の操作となります。
◆赤外線受信画面の機能メニューから「デスクトップ貼付」を選択して、赤外線受信機能をデスクトップアイコンとして登録することができます。

ケーブル接続でデータを１件ずつ受信する〈１件書き込み〉

- データ転送の操作方法は、データ通信用のソフトによって異なります。詳しくは、データ通信用のソフトの取扱説明書をご覧ください。

1 パソコンでデータ通信用のソフトを使って、パソコンから１件送信するための操作をする

2 パソコンからデータを送信する

データのサイズによっては通信状況を表すバー表示の進み具合が遅くなることがあります。

3 「YES」

受信を完了すると、通信の完了を通知するメッセージが表示されます。FOMA端末で受信が終わり、約30秒以内に操作をしないと、受信したデータを破棄して画面を終了します。

■ 受信したデータを登録しない場合
▶「NO」

データをまとめて転送する

パソコンやほかのFOMA端末との間でデータをすべて転送します。

- 全受信をすると、受信したデータによりFOMA端末のデータは上書きされ、登録されていたデータは保護メール、電話帳やスケジュールのシークレットデータも含めてすべて削除されます。ただし、フレームやFlash画像、シークレットフォルダ内のシークレットデータは消去されません。全データの受信を行う前に、大切なデータが登録されていないことをお確かめください。
- データをまとめて転送するとき、送信側と受信側を正確に認識するために、認証パスワードを使用します。
  「認証パスワードについて」→P.281
- 通信状況を表すバー表示は送信した件数を目安としてお知らせします。転送するデータのサイズによっては、データが正しく転送されていてもバー表示の進み具合が遅くなることや、通信の相手側と異なって見えることがあります。
- データをまとめて転送すると、受信側ではデータの並び順が変わる場合があります。

認証パスワードについて

- 全送信、全受信では、送信側と受信側のFOMA端末を正確に認識するために、認証パスワードを使用します。認証パスワードは、全送信、全受信を開始する前にお好きな4桁の番号を決めておき、送信側と受信側で同じ番号を入力します。

赤外線通信でデータをまとめて送信する〈赤外線全送信〉

全件送信したいデータの一覧画面または詳細画面で機能メニューから「赤外線全送信」を選択します。

＜例：電話帳のデータを全送信するとき＞

1. 「電話帳一覧画面」(P.97)▶[i][機能]▶「赤外線全送信」

2. 端末暗証番号を入力▶認証パスワードを入力

「認証パスワードについて」→P.281

3. 赤外線ポートを相手側に向ける▶「YES」

相手の端末を全受信状態にしておきます。
データの全送信がはじまります。
送信が完了すると、通信終了を通知するメッセージが表示されます。

■全送信を中止する場合
▶「NO」

■送信中に中止する場合
▶[✉][中止]

赤外線通信でデータをまとめて受信する〈赤外線全受信〉

1. 「赤外線受信画面」(P.280)▶「全受信」

2. 端末暗証番号を入力▶認証パスワードを入力

「認証パスワードについて」→P.281

3. 赤外線ポートを相手側に向ける▶「YES」

■全受信を中止する場合
▶「NO」

4. 上書き確認画面が表示されたら「YES」

■全受信を中止する場合
▶「NO」

5. 相手のFOMA端末からデータを全受信

データの全受信がはじまります。

■受信中に中止する場合
▶[✉][中止]

おしらせ

◆赤外線受信画面の機能メニューから「デスクトップ貼付」を選択して、赤外線受信機能をデスクトップアイコンとして登録することができます。

ケーブル接続でデータをまとめて送受信する〈全件書き込み／全件読み出し〉

- データ転送の操作方法は、データ通信用のソフトによって異なります。詳しくは、データ通信用のソフトの取扱説明書をご覧ください。

＜例：FOMA端末からパソコンへデータを全件送信する場合＞

1. パソコンでデータ通信用のソフトを使って、FOMA端末から全件送信するための操作をする

パソコン側でも認証パスワードの入力が必要です。
認証パスワードは4桁の数字を入力してください。

2. FOMA端末で端末暗証番号を入力▶FOMA端末で認証パスワードを入力

データが転送されます。送信を完了すると、通信の完了を通知するメッセージが表示されます。
「認証パスワードについて」→P.281

その他の便利な機能

マルチアクセスについて.................................... マルチアクセス 284
アラーム通知のしかたを設定する.................. アラーム通知設定 285
アラーム機能として利用する............................... アラーム機能 287
スケジュールや休日、記念日を登録する............. スケジュール 288
To Doリストを登録する.. To Doリスト 292
自分の名前や画像を登録する.......................... マイプロフィール 293
相手の声や自分の声を録音する... 通話中音声メモ／待受中音声メモ 295
アラーム音や応答保留音を録音／再生する...... おしゃべり機能 296
通話時間・料金を確認する................................. 通話時間／料金 296
通話料金の上限を設定して知らせる.................. 通話料金通知 297
電卓として使う.. 電卓 298
テキストメモを作成する.. テキストメモ 299
辞典を利用する.. 辞典 300
スイッチ付イヤホンマイクの使いかた
.... スイッチ付イヤホンマイク 301
イヤホンをつないで電話をかけるときの相手を選ぶ
.... 自動発信設定 302
イヤホンマイクをつないで自動で電話を受ける.... オート着信 303
イヤホンマイクをつないだときに使うマイクを選ぶ
.... イヤホン接続時マイク切替 303
利用する通信事業者を設定する......... ネットワーク接続モード選択 303
各種機能の設定を初期状態に戻す........................ 設定リセット 304
FOMA端末をお買い上げ時の状態に戻す.............. 端末初期化 305

〈マルチアクセス〉
マルチアクセスについて

マルチアクセスとは、音声電話、パケット通信、SMSを同時に使用できる機能です。これによって音声通話中にメールを受信したり、iモード中に音声電話をかけたりできます。
「マルチアクセスの組み合わせについて」→P.352

同時に使用可能な通信回線

FOMA端末はマルチアクセス機能によって、以下の3回線を同時に使用できます。

通信の種類	使用する回線
音声電話	1回線
iモード、iモードメール	いずれか1回線
パソコンをつないだパケット通信	
SMS	1回線

おしらせ

◆マルチアクセス中は、それぞれの通信回線に通信料金がかかります。
◆テレビ電話中はマルチアクセスを使用できません。ただし、SMSの受信のみ同時に使用できます。
◆64Kデータ通信中はマルチアクセスを使用できません。ただし、SMSの送受信のみ同時に使用できます。

通信中に着信があったとき

● 音声通話中のiモードメール受信

音声通話中にiモードメールを受信すると、音声通話中画面のままiモードメールを受信します。受信したiモードメールは音声電話を切らずに見ることができます。

1. iモードメール受信
「✉」が点滅・点灯します。
2. iモードメールを確認
iモードメールの見かた→P.228
3. [☎]
音声通話中画面に切り替わります。

おしらせ

◆音声通話中にiモードメールやメッセージR/Fを受信した場合、着信音は鳴らずに「メール」、「メッセージR」、「メッセージF」アイコンのうち、対応したアイコンが点滅・点灯して受信をお知らせします。

● iモード中／パケット通信中の音声電話着信

iモードの接続中やメールの送受信中、FOMA端末とパソコンを接続して行うパケット通信中に音声電話がかかってくると、音声電話着信画面に切り替わり、iモードやパケット通信を終了しないで音声電話に出ることができます。

1. [☎]
音声通話中画面に切り替わり、通話ができます。
2. 通話が終了したら[☎]
通話が終了し、iモード画面に戻ります。

通信中にほかの通信を使うとき

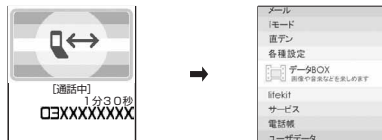
現在の通信を中断しないで、別の回線を使って同時に通信を行うことができます。
- 音声通話中やiモード中に[MENU]を押すと、メインメニューを表示できます。
メニューの操作のしかた→P.30

● 音声通話中のiモード接続

音声通話中に[MENU]を押して、メインメニューのiモードメニューからiモードに接続できます。→P.180

● 音声通話中のiモードメール送信

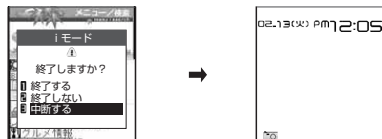
音声通話中に[MENU]を押して、メインメニューのメールメニューからiモードメールを作成して送信できます。

1. 音声通話中▶[MENU]▶メールメニューを選択

➡
2. iモードメールを作成▶送信
iモードメールの作成／送信のしかた→P.211
3. [☎]
音声通話中画面に戻ります。

● iモード中の音声電話発信

iモードの接続中やメールの送受信中に、iモードを終了しないで音声電話をかけられます。

1. iモード中▶[☎]▶「中断する」
待受画面が表示されます。

➡

2 音声電話をかける

音声電話のかけかた→P.46

3 通話が終了したら［☎］

通話が終了し、ｉモード画面に戻ります。

おしらせ

◆ｉモード中にテレビ電話をかけた場合は、「ｉモード通信終了」というメッセージが表示され、その後テレビ電話の発信を行います。テレビ電話を終了すると、ｉモード画面に戻ります。

〈アラーム通知設定〉

アラーム通知のしかたを設定する

お買い上げ時 通知優先

「アラーム機能」、「スケジュール」、「To Doリスト」でアラームを通知するとき、「操作優先」にするか「通知優先」にするかを設定できます。

1 MENU▶「各種設定」▶「時計」▶「アラーム通知設定」▶「操作優先」または「通知優先」

■ **操作優先に設定した場合**
待受画面表示中のときのみアラームを通知します。

■ **通知優先に設定した場合**
FOMA端末を操作しているときや通話中でもアラームを通知します。

アラーム通知の動作

「アラーム機能」、「スケジュール」、「To Doリスト」でアラーム通知を設定すると、待受画面にアラーム通知の設定を示すアイコンが表示されます。設定した時刻になると、それぞれの機能に応じてアラームを通知します。

● アラーム通知を設定すると

「アラーム機能」、「スケジュール」、「To Doリスト」でアラーム通知を設定すると、待受画面にアイコンが表示されます。

02.13(火) PM 12:05

■ **当日の設定（過ぎた時刻の設定は除く）がある場合**
「（アイコン）」が表示されます。

■ **明日以降の設定がある場合**
「（アイコン）」が表示されます。

おしらせ

◆スケジュール・To Doリストを「通知しない」に設定して登録した場合は、「（アイコン）」や「（アイコン）」のアイコンは表示されません。

● 設定した時刻になると

各機能ごとに以下のような動作でアラームを通知します。

アラーム機能の場合※1

スケジュールの場合※1

To Doリストの場合※1

状態	機能名	
	アラーム機能	スケジュール・To Doリスト
待受画面表示中	「スヌーズ通知しない」に設定している場合は、アラーム音が設定された鳴動時間（01～10分）によって繰り返し鳴ります。「スヌーズ通知する」に設定している場合は、アラーム音が鳴動回数で設定した回数、鳴動間隔で設定した間隔で鳴り続けます。ディスプレイにはアニメーション／ｉモーションが表示されます。	アラーム音が約5分間繰り返し鳴り、ディスプレイにはアニメーション／ｉモーションが表示されます。
電源が切れている	「自動電源ON」の設定で「電源ONする」に設定している場合は自動で電源が入りアラームを通知します。「電源ONしない」に設定している場合は、電源は入らずアラームを通知しません。電源を入れた後も「（アイコン）」（未通知アラームあり）のデスクトップアイコンは表示されません。	設定した時刻になってもアラームを通知しません。ただし設定はそのまま残ります。
音声通話中／テレビ電話中※2	受話口から時刻アラーム音（ピッピピ…）が3回繰り返し鳴ります。ディスプレイにはアニメーションが表示されます。	
音声電話、テレビ電話の発着信中※2	状態によりアラームを通知する場合と通知しない場合があります。設定時刻にアラーム通知できなかった場合は、アラーム通知できる状態になってからアラーム通知します。	
ｉモード中／メール送受信中※2	「待受画面表示中」の場合と同じようにアラームを通知します。	
赤外線通信機能またはOBEXによるデータ送受信中	設定した時刻になってもアラームを通知しません。データ通信終了後、待受画面に「（アイコン）」（未通知アラームあり）のデスクトップアイコンが表示されます。→P.287	

状態	機能名	
	アラーム機能	スケジュール・To Doリスト
イヤホンマイク接続中（待受画面表示中）	「待受画面表示中」の場合と同じようにアラームを通知します。「通知音出力切替」（P.116）の設定でアラーム音が鳴ります。	
PIN1コード入力設定が「ON」に設定されていて、電源を入れた後のPIN1コード入力画面を表示しているとき※2	「待受画面表示中」の場合と同じようにアラームを通知します。アラーム通知の画面表示を消すと、PIN1コード入力画面に戻ります。	正しいPIN1コードを入力した後にアラームを通知します。
ダイヤルロック設定中／おまかせロック設定中／オリジナルロック設定中	「アラーム通知設定」の設定にかかわらず設定した時刻になってもアラームを通知しません。電源も切っている場合は、設定した時刻になっても電源は入らず、ロック解除後も「」（未通知アラームあり）のデスクトップアイコンは表示されません。オリジナルロック設定中は待受画面に「」（未通知アラームあり）のデスクトップアイコンが表示されますが、ダイヤルロック／おまかせロック設定中の場合、設定解除後、表示されます。→P.287	「アラーム通知設定」の設定にかかわらず設定した時刻になってもアラームを通知しません。オリジナルロック設定中は待受画面に「」（未通知アラームあり）のデスクトップアイコンが表示されますが、ダイヤルロック／おまかせロック設定中の場合、設定解除後、表示されます。→P.287

※1：「スケジュール」および「To Doリスト」のアラーム通知時に表示されるアニメーションは、設定したアイコンやカテゴリーによって変わります。「アラーム機能」、「スケジュール」、「To Doリスト」のアラーム音にｉモーションを設定した場合は、アラーム通知時にその映像が表示されます。
※2：「通知優先」に設定している場合の動作です。「操作優先」に設定している場合は、待受画面に「」（未通知アラームあり）のデスクトップアイコンが表示されます。→P.287

おしらせ

◆「スケジュール」、「To Doリスト」のアラーム音の音量は、「着信音量」の「電話」で設定した音量になります。
◆通話中の時刻アラーム音の音量は、「受話音量」で設定した音量になります。
◆通話中のアラーム機能でのアラーム通知では、「スヌーズ通知する」に設定していても、スヌーズで通知は行いません。
◆「バイブレータ」の「電話」を「OFF」以外に設定している場合は、アラーム音と振動でお知らせします。
◆「アラーム音選択」でｉモーションを設定しても、通話中などｉモーションを起動できないときは、ｉモーションは再生されず、時刻アラーム音と設定したアイコンやカテゴリーに応じたアニメーションで、アラーム通知を行います。

<アラーム通知の優先順位>

◆「アラーム機能」、「スケジュール」、「To Doリスト」のアラーム通知が同じ時刻に設定されている場合、優先順位は以下のとおりです。
①アラーム機能　②To Doリスト　③スケジュール

● アラーム音をとめるには

■ アラーム機能のアラーム音

「スヌーズ通知しない」に設定している場合

いずれかのボタンを押すとアラーム音、アニメーション／ｉモーションは停止します。もう一度いずれかのボタンを押すと、「ピピッ」という解除音が鳴り、表示を消すことができます。

「スヌーズ通知する」に設定している場合

いずれかのボタンを押すとアラーム音、アニメーション／ｉモーションは停止し、アラームメッセージは「スヌーズ中・・・」と表示されます。「スヌーズ中・・・」の表示中は約5分たつと再度アラームを通知します。「スヌーズ中・・・」に☎を押すと、「ピピッ」という解除音が鳴りスヌーズが解除されます。

■ スケジュール、To Doリストのアラーム音

いずれかのボタンを押すとアラーム音、アニメーション／ｉモーションは停止し、アラームメッセージは表示されたままになります。もう一度いずれかのボタンを押すと、アラームメッセージは消えます。ただし、FOMA端末を閉じた状態で外部ボタンを押した場合は、アラーム通知の画面は消えません。

■ アラーム通知中に電話がかかってきた場合

アラーム通知を停止して着信の動作になります。「アラーム機能」のスヌーズも解除されます。

おしらせ

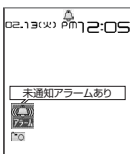
◆以下のようなときは、スヌーズが解除されます。
- 音声電話やテレビ電話の着信があったとき
- 「アラーム通知設定」を「通知優先」の場合にアラーム機能、スケジュール、To Doリストのアラームが通知されたとき

◆「ボタン確認音」を「OFF」に設定している場合、解除音は鳴りません。

通知できなかったアラームの内容を確認する

アラームを通知できなかった場合は、待受画面に「（アラーム）」（未通知アラームあり）のデスクトップアイコンが表示されます。デスクトップアイコンから通知できなかったアラームの内容（未通知アラーム情報）を確認できます。

1 待受画面表示中▶●▶「（アラーム）」

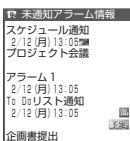
「アラーム機能」、「スケジュール」、「To Doリスト」の未通知アラーム情報が表示されます。

2 内容を確認▶CLR

待受画面に戻り、「（アラーム）」（未通達知アラームあり）のデスクトップアイコンは消えます。

おしらせ

◆「アラーム機能」、「スケジュール」、「To Doリスト」のアラーム通知が同じ時刻に設定されていてアラームを通知できなかった場合は、それぞれの未通知アラーム情報が表示されます。

未通知アラーム情報
スケジュール通知
2/12(月) 13:05
プロジェクト会議
アラーム1
2/12(月) 13:05
To Doリスト通知
2/12(月) 13:05
企画書提出

◆「（アラーム）」のデスクトップアイコンを消したいときは、待受画面でCLRを1秒以上押します。このデスクトップアイコンを消すと、未通知アラーム情報は確認できなくなります。

〈アラーム機能〉 MENU44

アラーム機能として利用する

お買い上げ時 すべてOFF

● アラームは10件まで登録できます。

アラーム機能を設定する

1 MENU▶「LifeKit」▶「アラーム」

「アラーム画面」が表示されます。
以前にアラームを設定したことがある場合は、前回の設定内容が表示されます。

アラーム画面

機能メニュー➡P.288

2 設定する項目を選択▶i（機能）▶「編集」

3 それぞれの項目を設定

項目	説明
タイトル	**▶アラームのタイトルを入力** アラームの件名を入力します。件名は全角で6文字、半角で12文字まで入力できます。
時刻入力	**▶時刻を入力** アラームを鳴らす時刻を入力します。
繰り返し	アラームの繰り返しを設定します。
・設定なし	1回だけアラームを鳴らします。
・毎日（D）	毎日アラームを鳴らします。
・曜日指定（W）	**▶●で□（チェックボックス）を選択▶✉［完了］** 設定した曜日にアラームを鳴らします。
アラーム音選択	アラーム音を選択します。 「携帯電話から鳴る着信音を変える」→P.112
・時刻アラーム音	「時刻アラーム音設定」で選択したアラーム音が設定されます。→P.115
・メロディ	**▶フォルダを選択** 着信音やメロディを選択します。
・ｉモーション	**▶フォルダを選択** ｉモーションを選択します。
・おしゃべり	「おしゃべり機能」に録音されている「おしゃべり1」、「おしゃべり2」からアラーム音を選択します。 「アラーム音や応答保留音を録音／再生する」→P.296
・ランダムメロディ	**▶フォルダを選択** 選択したフォルダ内から着信音が自動的に選択され、アラーム音として設定されます。
・OFF	アラーム音を鳴らしません。
アラーム音量	**▶●で音量を調節** アラーム音量を設定します。 「着信音の音量を調節する」→P.65
スヌーズ通知	スヌーズ（繰り返し）で通知するか設定します。
・スヌーズ通知する	**▶鳴動回数（01～10回）を入力▶鳴動間隔（01～10分）を入力** アラーム音が鳴動回数で設定した回数、鳴動間隔で設定した間隔で鳴り続けます（1回の鳴動時間は最大1分です）。回数と間隔は2桁で入力します。表示されている回数と間隔をそのまま設定するときは●を押します。

・スヌーズ通知しない	▶鳴動時間（01～10分）を入力 アラーム音が鳴動時間で設定した時間で鳴り続けます。 時間は2桁で入力します。表示されている時間をそのまま設定するときは[•]を押します。
自動電源ON	アラーム時刻に自動で電源を入れるか設定します。

4 [✉]［完了］

おしらせ

◆自動的に電源を入れてアラームを通知する場合、サイトからダウンロードしたメロディやｉモーションがアラーム音に設定されているとFOMAカード動作制限機能により「アラーム音」で鳴ります。

◆高精度な制御や微弱な信号を取扱う電子機器の近く、航空機内、病院など、使用を禁止された区域に入るときは、あらかじめ「自動電源ON」の設定を「電源ONしない」に設定し、FOMA端末の電源を切ってください。

◆アラーム画面で[✉]を押すと、反転表示したアラームを有効にしたり、無効にしたりできます。反転表示したアラームが「OFF」のときは「ON」、「ON」のときは「OFF」になります。

アラーム画面の機能メニュー

編集	アラームを編集します。
完了（1件ON）	反転表示したアラームを有効にします。
1件OFF	反転表示したアラームを無効にします。
全件OFF	設定されているアラームをすべて無効にします。

〈スケジュール〉 MENU45

スケジュールや休日、記念日を登録する

スケジュールを登録しておくと、設定した日時にアラーム音が鳴り、アラームメッセージとアニメーションで登録した内容をお知らせします。また、休日や記念日も登録できます。登録したスケジュールや休日はカレンダーですぐに確認できます。また、カレンダーは1ヶ月表示と1週間表示に切り替えることができ、当日のスケジュールやTo Doリストの件数や用件が表示されます。定例会議などの定期的なスケジュールを毎週決まった曜日に登録しておいたり、スケジュールの内容に合わせたアラーム音やアニメーションを設定したり、1日に複数のスケジュールを登録したりなど、いろいろな方法でスケジュールを管理できます。

● 2004年1月1日から2037年12月31日まで表示・登録できます。
● スケジュール、休日、記念日はそれぞれ100件まで登録できます。ただし、お買い上げ時に登録されている国民の祝日は休日の登録件数に含まれません。
● スケジュールは1日に複数の件数を登録できます。休日、記念日は1日に1件のみ登録できます。
● スケジュールのアラーム通知について→P.285

1 [MENU]▶「LifeKit」▶「スケジュール」

「スケジュール画面」が表示されます。

スケジュール画面

機能メニュー➡P.288

スケジュール画面の機能メニュー

新規登録	「スケジュールを登録する」→P.289 「休日や記念日を登録する」→P.289
1週間表示、1ヶ月表示	「スケジュールの表示を切り替える」→P.289
アイコン別表示	▶アイコンを選択 スケジュールをアイコン別に表示します。繰り返しを設定しているスケジュール（[D]または[W]）は1件の項目として表示されます。
ユーザアイコン設定	「お好みの画像をユーザアイコンとして設定する」→P.290
To Doリスト切替	To Doリスト画面（P.292）に切り替えます。
登録件数確認	スケジュール登録件数、休日登録件数、記念日登録件数を確認することができます。「シークレットモード」または「シークレット専用モード」では、シークレットで登録された件数も確認することができます。
赤外線全送信	スケジュールをすべて赤外線送信します。「データをまとめて転送する」→P.280
祝日リセット	国民の祝日をお買い上げ時の状態に戻します。
削除	
・選択削除	▶[◎]で□（チェックボックス）を選択▶[✉]［完了］▶「YES」 複数のスケジュールを削除できます。
・全削除	▶端末暗証番号を入力▶以下の項目から選択▶「YES」 削除する項目を選択します。 「スケジュール」、「休日」、「記念日」、「すべて」（スケジュール、休日、記念日をすべて削除）から選択できます。

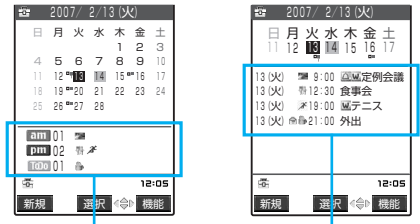
・前日まで削除※	選択した日付より前の項目をすべて削除します。「スケジュール」、「休日」、「記念日」、「すべて」(スケジュール、休日、記念日をすべて削除）から選択できます。

※： 前日とは、スケジュール画面でカーソルが当たっている日付の前日となります。

おしらせ

◆「全削除」の「休日」や「すべて」を選択した場合、祝日はリセットされてお買い上げのときの登録内容に戻ります。
◆「前日まで削除」および「選択削除」では、お買い上げのときに登録されている祝日は削除されません。

● スケジュールの表示を切り替える

スケジュールには「1ヶ月表示」と「1週間表示」の2種類があります。を押して確認したい日付を選択すると、選択した日付に登録されているスケジュールやTo Doリストの件数やアイコンを確認できます。

当日の午前と午後に登録されているスケジュールとTo Doリストの件数とアイコンを表示します。

日付、曜日、アイコン、登録内容を表示します。

青色の日付：土曜日を示します。
赤色の日付：日曜日・祝日・休日を示します。
ピンクの日付：記念日を示します。
＿：当日を示します。
□：午前のスケジュールが登録されていることを示します。
■：午後のスケジュールが登録されていることを示します。
T ：To Doリストが登録されていることを示します。

祝日は「国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号までのもの）およびその法改正（平成17年法律第43号までのもの）」に基づいています。また、春分の日、秋分の日の日付は前年の2月1日の官報で発表されるため異なる場合があります。（2006年11月現在）

休日や記念日を登録する

＜例：休日を登録する場合＞

1 MENU ▶「LifeKit」▶「スケジュール」▶ [新規] ▶「休日」

■ 記念日を登録する場合
▶「記念日」

2 それぞれの項目を設定

項目	内容
年月日設定	▶年月日を入力 休日、記念日を登録する年月日を入力します。
繰り返し	休日、記念日の繰り返しを設定します。
・設定なし	登録した休日、記念日をその年のみ設定します。
・毎年（Y）	登録した休日、記念日を毎年の休日、記念日として設定します。
内容	▶メッセージを入力 休日、記念日の内容を入力します。メッセージは全角で10文字、半角で20文字まで入力できます。

3 [完了]

おしらせ

◆設定した年月日にすでに休日、記念日が登録されている場合は、上書きするかどうかのメッセージが表示されます。

スケジュールを登録する

旅行や約束などの用件をスケジュールとして登録しておくと、設定した日時にアラーム音やアニメーションでお知らせします。

1「スケジュール画面」(P.288) ▶ [新規] ▶「スケジュール」

2 それぞれの項目を設定

項目	内容
内容	▶メッセージを入力▶アイコンを選択 スケジュールの内容を入力します。内容は全角で256文字、半角で512文字まで入力できます。 要約を入力していないときは、内容が通知時の画面に表示されます。また、要約と内容の両方を設定した場合は要約、内容の順で表示されます。
開始日時※	▶「開始西暦」、「開始月日」、「開始時刻」を入力 スケジュールの開始日時を設定します。

終了日時※	▶「終了西暦」、「終了月日」、「終了時刻」を入力 スケジュールの終了日時を設定します。
繰り返し	スケジュールの繰り返しを設定します。
・設定なし	設定した日時のみの設定になります。
・毎日（D）	毎日の繰り返し設定になります。
・曜日指定（W）	▶で□（チェックボックス）を選択▶［完了］ 選択した曜日の繰り返し設定になります。
アラーム通知	開始日時になったときのアラームの通知について設定します。
・通知する	開始日時にアラーム通知します。
・事前通知する	▶事前通知時間（01～99分）を入力 開始日時の何分前にアラーム通知するか設定します。 時間は2桁で入力します。表示されている時間をそのまま設定するときはを押します。
・通知しない	開始日時になってもアラーム通知しません。
アラーム音選択	アラーム音を選択します。 「携帯電話から鳴る着信音を変える」→P.112
・時刻アラーム音	「時刻アラーム音設定」で選択したアラーム音が設定されます。→P.115
・メロディ	▶フォルダを選択 着信音やメロディを選択します。
・ｉモーション	▶フォルダを選択 ｉモーションを選択します。
・おしゃべり	「おしゃべり機能」に録音されている「おしゃべり1」、「おしゃべり2」からアラーム音を選択します。 「アラーム音や応答保留音を録音／再生する」→P.296
・OFF	アラーム音を鳴らしません。
要約	▶メッセージを入力 スケジュールの要約を入力します。要約は全角で20文字、半角で40文字まで入力できます。入力した要約は通知時に画面に表示されます。

※：選択すると「日時設定画面」が表示され、開始日時と終了日時を一度に設定できます。

3 ［完了］

おしらせ

◆「事前通知する」に設定した場合、アラーム通知されるのは事前通知に設定した日時(開始日時の01～99分前)のみです。スケジュールを設定した日時にはアラーム通知は行われません。
◆スケジュールを登録する際、すでに登録されているスケジュールと同じ日時にアラーム通知するように設定した場合、上書きするかどうかのメッセージが表示されます。
◆アラーム通知をするタイミングを同じ日時で行うように登録できるのは、「繰り返し」（毎日／曜日指定）と「繰り返しなし」（設定なし）の組み合わせのみです。このような場合は「繰り返しなし」のスケジュールが優先されます。
◆開始日時で設定した日付の曜日と曜日指定繰り返しで指定した曜日が違う場合は、曜日指定繰り返しの曜日が優先され、スケジュールは開始日時以降の最初の曜日に登録されます。
◆音声通話中64Kデータ通信中にスケジュールを登録する場合、アラーム音選択中にアラーム音は鳴りません。
◆「要約」と「内容」に何も入力しなかった場合は、「内容」に「No Data」と登録されます。

■お願い

- 登録したスケジュールの内容は、別にメモを取るなどして保管することをおすすめします。パソコンをお持ちの場合は、ドコモケータイdatalink（P.322）とFOMA USB接続ケーブル（別売）を利用して、スケジュールの内容をパソコンに保管することもできます。
- FOMA端末の故障・修理やその他の取扱いによって、登録したスケジュールの内容が消失する場合があります。当社としては責任を負いかねますので、万一に備え登録したスケジュールの内容は、別にメモをお取りくださるようお願いします。

お好みの画像をユーザアイコンとして設定する

マイピクチャに登録されている画像やアニメーションをユーザアイコンとして設定できます。設定したユーザアイコンは、アイコン選択の画面で「」～「」と表示されます。ユーザアイコンを設定すると、アラーム通知時に設定した画像やアニメーションが表示されます。
- ユーザアイコンは最大5件まで設定できます。

1「スケジュール画面」（P.288）▶［機能］▶「ユーザアイコン設定」▶「<未登録>」

■すでに設定されているユーザアイコンを変更する場合
▶すでに設定されている項目を選択

■ユーザアイコンの設定をすべて解除する場合

▶「全解除」▶「YES」

すでにユーザアイコンが設定されている場合のみ解除できます。

2 画像が保存されているフォルダを選択

お客様が作成したフォルダがある場合は、そこから画像を選択することもできます。

画像の選択→P.255

■スケジュールに登録されているアイコンを解除する場合

▶「ユーザアイコン解除」▶「YES」

■スケジュールに登録されていないアイコンを解除する場合

▶「ユーザアイコン解除」

3 設定したい画像を選択

選択した画像がプレビュー表示され、しばらくするとユーザアイコン一覧に戻ります。

■プレビュー表示する場合

▶表示したい画像を選ぶ▶[✉]［デモ］

おしらせ

◆スケジュールで使用されているユーザアイコンを変更または解除しようとしたときは、解除するかどうかのメッセージが表示されます。ユーザアイコンを変更または解除したり、マイピクチャから削除したりすると、そのユーザアイコンを使用していたスケジュールのアラーム通知画面は「🕒」を設定したときの画面に変わります。

スケジュールの内容を確認する

詳細画面を表示して登録したスケジュールの内容を確認できます。

1 「スケジュール画面」(P.288)▶内容を確認したいスケジュールが登録されている日付を選択

「スケジュール一覧画面」が表示されます。

一覧表示では以下のようなアイコンが表示されます。

スケジュール一覧画面

機能メニュー ➡P.291

🕒:設定したスケジュールアイコンが表示され、スケジュールが登録されていることを示します。

H:休日が登録されていることを示します。

記念日アイコン:記念日が登録されていることを示します。

To Doアイコン:To Doリストが登録されていることを示します。

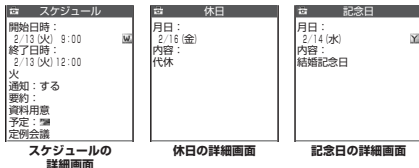
アラームアイコン:アラーム通知が設定されていることを示します。

D:毎日繰り返しが設定されていることを示します。

W:曜日指定繰り返しが設定されていることを示します。

Y:毎年繰り返しが設定されていることを示します。

2 内容を確認したい項目を選択

スケジュールの詳細画面　休日の詳細画面　記念日の詳細画面

スケジュール一覧画面の機能メニュー

新規登録	「スケジュールを登録する」→P.289 「休日や記念日を登録する」→P.289
編集	スケジュールを編集します。
コピー	スケジュール、休日、記念日をコピーし、別の日付に登録します。コピー元に繰り返しの設定があっても、コピー先では解除されます。
アイコン別表示	**▶アイコンを選択** スケジュールをアイコン別に表示します。繰り返しを設定しているスケジュール（D または W）は1件の項目として表示されます。
ユーザアイコン設定	「お好みの画像をユーザアイコンとして設定する」→P.290
To Doリスト切替	To Doリスト画面（P.292）に切り換えます。
シークレット解除	シークレットモード／シークレット専用モードで登録したスケジュールを通常のスケジュールに戻します。 「シークレットデータを通常のデータに戻す」→P.145
iモードメール作成	「iモードメールを作成して送信する」→P.211
デスクトップ貼付	「デスクトップアイコンを利用する」→P.130
赤外線送信	「データを1件ずつ転送する」→P.280
赤外線全送信	スケジュールをすべて赤外線送信します。「データをまとめて転送する」→P.280
削除	
・**1件削除**	選択したスケジュールを削除します。
・**選択削除**	**▶✥で□（チェックボックス）を選択▶[✉]［完了］▶「YES」** 複数のスケジュールを削除できます。
・**全削除**	**▶端末暗証番号を入力▶以下の項目から選択▶「YES」** 削除する項目を選択します。 「スケジュール」、「休日」、「記念日」、「すべて」（スケジュール、休日、記念日をすべて削除）から選択できます。

・前日まで削除	選択した日付より前の項目をすべて削除します。「スケジュール」、「休日」、「記念日」、「すべて」(スケジュール、休日、記念日をすべて削除)から選択できます。

おしらせ

◆「全削除」の「休日」や「すべて」を選択した場合、祝日はリセットされてお買い上げのときの登録内容に戻ります。
◆「前日まで削除」および「選択削除」では、お買い上げのときに登録されている祝日は削除されません。
◆繰り返し（毎日／曜日指定）が設定されているスケジュールを1件削除または選択削除しようとした場合、繰り返しの予定を削除するかどうかのメッセージが表示されます。「YES」を選択すると繰り返しのスケジュールがすべて削除されます。
◆前日まで削除を行った場合、繰り返し（毎日／曜日指定）が設定されているスケジュールは、選択した前日までのスケジュールが削除され、選択した日以降のスケジュールは残ります。
◆スケジュールをアイコン別に表示した場合、機能メニューから「選択削除」を選択すると、アイコン別表示を行う前の画面で選択していた日付の一覧画面での選択削除画面を表示します。アイコン別表示での選択削除はできません。

〈To Doリスト〉 MENU95

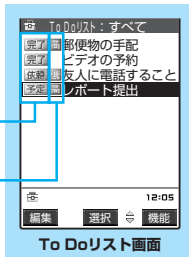
To Doリストを登録する

To Doリストに用件を登録しておくと、予定の管理ができます。また、アラームでお知らせするように登録することもできます。

- 「期日」や「完了日」には2004年1月1日から2037年12月31日までの間で設定できます。
- To Doリストには100件まで用件を登録できます。
- To Doリストのアラーム通知について→P.285

用件を確認する

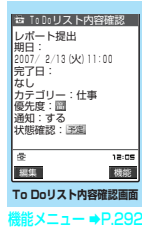
1 MENU▶「LifeKit」▶「To Doリスト」

「To Doリスト画面」が表示されます。

To Doリスト画面

機能メニュー➡P.292

2 確認したい用件を選択

■ 用件を編集する場合

▶✉［編集］
「用件を登録／編集する」→P.293

To Doリスト内容確認画面

機能メニュー➡P.292

To Doリスト画面／To Doリスト内容確認画面の機能メニュー

新規登録	「用件を登録／編集する」→P.293
編集	
スケジュール切替	スケジュール画面（P.288）に切り換えます。
状態	用件の状態を「予定」、「承諾」、「依頼」、「暫定」、「確認」、「拒否」、「完了」、「代理」から選択します。「完了」を選択した場合は完了日を入力します。
カテゴリー別表示※	用件を「すべて」、「なし」、「プライベート」、「休日」、「旅行」、「仕事」、「会議」から選択してカテゴリー別に表示します。
ソート／フィルタ※	指定した条件に従って用件を並び替えたり、特定の状態の用件のみを表示します。
デスクトップ貼付※	「デスクトップアイコンを利用する」→P.130
赤外線送信	「データを1件ずつ転送する」→P.280
赤外線全送信※	用件をすべて赤外線送信します。「データをまとめて転送する」→P.280
削除	
・1件削除	用件を1件削除します。
・選択削除※	▶🔘で□（チェックボックス）を選択▶✉［完了］▶「YES」 複数の用件を削除できます。
・完了済み削除※	完了した用件を削除します。
・全削除※	▶端末暗証番号を入力▶「YES」 用件をすべて削除します。

※：To Doリスト画面のみ利用できます。

用件を登録／編集する

● 「内容」は必ず入力してください。「内容」を入力していない場合はTo Doリストの登録ができません。

1 MENU ▶「LifeKit」▶「To Doリスト」▶ ✉［新規］

■ すでに用件が登録されているときに用件を追加登録する場合
▶ i［機能］▶「新規登録」

■ すでに登録されている用件を編集する場合
▶編集する用件を選択▶ ✉［編集］

2 それぞれの項目を設定

項目	操作・説明
内容	▶用件の内容を入力 用件の内容を入力します。内容は全角で100文字、半角で200文字まで入力できます。
期日	用件の期日を設定します。
・直接入力	▶年月日、時刻を入力 直接入力します。
・カレンダーから入力	▶カレンダーから選択▶時刻を入力 カレンダーで年月日を選択します。
・なし	期日を設定しません。
優先度	用件の優先度を設定します。
・高	優先度を高に設定します。
・低	優先度を低に設定します。
・なし	優先度を設定しません。
カテゴリー	用件のカテゴリーを「なし」、「プライベート」、「休日」、「旅行」、「仕事」、「会議」から選択します。
アラーム通知	設定した期日になったときのアラームの通知について設定します。
・通知する	期日にアラーム通知します。
・事前通知する	▶事前通知時間（01～99分）を入力 期日の何分前にアラーム通知するか設定します。 時間は2桁で入力します。表示されている時間をそのまま設定するときは●を押します。
・通知しない	期日になってもアラーム通知しません。
アラーム音選択	アラーム音を選択します。 「携帯電話から鳴る着信音を変える」→P.112
・時刻アラーム音	「時刻アラーム音設定」で選択したアラーム音が設定されます。 →P.115
・メロディ	▶フォルダを選択 着信音やメロディを選択します。
・iモーション	▶フォルダを選択 iモーションを選択します。
・おしゃべり	「おしゃべり機能」に録音されている「おしゃべり1」、「おしゃべり2」からアラーム音を選択します。 「アラーム音や応答保留音を録音／再生する」→P.296
・OFF	アラーム音を鳴らしません。
完了日※	用件の完了日を設定します。
・直接入力	▶年月日を入力 直接入力します。
・カレンダーから入力	▶カレンダーから選択 カレンダーで年月日を選択します。
・なし	完了日を設定しません。

※：登録済みの用件で、「状態」が「完了」になっている用件を編集したときのみ表示されます。

3 ✉［完了］

おしらせ

◆「事前通知する」に設定した場合、アラーム通知されるのは事前通知に設定した時刻（To Doリストの01～99分前）のみです。To Doリストを設定した日付・時刻にはアラーム通知は行われません。
◆音声通話中64Kデータ通信中に用件を登録する場合、アラーム音選択中にアラーム音は鳴りません。

お願い

● 登録したTo Doリストの内容は、別にメモを取るなどして保管することをおすすめします。パソコンをお持ちの場合は、ドコモケータイdatalink（P.322）とFOMA USB接続ケーブル（別売）を利用して、To Doリストの内容をパソコンに保管することもできます。
● FOMA端末の故障・修理やその他の取扱いによって、登録したTo Doリストの内容が消失する場合があります。当社としては責任を負いかねますので、万一に備え登録したTo Doリストの内容は、別にメモをお取りくださるようお願いします。

〈マイプロフィール〉 MENU 0

自分の名前や画像を登録する

お買い上げ時 自局番号のみ

名前や自宅の電話番号、メールアドレスなど、お客様の個人情報を登録できます。個人情報を登録しておくと、FOMA端末の所有者を確認したり、文字入力（編集）画面で登録されている内容を引用できます。

● 自局番号を変更したり削除することはできません。
● 自局番号以外の項目はFOMA端末に記憶されます。ほかのFOMAカードを差し込んでも、自局番号以外の項目は登録した内容が表示されます。

マイプロフィールを表示する

本機能を起動したときは名前、自局番号、1件目のメールアドレスのみ表示できます。

1 MENU ▶「ユーザデータ」▶「マイプロフィール」

「マイプロフィール画面」が表示されます。
自宅の電話番号や住所などの個人データを登録している場合は、機能メニューから「全データ表示」を選択して端末暗証番号を入力すると、すべてのデータを表示できます。

マイプロフィール画面

機能メニュー ➡P.294

マイプロフィール画面の機能メニュー

マイプロフィール編集	個人データを編集します。 「マイプロフィールを登録する」→P.294
全データ表示	▶端末暗証番号を入力▶ で内容を確認
名前コピー	個人データに登録されている名前をコピーします。 コピーした名前は、入力画面などで貼り付けることができます。 「文字のコピー／切り取り／貼り付け」→P.334
電話番号コピー※1	現在表示されている電話番号をコピーします。 コピーした電話番号は、入力画面などで貼り付けることができます。 「文字のコピー／切り取り／貼り付け」→P.334
赤外線送信	「データを1件ずつ転送する」→P.280
拡大表示、標準表示	表示する名前の文字サイズを切り替えます。
マイプロフィール初期化	▶端末暗証番号を入力▶「YES」 自局番号以外の個人データを初期化（削除）して、お買い上げ時の状態に戻します。 「全データ表示」で個人データを表示している場合は、端末暗証番号を入力する必要はありません。
電話番号削除※2	現在表示されている電話番号を削除します。

※1：選択している項目によって以下のようになります。
- メールアドレスを選択しているときは「メールアドレスコピー」になります。
- 住所を選択しているときは「住所コピー」になります。
- 誕生日を選択しているときは「誕生日コピー」になります。
- メモを選択しているときは「メモコピー」になります。

※2：選択している項目によって以下のようになります。
- メールアドレスを選択しているときは「メールアドレス削除」になります。
- 住所を選択しているときは「住所削除」になります。
- 誕生日を選択しているときは「誕生日削除」になります。
- メモを選択しているときは「メモ削除」になります。
- 静止画を選択しているときは「静止画削除」になります。

マイプロフィールを登録する

1 MENU ▶「ユーザデータ」▶「マイプロフィール」▶ ✉［編集］▶端末暗証番号を入力

2 それぞれの項目を設定

姓 名前	▶名前（姓）を入力 お客様の名前（姓）を入力します。名前（姓）は漢字、ひらがな、カタカナ、英字、数字、絵文字などを入力できます。名前（名）と合わせて全角で16文字、半角で32文字まで入力できます。
カナ フリガナ	▶フリガナ（姓）を入力 お客様の名前（姓）のフリガナを入力します。「名前（姓）」を入力すると自動的に設定されますので必要に応じて変更してください。フリガナは半角のカタカナ、英字、数字、記号を入力できます。フリガナ（名）と合わせて半角で32文字まで入力できます。
名 名前	▶名前（名）を入力 お客様の名前（名）を入力します。名前（名）は漢字、ひらがな、カタカナ、英字、数字、絵文字などを入力できます。名前（姓）と合わせて全角で16文字、半角で32文字まで入力できます。
カナ フリガナ	▶フリガナ（名）を入力 お客様の名前（名）のフリガナを入力します。「名前（名）」を入力すると自動的に設定されますので必要に応じて変更してください。フリガナは半角のカタカナ、英字、数字、記号を入力できます。フリガナ（姓）と合わせて半角で32文字まで入力できます。
電話番号	▶電話番号を入力▶アイコンを選択 自局番号以外の電話番号を追加登録してアイコンを選択します。電話番号は26桁まで入力できます。 新しく電話番号を登録すると、個人データの編集画面に「 <追加登録>」が表示されます。この項目を選択すると電話番号を追加登録できます。

メールアドレス	▶**メールアドレスを入力▶アイコンを選択** メールアドレスを入力してアイコンを選択します。メールアドレスは半角の英字、数字、記号で50文字まで入力できます。 1件目のメールアドレスを登録すると、個人データの編集画面に「 <追加登録>」が表示されます。この項目を選択するとメールアドレスを追加登録できます。
住所	▶**郵便番号を入力▶都道府県を入力▶市町村、郡、区を入力▶番地を入力▶マンション名などを入力▶ [完了]** 郵便番号と住所を入力します。郵便番号は7桁の半角数字で入力します。それ以外は漢字、ひらがな、カタカナ、英字、数字、絵文字などを入力でき、全角で50文字、半角で100文字まで入力できます。※
誕生日	▶**誕生日を入力** 誕生日（西暦・月日）を入力します。設定できる西暦は、1800年から2099年までです。
メモ	▶**メモを入力** メモを入力します。メモは漢字、ひらがな、カタカナ、英字、数字、絵文字などを入力でき、全角で100文字、半角で200文字まで入力できます。
静止画	個人データで表示される静止画を設定します。
・カメラ撮影	カメラが起動します。撮影した静止画を設定できます。
・静止画選択	▶**フォルダを選択** 静止画を選択します。
・静止画解除	設定されている静止画を解除します。

※：郵便番号を除いた住所全体（都道府県、市町村、郡、区、番地、マンション名などの合計）として、全角で50文字、半角で100文字まで登録できます。

3 [完了]

おしらせ

◆自分のメールアドレスを変更したりシークレットコードを登録した場合は、本機能のメールアドレスの登録内容も変更してください(自動的には変更されません)。

〈通話中音声メモ／待受中音声メモ〉

相手の声や自分の声を録音する

音声メモには、音声通話中またはテレビ電話中に相手の声を録音できる「通話中音声メモ」と、待受画面表示中に自分の声を録音できる「待受中音声メモ」の2種類があります。

- 録音できる件数は、通話中音声メモまたは待受中音声メモのどちらか1件で、録音するたびに上書きされます。
- 録音できる時間は約20秒です。
- 録音した音声メモの再生、消去について→P.73

通話中に相手の声を録音する

1 **通話中▶[MEMO/CHECK]（1秒以上）**

「ピッ」と鳴って録音がはじまります。録音時間（約20秒間）が終了する5秒前に「ピッ」と音が鳴ります。録音が終了すると「ピッピッ」という音が鳴り、「音声メモ録音中」の表示が消えて通話中画面に戻ります。

音声通話中の場合

■録音を途中でやめる場合

▶、CLR、またはMEMO/CHECK]（1秒以上）

を押した場合は、通話も終了します。ただし、テレビ電話中はCLRを押しても録音を中断することはできません。

おしらせ

◆録音中に電話がかかってきたときや「アラーム機能」、「スケジュール」、「To Doリスト」のアラームが通知されたり、ほかの機能を操作した場合は、録音を停止します。

◆機能メニューの各項目の操作中、テレビ電話の保留中などは録音することはできません。

◆音声電話を通話中保留にしている場合、次の操作で「通話中音声メモ」を起動して録音できます。
▶MENU▶「LifeKit」▶「通話中音声メモ」

待受中に自分の声を録音する MENU43

1 **MENU▶「LifeKit」▶「待受中音声メモ」▶「YES」▶音声メモを録音**

「ピッ」と鳴ったら送話口に向かってお話しください。録音時間（約20秒間）が終了する5秒前に「ピッ」と音が鳴ります。録音が終了すると「ピッピッ」という音が鳴り、「音声メモ録音中」の表示が消えて「LifeKit」の一覧画面に戻ります。

■録音を途中でやめる場合

▶、CLRまたは

を押した場合は、待受画面に戻りますが録音した音声は保存されます。

■お願い

- 音声メモの内容は、別にメモを取ったりして保管することをおすすめします。
- FOMA端末の故障・修理やその他の取扱いによって、録音した音声メモの内容が消失する場合があります。当社としては責任を負いかねますので、万一に備えメモ機能で録音した内容は、別にメモをお取りくださるようお願いします。

〈おしゃべり機能〉 MENU91

アラーム音や応答保留音を録音／再生する

音声を録音して、オリジナルの着信音や応答メッセージとして設定できます。

- 録音できる音声は「おしゃべり1、2」の2件です。
- 録音できる時間は約15秒です。
- 本機能で録音した音声を設定できる機能は以下のとおりです。
  - 着信音
  - 非通知着信設定の着信音
  - マルチナンバーの着信音
  - 応答保留音
  - 通話中保留音
  - 伝言メモの応答メッセージ
  - アラーム機能のアラーム通知音
  - スケジュールのアラーム通知音
  - To Doリストのアラーム通知音
  - 通話料金通知のアラーム通知音

音声を録音する

1 MENU▶「LifeKit」▶「おしゃべり機能」▶録音したい項目を選択▶「YES」

おしゃべり機能画面

機能メニュー➡P.296

2 音声を録音

送話口に向かってお話しください。録音時間（約15秒間）が終了する5秒前に「ピッ」と音が鳴ります。録音が終了すると「ピッピッ」という音が鳴り、「おしゃべり録音中」の表示が消えて元の画面に戻ります。

■ 録音を途中でやめる場合

▶●、CLRまたは☎

録音中に☎を押した場合、待受画面に戻りますが録音した音声は保存されます。

おしらせ

◆録音済みの音声がある場合は、録音できません。録音済みのデータを消去すると、録音可能になります。

◆録音中に音声電話やテレビ電話の着信があったときや「アラーム機能」、「スケジュール」、「To Doリスト」のアラームが通知されたり、ほかの機能を操作した場合は、録音を停止します。

録音した音声を再生する

1 MENU▶「LifeKit」▶「おしゃべり機能」▶再生したい項目を選択

■ 再生を途中でやめる場合

▶●、CLRまたは☎

おしゃべり機能画面の機能メニュー

録音	音声を録音します。
再生	録音した音声を再生します。
消去	録音した音声を消去します。

〈通話時間／料金〉 MENU61

通話時間・料金を確認する

音声通話、テレビ電話などの前回および積算の通話時間と通話料金を確認できます。

- 音声電話とテレビ電話の通話を切り替えた場合、前回通話時間には音声電話とテレビ電話の合計の通話時間が表示され、前回通話料金には音声電話とテレビ電話の通話料金が個別に表示されます。なお、表示される通話料金は実際の通話料金と異なる場合があります。
- 通話時間は、音声電話通話時間とデジタル通信通話時間（テレビ電話通話時間+64Kデータ通信時間）が表示され、かけた場合とかかってきた場合の両方がカウントされます。
- 通話料金は、かけた場合のみカウントされます。ただし、フリーダイヤルなどの無料通話先や番号案内（104）などに通話した場合は、「¥0」または「¥**」が表示されます。
- 通話料金はFOMAカードに蓄積されるため、FOMAカードを差し替えてご利用になる場合、蓄積されている積算料金（2004年12月から積算開始）が積算通話料金に表示されます。
  ※ 901iシリーズより前に発売されたFOMA端末では、FOMAカードに蓄積されますが表示することはできません。
- 表示される通話時間および通話料金は、リセットすることができます。
- 表示される通話時間および通話料金はあくまで目安であり、実際の通話時間／料金とは異なる場合があります。また、通話料金に消費税は含まれておりません。

1 MENU▶「各種設定」▶「時間／料金」▶「通話時間／料金」

以下の情報が確認できます。

前回通話時間	直前の通話時間の目安を表示 発信、着信どちらの通話でも表示します。
前回通話料金	直前の通話料金の目安を表示 「音声通話」は音声電話の料金、「デジタル」はテレビ電話、64Kデータ通信の料金を表示します。

積算通話時間	前回リセットしたとき（「0秒」に戻したとき）から現在までの積算時間を表示 「音声通話」は音声電話の積算通話時間、「デジタル」はテレビ電話と64Kデータ通信の積算通話時間を表示します。
積算通話料金	前回リセットしたときから現在までの積算通話料金の目安を表示 積算通話料金は音声電話通話料金とデジタル通信通話料金（テレビ電話通話料金＋64Kデータ通信料金）の合計が表示されます。
前回積算時間リセット日時	前回に積算通話時間リセットした日時を表示
前回積算料金リセット日時	前回に積算通話料金リセットをした日時を表示

おしらせ

◆前回および積算の音声電話通話時間やデジタル通信通話時間が「199時間59分59秒」を超えると、「0秒」に戻ってカウントします。
◆ｉモード通信、パケット通信の通信時間・通信料金、着もじの送信料金はカウントされません。ｉモード利用料などの確認方法については、ｉモードご契約時にお渡しする『ご利用ガイドブック（ｉモード＜FOMA＞編）』をご覧ください。
◆着信中や相手を呼び出している時間はカウントされません。
◆電源を切ると、前回通話時間は「0秒」、前回通話料金は「￥＊＊」に戻ります。
◆電源を切っても、積算通話時間、積算通話料金の情報は残ります。

積算通話時間と積算通話料金をリセットする〈積算リセット〉 MENU60

1 MENU▶「各種設定」▶「時間／料金」▶「積算リセット」▶端末暗証番号を入力▶以下の項目から選択

積算通話時間リセット	積算通話時間をリセットします。
積算通話料金リセット	▶「YES」▶PIN2コードを入力 積算通話料金をリセットします。

積算通話料金の自動リセットを設定する〈積算料金自動リセット〉 お買い上げ時 OFF

毎月1日のAM0:00になると、「通話時間／料金」に表示される積算通話料金が自動的にゼロに戻るように設定できます。

1 MENU▶「各種設定」▶「時間／料金」▶「積算料金自動リセット」▶端末暗証番号を入力

2「自動リセット設定」▶以下の項目から選択

ON	▶PIN2コードを入力 自動リセットを設定します。 PIN2コードについて→P.138
OFF	自動リセットを設定しません。

おしらせ

◆パケット通信中でも積算通話料金は自動リセットされます。
◆通話中に自動リセットが行われる日時になった場合は、通話が終了したときに自動リセットが行われます。
◆電源を切っている間に自動リセットが行われる日時になった場合は、次回電源を入れたときにPIN2コードを入力後、自動リセットが行われます。
◆積算料金自動リセットを「ON」に設定し、「時計設定」で月を変更すると積算通話料金はリセットされます。
◆積算料金自動リセットを「ON」に設定すると、FOMA端末の電源を入れたときにPIN2コードの入力画面が表示されます。
◆次の場合は積算料金自動リセットは「OFF」に設定されます。
・FOMAカードを未挿入の状態で電源を入れたとき
・FOMA端末の電源を入れたときに表示されるPIN2コード入力画面でCLRを押したとき
・PIN2コードがロックされたとき→P.139
・FOMAカードに異常があるとき

〈通話料金通知〉

通話料金の上限を設定して知らせる

お買い上げ時	料金上限値：未設定 上限値通知設定：通知しない

「通話時間／料金」で表示される積算通話料金が本機能で設定した上限料金を超えると待受画面やアラームなどでお知らせします。

● アラーム通知は、積算通話料金が設定した上限料金を超えたときに一度だけ行います。
● 上限料金を超えても通常どおり電話をかけることができます。

1 MENU▶「各種設定」▶「時間／料金」▶「通話料金通知」▶端末暗証番号を入力

2 それぞれの項目を設定

上限料金の設定	10円～100,000円の範囲で10円単位で上限の料金を設定します。
通知設定	
・上限値通知設定	通話料金通知を行うかどうかを設定します。 「通知しない」に設定すると通話料金通知をしません。 「通知する」に設定すると、「アラーム音選択」と「アラーム音量」の設定に従って通話料金通知をします。

・アラーム音選択	アラーム音を選択します。お客様が作成したフォルダがあるときは「プリインストール」の項目の次に表示されます。 「携帯電話から鳴る着信音を変える」→P.112
・INBOX	サイトやインターネットホームページなどからダウンロードしたメロディをアラーム音に選択します。
・プリインストール	お買い上げ時に登録されている着信音やメロディからアラーム音を選択します。
・おしゃべり	「おしゃべり機能」に録音されている「おしゃべり1」、「おしゃべり2」からアラーム音を選択します。 「アラーム音や応答保留音を録音／再生する」→P.296
・OFF	アラーム音を鳴らしません。
・アラーム音量	でアラーム音量を設定します。 「着信音の音量を調節する」→P.65

3 ［完了］

おしらせ

◆オリジナルマナーモード設定中のアラーム音の音量は、「オリジナルマナー」の「電話着信音量」で設定した音量になります。
◆ｉモード通信、パケット通信の通信料金、着もじの送信料金は本機能の対象外です。ｉモード利用料などの確認方法については、ｉモードご契約時にお渡しする『ご利用ガイドブック（ｉモード<FOMA>編）』をご覧ください。

● アラーム通知の動作

通話終了後、積算通話料金が設定した上限料金を超えると次のような動作で通知します。

■ 上限値通知設定を「通知する」、アラーム音選択を「OFF」以外に設定している場合

積算通話料金が本機能で設定した上限料金を超えると、通話を終了して3秒後にアラーム音が約5分間鳴り、上限料金を超えたことを通知する画面が表示されます。アラーム音をとめるにはいずれかのボタンを押します。通知動作終了後、CLRまたはを押すと、待受画面に「」（通話料金通知）のデスクトップアイコンが表示されます。

■ 上限値通知設定を「通知する」、アラーム音選択を「OFF」に設定している場合

積算通話料金が本機能で設定した上限料金を超えると、待受画面に「」（通話料金通知）のデスクトップアイコンが表示されます。

●「」（通話料金通知）の内容を確認する

待受画面に表示された「」（通話料金通知）のデスクトップアイコンを選択すると、通話料金通知の内容を確認できます。

1 待受画面表示中▶▶「」▶端末暗証番号を入力

「通話料金通知」のアラーム情報が表示されます。

2 内容を確認▶

待受画面に戻り、「」（通話料金通知）のデスクトップアイコンが消えます。

おしらせ

◆「上限料金の設定」で上限料金の金額を現在の積算料金を超えた金額に変更した場合、「」（通話料金通知）のデスクトップアイコンは消えます。
◆はじめて上限料金を設定するとき、上限料金を積算通話料金より低く設定すると、設定直後の発信または着信した通話の終了後に通話料金通知のアラーム通知が動作します。
◆アラーム通知をするとき、「操作優先」にするか「通知優先」にするかを「アラーム通知設定」で設定できます。

〈電卓〉 MENU85

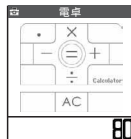
電卓として使う

FOMA端末で四則演算（＋、－、×、÷）を行うことができます。

● 数字は10桁まで表示できます。また、小数点以下は9桁まで表示できます。
● 計算結果が10桁を超えた場合は、「.E」と表示されます。

1 MENU▶「LifeKit」▶「電卓」▶計算

入力した数字、計算結果が表示されます。

■「23＋57」を計算する場合

2 3 ＋ 5 7 ＝
2 3 5 7

■ 負の数を計算する場合

先頭の数字に「－」を付けた場合のみ、負の数の計算ができます。

－ 2 3 ＋ 5 7 ＝
2 3 5 7

おしらせ

◆CLR（ AC または C ）は、次のようなときに使います。
- ＋、－、×、÷、＝を押した後は AC の表示となり、CLRを押して計算を最初からやりなおすことができます。
- 数字や小数点の入力中は C の表示となり、CLRを押して打ち間違えた数字や小数点を消去することができます。

〈テキストメモ〉 MENU42

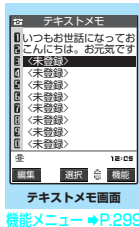
テキストメモを作成する

簡単なメッセージなどをテキストメモとして作成できます。作成したテキストメモはスケジュールの内容やメールの本文に貼り付けることができます。

- テキストメモは10件まで登録できます。
- テキストメモは全角で256文字、半角で512文字まで入力できます。

テキストメモを登録する

1 MENU▶「LifeKit」▶「テキストメモ」

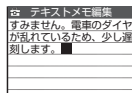
「テキストメモ画面」が表示されます。

テキストメモ画面

機能メニュー ➡P.299

2「＜未登録＞」を反転表示して✉［編集］

■ すでに登録されているテキストメモの内容を変更する場合

▶変更する項目を選択▶✉［編集］

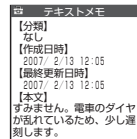
3 内容を入力

おしらせ

◆「テキストメモ画面」で「＜未登録＞」を反転表示して●を押しても、テキストメモを登録することができます。

■ お願い

- 登録したテキストメモの内容は、別にメモを取るなどして保管することをおすすめします。パソコンをお持ちの場合は、ドコモケータイdatalink（P.322）とFOMA USB接続ケーブル（別売）を利用して、テキストメモの内容をパソコンに保管することもできます。
- FOMA端末の故障・修理やその他の取扱いによって、登録したテキストメモの内容が消失する場合があります。当社としては責任を負いかねますので、万一に備え登録したテキストメモの内容は、別にメモをお取りくださるようお願いします。

テキストメモの内容を確認する

1 MENU▶「LifeKit」▶「テキストメモ」▶内容を確認したい項目を選択▶内容を確認

テキストメモ画面の機能メニュー

機能	説明
編集	用件を編集します。
ｉモードメール作成	「ｉモードメールを作成して送信する」→P.211
スケジュール作成	「スケジュールを登録する」→P.289
デスクトップ貼付	「デスクトップアイコンを利用する」→P.130
赤外線送信	「データを1件ずつ転送する」→P.280
赤外線全送信	「データをまとめて転送する」→P.280
テキストメモ情報	作成日時や分類を確認します。
分類	テキストメモを「なし」、「プライベート」、「休日」、「旅行」、「仕事」、「会議」から選択して分類します。
削除	
・1件削除	テキストメモを1件削除します。
・選択削除	▶●で□（チェックボックス）を選択▶✉［完了］▶「YES」 複数のテキストメモを削除できます。
・全削除	▶端末暗証番号を入力▶「YES」 テキストメモをすべて削除します。

〈辞典〉
辞典を利用する

● その他の機能から辞典を利用する→P.301

辞典を起動する

1 MENU ▶「LifeKit」▶「辞典」

「辞典画面」が表示されます。

辞典画面

機能メニュー ➡P.300

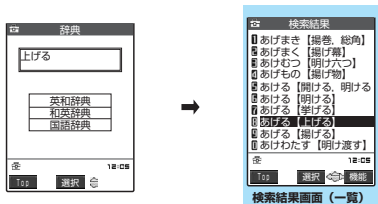
2 以下の項目から選択

直接入力	▶単語を入力 全角で32文字、半角で64文字まで入力できます。
検索履歴	以前検索した単語の履歴から検索することができます。 「検索履歴を使う」→P.300

3 辞典の種類を選択

「検索結果画面（一覧）」が表示されます。
該当する単語がない場合は、入力した文字の一番近い単語にカーソルがあたって表示されます。

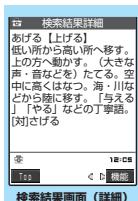
■ 前後の一覧を表示させたい場合
▶「検索結果画面（一覧）」▶

➡

検索結果画面（一覧）

機能メニュー ➡P.300

4 検索結果の一覧から単語を選択

「検索結果画面（詳細）」が表示されます。

■ 前後の単語を表示させたい場合
▶「検索結果画面（詳細）」▶

検索結果画面（詳細）

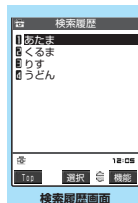
機能メニュー ➡P.300

辞典画面の機能メニュー

デスクトップ貼付	「デスクトップアイコンを利用する」→P.130

検索履歴を使う

1「辞典画面」（P.300）▶「検索履歴」

「検索履歴画面」が表示されます。

2 単語を選択

検索履歴画面

機能メニュー ➡P.300

検索履歴画面の機能メニュー

1件削除	検索履歴を1件削除します。
全削除	検索履歴をすべて削除します。

検索結果画面（一覧）の機能メニュー

コピー	和英辞典と国語辞典は検索結果の【】内の文字を、英和辞典は検索結果の単語をコピーします。 コピーした単語は、入力画面などで貼り付けることができます。 「文字のコピー／切り取り／貼り付け」→P.334
別の辞典で検索	検索した単語を別の辞典で検索します。

検索結果画面（詳細）の機能メニュー

ウィンドウ切替※1	検索結果と文字編集の画面を切り替えます。
コピー	辞典の検索結果（詳細）で設定した範囲の文字をコピーします。 コピーした文字は、入力画面などで貼り付けることができます。 「文字のコピー／切り取り／貼り付け」→P.334
結果詳細から検索	「検索結果の詳細画面からさらに検索する」→P.301
別の辞典で検索	検索した単語を別の辞典で検索します。
参照編集※2	検索結果を見ながら文字編集をすることができます。 「操作する画面を切り替える」→P.336

※1：ウィンドウの切り替えができる場合のみ表示されます。
※2：参照編集ができる場合のみ表示されます。

検索結果の詳細画面からさらに検索する

1. 「検索結果画面(詳細)」(P.300)▶[i][機能]▶「結果詳細から検索」
2. [ナビ]▶検索したい文字のはじめの位置で[●]
3. [ナビ]▶検索したい文字の終わりの位置までカーソルを移動して[●]
4. 辞典の種類を選択
5. 検索結果の一覧から単語を選択

その他の機能から辞典を利用する

以下のそれぞれの画面で、機能メニューから「辞典検索」を選択します。
- 文字編集画面を表示中
- 送信メール、受信メールの詳細画面または新規メール作成の本文入力画面を表示中
- サイトのページまたは画面メモを表示中

■文字編集画面から辞典を起動すると

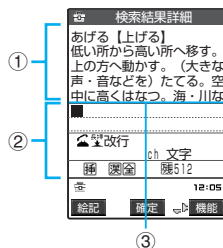
「直接入力」「範囲選択」「検索履歴」から選択することができます。
「範囲選択」を選択すると、文字編集画面から調べたい単語を範囲選択することができます。

■送信メール、受信メールの詳細画面または新規メール作成の本文入力画面から辞典を起動すると

「直接入力」「範囲選択」「検索履歴」から選択することができます。
「範囲選択」を選択すると、送信メールまたは受信メールの本文、新規メール作成中のメールから調べたい単語を範囲選択することができます。

■サイトのページまたは画面メモから辞典を起動すると

「直接入力」「サイト参照入力」「検索履歴」から選択することができます。
「サイト参照入力」を選択すると、サイトのページや画面メモを見ながら調べたい単語を入力することができます。

● 辞典の参照画面について

「参照編集」または「サイト参照入力」を選択すると、上下2つに画面が分割されます。
機能メニューから「ウィンドウ切替」を選択するごとに操作できる画面が①と②で切り替わります。

■検索結果詳細画面から参照編集を選択した場合

①辞典の詳細画面を表示します。
②文字編集画面を表示します。
③区切り線を表示します。
辞典を終了するときは、機能メニューから「辞典終了」を選択するか、①の画面に切り替えて[✉][終了]を押します。

■サイトのページまたは画面メモからサイト参照入力を選択した場合

①サイトのページや画面メモの画面を表示します。
②検索語入力画面を表示します。
③区切り線を表示します。
検索語を入力したら、[●]を押します。検索語が入力された辞典選択の画面になります。

〈スイッチ付イヤホンマイク〉

スイッチ付イヤホンマイクの使いかた

平型スイッチ付イヤホンマイク(別売)のスイッチを使って電話をかけたり、受けたりします。
- 平型スイッチ付イヤホンマイクをFOMA端末に接続するには、イヤホンマイク端子のカバーを開け、平型スイッチ付イヤホンマイクの接続プラグを差し込んでください。→P.24
- 「ボタン確認音」の設定にかかわらず、電話に出たり、電話を切ったときの音は鳴ります。
- 着信音が鳴っているときに平型スイッチ付イヤホンマイクを接続すると、音声電話に出てしまうことがありますのでご注意ください。
- 平型スイッチ付イヤホンマイクのコードをFOMA端末に巻き付けないでください。電波の受信レベルが低下する場合があります。また、通話中に平型スイッチ付イヤホンマイクのコードをFOMA端末に近づけると、雑音が入ることがあります。

● スイッチを使って電話をかける

● スイッチを使って音声電話をかけることができます。

1 待受画面表示中に平型スイッチ付イヤホンマイクのスイッチを1秒以上押す

「自動発信設定」(P.302)で設定した電話番号に電話がかかります。
FOMA端末を折り畳んだ状態でも、スイッチを1秒以上押すと「自動発信設定」で設定した電話番号に音声電話がかかります。

■ 電話帳一覧画面から電話をかける場合
▶「電話帳一覧画面」(P.97)▶かけたい電話帳を選ぶ▶スイッチを1秒以上押す
「ピッ」という音が鳴り、電話帳に登録されている1番目の電話番号に電話がかかります。
「リダイヤル/発信履歴画面(一覧)」、「着信履歴画面(一覧)」から電話をかけることもできます。

■ 電話帳詳細画面から電話をかける場合
▶「電話帳詳細画面」(P.97)▶かけたい電話番号を選ぶ▶スイッチを1秒以上押す
「ピッ」という音が鳴り、選んだ電話番号に電話がかかります。
「リダイヤル/発信履歴画面(詳細)」(P.51)、「着信履歴画面(詳細)」(P.63)から電話をかけることもできます。

「電話番号入力画面」でスイッチを1秒以上押して電話をかけることもできます。

2 通話が終了したら、平型スイッチ付イヤホンマイクのスイッチを1秒以上押す

「ピッピッ」という音が鳴り、電話が切れます。

● スイッチを使って電話を受ける

1 電話がかかってきたら、平型スイッチ付イヤホンマイクのスイッチを押す

FOMA端末を折り畳んだ状態でスイッチを押してもかかってきた電話に出ることができます。

■ 音声電話に出る場合
「ピッ」という音が鳴り、音声電話に出ます。

■ テレビ電話に出る場合
「ピッ」という音が鳴り、FOMA端末を折り畳んだ状態では代替画像で、開いた状態では自画像でテレビ電話に出ます。機能メニューから「代替画像切替」を選択すると代替画像に切り替えることができます。

2 通話が終了したら、平型スイッチ付イヤホンマイクのスイッチを1秒以上押す

「ピッピッ」という音が鳴り、電話が切れます。

おしらせ

◆「通知音出力切替」で平型スイッチ付イヤホンマイクを接続しているときにイヤホンとスピーカから着信音などが鳴るように設定できます。
◆「着信音量」の「電話」、「テレビ電話」を「消去」に設定している場合やマナーモード設定中は、着信音は鳴りません。ただし、「マナーモード選択」で「オリジナルマナー」を選択し、オリジナルマナーの設定で「電話着信音量」を「消去」以外に設定している場合は着信音が鳴ります。
◆「キャッチホン」をご契約の場合は、通話中にかかってきた電話に平型スイッチ付イヤホンマイクのスイッチを押して出ることができます。また、スイッチを1秒以上押して通話中の電話を切り替えることができます。ただし、スイッチを押して通話を終わらせることはできません。
◆平型スイッチ付イヤホンマイクのスイッチを連続して押したり放したりしないでください。自動的に電話に出てしまうことがあります。

〈自動発信設定〉

イヤホンをつないで電話をかけるときの相手を選ぶ

お買い上げ時 OFF

通話する相手を設定しておけば、イヤホンマイク端子に平型スイッチ付イヤホンマイク(別売)などを接続しているとき、スイッチを1秒以上押すだけで音声電話をかけることができます。

● 本機能には、FOMA端末(本体)の電話帳に登録されている電話番号を設定できます。
● FOMA端末を折り畳んだ状態でも、平型スイッチ付イヤホンマイクのスイッチを1秒以上押して音声電話をかけることができます。

1 MENU▶「各種設定」▶「発信」▶「自動発信設定」▶「ON」

■ 自動発信をしない場合
▶「OFF」

2 「電話帳詳細画面」(P.97)▶設定したい電話番号を表示▶●

電話帳の検索のしかた(検索方法の指定)→P.98

おしらせ

◆電話番号が登録されていない電話帳や、FOMA カードの電話帳は設定できません。
◆本機能に設定した電話帳を削除した場合は、本機能を「ON」に設定しても平型スイッチ付イヤホンマイクなどのスイッチを使った発信ができなくなります。

〈オート着信〉 MENU94

イヤホンマイクをつないで自動で電話を受ける

お買い上げ時	オート着信：OFF　呼出時間：6秒

イヤホンマイク端子に平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）などを接続している場合、スイッチを押さなくてもかかってきた音声電話やテレビ電話に自動で出るように設定できます。

- 音声通話中、テレビ電話中、64Kデータ通信中は、本機能によって自動で電話に出ることはできません。
- FOMA端末を折り畳んだ状態でも自動で電話を受けることができます。

1 MENU▶「各種設定」▶「外部接続」▶「オート着信」▶以下の項目から選択

ON	▶呼出時間（001～120秒）を入力 オート着信を有効にします。着信から呼出時間が経過すると自動で電話に出ます。 時間は3桁で入力します。表示されている時間をそのまま設定するときは⊙を押します。
OFF	オート着信を無効にします。

おしらせ

◆テレビ電話をオート着信した場合、相手側には代替画像が表示されます。テレビ電話中に機能メニューから「自画像切替」を選択して代替画像とカメラ映像を切り替えることができます。

◆オート着信の呼出時間は「伝言メモ」の呼出時間や「遠隔監視設定」の応答時間と同じ時間に設定することはできません。

◆「留守番電話サービス」や「転送でんわサービス」を同時に設定している場合に本機能を優先させるには、「留守番電話サービス」や「転送でんわサービス」の呼出時間よりも本機能の呼出時間を短く設定してください。

◆「呼出時間表示設定」で設定した無音時間がオート着信の呼出時間より長いと、呼出動作を行わず、オート着信に移行します。呼出動作を行ってからオート着信に移行させるには、オート着信の呼出時間を無音時間よりも長く設定してください。

◆スイッチ付イヤホンマイクを着信中に接続しても、オート着信は動作しませんが、着信中に接続を外してもオート着信は動作します。

〈イヤホン接続時マイク切替〉

イヤホンマイクをつないだときに使うマイクを選ぶ

お買い上げ時
イヤホンマイク

イヤホンマイク端子に平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）などを接続しているときに使うマイクをFOMA端末のマイクにするか、イヤホンマイクのマイクにするかを設定できます。

1 MENU▶「各種設定」▶「外部接続」▶「イヤホン接続時マイク切替」▶以下の項目から選択

端末マイク	スイッチ付きイヤホンマイクなどを接続した場合、端末側マイクが有効。マイクのないイヤホンを接続する場合は、必ずこちらに設定します。
イヤホンマイク	スイッチ付きイヤホンマイクなどを接続した場合、イヤホン側マイクが有効。

おしらせ

◆「イヤホン接続時マイク切替」を「端末マイク」に設定するとハンズフリーをONに設定した場合と同じマイク感度になります。イヤホンマイクを接続した場合、送話口に近づけて通話する必要はありません。

〈ネットワーク接続モード選択〉

利用する通信事業者を設定する

お買い上げ時
DoCoMo

※ドコモをご利用の場合は、設定を変更する必要はありません。

FOMAサービスを提供する通信事業者名を設定できます。

- 2006年11月現在、DoCoMo以外の通信事業者は選択できません。

1 MENU▶「各種設定」▶「ネットワーク設定」▶「ネットワーク接続モード選択」▶「マニュアル」▶通信事業者名を選択

〈設定リセット〉 MENU23

各種機能の設定を初期状態に戻す

各機能の設定をお買い上げ時の設定内容に戻すことができます。

「端末初期化」と「設定リセット」は異なります。間違えないようにしてください。
間違えて「端末初期化」を行うと、ご購入後に登録したデータもすべて削除されます。
→P.305

- ｉモード機能の設定をお買い上げ時の状態に戻すには、「ｉモード設定リセット」を行ってください。→P.194
- メール機能の設定をお買い上げ時の状態に戻すには、「メール設定リセット」を行ってください。→P.244

1 MENU ▶「各種設定」▶「その他」▶「設定リセット」▶端末暗証番号を入力▶「YES」

■ リセットしない場合
▶「NO」

● 設定リセットされる機能について

設定リセットされる機能については、「メニュー機能一覧」(P.338)を参照してください。「メニュー機能一覧」に記載されていない機能で、設定リセットされる機能は以下のとおりです。

機能名	お買い上げ時の設定
マイピクチャ	
画像一覧画面の機能メニュー	
・ソート	新しい順
マイピクチャ画面の機能メニュー	
・画像表示設定	標準
ｉモーション	
ｉモーション	
・再生音量	レベル10
動画一覧画面の機能メニュー	
・一覧表示切替	タイトル＋画像
・ソート	新しい順
ｉモーション停止（一時停止）画面の機能メニュー	
・連続再生設定	OFF
・画像表示設定	標準
メロディ	
メロディ画面の機能メニュー	
・連続再生設定	OFF
キャラ電	
キャラ電一覧画面／キャラ電画面の機能メニュー	
・代替画像設定	ビーンズ（Beans）
・画像表示設定	画面サイズで表示
カメラ	
ムービーモード	
・画像サイズ選択	QCIF（176×144）
・動画容量設定	メール（小）
・動画保存設定	標準
・画質調整	ホワイトバランス設定：オート
・動画シャッター音選択	シャッター音1
・動画保存先選択	カメラフォルダ
フォトモード	
・画像サイズ選択	CIF（352×288）
・画像保存設定	ファイン
・画質調整	撮影モード選択：ポートレート ホワイトバランス設定：オート
・シャッター音選択	シャッター音1
・画像保存先選択	カメラフォルダ
ムービーモード／フォトモード共通	
・カメラ設定	外側カメラ
・セルフタイマー設定	OFF（時間：10秒）
・自動保存設定	OFF
・ファイル制限	なし
・表示サイズ設定	等倍表示
連続撮影の設定→P.170	
スケジュールの機能メニュー	
・表示	1ヶ月表示
・ユーザアイコン設定	未登録
電話帳の機能メニュー	
・発着信識別機能	すべて解除
・電話帳指定設定	すべて解除
・拡大表示、標準表示	標準表示
マイプロフィールの機能メニュー	
・拡大表示、標準表示	標準表示
テレビ電話中の機能メニュー	
・テレビ電話設定	明るさ調節：0
・照明設定	常時点灯
ラストワン機能※	
・メインメニュー	データBOX
・電話帳検索	フリガナ検索
受話音量	レベル4

機能名	お買い上げ時の設定
マナーモード	解除
公共モード（ドライブモード）	解除

※：「ラストワン機能」とは、最後に操作したときに選択していた機能が、次の操作のときにあらかじめ選ばれている状態になる機能です。

〈端末初期化〉
FOMA端末をお買い上げ時の状態に戻す

登録されているデータを削除し、各種機能の設定内容をお買い上げ時の状態に戻します。

「端末初期化」を行うと、電話帳やメールなどの個人データ、ダウンロードした画像やメロディ、カメラで撮影した写真（静止画）や動画など、お客様の大切なデータがすべて削除されます（保護されているデータも削除されます）。

- お買い上げ時に登録されているキャラ電を削除していても、端末初期化を行うと元に戻ります。
- お買い上げ時に登録されているデータは削除されません。
- お買い上げ時に戻る設定については、「設定リセット」（P.304）を参照してください。
- 「設定リセット」の対象となる機能と次の機能やデータは、お買い上げ時の状態に戻ります。

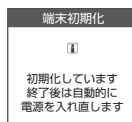
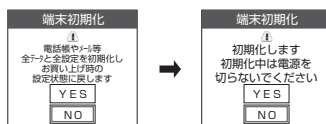
・メールデータ	・Bookmark
・メールのフォルダ	・画面メモ
・テンプレート	・ラストURL
・カラーパレットの履歴	・Internet
・チャットメールのチャットメンバー	・メッセージ
	・ｉモード設定
・ホーム	・辞典
・追加サービス	・チャネル一覧
・マルチナンバー（電話番号設定）	・電話帳
	・通話時間／料金
・グループ設定	・時計設定（日付・時刻）
・着信履歴	・スタイルモード
・リダイヤル／発信履歴	・ポーズダイヤル
・受信アドレス一覧	・端末暗証番号
・送信アドレス一覧	・文字入力設定の学習履歴クリア
・メールメンバー	・To Doリスト
・チャットグループ	・スケジュール
・ユーザ辞書	・テキストメモ
・ダウンロード辞書	・メモの再生／消去
・動画メモの再生／消去	・音声メモ
・通信履歴表示（電話帳お預かりサービス）	・おしゃべり機能
	・メール設定
・お客様が追加したデータ※	

※：登録したデータ、ダウンロードしたデータ、カメラで撮影した静止画や動画などです。

- お客様が編集したグループ名やフォルダ名などはお買い上げ時の状態に戻ります。
- シークレットデータ、シークレットフォルダのデータも削除されます。
- 端末初期化を行うときは、電池をフル充電しておいてください。電池残量が不十分の場合は、初期化できないことがあります。
- 端末初期化を行っているときは、電源を切らないでください。
- 端末初期化を行っているときは、ほかの機能を使用できません。また、音声電話、テレビ電話の着信やメールの受信などもできません。

- 「端末初期化」を行うと、FOMA端末はお買い上げ時の状態に戻ります。
  FOMA端末に登録した内容は、必要に応じてメモを取ったり、ドコモケータイdatalink（P.322）を利用して保管することをおすすめします。

1 MENU ▶「各種設定」▶「その他」▶「端末初期化」▶端末暗証番号を入力

2「YES」▶「YES」

➡
➡
端末の初期化が開始されます。
初期化が終了するまでに数分かかる場合があります。
端末の初期化が終了すると、自動的に再起動します。

■ **端末初期化が正常に終了しなかった場合**
▶電源が入った後に「OK」
再度初期化が実行されます。

おしらせ

◆端末初期化を行った場合、ｉチャネルのテロップは表示されなくなります。情報が自動更新されるか、ch を押して最新の情報を受信すると、テロップも自動的に流れるようになります。
◆ほかの機能が動作中は、初期化できません。
◆FOMAカードに保存・登録・設定されているデータは削除されません。
◆FOMA端末とパソコンを接続して行うデータ通信の設定は削除されません。
◆端末初期化によって削除されるデータが多い場合は初期化に時間がかかることがあります。

ネットワークサービス

利用できるネットワークサービス 308
留守番電話サービス 308
キャッチホン 309
転送でんわサービス 311
迷惑電話ストップサービス 312
番号通知お願いサービス 312
デュアルネットワークサービス 312
英語ガイダンス 313
サービスダイヤル 313
通話中に電話がかかってきたときの応対方法を選択する 313
遠隔操作を設定する .... 遠隔操作設定 315
マルチナンバー 315
OFFICEED 316
サービスを登録して利用する .... 追加サービス 316

本書では各ネットワークサービスの概要を、FOMA端末のメニューを使って操作する方法で説明しています。詳細は『ご利用ガイドブック（ネットワークサービス編）』をご覧ください。

利用できるネットワークサービス

FOMA端末では、次のようなドコモのネットワークサービスをご利用いただけます。各サービスの概要や利用方法などについては、以下の表の参照先をご覧ください。

サービス名称	お申し込み	月額使用料	参照ページ
留守番電話サービス	必要	有料	P.308
キャッチホン	必要	有料	P.309
転送でんわサービス	必要	無料	P.311
迷惑電話ストップサービス	必要	無料	P.312
発信者番号通知サービス	不要	無料	P.44
番号通知お願いサービス	不要	無料	P.312
公共モード（ドライブモード）	不要	無料	P.67
公共モード（電源OFF）			P.68
デュアルネットワークサービス	必要	有料	P.312
英語ガイダンス	不要	無料	P.313
マルチナンバー	必要	有料	P.315
OFFICEED	必要	有料	P.316
SMS（ショートメッセージ）	不要	無料	P.249

- サービスエリア外や電波の届かない場所ではネットワークサービスはご利用できません。
- 詳しくは『ご利用ガイドブック（ネットワークサービス編）』をご覧ください。
- 「OFFICEED」は申し込みが必要なサービスです。ご不明な点はドコモ法人向けホームページ（http://www.docomo.biz/d/212/）をご確認ください。
- お申し込み、お問い合わせについては、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

留守番電話サービス

電波の届かないところにいるとき、電源を切っているとき、電話に出られないときなどに、音声電話／テレビ電話でかけてきた相手に応答メッセージでお答えし、お客様に代わって伝言メッセージをお預かりするサービスです。

- 伝言メモ（P.71）を同時に設定しているとき、留守番電話サービスを優先させるためには、伝言メモの応答時間よりも留守番電話サービスの呼出時間を短く設定してください。
- 留守番電話サービスを「開始」にしている時に、かかってきた音声電話やテレビ電話に応答しなかった場合には、「着信履歴」には「不在着信」として記録され、「不在着信あり」のデスクトップアイコンが待受画面に表示されます。

留守番電話サービスの基本的な流れ

留守番電話サービスを開始に設定する

お客様のFOMA端末に音声電話／テレビ電話がかかる

音声電話／テレビ電話に出ないと留守番電話サービスセンターに接続される

相手が伝言メッセージを録音／録画する

急いでいるときなど、留守番電話の応答メッセージを省略してメッセージを録音したい場合は、応答メッセージが流れているときに # を押すと、すぐに録音できる状態になります。

留守番電話サービスセンターに伝言メッセージが入っていることが通知される

伝言メッセージを再生する

おしらせ

◆留守番電話サービスを「開始」に設定しているときに音声電話やテレビ電話がかかってきた場合は、「着信音選択」で設定した着信音が鳴ります。その間に応答すれば、そのまま通話できます。応答しなかった音声電話やテレビ電話は留守番電話サービスセンターに接続します。「着信履歴」には「不在着信履歴」として記憶され、「不在着信あり」のデスクトップアイコンが待受画面に表示されます。

◆「32K」の通信速度のテレビ電話による留守番電話接続はできません。

◆キャラ電で留守番電話に接続された場合、DTMF操作が行えません。機能メニューよりDTMF送信モードに切り替えてください。→P.79

留守番電話サービスを利用する

1 MENU ▶「サービス」▶「留守番電話」▶以下の項目から選択

留守番メッセージ再生	「YES」を選択すると留守番電話サービスセンターに電話がかかります。この後は音声ガイダンスの指示に従って伝言メッセージの再生をします。
留守番サービス開始	**▶「YES」▶「YES」▶呼出時間（000～120秒）を入力** 呼出時間を0秒に設定した場合、かかってきた電話は「着信履歴」に記憶されません。

留守番サービス停止	留守番電話サービスを停止します。
留守番呼出時間設定	▶呼出時間(000〜120秒)を入力 呼出時間のみを変更します。
留守番設定確認	現在のサービスの設定内容を確認します。 ・「留守番設定確認」を選択したときに表示される「留守番設定確認画面」の機能メニューについて→P.309
留守番サービス設定	▶「YES」 音声ガイダンスで留守番電話サービスの設定を変更します。留守番電話サービスセンターに電話がかかります。この後は音声ガイダンスの指示に従って設定してください。
メッセージ問い合わせ	伝言メッセージがあるかどうか確認します。問い合わせ後、問い合わせが完了したことを通知するメッセージが表示されます。
件数増加鳴動設定※	留守番電話サービスセンターでお預かりしている伝言メッセージが増えたとき、専用のお知らせ音を鳴らします。 音量は「レベル2」固定となります。
表示消去	待受画面に表示された「」(留守番電話アイコン)を消去します。
着信通知開始	電源が入っていないときや圏外のときに着信があった場合、その着信の情報(着信日時や発信者番号)を、再び電源を入れたときや圏内になったときにSMS(P.250)でお知らせします。
・全着信	すべての着信を通知します。
・発番号あり	番号を通知している着信のみ通知します。
着信通知停止	着信通知を停止します。
着信通知開始設定確認	現在の着信通知の設定内容を確認します。

※: 音声電話による伝言メッセージのときのみ有効です。

おしらせ

<留守番メッセージ再生><留守番サービス設定>
◆音声ガイダンスに従ってボタン操作(0〜9、*、#)を行った場合、☎を押しても通話が終わらないことがあります。この場合はもう一度☎を押してください。
◆留守番電話のテレビ電話対応設定について変更するには、「1412」へ音声電話発信をしてください。

<留守番電話サービス開始>
◆「伝言メモ」を同時に設定しているときに留守番電話サービスを優先させるには、留守番電話サービスの呼出時間を「伝言メモ」の呼出時間よりも短く設定してください。
◆「呼出時間表示設定」(P.157)で設定した無音時間設定が留守番電話サービスの呼出時間より長いと、着信音鳴動を行わず、留守番電話サービスに移ります。着信音鳴動を行ってから留守番電話サービスに移行させるには、留守番電話サービスの呼出時間を無音時間設定よりも長く設定してください。

<メッセージ問い合わせ>
◆留守番電話サービスセンターで伝言メッセージをお預かりしている場合、待受画面に「」(留守番電話アイコン)と「」(「留守番電話あり」のデスクトップアイコン)が表示されます。ただし、テレビ電話による伝言メッセージをお預かりしている場合は、アイコンではなくSMSによりお知らせします。
◆留守番電話アイコンはお預かりしている伝言メッセージの件数によって、「」、「」、「」…「」(10件以上)と表示が替わります。
表示される伝言メッセージの件数は、新しい伝言メッセージを再生するときにガイダンスで案内する件数です。保存した伝言メッセージの件数は含まれません。
◆メッセージ問い合わせ後にお預かりしたメッセージは、本機能で確認できない場合があります。

<表示消去>
◆留守番電話アイコンを消去しても、伝言メッセージは消去されません。メッセージ問い合わせを行うと再び留守番電話アイコンが表示されます。

<着信通知開始>
◆一通のSMSで、最大5件まで履歴が通知されます。
◆設定および通知(SMSの受信)にかかる料金は無料です。
◆「SMS一括拒否」を設定している場合でも、履歴は通知されます。

留守番設定確認画面の機能メニュー

留守番サービス開始	留守番電話サービスを開始します。
留守番サービス停止	留守番電話サービスを停止します。
呼出時間設定	呼出時間を変更します。

キャッチホン

お申し込み必要

通話中に別の電話がかかってきたときに、通話中着信音でお知らせし、現在の通話を保留にして新しい電話にでることができます。また、通話中の電話を保留にして、新たにお客様の方から別の相手へ電話をかけることもできます。

● キャッチホンを使用する場合は、あらかじめ「着信動作選択」(P.314)を「通常着信」に設定してください。ほかの設定になっている場合は、キャッチホンを開始しても音声通話中にかかってきた音声電話に応答することができません。

キャッチホンを利用する

1 MENU ▶「サービス」▶「キャッチホン」▶以下の項目から選択

キャッチホンサービス開始	▶「YES」 キャッチホンを開始します。
キャッチホンサービス停止	▶「YES」 キャッチホンを停止します。
キャッチホンサービス設定確認	現在のサービスの設定内容を確認します。

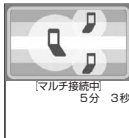
おしらせ

<キャッチホンサービス開始>

◆音声電話を通話中保留にしているときに音声電話がかかってくると、保留が解除され通話中の状態になります。「ププ…ププ…」という音が聞こえたら☎または◉を押すと最初の相手との通話は自動的に保留となり、あとからかかってきた音声電話を受けます。

通話中の音声電話を保留にして、かかってきた音声電話に出る

1 通話中に「ププ…ププ…」という音が聞こえたら☎または◉

最初の相手との通話は自動的に保留となり、あとからかかってきた音声電話を受けます。

2 最初の相手との通話に切り替える

■ あとからかかってきた相手との通話を終了する場合

▶☎▶☎または◉

あとからかかってきた相手との通話が終了し、最初の相手との通話に切り替わります。

■ あとからかかってきた相手との通話を保留にする場合

▶☎

あとからかかってきた相手との通話が保留となり、最初の相手との通話に切り替わります。
☎を押すたびに通話の相手が切り替わります。
機能メニューから「保留呼切替」を選択しても通話の相手が切り替わります。

■ 保留中の音声電話を終了する場合

▶i［機能］▶「保留呼切断」

おしらせ

◆「マルチ接続中」と画面に表示されているときに別の音声電話がかかってくると、保留か通話中の音声電話を終了すれば着信に応答できることを通知するメッセージが表示されます。保留中の音声電話を終了して着信を受けるには、◉を押し、機能メニューから「保留呼切断」を選択し、☎または◉を押します。通話中の音声電話を終了して着信を受けるには、◉を押し、☎を押した後、☎または◉を押します。

通話中の音声電話を終了して、かかってきた音声電話に出る

1 通話中に「ププ…ププ…」という音が聞こえたら☎

最初の相手との通話が切れ、着信音が鳴ります。

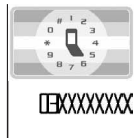
2 ☎または◉

あとからかかってきた音声電話を受けます。

通話中の音声電話を保留にして、別の相手に音声電話をかける

通話中の音声電話を保留にして、新たにお客様の方から別の相手に音声電話をかけることができます。

1 通話中に別の相手の電話番号をダイヤル▶☎

最初の相手との通話は自動的に保留となり、新しくかけた相手との通話に切り替わります。
電話帳を検索することもできます。
電話帳の検索のしかた
→P.97

2 最初の相手との通話に切り替える

■ 新しくかけた相手との通話を終了する場合

▶☎▶☎または◉

新しくかけた相手との通話が終了し、最初の相手との通話に切り替わります。

■ 新しくかけた相手との通話を保留にする場合

▶☎

新しくかけた相手との通話が保留となり、最初の相手との通話に切り替わります。
☎を押すたびに通話の相手が切り替わります。
機能メニューから「保留呼切替」を選択しても通話の相手が切り替わります。

■ 保留中の音声電話を終了する場合

▶i［機能］▶「保留呼切断」

おしらせ

◆「マルチ接続中」と画面に表示されているときに別の音声電話がかかってくると、保留か通話中の音声電話を終了すれば着信に応答できることを通知するメッセージが表示されます。保留中の音声電話を終了して着信を受けるには、◉を押し、機能メニューから「保留呼切断」を選択し、☎または◉を押します。通話中の音声電話を終了して着信を受けるには、◉を押し、☎を押した後、☎または◉を押します。

転送でんわサービス

電波が届かないところにいるとき、電源が入っていないとき、設定した呼出時間内に応答がなかったときなどに、音声電話／テレビ電話を転送するサービスです。

- 伝言メモ（P.71）を同時に設定しているとき、転送でんわサービスを優先させるためには、伝言メモの応答時間よりも転送でんわサービスの呼出時間を短く設定してください。
- 転送でんわサービスを「開始」にしている時に、かかってきた音声電話やテレビ電話に応答しなかった場合には、「着信履歴」には「不在着信」として記録され、「不在着信あり」のデスクトップアイコンが待受画面に表示されます。

転送でんわサービスの基本的な流れ

転送先の電話番号を登録する

転送でんわサービスを開始に設定する

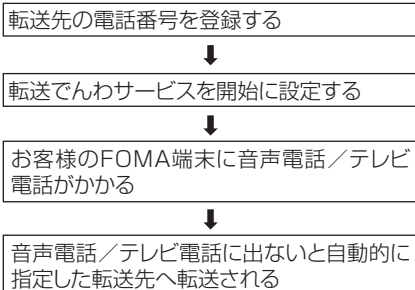
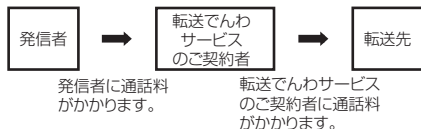
⬇

お客様のFOMA端末に音声電話／テレビ電話がかかる

音声電話／テレビ電話に出ないと自動的に指定した転送先へ転送される

転送でんわサービスの通話料について

発信者に通話料がかかります。

転送でんわサービスのご契約者に通話料がかかります。

おしらせ

◆「着信履歴」には「不在着信履歴」として記憶され、「不在着信あり」のデスクトップアイコンが待受画面に表示されます。

転送でんわサービスを利用する

1 MENU ▶「サービス」▶「転送でんわ」▶以下の項目から選択

項目	説明
転送サービス開始	転送先や呼出時間を設定し、「開始」を選択します。
・**転送先設定**	▶**転送先の電話番号を入力** を押すと電話帳を検索して入力できます。 電話帳の検索のしかた（検索方法の指定）→P.98 設定すると「転送先設定」に「★」が付きます。
・**呼出時間設定**	▶**呼出時間（000～120秒）を入力** 設定すると「呼出時間設定」に「★」が付きます。 呼出時間を0秒に設定した場合、かかってきた電話は「着信履歴」に記憶されません。
・**開始**	▶「YES」 転送でんわサービスを開始します。
転送サービス停止	▶「YES」 転送でんわサービスを停止します。
転送先変更	転送先のみを変更します。転送先の電話番号を入力し、転送でんわサービスを「開始」にしている場合は「転送先変更」を、「停止」にしている場合は「転送先変更＋転送開始」を選択します。
転送先通話中時設定※	▶「YES」 転送先が通話中のとき、かかってきた音声電話を留守番電話サービスセンターに接続します。
転送サービス設定確認	現在のサービスの設定内容を確認します。

※：「留守番電話サービス」へのご契約が必要です。

おしらせ

◆すでに転送先が設定されている場合は、「転送先設定」、「呼出時間設定」の操作を省略することができます。
◆「伝言メモ」を同時に設定しているときに転送でんわサービスを優先させるには、転送でんわサービスの呼出時間を「伝言メモ」の呼出時間よりも短く設定してください。
◆「遠隔監視設定」を同時に設定しているときに転送でんわサービスを優先させるには、転送でんわサービスの呼出時間を「遠隔監視設定」の呼出時間よりも短く設定してください。
◆「呼出時間表示設定」で設定した無音時間設定が転送でんわサービスの呼出時間より長いと、着信音鳴動を行わず、転送でんわサービスに移ります。着信音鳴動を行ってから転送でんわサービスに移行させるには、転送でんわサービスの呼出時間を無音時間設定よりも長く設定してください。

転送ガイダンスの有無を設定する

1 **待受画面表示中**▶ 1 4 2 9 ▶ 📞

音声ガイダンスに従って設定してください。
詳しくは『ご利用ガイドブック（ネットワークサービス編）』をご覧ください。

迷惑電話ストップサービス

お申し込み必要

いたずら電話などの「迷惑電話」を着信しないように拒否するサービスです。着信拒否登録すると、以後の着信を自動的に拒否し、相手にはガイダンスで応答します。
- 着信拒否登録した電話番号から電話がかかってきても、着信音は鳴りません。また、「着信履歴」にも記録されません。

迷惑電話ストップサービスを利用する

1 MENU▶「サービス」▶「迷惑電話ストップ」▶以下の項目から選択

迷惑電話着信拒否登録	▶「YES」▶「OK」 最後に着信応答した相手の電話番号を拒否登録します。
電話番号指定拒否登録	▶電話番号を入力または引用▶「YES」▶「OK」 電話番号を入力、または電話帳や着信履歴などから引用して拒否登録します。 ・電話番号の一部を入力し を押すと電話帳を検索して入力できます。 ・ を押すと電話帳を検索して入力できます。 電話帳の検索のしかた（検索方法の指定）→P.98 ・ を押すと着信履歴、 を押すとリダイヤルを検索して入力できます。
迷惑電話1登録削除	▶「YES」▶「OK」 最後に拒否登録した電話番号を削除します。
迷惑電話全登録削除	▶「YES」▶「OK」 拒否登録した電話番号をすべて削除します。
拒否登録件数確認	拒否登録した件数を確認します。

番号通知お願いサービス

お申し込み不要

電話番号を通知してこない音声電話／テレビ電話に対して、番号通知のお願いをガイダンスで応答し、自動的に電話を切るサービスです。
- 番号通知お願いサービスによって着信しなかった電話は、「着信履歴」に記録されず、「不在着信あり」のデスクトップアイコンも表示されません。

番号通知お願いサービスを利用する

1 MENU▶「サービス」▶「番号通知お願いサービス」▶以下の項目から選択

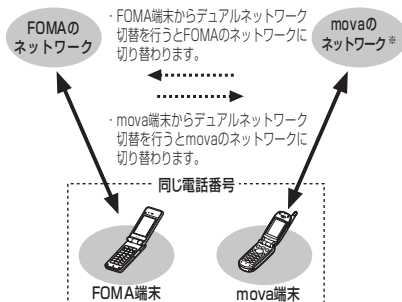
番号通知お願い開始	▶「YES」▶「OK」 番号通知お願いサービスを開始します。
番号通知お願い停止	▶「YES」▶「OK」 番号通知お願いサービスを停止します。
番号通知お願い確認	現在のサービスの設定内容を確認します。

デュアルネットワークサービス

お申し込み必要

お使いになっているFOMA端末の電話番号でmova端末をご利用いただけるサービスです。FOMAとmovaのサービスエリアに応じた使い分けが可能です。
- FOMA端末とmova端末を同時に利用することはできません。
- デュアルネットワークサービスの切り替え操作は、利用不可状態の端末から行ってください。

デュアルネットワークサービスについて

- デュアルネットワークサービスの切り替えは、サービスを利用できない状態のFOMA端末またはmova端末から行います。

※：一部のサービスはご利用できません。

- FOMA端末とmova端末の両方を同時にネットワークに接続することはできません。

デュアルネットワークサービスを利用する

1 MENU ▶「サービス」▶「デュアルネットワーク」▶以下の項目から選択

デュアルネットワーク切替	**▶「YES」▶ネットワーク暗証番号を入力** mova端末からFOMA端末へ切り替わります。
デュアルネットワーク状態確認	FOMA端末の利用可能／不可能状態を確認します。

おしらせ

<デュアルネットワーク切替>

◆ネットワークの切り替えを行う場合は、利用可能状態の端末の通信を終了してから切り替えの操作を行ってください。

英語ガイダンス

「留守番電話サービス」などの各種ネットワークサービス設定時のガイダンスや、圏外などの音声ガイダンスを英語に設定することができます。

なお、ドコモの携帯電話どうしでの通話の場合、流れるガイダンスは、発信者側の発信時の設定が着信者側の着信時の設定より優先されます。

設定できる言語は以下のとおりです。

項目	設定	ガイダンスの言語
発信時 （各種ネットワークサービス設定時のガイダンスを含む）	日本語	日本語ガイダンスが流れます。
	英語	英語ガイダンスが流れます。
着信時 （相手がかけてきたときに相手に流れるガイダンス）	日本語	日本語ガイダンスが流れます。
	日本語＋英語	最初に日本語ガイダンスが流れ、その後に英語ガイダンスが流れます。
	英語＋日本語	最初に英語ガイダンスが流れ、その後に日本語ガイダンスが流れます。

英語ガイダンスを利用する

1 MENU ▶「サービス」▶「英語ガイダンス」▶以下の項目から選択

ガイダンス設定	ガイダンスの言語を設定します。
・**発信時＋着信時**	発信時と着信時の言語を設定します。
・**発信時**	発信時のガイダンスの言語を設定します。
・**着信時**	着信時のガイダンスの言語に設定します。
ガイダンス設定確認	現在のガイダンスの設定内容を確認します。

サービスダイヤル

ドコモの総合案内・受付や故障の問い合わせ先へ電話をかけることができます。

- お使いのFOMAカードによっては、表示される項目が異なる場合や表示されない場合があります。

1 MENU ▶「サービス」▶「サービスダイヤル」▶以下の項目から選択

ドコモ故障問合せ	故障の問い合わせ先へ電話をかけることができます。
ドコモ総合案内・受付	総合案内・受付へ電話をかけることができます。

おしらせ

◆お客様がお使いのFOMAカードによっては、総合お問い合わせ先や故障お問い合わせ先などが表示されない場合があります。
表示されない場合は、取扱説明書裏面の総合お問い合わせ先や故障お問い合わせ先などを電話帳に登録しておくと便利です。

通話中に電話がかかってきたときの応対方法を選択する

「留守番電話サービス」、「転送でんわサービス」、「キャッチホン」をご契約されているお客様の通話中にかかってきた音声電話／テレビ電話、および64Kデータ通信にどのように対応するかを設定できます。

- 「留守番電話サービス」、「転送でんわサービス」、「キャッチホンサービス」が未契約の場合は、通話中にかかってきた着信に応答できません。
- 通話中着信動作選択を利用するには、通話中着信設定を「開始」に設定してください。

通話中の着信動作を選択する〈着信動作選択〉

お買い上げ時 通常着信

1 MENU ▶「サービス」▶「着信動作選択」▶以下の項目から選択

留守番電話	「キャッチホン」や「留守番電話サービス」の設定にかかわらず、通話中にかかってきた音声電話、テレビ電話を留守番電話サービスセンターへ接続します。
転送でんわ	「キャッチホン」や「転送でんわサービス」の設定にかかわらず、通話中にかかってきた音声電話、テレビ電話を転送先へ転送します。
着信拒否	通話中にかかってきた音声電話、テレビ電話および64Kデータ通信の着信を拒否します。
通常着信	音声通話中に音声電話がかかってきた場合、「キャッチホン」が「開始」に設定されているときは「キャッチホン」の利用が可能です。音声通話中（「キャッチホン」が「停止」に設定されているとき）、テレビ電話中や64Kデータ通信中の場合、以下のいずれかの動作が可能です。 ・通話中の音声電話、テレビ電話および64Kデータ通信を終了し、かかってきた音声電話、テレビ電話および64Kデータ通信に出ることができます。 ・通話中にかかってきた音声電話、テレビ電話および64Kデータ通信を、機能メニューから手動で操作できます。→P.314 ・「留守番電話サービス」や「転送でんわサービス」が「開始」に設定されている場合は、その設定に従います。

通話中の着信を設定する〈通話中着信設定〉

1 MENU ▶「サービス」▶「通話中着信設定」▶以下の項目から選択

通話中着信設定開始	通話中着信設定を有効にします。
通話中着信設定停止	通話中着信設定を無効にします。
通話中着信設定確認	現在の設定を確認できます。

通話中の電話や64Kデータ通信を終了して着信に応答する

● 通話中と着信が同じ種類の場合

＜例：通話中の音声電話を終了して、かかってきた音声電話に出る場合＞

1 通話中に「ププ…ププ…」という音が聞こえたら[☎]

通話中の電話が切れ、着信音が鳴ります。

■ テレビ電話、64Kデータ通信の場合

着信中画面が表示されます。

▶[☎]

2 [☎]または[●]

かかってきた音声電話を受けます。

■ 64Kデータ通信の場合

▶パソコン側で着信操作を行う

● 通話中と着信の種類が異なる場合

音声通話中にテレビ電話または64Kデータ通信の着信があったとき、テレビ電話中に音声電話または64Kデータ通信の着信があったとき、64Kデータ通信中に音声電話またはテレビ電話の着信があったときは次の操作をすれば通話中の電話や64Kデータ通信を終了して着信に応答できます。

＜例：通話中のテレビ電話を終了して、かかってきた音声電話に出る場合＞

1 通話中に「ププ…ププ…」という音が聞こえ、音声電話着信中画面が表示される

64Kデータ通信の着信があった場合は「ププ・・ププ・・」という音は鳴りません。

2 [☎]または[●]

手動で着信拒否したり、転送でんわサービスや留守番電話サービスに接続したりする

＜例：「通話中着信設定開始」、着信動作選択が「通常着信」の場合＞

1 通話中に「ププ…ププ…」という音が聞こえたら、[i]［機能］

■ 音声通話中に音声電話の着信以外の場合

▶[i]［機能］

2 かかってきた電話の対応方法を選択

■ かかってきた電話を着信拒否する場合

▶「着信拒否」

■ かかってきた電話を転送先へ転送する場合

▶「転送でんわ」

■かかってきた電話を留守番電話サービスセンターに接続する場合
▶「留守番電話」

いずれの場合も最初の相手との通話に戻ることができます。

〈遠隔操作設定〉

遠隔操作を設定する

「留守番電話サービス」や「転送でんわサービス」などを、プッシュ式の一般電話や公衆電話、ドコモの携帯電話などから操作できるようにします。

1 MENU▶「サービス」▶「遠隔操作設定」▶以下の項目から選択

項目	内容
遠隔操作開始	▶「YES」 遠隔操作ができるようにします。
遠隔操作停止	▶「YES」 遠隔操作ができないようにします。
遠隔操作設定確認	現在の遠隔操作の設定内容を確認します。

マルチナンバー

FOMA端末の電話番号として基本契約番号のほかに、付加番号1と付加番号2の最大2つの番号を追加してご利用いただけるサービスです。

- FOMAカードを抜いたり、差し替えた場合、FOMA端末に登録していたマルチナンバーの設定（名称、電話番号など）が消去されることがあります。このような場合は、再度登録を行ってください。
- 発信中／着信中の画面には、マルチナンバー（基本契約番号／付加番号1／付加番号2）に対応した名称が表示されます。
- リダイヤルや着信履歴から発信する場合、以前の発信や着信したマルチナンバーが表示され、この番号で発信します。

おしらせ

◆機能メニューから「マルチナンバー」を選択して発信した場合、「マルチナンバー」が未契約であっても、リダイヤル画面（詳細）／発信履歴画面（詳細）には、発信した際に選択した項目（「基本契約番号」、付加番号1または付加番号2の登録名）が表示されます。機能メニューを利用せずに発信した場合は、リダイヤル／発信履歴の詳細画面には発信先の電話番号のみ表示されます。

◆リダイヤルや発信履歴を利用して発信する場合、前回発信した際に選択した項目（「基本契約番号」、付加番号1または付加番号2の登録名）が表示され、この番号で発信します。ただし、履歴に発信先の電話番号のみ表示されている場合は、「通常発信番号設定」（P.315）で設定されている番号で発信します。

◆着信履歴を利用して発信する場合、「通常発信番号設定」（P.315）の設定にかかわらず、その着信を受けた番号で発信します。

◆付加番号1または付加番号2に着信した場合、着信画面や着信履歴画面（詳細）に、付加番号1または付加番号2の登録名が表示されます。

◆公共モード（ドライブモード）設定中に、付加番号1および付加番号2に着信した場合、基本契約番号への着信時と同様の動作を行います。→P.67

マルチナンバーを利用する

1 MENU▶「サービス」▶「マルチナンバー」▶以下の項目から選択

項目	内容
通常発信番号設定	通常発信するときに使用する電話番号を設定します。
・**基本契約番号**	▶「YES」 ご契約の電話番号（基本契約番号）で発信するように設定します。
・**付加番号1**※ ・**付加番号2**※	▶「YES」 付加番号で発信するように設定します。
通常発信番号設定確認	通常発信番号の設定内容を確認します。
電話番号設定	**▶付加番号を登録（または変更）する項目を反転表示して✉［編集］▶登録名を入力▶付加番号を入力** マルチナンバーご契約時に通知された付加番号をFOMA端末に登録します。 登録名は全角8文字、半角16文字まで、付加番号は26桁まで入力できます。 ・「電話番号設定」を選択したときに表示される「マルチナンバー電話番号設定画面」の機能メニューについて→P.316
着信音設定	付加番号1または付加番号2に着信したときの着信音をそれぞれ設定します。 「携帯電話から鳴る着信音を変える」→P.112

※：登録名を変更している場合は、それぞれの登録名が表示されます。

おしらせ

◆FOMAカードを差し替えた場合、FOMA端末へ登録していたマルチナンバーの設定（名前・番号・着信音など）が消去されることがあります。このようなときは再度登録を行ってください。

<電話番号設定>

◆登録名は、マルチナンバーの各種設定操作を行うときや、通話ごとに使用する電話番号を選ぶときなどに表示されます。

<着信音設定>

◆着信音の設定が重なった場合、着信音は優先順位に従って動作します。→P.114

マルチナンバー電話番号設定画面の機能メニュー

編集	付加番号を設定します。
1件削除	反転表示した付加番号を削除します。
全削除	登録されている付加番号をすべて削除します。

1回の通話ごとに電話番号を切り替えて発信する

電話をかけるたびに使用する電話番号を切り替えて発信することができます。

1 「電話番号入力画面」（P.46）表示中▶[i]［機能］▶「マルチナンバー」▶以下の項目から選択

基本契約番号	ご契約の電話番号（基本契約番号）で発信するように設定します。
付加番号1※	付加番号で発信するように設定します。
付加番号2※	
発番号設定消去	設定を解除し、「通常発信番号設定」の設定した内容になります。

※：登録名を変更している場合は、それぞれの登録名が表示されます。

おしらせ

◆電話帳の詳細画面、リダイヤル／発信履歴／着信履歴の詳細画面などの機能メニューからも、同様の操作で電話番号を切り替えて発信できます。

◆リダイヤル／発信履歴／着信履歴の詳細画面にマルチナンバーの登録名（「基本契約番号」、付加番号1または付加番号2の登録名）が表示されているとき、表示されているマルチナンバーの登録名とは異なる番号で発信したい場合は、機能メニューの「マルチナンバー」から発信したい項目を選択してください。

OFFICEED

お申し込み必要

「OFFICEED」は指定されたIMCS（屋内モバイル通信システム）で提供されるグループ内定額サービスです。ご利用には別途お申込みが必要となります。詳細はドコモの法人向けホームページ（http://www.docomo.biz/d/212/）をご確認ください。

〈追加サービス〉

サービスを登録して利用する

ドコモから新しいネットワークサービスが追加されたときに、そのサービスをメニューに登録して利用します。

追加サービスや応答メッセージを登録する

1 [MENU]▶「サービス」▶「追加サービス」▶以下の項目から選択

追加サービス	▶「<未登録>」を反転表示して[i]［機能］▶「設定追加」▶サービス名を入力 新しいサービスを登録します。 サービス名は、全角で10文字、半角で20文字まで入力できます。 ・「追加サービス」を選択したときに表示される「追加サービス画面」の機能メニューについて→P.317
・特番	▶番号を入力▶「YES」 特番で接続します。番号は20桁まで入力できます。
・USSD	▶番号を入力▶「YES」 サービスコードで接続します。番号は40桁まで入力できます。
応答メッセージ設定	▶「<未登録>」を反転表示して[i]［機能］▶「設定追加」▶コマンドを入力▶応答メッセージを入力▶「YES」 登録したネットワークサービスを「サービスコード（USSD）」で利用するときに、ネットワークから通知されるコマンドに対して応答メッセージを登録します。 コマンドは20桁まで、応答メッセージは全角で10文字、半角で20文字まで入力できます。 ・「応答メッセージ設定」を選択したときに表示される「応答メッセージ設定画面」の機能メニューについて→P.317

おしらせ

<追加サービス>

◆サービスを利用する場合には、ドコモから通知される「特番」または「サービスコード」を入力します。「特番」はサービスセンターに接続するための番号です。「サービスコード（USSD）」はサービスセンターに通知するためのコード番号です。

追加サービス画面／応答メッセージ設定画面の機能メニュー

設定追加	設定を追加します。
設定変更	設定を変更します。
1件削除	反転表示したサービスまたは応答メッセージを削除します。
全削除	すべてのサービスまたは応答メッセージを削除します。

登録したサービスを利用する

1. MENU▶「サービス」▶「追加サービス」▶「追加サービス」
2. サービスを選択▶●

データ通信

FOMA端末から利用できるデータ通信について 320
ご使用になる前に 321
手順を確認する 321
ATコマンドについて 322
CD-ROMについて 322
ドコモケータイdatalinkの紹介 322

データ通信の詳細については、添付のCD-ROM内のPDF版「データ通信マニュアル」をご覧ください。PDF版「データ通信マニュアル」をご覧になるには、Adobe Reader（バージョン6.0以上を推奨）が必要です。お使いのパソコンにインストールされていない場合は、同 CD-ROM 内の Adobe Reader をインストールしてご覧ください。ご使用方法等の詳細につきましては、Adobe Reader ヘルプを参照してください。

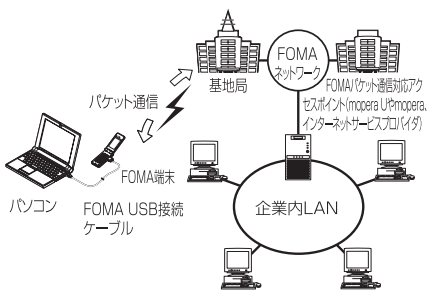
FOMA端末から利用できるデータ通信について

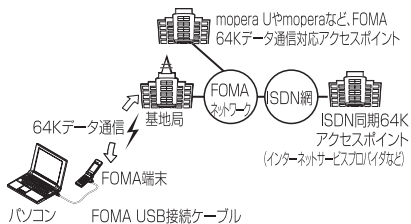
パケット通信と64Kデータ通信

FOMA端末とパソコンを接続して利用できるデータ通信は、パケット通信と64Kデータ通信に分類されます。

- パケット通信
  受信最大384kbps、送信最大64kbpsの通信速度でデータを送受信します。パケット通信は通信時間や距離に関係なく、送受信されたデータ量に応じて課金されます。データ量の大きいファイルの送受信を行った場合、通信料金が高額になりますのでご注意ください。FOMAネットワークに接続された企業内LANにアクセスし、データの送受信を行うこともできます。
- 64Kデータ通信
  64kbpsの安定した通信速度でデータを送受信することができます。データ量に関係なく、接続された時間に応じて課金されます。

■パケット通信をするには

パケット通信はFOMA USB接続ケーブル（別売）を使ってパソコンと接続したり、専用ケーブルでPDAと接続することにより通信を行います。ドコモのインターネット接続サービス「mopera U」や「mopera」など、FOMAパケット通信に対応したアクセスポイントをご利用ください。

■64Kデータ通信をするには

64Kデータ通信は、FOMA USB接続ケーブル（別売）を使ってパソコンと接続したり、専用ケーブルでPDAと接続することにより通信を行います。
ドコモのインターネット接続サービス「mopera U」や「mopera」など、FOMA 64Kデータ通信に対応したアクセスポイントをご利用ください。

ご利用にあたっての留意点

インターネットサービスプロバイダの利用料について

インターネットを利用する場合は、ご利用になるインターネットサービスプロバイダに対する利用料が必要となる場合があります。この利用料は、FOMAサービスの利用料とは別に直接インターネットサービスプロバイダにお支払いいただきます。利用料の詳しい内容については、ご利用のインターネットサービスプロバイダにお問い合わせください。
ドコモのインターネット接続サービス「mopera U」または「mopera」をご利用いただけます。「mopera U」をご利用いただく場合は、お申し込みが必要（有料）となります。「mopera」をご利用いただく場合は、お申し込み手続き不要、月額使用料無料です。

接続先（インターネットサービスプロバイダなど）の設定について

パケット通信と64Kデータ通信では接続先が異なります。パケット通信を行うときはパケット通信対応の接続先、64Kデータ通信を行うときはFOMA64Kデータ通信、またはISDN同期64K対応の接続先をご利用ください。

- DoPaのアクセスポイントには接続できません。
- PIAFSなどのPHS64K/32Kデータ通信のアクセスポイントには接続できません。

ネットワークアクセス時のユーザ認証について

接続先によっては、接続時にユーザ認証（IDとパスワード）が必要な場合があります。その場合は、通信ソフト（ダイヤルアップネットワーク）でIDとパスワードを入力して接続してください。IDとパスワードは接続先のインターネットサービスプロバイダまたは接続先のネットワーク管理者から付与されます。詳しい内容については、そちらにお問い合わせください。

ブラウザ利用時のアクセス認証について

パソコンのブラウザでFirstPass対応サイトを利用する時のアクセス認証でFirstPass（ユーザ証明書）が必要な場合があります。その場合は、同梱のCD-ROMからFirstPass PCソフトをインストールし、設定を行ってください。詳しくはCD-ROM内の「FirstPassPC Soft」フォルダ内の「FirstPassManual」（PDF形式）をご覧ください。「FirstPassManual」（PDF形式）をご覧になるには、Adobe Reader（バージョン6.0以上を推奨）が必要です。

お使いのパソコンにインストールされていない場合は、アドビシステムズ株式会社のホームページから最新版をダウンロードできます（別途通信料がかかります）。詳しくはアドビシステムズ株式会社のホームページを参照してください。

● データ通信の用語集

管理者権限
Windows 2000およびWindows XPのシステムでは、この権限を持たないユーザーはシステムへのアクセスが限定されているため、ドライバやソフトのインストール／アンインストールができません。

APN（Access Point Name）
パケット通信で、接続先のインターネットサービスプロバイダや企業内LANを識別する文字列です。たとえばmopera Uの場合は「mopera.net」のように表します。

cid（Context Identifier）
パケット通信の接続先（APN）をFOMA端末に登録するときの登録番号のことです。電話帳のメモリ番号のようなもので、1～10までの10件が登録できます。

DNS（Domain Name System）
「nttdocomo.co.jp」のようなドメインネームを、コンピュータが管理しやすいように数字で表したIPアドレスに変換するシステムのことです。

OBEX（Object Exchange）
IrDAが規定したデータ通信についての国際規格（プロトコル）です。OBEX規格に対応した機器やソフトウェアを使うことで、携帯電話、パソコン、デジタルカメラ、プリンタなどさまざまな情報機器間で、データ転送を行うことができます。

QoS（Qualilty of Service）
ネットワークの通信速度に関するサービス品質のことで、FOMA端末のQoS設定では、どんな速度でも接続するか、あるいは最高速度で接続するかを設定できます。

W-TCP
FOMAネットワークでパケット通信を行う際に、TCP/IPの伝送能力を最大限に生かすためのTCPパラメータです。FOMA端末の通信性能を最大限に活用するには、この通信設定が必要です。

ご使用になる前に

動作環境について

データ通信を利用するためのパソコンの動作環境は以下のとおりです。

パソコン本体	• PC-AT互換機でCD-ROMドライブが使用できる機器 • USBポート（Universal Serial Bus Specification Rev1.1準拠） • ディスプレイ解像度800×600ドット、High Color(65,536色)以上を推奨
OS※2	• Windows 2000、Windows XP（各日本語版）
必要メモリ	• Windows 2000：64Mバイト以上※1 • Windows XP：128Mバイト以上※1
ハードディスク容量	• 5Mバイト以上の空き容量※1

※1：必要メモリ・ハードディスク容量は、パソコンのシステム構成によって異なることがあります。
※2：OSアップグレードからの動作は保証の対象外となります。

おしらせ

◆FOMA端末をドコモのPDA「musea」や「sigmarion Ⅱ」と接続してデータ通信を行う場合、「musea」や「sigmarion Ⅱ」をアップデートしてご利用ください。アップデートの方法などの詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。
◆FOMA端末は、Remote Wakeupには対応していません。
◆FOMA端末は、FAX通信には対応していません。

必要な機器

FOMA端末とパソコン以外に以下のハードウェア、ソフトウェアを使います。
• FOMA USB接続ケーブル（別売）
• 添付CD-ROM「FOMA N601i用CD-ROM」

おしらせ

◆USBケーブルは専用の「FOMA USB接続ケーブル」をお買い求めください。パソコン用のUSBケーブルはコネクタ部の形状が異なるため使用できません。

手順を確認する

データ通信ではダイヤルアップ接続によって、FOMAデータ通信に対応したインターネットサービスプロバイダやLANに接続できます。

■添付の「FOMA N601i用CD-ROM」について

● N601i通信設定ファイル（ドライバ）、FOMA PC設定ソフト、FirstPass PCソフトが入っています。
● N601i通信設定ファイルとは、FOMA端末とパソコンをFOMA USB接続ケーブル（別売）で接続して、パケット通信、64Kデータ通信やデータ転送（OBEX）を行うときに必要なソフトウェア（ドライバ）です。N601i通信設定ファイルをインストールすることで、Windowsに各ドライバが組み込まれます。
FOMA PC設定ソフトを使うと、パケット通信、64Kデータ通信の設定やダイヤルアップ作成を簡単に行うことができます。

設定完了までの流れ

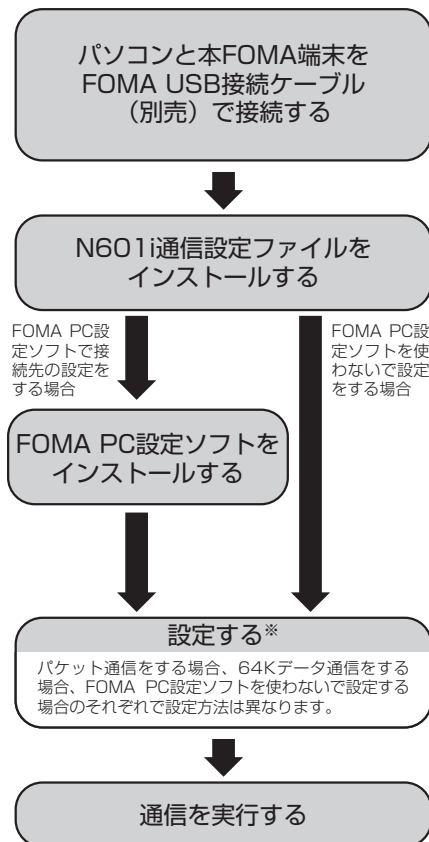
パケット通信および64Kデータ通信を利用する場合の準備について説明します。

パソコンと本FOMA端末をFOMA USB接続ケーブル（別売）で接続する

N601i通信設定ファイルをインストールする

設定する※

パケット通信をする場合、64Kデータ通信をする場合、FOMA PC設定ソフトを使わないで設定する場合のそれぞれで設定方法は異なります。

通信を実行する

※：FOMA端末とパソコンを接続してインターネットをするには、ブロードバンド接続等に対応した「mopera U」（お申し込み必要）が便利です。使用した月だけ月額使用料がかかるプランもございます。また、お申し込みが不要で今すぐインターネットに接続できる「mopera」もご利用いただけます。

ATコマンドについて

ATコマンドとは、モデムなどの制御に使われるコマンド体系の1つで、本FOMA端末はATコマンドに準拠しています。さらに本FOMA端末では拡張コマンドの一部や独自のATコマンドをサポートしています。
パソコンで本FOMA端末の各機能を設定するためのATコマンドの詳細については、添付のCD-ROM内のPDF版「データ通信マニュアル」をご覧ください。

CD-ROMについて

添付のCD-ROMには、FOMA端末でデータ通信をご利用になる際のソフトウェアや、PDF版「データ通信マニュアル」「区点コード一覧」取扱説明書が収録されております。詳細は、添付のCD-ROMをご覧ください。

収録ソフトウェア／PDF

添付のCD-ROMに収録されているソフトウェア／PDFは以下の通りです。
- N601i通信設定ファイル
- FOMA PC設定ソフト
- FirstPass PCソフト
- Adobe® Reader® 7.0
- PDF版「データ通信マニュアル」／「Manual for Data Communication」
- PDF版「区点コード一覧」／「KutenCodeList」
- ドコモケータイdatalink<ご案内>
- mopera U <ご案内>

ドコモケータイdatalinkの紹介

「ドコモケータイdatalink」は、お客様の携帯電話の「電話帳」や「メール」などをパソコンにバックアップして、編集等を行うソフトです。ドコモのホームページにて提供しており、詳細およびダウンロードは下記ホームページをご覧ください。また、同梱されているCD-ROMから下記ホームページへのアクセスも可能です。

http://datalink.nttdocomo.co.jp

ダウンロード方法、転送可能なデータ、動作環境、インストール方法、操作方法、制限事項などの詳細については上記ホームページをご覧ください。また、インストール後の操作方法については、ソフト内のヘルプをご覧ください。なお、「ドコモケータイdatalink」をご利用になるには、別途「FOMA USB接続ケーブル（別売）」の購入が必要となります。

■対応OS

Windows 2000 Professional（SP4）日本語版
Windows XP Home Edition（SP1/SP2）日本語版
Windows XP Professional（SP1/SP2）日本語版

文字入力

文字を入力する 324
定型文を修正／登録する .... 定型文登録 333
文字のコピー／切り取り／貼り付け 334
区点コードで入力する .... 区点入力 334
よく使う単語をあらかじめ登録しておく .... ユーザ辞書 335
学習履歴を初期状態に戻す .... 学習履歴クリア 335
使用する辞書を設定する .... ダウンロード辞書 335
操作する画面を切り替える 336

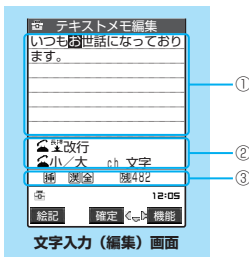
「区点コード一覧」については、添付のCD-ROM内のPDF版「区点コード一覧」をご覧ください。PDF版「区点コード一覧」をご覧になるには、Adobe Reader（バージョン6.0以上を推奨）が必要です。お使いのパソコンにインストールされていない場合は、同CD-ROM内のAdobe Readerをインストールしてご覧ください。ご使用方法等の詳細につきましては、Adobe Readerヘルプを参照してください。

文字を入力する

FOMA端末では、ダイヤルボタンを使って文字を入力します。文字入力機能は、電話帳やメール作成などで利用します。

- 文字の入力方式には、「モード1（かな方式）」と「モード2（2タッチ方式）」、「モード3（T9入力方式）」があります。

文字入力（編集）画面について

文字入力（編集）画面は①文字入力エリア、②操作ガイダンスエリア、③情報表示エリアで構成されています。文字入力エリアには入力中の文字やカーソル、エンドマークなどが表示されます。操作ガイダンスエリアには漢字変換や検索、範囲指定など、そのときに操作できる内容が表示されます。情報表示エリアには文字入力方式や入力モード、入力可能な残り文字数などの情報が表示されます。

文字入力（編集）画面

機能メニュー➡P.332

① **文字入力エリア**

■ ：カーソルです。この位置に文字が入力されます。

◀ ：エンドマークです。マークの手前まで文字を入力できます。エンドマークの位置は機能によって異なります。

② **操作ガイダンスエリア**

▲▼ 変換 ：を押して文字を変換できるときに表示します。→P.328

▲▼ 全件／▲▼ 検索：電話帳の検索画面で、で検索できるときに表示します。→P.98

固定入力／固定終了：「モード3（T9入力方式）」で固定入力モードが利用できるときに表示します。→P.327

◀▶▲▼ 領域 ：文字をコピー（または切り取り）するときに表示します。→P.334

改行 ：を1秒以上押して改行マーク「↵」が入力できるときに表示します。→P.330

小／大 ：を押して入力した文字が大文字⇔小文字に切り替えられるときに表示します。→P.329

AA→aa：「モード3（T9入力方式）」でを押してモード解除状態に切り替えられるときに表示します。→P.326

aa→Aa：「モード3（T9入力方式）」でを押して「Shiftモード」に切り替えられるときに表示します。→P.326

Aa→AA：「モード3（T9入力方式）」でを押して「CapsLockモード」に切り替えられるときに表示します。→P.326

逆順 ：文字入力方式が「モード1（かな方式）」で、[⮌]を押して同じボタンに割り当てられた1つ前の読みに戻せるときに表示します。

ch 文字 ：を押して入力モードが切り替えられるときに表示します。→P.325、326

③ **情報表示エリア**

2／T9 ：文字入力方式が「モード2（2タッチ方式）」（P.326）／「モード3（T9入力方式）」（P.326）のときに表示します。「モード1（かな方式）」のときは何も表示されません。

固 ：「モード3（T9入力方式）」で「固定入力モード」にしたときに表示します。→P.327

挿／上 ：挿入モードのときに「挿」、上書きモードのときに「上」を表示します。→P.329

漢／カナ／英／数 ：文字入力方式が「モード1（かな方式）」、「モード3（T9入力方式）」のときに現在の入力モードを表示します。

区 ：「区点入力モード」のときに表示します。→P.334

全／半 ：全角文字を入力しているときに「全」、半角文字を入力しているときに「半」を表示します。→P.326、326

小 ：「モード1（かな方式）」、「モード2（2タッチ方式）」で小文字を入力しているときに表示します。→P.329

Shift／CAPS LOCK ：「モード3（T9入力方式）」で「Shiftモード」または「CapsLockモード」のときに表示します。→P.326

残 ：入力可能な残り文字数をバイト数で表示します。文字数は半角1文字が1バイト、全角1文字が2バイトとしてカウントされます。したがって、全角文字は半角文字2文字分となります。

入 ：FOMAカードへの電話帳登録およびSMSの本文入力時に、入力済みの文字数を文字数単位で表示します。全角文字、半角文字は区別されません。

おしらせ

◆ iモードメールの本文を入力するときは、ダイヤルボタンを押すと文字入力（編集）画面が表示され、区点入力、ワード予測などの機能が使用できます。

■残文字数、入力済み文字数について

文字入力（編集）画面の文字数は以下の規則に従ってカウントされます。各文字入力（編集）画面では、その機能で入力可能な文字数最後の印としてエンドマーク「◀」が表示されるので、入力の目安にしてください。

- 文字数は、半角1文字が1バイト、全角1文字が2バイトとしてカウントされます。
- 全角文字は、半角文字2文字分になります。

  全角：あいうえお
  　　５文字（カウントは10バイト）
  半角：ｱｲｳｴｵｶｷｸｹｺ
  　　10文字（カウントは10バイト）

■文字の組み合わせについて

文字入力の際は、文字の組み合わせに注意してください。

＜例＞「ﾄﾞｺﾓ」を半角カナ入力モードで、「の携帯電話」を漢字ひらがな入力モードで入力したとき

ﾄﾞｺﾓの携帯電話　（画面に表示される文字数が9文字）
1 1 1 1 2 2 2 2 2　（カウントは14バイト、半角文字14文字分）

- 半角文字の濁点「ﾞ」と半濁点「ﾟ」は、1文字分としてカウントされます。

■スクロールについて

文字入力（編集）画面では、[上下キー]で行単位、[MEMO/CHECK]、[⮌]でページ単位のスクロールができます。
漢字変換の候補リスト表示画面では、[上下キー]で行単位、[左右キー]または[MEMO/CHECK]、[⮌]でページ単位のスクロールができます。

文字入力方式を選択する MENU35

お買い上げ時	入力モード：モード1（かな方式）

文字入力方式には、次の3種類があります。

- モード1（かな方式）→P.325
  1つのボタンに複数の文字が割り当ててあり、ボタンを押すたびに文字が替わる方式
- モード2（2タッチ方式）→P.326
  2つの数字の組み合わせで文字を入力する方式
- モード3（T9入力方式）→P.326
  1つのボタンを押すごとに、そのボタンに割り当てられた文字の候補が表示され、その中から選択する方式

1 [MENU]▶「各種設定」▶「その他」▶「文字入力設定」▶「入力モード」▶項目を選択

● 文字の入力中に文字入力方式を切り替える

文字入力（編集）画面が表示されたときは、優先的に使用する文字入力方式が設定されています。ほかの文字入力方式に切り替えるには2つの方法があります。

- 文字入力方式の切り替えはその文字入力（編集）画面のみ有効です。文字入力を終了して次に文字入力（編集）画面を表示すると、優先的に使用する文字入力方式に戻ります。
- 郵便番号の入力など、特定の項目の文字入力（編集）画面では文字入力方式を切り替えられない場合があります。

■機能メニューから切り替える

文字入力（編集）画面の機能メニューの「入力モード切替」→P.332

■[✉]［絵記］を1秒以上押す

[✉]［絵記］を1秒以上押すごとに「モード1（かな方式）」→「モード2（2タッチ方式）」→「モード3（T9入力方式）」の順で文字入力方式が切り替わります。

文字入力サイズを選択する MENU35

お買い上げ時	入力サイズ切替：標準

- 文字入力（編集）画面の文字入力サイズを「縮小」、「標準」、「拡大1」、「拡大2」の4種類から選択できます。

1 [MENU]▶「各種設定」▶「その他」▶「文字入力設定」▶「入力サイズ切替」▶項目を選択

おしらせ

◆「フォント設定」（P.128）の「文字サイズ」でも文字サイズを変更することができます。

モード1（かな方式）での入力について

- ダイヤルボタンの文字割り当て（かな方式）について→P.346

● 入力モードを切り替える

1 「文字入力（編集）画面」（P.324）▶[ch]

[ch]を押すたびに「漢字ひらがな（漢全）」→「カタカナ（ｶﾅ半）」→「英字（英半）」→「数字（数半）」の順に入力モードが切り替わります（機能メニューから「全角切替」を選択すると全角で切り替わります）。

● 全角／半角を切り替える

1 「文字入力（編集）画面」（P.324）▶ i ［機能］▶「全角切替」／「半角切替」

「全角」に切り替えると情報表示エリアに「全」が、「半角」に切り替えると「半」が表示されます。
「漢字ひらがな入力モード」の場合は全角／半角を切り替えられません。

● 文字入力例

- 「う」を入力するには、「漢字ひらがな入力モード」にして 1 を3回押します。
- 「B」を入力するには、「英字入力モード」にして 2 を2回押します。

モード2（2タッチ方式）での入力について

- ダイヤルボタンの文字割り当て（2タッチ方式）について→P.347

● 入力モード（全角／半角）を切り替える

1 「文字入力（編集）画面」（P.324）▶ ch

ch を押すたびに「全角（全）」と「半角（半）」が切り替わります（機能メニューから「全角切替／半角切替」を選択して切り替えることもできます）。
「全角」に切り替えると情報表示エリアに「全」が、「半角」に切り替えると「半」が表示されます。

● 文字入力例

- 「う」を入力するには、「全角入力モード」にして 1 3 と押します。
- 全角の「B」を入力するには、「全角入力モード」にして 1 7 と押します。
- 半角の「B」を入力するには、「半角入力モード」にして 1 7 と押します。

モード3（T9入力方式）での入力について

このモードを利用すると、少ないボタン操作で文字の入力ができます。
たとえば“あした”という読みを入力するとき、モード1（かな方式）では 1 を1回、3 を2回、4 を1回押して入力しますが、モード3（T9入力方式）では、1 3 4 と入力したい行のボタンをそれぞれ1回押します。
1つのボタンに行の文字が割り当ててあり、ボタンを押すごとに読み候補が表示され、その中から読み候補を選択して入力します。
モード3（T9入力方式）での入力を手助けする機能に、「読み編集」と「固定入力」があります。「読み編集」は入力した読み候補を編集するときに使います。「固定入力」は入力したい読みをダイレクトに入力するときに使います。また、モード3（T9入力方式）とワード予測（P.327）を連動させると入力の手間が省けます。

- ダイヤルボタンの文字割り当て（T9入力方式）について→P.348

● 入力モードを切り替える

1 「文字入力（編集）画面」（P.324）▶ ch

ch を押すたびに「漢字ひらがな（漢全）」→「カタカナ（カ半）」→「英字（英半）」→「数字（数半）」の順に入力モードが切り替わります（機能メニューから「全角切替」を選択すると全角で切り替わります）。
モード3（T9入力方式）が働くのは「漢字ひらがな（漢全）」、「カタカナ（カ全）」、「カタカナ（カ半）」、「英字（英全）」、「英字（英半）」モードです。

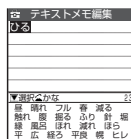
- 「数字（数全）」、「数字（数半）」モードでは自動的にモード1（かな方式）となります。
- 「英字（英全）」モードまたは「英字（英半）」モードにした直後は、CapsLockモードで起動します。☎ を押すたびに「CapsLockモード」→「モード解除」→「Shiftモード」の順に切り替わります。
- 「CapsLockモード」ではすべて大文字入力となります。「Shiftモード」でははじめの1文字のみ大文字が入力され、以降は小文字入力となります。モード解除の状態ではすべて小文字入力となります。
- 「Shiftモード」で文字確定後は、モード解除の状態に戻ります。

● 文字を入力する

<例：T9漢字変換モードで「春」と入力する場合>

1 ch ▶「漢字ひらがな入力モード」

2 変換したい文字を入力

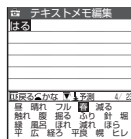
6（は行）、9（ら行）
「は行」と「ら行」の組み合せから予測できる変換候補が表示されます。

■ **ボタンを押し間違えた場合**
▶ CLR で文字を削除 ▶ もう一度ボタンを押す

■ **入力した文字が候補として認識できない場合**
▶ 認識できない文字がグレーで表示される
▶ 🔘 で変換候補の範囲を変更

■ **変換候補の表示（漢字／かな／英字）を切り替える場合**
▶ ☎

3 🔘 ▶ 🔘 で変換候補を選択

文字入力エリアに選択した変換候補が表示されます。

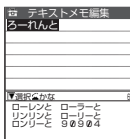
■ **変換したい文字の入力に戻る場合**
▶ CLR

■ 表示された変換候補以外に直接変換したい場合
▶ [i]［変換］▶ [◎] で候補を選択

● 変換候補を編集する

<例：「らわらわた」と入力したときに「爛々と」と変換したい場合>

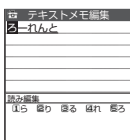
1 変換したい文字を入力

[9]（ら行）、[0]（わ行）、
[9]（ら行）、[0]（わ行）、
[4]（た行）

「らわらわた」から予測できる変換候補が表示されます。この場合「らんらんと」という候補は表示されません。

2 [✉]［読み］または [＊]

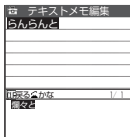
読み編集モードになり、カーソルが先頭に移動します。変換候補の表示エリアには、「ら行」の文字が表示されます。

3 入力したい文字の番号に該当するダイヤルボタンを押す

この場合 [1]（ら）を押します。文字を修正すると次の文字にカーソルが移動します。同じように操作して変換候補を修正します。

■ 変換候補を修正しない場合
▶ [◎] で次に修正する文字にカーソルを移動

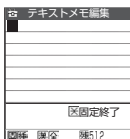
■ 途中で編集を終了する場合
▶ [✉]［戻る］
終了するまでに修正した文字が変換候補として表示されます。

4 [◎] で「爛々と」を選択

次回から「らわらわた」と入力すると、「爛々と」が変換候補の先頭に表示されます。

● 固定入力で変換候補を入力する

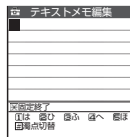
<例：「はためく」という読みを入力する場合>

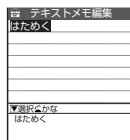
1 [＊]（固定入力）

固定入力モードになり、情報表示エリアの「[T9]」が「[固]」に変わります。

2 入力したい文字が割り当てられている行のボタンを押す

この場合 [6] を押します。変換候補の表示エリアには、「は行」の文字が表示されます。

3 入力したい文字の番号に該当するダイヤルボタンを押す

この場合 [1]（は）を押します。同じように操作2～3を繰り返して続きの読みを入力します。

4 [＊]（固定終了）

[＊]（固定終了）を押すと変換候補が表示され、[◎] を押して [i]［変換］を押すと漢字、カタカナなどに変換できます。

● T9変換モードを設定する MENU35

T9入力方式で文字を入力するとき、入力した文字を漢字に変換するか、かなに変換するかを設定します。

1 [MENU] ▶「各種設定」▶「その他」▶「文字入力設定」▶「T9変換モード」▶以下の項目から選択

T9漢字変換モード （お買い上げ時）	入力した文字を漢字に変換します。
T9かな変換モード	入力した文字をかなに変換します。

ワード予測を使う MENU35 お買い上げ時 ON

ワード予測とは、一度入力した文字列を自動的に記憶し、その後同じ読みの文字を入力したときに、記憶した文字列や定型文の候補の中から選択できる機能です。

● お買い上げ時にはあらかじめワード予測の候補が登録されています。

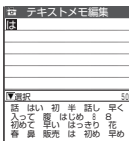
1 [MENU] ▶「各種設定」▶「その他」▶「文字入力設定」▶「ワード予測」▶「ON」

■ ワード予測を無効にする場合
▶「OFF」

● ワード予測を利用して文字を入力する

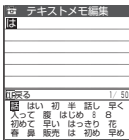
1 読みを入力

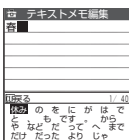
予測候補が操作ガイダンスエリアに表示されます。
モード3（T9入力方式）の場合は、1文字入力時に予測候補がグレー表示され、選択できるようになります。

2 [○]

操作ガイダンスエリアにカーソルが表示され、予測候補が選択できるようになります。

■ 読みの入力に戻る場合
▶[CLR]

■ 予測候補が表示されない、または入力したい文字が予測候補にない場合
▶そのまま読みを入力

■ 予測候補を削除したい場合
▶[CLR]（1秒以上）▶「YES」

3 予測候補を選択

文字を確定すると、その文字に続く履歴候補が表示されます。

4 履歴候補を選択

■ 履歴候補が表示されない、または入力したい文字が履歴候補にない場合
そのまま次の文字を入力する

ガイダンスを表示する MENU35 お買い上げ時 ON

文字入力（編集）画面の操作ガイダンスエリア（P.324）を表示するかどうかを設定します。

1 [MENU]▶「各種設定」▶「その他」▶「文字入力設定」▶「ガイダンス表示」▶「ON」

■ 表示しない場合
▶「OFF」

文字を入力する

＜例：「携帯二郎」と入力する場合＞

1 「文字入力（編集）画面」（P.324）▶ひらがなを入力

■ ボタンを押し間違えた場合
▶[CLR]で文字を削除▶もう一度ボタンを押す

■ ボタンを押す回数を間違えた場合
▶[↑][⮌]
同じボタンに割り当てられた1つ前の読みに戻ります。

■ 続けて同じボタンに割り当てられている文字を入力する場合
▶[○]またはもう一度そのボタンを1秒以上押す
カーソルが移動して、次の文字が入力できるようになります。

■ ひらがなで確定する場合
▶[●]

■ モード1（かな方式）のときに英数カナ変換候補を表示する場合
▶[✉]［英数］
英数文字やカタカナの変換候補が表示されます。同じボタンを連続して押した場合は「き」を「22」に変換するなど、押した回数に応じた数字変換候補も表示します。

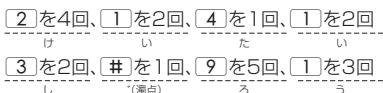
＜モード1（かな方式）のとき＞

[2]を4回、[1]を2回、[4]を1回、[1]を2回
け　い　た　い

[3]を2回、[#]を1回、[9]を5回、[1]を3回
し　゛(濁点)　ろ　う

＜モード2（2タッチ方式）のとき＞

[2][4]　[1][2]　[4][1]　[1][2]
け　い　た　い

[3][2]　[0][4]　[9][5]　[1][3]
し　゛(濁点)　ろ　う

モード2（2タッチ方式）の場合、1桁のみ入力して確定してもその文字は消去されます。
2桁で入力してください。

＜モード3（T9入力方式）のとき＞

[2]　[1]　[4]　[1]
か行（け）　あ行（い）　た行（た）　あ行（い）

[3]　[#]　[9]　[1]
さ行（し）　゛(濁点･半濁点)　ら行（ろ）　あ行（う）

モード3（T9入力方式）の場合、目安の文字が候補に出るよう選択範囲を[○]で反転表示させたり、[✉]［読み］または[＊]を押して読み編集に切り替えたりします。

2 モード1（かな方式）、モード2（2タッチ方式）のときは[上下キー]または[i]［変換］を押して漢字に変換

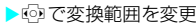
最初の文節の漢字候補が反転表示され、残りの文節の漢字候補はアンダーライン（＿）で表示されます。

■ 漢字候補が目的の漢字の場合

▶[決定キー]

漢字が確定され、次の文節が反転表示されます。

■ 変換範囲を変更する場合

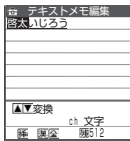
▶[左右キー]で変換範囲を変更

変換した範囲に応じて漢字候補も変更されます。その範囲で変換できる漢字がない場合はひらがなが表示されます。

3 [上下キー]で変換候補を表示

反転表示している文節の変換候補が一覧で表示されます。変換候補にはひらがなとカタカナも表示されます。

■ 変換範囲の読みがすべて「あ」段の文字の場合

数字も変換候補として表示されます。

変換候補一覧画面

4 入力したい漢字を選択

おしらせ

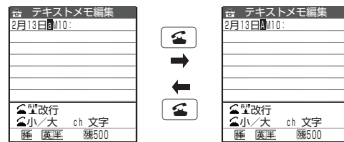
- ◆漢字に変換できる読み（ひらがな）は20文字まで、一括変換できるのは6文節までです。
- ◆希望の漢字に変換されない場合は、読みを音読みや訓読みに変更すると表示される場合があります。
- ◆一度に変換できない2文字以上の漢字は、1文字ずつ変換してください。
- ◆変換できない漢字は区点コードを使って入力できます。→P.334
- ◆複雑な漢字は一部を変型または省略しています。
- ◆変換後の文字が入力可能な文字数を超えた場合は、入力可能な文字数までを確定するかどうかの確認画面が表示されます。

● 小文字／大文字を切り替える

小文字／大文字を切り替えるには、2つの方法があります。

■ 入力後の文字を[ch]を押して切り替える

1 「文字入力（編集）画面」（P.324）▶切り替えたい文字にカーソルを合わせて、[ch]

押すたびに、小文字と大文字が切り替わります。操作ガイダンスエリアに「[ch]小／大」が表示されている場合のみ操作できます。

■ 入力前に機能メニューから切り替える

1 「文字入力(編集)画面」(P.324)▶[i]［機能］▶「小文字切替」／「大文字切替」

「小文字」に切り替えると情報表示エリアに「小」が表示されます。「大文字」の場合は何も表示されません。

● 挿入モード／上書きモードを切り替える

「挿入モード」で文字を入力すると、すでに入力されている文字と文字の間に新たに入力した文字を挿入します。「上書きモード」で文字を入力すると、すでに入力されている文字に新たに入力した文字を上書きします。

1 「文字入力(編集)画面」(P.324)▶[i]［機能］▶「上書きモード」／「挿入モード」

「挿入モード」に切り替えると情報表示エリアに「挿」が、「上書きモード」に切り替えると「上」が表示されます。

文字入力（編集）画面を表示したときは常に挿入モードになります。

● 文字を挿入する

「挿入モード」にしてから[上下左右キー]で挿入したい位置の1つ右の文字にカーソルを合わせます。文字を入力すると、文字はカーソルの位置に挿入されます。

● 文字を上書きする

「上書きモード」にしてから で上書きしたい文字にカーソルを合わせます。文字を入力すると、カーソル上の文字が上書きされます。

➡

● スペース（空白）を入力する

● スペース（空白）を入力したい位置の1つ右の文字にカーソルを合わせます。全角入力の場合は全角スペース、半角入力の場合は半角スペースが入力され、1文字分として文字数にカウントされます。

1「文字入力(編集)画面」(P.324) ▶ [機能] ▶「スペース入力」

● 文章を改行する

改行マーク「↲」を入力して、文章を改行できます。改行マーク「↲」を入力するには、以下のような方法があります。

■ 文末で を押す

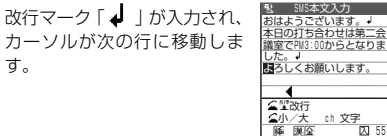
1「文字入力（編集）画面」（P.324）▶ 後ろに文字がない文末にカーソルを合わせて、

改行マーク「↲」が入力され、カーソルが次の行に移動します。

■ を1秒以上押す

1「文字入力（編集）画面」（P.324）▶ 改行したい位置にカーソルを合わせて、（1秒以上）

操作ガイダンスエリアに「改行」が表示されている場合のみ操作できます。

改行マーク「↲」が入力され、カーソルが次の行に移動します。

■ 機能メニューから改行入力する

1「文字入力(編集)画面」(P.324) ▶ [機能] ▶「改行入力」

改行マーク「↲」が入力され、カーソルが次の行に移動します。

おしらせ

◆改行マーク「↲」は文字と同じように削除したり上書きできます。

◆改行マーク「↲」は、全角1文字分として文字数にカウントされます。ただし、SMS本文入力では改行のカウント方法が異なります。→P.249

◆ｉモードのテキストボックスでは、改行マーク「↲」を入力できない場合があります。

● 記号を入力する

カッコやギリシャ文字、単位などの記号を入力できます。
メールアドレスの登録画面、ｉモードメールの宛先入力画面、URLの入力画面などでは全角記号を入力できません。

1「文字入力(編集)画面」(P.324) ▶ [機能] ▶「記号入力」▶ 入力する記号を選択

「記号・特殊文字一覧」→P.349

おしらせ

◆半角のみ入力できるときには、半角記号のみが表示されます。

● 顔文字を入力する

登録されている顔文字を一覧表示した中から選択して入力できます。

1「文字入力(編集)画面」(P.324) ▶ [機能] ▶「顔文字入力」

「顔文字一覧画面」が表示されます。顔文字の下には顔文字の意味も表示されます。

2 入力する顔文字を選択

「顔文字一覧」→P.350

おしらせ

◆「ダウンロード辞書」で顔文字のダウンロード辞書を選択した場合は、ダウンロード辞書に登録されている顔文字も一覧表示されます。

◆選択した顔文字は、次回顔文字を一覧表示したときに最初に表示されます。

● 絵文字を入力する

ｉモードメールの本文やテキストメモ、定型文などの文字入力（編集）画面で顔や天気、動物などの絵文字を入力できます。

● 絵文字1、絵文字2のそれぞれで、過去に入力した絵文字が14個まで記憶されます。記憶された絵文字は、それぞれの画面の先頭の行に表示されます。 [絵記] を押して入力したときも記憶されます。

1 「文字入力(編集)画面」(P.324)▶[i][機能]▶「絵文字入力」▶絵文字を選択

「絵文字一覧」→P.350
[✉]を押すたびに「絵文字1入力」→「絵文字2入力」→「全角記号入力」→「特殊記号入力」→「半角記号入力」の順に切り替わります。

■ 画面表示を絵文字記号連続入力画面に切り替える場合
▶[i][連続]

● 記号や絵文字を連続入力する

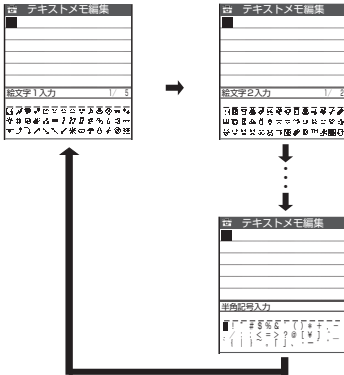
記号や絵文字の候補画面を表示して、候補画面を消すまで記号や絵文字を連続で入力できます。

- 入力できる記号について→P.349
- 絵文字について→P.350

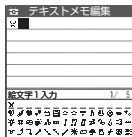
1 文字入力(編集)画面▶[✉][絵記]

絵文字1の候補が操作ガイダンスエリアに表示されます。操作ガイダンスエリアの右上には「現在のページ/全体のページ数」が表示されます。

2 [✉][絵記]で候補画面を切り替える

[✉][絵記]を押すたびに「絵文字1入力」→「絵文字2入力」→「全角記号入力」→「特殊記号入力」→「半角記号入力」の順に切り替わります。

■ 画面表示を全画面に切り替える場合
▶[i][全画]

3 記号・絵文字を選択

選択した記号・絵文字が入力されます。そのまま続けてほかの記号や絵文字を入力できます。
また、記号、絵文字の一覧の先頭行に最近使った記号、絵文字が最大で14個表示されます。

4 入力が終わったら[CLR]

絵文字・記号の連続入力が終了します。

● 文字変換で記号、顔文字、絵文字を入力する

「漢字ひらがな入力モード」で記号、顔文字、絵文字の読みを入力して変換すると、その読みに該当する記号、顔文字、絵文字が入力できます。

■記号の入力

「漢字ひらがな入力モード」で「きごう」と入力して変換すると、記号の候補が操作ガイダンスエリアや変換候補一覧画面に表示されます。また「かっこ」、「さんかく」などの記号名を入力して変換しても、記号を入力できます。
「変換記号」→P.349

■顔文字の入力

「漢字ひらがな入力モード」で「かお」または「かおもじ」と入力して変換すると、顔文字の候補が操作ガイダンスエリアや変換候補一覧画面に表示されます。また、「ありがとう」、「さよなら」などの顔文字の意味を入力して変換しても、顔文字を入力できます。
「顔文字一覧」→P.350

■絵文字の入力

「漢字ひらがな入力モード」で「はーと」や「おんぷ」などと絵文字の意味を入力して変換すると、絵文字の候補が操作ガイダンスエリアや変換候補一覧画面に表示されて絵文字を入力できます。
「絵文字一覧」→P.350

● 文字を削除する

[✥]で削除したい文字にカーソルを合わせ、[CLR]を短く(1秒未満)押します。カーソル上の文字が削除されます。

■ カーソル上に文字がない場合

カーソルの左側の1文字が削除されます。

■ [CLR]を1秒以上押した場合

カーソル上の文字とそれより右側にあるすべての文字が削除されます。

■ カーソルより右側に文字がないときに[CLR]を1秒以上押した場合

すべての文字が削除されます。

● 入力中、編集中のデータを守ります

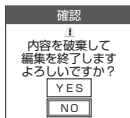
文字入力（編集）画面で文字を入力しているときに電池が切れたり、音声電話がかかってきても、入力した文字は消えずに保持されます。

■ 電池が切れた場合

文字の入力中に電池切れアラームが鳴った場合は、文字入力（編集）画面から「電池充電してください」というメッセージ画面に切り替わります。このとき、入力中の文字は自動的に確定して保存されるので再度電源を入れてその機能を呼び出すと、続きを入力できます。ただし、入力内容が保存されない機能もあります。また、変換中や未確定の文字は保存されません。

電話帳の再編集について→P.95

■ [☎]を押した場合

文字の入力中に[☎]を押した場合は、文字の入力を終了するかどうかのメッセージが表示されます。ただし、文字を1文字も入力していない場合、メッセージは表示されません。

<入力中の内容を保存しないで終了する場合>

「YES」を選択します。入力した文字を保存せずに、入力前の画面または待受画面に戻ります。
[☎]を押しても、入力した文字を保存しないで入力画面を終了します。

<文字の入力を続ける場合>

「NO」を選択します。入力したデータはそのままで文字入力（編集）画面に戻ります。
[CLR]を押しても文字入力(編集)画面に戻ります。

■ 音声電話がかかってきた場合

文字の入力中に音声電話がかかってきても、入力中の文字をそのままにして音声電話に出ることができます。通話を終了すると、文字入力（編集）画面に戻ります。

文字入力（編集）画面の機能メニュー

機能	説明
顔文字入力	「顔文字を入力する」→P.330
小文字切替、大文字切替	「小文字／大文字を切り替える」→P.329
半角切替、全角切替	「全角／半角を切り替える」→P.326
コピー	「文字のコピー／切り取り／貼り付け」→P.334
切り取り	
貼り付け	
定型文入力	「定型文を入力する」→P.332
スペース入力	「スペース（空白）を入力する」→P.330
改行入力	「文章を改行する」→P.330
記号入力	「記号を入力する」→P.330
絵文字入力	「絵文字を入力する」→P.330
区点入力	「区点入力」→P.334
上書きモード、挿入モード	文字を入力したとき、カーソル上の文字を上書きするかカーソル位置に挿入するかを選択します。→P.329
データ引用	
・電話帳引用 ・マイプロフィール引用	「電話帳やマイプロフィールを引用して入力する」→P.333
辞典検索	辞典を起動します。 「辞典を利用する」→P.300
ワード予測OFF、ワード予測ON	過去に入力した文字から予測候補と履歴候補を表示するワード予測機能を利用する／しないを設定します。
入力モード切替	文字入力方式を「モード1（かな方式）」、「モード2（2タッチ方式）」、「モード3（T9入力方式）」に切り替えます。
T9かな変換モード、T9漢字変換モード	T9入力方式で文字を入力するとき、入力した文字を漢字に変換するか、かなに変換するかを設定します。また、文字入力中の切り替えはその文字入力（編集）画面のみ有効です。文字入力を終了して次に文字入力（編集）画面を表示すると、「文字入力設定」の「T9変換モード」で設定した状態に戻ります。
JUMP	カーソルを文頭または文末へすばやく移動させます。
UNDO	入力した文字を1つ前の状態に戻します。
ウィンドウ切替	各機能の操作画面と文字入力(編集)画面が同時に表示されているとき、操作する画面を切り替えます。「操作する画面を切り替える」→P.336
受信メール参照	SMS作成時に、受信したメールを見ながら返信できます。

● 定型文を入力する

1 「文字入力(編集)画面」(P.324)▶[i]［機能］▶「定型文入力」▶フォルダを選択

「定型文一覧」→P.351

2 定型文を選択▶[●]

おしらせ

◆定型文は以下のような文字入力（編集）画面で利用できます。

- テキストメモ
- 定型文
- 定型文のフォルダ名
- スケジュール
- To Doリスト
- ウェイクアップのメッセージ
- iモードのテキストボックスでの編集
- iモードメールの題名
- iモードメールの本文
- iモードメールの冒頭文
- iモードメールの署名
- iモードメールの引用符
- 自動振分け設定の題名入力
- メール検索の題名入力
- 辞典

◆固定定型文は入力モードによって表示される内容（表現）が以下のように異なります。なお、変更した固定定型文および自作定型文は入力モードにかかわらず登録された内容（表現）で表示されます。

・モード1（かな方式）、モード3（T9入力方式）：
漢字ひらがな入力モードのときは、漢字ひらがなで表示されます。
漢字ひらがな入力モード以外のときは、半角カタカナで表示されます。
・モード2（2タッチ方式）：
全角入力モードのときは、漢字ひらがなで表示されます。
半角入力モードのときは、半角カタカナで表示されます。

● 電話帳やマイプロフィールを引用して入力する

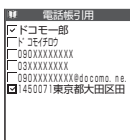
メールの本文や「テキストメモ」などの文字入力（編集）画面で、「電話帳」および「マイプロフィール」に登録されている名前、フリガナ、電話番号、メールアドレス、住所、誕生日、メモを引用して入力できます。

● 一部の文字入力（編集）画面では引用できません。

1 「文字入力(編集)画面」(P.324)▶ [i] [機能] ▶「データ引用」▶「電話帳引用」または「マイプロフィール引用」

■「電話帳引用」を選択した場合
▶「グループ検索」、「行検索」または「全検索」を選択▶引用したい電話帳を検索
電話帳の検索のしかた（検索方法の指定）→P.98

■「マイプロフィール引用」を選択した場合
▶端末暗証番号を入力

2 引用したい項目を選択

電話帳引用の場合

3 [✉] [完了]

おしらせ

◆住所を引用する場合は、郵便番号の「〒」や「-」は引用されません。

〈定型文登録〉 MENU38

定型文を修正／登録する

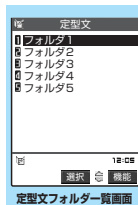
よく使う言葉は、あらかじめ定型文として登録しておくと、文字入力の際に呼び出して入力できます。お買い上げ時に登録されている固定定型文を修正（変更）することもできます。

● 定型文は5つのフォルダに分けて保存されます。フォルダ1〜2にはあらかじめ登録されている固定定型文がそれぞれ10件保存されています。固定定型文の内容は変更できます。フォルダ3〜5には自作の定型文をそれぞれ10件まで登録できます。また、フォルダ名を変更して定型文を目的別に分けることもできます。

● 定型文一覧について→P.351

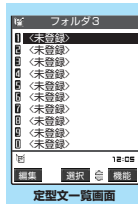
新しい定型文を作成する

1 [MENU]▶「ユーザデータ」▶「定型文」

「定型文フォルダ一覧画面」が表示されます。

定型文フォルダ一覧画面

機能メニュー ➡P.333

2 フォルダを選択

「定型文一覧画面」が表示されます。

定型文一覧画面

機能メニュー ➡P.334

3 「<未登録>」を反転表示して[✉] [編集] ▶定型文を入力

おしらせ

◆定型文は全角で64文字、半角で128文字まで入力できます。
◆メールの題名、本文、冒頭文、署名、引用符に使用する自作の定型文を作成するときは、「半角カタカナ」と「絵文字」は使わないでください。正しく表示されない場合があります（ｉモードメールどうしでは絵文字を使うことができます）。
◆固定定型文は、文字入力方式がモード1（かな方式）またはモード3（T9入力方式）の「漢字ひらがな入力モード」、モード2（2タッチ方式）の「全角入力モード」のときに「漢字ひらがな表現」で呼び出され、それ以外のときは「半角カタカナ表現」で呼び出されます。

定型文フォルダ一覧画面の機能メニュー

フォルダ名編集	▶フォルダ名を変更 選択したフォルダ名を変更します。フォルダ名は全角で10文字、半角で20文字まで入力できます。
フォルダ名初期化	お買い上げ時のフォルダ名に戻ります。

おしらせ

◆フォルダ名を変更するときに何も文字を入力しないで確定した場合は、お買い上げ時のフォルダ名になります。

定型文一覧画面の機能メニュー

編集	▶定型文を編集 反転表示した定型文を編集します。
1件削除	反転表示した定型文を削除します。
全削除	▶端末暗証番号を入力▶「YES」 定型文をすべて削除します。

おしらせ

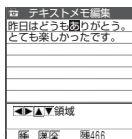
◆変更した固定定型文を削除した場合、お買い上げ時の内容に戻ります。なお、変更していない固定定型文は削除できません。

文字のコピー／切り取り／貼り付け

● コピーまたは切り取りによって記憶できるのは1件のみです。新しくコピーまたは切り取りすると前に記憶していた文字は上書きされます。

文字をコピー（または切り取り）する

1 「文字入力(編集)画面」(P.324)▶[i][機能]▶「コピー」または「切り取り」

2 コピーまたは切り取りする先頭の文字を反転表示▶[●]

3 コピーまたは切り取りする終わりの文字までカーソルを移動▶[●]

選択した範囲の文字が記憶されます。全角で5,000文字、半角で10,000文字まで記憶できます。

■切り取りした場合
選択した範囲の文字が削除されますが、FOMA端末には記憶されています。

■文字が入力されていない部分を選択した場合
全角入力モード時は2つの半角スペースとして、半角入力モード時は1つの半角スペースとしてそれぞれ記憶されます。

文字を貼り付ける

コピーまたは切り取った文字は、ほかの文字をコピーしたり、切り取ったり、電源を切るまで何度でも貼り付けることができます。

1 「文字入力(編集)画面」(P.324)▶[i][機能]▶「貼り付け」

■貼り付け先の文字入力（編集）画面で入力できない文字が含まれている場合
スペースに置き換えたことを通知するメッセージが表示され、スペースが貼り付けられます。

〈区点入力〉

区点コードで入力する

4桁の区点コードを使って漢字やひらがな、カタカナ、記号、英数字などを入力できます。

● 画面の表示は区点コード一覧表の文字や記号と異なる場合があります。
● 「区点コード一覧」については、添付のCD-ROM内のPDF版「区点コード一覧」をご覧ください。

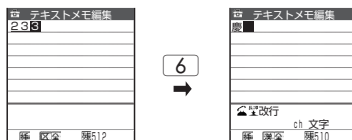
<例：「慶」（区点コード2336）を入力する場合>

1 「文字入力(編集)画面」(P.324)▶[*]

「区点入力モード」に切り替わり、情報表示エリアに「[区]」が表示されます。

■文字入力方式が「モード3（T9 入力方式）」の場合
▶文字入力（編集）画面▶[i][機能]▶「区点入力」

2 区点コード[2][3][3][6]を入力

入力した区点コードに対応した文字（ここでは「慶」）が入力され、元の入力モードに戻ります。

■入力した区点コードに対応する文字がない場合
スペースが入力されます。

おしらせ

◆文字入力方式が「モード1（かな方式）」または「モード2（2タッチ方式）」の場合でも、機能メニューから「区点入力」を選択して区点入力モードに切り替えることができます。

〈ユーザ辞書〉 MENU82

よく使う単語をあらかじめ登録しておく

お買い上げ時 未登録

よく使う単語をお好きな読みでユーザ辞書に登録しておくと、文字入力（編集）画面でその読みを入力して変換したときに登録した単語が表示されます。

- ユーザ辞書は100件まで登録できます。
- 単語は全角で10文字、半角で20文字まで入力できます。読みは全角ひらがなで10文字まで入力できます。

新しい単語を登録する

1 MENU▶「ユーザデータ」▶「ユーザ辞書」

「ユーザ辞書画面」が表示されます。

ユーザ辞書画面

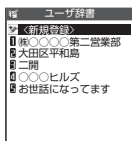
機能メニュー ➡P.335

2「＜新規登録＞」▶単語を入力▶読みを入力

おしらせ

◆改行、定型文は単語および読みに入力できません。
◆読みに濁点、半濁点以外の記号（、。・！？）は登録できません。
◆読みにスペースを入力しても、自動的につめて登録されます。

単語の内容を確認する

1 MENU▶「ユーザデータ」▶「ユーザ辞書」

2 確認したい単語を選択

■ 単語の内容を変更する場合

▶変更したい単語を選択▶✉［編集］

ユーザ辞書画面の機能メニュー

編集	登録した単語を編集します。
削除	
・1件削除	反転表示した単語を削除します。
・選択削除	▶✣で□（チェックボックス）を選択▶✉［完了］▶「YES」 複数のユーザ辞書を削除できます。
・全削除	▶端末暗証番号を入力▶「YES」 ユーザ辞書をすべて削除します。

〈学習履歴クリア〉 MENU35

学習履歴を初期状態に戻す

一度入力した文字列を自動的に記憶し、変換時の候補にする機能（学習履歴）をクリア（お買い上げ時の初期状態に戻す）します。

1 MENU▶「各種設定」▶「その他」▶「文字入力設定」▶「学習履歴クリア」▶端末暗証番号を入力▶以下の項目から選択

T9／ワード予測／絵文字記号	「モード3（T9入力方式）」、「ワード予測」、「絵文字」および「記号」で蓄積した学習履歴をクリアします。
かな漢字変換／顔文字	かな漢字変換で蓄積した学習履歴および顔文字入力画面の並び順がクリアされます。

〈ダウンロード辞書〉

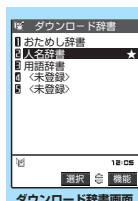
使用する辞書を設定する

お買い上げ時 未登録

iモードのサイトなどからダウンロードした辞書を変換用辞書として設定できます。

- ダウンロード辞書は5件まで登録でき、5件を有効にできます。
- 辞書のダウンロードのしかたについて→P.192

1 MENU▶「ユーザデータ」▶「ダウンロード辞書」

「ダウンロード辞書画面」が表示されます。

ダウンロード辞書画面

機能メニュー ➡P.336

2 設定したい辞書を選択

設定した辞書には「★」が付きます。

■ 設定されている辞書を解除する場合
▶「★」が付いている辞書を選択
設定が解除されて「★」が消えます。

おしらせ

◆ダウンロードした辞書に絵文字が登録されている場合、かな漢字変換による絵文字入力ができます。
◆顔文字のダウンロード辞書を設定すると、文字入力時に機能メニューから「顔文字入力」を選択したときの顔文字入力画面に最大600件（内蔵100件を含む）まで表示させることができます。
◆顔文字のダウンロード辞書を2件登録し、2件とも有効にした場合、最初に有効にしたダウンロード辞書の顔文字が一覧表示されます。

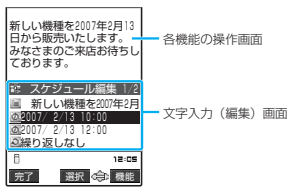
ダウンロード辞書画面の機能メニュー

タイトル編集	**▶タイトルを変更** 選択したダウンロード辞書のタイトルを変更します。タイトルは全角で10文字、半角で20文字まで入力できます。
辞書ファイル設定	ダウンロード辞書を設定または設定を解除します。ダウンロードしたときは設定された状態になります。
辞書情報	選択したダウンロード辞書の情報を表示します。
1件削除	反転表示したダウンロード辞書を削除します。
全削除	**▶端末暗証番号を入力▶「YES」** ダウンロード辞書をすべて削除します。

おしらせ

◆ダウンロード辞書のタイトルを編集するときに何も文字を入力しないで確定した場合は、元のタイトルに戻ります。

操作する画面を切り替える

スケジュールの参照登録など、画面によっては各機能の操作画面と文字入力（編集）画面が同時に表示される場合があります。

iモード画面からのスケジュール参照登録

● 以下の場合に、各機能の操作画面と文字入力（編集）画面が同時に表示されます。
- iモード画面からのスケジュール参照登録
- iモード画面からの辞典検索によるサイト参照入力
- チャットメールのチャット画面
- 文字編集から辞典検索を実行後の参照編集

操作する画面の切り替えかた

各機能の操作画面と文字入力（編集）画面が同時に表示されているときは、機能メニューから「ウィンドウ切替」を選択すると、操作する画面が切り替わります。

おしらせ

◆操作する画面を切り替えても、入力した文字やカーソル位置は切り替える前の状態のまま保持されます。
◆読みの入力中は操作する画面を切り替えることはできません。ただし、英字入力モードで、[＊]を押して「http://」などを入力する場合は、操作する画面の切り替えが可能です。そのとき、入力中の文字列が自動確定されます。
◆編集画面の表示中にｉモード画面の操作に切り替えた場合、操作できるのは画面のスクロールのみとなります。
◆チャットメールのチャット画面では、画面の切り替えはできません。

●付録／外部機器連携／困ったときには

メニュー機能一覧 338
お買い上げ時に登録されているデータ 343
ダイヤルボタンの文字割り当て一覧（かな方式） 346
ダイヤルボタンの文字割り当て一覧（2タッチ方式） 347
ダイヤルボタンの文字割り当て一覧（T9入力方式） 348
記号・特殊文字一覧 349
絵文字一覧 350
顔文字一覧 350
定型文一覧 351
マルチアクセスの組み合わせについて 352
FOMA端末から利用できるサービス 353
オプション・関連機器のご紹介 353
動画再生ソフトのご紹介 354

■困ったときには

故障かな？と思ったら、まずチェック 355
こんな表示が出たら 358
保証とアフターサービス 363
ソフトウェアを更新する .... ソフトウェア更新 364
障害を引き起こすデータからFOMA端末を守る .... スキャン機能 369
主な仕様 371
FOMA端末の保存・登録・保護件数 372
携帯電話機の比吸収率などについて 373

メニュー機能一覧

の項目は「設定リセット」（P.304）を行うと、お買い上げ時の設定に戻ります。

大項目	中項目	小項目	メニュー番号（ボタン操作）	お買い上げ時の設定		参照ページ
メール			[MAIL]			P.210
ｉモード			[imode]			P.180
直デン						P.107
各種設定	スタイルモード		－		－	P.134
	着信	着信音量	MENU50		すべてレベル4	P.65
		着信音選択	MENU13	電話	Morning Call（本体色ホワイト&ペリドット）、Something New（本体色ブラック&サファイア）、Night Table（本体色ピンク&ルビー）	P.112
				テレビ電話	Morning Call（本体色ホワイト&ペリドット）、Something New（本体色ブラック&サファイア）、Night Table（本体色ピンク&ルビー）	
				メール	You've Got Mail	
				チャットメール	You've Got Mail	
				メッセージR	Notify	
				メッセージF	Notify	
		SRS_WOW設定	MENU64		OFF	P.114
		バイブレータ	MENU54		すべてOFF	P.114
		着信イルミネーション	MENU89	着信イルミネーション選択	電話：色5 テレビ電話：色5 メール：色1 チャットメール：色3 メッセージR：色1 メッセージF：色1	P.127
				パターン設定	固定パターン	
				不在お知らせ	ON	
		マナーモード選択	MENU20		マナーモード（オリジナルマナーの設定：初期値→P.117）	P.117
		電話帳画像着信設定	－		ON	P.122
		着信アンサー設定	MENU58		エニーキーアンサー	P.61
		メール／メッセージ鳴動	MENU68		すべてON（鳴動時間：5秒）	P.116
		呼出時間表示設定	MENU90	無音時間設定	OFF 無音時間：1秒 （無音時間設定「ON」設定時）	P.157
				時間内不在着信表示	表示する	
		確認機能設定	MENU65		日本語表示のとき：ボイス 英語表示のとき：ON	P.70
		伝言メモ	MENU55	伝言メモ	OFF 応答メッセージ：標準 （伝言メモ「ON」設定時） 呼出時間：8秒 （伝言メモ「ON」設定時）	P.71
	通話	ノイズキャンセラ	MENU76		ON	P.58
		通話品質アラーム	MENU75		アラーム高音	P.116
		再接続機能	MENU77		アラーム高音	P.58
		通話中イルミネーション	－		OFF	P.128
		保留音設定	－	応答保留音	応答保留音1	P.66
				通話中保留音	エリーゼのために	

大項目	中項目	小項目	メニュー番号(ボタン操作)	お買い上げ時の設定		参照ページ
各種設定	通話	クローズ動作設定	MENU18		終話	P.62
	発信	ポーズダイヤル	MENU84		−	P.54
		サブアドレス設定	−		ON	P.58
		プレフィックス設定	−		「WORLD CALL」(009130010) ユーザ設定：未登録	P.55
		自動発信設定	−		OFF	P.302
		国際ダイヤル設定	−	自動付加設定	自動付加	P.56
				国際電話設定	「WORLD CALL」(009130010) ユーザ設定：未登録	
				国番号設定	「アメリカ」(国番号：1) ユーザ設定：未登録	
	テレビ電話	送信画質設定	−		標準	P.84
		画像選択	−	応答保留選択	内蔵	P.84
				通話保留選択	内蔵	
				代替画像選択	キャラ電(ビーンズ(Beans))	
				伝言メモ選択	内蔵	
				伝言メモ準備選択	内蔵	
				音声メモ選択	内蔵	
		音声自動再発信	−		OFF	P.84
		遠隔監視設定	−	対局番号登録	未登録	P.88
				応答時間設定	5秒	
				設定	OFF	
		テレビ電話画面設定	−	親画面表示	親画面相手画像表示	P.86
				内側カメラ反転表示	ON	
		テレビ電話切替通知	−		切替機能通知開始	P.87
		ハンズフリー切替	−		ON	P.86
		パケット通信中着信設定	−		テレビ電話優先	P.87
	ディスプレイ	画面表示設定	MENU56	待受画面	ホワイト&ペリドット1(本体色ホワイト&ペリドット)、ブラック&サファイア1(本体色ブラック&サファイア)、ピンク&ルビー1(本体色ピンク&ルビー)	P.119
				ウェイクアップ表示	Wake up ウェイクアップメッセージ：未入力	
				電話発信	ホワイト&ペリドット(本体色ホワイト&ペリドット)、ブラック&サファイア(本体色ブラック&サファイア)、ピンク&ルビー(本体色ピンク&ルビー)	
				電話着信		
				テレビ電話発信		
				テレビ電話着信		
				メール送信		
				メール受信		
				問い合わせ		
		照明設定	MENU70	通常時	ON(点灯)+省電(待ち時間3分)	P.123
				充電時	標準	
				範囲	液晶+ボタン	
				明るさ	レベル2	
				メール/iモード中省電力	ON	

大項目	中項目	小項目	メニュー番号（ボタン操作）	お買い上げ時の設定		参照ページ
各種設定	ディスプレイ	画面デザイン	MENU86	配色パターン	フレッシュグレー（本体色ホワイト＆ペリドット、ピンク＆ルビー）、カームブラック（本体色ブラック＆サファイア）	P.124
				背景パターン1	OFF	
				背景パターン2	背景色1	
				電池アイコン	ホワイト（本体色ホワイト＆ペリドット）、ブラック（本体色ブラック＆サファイア）、ピンク（本体色ピンク＆ルビー）	
				アンテナアイコン	ホワイト（本体色ホワイト＆ペリドット）、ブラック（本体色ブラック＆サファイア）、ピンク（本体色ピンク＆ルビー）	
		フォント設定	MENU66	文字パターン	フォント1	P.128
				太さ	太字	
				文字サイズ	ふつう	
		デスクトップ	MENU63		フォトモード	P.130
		バイリンガル	MENU15		Japanese	P.129
		メニュー画面設定	MENU57	メニュー表示	一覧表示	P.124
				テーマ	ホワイト＆ペリドット（本体色ホワイト＆ペリドット）、ブラック＆サファイア（本体色ブラック＆サファイア）、ピンク＆ルビー（本体色ピンク＆ルビー）	
				フォーカス記憶	ON	
		ピクチャ表示設定	−		ピクチャ一覧	P.256
		オート表示	MENU47		OFF	P.108
		表示アイコン説明	MENU36		−	P.27
		表示アイコン設定	−		ON	P.132
		プライバシーアングル	−		OFF	P.123
	時間／料金	通話時間／料金	MENU61		−	P.296
		通話料金通知	−	料金上限値	未設定	P.297
				上限値通知設定	通知しない	
				アラーム音選択	アラーム音	
				アラーム音量	レベル4	
		積算リセット	MENU60		−	P.297
		積算料金自動リセット	−		OFF	P.297
		通話中時間表示	MENU48		ON	P.128
	時計	時計設定	MENU31		自動時刻補正する	P.43
		待受時計表示	MENU39	表示方法	日本語	P.129
				表示形式	12時間形式表示	
				表示サイズ	大きく表示	
		アラーム通知設定	−		通知優先	P.285
		時刻アラーム音設定	−		アラーム音	P.115

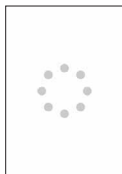
大項目	中項目	小項目		メニュー番号（ボタン操作）	お買い上げ時の設定		参照ページ
各種設定	ロック／セキュリティ	ロック	ダイヤルロック	－		解除	P.141
			オリジナルロック	－		OFF グループや項目の選択設定 データ閲覧・編集・削除：すべて選択 発信・メール送信、着信・メール受信表示：すべて解除	P.147
		キー操作ロック		－		閉じたとき：OFF タイマー：OFF	P.152
		セルフモード		－		解除	P.158
		シークレットモード		MENU40		解除	P.143
		シークレット専用モード		MENU41		解除	P.144
		登録外着信拒否		－		許可	P.157
		非通知着信設定		MENU10		すべて許可 着信音：通常着信音と同じ 着信画面：通常着信画面と同じ	P.156
		端末暗証番号変更		MENU29		0000（数字のゼロ4つ）	P.139
		PIN設定		－		－	P.139
		スキャン機能		－	スキャン機能設定	ON	P.369
	アプリケーション通信設定	接続待ち時間設定		－		60秒間	P.194
		ｉモード問い合わせ設定		－		すべて「問い合わせをする」	P.244
		接続先選択		MENU81		ｉモード ユーザ指定接続先：未登録	P.194
		SMS center設定		－		ドコモ ユーザ指定接続先：未登録	P.252
		証明書		－		すべて有効	P.198
		証明書センター接続設定		－		ドコモ ユーザ指定接続先：未登録	P.200
	外部接続	通知音出力切替		MENU51		イヤホン（イヤホンのみ）	P.116
		イヤホン接続時マイク切替		－		イヤホンマイク	P.303
		オート着信		MENU94		OFF 呼出時間：6秒 （オート着信「ON」設定時）	P.303
	ネットワーク設定	ネットワーク接続モード選択		－		DoCoMo	P.303
	その他	ボタン確認音		MENU30		ON	P.115
		充電確認音		－		ON	P.115
		電池残量		MENU71		－	P.41
		外部ボタン操作		MENU* （1秒以上）		閉じた時有効	P.153
		文字入力設定		MENU35	入力モード	モード1（かな方式）	P.325
					ワード予測	ON	P.327
					ガイダンス表示	ON	P.328
					T9変換モード	T9漢字変換モード	P.327
					学習履歴クリア	－	P.335
					入力サイズ切替	標準	P.325
		設定リセット		MENU23		－	P.304
		端末初期化		－		－	P.305
		ソフトウェア更新		－		－	P.364
データBOX	マイピクチャ			MENU46		－	P.255
	ｉモーション			－		－	P.263
	メロディ			MENU16		－	P.273
	キャラ電			－		－	P.271

次ページにつづく

大項目	中項目	小項目	メニュー番号（ボタン操作）	お買い上げ時の設定		参照ページ
LifeKit	赤外線受信		MENU79		−	P.280、281
	カメラ		−		−	P.168、173
	電話帳お預りサービス		−	電話帳内画像送信設定	しない	P.158
	スケジュール		MENU45		−	P.288
	アラーム		MENU44		すべてOFF	P.287
	To Doリスト		MENU95		−	P.292
	テキストメモ		MENU42		−	P.299
	電卓		MENU85		−	P.298
	メモの再生／消去		[MEMO/CHECK]		−	P.73
	動画メモの再生／消去		−		−	P.74
	待受中音声メモ		MENU43		−	P.295
	おしゃべり機能		MENU91		−	P.296
	FOMAカード（UIM）操作		−		−	P.102
	電話帳画像転送		−		する	P.277
	辞典		−		−	P.300
サービス	着もじ		−	メッセージ作成	プリインストール5件	P.49
				メッセージ表示設定	番号通知ありのみ	
	発信者番号通知		MENU17		−	P.44
	留守番電話		−		−	P.308
	キャッチホン		−		−	P.309
	転送でんわ		−		−	P.311
	迷惑電話ストップ		−		−	P.312
	番号通知お願いサービス		−		−	P.312
	着信動作選択		−		通常着信	P.314
	通話中着信設定		−		−	P.314
	遠隔操作設定		−		−	P.315
	デュアルネットワーク		−		−	P.312
	英語ガイダンス		−		−	P.313
	追加サービス		−		−	P.316
	サービスダイヤル		−		−	P.313
	マルチナンバー		−	着信音設定	通常着信音と同じ	P.315
電話帳	電話帳		−		−	P.93、97
ユーザデータ	マイプロフィール		MENU0		−	P.44、293
	着信履歴		MENU24		−	P.62
	発信履歴		−		−	P.51
	メールメンバー		MENU97		−	P.220
	チャットグループ		−		−	P.247
	直デン		−		−	P.107
	定型文		MENU38		固定定型文初期状態（フォルダ名はフォルダ1、2）	P.333
	ユーザ辞書		MENU82		−	P.335
	ダウンロード辞書		−		−	P.335

お買い上げ時に登録されているデータ

待受画面

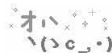
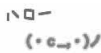
ホワイト&ペリドット1	ホワイト&ペリドット2	ブラック&サファイア1	ブラック&サファイア2	ピンク&ルビー1
ピンク&ルビー2	キラゴツ	Herb	Floral	Simple Style
Art Candy	Dogs & Fashion	Wake up		

おしらせ

◆「キラゴツ」「Floral」「Dogs & Fashion」は起動ごとにイメージが変わります。

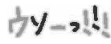
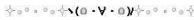
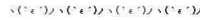
フレーム

ホワイト&ペリドット　ブラック&サファイア

ピンク&ルビー

デコメールピクチャ

おはよう　こんにちは
ごめんね　ありがとう
怒る　泣く

おやすみ
おめでとう
うれしい

さようなら
ファイト
悩む

次ページにつづく

おしらせ

◆ デコメールのイメージは、実際の画面の表示と異なる場合があります。

おまかせデコメールピクチャ

感情の分類	画像
急ぎ	
好き	
嫌い	
喜び	
怒り	
哀しみ	
楽しい	
驚き	

感情の分類	画像
質問	
アドバイス	
ファイト	
お誘い・募集	
感想	
お願い	
通知	
OK	

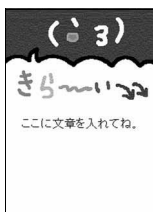
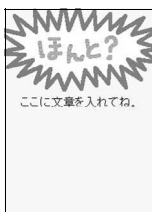
おしらせ

◆ デコメールのイメージは、実際の画面の表示と異なる場合があります。

テンプレート

次ページにつづく

きらい

驚き

おしらせ

◆ テンプレートは、実際の画面の表示と異なる場合があります。

マーカースタンプ

十字		ハート1		ハート2		チュッ		涙		炎	
稲妻		ゴメン		音符		花		LOVE	LOVE LOVE	怒り	
右		下		左		上		ココ	ココ	1番	
2番		3番		飲み会		マル		バツ		人	
車		スヤスヤ		ハテナ		ビックリ		キラキラ		渦	
パンチ		鼻									

ダイヤルボタンの文字割り当て一覧（かな方式）

ボタン	漢字ひらがな入力モード	カナ入力モード
1	あいうえおぁぃぅぇぉ	アイウエオァィゥェォ
2	かきくけこ	カキクケコ
3	さしすせそ	サシスセソ
4	たちつてとっ	タチツテトッ
5	なにぬねの	ナニヌネノ
6	はひふへほ	ハヒフヘホ
7	まみむめも	マミムメモ
8	やゆよゃゅょ	ヤユヨャュョ
9	らりるれろ	ラリルレロ
0	わをんーゎ	ワヲンーヮ※1
＊	―――※2	―――
＃	゛゜、。？！・※3	゛゜、。？！・※3

ボタン	英字入力モード	数字入力モード
1	?!-/¥&*()#゛゜♥☎※4	1
2	ABCabc	2
3	DEFdef	3
4	GHIghi	4
5	JKLjkl	5
6	MNOmno	6
7	PQRSpqrs	7
8	TUVtuv	8
9	WXYZwxyz	9
0	──	0+※5
＊	.ne.jp .co.jp .ac.jp www. .com .html http:// https:// @docomo.ne.jp※6	＊ .ne.jp .co.jp .ac.jp www. .com .html http:// https:// @docomo.ne.jp※6
＃	.@/?!(),-_:'~※7&¥	#.@/?!(),-_:'~※7&¥

※1：「ワ」の小文字は全角入力のときに入力できます。
※2：「漢字ひらがな入力モード」で＊を押すと「区点入力モード」に切り替わります。
※3：「漢字ひらがな入力モード」と全角の「カナ入力モード」の場合は、その前の文字に「゛」「゜」を付けることができるときだけ「゛」「゜」が表示されます。ユーザ辞書の読み入力とFOMAカードへの電話帳登録のフリガナ入力のときは「、」「。」「？」「！」「・」は入力できません。
※4：SMS本文入力時のみ有効です。SMS本文入力時、「絵文字入力」はできませんが「♥」「☎」は入力できます。また、記号は半角文字として表示されますが、「♥」「☎」は常に全角文字として表示されます。
※5：「＋」は、SMS宛先入力時に1秒以上押して入力できます。
※6：全角に切り替えた場合は表示されません（数字入力モードの「＊」は除く）。
※7：全角入力のときは「￣」となります。
（網掛け）：小文字は以下の2つの方法で入力できます。

- 大文字で入力した後に☎で小文字に変換する。
- 機能メニューで「小文字切替」を行った後に入力する。

ダイヤルボタンの文字割り当て一覧（2タッチ方式）

■ 全角入力モード

ボタン		2桁目									
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	0
1桁目	1	あ ぁ	い ぃ	う ぅ	え ぇ	お ぉ	A a	B b	C c	D d	E e
	2	か	き	く	け	こ	F f	G g	H h	I i	J j
	3	さ	し	す	せ	そ	K k	L l	M m	N n	O o
	4	た	ち	つ っ	て	と	P p	Q q	R r	S s	T t
	5	な	に	ぬ	ね	の	U u	V v	W w	X x	Y y
	6	は	ひ	ふ	へ	ほ	Z z	？	！	―	／
	7	ま	み	む	め	も	￥	＆		※2 ☎	
	8	や ゃ	（	ゆ ゅ	）	よ ょ	＊	＃		※2 ♥	※1
	9	ら	り	る	れ	ろ	1	2	3	4	5
	0	わ ゎ	を	ん	※3 ゛ 、	※3 ゜ 。	6	7	8	9	0

■ 半角入力モード

ボタン		2桁目									
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	0
1桁目	1	ｱ ｧ	ｲ ｨ	ｳ ｩ	ｴ ｪ	ｵ ｫ	A a	B b	C c	D d	E e
	2	ｶ	ｷ	ｸ	ｹ	ｺ	F f	G g	H h	I i	J j
	3	ｻ	ｼ	ｽ	ｾ	ｿ	K k	L l	M m	N n	O o
	4	ﾀ	ﾁ	ﾂ ｯ	ﾃ	ﾄ	P p	Q q	R r	S s	T t
	5	ﾅ	ﾆ	ﾇ	ﾈ	ﾉ	U u	V v	W w	X x	Y y
	6	ﾊ	ﾋ	ﾌ	ﾍ	ﾎ	Z z	?	!	-	/
	7	ﾏ	ﾐ	ﾑ	ﾒ	ﾓ	¥	&		※2 ☎	
	8	ﾔ ｬ	(	ﾕ ｭ	)	ﾖ ｮ	*	#		※2 ♥	※1
	9	ﾗ @	ﾘ /	ﾙ .	ﾚ _	ﾛ :	1 .ne.jp	2 .co.jp	3 .ac.jp	4 @docomo.ne.jp	5
	0	ﾜ ~	ｦ '	ﾝ	ﾞ ,	ﾟ .	6 www.	7 .com	8 .html	9 http://	0 https://

- FOMAカードの電話帳登録時のフリガナ入力では、全角入力モードでもカタカナ入力になります。

※1：8 0を押すと大文字入力モード（上段）と小文字入力モード（下段）とが切り替わります。また、大文字を入力した後に☎を押して小文字に切り替えることもできます。
※2：「テキストメモ」や「定型文」の登録など、「絵文字入力」ができるときだけ使えます。また、常に全角文字として入力されます。SMS本文入力時、「絵文字入力」はできませんが「☎」「♥」は入力できます。
※3：全角入力の場合は、「゛」「゜」を付けることができる文字のときだけ「゛」「゜」が表示されます。そのほかの文字に「゛」「゜」を入力するとスペースが入力されます。
　：スペースが入力されます。

ダイヤルボタンの文字割り当て一覧（T9入力方式）

ボタン	漢字ひらがな入力モード	カナ入力モード	英字入力モード
1	あ行、1	ア行、1	1
2	か行、2	カ行、2	ABCabc2
3	さ行、3	サ行、3	DEFdef3
4	た行、4	タ行、4	GHIghi4
5	な行、5	ナ行、5	JKLjkl5
6	は行、6	ハ行、6	MNOmno6
7	ま行、7	マ行、7	PQRSpqrs7
8	や行、8	ヤ行、8	TUVtuv8
9	ら行、9	ラ行、9	WXYZwxyz9
0	わをんゎー、0	ワヲンヮ※3ー、0	0
#	※1、※2	※1、※2	※4

- 「数字入力モード」の文字割り当ては「モード1（かな方式）」の文字割り当てを参照してください。
- FOMAカードの電話帳登録時のフリガナ入力、「ユーザ辞書」の読み入力時には、数字候補は表示されません。
- 「英字（英全）」モードまたは「英字（英半）」モードにした直後は、CapsLockモードで起動します。☎を押すたびに「CapsLockモード」→「モード解除」→「Shiftモード」の順に切り替わります。
- 「CapsLockモード」ではすべて大文字入力となります。「Shiftモード」でははじめの1文字のみ大文字が入力され、以降は小文字入力となります。モード解除の状態ではすべて小文字入力となります。
- 「Shiftモード」で文字確定後は、モード解除の状態に戻ります。

※1：読み入力中は、「゛」「゜」（濁点、半濁点）が付いた変換候補の切り替えを行います。
※2：読みおよび文字の確定後は、モード1（かな方式）と同じように「、」「。」「？」「！」「・」「゛」「゜」が表示されます。ただし、「゛」「゜」（濁点、半濁点）は、半角のカナ入力モードを除き、その前の文字に付けることができるときだけ表示されます。

※3：「ヮ」の小文字は全角入力のみ入力できます。
※4：文字の確定後は、モード1（かな方式）と同じように「.」「@」「/」「?」「!」「(」「)」「,」「−」「_」「:」「'」「"」「￣」「&」「¥」が表示されます。

記号・特殊文字一覧

■ 全角記号

　 、 。 ， ． ・ ： ； ？ ！ ゛ ゜
´ ｀ ¨ ＾ ￣ ＿ ヽ ヾ ゝ ゞ 〃 仝
々 〆 〇 ー ― ‐ ／ ＼ ～ ∥ ｜ …
‥ ‘ ’ “ ” （ ） 〔 〕 ［ ］ ｛
｝ 〈 〉 《 》 「 」 『 』 【 】 ＋
－ ± × ÷ ＝ ≠ ＜ ＞ ≦ ≧ ∞ ∴
♂ ♀ ° ′ ″ ℃ ￥ ＄ ￠ ￡ ％ ＃
＆ ＊ ＠ § ☆ ★ ○ ● ◎ ◇ ◆ □
■ △ ▲ ▽ ▼ ※ 〒 → ← ↑ ↓ 〓
∈ ∋ ⊆ ⊇ ⊂ ⊃ ∪ ∩ ∧ ∨ ￢ ⇒
⇔ ∀ ∃ ∠ ⊥ ⌒ ∂ ∇ ≡ ≒ ≪ ≫
√ ∽ ∝ ∵ ∫ ∬ Å ‰ ♯ ♭ ♪ †
‡ ¶ ◯ ゎ ゐ ゑ ヮ ヰ ヱ ヴ ヵ ヶ

Α Β Γ Δ Ε Ζ Η Θ Ι Κ Λ Μ
Ν Ξ Ο Π Ρ Σ Τ Υ Φ Χ Ψ Ω
α β γ δ ε ζ η θ ι κ λ μ
ν ξ ο π ρ σ τ υ φ χ ψ ω
А Б В Г Д Е Ё Ж З И Й К
Л М Н О П Р С Т У Ф Х Ц
Ч Ш Щ Ъ Ы Ь Э Ю Я а б в
г д е ё ж з и й к л м н
о п р с т у ф х ц ч ш щ
ъ ы ь э ю я ─ │ ┌ ┐ ┘ └
├ ┬ ┤ ┴ ┼ ━ ┃ ┏ ┓ ┛ ┗ ┣
┳ ┫ ┻ ╋ ┠ ┯ ┨ ┷ ┿ ┝ ┰ ┥
┸ ╂

■ 特殊記号

■ 半角記号

　 ! " # $ % & ' ( ) * +
, - . / : ; < = > ? @ [
¥] ^ _ ` { | } ~ ｡ ｢ ｣
､ ･ ｰ ﾞ ﾟ

※：SMS本文入力時に表示されます。

■ 変換記号

「きごう」と入力して変換すると記号の候補が表示され、そこから記号を入力することができます。また、以下のような文字を入力して記号に変換することもできます。

文字入力	記号
あっと、あっとまーく	＠
いこーる	＝
えん	￥
おす	♂
おなじ	々
おなじく	〃
おんぷ	♪
かける	×
かっこ	（）〔〕［］｛｝〈〉《》「」『』【】‘’“”()〈〉[]{}｢｣

文字入力	記号
から	～
こめ	※
ころん	：
こんま	，
さんかく	△▲▽▼
しゃせん	／＼
しかく	□■◇◆
しめ	〆
たす	＋
どう	ヽヾゝゞ〃々
ぱーせんと	％

文字入力	記号
ひく	－
ひしがた	◇◆
ほし	☆★
まる	○●◎
むげん	∞
めす	♀
やじるし	→←↑↓
ゆうびん	〒
るーと	√
わる	÷

絵文字一覧

■ 絵文字1

■ 絵文字2

おしらせ

◆ メールの本文などに絵文字を使用している場合、対応機種以外の携帯電話やパソコンなどに送信すると、受信側で絵文字が正しく表示されないことがあります。また、受信側がｉモード端末であっても、絵文字2の対応機種でない場合は、正しく表示されないことがあります。

顔文字一覧

■ 顔文字

読み	顔文字
ありがと	m(_ _)m
ばんざい	＼(^O^)／
わーい	(^O^)
わーい	(´∀｀)
わーい	(*^□^*)
わーい	o(^▽^o)(o^▽^)o
わーい	(≧▼≦)
おーい	(^O^)／
ぶい	(^^)v
ぎゃはは	(^Q^)/^
あは	(o^o^o)
あは	^□^;
にこ	(^-^)
にこ	(*^_^*)
にこ	(o'∀'o)
にこ	(o^∀^o)
にこ	('∀'●)
にこ	(●^-^●)
にこ	(o^▽^o)
ちゅ	(^3^)/
ちゅ	(^ε^)-☆Chu!!
わくわく	o(^-^)o
ういんく	(^_-)
さよなら	(^^)/~
さよなら	(´Д`)ノ~~

読み	顔文字
はてな	(・・?)
きらーん	(☆。☆)
しくしく	(T_T)
さよなら	(T_T)/~
いたた	(>_<)
いたた	(＞＜)
えーん	(;_;)
えーん	(´Д`)
えーん	ΩÅΩ;
えーん	(ノд<。)゜。
えーん	゜。(p>∧<q)。゜゜
えーん	(T ω ヽ)
なぜ	(?_?)
がーん	(￣□￣;)!!
がーん	(＿＿;)
がーん	Σ(￣□￣;)
えへん	(￣^￣)
む	(－＿－メ)
む	o(￣^￣o)
いかり	(｀´)
むか	(;-_-+
むか	(｀へ´)
むか	(｀^´;)
こそこそ	(・_・|
じーっ	(-_-)

読み	顔文字
ねむい	(ρ_-)ノ
めも	φ(..)
うん	(゜_゜)(。_。)
かんぱい	(^^)／▽☆▽＼(^^)
ども	＼(^_^)(^_^)／
がまん	(;´∩`)
こんにちは	ヾ(=^▽^=)ノ
こんにちは	(・∀・)ノ
こんにちは	(●´∀`●)/
いいな	(o>ω<o)
いいな	(@°▽°@)
いいな	(m'□'m)
うーん	(￣～￣;)
てれる	(／_＼;)
てれる	(*/ω＼*)
てれる	(//∀//)
てれる	(≧ω≦)
しあわせ	°+。(*′▽`)。+°
しあわせ	ヽ(´▽`)/
しあわせ	(*´∀`*)
なかよし	^－^)人(^－^
ごめん	(*C*)
いじいじ	φ(.. ;)
いじわる	Ψ(`∀´#)
よろしく	☆ヽ(▽⌒*)

読み	顔文字
がんば	p(^^)q
ね	(^.^)b
ぽりぽり	(^^ゞ
ひやあせ	(^o^;
あせあせ	(;^_^A
びくっ	(*_*)
どき	(◎-◎;)
え	(@_@;)
めがてん	(・・;)

読み	顔文字
きこえない	|(-_-)|
こまったもんだ	(￣～￣)ξ
ぶたー	)^o^(
こあら	(－Q－)
いっぷく	(^|^)y~
いっぷく	(^.^)y-~~~
ほし	☆彡
ねてる	(-_-)zz
ねむい	＼(^o^)／

読み	顔文字
こまった	＞＜
やだ	(○>_<)
へこむ	(´`)
へこむ	(´ω`)
びっくり	(。Д○;)
びっくり	w(°0°)w
だっしゅ	ε=┏(・_・)┛

おしらせ

◆ 顔文字は、文字入力（編集）画面の機能メニューの「顔文字入力」から入力できます。→P.330

定型文一覧

■ フォルダ１（固定定型文）

No.	漢字ひらがな表現	半角カタカナ表現
1	ごめんなさい	ｺﾞﾒﾝﾅｻｲ
2	ありがとう	ｱﾘｶﾞﾄｳ
3	おめでとう！	ｵﾒﾃﾞﾄｳ!
4	時間だよ！	ｼﾞｶﾝﾀﾞﾖ!
5	もう少し待ってて	ﾓｳｽｺｼﾏｯﾃﾃ
6	今着いた！	ｲﾏﾂｲﾀ!
7	予定変更！	ﾖﾃｲﾍﾝｺｳ!
8	どこにいるの？	ﾄﾞｺﾆｲﾙﾉ?
9	がんばってね	ｶﾞﾝﾊﾞｯﾃﾈ
0	なにしてるの？	ﾅﾆｼﾃﾙﾉ?

■ フォルダ２（固定定型文）

No.	漢字ひらがな表現	半角カタカナ表現
1	了解しました	ﾘｮｳｶｲｼﾏｼﾀ
2	いつも大変お世話になります	ｲﾂﾓﾀｲﾍﾝｵｾﾜﾆﾅﾘﾏｽ
3	お疲れさまです	ｵﾂｶﾚｻﾏﾃﾞｽ
4	至急確認ください	ｼｷｭｳｶｸﾆﾝｸﾀﾞｻｲ
5	いかがでしょうか？	ｲｶｶﾞﾃﾞｼｮｳｶ?
6	電話ください	ﾃﾞﾝﾜｸﾀﾞｻｲ
7	遅れます	ｵｸﾚﾏｽ
8	留守電にメッセージを入れてください	ﾙｽﾃﾞﾝﾆﾒｯｾｰｼﾞｦｲﾚﾃｸﾀﾞｻｲ
9	ｉモードで連絡ください	iﾓｰﾄﾞﾃﾞﾚﾝﾗｸｸﾀﾞｻｲ
0	よろしくお願い致します	ﾖﾛｼｸｵﾈｶﾞｲｲﾀｼﾏｽ

マルチアクセスの組み合わせについて

現在の通信状態＼新たに発生した通信	音声電話		テレビ電話		iモードを利用※6	iモードメール	
	発信	着信	発信	着信		送信	受信
音声通話中	△※1	△※2	×	△※3	○	○	○
テレビ電話中	×	△※3	ー	△※3	×	×	×※4
iモード中※6	○	○	△※5	△※7	ー	○	○
パソコンなどと接続してのパケット通信中	×	○	×	×	×	×	×※4
64Kデータ通信中	×	△※3	×	△※3	×	×	×※4

現在の通信状態＼新たに発生した通信	SMS		パケット通信		64Kデータ通信	
	送信	受信	送信	受信	送信	受信
音声通話中	○	○	○	○	×	△※3
テレビ電話中	×	○	×	×※8	×	△※3
iモード中※6	○	○	×	×	×	×
パソコンなどと接続してのパケット通信中	×	○	ー	ー	×	×
64Kデータ通信中	×	○	×	×	×	△※3

○：起動できます。　×：起動できません。　△：条件により起動できます。　ー：機能的に実現しない組み合わせです。

※1　：「キャッチホン」をご契約されている場合、現在の音声電話を保留にして発信することができます。
※2　：「キャッチホン」をご契約されている場合、現在の音声電話を保留にして応答することができます。また、「留守番電話」や「転送でんわ」をご契約されている場合、現在の通信を終了してから新たに発生した着信に応答することができます。→P.313
※3　：「キャッチホン」、「留守番電話」、「転送でんわ」をご契約されている場合、現在の通信を終了してから新たに発生した着信に応答することができます。→P.313
※4　：iモードメールやメッセージR/Fは受信されず、iモードセンターに保管されます。iモードセンターに保管されたiモードメールやメッセージR/Fは通信終了後、「iモード問い合わせ」を行うと受信できます。
※5　：iモード接続を切断してからテレビ電話発信を行います。
※6　：iチャネルの情報サイトの表示を含みます。
※7　：「パケット通信中着信設定」を「テレビ電話優先」に設定している場合、テレビ電話の着信に応答すると、iモード通信が切断されます。
※8　：不在着信履歴が残ります。

FOMA端末から利用できるサービス

ご利用になれるサービス		電話番号
コレクトコール（料金着信払通話）		（局番なし）106
一般電話の番号案内およびドコモとご契約の携帯電話の番号案内（有料） （電話番号の案内を希望されないお客様についてはご案内できません）		（局番なし）104
電報の発信（有料）	午前8時〜午後10時	（局番なし）115
時報サービス（有料）		（局番なし）117
天気予報（有料）		知りたい地域の市外局番＋177
警察への緊急通報		（局番なし）110
消防・救急への緊急通報		（局番なし）119
海上で事件・事故が起きたときの緊急通報		（局番なし）118
災害用伝言ダイヤル（有料）		（局番なし）171

おしらせ

- ◆ コレクトコール（106）をご利用の際には、電話を受けた方に、通話料と1回の通話ごとの取扱手数料90円（税込94.5円）がかかります。（2006年11月現在）
- ◆ 番号案内（104）をご利用の際には、案内料100円（税込105円）に加えて通話料がかかります。目や上肢などの不自由な方には、無料でご案内しております。詳しくは、一般電話から116番（NTT営業窓口）までお問い合わせください。（2006年11月現在）
- ◆ FOMA端末から110番・119番・118番通報の際は発信場所が特定できません。警察・消防機関側から確認等の電話をする場合があるため携帯電話からかけていることと、電話番号と、明確な現在位置を伝えてください。また、通報は途中で通話が切れないよう、移動せずに行い、通報後はすぐに電源を切らずに10分程度は着信のできる状態にしておいてください。
- ◆ おかけになった地域により、管轄の消防署・警察署に接続されないことがあります。接続されないときは、お近くの公衆電話または一般電話からおかけください。
- ◆ 一般電話の「転送電話」をご利用のお客様で転送先を携帯電話に指定した場合、一般電話／携帯電話の設定によって携帯電話が通話中、サービスエリア外および電源を切っているときでも発信者には呼び出し音が聞こえることがあります。
- ◆ 116番（ＮＴＴ営業窓口）、ダイヤルQ2、伝言ダイヤル、クレジット通話などのサービスはご利用できませんのでご注意ください（一般電話または公衆電話から、FOMA端末へおかけになる際の自動クレジット通話はご利用できます）。

オプション・関連機器のご紹介

FOMA端末にさまざまな別売りのオプション機器を組み合わせることで、パーソナルからビジネスまでさらに幅広い用途に対応できます。なお、地域によってはお取扱いしていない商品もあります。詳しくは、ドコモショップなど窓口へお問い合わせください。
また、オプションの詳細については各機器の取扱説明書などをご覧ください。

- スイッチ付イヤホンマイク P001※1／P002※1
- ステレオイヤホンセット P001※1
- 平型スイッチ付イヤホンマイク P01／P02
- 平型ステレオイヤホンセット P01
- FOMA USB接続ケーブル
- FOMA ACアダプタ 01
- FOMA DCアダプタ 01
- 電池パック N15
- リアカバー N16
- 車載ハンズフリーキット 01※2
- FOMA 車載ハンズフリー接続ケーブル 01
- データ通信アダプタ N01
- FOMA室内用補助アンテナ
- 車内ホルダ 01
- FOMA海外兼用ACアダプタ 01
- FOMA乾電池アダプタ 01
- キャリングケースS 01
- 骨伝導レシーバマイク 01

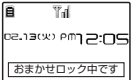
※1：FOMA N601iと接続するには、イヤホンジャック変換アダプタP001が必要です。
※2：FOMA N601iを充電するためには、FOMA 車載ハンズフリー接続ケーブル01が必要です。

動画再生ソフトのご紹介

- パソコンで動画（MP4 形式のファイル）を再生するには、アップルコンピュータ（株）の QuickTime Player（無料）ver. 6.4以上（またはver. 6.3+3GPP）が必要です。
- QuickTimeは下記のホームページよりダウンロードできます。
  http://www.apple.com/jp/quicktime/download/
  - ダウンロードには、インターネットと接続しているパソコンが必要です。また、ダウンロードにあたっては別途通信料がかかります。
  - 動作環境、ダウンロード方法、操作方法など詳細については、上記ホームページをご覧ください。

故障かな？と思ったら、まずチェック

● まずはじめにソフトウェアを更新する必要があるかどうかをチェックし、必要がある場合はソフトウェアを更新してください。
「ソフトウェアを更新する」→P.364

現象	チェックする箇所	参照ページ
FOMA端末の電源が入らない（FOMA端末が使えない）	● 電池パックが正しく取り付けられていますか。 ● 電池切れになっていませんか。	P.38 P.41
右のようなアニメーションが表示され、「ピーッピーッピーッ…」というアラーム音が鳴っている	● 電池が切れました。充電してください。 電池充電してください	P.42
「圏外」の表示が出て話中音（ツーツー音）が出る	● サービスエリア外か、電波の弱い場所にいませんか。 02.13(火) PM12:05	P.42
ダイヤルボタンを押しても発信できない	● キー操作ロック中ではありませんか。 ● 指定発信制限設定中ではありませんか。	P.152 P.154
ダイヤルしたが話中音（ツーツー音）が出てつながらない	● 発信音を聞かず、急いでダイヤルしていませんか。 ● 市外局番を忘れていませんか。 ●「圏外」の表示が出ていませんか。 ●「しばらくお待ちください」の表示が出ていませんか。	P.46 P.46 P.42
着信できない または 着信音が鳴らない	● 以下の機能を設定していませんか。 電話帳指定設定 ・指定着信拒否　・指定着信許可 ・指定転送でんわ　・指定留守番電話 呼出時間表示設定 ・無音時間設定 登録外着信拒否 非通知着信設定 ・通知不可能拒否　・公衆電話拒否 ・非通知設定拒否 ● マナーモード設定中ではありませんか。 ● 公共モード（ドライブモード）設定中ではありませんか。 ● セルフモード設定中ではありませんか。 ● 留守番電話サービスや転送でんわサービスの開始時間を「0秒」に設定していませんか。 ● 番号通知お願いサービスを開始に設定していませんか。 ● デュアルネットワークサービスでmovaを有効にしていませんか。 ● 着信音量を「消去」に設定していませんか。	P.154 P.157 P.157 P.156 P.117 P.67 P.158 P.308 P.311 P.312 P.312 P.65
メール着信音やアラーム音は鳴るのに、電話がかかってきたときの着信音が鳴らない	●「呼出時間表示設定」の「無音時間設定」を長い時間（99秒など）に設定していませんか。「無音時間設定」を短い時間に設定してください。	P.157
発信履歴、リダイヤル、送信アドレス一覧が勝手に消えてしまう	●「電話帳指定設定」の「指定発信制限」を設定しませんでしたか。	P.154
音声電話、テレビ電話がかかってきたときに設定した着信音と違う着信音が鳴る	● 各機能の着信の設定が重なった場合、着信音は優先順位に従って動作します。	P.114
音声電話、テレビ電話がかかってきたときに設定したイメージと違うイメージが表示される	● 各機能の着信の設定が重なった場合、画像は優先順位に従って動作します。	P.122
音声電話、テレビ電話がかかってきたときに設定した色や点滅パターンと違う色や点滅パターンで着信ランプが動作する	● 各機能の着信イルミネーションの設定が重なった場合、着信ランプは優先順位に従って動作します。	P.127

現象	チェックする箇所	参照ページ
着信画面や着信音がお買い上げ時の設定で動作する	● 着信画面と着信音の組み合わせ、優先順位によって着信画面か着信音のどちらかがお買い上げ時の設定で動作する場合があります。	―
メールを受信したときにメールに設定した着信音と違う着信音が鳴る	● 各機能の着信の設定が重なった場合、着信音は優先順位に従って動作します。 ● 複数のメールを受信した場合、最後に受信したメールのメールアドレスに設定されている着信音が鳴ります。 ● 複数のメールを受信したとき、チャットメールが含まれている場合は、チャットメールに設定されている着信音が鳴ります。 ● 相手のメールアドレスが「電話番号@docomo.ne.jp」のときは、メールアドレスには電話番号のみを登録し、そのメールアドレスにメール着信設定の着信音設定で着信音を設定してください。 ● メールの送信元のメールアドレス（受信メールの詳細画面に表示されるメールアドレス）を電話帳に正しく登録し、そのアドレスにメール着信設定の着信音設定で着信音を設定していますか。 ● SMSを受信したときは、電話帳の電話番号に設定されたメール着信設定の着信音設定が有効となります。	P.114 P.106 P.106
画像やｉモーションの替わりに文字が表示される	● 以下の表示がされた場合は、利用している機能で選択できない画像やｉモーションです。以下の表示がされていない画像やｉモーションを選択してください。 「Not available」、「Expired file」、「No preview data」	P.255 P.263
メールを受信したときにメールに設定した着信イルミネーションの色と違う色で点滅する	● 各機能の着信の設定が重なった場合、着信ランプは優先順位に従って点滅します。 ● 複数のメールを受信した場合、最後に受信したメールのメールアドレスに設定されているメール着信設定のイルミネーション設定に従って着信ランプが点滅します。 ● 相手のメールアドレスが「電話番号@docomo.ne.jp」のときは、メールアドレスには電話番号のみを登録し、そのメールアドレスにメール着信設定のイルミネーション設定でイルミネーションを設定してください。 ● メールの送信元のメールアドレス（受信メールの詳細画面に表示されるメールアドレス）を電話帳に正しく登録し、そのアドレスにメール着信設定のイルミネーション設定でイルミネーションを設定していますか。 ● SMSを受信したときは、電話帳の電話番号に設定されたメール着信設定のイルミネーション設定が有効となります。	P.127 P.106 P.106
充電ができない（FOMA端末の充電ランプが点灯しない）	● FOMA端末に電池パックが正しく取り付けられていますか。 ● アダプタのプラグがコンセントまたはシガーライタソケットにしっかりと差し込まれていますか。 ● アダプタとFOMA端末が正しく取り付けられていますか（ACアダプタをお使いのとき、ACアダプタのコネクタがFOMA端末にしっかりと接続されていますか）。	P.38 P.40 P.40
ボタン確認音が出ない	●「ボタン確認音」を「OFF」に設定していませんか。 ● マナーモード設定中ではありませんか。	P.115 P.117
エニーキーアンサーで音声電話、テレビ電話に出ることができない	●「着信アンサー設定」を「クイックサイレント」または「OFF」に設定していませんか。 ● テレビ電話にエニーキーアンサーで出ることはできません。	P.61
通話中、相手の声が聞こえにくい	● 受話口と耳の位置がずれていませんか。 ● 受話口がシールなど何かでふさがれていませんか。 ● ハンズフリー中にスピーカが何かでふさがれていませんか。 ●「受話音量」の設定を変更していませんか。 聞き取りやすい音量に変更してください。	P.24 P.65
通話中、相手の声が大きすぎる	●「受話音量」の設定を変更していませんか。 聞き取りやすい音量に変更してください。	P.65
FOMA端末を折り畳んでいるときに、外部ボタンを押しても操作できない	●「外部ボタン操作」が「閉じた時無効」に設定されていませんか。	P.153
FOMA端末を折り畳んでいるときに、[MEMO/CHECK]を押しても不在着信などの確認ができない	●「確認機能設定」を「OFF」に設定していませんか。 ●「外部ボタン操作」が「閉じた時無効」に設定されていませんか。	P.70 P.153
日付が英語で表示されている	● 時計表示を「英語」に設定していませんか。	P.129

現象	チェックする箇所	参照ページ
ディスプレイが見えにくい	● バックライトの明るさの設定を「レベル1」に設定していませんか。 ● 「プライバシーアングル」を「ON」に設定していませんか。	P.123
ディスプレイのバックライトが点灯しない	● バックライトの通常時の点灯を「OFF」に設定していませんか。 ● 5 を1秒以上押してバックライトの点灯／消灯を切り替えることができます。 メールの作成中などにも、5 を1秒以上押すとバックライトが消灯しますので、ご注意ください。	P.123
電源を入れた直後に電話がかかってきたとき、電話帳に登録した名前が表示されず、電話番号が表示されてしまう	● 電源を入れた直後はFOMAカードを読み込んでいることがあり、すぐに電話帳機能を使えないことがあります。	−
☎を1秒以上押してから電源が入るまで時間がかかる	● 電話帳などのデータがいっぱいのときは、その確認に時間がかかるようになります。	P.104
着信があっても着信動作（着信音鳴動、バイブレータ、着信ランプの点灯）が行われない	● 「呼出時間表示設定」の「無音時間設定」を「ON」に設定している場合、電話帳に登録されていない電話番号や、電話番号を通知しない相手からの着信があると、設定した時間が経過するまで着信動作（着信音鳴動、バイブレータ、着信ランプの点灯）が行われません。	P.157
積算通話料金が増えない	● 上限値に達していると増えません。「積算リセット」を行ってください。	P.297
SMSを受信したときに電話帳に登録した名前が表示されない	● 電話帳の電話番号欄（☎）に送信元の電話番号を正しく登録していますか。	P.93
メールが自動振り分けされない	● 相手のメールアドレスが「電話番号@docomo.ne.jp」のときは、自動振分け設定には電話番号のみを登録してください。 ● 相手のメールアドレスが「電話番号@docomo.ne.jp」以外のときは自動振分け設定にはドメイン名まですべて登録しないと振り分けされません。	P.235
メールを自動で受信しない	● メール設定の「メール選択受信設定」で「ON」を設定していませんか。「OFF」に設定してください。	P.223 P.242
ｉモード、ｉモードメール、ｉチャネルに接続できない	● 「接続先選択」を「ｉモード」以外に設定していませんか。 ● ｉモードを途中からご契約いただいた場合は、FOMA端末の電源を一度切ってから、再度電源を入れ直してください。	P.194 −
メールを受信しても着信動作（着信音鳴動、バイブレータ、着信ランプの点灯）が行われない	● 「メール／メッセージ鳴動」を「OFF」に設定していませんか。 ● 「受信表示設定」を「操作優先」に設定していませんか。	P.116 P.242
メールに［添付ファイル削除］と表示される	● ｉモードメールに対応していない添付ファイルの受信はできません。ｉモードセンターで自動的に添付ファイルを削除し、本文のみをお届けします。	P.222
メール送信中に切断され、SMSを受信した もう一度操作しようとするとメッセージが表示される	● 一定時間内に著しく大量のデータ通信が多いと切断され SMS で通知されます。SMSの内容と表示されるメッセージにしたがってください。	−
パソコンなどから送信されたメールの添付ファイルが削除された	● FOMA端末以外から送信されたメールに添付された画像ファイルがGIF形式の場合、10,000バイトまでしか受信できません。	−
撮影した静止画や動画がぼやけてしまう	● 撮影する場面に合ったモードを設定してください。	P.174
画像表示しようとすると「☒」が表示される または デモやプレビューで「☒」が表示される	● 画像データが壊れている場合は「☒」が表示されることがあります。	−
ボタンを押したときの画面の反応が遅い	● FOMA端末に大量のデータが保存されているときに起こる場合があります。	−
チャンスキャプチャで撮影したときに撮影時間が短くなる	● チャンスキャプチャの撮影時には、動画データとともに管理用データを保存するため、撮影可能な時間が短くなる場合があります。	−

こんな表示が出たら

● ｉモードエラーメッセージの中の（数字）については、ｉモードセンターより送信されたエラーを区別するためのコードです。

エラーメッセージ	説明／対処方法	参照ページ
「FOMAカード（UIM）が異なるためご利用できません」	● FOMAカード動作制限機能により保護されているデータのデスクトップアイコンを選択して実行しようとしたときに表示されます。 ● FOMAカード動作制限機能により保護されている画面メモ、メッセージR/Fを選択して実行しようとしたときに表示されます。	P.36
「FOMAカード（UIM）読み込み中です　起動できません」	● FOMAカードを読み込み中にFOMAカードに関係した操作をしようとしたときに表示されます。しばらくたってから操作し直してください。	－
「FOMAカード（UIM）を挿入してください」	● FOMAカードが正しく差し込まれていないか、破損している可能性があるときに表示されます。FOMAカードが正しく差し込まれているかご確認ください。	P.35
「ｉモード問い合わせがすべて無効に設定されています」	●「ｉモード問い合わせ設定」がすべて「問い合わせしない」に設定されているためｉモード問い合わせができません。 「ｉモード問い合わせ設定」で問い合わせる項目を指定してください。	P.244
「PIN1コードがロックされています」	● PIN1コードがロックされているときに、電源を入れると表示されます。◉を押すとPINロック解除コードを入力する画面が表示されますので、PINロック解除コードを正しく入力してロックを解除してください。	P.140
「PINロック解除コードがロックされています」	● PINロック解除コードがロックされているときに、電源を入れたりFOMAカードに関係した操作をしようとしたときに表示されます。ドコモショップ窓口までお問い合わせください。	P.139
「SSL通信が切断されました」	● SSL通信に対応したサイトやインターネットホームページに接続できなかったときに表示されます。再度接続し直してください。	－
「SSL通信が無効です」	● SSL通信の認証中にエラーが発生してSSL通信が切断されたときに表示されます。	－
「SSL通信が無効に設定されています」	●「証明書」の設定で「無効」にした証明書を受信したときに表示されます。証明書の内容を確認し、証明書を有効に設定してから再度接続し直してください。	P.198
「URLが長すぎて登録できません」	● URLが半角256文字を超えるため、ブックマークやホームURLへの登録ができません。	－
「URLに誤りがあります」	●「URL入力」や「ホームURL設定」のホームURL入力のとき、「http://」または「https://」以外ではじまるURLを入力したり、何も入力されていない状態で「OK」を選択したときに表示されます。URLを入力し直してください。	P.186 P.194
「応答がありませんでした（408）」	● サイトからの応答がなく、通信が中断されました。もう一度接続してください。	－
「おまかせロック中です」	● おまかせロックが設定されています。おまかせロック設定中は、音声電話／テレビ電話の着信、電源ON／OFFの操作を除き、すべてのボタン操作がロックされます。	P.142
「該当するデータはありません」	● 電話帳検索を行ったとき、検索条件を満たす電話帳が登録されていない場合に表示されます。	P.97
「画像に誤りがあり正しく動作しません」	● 画像データに誤りがあるため、Flash画像を表示できなくなったときに表示されます。	－
「切替できません」	● 音声通話中にテレビ電話に切り替えようとしたとき、相手側がパケット通信中（ｉモード含む）などの理由で切り替えできない場合に表示されます。相手側の状況を確認して再度切り替え操作を行ってください。	P.48

エラーメッセージ	説明／対処方法	参照ページ
「携帯電話/FOMAカード（UIM）の製造番号を送信します」	● サイトやインターネットホームページを閲覧中に表示されることがあります。「YES」を選択すると、携帯電話製造番号が送信されます。送信したくないときは「NO」を選択します。	P.183
「圏外です」	● サービスエリア外や電波が届かないところで、ｉモードのサービスを利用しようとしたときに表示されます。「 」が表示されるところまで移動してｉモードのサービスをご利用ください。	P.180
「このｉモーションは再生可能回数が終了しました」	● 再生回数が終了したｉモーションのデスクトップアイコンを選択して実行しようとしたときに表示されます。	−
「このｉモーションは再生期限が切れました」	● 再生期間または再生期限が終了したｉモーションのデスクトップアイコンを選択して実行しようとしたときに表示されます。	−
「このカードは認識できません」	● 本FOMA端末で使用できないFOMAカードが差し込まれている可能性があるときに表示されます。正しいFOMAカードが差し込まれているかご確認ください。	P.35
「このサイトとのSSL通信は無効です」	● 書き換えられたSSL証明書を受信したときに表示されます。このサイトとはSSL通信できません。	−
「このサイトの安全性が確認できません　接続しますか？」	● サポート外のSSL証明書を受信したときに表示されます。接続するときは「YES」を選択します。接続しないときには「NO」を選択します。	P.198
「このサイトは安全でない可能性があります　接続しますか？」	● 期限切れまたは有効期間前のSSLサーバ証明書を受信したときに表示されます。接続するときは「YES」を選択します。接続しないときには「NO」を選択します。 ● 「時計設定」が行われていない場合にSSL通信に対応したサイトやインターネットのホームページに接続しようとしたときに表示されます。「時計設定」を行ってください。	P.198 P.43
「このスケジュールは登録できません」	● すでに設定されている日付、時刻に対するスケジュールと同じ日付、時刻のスケジュールを赤外線またはケーブル接続で受信したときに表示されます。	−
「この接続先の安全性が確認できません　接続しますか？」	● 端末内のSSLルート証明書が期限切れの場合に表示されます。接続するときは「YES」を選択します。接続しないときには「NO」を選択します。 ● SSL通信に対応したサイトやインターネットホームページに接続中に、クライアント証明書の送付要求があったときに表示されます。	P.198 P.183
「この接続先は安全でない可能性があります　接続しますか？」	● SSL証明書のCN（名前）が一致しないときに表示されます。接続するときは「YES」を選択します。接続しないときには「NO」を選択します。	P.198
「このデータは再生できない可能性があります」	● MP4（Mobile MP4）形式以外のｉモーションを取得したときに表示されます。	−
「これ以上機能を起動できません」	● 機能を終了してから操作をしてください。	−
「サービス未契約です」	● ｉモードをご契約いただいていないため、ｉモードのサービスをご利用になれません。ｉモードをご利用になるにはお申し込みが必要です。 ● ｉモードを途中からご契約された場合は、FOMA端末の電源を一度切ってから、再度電源を入れ直してください。	−
「再生可能回数が終了しました　削除しますか？」	● 再生回数が終了したｉモーションを再生しようとしたときに表示されます。「YES」を選択すると、そのｉモーションは削除されます。	−
「再生可能期限が切れました　削除しますか？」	● 再生可能期限または再生可能期間が過ぎているｉモーションを再生しようとしたときに表示されます。「YES」を選択すると、そのｉモーションは削除されます。	−
「最大サイズを超えたので中断しました」	● サイト（ｉモード）やインターネットホームページで受信したデータが1ページの最大サイズを超えたため、受信を中断し、取得したところまでのデータを表示します。 ● メロディやダウンロード辞書、キャラ電などをダウンロード中に最大サイズを超えた場合に表示されます。	−
「最大サイズを超えています　受信できません（452）」	● 受信するデータが最大サイズを超えているため受信できない場合に表示されます。	−
「サイトが移動しました（301）」	● サイトが移動したため、URLが変更されています。ブックマークやデスクトップアイコン、ホームURLに登録されている場合は登録し直してください。	P.130 P.187 P.194

エラーメッセージ	説明／対処方法	参照ページ
「サイトに接続できませんでした(403)」	● 何らかの原因でサイトに接続できませんでした。もう一度接続してください。	－
「削除される添付ファイルがあります」	● 転送するｉモードメールに、メールへの添付やFOMA端末外への出力が禁止されているファイルが添付されています。●を押すと、メールへの添付やFOMA端末外への出力が禁止されているファイルが削除されます。	－
「作成可能サイズを超えるため一部削除されます」	● 宛先、題名、本文のいずれか、または複数のデータが最大サイズを超えているため、超えた部分が削除されて新規メール作成画面が表示されます。	－
「指定サイトがみつかりません(404)」	● サイトが見つかりませんでした。サイトが存在しない可能性があります。	－
「指定サイトに表示データがありません（204)」	● 接続したサイトなどに表示するデータがない場合に表示されます。	－
「指定したサイトへは接続できませんでした（504)」	● 何らかの原因でサイトに接続できませんでした。もう一度接続してください。	－
「指定の宛先には送信できません」	● 宛先に「,」が含まれているため送信できません。「,」を削除してください。 ● 受信したメールのメールアドレスが半角50文字を超えるため、メールを返信することができません。 ● 数字と「#」「¥」以外の文字およびスペースを含むためSMSを送信できません。数字または「#」「¥」以外の文字やスペースを削除してください。	－
「指定発信制限設定中です」	● 指定発信制限設定中に、禁止されている操作をしようとしたときに表示されます。	P.154
「しばらくお待ちください」	● 音声回線／パケット通信設備が故障、または音声回線ネットワーク／パケット通信ネットワークが非常に混み合っています。しばらくたってから音声電話やテレビ電話、ｉモードをご利用ください。なお、110番、119番、118番には電話をかけることができます。ただし、状況によりつながらない場合があります。	－
「しばらくお待ちください(パケット)」	● パケット通信設備が故障、またはパケット通信ネットワークが非常に混み合っています。しばらくしてから再度操作してください。	－
「上限額を超過しているため接続出来ません」	● リミット機能付料金プラン（タイプリミット、ファミリーワイドリミット）の上限額を超えています。	－
「すでに他の機能が起動中です起動できません」 「すでに他の機能が起動中です設定できません」	● ほかの機能が起動しているときに、利用できない操作をしようとしたときに表示されます。	－
(赤外線通信中に) 「接続相手が見つかりません　続けますか？」	● 接続相手を発見／認識できません。赤外線ポートを向かい合わせて置いてください。「YES」を選択し、●を押すともう一度やりなおすことができます。	P.277
「接続が中断されました」	● 電波が弱いため、ｉモードが中断されました。電波の強い場所に移動してからｉモードのサービスをご利用ください。 ● 電波が強く「 」マークが表示されているのにこのメッセージが表示される場合には、接続したサイトなどが非常に混み合っています。しばらくたってから接続してください。	P.180 －
「接続できません」	● 接続先の設定が正しくないときに表示されます。アプリケーション通信設定の「接続先選択」で接続先を正しく設定し直してください。 ● 何らかの原因でｉモードに接続できませんでした。もう一度接続してください。	P.194 －
「接続できませんでした」	●「発信者番号通知」を「通知する」に設定しておかけ直しください。	P.44
「設定時間内に接続できませんでした」	●「接続待ち時間設定」で設定した接続待ち時間となったため、サイトへの接続、メールの送信などが中断されました。しばらくたってからサイトへの接続やメール送信などを行ってください。	P.194
「送信できない宛先があります」	● 複数の宛先にｉモードメールを返信するときに、返信できない宛先がある場合に表示されます。	－
「ダウンロードできませんでした」	● メロディ、キャラ電、ダウンロード辞書をダウンロードしたときに、通信エラーが起きた場合やデータ不正の場合などに表示されます。	－

エラーメッセージ	説明／対処方法	参照ページ
「ただいま利用制限中の為しばらくしてからご利用下さい」	● ｉモードパケット定額サービスをご利用の場合、一定時間内に著しく大量のデータ通信があったときに表示されます。一定時間接続できなくなることがありますので、しばらくたってからｉモードをご利用ください。	－
「端末暗証番号が違います」 「端末暗証番号は4～8桁です」	● 端末暗証番号の入力が必要な機能で、端末暗証番号を間違えたときに表示されます。正しい端末暗証番号を入力してください。	P.139
「チャネル情報取得失敗のため表示できませんでした」	● お買い上げ後はじめてチャネル一覧画面を表示しようとしたとき、またはｉチャネルの接続先URLの変更、端末初期化、FOMAカードの差し替えの操作を行った後にチャネル一覧画面を表示しようとしたとき、ｉチャネルの情報が取得できなかった場合に表示されます。「 」が表示されるところまで移動して、もう一度チャネル一覧画面を表示してください。	P.204
「通話中です起動できません」 「通話中です操作できません」	● 通話中に行えない操作をしようとしたときに表示されます。	P.352
「データ取得できませんでした」	● 通信によりデータを取得しようとしたときに、データ不正や通信エラーが起きた場合などに表示されます。	－
「転送先番号を設定してください」	● 転送でんわサービスをご契約されていて、転送先が未設定の状態で着信中に機能メニューの「転送でんわ」を選択した場合に表示されます。	P.311
「添付ファイルが削除されます」	● 受信したｉモードメールを引用返信しようとしたときに、元のｉモードメールに添付ファイルがある場合に表示されます。また、転送するｉモードメールに、メールへの添付やFOMA端末外への出力が禁止されているファイルのみ添付されている場合にも表示されます。 を押すと、添付ファイルが削除されます。	－
「添付ファイルを登録できません」	● 赤外線通信、ケーブル接続の通信で登録できない添付ファイル付きメールを受信したときに表示されます。	－
「入力データまたはURLが長すぎます」	● テキストボックスなどで入力した文字やURLなどの文字数が多すぎて送信することができません。文字数を減らしてから送信し直してください。	P.184
「入力データをご確認ください(205)」	● サイトやインターネットホームページで入力を行い送信した後に表示されます。 を押すと入力した文字や設定が取り消されます（設定・入力した内容は送信されています。送信を取り消す操作ではありません）。	－
「認証タイプに未対応です(401)」	● 認証できないときに表示されます。 を押すと元のページに戻ります。	－
「認証を中止しました（401）」	● 認証画面で「Cancel」ボタンを押したときに表示されます。	－
「ネットワーク暗証番号が誤っています」	● ネットワーク暗証番号の入力が必要な機能で、ネットワーク暗証番号を間違えたときに表示されます。正しいネットワーク暗証番号を入力してください。	P.138
「パスワードをご確認ください(401)」	● 「認証」や「再認証」の画面で認証できないときに表示されます。もう一度認証するときは、「YES」を選択します。	－
「非対応データのため取得できません」	● ｉモーション以外のデータや非対応のｉモーションを取得しようとしたときに表示されます。	－
「編集中のため削除できません」	● 保存BOXに保存されているメールを編集中に、そのメールを削除しようとしたときに表示されます。	－
「本文編集できません」	● 添付したファイルが10,000バイト以上のため本文の編集ができません。	P.218
「無効なデータを受信しました」 「無効なデータを受信しました(XXX)」	● 受信したデータにエラーがあるため表示できません。受信したデータは破棄されます。なお、“XXX”にエラーの内容を示す番号が表示されることがあります。	－
「メモリ番号：XXX書き換えできません」	● シークレットモードまたはシークレット専用モードでないときに、シークレットデータのメモリ番号と同じ番号に電話帳を登録しようとしたときに表示されます。 ● オート表示に設定されている電話帳のメモリ番号と同じ番号に電話帳を登録しようとしたときに表示されます。 を押すと、再び電話帳編集画面に戻るので「 」を選択し、空いているメモリ番号を入力、または を押して自動登録を選択してから登録し直してください。	P.143 P.101
「メモリ不足です　ｉモードメニューに戻ります」	● メモリが不足したため処理を中断します。 を押すとｉモードメニューに戻ります。	－

エラーメッセージ	説明／対処方法	参照ページ
「メモリ不足です　終了します」	● メモリが不足したため処理を中断します。ｉモードメール作成時の場合、文字の種類の組み合わせなどによっては全角で5,000文字まで入力できないことがあります。	−
「メモリ不足です　メール作成画面に戻り　再編集してください」	● デコメールには最大10件の画像を挿入できますが､操作によっては画像を10件挿入できないことがあり、その場合に表示されます。「YES」を選択するとメール本文入力画面は終了します。	−
「文字数オーバーのため冒頭文／署名を貼り付けできません」	● ｉモードメール転送時に、冒頭文／署名を貼り付けると全角で5,000文字を超えてしまうため、冒頭文／署名が自動貼り付けされなかったときに表示されます。	−
「文字数がオーバーします作成可能サイズまで本文を削除してください」	● 引用返信するｉモードメールの本文と引用符の合計が全角で5,000文字を超えるため全角で5,000文字以下になるまで本文を削除してください。	−
「文字数がオーバーするため署名を貼り付けできません」	● 本文と署名の合計が全角で5,000文字を超えるため貼り付けできません。	−
「文字数がオーバーするため冒頭文を貼り付けできません」	● 本文と冒頭文の合計が全角で5,000文字を超えるため貼り付けできません。	−
「ユーザ証明書がありません　継続しますか？」	● ユーザ証明書がダウンロードされていません。「YES」を選択することでサイトを表示することができますがサイトによっては継続できないことがあります。	P.199
「ユーザ証明書の有効期限が切れています　継続しますか？」	● サイトからユーザ証明書が要求されましたが有効期限が切れています。「YES」を選択することで継続できる場合がありますが、新しくユーザ証明書をダウンロードすることをおすすめします。	P.199
「ユーザ証明書を送信します　よろしいですか？」	● サイトからユーザ証明書が要求されました。ユーザ証明書を送付する場合は「YES」を、しない場合は「NO」を選択してください。	−
「容量不足です　移動できません」	● シークレットフォルダのデータを出し入れした場合、移動先のフォルダの容量がいっぱいのときに表示されます。保存先のデータを消去してから移動し直してください。	P.145

おしらせ

◆ 送信される「携帯電話／FOMAカード（UIM）の製造番号」は、IP（情報サービス提供者）がお客様を識別し、お客様にカスタマイズした情報を提供したり、IP（情報サービス提供者）の提供するコンテンツが、お客様の携帯電話で使用できるかどうかを判定するために用いられます。
◆ 送信するお客様の「携帯電話／FOMAカード（UIM）の製造番号」は、インターネットを経由してIP（情報サービス提供者）に送信されるため場合によっては第三者に知得されることがあります。なお、この操作によりご使用の電話番号、お客様の住所や年齢、性別が、IP（情報サービス提供者）等に通知されることはありません。

保証とアフターサービス

保証について

- FOMA端末をお買い上げいただくと、保証書が付いていますので、必ずお受け取りください。記載内容および「販売店名・お買い上げ日」などの記載事項をお確かめの上、大切に保管してください。必要事項が記載されていない場合は、すぐにお買い上げいただいた販売店へお申しつけください。無償保証期間は、お買い上げ日より1年間です。
- この製品は付属品を含め、改良のため予告なく製品の全部または一部を変更することがありますので、あらかじめご了承ください。
- FOMA端末の故障・修理やその他取扱いによって電話帳などに登録された内容が変化・消失する場合があります。万が一に備え、電話帳などの内容はメモなどに控えをお取りくださるようお願いします。また、FOMA端末の修理等を行った場合、ｉモードにてダウンロードした情報は、一部を除き著作権法により修理済みのFOMA端末などに移行を行っておりません。
  - ※ 本FOMA端末は電話帳お預かりサービス（お申し込みが必要な有料サービス）をご利用いただくことにより、電話帳などのデータをお預かりセンターに保存していただくことができます。
  - ※ パソコン（Windows 2000、Windows XP）をお持ちの場合は、専用のドコモケータイdatalink（P.322）とFOMA USB接続ケーブル（別売）をご利用いただくことにより、電話帳などに登録された内容をパソコンに転送・保管していただくことができます。

アフターサービスについて

● 調子が悪い場合は

修理を依頼される前に、この取扱説明書の「故障かな？と思ったら、まずチェック」をご覧になってお調べください。
それでも調子がよくないときは、取扱説明書裏面・故障お問い合わせ先にご連絡の上、ご相談ください。

● お問い合わせの結果、修理が必要な場合

ドコモ指定の故障取扱窓口にご持参いただきます。ただし、故障取扱窓口の営業時間内の受付となります。また、ご来店時には必ず保証書をご持参ください。

■保証期間内は

- 保証書の規定に基づき無償で修理を行います。
- 故障修理を実施の際は、必ず保証書をお持ちください。保証期間内であっても保証書の提示がないもの、お客様のお取扱い不良による故障・損傷等は有償修理となります。
- ドコモの指定以外の機器および消耗品の使用に起因する故障は、保証期間内であっても有償修理となります。

■以下の場合は、修理できないことがあります

水濡れシールが反応している場合、試験の結果、水濡れ・結露・汗等による腐食が発見された場合、および内部の基板が破損・変形している場合は修理できないことがありますので、あらかじめご了承願います。なお、修理を実施できる場合でも保証対象外ですので有償修理となります。

■保証期間が過ぎたときは

ご要望により有償修理いたします。

■部品の保有期間は

FOMA端末の補修用性能部品（機能を維持するために必要な部品）の最低保有期間は、製造打切り後6年間を基本としております。ただし、故障箇所によっては修理部品の不足などにより修理ができない場合もございますので、あらかじめご了承ください。また、保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能なことがありますので、取扱説明書裏面・故障お問い合わせ先へお問い合わせください。

次ページにつづく

■お願い

- FOMA端末および付属品の改造はおやめください。
  - 火災・けが・故障の原因となります。
  - FOMA端末・FOMAカードは、電波の混信やネットワークの故障を防ぐため、法律により技術基準が定められており、技術基準を満たさないFOMA端末・FOMAカードは使用できません。
  - 改造（部品の交換・改造・塗装等）が施されたFOMA端末の故障修理は、改造部分を元の状態（ドコモ純正品状態）に戻していただいた場合のみ、故障修理のお取扱いをさせていただきます。ただし、改造の内容によっては、故障修理をお断りする場合があります。
  - 改造が原因による故障・損傷の場合は、保証期間内であっても有償修理となります。
- FOMA端末に貼付されている銘板シールは、はがさないでください。
  銘板シールには、技術基準を満たす証明書の役割があり、銘板シールが故意にはがされたり、貼り替えられた場合など、銘板シールの内容が確認できないときは、技術基準適合の判断ができないため、故障修理をお受けできない場合がありますので、ご注意願います。
- 各種機能の設定や積算通話時間などの情報は、FOMA端末の故障・修理やその他取扱いによってクリア（リセット）される場合があります。お手数をおかけしますが、この場合は再度設定を行ってくださるようお願いいたします。
- FOMA端末の下記の箇所に磁気を発生する部品を使用しています。キャッシュカードなど、磁気の影響を受けやすいものを近づけますとカードが使えなくなることがありますので、ご注意ください。
  使用箇所：スピーカ、受話口部
- FOMA端末が濡れたり湿気を帯びてしまった場合は、すぐに電源を切って電池パックを外し、お早めに故障取扱窓口へご来店ください。ただし、FOMA端末の状態によって修理できないことがあります。

メモリダイヤル（電話帳機能）およびダウンロード情報などについて

- お客様ご自身でFOMA端末等に登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いいたします。情報内容の変化、消失に関し、当社は何らの義務を負わないものとし、一切の責任を負いかねます。
- FOMA端末を機種変更や故障修理をする際に、お客様が作成されたデータまたは外部から取り込まれたデータあるいはダウンロードされたデータ等が変化・消失等する場合があります。これらについて当社は一切の責任を負いません。また、当社の都合によりお客様のFOMA端末を代替品と交換することにより修理に代えさせていただく場合がありますが、その際にはこれらのデータ等は一部を除き交換後の製品に移し替えることはできません。FOMA端末はｉモード公式サイトからダウンロードした画像・着信メロディを故障修理時に移し替えます。（一部移し替えできないコンテンツもあります。また故障の程度によっては移し替えできない場合があります。）

〈ソフトウェア更新〉

ソフトウェアを更新する

FOMA端末のソフトウェアを更新する必要があるかどうかチェックし、必要な場合にはパケット通信を使ってソフトウェアの一部をダウンロードし、ソフトウェアを更新してください。
ソフトウェアの更新が必要な場合は、ドコモホームページおよびｉMenuの「お知らせ」でご案内いたします。

- ソフトウェア更新のパケット通信料は無料となります。
- 更新方法には「即時更新」と「予約更新」の2種類があります。
  即時更新：更新したいときすぐに更新を行います。
  予約更新：更新したい日時を予約すると、予約した日時に自動的にソフトウェアが更新されます。
- ｉモード接続先をユーザ接続先に設定している場合もソフトウェア更新を行うことができます。
- ソフトウェア更新（ダウンロード、書換え）には時間がかかることがあります。
- ソフトウェア更新の際にはサーバ（当社が管理するソフトウェア更新用サーバ）へSSL通信を行います。あらかじめ証明書を有効にしておいてください（お買い上げ時：有効。設定方法は→P.198）。
- ソフトウェア更新を行う際は、電池をフル充電しておいてください。
- ソフトウェア更新は電波が強く、アンテナマークが3本表示されている状態で、移動せずに実行することをおすすめします。
  ※ソフトウェアダウンロード中に電波状態が悪くなったり、ダウンロードが中止された場合は、再度電波状態の良い場所でソフトウェア更新を行ってください。
- 「PIN1コード入力設定」を「ON」に設定している場合にソフトウェア更新を実行すると、ソフトウェア書換え終了後の自動再起動時に、PIN1コードの入力画面が表示されます。正しいPIN1コードを入力しないと、電話の発信、着信、各種通信機能の操作ができません。

● 以下の場合はソフトウェアを更新できません。

- FOMAカードの未挿入
- FOMAカードの不正
- PINロック中
- PINロック解除コードロック中
- 日付・時刻の未設定
- 着信中
- メール／SMS／メッセージ受信中
- 音声通話中
- テレビ電話中
- ｉモード通信中
- 64Kデータ通信中
- パケット通信中
- ダイヤルロック設定中／おまかせロック設定中
- セルフモード設定中
- オリジナルロック設定中
- キー操作ロック中
- 圏外
- パケット発信規制中
- デュアルネットワークサービスでmova端末利用中
- その他機能を利用中

● ソフトウェア更新中は、電話の発信、着信、各種通信機能および、その他の機能を利用することはできません。ただし、ダウンロード中に音声電話を受けることはできます。

● すでにソフトウェア更新済みの場合は、ソフトウェア更新のチェックを行った際に「更新は必要ありません このままご利用ください」と表示されます。

● ソフトウェア更新後、表示されていたｉモードセンター蓄積状態表示のアイコンは消えます。また、メール選択受信を「ON」に設定してある場合、ソフトウェア更新中にメールが届くと、ソフトウェア更新後にメールがあることを通知する画面が表示されないことがあります。

● ソフトウェア更新の際、お客様の携帯電話端末固有の情報（機種や製造番号など）が、自動的にサーバ（当社が管理するソフトウェア更新用サーバ）に送信されます。当社は送信された情報を、ソフトウェア更新以外の目的には利用いたしません。

● ソフトウェア更新は、携帯電話に登録された電話帳、カメラ画像、ダウンロードデータなどのデータを残したまま行うことができますが、お客様の携帯電話の状態（故障・破損・水濡れ等）によってはデータの保護ができない場合がありますので、あらかじめご了承願います。

● 必要なデータはバックアップを取っていただくことをおすすめします（ダウンロードデータなどバックアップが取れないデータがありますので、あらかじめご了承願います）。

● ソフトウェア更新に失敗した場合、「書換え失敗しました」と表示され、一切の操作ができなくなります。その場合には、大変お手数ですがドコモ指定の故障取扱窓口までお越しいただきますようお願い申し上げます。

おしらせ

◆ ソフトウェア更新中は絶対に電池パックを外さないでください。更新に失敗することがあります。

◆ お客様の確認操作なしでソフトウェアの更新が終了すると、待受画面に「更新」（ソフトウェア更新完了）のデスクトップアイコンが表示されます。「更新」を選択して端末暗証番号を入力すると、更新結果の内容が表示されます。

ソフトウェア更新が必要かチェックする

1 MENU▶「各種設定」▶「その他」▶「ソフトウェア更新」▶端末暗証番号を入力

2 注意事項を確認▶ソフトウェア更新が必要かチェック

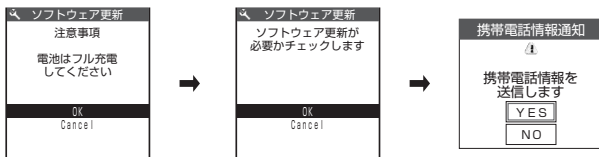
このとき、携帯電話端末固有の情報をサーバに送信する必要があります。

ソフトウェア更新
注意事項
電池はフル充電してください
OK
Cancel

➡

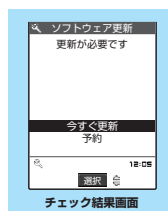
ソフトウェア更新
ソフトウェア更新が必要かチェックします
OK
Cancel

➡

携帯電話情報通知
携帯電話情報を送信します
YES
NO

3 チェックの結果が表示される

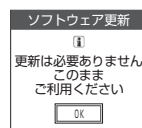
■「更新が必要です」と表示された場合

▶「今すぐ更新」または「予約」

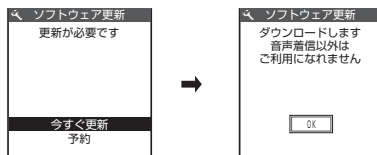
すぐにソフトウェアを更新する場合は「今すぐ更新」を選択します。→P.366
ソフトウェアを更新する日時を予約して後から更新する場合は「予約」を選択します。→P.367

チェック結果画面

■「更新は必要ありません」と表示された場合

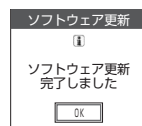
▶

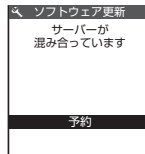
ソフトウェア更新の必要はありませんので、そのままFOMA端末をご使用ください。

すぐにソフトウェアを更新する〈即時更新〉

1 「チェック結果画面」(P.366)▶「今すぐ更新」▶「ダウンロードします」と表示されたら

すぐにソフトウェアのダウンロードを開始します。
を押さなくても、しばらくするとダウンロードが開始されます。

2 ダウンロードが終了し「ダウンロードしました　ソフトウェアを書換えます」と表示されたら

ソフトウェアの更新を開始します。
を押さなくても、しばらくすると書換えが開始されます。書換えを開始するまでにしばらく時間がかかる場合があります。

ソフトウェアの書換え中はすべてのボタン操作が無効となります。書換えを中止することもできません。
ソフトウェアの書換えが完了すると、自動的に再起動します。
再起動後、自動的にサーバに接続し、更新完了のチェックを行います。「ソフトウェア更新完了しました」と表示されたらを押します。これでソフトウェアの更新は終了です。

おしらせ

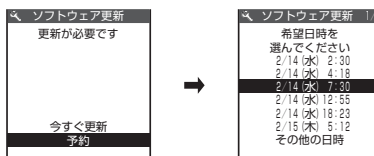
- ◆ ダウンロードの途中で中止すると、それまでダウンロードされたデータは削除されます。
- ◆ ダウンロードを開始すると、あとはメニューなどを選択しなくても自動的に更新処理を実行します。
- ◆ サーバが混み合っている場合は、右の画面が表示される場合があります。
  その場合は、「予約」を選択し、予約更新を行ってください。

日時を予約してソフトウェアを更新する〈予約更新〉

ダウンロードに時間がかかる場合やサーバが混み合っている場合は、あらかじめソフトウェア更新を実行する日時をサーバと通信して予約しておくことができます。

<例：2月14日（水）7：30に予約する場合>

1 「チェック結果画面」（P.366）▶「予約」▶希望日時を選択

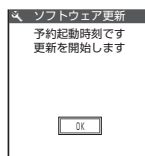
■ 希望する日時が見つからない場合

▶「その他の日時」→P.368

2 選択した日時を確認▶「YES」

これでソフトウェア更新の予約は完了です。

■ 希望日時を選択し直す場合

▶「NO」

予約時刻になると右の画面が表示され、FOMA端末は自動的にソフトウェアの更新を開始します。予約時刻前には、電池パックをフル充電し、電波の十分届く場所でFOMA端末を待受状態にしておいてください。以降の動作は「すぐにソフトウェアを更新する<即時更新>」（P.366）と同じです。

おしらせ

- ◆ 予約更新の希望日時には、サーバの時刻が表示されます。
- ◆ ソフトウェア更新の予約時刻とアラーム通知の時刻が同じ場合は、ソフトウェア更新が優先されます。
- ◆ ほかの機能を使用していると予約時刻になっても起動しないことがあるのでご注意ください。
- ◆ 通話中、着信中やメールなどを受信しているときに予約時刻になった場合は、通話終了後やメール受信後にソフトウェア更新を起動します。
- ◆ 予約が完了した後に「端末初期化」（P.305）を行うと、予約時刻になってもソフトウェア更新は起動しません。再度ソフトウェア更新の予約を行ってください。

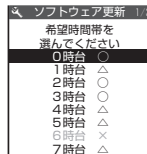
●「その他の日時」を選択した場合

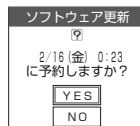
P.367の希望日時の選択画面で「その他の日時」を選択すると、希望日と時間帯を選択することができます。

1 希望日を選択

希望日の選択画面には各希望日の予約空き状況が以下のように表示されます。
○　：空きあり
△　：空きわずか
無印：空きなし

2 時間帯を選択

時間帯の選択画面には各時間帯の予約空き状況が以下のように表示されます。
○：空きあり
△：空きわずか
×：空きなし
希望する時間帯を選択すると、再度サーバと通信して予約時刻の候補が表示されます。

3 ソフトウェア更新の希望日時を選択

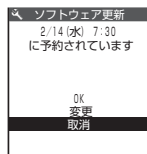
選択した日時を確認して「YES」を選択すると、再度サーバと通信します。
これでソフトウェア更新の予約は完了です。

● 予約を確認する

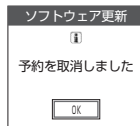
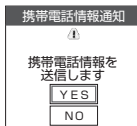
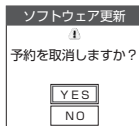
＜例：予約を確認した後、予約を取り消す場合＞

1 MENU▶「各種設定」▶「その他」▶「ソフトウェア更新」▶端末暗証番号を入力

2 「取消」

■ 予約した日時でよい場合
▶「OK」

■ 予約した日時を変更する場合
▶「変更」
携帯電話端末固有の情報をサーバに送信した後、「その他の日時」を選択したときと同じ操作を行ってください。→P.368

3 「予約を取消しますか？」と表示されたら「YES」

このとき携帯電話端末固有の情報をサーバに送信します。
なお、当社に送信されたお客様の携帯電話端末固有の情報（機種や製造番号）を第三者に公表・転用することはありません。
「予約を取消しました」と表示されたら、●を押します。これで予約の取り消しは完了です。

障害を引き起こすデータからFOMA端末を守る

まずはじめに、パターンデータの更新を行い、パターンデータを最新にしてください。

サイトからのダウンロードやｉモードメールなど外部からFOMA端末に取り込んだデータやプログラムについて、データを検知して、障害を引き起こす可能性を含むデータの削除やアプリケーションの起動を中止します。
- チェックのためにパターンデータを使います。パターンデータは新たな問題が発見された場合に随時バージョンアップされますので、パターンデータを更新してください。→P.369
- スキャン機能は、サイトやインターネットホームページの閲覧やメール受信などの際に携帯電話に何らかの障害を引き起こすデータの侵入から一定の防衛手段を提供する機能です。各障害に対応したパターンデータが携帯電話にダウンロードされていない場合、または各障害に対応したパターンデータが存在しない場合、本機能にて障害等の発生を防ぐことができませんのであらかじめご了承ください。
- パターンデータは携帯電話の機種ごとにデータの内容が異なります。よって弊社の都合により端末発売開始後３年を経過した機種向けパターンデータの配信は、停止することがありますのであらかじめご了承ください。
- FOMA端末の日付（年月日）を正しく設定しておいてください。
- 自動更新設定、パターンデータ更新の際、お客様の携帯電話端末固有の情報（機種や製造番号など）が、自動的にサーバ（当社が管理するスキャン機能用サーバ）に送信されます。当社は送信された情報を、スキャン機能以外の目的には利用いたしません。
- パターンデータの更新中に音声電話がかかってきたり、圏外になったりしたときにはパターンデータの更新が中断されます。

スキャン機能を設定する〈スキャン機能設定〉

お買い上げ時 ON

スキャン機能を「ON」に設定すると、データやプログラムを実行する際、自動的にチェックします。

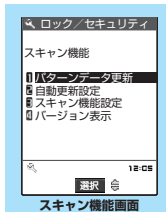
1 MENU ▶「各種設定」▶「ロック／セキュリティ」▶「スキャン機能」

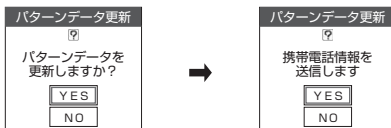
「スキャン機能画面」が表示されます。

スキャン機能画面

2 「スキャン機能設定」▶「ON」

■ 設定を変更するかどうかのメッセージが表示された場合
▶「YES」

※スキャン機能を設定すると、障害を引き起こすデータを検出した場合に、5段階の警告レベルで表示されます。→P.370

パターンデータを更新する〈パターンデータ更新〉

1 「スキャン機能画面」(P.369)▶「パターンデータ更新」▶「YES」▶「YES」

※パターンデータ更新が必要ないときは「パターンデータは最新です」と表示されます。そのままお使いください。

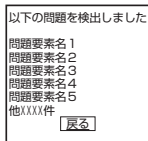
おしらせ

◆ 更新情報がネットワークから通知された場合、ほかの機能が起動しているときや、ｉモード中、パケット通信中、ダイヤルロック中、オリジナルロック中のときはパターンデータを自動更新できません。

自動でパターンデータを更新する〈自動更新設定〉

1 「スキャン機能画面」(P.369) ▶「自動更新設定」▶「有効」▶「YES」▶「YES」

スキャン結果の表示について

■ スキャンされた問題要素の表示について

スキャン機能で検出された問題要素の名前の一覧がレベルの高いものから順に5件まで表示されます。問題要素が6件以上検出された場合は、6件目以降の問題要素名は省略されます。
問題要素名が省略された残りの件数（6件目以降の件数）は次のように表示されます。
1～9998件の場合：件数がそのまま表示されます。
9999件以上の場合：すべて「他9999件」と表示されます。

■ スキャン結果の表示について

警告レベル0	警告レベル1	警告レベル2	警告レベル3	警告レベル4
正常に動作できない場合があります	正常に動作できない場合があります動作を中止しますか?	正常に動作できない場合があるため終了します	正常に動作できない場合がありますデータを削除しますか?	正常に動作できないためデータを削除します
[確定]･･･動作を継続します。	[中止]･･･動作を中止し、終了します。 [継続]･･･動作を継続します。	[確定]･･･動作を中止し、終了します。	[削除]･･･データを削除し、終了します。 [戻る]･･･動作を中止し、終了します。	[確定]･･･データを削除し、終了します。

パターンデータのバージョンを確認する〈バージョン表示〉

1 「スキャン機能画面」（P.369）▶「バージョン表示」

主な仕様

項目			仕様
品名			FOMA N601i
サイズ			高さ92mm×幅44mm×厚さ18mm（折り畳み時）
質量			約88g（電池パック装着時）
液晶部	方式		ディスプレイ（正面）：TFT液晶　65,536色
	サイズ		ディスプレイ（正面）：約2.1inch
	画素数		ディスプレイ（正面）：240×345ドット
連続待受時間			静止時：約700時間　　移動時：約520時間
連続通話時間			音声電話：約210分　　テレビ電話：約140分
最大出力			0.25W
電池パック種別			リチウムイオン電池
電源電圧			3.8V
電池容量			830mAh
充電時間			ACアダプタ／DCアダプタ：約120分
撮像素子	種類		内側カメラ：CMOS　　外側カメラ：CMOS
	サイズ		内側カメラ：1/8inch　　外側カメラ：1/8inch
カメラ部	有効画素数		内側カメラ：約33万画素　　外側カメラ：約33万画素
	記録画素数（最大時）		内側カメラ：約31万画素　　外側カメラ：約31万画素
	ズーム（デジタル）		内側カメラ：最大約2倍　　外側カメラ：最大約2倍
記録部	静止画	撮影サイズ	VGA（横640×縦480ドット）　CIF（横352×縦288ドット） フルスクリーン（横240×縦345ドット）　待受（横240×縦320ドット） QCIF（横176×縦144ドット）　SubQCIF（横128×縦96ドット）
		ファイル形式	JPEG
	動画	動画記録サイズ	QCIF（横176×縦144ドット） SubQCIF（横128×縦96ドット）
		動画ファイル形式	MP4
		フレームレート	最大15fps

- 連続通話時間とは、電波を正常に送受信できる状態で通話に使用できる時間の目安です。
- 連続待受時間とはFOMA端末を折り畳み、電波を正常に受信できる状態での時間の目安です。なお、電池の充電状態、機能設定状況、気温などの使用環境、利用場所の電波状態（電波が届かないか、弱い場合等）などにより、通話・待受時間は約半分程度になることがあります。ｉモード通信を行うと通話（通信）・待受時間は短くなります。また通話やｉモード通信をしなくても、ｉモードメールを作成したりすると、通話（通信）・待受時間は短くなります。
- 静止時の連続待受時間とは、FOMA端末を折り畳み、電波を正常に受信できる静止状態での平均的な利用時間です。
- 移動時の連続待受時間とは、FOMA端末を折り畳み、電波を正常に受信できるエリア内で「静止」「移動」と「圏外」を組み合わせた状態での平均的な利用時間です。
- データ通信やマルチアクセスを実行したとき、カメラを使用したときも、通話（通信）時間・待受時間は短くなります。

FOMA端末の保存・登録・保護件数

種別		保存・登録可能件数	保護可能件数
電話帳		最大700※1	－
スケジュール	スケジュール	100	－
	休日	100	－
	記念日	100	－
ToDo		100	－
メール （SMSとｉモードメールの合計）	受信メール	最大1,000※2※3※4	最大500※2
	送信メール	最大400※2※3※4	最大200※2
	保存メール	20	－
デコメールのテンプレート		45※5	－
メッセージ	メッセージR	最大100※2	最大50※2
	メッセージF	最大100※2	最大50※2
ブックマーク	ｉモード	100※6	－
画面メモ		最大100※2	最大50※2
静止画		最大260※2※4	－
動画／ｉモーション		最大100※2※6	－
キャラ電		10※5	－
メロディ		最大200※2	－

※1：50件までFOMAカードに保存できます。
※2：データ量によって実際に保存・登録できる件数が少なくなる場合があります。
※3：SMSの場合は、さらに受信メールと送信メールを合わせて20件までFOMAカードに保存できます。→P.252
※4：シークレットフォルダには別途最大100件保存できます。
※5：お買い上げ時に登録されているデータを含みます。
※6：シークレットフォルダには別途最大10件保存・登録できます。

■お願い
- 登録したデータの内容は、別にメモを取るなどして保管することをおすすめします。パソコンをお持ちの場合は、ドコモケータイdatalink（P.322）とFOMA USB接続ケーブル（別売）を利用してパソコンに転送して保管することもできます。
- FOMA端末の故障・修理やその他の取扱いによって、登録したデータが消失する場合があります。当社としては責任を負いかねますので、万一に備え登録したデータは、別にメモを取ったり、ドコモケータイdatalinkを利用してパソコンに保管くださるようお願いします。

携帯電話機の比吸収率などについて

携帯電話機の比吸収率（SAR）について

この機種FOMA N601iの携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準に適合しています。この技術基準は、人体頭部のそばで使用する携帯電話機などの無線機器から送出される電波が人間の健康に影響を及ぼさないよう、科学的根拠に基づいて定められたものであり、人体側頭部に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率（SAR:Specific Absorption Rate）について、これが2W/kg※の許容値を超えないこととしています。この許容値は、使用者の年齢や身体の大きさに関係なく十分な安全率を含んでおり、世界保健機関（WHO）と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会（ICNIRP）が示した国際的なガイドラインと同じ値になっています。

すべての機種の携帯電話機は、発売開始前に、電波法に基づき国の技術基準に適合していることの確認を受ける必要があります。この携帯電話機FOMA N601iのSARの値は1.54W/kgです。この値は、財団法人テレコムエンジニアリングセンターによって取得されたものであり、国が定めた方法に従い、携帯電話機の送信電力を最大にして測定された最大の値です。個々の製品によってSARに多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満足しています。また、携帯電話機は、携帯電話基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通話している状態では、通常SARはより小さい値となります。

SARについて、さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、下記のホームページをご参照ください。

総務省のホームページ http://www.tele.soumu.go.jp/j/ele/index.htm

社団法人電波産業会のホームページ http://www.arib-emf.org/index.html

ドコモのホームページ http://www.nttdocomo.co.jp/product/

NECのホームページ http://www.n-keitai.com/lineup/

※： 技術基準については、電波法関連省令（無線設備規則14条の2）で規定されています。

索引

索引の引きかた

● 本索引は「五十音目次」としての機能もあわせ持っています。本書に記載されている用語だけでなく、記載内容を要約した用語も収録しています。知りたい事項が収録されていない場合は、別のキーワードで探してください。

<例：キャラ電をダウンロードしたいとき>

キャラ電 83, 271
　アクション 271
　画像表示設定 272
　キャラ電一覧の見かた 271
　削除 272
　操作 271
　ダウンロード 192
　表示 271

ダウンロード（取得）
　画像 190
　キャラ電 192
　データファイル 192
　メロディ 191
　ユーザ証明書 199
　ｉモーション 201

● 「五十音／英字／数字」索引の後に「機能メニュー」索引を収録しています。機能メニュー（P.33）の項目説明をご覧になりたいときにご利用ください。

五十音／英字／数字

ア

アイコン 27
　画像種別 255
　カメラ撮影画面 165
　感情お知らせメール 223
　着信履歴 63
　ディスプレイ 27
　デスクトップアイコン 130
　テレビ電話 76
　発着信識別機能 106
　待受画面の表示アイコン 132
　メール 229, 230
　メッセージR/F 196
　メロディ 273
　リダイヤル／発信履歴 53
アドレス一覧 241
アフターサービス 363
アフレコ編集 269
アラーム 285
　確認 287
　通知の動作 285
　とめる 286
アラーム機能 287
アラーム通知設定 285
暗証番号
　端末暗証番号 138
　ネットワーク暗証番号 138
　ｉモードパスワード 138, 186
　PIN1コード・PIN2コード 138
あんしん設定
　カテゴリー一覧／グループ一覧画面
　.. 151
　機能一覧画面 151
安全上のご注意 12
移動
　SMS（FOMAカードへ）.......... 252
　SMS（FOMA端末へ）.............. 252
イメージ編集 261
　明るさ 262
　回転 262
　逆光補正 262
　サイズ変更 262
　トリミング 263
　肌色補正 262
　フォトレタッチ 262
　フレーム合成 262
　マーカースタンプ 262
　文字スタンプ 263
　4枚画像合成 260
イヤホン接続時マイク切替 303
イヤホンマイク 301
インターネット接続 186
インターネットホームページ 186
ウェイクアップ表示 120
上書きモード 330
英語ガイダンス 313
絵文字一覧 350
絵文字記号連続入力 331
絵文字入力 330
エラーメッセージ一覧 358
遠隔監視設定 88
遠隔操作設定 315
お預かりセンター 158
応答保留 66
オート着信 303
オート表示 108
おしゃべり機能 296
オプション品 22, 353
おまかせデコメール 216
おまかせロック 141
オリジナルマナー 118
オリジナルメニュー 33, 126, 127
オリジナルメニュー登録 126
オリジナルロック 147
音声自動再発信（テレビ電話）......... 84
音声電話／テレビ電話切替 48, 81
音声メモ 73, 295
音量調節
　受話音量 65
　着信音量 65

カ

解除
　オリジナルロック 147
　画面メモ保護 189, 190
　公共モード（電源OFF）.............. 68
　公共モード（ドライブモード）..... 67
　シークレット専用モード 144
　シークレットデータ 145
　シークレットモード 143
　指定着信許可 154
　指定着信拒否 154
　指定転送でんわ 154
　指定発信制限 154
　指定留守番電話 154
　受信メール保護 236, 239
　セルフモード 158
　送信メール保護 238, 240
　ダイヤルロック 142
　電話帳指定設定 154
　発着信識別機能・グループ識別機能 105
　マナーモード 117
　メールセキュリティ設定 153
　メッセージR/F保護 197, 198

PINロック 140
外部ボタン操作 153
顔文字一覧 350
顔文字入力 330
学習履歴クリア 335
拡大もじ
......99, 129, 193, 232, 294, 325
確認機能設定 70
各部の名称と機能 24
画像
お預かりセンターに保存 258
画像編集→「イメージ編集」を参照
削除 257, 258
自作アニメ 260
タイトル名一覧の見かた 255
ピクチャー覧の見かた 255
ピクチャ表示設定 256
表示 184, 255
フォルダ移動 257
フォルダ削除 276
フォルダ追加 276
複数選択 276
保存容量確認 257
画像選択（テレビ電話） 84
画像表示設定 193
画像保存 190
カメラ 161
明るさ調節 168
内側カメラ 162
画像サイズ 162
撮影画面の見かた 165
撮影メニュー 166
撮影モード選択 174
色調切替 174
ズーム 176
静止画撮影 168
セルフタイマー 177
外側カメラ 162
動画撮影 173
登録可能件数（静止画） 163
登録可能件数（動画） 163
ホワイトバランス設定 174
画面切り替え 336
画面デザイン 124
画面の見かた 27
キャラ電一覧 271
撮影画面（カメラ） 165
テレビ電話画面 76
フォルダ一覧画面（メール） 228
メール一覧画面 229
メール詳細画面 230
メッセージR/F画面 196
文字入力（編集）画面 324
画面表示設定 119
画面メモ 189
画像保存 190
削除 189, 190
タイトル編集 189, 190
電話帳登録 190
表示 189
保護／保護解除 189, 190
保存 189
保存件数確認 189
カレンダー 121
感情お知らせメール 223
関連機器 353
キー操作ロック 152
記号・特殊文字一覧 349
記号入力 330
機能メニュー 33
キャッチホン 309
キャラ電 83, 271
アクション 271
画像表示設定 272
キャラ電一覧の見かた 271
削除 272
操作 271
ダウンロード 192
表示 271
保存容量確認 272
クイック伝言メモ 73
クイックマニュアル 396
区点入力 334
グループ識別機能 105
グループ設定 96
クローズ動作設定 62
携帯電話製造番号 183
ケーブル接続（データ転送） 277
効果音設定（ｉモード） 194
公共モード（電源OFF） 68
公共モード（ドライブモード） 67
国際ダイヤル設定 56
国際電話 55
故障かな？と思ったら 355
個人データ登録・表示 294
コピー
電話帳 102
文字 334
SMS 252

サ

サービスダイヤル 313
再生
おしゃべり機能 296
音声メモ 73
伝言メモ 73
動画メモ 74
メロディ 273
ｉモーション 263
再接続機能 58
サイト（番組）接続
サイトを表示 181
再読み込み 185
削除
画像 257, 258
画面メモ 189, 190
キャラ電 272
受信メール 237, 240
送信メール 238, 240
着信履歴 64
デスクトップアイコン 131
電話帳 102
動画 265
発信履歴 52
ブックマーク 188
保存メール 220
メッセージR/F 198
メロディ 274
文字 331
リダイヤル 52
SMS 250
URL 187
撮影
静止画 168
チャンスキャプチャ 175
動画 173
ピクチャボイス 175
フレーム撮影 172
連続撮影 170
撮影モード選択 174
サブアドレス設定 58
シークレット専用モード 143, 144
シークレットフォルダ 145
シークレットモード 143
時間内不在着信表示 157
色調切替（カメラ） 174
時刻アラーム音設定 115
自作アニメ 260
指定着信許可 154
指定着信拒否 154
指定転送でんわ 154
指定発信制限 154
指定留守番電話 154
辞典 300
自動更新設定（スキャン機能） 369
自動発信設定 302
自分の電話番号 44
車載ハンズフリー 59
充電確認音 115
充電のしかた 40
受信アドレス一覧 241
受信表示設定 242
受信BOX（メール） 210, 228
受話音量 65
消去
おしゃべり機能 296
音声メモ 73
着信音量 65
伝言メモ 73
動画メモ 74
肖像権 20
省電力モード 123
商標 20
証明書 198
証明書センター接続設定 200
証明書発行接続先 200
照明設定 123

初期化→「リセット」を参照
初期設定 43
新規メール作成 211
振動（バイブレータ） 114
シンプルメニュー 32
スイッチ付イヤホンマイク 301
スーパーサイレント 118
ズーム調節 176
スキャン機能 369
スクロール機能
　i モード 183
スクロール設定
　メール 242
　i モード 193
スケジュール 122, 288
　表示を切り替える 289
　ユーザアイコン設定 290
スタイルモード 134
静止画撮影 168
　画像サイズ 163
　撮影時の設定 176
　ズーム 176
　セルフタイマー 177
　登録件数 163
　フレーム撮影 172
　連続撮影 170
製造番号 183
赤外線通信 277
　赤外線ポート 277
　全受信 281
　全送信 281
　送受信されるデータ 278
　1件受信 280
　1件送信 280
積算リセット 297
積算料金自動リセット 297
セキュリティスキャン（スキャン機能）
 369
接続先選択 194
接続待ち時間設定 194
設定リセット 304
セルフタイマー 177
セルフモード 158
送信アドレス一覧 241
送信画質設定（テレビ電話） 84
送信BOX（メール） 210, 228
挿入モード 329
ソフトウェア更新 364
ソフトキー 26

タ

ダイヤルロック 141
　解除 142
　設定 142
ダウンロード辞書 335
ダウンロード（取得）
　画像 190
　キャラ電 192
　データファイル 192
　メロディ 191
　ユーザ証明書 199
　i モーション 201
端末暗証番号 138
　入力 31
　変更 139
端末情報データ利用設定 194, 195
端末初期化 305
チェックボックス 32, 184
知的財産権 20
着信アンサー設定 61
着信イルミネーション 127
着信音選択 112
着信音量 65
着信通知 309
着信動作選択 314
着信ランプの設定（着信時） 127
着信ランプの設定（通話中） 128
着信履歴 62
着もじ 49
チャットグループ 247
チャットメール 244
　各種設定 248
　チャットグループ 247
　チャットメール作成 245
　チャットメール受信 246
　チャットメンバー 244
チャンスキャプチャ 175
直デン 107
　電話をかける 107
　登録 107
著作権 20
追加サービス 316
ツータッチダイヤル 108
通知音出力切替 116
通話時間／料金 296
通話中イルミネーション 128
通話中音声メモ 295
通話中時間表示 128
通話中着信設定 314
通話中保留 47
通話品質アラーム 116
通話料金通知 297
　アラーム通知 298
　内容を確認 298
定型文一覧 351
定型文登録 333
定型文入力 332
ディスプレイ
　画面表示設定 119
　照明設定 123
　スタイルモード 134
　配色・背景 124
　フォント設定 128
　見かた 27
　メニュー表示変更 124
データ通信 319
データBOX 254
テキストボックス 184
テキストメモ 299
デコメール 214
デスクトップ 130
デスクトップアイコン 130
　確認 131
　通知 131
　データや機能を呼び出す 131
　貼り付ける 130
デュアルネットワークサービス 312
テレビ電話 76
　受ける 81
　遠隔監視設定 88
　音声自動再発信 84
　外部機器との接続 88
　かける 77
　画像選択 84
　キャラ電 83
　ズーム 86
　送信画質設定 84
　テレビ電話画面の見かた 76
　ハンズフリー 59
　ハンズフリー切替 86
　ビジュアルチェック 85
テレビ電話画面設定 86
テレビ電話切替通知 87
テレビ電話伝言メモ 74
テロップ編集 269
電源を入れる／切る 42
伝言メモ 71, 73
　再生 73
　消去 73
　設定 71
転送でんわサービス 311
電卓 298
電池 38
　充電のしかた 40
　寿命 39
　上手な使いかた 39
電池残量 41
電池パック 38
添付ファイル自動再生設定 ... 194, 242
添付ファイル設定 242
テンプレート 217
電話
　受ける 60
　かける 46
電話帳 91
　お預かりセンターに保存 109
　グループ設定 96
　シークレットコード 101
　直デン詳細画面 107
　電話帳検索 97
　電話帳削除 102
　電話帳修正 101
　電話帳登録（他の画面から） 95
　電話帳登録（本体） 93
　電話帳登録（FOMAカード） 94
　電話をかける 97
　登録状況 104
電話帳お預かりサービス 158

画像 258
通信履歴の確認 110
電話帳 109
メール 239
電話帳画像着信設定 122
電話帳画像転送 277
電話帳指定設定 154
電話番号を通知する 44
動画 263
再生中の操作 266
削除 265
タイトル一覧の見かた 264
動画再生 263
フォルダ移動 265
フォルダ削除 276
フォルダ追加 276
複数選択 276
プレビュー表示の見かた 264
プログラム再生 268
保存容量確認 265
動画再生ソフト 354
動画撮影 173
画像サイズ 163
撮影時の設定 173, 176
ズーム 176
セルフタイマー 177
チャンスキャプチャ 175
登録件数 163
ピクチャボイス 175
ボイスモード 176
動画編集 268
アフレコ編集 269
イメージ切り出し 268
テロップ編集 269
メールサイズ切り出し 270
i モーション切り出し 269
動画メモ 74
再生 74
消去 74
登録
オリジナルメニュー 126
個人データ（マイプロフィール） 293
スケジュール 288
直デン 107
定型文 333
電話帳（本体） 93
電話帳（FOMAカード） 94
ブックマーク 187
ホーム 182
メールメンバー 220
ユーザ辞書 335
To Doリスト 292
登録外着信拒否 157
登録商標 20
時計設定 43
ドコモケータイdatalink 322
取扱い上の注意 18
トリミング 263

ナ

内蔵データ
おまかせデコメールピクチャ 344
着信音・メロディ・着モーション 113
定型文 351
デコメールピクチャ 343
テンプレート 345
フレーム 343
マーカースタンプ 346
待受画面 343
認証パスワード 281
ネットワーク暗証番号 138
ネットワークサービス 307
ネットワーク接続モード選択 303
ノイズキャンセラ 58

ハ

バイブレータ（振動） 114
バイリンガル 129
パケット通信 320
パケット通信中着信設定 87
パスワード→「暗証番号」を参照
パターンデータ更新 369
発信者番号通知 44
発信履歴 51
発着信識別機能 105
番号通知お願いサービス 312
ハンズフリー 59
ハンズフリー切替（テレビ電話） 86
ピクチャ表示設定 256
ピクチャボイス 175
ビジュアルチェック 85
非通知着信設定 156
表示
インターネットホームページ 186
画像（マイピクチャ） 255
画面表示設定 119
サイト 181
チャネル一覧 204
通話時間 128
電話帳画像 122
時計 129
マイプロフィール 44
メール 228
メッセージR/F 197
表示アイコン設定 132
表示アイコン説明 27
平型スイッチ付イヤホンマイク（別売） 301
電話を受ける 302
電話をかける 302
フォルダ構成（一覧）
データBOX 254
メール 228
フォルダ作成・編集・削除
データBOX 276
ブックマーク（Bookmark） 188
メール 234
フォント設定 128
不在着信確認 70
付属品 22
ブックマーク（Bookmark） 187
削除 188
タイトル編集 188
登録 187
登録件数確認 188
表示 187
フォルダ 188
プッシュ信号 54
プライバシーアングル 123
プルダウンメニュー 184
フレーム（イメージ編集） 262
フレーム（静止画撮影） 172
プレフィックス設定 55
編集
画像 261
電話帳 101
動画 268
保存メール 220
ボイスクロック 70
ボイスモード 176
冒頭文／署名設定 243
ポーズダイヤル 54
ホーム登録 182
ホーム表示 182
ホームURL設定 194
保護
画面メモ 189, 190
メール 236, 238, 239, 240
メッセージR/F 197, 198
保証 363
保存
画像（サイト・メッセージR/F） 190
画像（メール） 227
サイトの内容（画面メモ） 189
テンプレート 217
メール 212, 220
メロディ（メール） 227
i モーション（メール） 227
保存件数確認
画面メモ 189
テンプレート 218
メール 220, 234, 236, 238
メッセージR/F 197
保存容量確認
画像一覧 257
キャラ電一覧 272
静止画撮影・連続撮影 168
動画一覧 265
動画撮影 174
メロディ一覧 274
保存BOX（メール） 210, 220
ボタン
長押し操作 26
ボタンの名称と機能 24
ボタン確認音 115
保留（着信中） 66
保留音設定 66
ホワイトバランス設定 174

本文表示設定 242

マ

マーカースタンプ 262
マイピクチャ 255
　ピクチャ一覧／タイトル名一覧の見かた 255
マイプロフィール 44, 293
マイプロフィール登録・表示 294
マイメニュー 186
前のページに戻る／進む（サイト） 184
待受画面 121
待受中音声メモ 295
待受時計表示 129
マナーモード 117
マナーモード選択 117
マルチアクセス 284
　組み合わせ 352
マルチナンバー 315
みんなNらんど 181
無音時間設定 157
迷惑電話ストップサービス 312
メインメニュー 29
メール 207
　宛先削除 212
　宛先タイプ変更 212
　宛先追加 213
　アドレス登録、電話帳登録 226
　一覧画面の表示切替 232
　イメージ添付 218
　引用符 243
　引用返信 225
　お預かりセンターに保存 239
　画像添付 218
　画像保存 227
　画像メール受信 227
　感情お知らせメール 223
　感情／キーワード通知設定 244
　コピー 239, 240
　ゴミ箱へ捨てる 236, 240
　再送信 240
　再編集 237, 240
　作成 211
　シークレットコード 101
　シークレットフォルダ 145
　自動受信 221
　自動振分け設定 235
　受信 221
　受信メールの削除 237, 240
　受信メールの保護／保護解除 ... 236, 239
　受信メールの保存件数確認 236
　受信BOX 210, 228
　署名 243
　選択受信 223
　送信 211
　送信プレビュー 212
　送信メールの削除 238, 240
　送信メールの保護／保護解除 ... 238, 240
　送信メールの保存件数確認 238
　送信BOX 210, 228
　ソート 236, 238
　デコメールピクチャ 343
　転送 226
　テンプレート一覧 345
　動画添付 218
　同報送信 213
　フィルタ 236, 238
　フォルダー覧画面の見かた 228
　フォルダ削除 234
　フォルダ追加 234
　フォルダ内表示 234
　フォルダ並び替え 234
　フォルダ名編集 234
　返信 225
　冒頭文 243
　保存 220
　保存メールの保存件数確認 220
　保存BOX 210, 220
　本文の文字サイズ変更 232
　メール一覧画面の見かた 229
　メール検索 236, 238
　メール詳細画面の見かた 230
　メールセキュリティ 153
　メール設定 242
　メール設定確認 242
　メール本文を読む 228
　メールメニュー 210
　メロディ添付 218
　メロディ保存 227
　ｉモーション添付 218
　ｉモーション保存 227
メール一覧表示設定 242
メールセキュリティ設定 153
メール設定 242
メール設定リセット 244
メール選択受信 223
メール選択受信設定 242
メール／メッセージ鳴動 116
メールメニュー 210
メールメンバー 220
メッセージ一覧表示設定 194
メッセージサービス 181
　画面の見かた 196
　削除 198
　受信 195
　ソート 197
　表示 195, 197
　フィルタ 197
　保護／保護解除 197, 198
　保存件数確認 197
　ｉモード問い合わせ 197
メッセージ自動表示設定 194
メッセージ問い合わせ（留守番電話） 309
メニュー画面設定 124
メニュー機能一覧 338
メニューの選択方法 30
メモの再生／消去 73
メロディ 273
　再生中の操作 274
　削除 274
　ダウンロード 191
　フォルダ移動 274
　フォルダ削除 276
　フォルダ追加 276
　プログラム再生 275
　保存容量確認 274
　メロディ一覧の見かた 273
　メロディ再生 273
文字コード変換 182
文字サイズ切替 325
文字サイズ設定 193, 242
文字スタンプ 263
文字入力 323
　上書き 330
　絵文字 330
　絵文字記号連続入力 331
　改行 330
　ガイダンス 328
　顔文字 330
　画面切り替え 336
　記号 330
　切り取り 334
　区点入力 334
　コピー 334
　小文字／大文字 329
　削除 331
　スペース（空白） 330
　全角／半角 326
　挿入 329
　挿入モード／上書きモード 329
　定型文 332
　データ引用 333
　貼り付け 334
　UNDO 332
文字入力設定 325
　モード1（かな方式） 325
　モード2（2タッチ方式） 326
　モード3（T9入力方式） 326
文字のコピー／切り取り 334
文字の貼り付け 334

ヤ

ユーザ辞書 335
ユーザ証明書 199
優先順位
　アラーム通知 286
　画面表示 121
　キャラ電 94
　自動振分け 235
　着信音 114, 222, 251
　着信画像 122
　着信ランプ 127, 222, 251
　通信速度 106
　バイブレータ 115
　迷惑電話防止 159
呼出時間表示設定 157

ラ

ラジオボタン 184
ラストURL 184
ラストURL 初期化 194
ランダムメロディ 112
リセット
　オリジナルメニュー初期化 127
　学習履歴クリア 335
　積算リセット 297
　積算料金自動リセット 297
　設定リセット 304
　端末初期化 305
　デスクトップ初期化 131
　メールアドレスリセット 208
　メール設定リセット 244
　ラストURL初期化 194
　ｉモード設定リセット 194
リダイヤル 51
利用できるサービス 353
留守番電話サービス 308
連続撮影 170
連続通話時間 39
連続待受時間 39

ワ

ワード予測 327

英字

ACアダプタ 40
ATコマンド 322
Bookmark（ブックマーク） 187
DCアダプタ 40
DTMF送信 79
FirstPass 199
Flash画像 185
FOMAカード 35
　暗証番号 36
　機能差分 37
　差し替え時の設定 37
　製造番号 183
　付け外し 35
　動作制限機能 36
　バージョン 37
　FOMAカード電話帳登録 94
FOMAカード（UIM）操作 102
FOMA N601i用CD-ROM 321
ｉチャネル 203
　設定 205
　表示 204
ｉメロディ 191
ｉモーション 200, 263
　音響効果 114
　再生 201, 263
　詳細情報 202
　プレビュー表示／タイトル一覧の見かた 264
　保存 202
　ｉモーション自動再生設定 202
ｉモーションメール 218, 227
ｉモード 180
　開始 180
　終了 181
　接続先選択 194
　電話帳登録 185
　Flash画像の操作 185
ｉモード設定 193
ｉモード設定確認 194
ｉモード設定リセット 194
ｉモード問い合わせ 224
ｉモード問い合わせ設定 244
ｉモードパスワード 138, 186
ｉモードメール→「メール」を参照
ｉモードメニュー 180
ｉMenu 181
Internet 186
ISP接続通信 194
Mail To機能 193
OBEX通信 277
OFFICEED 316
Phone To機能 192
PIN設定 139
PINロック 140
PINロック解除 140
PIN1コード入力 140
PIN1コード／PIN2コード 138
　変更 140
SAR 373
SMS（ショートメッセージ） 249
　削除 250
　作成 249
　受信 250
　送信 249
　送信プレビュー 250
　送達通知 250
　転送 251
　返信 251
　保存 250
　FOMAカード操作 252
　FOMAカードへ移動／コピー 252
　FOMAカード（UIM）操作 102
SMSセンター設定 252
SMS送達通知設定 250
SMS問い合わせ 251
SMS本文入力設定 250
SMS有効期間設定 250
SMS center設定 252
SRS_WOW設定 114
SSL証明書 198
SSLページを表示 183
To Doリスト 292
URL 186
　削除 187
　URL入力 186
　URL表示 182
　URL履歴 187
Web To機能 193
WORLD CALL 55
WORLD WING 37

数字

186（通知）／184（非通知） 53
64Kデータ通信 320

機能メニュー

表紙のインデックス別に、下記画面における機能メニューの索引を記載しています。

電話のかけかた／受けかた
- 国番号設定画面 57
- 国際電話設定画面 57
- 着信中画面 60
- 着信履歴画面（一覧／詳細） 64
- 電話番号入力画面 47
- 動画メモの再生／消去画面 74
- 発信履歴画面（一覧／詳細） 52
- プレフィックス設定画面 55
- ポーズダイヤル画面 54
- メッセージ作成一覧画面 49
- メモの再生／消去画面（伝言メモ） ... 73
- リダイヤル画面（一覧／詳細） 52

テレビ電話のかけかた／受けかた
- 対局番号登録画面（遠隔監視設定） 89
- テレビ電話着信中画面 82
- テレビ電話中画面 78
- テレビ電話番号入力画面 78

電話帳
- グループ設定画面 96
- 直デン詳細画面 107
- 通信履歴一覧画面（電話帳お預かりサービス） 110
- 電話帳一覧画面 99
- 電話帳詳細画面 100
- FOMAカード（UIM）操作（コピー）画面 103
- FOMAカード（UIM）操作（削除）画面 104

音／画面／照明設定
- オリジナルテーマ画面（メニュー画面設定） 126
- オリジナルメニュー画面（メニュー画面設定） 127
- コンテンツ設定確認画面（スタイルモード） 135
- スタイルモード一覧画面 134
- デスクトップアイコン画面 131

あんしん設定
- カテゴリー一覧／グループ一覧画面 151
- 機能一覧画面 151
- 電話帳指定設定画面 155

カメラ
- 詳細表示確認画面（連続撮影） ... 171
- 静止画確認画面 169
- 静止画撮影画面 168
- 動画確認画面 175
- 動画撮影画面 173
- 連続撮影確認画面 171
- 連続撮影画面 168
- 録音開始画面（ピクチャボイス） 176

ｉモード／ｉモーション／ｉチャネル
- 画面メモ一覧画面 189
- 画面メモ詳細画面 190
- サイト画面 182
- チャネル一覧画面 204
- メッセージ一覧画面 197
- メッセージ詳細画面 198
- Bookmark画面 188
- Bookmarkフォルダー覧画面 ... 188
- URL入力画面（インターネット接続） 187

メール
- 宛先入力／題名入力画面 213
- 感情／キーワード通知設定画面 244
- グループメンバー一覧画面 248
- 受信アドレス一覧画面 241
- 受信フォルダー覧画面 234
- 受信メール一覧画面 236
- 受信メール詳細画面 239
- 新規メール画面 212
- 新規SMS画面 250
- 送信アドレス一覧画面 241
- 送信フォルダー覧画面 234
- 送信メール一覧画面 237
- 送信メール詳細画面 240
- チャット画面 246
- チャットグループ一覧画面 247
- チャットメンバー設定画面 245
- テンプレート画面 218
- テンプレートプレビュー画面 218
- 保存メール一覧画面 220
- 本文入力画面 213
- メールメンバー一覧画面 221
- メールメンバー詳細画面 221

データ表示／編集／管理
- イメージ編集画面 262
- 画像一覧画面 256
- キャラ電一覧画面 272
- キャラ電画面 272
- 自作アニメ一覧画面 260
- 自作アニメ再生画面 261
- 動画一覧画面 264
- 動画編集画面 268
- フォルダ一覧画面（マイピクチャ） ... 276
- フォルダ一覧画面（メロディ） ... 276
- フォルダ一覧画面（ｉモーション） ... 276
- 複数選択画面（データBOX） 276
- プログラムフォルダ（メロディ） 275
- プログラムフォルダ（ｉモーション） 268
- マイピクチャ画面 258
- メロディ一覧画面 274
- メロディ画面 275
- ｉモーション停止（一時停止）画面 267

その他の便利な機能
- アラーム画面 288
- おしゃべり機能画面 296
- 検索結果画面（一覧／詳細）（辞典） 300
- 検索履歴画面（辞典） 300
- 辞典画面 300
- スケジュール一覧画面 291
- スケジュール画面 288
- テキストメモ画面 299
- マイプロフィール画面 294
- To Doリスト画面 292
- To Doリスト内容確認画面 292

ネットワークサービス
- 追加サービス画面／応答メッセージ設定画面 317
- マルチナンバー電話番号設定画面 316
- 留守番設定確認画面 309

文字入力
- ダウンロード辞書画面 336
- 定型文一覧画面 334
- 定型文フォルダ一覧画面 333
- 文字入力（編集）画面 332
- ユーザ辞書画面 335

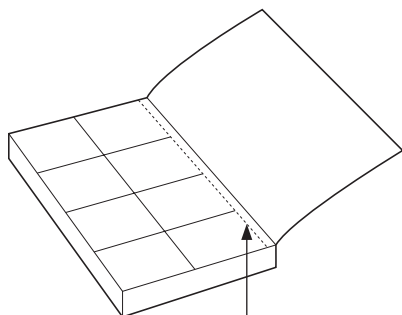
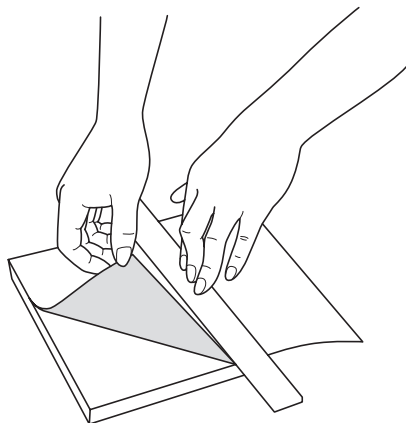
クイックマニュアル

クイックマニュアルのご使用方法

クイックマニュアルでは、本FOMA端末の基本的な操作や表示について記載しています。
本書に綴じ込みされているクイックマニュアルは切り取り線で切り取り下記のように折ってご使用ください。なお、クイックマニュアルは2枚合せてご携帯ください。

■ 切り取りかた

キリトリ線でクイックマニュアルのページを切り取ります。
下図のように定規などをキリトリ線に合わせて切り取れます。
切り離すときは、ほかのページを切らないように1ページずつ切り離してください。

※はさみなどで切り取る際は、ケガなどに十分ご注意ください。

■ 折りかた

下図のように表紙面が見えるように、折り線に合わせて折り畳んでお使いください。

![NTT DoCoMo]

FOMA® N601i クイックマニュアル

○総合お問い合わせ先<DoCoMoインフォメーションセンター>
ドコモの携帯電話、PHSからの場合
（局番なしの）**151**（無料）
※一般電話などからはご利用になれません。
一般電話などからの場合
0120-800-000
※携帯電話、PHSからもご利用になれます。
●ダイヤルの番号をよくご確認の上、お間違いないようおかけください。

○故障お問い合わせ先
ドコモの携帯電話、PHSからの場合
（局番なしの）**113**（無料）
※一般電話などからはご利用になれません。
一般電話などからの場合
0120-800-000
※携帯電話、PHSからもご利用になれます。
●ダイヤルの番号をよくご確認の上、お間違いないようおかけください。
●なお、詳しくはFOMA端末などに添付の「全国サービスステーション一覧」でご確認ください。

電話帳に登録する

1 MENU→「電話帳」→ i［機能］→「電話帳登録」
- ●**着信履歴から登録する場合**
  待受画面表示中→◎→着信履歴を選択→ i［機能］→「電話帳登録」
- ●**リダイヤルから登録する場合**
  待受画面表示中→◎→リダイヤルを選択→ i［機能］→「電話帳登録」

2 **登録先を選択→名前を入力→名前のフリガナを確認**

3 **項目を選択してそれぞれ入力**

■グループの設定（00～19）
<＜未登録＞→グループを選択

■電話番号の設定（4件まで）
＜未登録＞→電話番号を入力→アイコンを選択

■メールアドレスの設定（3件まで）
＜未登録＞→メールアドレスを入力→アイコンを選択

■住所の設定
＜未登録＞→郵便番号を入力→住所を入力

■誕生日の設定
＜未登録＞→誕生日を入力

■メモの設定
＜未登録＞→メモを入力

■静止画の設定
＜未登録＞→カメラ撮影または静止画を選択

■キャラ電の設定
＜未登録＞→キャラ電を選択

■メモリ番号の設定（000～699）
→メモリ番号を入力

4 ✉［完了］
FOMAカードへの登録では、名前、フリガナ、グループ、電話番号、メールアドレスのみ登録できます。

電話帳を修正・削除する

■電話帳の修正
電話帳詳細画面を表示する→ i［機能］→「電話帳編集」→必要な項目を修正→✉［完了］→「YES」（FOMAカードの電話帳は✉［完了］を押した後、「上書き登録」→「YES」）

■電話帳の削除
電話帳一覧画面を表示する→ i［機能］→「電話帳削除」→「1件削除」→「YES」（電話帳によってはさらに「YES」）

入力方式と入力モード

■文字入力画面

■入力モード
漢…漢字ひらがな　数…数字
カナ…カタカナ　区…区点入力モード
英…英字

■文字入力方式の選択
MENU→「各種設定」→「その他」→「文字入力設定」→「入力モード」→項目を選択

■文字入力方式の切り替え
✉［絵記］（1秒以上押す）（数回）

■入力モードの切り替え
ch（数回）

■濁点、半濁点、句読点の入力
#（数回）

■大文字／小文字の切り替え
入力前に i［機能］→「大文字切替」または「小文字切替」
入力した文字にカーソルを合わせる→☎

■スペース（空白）の入力
i［機能］→「スペース入力」

■文章の改行
後ろに文字がない文末にカーソルを合わせる→◎
☎（1秒以上押す）
i［機能］→「改行入力」

■顔文字、記号、絵文字の入力
✉［絵記］（数回）→記号や絵文字を選択→入力が終了したらCLR
i［機能］→「顔文字入力」／「記号入力」／「絵文字入力」→記号や文字を選択

■文字の消去
◎で削除したい文字にカーソルを合わせる→CLR

キリトリ線

文字を入力

テキストメモに「太郎」を入力

■文字入力（編集）画面の表示

MENU→「LifeKit」→「テキストメモ」→ ✉［編集］→ ch（数回）→「漢字ひらがな入力モード」にする→

た→4を1回
ろ→9を5回
う→1を3回

■文字の変換

またはi［変換］→→変換候補［太郎］を選択

カメラ

■静止画撮影

MENU→「LifeKit」→「カメラ」→「フォトモード」→または［📷］→

■連続撮影

MENU→「LifeKit」→「カメラ」→「フォトモード」→i［機能］→「カメラモード切替」→「連続撮影」→「オート」または「マニュアル」→または［📷］→i［機能］→保存する方法を選択

■動画撮影

MENU→「LifeKit」→「カメラ」→「ムービーモード」→または［📷］→または［📷］→

静止画、動画やメロディを再生する

■静止画再生

MENU→「データBOX」→「マイピクチャ」→フォルダを選択→静止画を選択

■動画再生

MENU→「データBOX」→「ｉモーション」→フォルダを選択→動画を選択

■メロディ再生

MENU→「データBOX」→「メロディ」→フォルダを選択→メロディを選択

テレビ電話をかける・受ける

■テレビ電話をかける

相手の電話番号を入力→✉［TV電話］→通話が終了したら

■テレビ電話を受ける

着信音が鳴り、着信ランプが点滅したら ✉［TV電話］またはもしくは→通話が終了したら

✉［TV電話］：自分のカメラ映像を相手に送信する
または
［代替］：代替画像を相手に送信する

■通話中の動作

✉：ハンズフリーの切り替え（ON／OFF）

：カメラの切り替え（内側カメラ／外側カメラ）

ｉモードメール

ｉモードメールの作成・送信

■新規メール画面を表示

MENU→「メール」→「新規メール作成」

■宛先を入力

「To」→宛先の入力方法を選択

■題名を入力

「Subject」→題名を入力

■本文を入力

「」→本文を入力

■メールを送信

✉［送信］→送信完了後

ファイルの添付

■画像添付

新規メール画面を表示→i［機能］→「添付ファイル追加」→「イメージ添付」→フォルダを選択→画像を選択

■ｉモーション添付

新規メール画面を表示→i［機能］→「添付ファイル追加」→「ｉモーション添付」→フォルダを選択→ｉモーションを選択

■メロディ添付

新規メール画面を表示→i［機能］→「添付ファイル追加」→「メロディ添付」→フォルダを選択→メロディを選択

ｉモードメールの受信

「（白色）」が点滅→受信結果画面が表示→「メール」を選択

その他のメール機能

■メールの返信

返信したいメールを表示→✉［返信］→「」→本文を入力→✉［送信］→送信完了後

■メールの転送

転送したいメールを表示→i［機能］→「転送」→「To」→宛先の入力方法を選択→✉［送信］→送信完了後

ｉモード問い合わせ

MENU→「メール」→「ｉモード問い合わせ」

キリトリ線

メニュー機能一覧

MENU メニュー

大項目	中項目	小項目
メール	受信BOX	
	送信BOX	
	保存BOX	
	新規メール作成	
	チャットメール	
	SMS作成	
	ｉモード問い合わせ	
	メール選択受信	
	SMS問い合わせ	
	テンプレート	
	メール設定	
ｉモード	ｉMenu	
	Bookmark	
	画面メモ	
	ラストURL	
	Internet	
	ｉチャネル	
	メッセージ	
	ｉモード問い合わせ	
	ユーザ証明書操作	
	ｉモード設定	

MENU メニュー

大項目	中項目	小項目
直デン		
各種設定	スタイルモード	
	着信	着信音量（MENU 5 0）
		着信音選択（MENU 1 3）
		SRS_WOW設定（MENU 6 4）
		バイブレータ（MENU 5 4）
		着信イルミネーション（MENU 8 9）
		マナーモード選択（MENU 2 0）
		電話帳画像着信設定
		着信アンサー設定（MENU 5 8）
		メール／メッセージ鳴動（MENU 6 8）
		呼出時間表示設定（MENU 9 0）
		確認機能設定（MENU 6 5）
		伝言メモ（MENU 5 5）
	通話	ノイズキャンセラ（MENU 7 6）
		通話品質アラーム（MENU 7 5）
		再接続機能（MENU 7 7）
		通話中イルミネーション
		保留音設定
		クローズ動作設定（MENU 1 8）
	発信	ポーズダイヤル（MENU 8 4）
		サブアドレス設定
		プレフィックス設定

MENU メニュー

大項目	中項目	小項目
各種設定	発信	自動発信設定
		国際ダイヤル設定
	テレビ電話	送信画質設定
		画像選択
		音声自動再発信
		遠隔監視設定
		テレビ電話画面設定
		テレビ電話切替通知
		ハンズフリー切替
		パケット通信中着信設定
	ディスプレイ	画面表示設定（MENU 5 6）
		照明設定（MENU 7 0）
		画面デザイン（MENU 8 6）
		フォント設定（MENU 6 6）
		デスクトップ（MENU 6 3）
		バイリンガル（MENU 1 5）
		メニュー画面設定（MENU 5 7）
		ピクチャ表示設定
		オート表示（MENU 4 7）
		表示アイコン説明（MENU 3 6）
		表示アイコン設定
		プライバシーアングル

MENU メニュー

大項目	中項目	小項目
各種設定	時間／料金	通話時間／料金（MENU 6 1）
		通話料金通知
		積算リセット（MENU 6 0）
		積算料金自動リセット
		通話中時間表示（MENU 4 8）
	時計	時計設定（MENU 3 1）
		待受時計表示（MENU 3 9）
		アラーム通知設定
		時刻アラーム設定
	ロック／セキュリティ	ロック
		キー操作ロック
		セルフモード
		シークレットモード（MENU 4 0）
		シークレット専用モード（MENU 4 1）
		登録外着信拒否
		非通知着信設定（MENU 1 0）
		端末暗証番号変更（MENU 2 9）
		PIN設定
		スキャン機能
	アプリケーション通信設定	接続待ち時間設定
		ｉモード問い合わせ設定
		接続先選択（MENU 8 1）

MENU メニュー

大項目	中項目	小項目
各種設定	アプリケーション通信設定	SMS center設定
		証明書
		証明書センター接続設定
	外部接続	通知音出力切替（MENU 5 1）
		イヤホン接続時マイク切替
		オート着信（MENU 9 4）
	ネットワーク設定	ネットワーク接続モード選択
	その他	ボタン確認音（MENU 3 0）
		充電確認音
		電池残量（MENU 7 1）
		外部ボタン操作（MENU ＊（1秒以上））
		文字入力設定（MENU 3 5）
		設定リセット（MENU 2 3）
		端末初期化
		ソフトウェア更新

MENU メニュー

大項目	中項目	小項目
データBOX	マイピクチャ（MENU 4 6）	
	ｉモーション	
	メロディ（MENU 1 6）	
	キャラ電	
LifeKit	赤外線受信（MENU 7 9）	
	カメラ	
	電話帳お預りサービス	
	スケジュール（MENU 4 5）	
	アラーム（MENU 4 4）	
	To Doリスト（MENU 9 5）	
	テキストメモ（MENU 4 2）	
	電卓（MENU 8 5）	
	メモの再生／消去（⦿［MEMO／CHECK］）	
	動画メモの再生／消去	
	待受中音声メモ（MENU 4 3）	
	おしゃべり機能（MENU 9 1）	
	FOMAカード（UIM）操作	
	電話帳画像転送	
	辞典	
サービス	着もじ	
	発信者番号通知（MENU 1 7）	

MENU メニュー

大項目	中項目	小項目
サービス	留守番電話	
	キャッチホン	
	転送でんわ	
	迷惑電話ストップ	
	番号通知お願いサービス	
	着信動作選択	
	通話中着信設定	
	遠隔操作設定	
	デュアルネットワーク	
	英語ガイダンス	
	追加サービス	
	サービスダイヤル	
	マルチナンバー	
電話帳	電話帳	
ユーザデータ	マイプロフィール（MENU 0）	
	着信履歴（MENU 2 4）	
	発信履歴	
	メールメンバー（MENU 9 7）	
	チャットグループ	
	直デン	
	定型文（MENU 3 8）	
	ユーザ辞書（MENU 8 2）	
	ダウンロード辞書	

<その他の機能>

- ●マナーモード　＃（1秒以上）（押すたびに設定／解除）
- ●公共モード（ドライブモード）＊（1秒以上）（押すたびに設定／解除）

キリトリ線

ネットワークサービス

留守番電話サービス

■留守番電話サービス開始

MENU➜「サービス」➜「留守番電話」➜「留守番サービス開始」➜「YES」➜「YES」➜呼出時間（秒）を入力

■留守番サービス停止

MENU➜「サービス」➜「留守番電話」➜「留守番サービス停止」➜「YES」

■留守番メッセージ再生

MENU➜「サービス」➜「留守番電話」➜「留守番メッセージ再生」➜「YES」➜音声ガイダンスの指示に従って操作

キャッチホン

■キャッチホンサービス開始

MENU➜「サービス」➜「キャッチホン」➜「キャッチホンサービス開始」➜「YES」

■キャッチホンサービス停止

MENU➜「サービス」➜「キャッチホン」➜「キャッチホンサービス停止」➜「YES」

■通話中にかかってきた電話に出る

通話中に着信があったら☎または◉

☎を押すたびに通話する相手を切り替えることができます。

転送でんわサービス

■転送サービス開始

MENU➜「サービス」➜「転送でんわ」➜「転送サービス開始」➜転送先や呼出時間を設定し、「開始」を選択➜「YES」

■転送サービス停止

MENU➜「サービス」➜「転送でんわ」➜「転送サービス停止」➜「YES」

番号通知お願いサービス

■番号通知お願いサービス開始

MENU➜「サービス」➜「番号通知お願いサービス」➜「番号通知お願い開始」➜「YES」➜「OK」

■番号通知お願いサービス停止

MENU➜「サービス」➜「番号通知お願いサービス」➜「番号通知お願い停止」➜「YES」➜「OK」

FOMA端末から利用できるサービス

サービス	番号
コレクトコール（料金着信払通話）	（局番なし）106
一般電話の番号案内およびドコモとご契約の携帯電話の番号案内（有料）※1	（局番なし）104
電報の発信（有料）午前8時〜午後10時	（局番なし）115
時報サービス（有料）	（局番なし）117
天気予報（有料）	知りたい地域の市外局番＋177
警察への緊急通報※2	（局番なし）110
消防・救急への緊急通報※2	（局番なし）119
海上で事件・事故が起きたときの緊急通報	（局番なし）118
災害用伝言ダイヤル（有料）	（局番なし）171

※1：電話番号の案内を希望されないお客様についてはご案内できません。

※2：おかけになった地域により、管轄の消防署・警察署に接続されないことがあります。接続されないときは、お近くの公衆電話または一般電話からおかけください。

主なアイコン表示

：電池残量表示

：ダイヤルロック設定中

（白色）：未読メールあり

（白色）：未読メッセージRあり

（白色）：未読メッセージFあり

（白色）：ｉモードセンターにメールあり

：電波の受信レベル

：ｉモード中

：SSL対応ページを表示中

：USBケーブル接続時、ハンズフリー対応機器未接続時

：赤外線通信中

：音声通話中

：プライバシーアングル設定中

：バイブレータ設定中

：着信音量を「消去」に設定中

：マナーモード設定中

：公共モード（ドライブモード）設定中

／：アラーム通知機能を設定中

〜、：留守番電話の伝言メッセージあり

〜：伝言メモ設定中

〜：伝言メモ（テレビ電話伝言メモ）設定中

：バックライトを「OFF」に設定中

：キー操作ロック設定中／待機中

：外部ボタン操作を「閉じた時無効」に設定中

＜紛失時等の緊急連絡先＞

おまかせロック

おまかせロックの設定／解除

0120-524-360

受付時間24時間

※パソコン等でMy DoCoMoのサイトからも設定／解除ができます。

その他の緊急連絡先

＜連絡先：　　　　　　　　＞

＜連絡先：　　　　　　　　＞

＜連絡先：　　　　　　　　＞

※ダイヤル番号をよくご確認の上、お間違いのないようにおかけください。

キリトリ線

マナーもいっしょに携帯しましょう

FOMA端末を使用する場合は、周囲の方の迷惑にならないように注意しましょう。

こんな場合は必ず電源を切りましょう

■使用禁止の場所にいる場合

携帯電話を使用してはいけない場所があります。以下の場所では、必ずFOMA端末の電源を切ってください。

・航空機内　・病院内

※ 医用電気機器を使用している方がいるのは病棟内だけではありません。ロビーや待合室などでも、必ず電源を切ってください。

■運転中の場合

運転中のFOMA端末のご使用は、安全な走行の妨げとなり危険です。

※ 車を安全なところに停車させてからご使用になるか、公共モード（ドライブモード）をご利用ください。

■満員電車の中など、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着した方が近くにいる可能性がある場合

植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器に悪影響を与えるおそれがあります。

■劇場・映画館・美術館など公共の場所にいる場合

静かにすべき公共の場所でFOMA端末を使用すると、周囲の方への迷惑になります。

使用する場所や声・着信音の大きさに注意しましょう

■レストランやホテルのロビーなどの静かな場所でFOMA端末を使用する場合は、声の大きさなどに気をつけましょう。

■街の中では、通行の妨げにならない場所で使用しましょう。

プライバシーを守りましょう

カメラ付き携帯電話を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシー等にご配慮ください。

こんな機能が公共のマナーを守ります

かかってきた電話に応答しない設定や、FOMA端末から鳴る音を消す設定など、便利な機能があります。

【マナーモード／オリジナルマナーモード】→P.117、118

ボタン確認音・着信音などFOMA端末から鳴る音を消します（マナーモード）。マナーモードに伝言メモ機能の有無の設定やバイブレータ・着信音の設定の変更もできます（オリジナルマナーモード）。ただし、マナーモード／オリジナルマナーモードのどちらでも、カメラのシャッター音を消すことはできません。

【公共モード（ドライブモード／電源OFF)】→P.67、68

電話をかけてきた相手に、運転中または通話を控える必要のあるような場所にいるか、電源を切る必要がある場所にいるため、電話に出られないことを通知するガイダンスで応答します。

【バイブレータ】→P.114

電話がかかってきたことを、振動でお知らせします。

【伝言メモ機能】→P.71

電話に出られない場合に、電話をかけてきた相手の用件を録音します。

そのほかにも、留守番電話サービス（P.308)、転送でんわサービス（P.311）などのオプションサービスが利用できます。

「ドコモｅサイト」では住所変更、料金プラン変更などの各種お手続き、資料請求を承っております。

ｉモードから　ｉMenu ⇒ 料金＆お申込・設定 ⇒ ドコモeサイト　パケット通信料無料

パソコンから　My DoCoMo（http://www.mydocomo.com/）⇒ 各種手続き（ドコモeサイト）

※ｉモードからご利用になる場合､｢ネットワーク暗証番号｣が必要となります。
※ｉモードからご利用になる場合のパケット通信料は無料です。海外からのアクセスの場合は有料となります。
※パソコンからご利用になる場合､｢DoCoMo ID／パスワード｣が必要となります。
※｢ネットワーク暗証番号｣および｢DoCoMo ID／パスワード｣をお持ちでない方･お忘れの方は、下記総合お問い合わせ先にご相談ください。
※ご契約内容によりご利用になれない場合があります。
※システムメンテナンスなどにより、ご利用になれない場合があります。

総合お問い合わせ先
〈DoCoMo インフォメーションセンター〉

■ドコモの携帯電話、PHSからの場合

※一般電話などからはご利用になれません。

■一般電話などからの場合

0120-800-000

※携帯電話、PHSからもご利用になれます。

●ダイヤルの番号をよくご確認の上、お間違いのないようにおかけください。

故障お問い合わせ先

■ドコモの携帯電話、PHSからの場合

※一般電話などからはご利用になれません。

■一般電話などからの場合

0120-800-000

※携帯電話、PHSからもご利用になれます。

●ダイヤルの番号をよくご確認の上、お間違いのないようにおかけください。
●なお、詳しくはFOMA端末などに添付の｢全国サービスステーション一覧｣でご確認ください。

マナーもいっしょに携帯しましょう。

○公共の場所で携帯電話をご利用の際は、周囲の方への心くばりを忘れずに。

販売元　NTT DoCoMo グループ

株式会社NTTドコモ北海道　株式会社NTTドコモ東北　株式会社NTTドコモ
株式会社NTTドコモ東海　株式会社NTTドコモ北陸　株式会社NTTドコモ関西
株式会社NTTドコモ中国　株式会社NTTドコモ四国　株式会社NTTドコモ九州

製造元 日本電気株式会社

環境保全のため、不要になった電池はNTT DoCoMoまたは代理店、リサイクル協力店などにお持ちください。

古紙配合率100%再生紙を使用しています。

大豆油インキを使用しています。

'06.12（1版）
MDT-000068-JAA0

FOMA® N601i
データ通信マニュアル

FOMA端末から利用できるデータ通信について............ 1
ご使用になる前に 3
手順を確認する.. 4
パソコンの設定をする 7
FOMA PC設定ソフトについて 12
各種設定の方法.. 18
設定した通信を実行する.. 24
W-TCPの設定 27
接続先（APN）の設定 29
ダイヤルアップネットワークの設定 30
ダイヤルアップの設定を行う.. 37
ATコマンド一覧.. 45

データ通信マニュアルについて
本マニュアルでは、FOMA N601iでデータ通信をする際に必要な事項についての説明をはじめ、CD-ROM内の「N601i通信設定ファイル（ドライバ）」「FOMA PC設定ソフト」のインストール方法などを説明しています。

Windows XPの操作手順について
本マニュアルでは、Windows XP Service Pack 2に対応した内容となっております。お使いの環境によっては操作手順や画面が一部異なる場合があります。

FOMA端末から利用できるデータ通信について

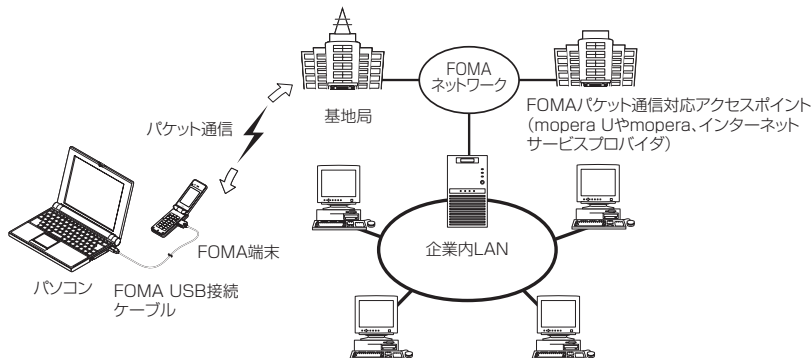
パケット通信と64Kデータ通信

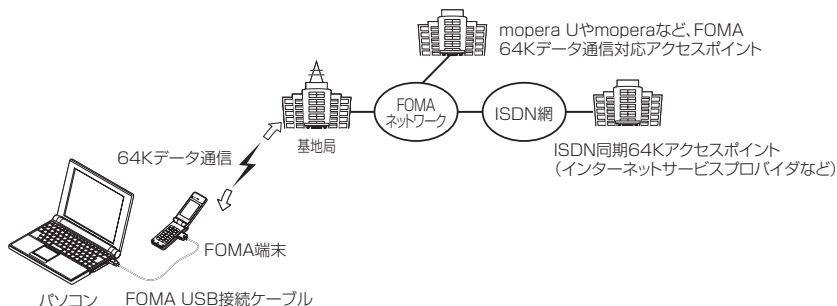
FOMA端末とパソコンを接続して利用できるデータ通信は、パケット通信と64Kデータ通信に分類されます。

● パケット通信
受信最大384kbps、送信最大64kbpsの通信速度でデータを送受信します。パケット通信は通信時間や距離に関係なく、送受信されたデータ量に応じて課金されます。データ量の大きいファイルの送受信を行った場合、通信料金が高額になりますのでご注意ください。FOMAネットワークに接続された企業内LANにアクセスし、データの送受信を行うこともできます。

● 64Kデータ通信
64kbpsの安定した通信速度でデータを送受信することができます。データ量に関係なく、接続された時間に応じて課金されます。長時間にわたる接続を行った場合、通信料金が高額になりますのでご注意ください。

■パケット通信をするには

パケット通信はFOMA USB接続ケーブル（別売）を使ってパソコンと接続したり、専用ケーブルでPDAと接続することにより通信を行います。
ドコモのインターネット接続サービス「mopera U」や「mopera」など、FOMAパケット通信に対応したアクセスポイントをご利用ください。

■64Kデータ通信をするには

64Kデータ通信は、FOMA USB接続ケーブル（別売）を使ってパソコンと接続したり、専用ケーブルでPDAと接続することにより通信を行います。
ドコモのインターネット接続サービス「mopera U」や「mopera」など、FOMA 64Kデータ通信に対応したアクセスポイントをご利用ください。

おしらせ

● 本FOMA端末はIP接続には対応しておりません。

ご利用にあたっての留意点

インターネットサービスプロバイダの利用料について

インターネットを利用する場合は、ご利用になるインターネットサービスプロバイダに対する利用料が必要となる場合があります。この利用料は、FOMAサービスの利用料とは別に直接インターネットサービスプロバイダにお支払いいただきます。利用料の詳しい内容については、ご利用のインターネットサービスプロバイダにお問い合わせください。
ドコモのインターネット接続サービス「mopera U」/「mopera」をご利用いただけます。「mopera U」をご利用いただく場合は、お申し込みが必要（有料）となります。「mopera」をご利用いただく場合は、お申し込み不要、月額使用料無料です。

接続先（インターネットサービスプロバイダなど）の設定について

パケット通信と64Kデータ通信では接続先が異なります。パケット通信を行うときはパケット通信対応の接続先、64Kデータ通信を行うときはFOMA64Kデータ通信、またはISDN同期64K対応の接続先をご利用ください。
• DoPaのアクセスポイントには接続できません。
• PIAFSなどのPHS64K/32Kデータ通信のアクセスポイントには接続できません。

ネットワークアクセス時のユーザ認証について

接続先によっては、接続時にユーザ認証（IDとパスワード）が必要な場合があります。その場合は、通信ソフト（ダイヤルアップネットワーク）でIDとパスワードを入力して接続してください。IDとパスワードは接続先のインターネットサービスプロバイダまたは接続先のネットワーク管理者から付与されます。詳しい内容については、インターネットサービスプロバイダまたは接続先のネットワーク管理者にお問い合わせください。

ブラウザ利用時のアクセス認証について

パソコンのブラウザでFirstPass対応サイトを利用する時のアクセス認証では FirstPass（ユーザ証明書）が必要です。同梱のCD-ROMからFirstPass PCソフトをインストールし、設定を行ってください。詳しくはCD-ROM内の「FirstPassPC Soft」フォルダ内の「FirstPassManual」（PDF形式）をご覧ください。「FirstPassManual」（PDF形式）をご覧になるには、Adobe Reader（バージョン6.0以上を推奨）が必要です。お使いのパソコンにインストールされていない場合は、同CD-ROM 内のAdobe Reader をインストールしてご覧ください。ご使用方法等の詳細につきましては、Adobe Readerヘルプを参照してください。

パケット通信および64Kデータ通信の条件について

FOMA端末で通信を行うには、次の条件が必要です。
• FOMA USB接続ケーブル（別売）を利用できるパソコンであること。
• FOMAサービスエリア内であること。
• パケット通信の場合は接続先がFOMAのパケット通信に対応していること。
• 64Kデータ通信の場合は接続先がFOMA 64Kデータ通信、またはISDN同期64Kに対応していること。
ただし、上記の条件が整っていても、基地局が混雑していたり、電波状態が悪かったりする場合は通信できないことがあります。

ご使用になる前に

動作環境について

データ通信を利用するためのパソコンの動作環境は以下のとおりです。

パソコン本体	• PC-AT互換機でCD-ROMドライブが使用できる機器 • USBポート（Universal Serial Bus Specification Rev1.1準拠） • ディスプレイ解像度800×600ドット、High Color（65,536色）以上を推奨
OS※1	• Windows 2000（日本語版） • Windows XP（日本語版）
必要メモリ	• Windows 2000：64Mバイト以上※2 • Windows XP：128Mバイト以上※2
ハードディスク容量	• 5Mバイト以上の空き容量※2

※1 ： OSアップグレードからの動作は保証の対象外となります。
※2 ： 必要メモリ・ハードディスク容量は、パソコンのシステム構成によって異なることがあります。

おしらせ

● FOMA端末をドコモのPDA「musea」や「sigmarion Ⅱ」と接続してデータ通信を行う場合、「musea」や「sigmarion Ⅱ」をアップデートしてご利用ください。アップデートの方法などの詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。
● FOMA端末は、Remote Wakeupには対応していません。
● FOMA端末は、FAX通信には対応していません。

必要な機器について

FOMA端末とパソコン以外に以下のハードウェア、ソフトウェアを使います。
• FOMA USB接続ケーブル（別売）
• CD-ROM「FOMA N601i用CD-ROM」

おしらせ

● USBケーブルは専用の「FOMA USB接続ケーブル」をお買い求めください。パソコン用のUSBケーブルはコネクタ部の形状が異なるため使用できません。

手順を確認する

データ通信ではダイヤルアップ接続によって、FOMAデータ通信に対応したインターネットサービスプロバイダやLANに接続できます。

■「FOMA N601i用CD-ROM」について

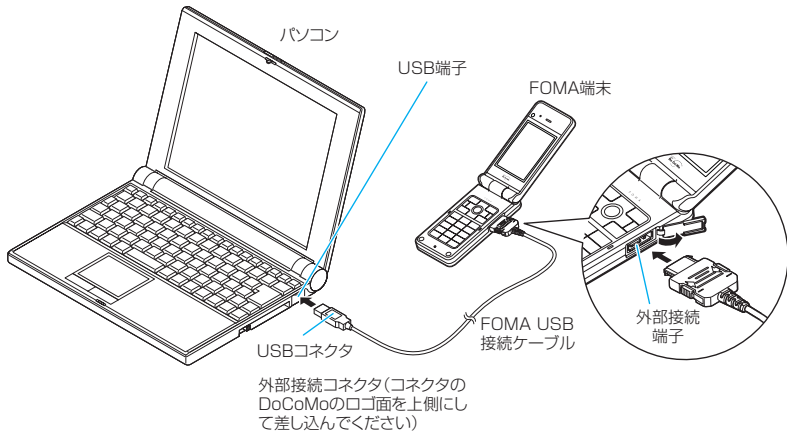
- N601i通信設定ファイル（ドライバ）、FOMA PC設定ソフト、FirstPass PCソフトが入っています。
- N601i通信設定ファイルとは、FOMA端末とパソコンをFOMA USB接続ケーブル（別売）で接続して、パケット通信、64Kデータ通信やデータ転送（OBEX）を行うときに必要なソフトウェア（ドライバ）です。N601i通信設定ファイルをインストールすることで、Windowsに各ドライバが組み込まれます。
  FOMA PC設定ソフトを使うと、パケット通信、64Kデータ通信の設定やダイヤルアップ作成を簡単に行うことができます。

設定完了までの流れ

パケット通信および64Kデータ通信を利用する場合の準備について説明します。

※：FOMA端末とパソコンを接続してインターネットをするには、ブロードバンド接続等に対応した「mopera U」（お申し込み必要）が便利です。使用した月だけ月額使用料がかかるプランもございます。また、お申し込みが不要で今すぐインターネットに接続できる「mopera」もご利用いただけます。
詳しくはドコモのホームページをご覧ください。

取り付け方法

FOMA USB接続ケーブル（別売）の取り付け方法について説明します。

1 FOMA端末の外部接続端子の端子キャップを開ける

2 FOMA端末の外部接続端子の向きを確認して、FOMA USB接続ケーブルの外部接続コネクタを水平に「カチッ」と音がするまで差し込む

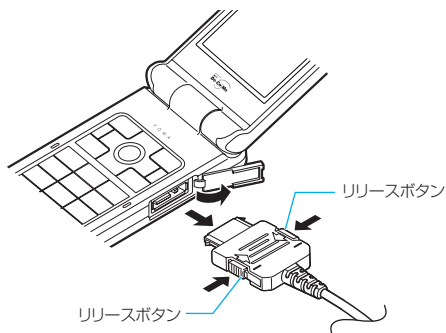
3 FOMA USB接続ケーブルのUSBコネクタを、パソコンのUSB端子に接続する

FOMA USB接続ケーブルを接続するとFOMA端末に「 」が表示されます。

おしらせ

● FOMA端末に表示される「 」は、N601i通信設定ファイルのインストールを行い、パソコンとの接続が認識されたときに表示されます。

取り外し方法

FOMA USB接続ケーブル（別売）の取り外し方法について説明します。

1. パソコンのUSB端子からFOMA USB接続ケーブルを引き抜く
2. FOMA USB接続ケーブルの外部接続コネクタのリリースボタンを押しながら、水平に引き抜く
3. FOMA端末の外部接続端子の端子キャップを閉じる

おしらせ

- FOMA USB接続ケーブルの取り付け・取り外しを連続して行うと、FOMA端末がパソコンに正しく認識できなくなることがありますので間隔をおいて行ってください。
- 通信の切断・誤動作・データ消失の原因となるため、データ通信中にFOMA USB接続ケーブルの取り外しは行わないでください。
- FOMA USB接続ケーブルの外部接続コネクタをFOMA端末の外部接続端子から引き抜くときは、コネクタのリリースボタンを押しながら引き抜いてください。無理に引っ張ろうとすると故障の原因となります。

パソコンの設定をする

ここでは、パソコンとの接続から、N601i通信設定ファイル（ドライバ）をインストールするまでの手順を説明します。

FOMA端末とパソコンを接続する

1 Windowsを起動して、「FOMA N601i用CD-ROM」をパソコンにセットする

2 「☒」をクリックして画面を終了させる

この画面は、「FOMA N601i用CD-ROM」をパソコンにセットすると自動的に表示されます。表示されない場合は、そのまま操作3へ進みます。
N601i通信設定ファイルのインストール中にこの画面が表示された場合も「☒」をクリックします。

3 FOMA端末の電源を入れて、FOMA USB接続ケーブル（別売）をFOMA端末に接続する

4 FOMA USB接続ケーブルをパソコンのUSB端子に接続する

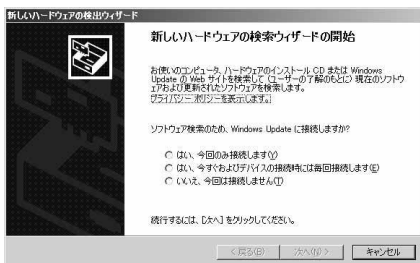
「新しいハードウェアの検出ウィザード」画面が表示されます。

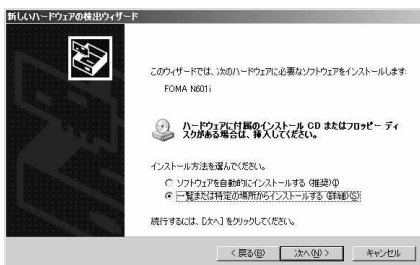
N601i通信設定ファイル（ドライバ）をインストールする

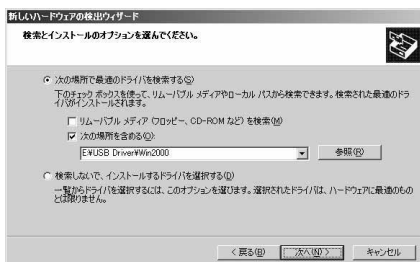
● N601i通信設定ファイルのインストールを行う場合は、必ずパソコンの管理者権限を持ったユーザアカウントで行ってください。それ以外のアカウントでインストールを行うとエラーとなります。パソコンの管理者権限の設定操作については、各パソコンメーカ、マイクロソフト社にお問い合わせください。
● N601i通信設定ファイルのインストール手順は、OSによって異なります。ご利用になるパソコンのOSに合った説明を参照してください。
Windows XPの場合は下記を参照してください。
Windows 2000の場合はP.9へ進みます。

● Windows XPの場合

1 FOMA端末にFOMA USB接続ケーブル（別売）を接続する

「FOMA端末とパソコンを接続する」（P.7）の操作4でFOMA USB接続ケーブルをパソコンに接続すると、自動的に右の画面が表示されます。

2 「いいえ、今回は接続しません」を選択し、「次へ」をクリックする

3 「一覧または特定の場所からインストールする（詳細）」を選択し、「次へ」をクリックする

4 「次の場所で最適のドライバを検索する」を選択し、「リムーバブルメディア（フロッピー、CD-ROMなど）を検索」のチェックを外し、「次の場所を含める」をチェックして検索するフォルダを指定し、「次へ」をクリックする

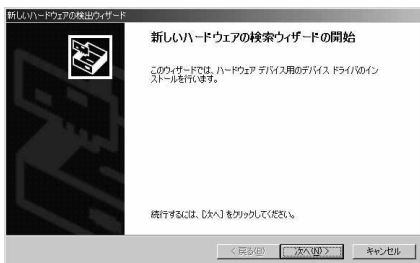
フォルダは、「<CD-ROMドライブ名>:¥USB Driver¥Win2000」を指定します。
CD-ROMドライブ名はお使いのパソコンによって異なります。この画面ではCD-ROMドライブ名が「E」です。
ドライバはWindows 2000と共通です。

5 「新しいハードウェアの検索ウィザードの完了」と表示されたら、「完了」をクリックする

6 ほかのドライバもインストールする

引き続き、操作1～5を参考にして、残りの3つのドライバ（P.10）をすべてインストールします。操作5の終了後､｢新しいハードウェアの検出ウィザード｣画面が出なくなればドライバのインストールは終了です。
すべてのドライバのインストールが完了すると､タスクバーのインジケータから｢新しいハードウェアがインストールされ、使用準備ができました。｣というメッセージが数秒間表示されます。｢インストールしたドライバを確認する｣（P.10）に進みます。

● Windows 2000の場合

1 FOMA端末にFOMA USB接続ケーブル（別売）を接続する

「FOMA端末とパソコンを接続する」（P.7）の操作4でFOMA USB接続ケーブルをパソコンに接続すると、自動的に右の画面が表示されます。

2 「次へ」をクリックする

3 「デバイスに最適なドライバを検索する（推奨）」を選択し、「次へ」をクリックする

4 「場所を指定」をチェックして「次へ」をクリックする

5 検索するフォルダを指定し、「OK」をクリックする

フォルダは、「＜CD-ROMドライブ名＞：¥USB Driver¥Win2000」を指定します。
CD-ROMドライブ名はお使いのパソコンによって異なります。

6 ドライバ名を確認し、「次へ」をクリックする

ここでは「FOMA N601i」と表示されます。

7 「新しいハードウェアの検索ウィザードの完了」と表示されたら、「完了」をクリックする

8 ほかのドライバもインストールする

引き続き、操作1～7を参考にして、残りの3つのドライバ（P.10）をすべてインストールします。
操作7の終了後、「新しいハードウェアの検出ウィザード」画面が出なくなれば、ドライバのインストールは終了です。「インストールしたドライバを確認する」（P.10）に進みます。

インストールしたドライバを確認する

N601i通信設定ファイル（ドライバ）が正しくインストールされていることを確認します。

1 Windowsのコントロールパネルを開く

Windows XPの場合

「スタート」→「コントロールパネル」を選択

Windows 2000の場合

「スタート」→「設定」→「コントロールパネル」を選択

2 「パフォーマンスとメンテナンス」から「システム」アイコンをクリックする

Windows 2000の場合

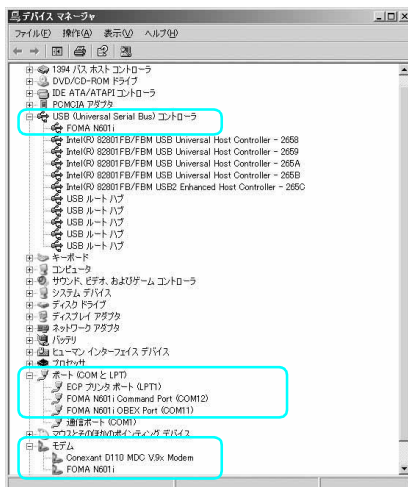
コントロールパネル内の「システム」を開く

3 デバイスマネージャを開く

「ハードウェア」タブをクリックし、「デバイスマネージャ」をクリックする

4 各デバイスをクリックしてインストールされたドライバ名を確認する

「USB（Universal Serial Bus）コントローラ」、「ポート（COMとLPT）」、「モデム」の下にすべてのドライバ名が表示されていることを確認します。

ドライバ名を確認したら、「FOMA PC設定ソフトについて」（P.12）へ進みます。

デバイス名	ドライバ名
USB （Universal Serial Bus）コントローラ	• FOMA N601i
ポート（COMとLPT）	• FOMA N601i Command Port • FOMA N601i OBEX Port
モデム	• FOMA N601i

おしらせ

● 上記の確認を行った際、すべてのドライバ名が表示されない場合は、アンインストール（P.11）の手順に従ってN601i通信設定ファイルを削除してから、再度インストールしてください。

N601i通信設定ファイル（ドライバ）をアンインストールする

ドライバのアンインストールが必要な場合（ドライバをバージョンアップする場合など）は、以下の手順で行ってください。ここではWindows XPを例にしてアンインストールを説明します。

- FOMA端末を接続している状態で「プログラムの追加と削除」を実行した場合は、アンインストールを実行できません。
- N601i通信設定ファイルのアンインストールを行う場合は、必ずパソコンの管理者権限を持ったユーザアカウントで行ってください。それ以外のアカウントでアンインストールを行うとエラーとなります。パソコンの管理者権限の設定操作については、各パソコンメーカ、マイクロソフト社にお問い合わせください。

1 FOMA端末とパソコンがFOMA USB接続ケーブル（別売）で接続されている場合は、FOMA USB接続ケーブルを取り外す

2 Windowsの「プログラムの追加と削除」を起動する

「スタート」→「コントロールパネル」→「プログラムの追加と削除」をクリックする

3 「FOMA N601i USB」を選択して「変更と削除」をクリックする

4 「OK」をクリックしてアンインストールする

アンインストールを中止する場合は「キャンセル」をクリックします。

5 「はい」をクリックしてWindowsを再起動する

以上でアンインストールは終了です。
「いいえ」をクリックした場合は、手動で再起動をしてください。

おしらせ

- Windowsの「プログラムの追加と削除」に「FOMA N601i USB」が表示されていない場合は、次のように操作をしてください。
  ①「FOMA N601i用CD-ROM」をパソコンにセットする
  ②「スタート」→「マイコンピュータ」を開く
  ③CD-ROMアイコンを右クリックし、「開く」を選択する
  ④CD-ROM内の「USB Driver」→「Win2000」フォルダを開く
  ⑤「n601i_un.exe」※をダブルクリックする
  ※：お使いのパソコンの設定によっては「n601i_un」と表示されることがあります。

FOMA PC設定ソフトについて

FOMA PC設定ソフトを使うと、簡単な操作で以下の設定ができます。

● FOMA　PC設定ソフトを使わずに、パケット通信や64Kデータ通信を設定することもできます。→P.30

FOMA端末とパソコンとの接続については、P.5を参照してください。

かんたん設定

ガイドに従い操作することで、「FOMAデータ通信用ダイヤルアップの作成」を行い、同時に「W-TCPの設定」などを行います。

W-TCPの設定

「FOMAパケット通信」を利用する前に、パソコン内の通信設定を最適化します。
通信性能を最大限に活用するには、W-TCP設定による通信設定の最適化が必要となります。

接続先（APN）の設定

パケット通信を行う際に必要な接続先（APN）の設定を行います。
FOMAパケット通信の接続先には、64Kデータ通信と異なり電話番号は使用しません。あらかじめ接続先ごとに、FOMA端末にAPN（Access Point Name）と呼ばれる接続先名を登録し、その登録番号（cid）を接続先電話番号欄に指定して接続します。
お買い上げ時、cid1にはmoperaの接続先（APN）「mopera.ne.jp」が、cid3にはmopera Uの接続先（APN）「mopera.net」が登録されていますので、cid2または4～10に接続先（APN）を設定してください。
cid [Context Identifier]…FOMA端末に登録するパケット通信での接続先（APN）を管理する番号。FOMA端末にAPN登録をするときに設定します。

おしらせ

● FOMA PC設定ソフトVer 3.0.1以前の古いバージョン（以後、旧FOMA PC設定ソフトと呼びます）がインストールされている場合は、あらかじめ旧FOMA PC設定ソフトをアンインストールしてください。

FOMA PC設定ソフトのインストールからインターネット接続までの流れ

STEP 1
ソフトの
インストール

「FOMA PC設定ソフト」をインストールします
インストール方法は、P.14を参照してください。
「旧FOMA PC設定ソフト」がインストールされている場合は、「FOMA PC設定ソフトVer 3.0.1」のインストールを行う前にアンインストールしてください。
「旧FOMA PC設定ソフト」がインストールされている場合は、「FOMA PC設定ソフトVer 3.0.1」のインストールは行えません。
「旧W-TCP設定ソフト」および「旧APN設定ソフト」がインストールされているという画面が出た場合は、P.15を参照してください。

STEP 2
設定前の
準備

各種設定前の準備をします
各種設定の前にFOMA端末とパソコンが接続され、かつ正しく認識されていることを確認してください。
「FOMA端末とパソコンの接続方法」については、P.5を参照してください。
「FOMA端末をパソコンに正しく認識させる方法」については、「パソコンの設定をする」(P.7)を参照してください。
FOMA端末がパソコンに正しく認識されていない場合、各種設定および通信を行うことができません。
その場合はP.8を参照して通信設定ファイルのインストールを行ってください。

STEP 3
各種
設定作業

ご利用の通信に対応した設定をします
かんたん設定「mopera Uまたはmoperaを利用したパケット通信設定方法」は、P.18を参照してください。
かんたん設定「その他のプロバイダを利用したパケット通信設定方法」は、P.20を参照してください。
かんたん設定「mopera Uまたはmoperaを利用した64Kデータ通信設定方法」は、P.22を参照してください。
かんたん設定「その他のプロバイダを利用した64Kデータ通信設定方法」は、P.23を参照してください。
その他の設定は、P.27以降を参照してください。

STEP 4
接　続

インターネットに接続します
接続方法は、P.24を参照してください。

FOMA PC設定ソフトをインストールする

● インストールする前に動作環境を確認してください。→P.3
● 「FOMA PC設定ソフト」のインストールを行う場合は、必ずパソコンの管理者権限を持ったユーザアカウントで行ってください。それ以外のアカウントでインストールを行うとエラーとなります。パソコンの管理者権限の設定操作については、各パソコンメーカ、マイクロソフト社にお問い合わせください。

1 CD-ROMをパソコンにセットする

右の画面が自動的に表示されます。
メニューが動作する推奨環境はMicrosoft Internet Explorer6.0以降です。お使いのパソコンが推奨環境を満たさないときや、CD-ROMをセットしてもメニューが表示されない場合は次の手順で操作してください。
①「スタート」→「マイコンピュータ」を開く
② CD-ROMアイコンを右クリックし、「開く」を選択する
③「index.html」をダブルクリックする

2 「データリンクソフト・各種設定ソフト」をクリックする

3 「FOMA PC設定ソフト」の項目の「インストール」をクリックする

4 「実行」をクリックする

セキュリティの警告画面が表示された場合は「実行する」をクリックしてください。

Windows 2000の場合
「開く」をクリックする

5 「次へ」をクリックする

セットアップを開始する前に、現在使用中または常駐しているほかのプログラムがないことを確認してください。使用中のプログラムがあった場合は、「キャンセル」をクリックし、使用中のプログラムを終了させた後、インストールを再開してください。
旧W-TCP設定ソフトまたは旧APN設定ソフトがインストールされているという画面が出た場合は、P.15を参照してください。

6 「FOMA PC設定ソフト」の使用許諾契約書の内容を確認の上、契約内容に同意する場合は「はい」をクリックする

「いいえ」をクリックし、「はい」をクリックすると、インストールは中止されます。

7 「次へ」をクリックする

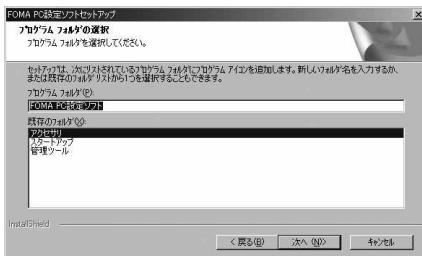
セットアップ後、タスクトレイに「W-TCP設定」常駐の可否を選択できます。
「W-TCP通信」の最適化の設定·解除を操作する機能で、常駐をおすすめします。
とくに問題がない場合は「タスクトレイに常駐する」を☑にしたまま「次へ」をクリックして、インストールを続行してください。「タスクトレイに常駐する」のチェックを外して設定した場合でもFOMA PC設定ソフトの「メニュー」、「W-TCP設定をタスクトレイに常駐させる」を選択することにより設定を変更できます。
(参考):「タスクトレイに常駐する」設定が有効になっている場合は選択できません。

デスクトップ右下のタスクトレイに表示されます。

8 インストール先を確認し、「次へ」をクリックする

変更がある場合は「参照」をクリックし、任意のインストール先を指定して「次へ」をクリックしてください。

9 プログラムフォルダのフォルダ名を確認し、「次へ」をクリックする

変更がある場合は新規フォルダ名を入力し、「次へ」をクリックします。

10 「完了」をクリックする

セットアップを完了すると、「FOMA PC設定ソフト」の操作画面が起動します。このまま各種設定をはじめられます。

FOMA PC設定ソフトインストール時の注意

<旧W-TCP設定ソフトがインストールされている場合>

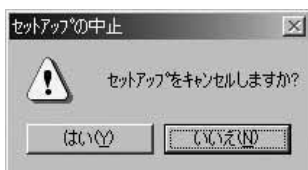
- 「アプリケーション(プログラム)の追加と削除」から旧W-TCP設定ソフトを削除してください。

<旧APN設定ソフトがインストールされている場合>

- 「OK」をクリックすると、旧APN設定ソフトのアンインストールが自動的に行われた後、FOMA PC設定ソフトがインストールされます。

<FOMA PC設定ソフトがすでにインストールされている場合>

- 「OK」をクリックすると、インストールが中止されます。すでにインストールされている「FOMA PC設定ソフト」を「アプリケーション(プログラム)の追加と削除」からアンインストールして、インストールし直してください。
- 古いバージョンの「FOMA PC設定ソフト」がインストールされている場合も同様の操作を行ってください。

<インストール途中で「キャンセル」を押した場合>

- インストールを継続する場合は「いいえ」を、中止する場合は、「はい」をクリックしてください。

FOMA PC設定ソフトのバージョン情報を確認する

1 「スタート」→「すべてのプログラム」→「FOMA PC設定ソフト」→「FOMA PC設定ソフト」を開く

Windows 2000の場合

「スタート」→「プログラム」→「FOMA PC設定ソフト」→「FOMA PC設定ソフト」の順に開く

2 ツールバーの「メニュー」→「バージョン情報」を開く

FOMA PC設定ソフトのバージョン情報が表示されます。

FOMA PC設定ソフトをアンインストールする

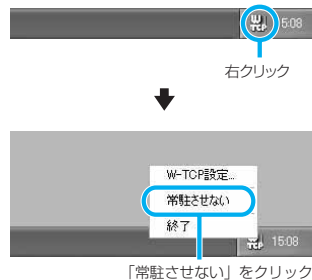
FOMA PC設定ソフトのアンインストールが必要な場合（FOMA PC設定ソフトをバージョンアップする場合など）は、以下の手順で行ってください。ここではWindows XPを例にしてアンインストールを説明します。

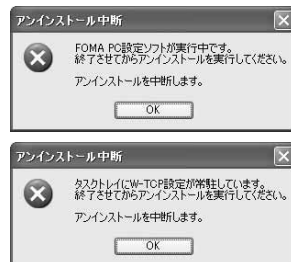
● 「FOMA PC設定ソフト」のアンインストールを行う場合は、必ずパソコンの管理者権限を持ったユーザアカウントで行ってください。それ以外のアカウントでアンインストールを行うとエラーとなります。パソコンの管理者権限の設定操作については、各パソコンメーカ、マイクロソフト社にお問い合わせください。

1 アンインストールを実行する前に

「FOMA PC設定ソフト」をアンインストールする前に、FOMA用に変更された内容を元に戻す必要があります。

(1) タスクトレイに常駐している「W-TCP設定」を常駐させせないようにする

デスクトップ右下のタスクトレイの「W-TCPアイコン」を右クリックして「常駐させない」をクリックします。

(2) 起動中のプログラムを終了させる

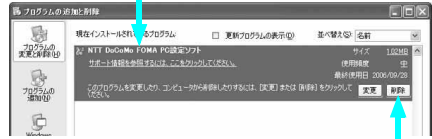
「FOMA PC設定ソフト」や「W-TCP設定」が起動中にアンインストールを実行しようとすると、右のような画面が表示されます。アンインストールプログラムを中断し、それぞれのプログラムを終了させてください。

2 アンインストールを開始する

Windows XPの場合

「スタート」→「コントロールパネル」→「プログラムの追加と削除」の順に開く

Windows 2000の場合

「スタート」→「設定」→「コントロールパネル」→「アプリケーションの追加と削除」の順に開く

3 「NTT DoCoMo FOMA PC設定ソフト」を選択して「削除」をクリックする

4 削除するプログラム名を確認し、「はい」をクリックする

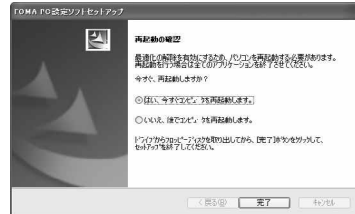
アンインストールが開始されます。

5 「完了」をクリックする

「FOMA PC設定ソフト」のアンインストールが終了します。

おしらせ

● 「W-TCP最適化」の解除
「W-TCP最適化」がされている場合は右の画面が表示されます。アンインストールする場合は、通常は「はい」をクリックして、最適化を解除してください。

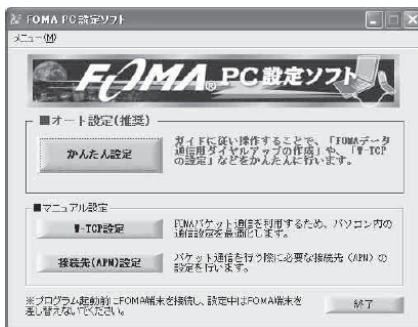
W-TCP最適化の解除は再起動後に行われます。

各種設定の方法

通信設定をする前に、FOMA端末がFOMA USB接続ケーブル（別売）によりご利用のパソコンに接続され、かつパソコンのデバイス上にN601i通信設定ファイル（ドライバ）が正しく認識されている必要があります。

1 「スタート」→「すべてのプログラム」→「FOMA PC設定ソフト」→「FOMA PC設定ソフト」の順に開く

FOMA PC設定ソフトを起動すると右の操作画面が表示されます。

Windows 2000の場合

「スタート」→「プログラム」→「FOMA PC設定ソフト」→「FOMA PC設定ソフト」の順に開く

かんたん設定「mopera U またはmoperaを利用したパケット通信設定方法」

- 最大384kbpsのパケット通信の設定を行います。プロバイダは、ドコモのインターネット接続サービスmopera Uまたはmoperaを利用します。
  パケット通信：受信最大384kbps、送信最大64kbps（一部機種を除く）のパケット通信が可能です。送受信したデータ量に応じて課金されますので、時間を気にせずデータ通信ができます。
- 「パケット通信」を利用して画像を含むサイトやインターネットホームページの閲覧、ファイルのダウンロードなどのデータ量の多い通信を行うと、通信料が高額となりますのでご注意ください。

1 「かんたん設定」をクリックする

2 「パケット通信」を選択し、「次へ」をクリックする

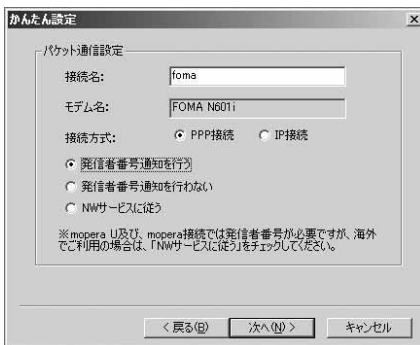
3 「『mopera U』への接続」または「『mopera』への接続」を選択し、「次へ」をクリックする

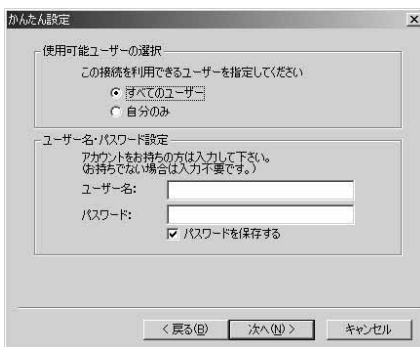
mopera Uまたはmopera以外のプロバイダをご利用のお客様は、P.20を参照してください。

4 「OK」をクリックする

パソコンに接続されたFOMA端末から接続先（APN）設定を取得します。しばらくお待ちください。

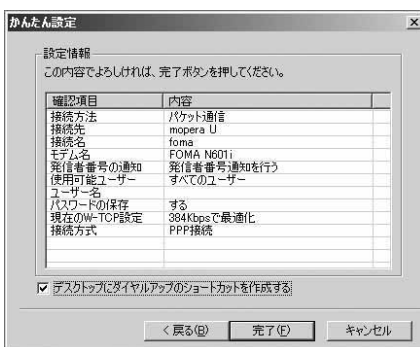
5 接続名の入力と接続方式（PPP接続）を選択し、「次へ」をクリックする

現在作成している接続の名前を自由に設定できます。わかりやすい名前を「接続名」欄にご入力ください。
入力禁止文字 ¥/: * ?!<> | ”（半角のみ）は使用できません。
接続方式を選択してください。
mopera Uは、「PPP接続」･「IP接続」ともに対応しています。moperaは「PPP接続」のみに対応しています。ただし、本FOMA端末は、IP接続には対応しておりません。
発信者番号の通知については「発信者番号通知を行う」を選択してください。

6 ユーザー名･パスワード･使用可能ユーザーの選択を設定し、「次へ」をクリックする

mopera Uまたはmoperaの場合は、ユーザー名・パスワードについては空欄のままでも接続できます。
使用可能ユーザーの選択で、「すべてのユーザー」を選択するとWindowsに登録されているすべてのユーザーに対して接続が設定されます。

7 「最適化を行う」をチェックし、「次へ」をクリックする

「パケット通信」に必要な「W-TCP設定」を最適化します。すでに最適化されている場合には、この画面は表示されません。

8 設定情報を確認し、「完了」をクリックする

設定された内容が一覧で表示されます。設定内容に誤りがないことを確認してください。
「デスクトップにダイヤルアップのショートカットを作成する」をチェックすれば自動的にショートカットが作成されます。
設定内容を変更する場合は「戻る」をクリックします。

9 「OK」をクリックする

設定変更を有効にするためには、パソコンを再起動する必要があります。再起動の選択画面が表示された場合は「はい」をクリックします。
設定した通信を実行します。→P.24

かんたん設定「その他のプロバイダを利用したパケット通信設定方法」

1 「かんたん設定」をクリックする

2 「パケット通信」を選択し、「次へ」をクリックする

3 「その他」を選択し、「次へ」をクリックする

4 「OK」をクリックする

パソコンに接続されたFOMA端末から接続先（APN）設定を取得します。
しばらくお待ちください。

5 パケット通信設定を行う

端末設定取得が完了すると、「パケット通信設定」画面が表示されます。
「接続名」の空欄に任意の接続名を入力してください。
入力禁止文字 ¥/:＊?!<>｜”（半角のみ）は使用できません。
ダイヤルアップ時に発信者番号を通知するかどうかを選択してください。
「接続先（APN）の選択」欄には標準でmopera Uに接続するための APN:mopera.net と moperaに接続するためのAPN:mopera.ne.jpが設定されています。
発信者番号通知の設定については、ご利用になるプロバイダの指示情報に従ってください。

6 「接続先（APN）設定」をクリックする

お買い上げ時、cid1 には mopera の接続先（APN）「mopera.ne.jp」が、cid3にはmopera Uの接続先（APN）「mopera.net」が登録されていますので、cidは2または4〜10に設定します。
「追加」をクリックして表示される「接続先（APN）の追加」画面で、接続方式を選択し、ご利用のプロバイダのFOMAパケット通信に対応した接続先（APN）を正しく入力し、「OK」をクリックしてください。「接続先（APN）設定」画面に戻ります。
接続先には、半角文字で英数字、ハイフン（-）、ピリオド（.）のみ入力できます。

7 接続先を選択し、「OK」をクリックする

操作5の画面に戻ります。
「接続先（APN）の選択」には、操作6で設定した接続先（APN）が表示されます。

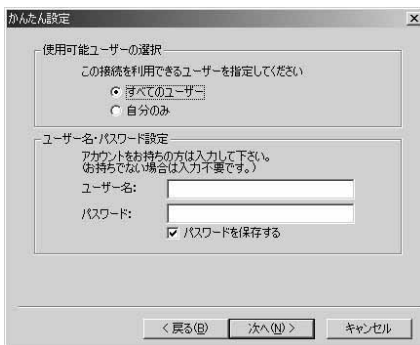
❽ 「接続先（APN）の選択」で接続先（APN）を確認し、「次へ」をクリックする

高度な設定（TCP／IPの設定）をする場合

「詳細情報の設定」をクリックすると、「IPアドレス」、「ネームサーバー」の設定画面が表示されます。ご加入のプロバイダや、社内LAN等のダイヤルアップ情報として入力が必要な場合は、入力指示情報を元に、各種アドレスを登録してください。

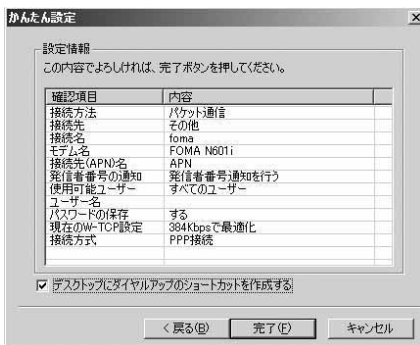
❾ ユーザー名･パスワード・使用可能ユーザーの選択を設定し、「次へ」をクリックする

使用可能ユーザーの選択で、「すべてのユーザー」を選択するとWindowsに登録されているすべてのユーザーに対して接続が設定されます。

ユーザー名・パスワードの設定は、プロバイダから提供された各種情報を、大文字・小文字等に注意し、正確に入力してください。

❿ 「最適化を行う」をチェックし、「次へ」をクリックする

「パケット通信」に必要な「W-TCP設定」を最適化します。すでに最適化されている場合には、この画面は表示されませんので、操作11に進みます。

⓫ 設定情報を確認し、「完了」をクリックする

設定された内容が一覧で表示されます。設定内容に誤りがないことを確認してください。
「デスクトップにダイヤルアップのショートカットを作成する」をチェックすれば自動的にショートカットが作成されます。
設定内容を変更する場合は「戻る」をクリックします。

⓬ 「OK」をクリックする

設定変更を有効にするためには、パソコンを再起動する必要があります。再起動の選択画面が表示された場合は「はい」をクリックしてください。
設定した通信を実行します。→P.24

かんたん設定「mopera U またはmoperaを利用した64Kデータ通信設定方法」

- 通信速度64kbpsの64Kデータ通信の設定を行います。プロバイダは、ドコモのインターネット接続サービスmopera Uまたはmoperaを利用します。
- 64Kデータ通信は接続していた時間に応じて課金されます。64kbpsの安定した通信速度によって快適なインターネットアクセスが実現できます。
- 「64Kデータ通信」を利用して長時間通信を行うと、通信料が高額となりますのでご注意ください。

1 「かんたん設定」をクリックする

2 「64Kデータ通信」を選択し、「次へ」をクリックする

3 「『mopera U』への接続」または「『mopera』への接続」を選択し、「次へ」をクリックする

mopera U またはmopera以外のプロバイダをご利用のお客様は、P.23を参照してください。

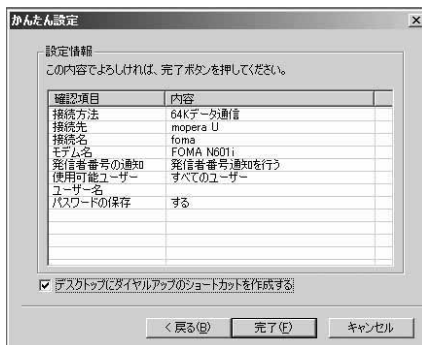
4 接続名の入力とモデムを選択し、「次へ」をクリックする

「64Kデータ通信設定」画面になります。現在作成している接続の名前を自由に設定できます。わかりやすい名前を「接続名」欄にご入力ください。
入力禁止文字 ¥/:＊?!<>｜”（半角のみ）は使用できません。
FOMA USB接続ケーブル（別売）を使う場合、モデム名は「FOMA N601i」を選択します。
発信者番号の通知については「発信者番号通知を行う」を選択してください。

5 ユーザー名･パスワード･使用可能ユーザーの選択を設定し、「次へ」をクリックする

mopera Uまたはmoperaの場合は、ユーザー名・パスワードについては空欄のままでも接続できます。
使用可能ユーザーの選択で、「すべてのユーザー」を選択するとWindowsに登録されているすべてのユーザーに対して接続が設定されます。

6 設定情報を確認し、「完了」をクリックする

設定された内容が一覧で表示されます。設定内容に誤りがないことを確認してください。
「デスクトップにダイヤルアップのショートカットを作成する」をチェックすれば自動的にショートカットが作成されます。
設定内容を変更する場合は「戻る」をクリックします。

7 「OK」をクリックする

設定した通信を実行します。→P.24

かんたん設定「その他のプロバイダを利用した64Kデータ通信設定方法」

1 「かんたん設定」をクリックする

2 「64Kデータ通信」を選択し、「次へ」をクリックする

3 「その他」を選択し、「次へ」をクリックする

4 ダイヤルアップ情報を入力し、「次へ」をクリックする

mopera Uまたはmopera以外のISDN同期64Kアクセスポイントを持つサービスプロバイダに接続する場合は、ダイヤルアップ作成時に、以下の項目を登録します。

- 接続名（任意）
- モデムの選択（FOMA N601i）
- 電話番号
- ダイヤルアップ時の発信者番号の通知について

入力禁止文字 ¥/:＊?!<>｜”（半角のみ）は使用できません。

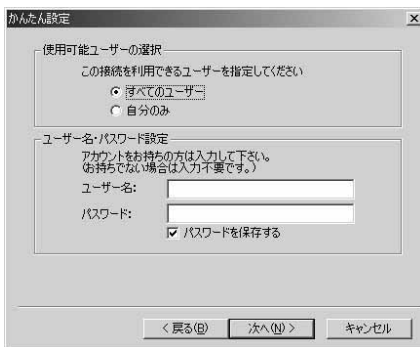
プロバイダ情報を元に正しく入力してください。電話番号は、大文字・小文字等に注意し、半角文字で正確に入力してください。
発信者番号通知の設定については、ご利用になるプロバイダの指示情報に従ってください。

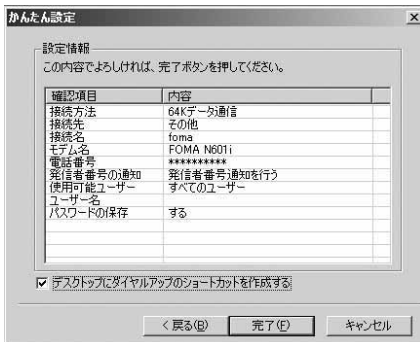
高度な設定（TCP／IPの設定）をする場合

「詳細情報の設定」をクリックすると「IPアドレス」、「ネームサーバー」の設定画面が表示されます。ご加入のプロバイダや、社内LAN等のダイヤルアップ情報として入力が必要な場合は、入力指示情報を元に、各種アドレスを登録してください。

5 ユーザー名･パスワード・使用可能ユーザーの選択を設定し、「次へ」をクリックする

使用可能ユーザーの選択で、「すべてのユーザー」を選択するとWindowsに登録されているすべてのユーザーに対して接続が設定されます。

ユーザー名・パスワードの設定は、プロバイダから提供された各種情報を、大文字・小文字等に注意し、正確に入力してください。

6 設定情報を確認し、「完了」をクリックする

設定された内容が一覧で表示されます。設定内容に誤りがないことを確認してください。
「デスクトップにダイヤルアップのショートカットを作成する」をチェックすれば自動的にショートカットが作成されます。
設定内容を変更する場合は「戻る」をクリックします。

7 「OK」をクリックする

設定した通信を実行します。→P.24

設定した通信を実行する

1 デスクトップの接続アイコンをダブルクリックする

デスクトップに接続アイコンがない場合は次の操作を行ってください。

Windows XPの場合

「スタート」→「すべてのプログラム」→「アクセサリ」→「通信」→「ネットワーク接続」→接続先を開く

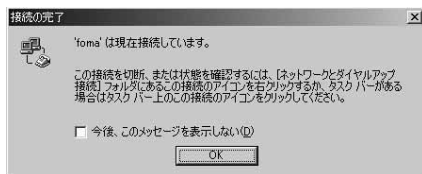
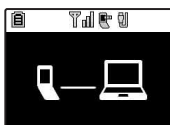
Windows 2000の場合

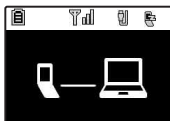
「スタート」→「プログラム」→「アクセサリ」→「通信」→「ネットワークとダイヤルアップ接続」→接続先を開く

2 「ダイヤル」をクリックし、接続を実行する

mopera Uまたはmoperaの場合は､「ユーザー名」･「パスワード」については空欄のままでも接続できます。その他のプロバイダやダイヤルアップ接続の場合は､「ユーザー名」･「パスワード」を入力し､「ダイヤル」をクリックしてください。
「パスワードを保存する」をチェックすると、次回からは入力の必要がなくなります。

3 接続されたことを確認し､「OK」をクリックする

通常の状態で、ダイヤルアップを接続すると、右のような接続画面が表示されます。
以前に「接続」のメッセージを表示しない設定にしてあると、この画面は表示されません。

● パケット通信中には、通信状態によってFOMA端末にアイコンが表示されます。

（通信中、データ送信中）
（通信中、データ受信中）
（通信中、データ送受信なし）
（発信中、または切断中）
（着信中、または切断中）

● 64Kデータ通信中には、FOMA端末に「 」が表示されます。

おしらせ

● FOMA USB接続ケーブル（別売）でデータ通信をする場合、ダイヤルアップアイコンからの発信は、アイコン作成時のFOMA端末のみ有効です。
したがって、異なるFOMA端末を接続する場合は、再度、通信設定ファイル（ドライバ）のインストールが必要となります。

切断のしかた

インターネットブラウザを終了しただけでは切断されていない場合がありますので、以下の操作で確実に切断してください。

1 タスクトレイのダイヤルアップアイコンをダブルクリックする

接続の画面が表示されます。

ダイヤルアップアイコン

2 「切断」をクリックする

おしらせ

● パソコンに表示される通信速度は、実際の通信速度とは異なる場合があります。

こんなときは

● ネットワークに接続できない（ダイヤルアップ接続ができない）場合は、まず以下の項目について確認してください。

現　象	チェックする箇所
「FOMA N601i」がパソコン上で認識できない	・ お使いのパソコンが動作環境（P.3）を満たしているかを確認してください。 ・ N601i通信設定ファイル（ドライバ）がインストールされているか確認してください。 ・ FOMA端末がパソコンに接続され、電源が入っているか確認してください。 ・ FOMA USB接続ケーブル（別売）がしっかりと接続されていることを確認してください。
相手先に接続できない	・ ID（ユーザー名）やパスワードの設定が正しいかどうか確認してください。 ・ FOMA USB接続ケーブル（別売）がしっかりと接続されていることを確認してください。 ・ 接続先が発信者番号の通知を要求する場合は、電話番号に「184」を付加していないかどうかを確認してください。 ・ モデムのプロパティで「フロー制御を使う」にチェックが付いていることを確認してください。 ・ 接続先のAPNが正しいかどうかを確認してください。 ・ 上記の確認を行っても相手先に接続できない場合は、インターネットサービスプロバイダまたはネットワーク管理者に設定方法などについてご相談ください。

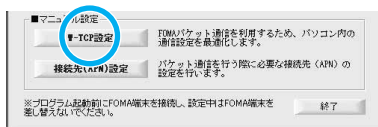
W-TCPの設定

「W-TCP設定」はFOMAネットワークで「パケット通信」を行う際に、TCP／IPの伝送能力を最適化するための「TCPパラメータ設定ツール」です。FOMA端末の通信性能を最大限に活用するには、このソフトウェアによる通信設定が必要です。

最適化の設定と解除

＜Windows XPの場合＞
Windows XPの場合は、ダイヤルアップごとの最適化設定が可能です。

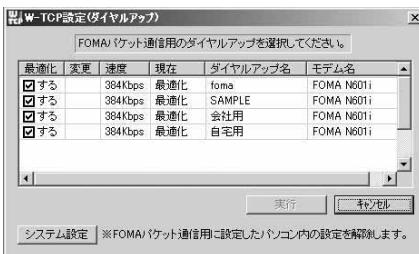
1 プログラムを起動する

(1)「FOMA PC設定ソフト」から操作する場合
プログラム起動後、「マニュアル設定」の「W-TCP設定」をクリックする

(2) タスクトレイから操作する場合
デスクトップ右下のタスクトレイの「W-TCPアイコン」をクリックし、プログラムを起動する

2 以下の操作を行う

現在開いているすべてのプログラムを終了させ画面表示に従ってパソコンを再起動してください。再起動した後、システム設定の最適化が有効になります。

(1) システム設定が最適化されていない場合
「384Kbps」を選択し、「最適化を行う」をクリックする
「W-TCP設定（ダイヤルアップ）」画面が表示されます。最適化するダイヤルアップを選択して「実行」をクリックすると、システム設定、ダイヤルアップ設定それぞれの最適化が実行されます。

(2) システム設定が最適化されている場合
「W-TCP設定（ダイヤルアップ）」画面が表示されます。
内容の変更等がある場合は、設定を行ってください。

(3) **最適化を解除する場合**

最適化を解除するダイヤルアップのチェックを外し、「システム設定」をクリックする

確認画面で「はい」をクリックし、「OK」をクリックすると、「W-TCP設定」画面が表示されます。

「最適化を解除する」をクリックする

＜Windows 2000の場合＞

1 プログラムを起動する

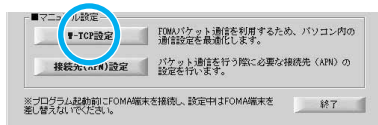
(1) **「FOMA PC設定ソフト」から操作する場合**

プログラム起動後、「マニュアル設定」の「W-TCP設定」をクリックする

W-TCP設定　FOMAパケット通信を利用するため、パソコン内の通信設定を最適化します。

パケット通信を行う際に必要な接続先（APN）の設定を行います。

※プログラム起動前にFOMA端末を接続し、設定中はFOMA端末を差し替えないでください。

終了

(2) **タスクトレイから操作する場合**

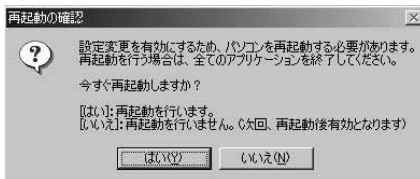
デスクトップ右下のタスクトレイの「W-TCPアイコン」をクリックし、プログラムを起動する

2 以下の操作を行う

(1) **最適化されていない場合**

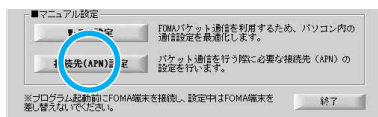
「W-TCP設定」画面で「384Kbps」を選択し、「最適化を行う」をクリックし、最適化設定を有効にするために、現在開いているすべてのプログラムを終了させ再起動を実行してください。

(2) **最適化されている場合**

「W-TCP設定」画面で「現在、384Kbps用に最適化されています。」と表示されます。FOMA端末以外での通信等の理由から設定を解除する場合は、「最適化を解除する」をクリックしてください。最適化解除を有効にするために、現在開いているすべてのプログラムを終了させ再起動を実行してください。

接続先（APN）の設定

パケット通信の接続先（APN）を設定します。最大10件まで設定でき、cid（登録番号）の1～10に登録して管理します。

● お買い上げ時、cid1にはmoperaの接続先(APN)「mopera.ne.jp」が、cid3にはmopera Uの接続先(APN)「mopera.net」が登録されていますので、cid2 または4 ～10に接続先（APN）を設定します。

1 「FOMA PC設定ソフト」起動後、「接続先（APN）設定」をクリックする

2 FOMA端末設定取得画面で「OK」をクリックする

接続されたFOMA端末に自動的にアクセスして登録されている接続先(APN)情報を読み込みます。FOMA端末が接続されていない場合は起動しません。

3 接続先（APN）の設定をする

接続先（APN）の追加・編集・削除

- **接続先（APN）を追加する場合**
  「接続先（APN）設定」画面で、「追加」をクリックする
- **登録済みの接続先（APN）を編集する場合**
  「接続先（APN）設定」画面で、対象の接続先（APN）を一覧から選択して「編集」をクリックする
- **登録済みの接続先（APN）を削除する場合**
  「接続先（APN）設定」画面で、対象の接続先（APN）を一覧から選択して「削除」をクリックする
  cid1とcid3に登録されている接続先は削除できません（cid3を選択して「削除」をクリックしても、実際には削除されず、「mopera.net」に戻ります）。

ファイルへの保存

FOMA端末に登録された接続先（APN）設定のバックアップを取ったり、編集中の接続先（APN）設定を保存する場合は、ツールバーの「ファイル」メニューからの操作で、接続先（APN）設定の保存ができます。

ファイルからの読み込み

保存された接続先（APN）設定を再編集したり、FOMA端末に書き込んだりする場合には、ツールバーの「ファイル」メニューからの操作で、パソコンに保存されている接続先（APN）設定を読み込むことができます。

FOMA端末への接続先（APN）情報の書き込み

「接続先(APN)設定」画面で「FOMA端末へ設定を書き込む」をクリックすると、表示されている接続先(APN)設定をFOMA端末に書き込むことができます。

ダイヤルアップ作成機能
「接続先（APN）設定」画面で追加・編集された接続先（APN）を選択して「ダイヤルアップ作成」をクリックします。
FOMA端末設定書き込み画面が表示されますので、「はい」をクリックしてください。FOMA端末への書き込み終了後、「パケット通信用ダイヤルアップの作成」画面が表示されます。
任意の接続名を入力して「アカウント・パスワードの設定」をクリックしてください。ユーザー名とパスワードを入力し、使用可能ユーザーの選択をして、「OK」をクリックしてください。mopera Uまたはmoperaの場合は、ユーザー名・パスワードについては空欄のままでも構いません。

ご利用のプロバイダより、IPおよびDNS情報の設定が指示されている場合は、「パケット通信用ダイヤルアップの作成」画面で「詳細情報の設定」をクリックし、必要な情報を登録して、「OK」をクリックします。
設定入力後、「FOMA端末へ設定を書き込む」をクリックして上書きを確認してから、書き込みを実行してください。

おしらせ

- APN設定（FOMAパケット通信の接続先）は、FOMA端末に登録される情報であるため、異なるFOMA端末を接続する場合は、再度APN登録をする必要があります。
- パソコンで作成したダイヤルアップの設定を継続利用する場合は、同一APN設定（cid設定）番号を端末に登録してください。

ダイヤルアップネットワークの設定

FOMA PC設定ソフトを使わずに、パケット通信／64Kデータ通信のダイヤルアップ接続の設定を行う方法について説明します。以下のような流れになります。

- 64Kデータ通信を行う場合は「ダイヤルアップネットワークの設定」は不要です。「ダイヤルアップの設定を行う」（P.37）に進んでください。

ATコマンドについて

- ATコマンドとは、モデム制御用のコマンドです。FOMA端末はATコマンドに準拠し、さらに拡張コマンドの一部や独自のATコマンドをサポートしています。
- ATコマンドを入力することによって、「データ通信」やFOMA端末の詳細な設定、設定内容の確認（表示）をすることができます。

COMポートを確認する

- 接続先（APN）の設定を行う場合、N601i通信設定ファイル（ドライバ）のインストール後に組み込まれた「FOMA N601i」（モデム）に割り当てられたCOMポート番号を指定する必要があります。ここではCOMポート番号の確認方法について説明します。ここで確認したCOMポートは接続先（APN）の設定（P.33）で使用します。

● 準備

1. FOMA端末とFOMA USB接続ケーブル（別売）を接続する
2. FOMA端末の電源を入れてFOMA端末と接続したFOMA USB接続ケーブルをパソコンに接続する

● Windows XPでCOMポートを確認する場合

1 「スタート」→「コントロールパネル」を開く

2 コントロールパネル内の「プリンタとその他のハードウェア」から、「電話とモデムのオプション」を開く

3 「所在地情報」画面が表示された場合は、「市外局番／エリアコード」を入力して「OK」をクリックする

4 「モデム」タブをクリックして「FOMA N601i」の「接続先」欄のCOMポートを確認し、「OK」をクリックする

確認したCOMポート番号は、接続先（APN）の設定（P.33）で使用します。

画面に表示させる内容およびCOMポートの番号は、お使いのパソコンによって異なります。

● Windows 2000でCOMポートを確認する場合

1 「スタート」→「設定」→「コントロールパネル」を開く

2 コントロールパネル内の「電話とモデムのオプション」を開く

3 「所在地情報」画面が表示された場合は、「市外局番」を入力し、「OK」をクリックする

4 「モデム」タブをクリックして「FOMA N601i」の「接続先」欄のCOMポートを確認し、「OK」をクリックする

確認したCOMポート番号は、接続先（APN）の設定（P.33）で使用します。

画面に表示される内容およびCOMポートの番号は、お使いのパソコンによって異なります。

接続先（APN）を設定する

お買い上げ時	cid1：mopera.ne.jp　cid3：mopera.net　cid2、4～10：設定なし

設定を行うためには、ATコマンドを入力するための通信ソフトが必要です。ここではWindows標準添付の「ハイパーターミナル」を使った設定方法を説明します。

接続先について<APN/cid>

● パケット通信の接続先には、64Kデータ通信と異なり、電話番号を使用しません。接続には電話番号の代わりにAPNを設定して接続します。
● APN設定とは、パソコンからパケット通信用の電話帳を登録するようなもので、登録するときは、1から10の登録番号（cid）を付与して登録し、その登録番号（cid）を接続先番号の一部として使用します。お買い上げ時、cid1にはmoperaの接続先（APN）「mopera.ne.jp」が、cid3にはmopera Uの接続先（APN）「mopera.net」が登録されていますので、cid2または4～10に接続先（APN）を設定してください。※1
● APNは「cid（1～10までの管理番号）」によって管理されます。接続する接続先番号を「＊99＊＊＊<cid番号>＃」とするとcid番号の接続先に接続します。
● moperaに接続する場合は接続先番号を「＊99＊＊＊1#」に、mopera Uに接続する場合は、「＊99＊＊＊3#」にすると、簡単にmoperaまたはmopera Uを利用することができます。※2
● APN設定は、携帯電話に相手先情報（電話番号など）を登録するのと同じように接続先をFOMA端末に登録します。携帯電話の電話帳と比較すると以下のようになります。

		APN設定	携帯電話の電話帳
登録するデータ		APN	電話番号
		cid	電話帳のメモリ番号
		―	相手の名前
登録のしかた	パソコンを使って登録する	○(FOMA PC設定ソフトなどを使用)	○（専用ソフトが必要）
	携帯電話を使って登録する	×（確認もできません）	○
使いかた		cidを指定して接続	電話帳から検索してかける
		―	FOMA端末のダイヤルボタンから直接電話番号を入力してかける

● 登録したcidはダイヤルアップ接続設定での接続番号となります。
● mopera Uまたはmopera以外の接続先（APN）については、インターネットサービスプロバイダまたはネットワーク管理者にお問い合わせください。

※1：「ダイヤルアップネットワーク」の電話番号欄にAPNを入力して接続するのではなく、FOMA端末側に接続先（インターネットサービスプロバイダ）についてあらかじめAPN設定を行います。
※2：他のインターネットサービスプロバイダなどに接続する場合は、APNを設定し、cidの2番または4～10番に登録してください。

<例：Windows XPの場合>

1 FOMA端末とFOMA USB接続ケーブル（別売）を接続する

2 FOMA端末の電源を入れてFOMA端末と接続したFOMA USB接続ケーブルをパソコンに接続する

3 パソコンで、「スタート」→「すべてのプログラム」→「アクセサリ」→「通信」→「ハイパーターミナル」をクリックしてハイパーターミナルを起動する

Windows 2000の場合
「スタート」→「プログラム」→「アクセサリ」→「通信」→「ハイパーターミナル」の順に開く

4 「今後、このメッセージを表示しない」をチェックし、「はい」をクリックする

5 「名前」欄に任意の名前を入力し、「OK」をクリックする

ここでは例として「sample」と入力します。

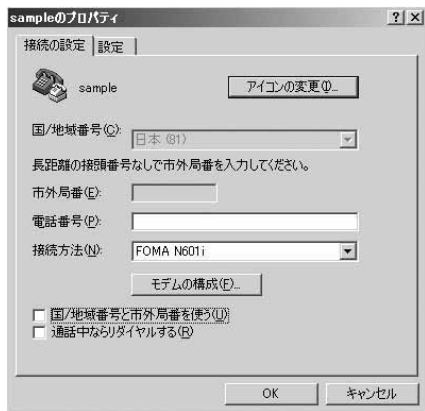
6 「接続方法」から「FOMA N601i」を選択し、「OK」をクリックする

接続画面が表示されるので、「キャンセル」をクリックする

「FOMA N601i」のCOMポートを選択できる場合

COMポートのプロパティが表示されるので「OK」をクリックする
ここでは例として「COM3」を選択します。実際に「接続方法」で選択する「FOMA N601i」のCOMポート番号は、「COMポートを確認する」(P.30)を参照して確認してください。

「FOMA N601i」のCOM ポートを選択できない場合

「キャンセル」をクリックして「接続の設定」画面を閉じ、以下の操作を行ってください。
(1) 「ファイル」→「プロパティ」を選択
(2) 「sampleのプロパティ」画面の「接続の設定」タブの「接続方法」欄で「FOMA N601i」を選択
(3) 「国/地域番号と市外局番を使う」のチェックを外す
(4) 「OK」をクリックする

7 接続先（APN）を入力し、↵を押す

AT+CGDCONT=＜cid＞，“PPP”，“APN”の形式で入力する

＜cid＞：2、4～10までのうち任意の番号を入力する

すでにcidが設定してある場合は設定が上書きされますので注意してください。

“PPP”：そのまま“PPP”と入力します。

“APN”：接続先（APN）を“ ”で囲んで入力します。

「OK」と表示されれば、接続先（APN）の設定は完了です。

例：cidの2番にXXX.abcというAPNを設定する場合

AT+CGDCONT=2,"PPP","XXX.abc"

↵と入力します。

8 「OK」と表示されることを確認し、「ファイル」メニューを開き、「ハイパーターミナルの終了」をクリックしてハイパーターミナルを終了する

「“sample”と名前付けされた接続を保存しますか？」と表示されますが、とくに保存する必要はありません。

おしらせ

- P.35の操作7以降、「ハイパーターミナル」で入力したATコマンドが表示されないことがあります。このようなときは、ATE1 ↵と入力すれば、以降に入力するATコマンドが見えるようになります。
- ATコマンドで接続先（APN）設定をリセットする場合
  - ・リセットを行った場合、cid=1の接続先（APN）設定が「mopera.ne.jp」（初期値）に、cid=3の接続先（APN）設定が「mopera.net」（初期値）に戻り、cid=2、4～10の設定は未登録となります。
    ＜入力方法＞
    AT＋CGDCONT= ↵（すべてのcidをリセットする場合）
    AT＋CGDCONT=〈cid〉↵（特定のcidのみリセットする場合）
- ATコマンドで接続先（APN）設定を確認する場合
  - ・現在の設定内容を表示させます。
    ＜入力方法＞
    AT＋CGDCONT? ↵

発信者番号の通知／非通知を設定する

- パケット通信を行うときに、通知／非通知設定（接続先にお客様の発信者番号を通知する、しないの設定）を行うことができます。発信者番号はお客様の大切な情報なので、通知する際には十分にご注意ください。
- 発信者番号の通知／非通知設定は、ダイヤルアップ接続を行う前にATコマンドで設定できます。
- 発信者番号の通知／非通知、または「設定なし」（初期値）に戻すには＊DGPIRコマンド（P.46）で設定します。

1 「ハイパーターミナル」を起動する

2 パケット通信時の発信者番号の通知（186）／非通知（184）を設定する

「AT＊DGPIR=<*n*>」の形式で入力します。

発信／着信応答のときに自動的に184（非通知）を付ける場合

AT＊DGPIR=1 ↵
と入力する

発信／着信応答のときに自動的に186（通知）を付ける場合

AT＊DGPIR=2 ↵
と入力する

❸「OK」と表示されることを確認し、「ファイル」メニューの「ハイパーターミナルの終了」をクリックする

おしらせ

● ドコモのインターネット接続サービスmopera Uまたはmoperaをご利用になる場合は、発信者番号を「通知」に設定する必要があります。

ダイヤルアップネットワークでの186（通知）／184（非通知）設定について

ダイヤルアップネットワークの設定でも、接続先の番号に186／184を付けることができます。
＊DGPIRコマンド、ダイヤルアップネットワークの設定の両方で186／184の設定を行った場合、以下のようになります。

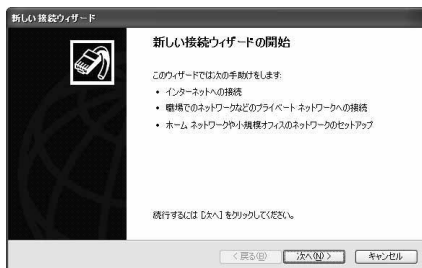
ダイヤルアップネットワークの設定（cid＝1の場合）	＊DGPIRコマンドによる通知／非通知設定	発信者番号の通知／非通知
＊99＊＊＊1#	設定なし	通知
	非通知	非通知
	通知	通知
184＊99＊＊＊1#	設定なし	非通知（ダイヤルアップネットワークの通知184が優先される）
	非通知	
	通知	
186＊99＊＊＊1#	設定なし	通知（ダイヤルアップネットワークの通知186が優先される）
	非通知	
	通知	

ダイヤルアップの設定を行う

- ここではパケット通信でmopera Uに接続する場合を例に説明しています。
- パケット通信で接続する場合、mopera Uでは「＊99＊＊＊3#」、moperaでは「＊99＊＊＊1#」を接続先の電話番号に入力してください。64Kデータ通信で接続する場合、mopera Uでは「＊8701」、moperaでは「＊9601」を接続先の電話番号に入力してください。

Windows XPでダイヤルアップの設定を行う

1. 「スタート」→「すべてのプログラム」→「アクセサリ」→「通信」→「新しい接続ウィザード」の順に開く

2. 「新しい接続ウィザード」画面が表示されたら、「次へ」をクリックする

3. 「インターネットに接続する」を選択し、「次へ」をクリックする

4. 「接続を手動でセットアップする」を選択し、「次へ」をクリックする

5. 「ダイヤルアップモデムを使用して接続する」を選択し、「次へ」をクリックする

6. 「デバイスの選択」画面が表示された場合は、「モデム－FOMA N601i（COMx）」のみを選択し、「次へ」をクリックする

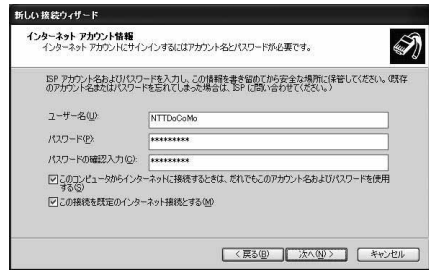
「デバイスの選択」画面は、複数のモデムが存在するときのみ表示されます。
（COMx）は、「COMポートを確認する」（P.30）で表示されるCOM ポートの番号です。

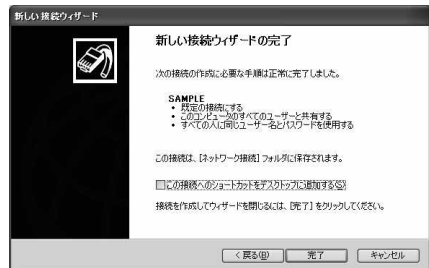
7. 「ISP名」欄に任意の名前を入力し、「次へ」をクリックする

❽「電話番号」欄に接続先の番号を入力し、「次へ」をクリックする

画面はパケット通信でmopera Uへ接続する場合の例です。

❾「次へ」をクリックする

mopera Uまたはmoperaの場合は、ユーザー名・パスワードについては空欄のままでも接続できます。
mopera Uまたはmopera以外のプロバイダに接続する場合は、右の画面のように「ユーザー名」、「パスワード」、「パスワードの確認入力」欄にプロバイダまたはネットワーク管理者から指定されたユーザー名とパスワードを入力してください。

❿「完了」をクリックする

新しく作成した接続ウィザードが表示されます。

⓫「スタート」→「すべてのプログラム」→「アクセサリ」→「通信」→「ネットワーク接続」を開く

⓬作成したダイヤルアップのアイコンを選択して、「ファイル」メニューの「プロパティ」を開く

13 「全般」タブで設定を確認する

パソコンに2台以上のモデムが接続されている場合は、「接続方法」欄で「モデム－FOMA N601i」のみにチェックが付いていることを確認し、チェックが付いていない場合には、チェックを付けます。「ダイヤル情報を使う」にチェックが付いていないことを確認します。チェックが付いている場合には、チェックを外します。

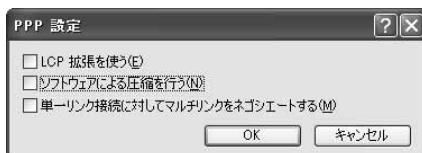
画面はパケット通信でmopera Uへ接続する場合の例です。

14 「ネットワーク」タブをクリックして、各種設定を行う

「呼び出すダイヤルアップサーバーの種類」欄は、「PPP:Windows 95/98/NT4/2000,Internet」を選択する

「この接続は次の項目を使用します」欄は、「インターネットプロトコル（TCP/IP）」を選択します。「QoSパケットスケジューラ」は設定変更ができませんので、そのままにしておいてください。

15 「設定」をクリックする

16 すべてのチェックを外し、「OK」をクリックする

17 操作14の画面に戻るので「OK」をクリックする

Windows 2000でダイヤルアップの設定を行う

1 「スタート」→「プログラム」→「アクセサリ」→「通信」→「ネットワークとダイヤルアップ接続」の順に開く

2 ネットワークとダイヤルアップ接続内の「新しい接続の作成」をダブルクリックする

3 「所在地情報」画面が表示された場合は、「市外局番」を入力し、「OK」をクリックする

「所在地情報」画面は操作2で「新しい接続の作成」をはじめて起動したときのみ表示されます。2回目以降は、この画面は表示されず、「ネットワークの接続ウィザード」画面が表示されるので、操作5に進んでください。

4 「電話とモデムのオプション」画面が表示されてから、「OK」をクリックする

5 「ネットワークの接続ウィザード」画面が表示されてから、「次へ」をクリックする

6 「インターネットにダイヤルアップ接続する」を選択し、「次へ」をクリックする

7 「インターネット接続を手動で設定するか、またはローカルエリアネットワーク(LAN)を使って接続します」を選択し、「次へ」をクリックする

8 「電話回線とモデムを使ってインターネットに接続します」を選択し、「次へ」をクリックする

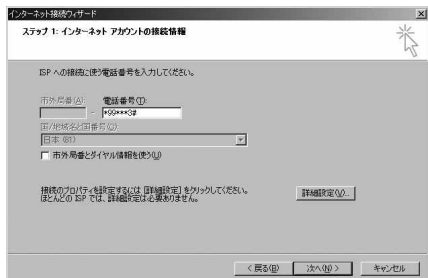
9 「インターネットへの接続に使うモデムを選択する」欄が、「FOMA N601i」になっていることを確認し、「次へ」をクリックする

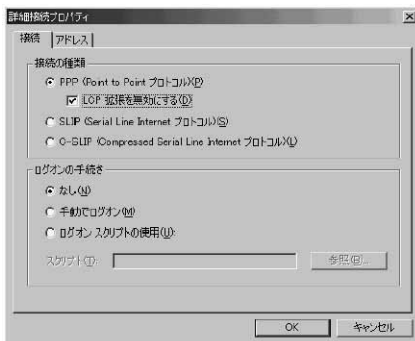
「FOMA N601i」になっていない場合は、「FOMA N601i」を選択する

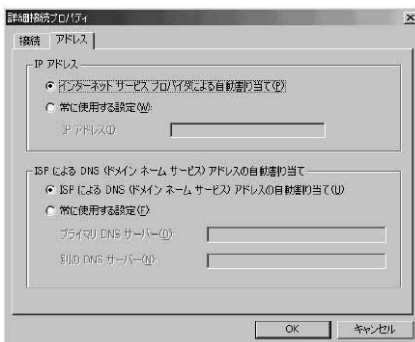
「FOMA N601i」以外のモデムがインストールされていない場合は、この画面は表示されません。

10 「電話番号」欄に接続先の番号を入力し、「詳細設定」をクリックする

「市外局番とダイヤル情報を使う」のチェックを外してください。

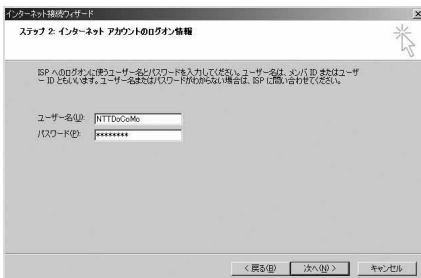
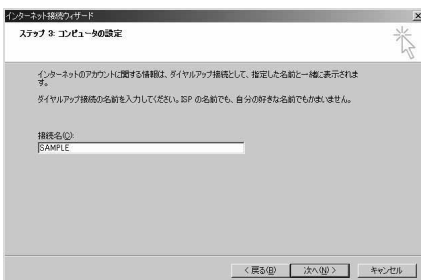
画面はパケット通信でmopera Uへ接続する場合の例です。

11 「接続」タブの中を画面例のように設定し、「アドレス」タブをクリックする

mopera Uまたはmopera以外のプロバイダに接続する場合は、「接続の種類」、「ログオンの手続き」については、インターネットサービスプロバイダまたはネットワーク管理者から指定されたとおり設定します。

12 「アドレス」タブのIPアドレスおよびDNS(ドメインネームサービス)アドレスを画面例のように設定し、「OK」をクリックする

mopera Uまたはmopera以外のプロバイダに接続する場合、「IPアドレス」、「ISPによるDNS(ドメインネームサービス)アドレスの自動割り当て」については、インターネットサービスプロバイダまたはネットワーク管理者から指定されたとおり設定します。

13 操作10の画面に戻るので、「次へ」をクリックする

14 「次へ」をクリックする

mopera Uまたはmoperaの場合は、ユーザー名・パスワードについては空欄のままでも接続できます。

mopera Uまたはmopera以外のプロバイダに接続する場合、右の画面のように「ユーザー名」、「パスワード」欄については、インターネットサービスプロバイダまたはネットワーク管理者から指定されたとおり設定します。

15 「接続名」欄に任意の名前を入力し、「次へ」をクリックする

16 「いいえ」を選択し、「次へ」をクリックする

17 「完了」をクリックする

18 作成したダイヤルアップのアイコンを選択し、「ファイル」メニューの「プロパティ」を開く

19 「全般」タブで設定を確認する

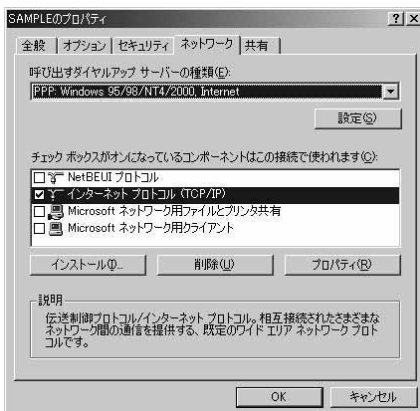
パソコンに2台以上モデムが接続されている場合は、「接続の方法」欄で「モデム－ FOMA N601i」のみにチェックが付いていることを確認し、チェックが付いていない場合には、チェックを付けます。

「ダイヤル情報を使う」にチェックが付いていないことを確認します。チェックが付いている場合には、チェックを外します。

画面はパケット通信でmopera Uへ接続する場合の例です。

20 「ネットワーク」タブをクリックして各種設定を行う

「呼び出すダイヤルアップサーバーの種類」欄は、「PPP：Windows 95/98/NT4/2000, Internet」を選択する

コンポーネントは「インターネットプロトコル（TCP/IP）」のみをチェックします。

21 「設定」をクリックする

22 すべてのチェックを外し、「OK」をクリックする

23 操作20の画面に戻るので「OK」をクリックする

ダイヤルアップ接続を実行する

ここでは、設定したダイヤルアップを使って、パケット通信のダイヤルアップ接続をする方法について説明しています。

<例：Windows XPの場合>

1 FOMA USB接続ケーブル（別売）でFOMA端末とパソコンを接続する

「取り付け方法」→P.5

2 「スタート」→「すべてのプログラム」→「アクセサリ」→「通信」→「ネットワーク接続」を開く

3 接続先を開く

P.37の操作7で設定したISP名のダイヤルアップの接続先アイコンを選択して、「ネットワークタスク」→「この接続を開始する」を選択するか、接続先のアイコンをダブルクリックする

4 内容を確認し、「ダイヤル」をクリックする

右の画面はmopera Uに接続する場合の例です。mopera Uまたはmoperaの場合は、ユーザー名・パスワードについては空欄のままでも接続できます。

<接続中の状態を示す画面が表示されます>

この間にユーザー名、パスワードの確認などのログオン処理が行われます。

＜接続の完了＞

接続が完了すると、デスクトップ右下のタスクバーのインジケータから、右の画面のようなメッセージが数秒間表示されます。
ブラウザソフトを起動してサイトやインターネットホームページを閲覧したり、電子メールなどを利用できます。
右の画面のようなメッセージが表示されない場合は、「ダイヤルアップネットワークの設定」（P.30）、「ダイヤルアップの設定を行う」（P.37）を再度確認してください。
通信状態については、P.25を参照してください。

切断のしかた

インターネットブラウザを終了しただけでは、通信回線が切断されない場合があります。以下の操作で確実に切断してください。ここではWindows XPを例に説明します。

1 タスクトレイのダイヤルアップアイコンをクリックする

インターネット接続の状態画面が表示されます。

ダイヤルアップアイコン

2 「切断」をクリックする

おしらせ
● パソコンに表示される通信速度は実際の通信速度とは異なる場合があります。

ATコマンド一覧

FOMA端末から使用できるATコマンド

● ATコマンド一覧では、以下の略を使用しています。
[＆F] ：AT&Fコマンドで設定が初期化されるコマンドです。
[＆W] ：AT&Wコマンドで設定が保存されるコマンドです。ATZコマンドで設定値を呼び戻すことができます。

モデムポートコマンド一覧

FOMA N601i（モデム）で使用できるコマンドです。

ATコマンド	概要	パラメータ/説明	コマンド実行例
A/	直前に実行したコマンドを再実行します。またキャリッジリターンは不要です。	－	A/ OK
AT	－	本コマンドの後に本一覧表のコマンドを付加することで、FOMA端末のモデム機能を制御することができます。 ※ATのみ入力した場合でもOKが応答されます。	AT OK
AT%V	FOMA端末のバージョンを表示します。	－	AT%V Ver1.00 OK
AT&C*n* [&F] [&W]	DTEへの回路CD信号の動作条件を選択します。	*n*＝0：CDは常にON *n*＝1：CDは相手モデムのキャリアに応じて変化する（初期値）	AT&C1 OK
AT&D*n* [&F] [&W]	DTEから受け取る回路ER信号がON／OFF遷移したときの動作を選択します。	*n*＝0：ERの状態を無視する（常にONとみなす） *n*＝1：ERがONからOFFに変わると、オンラインコマンド状態になる *n*＝2：ERがONからOFFに変わると回線を切断し、オフラインコマンド状態になる（初期値）	AT&D1 OK
AT&E*n* [&F] [&W]	接続時の速度表示の仕様を選択します。	*n*＝0：無線区間通信速度を表示する *n*＝1：DTE　シリアル通信速度を表示する（初期値）	AT&E0 OK
AT&F*n*	すべてのレジスタを工場出荷時の設定値に戻します。通信中に本コマンドが入力された場合、回線切断処理を行います。	*n*＝0のみ指定可能（省略可）	（オフラインモード時） AT&F OK AT&F? ERROR AT&F＝? ERROR （オンラインコマンドモード時） AT&F NO CARRIER （オフラインモードへ移行）
AT&S*n* [&F] [&W]	DTEへ出力するデータセットレディ信号の制御を設定します。	*n*＝0：DRは常にON（初期値） *n*＝1：DRは回線接続時（通信呼確立時）にON	AT&S0 OK
AT&W*n*	現在の設定値を記憶します。	*n*＝0のみ指定可能（省略可）	AT&W0 OK AT&W OK AT&W? ERROR AT&W＝? ERROR

ATコマンド	概要	パラメータ/説明	コマンド実行例
AT＊DANTE	FOMA端末の電波の受信レベルを表示します。	0：FOMA端末の電波の受信レベルが圏外と表示される状態 1：FOMA端末の電波の受信レベルが0本または1本の状態 2：FOMA端末の電波の受信レベルが2本の状態 3：FOMA端末の電波の受信レベルが3本の状態	AT＊DANTE ＊DANTE:3 OK AT＊DANTE＝? ＊DANTE:(0-3) OK
AT＊DGANSM=*n*	パケット着信呼に対する着信拒否／許可設定のモードを設定します。本コマンドによる設定は、設定コマンド入力後のパケット通信着信呼に対し有効となります。	*n*＝0：着信拒否設定（AT＊DGARL）および着信許可設定（AT＊DGAPL）を無効にする（初期値） *n*＝1：着信拒否設定を有効にする *n*＝2：着信許可設定を有効にする AT＊DGANSM? ：現在の設定値を表示する	AT＊DGANSM=0 OK AT＊DGANSM? ＊DGANSM:0 OK
AT＊DGAPL=*n*[,cid]	パケット着信呼に対して着信許可を行うAPNを設定します。APNの設定は、+CGDCONTで定義された<cid>パラメータを用います。	*n*＝0：<cid>で定義されたAPNを着信許可リストに追加する *n*＝1：<cid>で定義されたAPNを着信許可リストから削除する <cid>が省略された場合には、すべてのcidに適用する AT＊DGAPL? ：着信許可リストを表示する	AT＊DGAPL =0,1 OK AT＊DGAPL? ＊DGAPL:1 OK AT＊DGAPL =1 OK AT＊DGAPL? OK
AT＊DGARL=*n*[,cid]	パケット着信呼に対して着信拒否を行うAPNを設定します。APN設定は、+CGDCONTで定義された<cid>パラメータを用います。	*n*＝0：<cid>で定義されたAPNを着信拒否リストに追加する *n*＝1：<cid>で定義されたAPNを着信拒否リストから削除する <cid>が省略された場合には、すべてのcidに適用する AT＊DGARL? ：着信拒否リストを表示する	AT＊DGARL =0,1 OK AT＊DGARL? ＊DGARL:1 OK AT＊DGARL =1 OK AT＊DGARL? OK
AT＊DGPIR=*n*	本コマンドの設定は、パケット通信の発信時、着信時の通知・非通知設定が有効となります。 ダイヤルアップネットワークでの設定でも、接続先の番号に186（通知）／184（非通知）を付けることができます（P.35）。	*n*＝0：APNをそのまま使用する（初期値） *n*＝1：APNに“184”を付加して使用する（常に非通知） *n*＝2：APNに“186”を付加して使用する（常に通知） AT＊DGPIR? ：現在の設定値を表示する	AT＊DGPIR =0 OK AT＊DGPIR? ＊DGPIR:0 OK
AT＊DRPW	FOMA端末の受信電力指標値を表示します。	−	AT＊DRPW ＊DRPW:0 OK AT＊DRPW=? ＊DRPW:(0-75) OK
AT+CAOC	現在の課金値の問い合わせを行います。	−	AT+CAOC +CAOC:"000014" OK
AT+CBC	FOMA端末の電池残量を表示します。	リザルト：+CBC:<bcs>,<bcl> bcs： 0：電池パックから電源が供給されている 1：電池パックから電源が供給されていない 2：FOMA端末に電池パックが接続されていない 3：電源供給エラーによりFOMA端末からの発信不可 bcl： 0：電池残量なし、または電池パック未接続 1〜100：電池残量あり	AT+CBC +CBC:0,70 OK AT+CBC? ERROR AT+CBC=? +CBC:(0-3),(0-100) OK

ATコマンド	概要	パラメータ/説明	コマンド実行例
AT+CBST [&F] [&W]	利用するベアラサービスを切り替えます。	書式：AT+CBST=<*n*>,1,0 *n*=116：64,000 bps(bit transparent)（初期値） *n*=131：32,000 bps (multimedia) *n*=134：64,000 bps (multimedia)	AT+CBST=134,1,0 OK AT+CBST? +CBST:134,1,0 OK AT+CBST=? +CBST:(116,131,134),(1),(0) OK
AT+CEER	直前の呼の切断理由を表示します。	リザルト：+CEER:<report> report：切断理由一覧（P.58）	AT+CEER +CEER:36 OK
AT+CGDCONT	パケット発信時の接続先（APN）を設定します。	P.54	P.54
AT+CGEQMIN	PPP パケット通信確立時にネットワーク側から通知されるQoS（サービス品質）を許容するかどうかの判定基準値を登録します。	P.54	P.54
AT+CGEQREQ	PPP パケット通信の発信時にネットワークへ要求するQoS（サービス品質）を設定します。	P.55	P.55
AT+CGMR	FOMA端末のバージョンを表示します。	－	AT+CGMR 12345XXXXXXXXXXX OK
AT+CGREG=*n* [&F] [&W]	ネットワーク登録状態を通知するかどうかを設定します。 応答される通知により圏内／圏外を表示します。	*n*=0：通知なし（初期値） *n*=1：通知あり 圏内・圏外が切り替わったときに通知する AT+CGREG? ：現在の設定値を表示する +CGREG:<*n*>,<stat> *n*：設定値 stat： 0：パケット圏外 1：パケット圏内 4：不明 5：パケット圏内	AT+CGREG=1 OK（通知ありに設定） AT+CGREG? +CGREG:1,0 OK AT+CGREG=? +CGREG:（0,1） OK (圏外) (圏外から圏内に移動した場合) +CGREG:1
AT+CGSN	FOMA端末の製造番号を表示します。	－	AT+CGSN 12345XXXXXXXXXXX OK
AT+CLIP=*n* [&F] [&W]	64Kデータ通信の着信時に、相手の発信番号をパソコンに表示できます。	*n*=0：リザルトを出さない(初期値) *n*=1：リザルトを出す AT+CLIP? ：現在の設定値を表示する +CLIP:*n*,*m* *m*=0：発信時に相手に番号を通知しないNW設定 *m*=1：発信時に相手に番号を通知するNW設定 *m*=2：不明	AT+CLIP=0 OK AT+CLIP=? +CLIP:(0,1) OK (+CLIP=1 設定時に着信) RING +CLIP:"090XXXXXXXX",177,"123",136

ATコマンド	概要	パラメータ/説明	コマンド実行例
AT+CLIR=*n*	64Kデータ通信の発信時に、電話番号を相手に通知するかどうかを設定します。	*n*=0：CLIRサービスの契約に従う *n*=1：通話相手に番号発信しない *n*=2：通話相手に番号発信する（初期値） AT+CLIR? ：現在の設定値を表示する +CLIR:*n*,*m* *m*=0：CLIRは起動していない（常時通知） *m*=1：CLIRは起動している（常時非通知） *m*=2：不明 *m*=3：CLIRテンポラリーモード(非通知デフォルト) *m*=4：CLIRテンポラリーモード（通知デフォルト）	AT+CLIR=0 OK AT+CLIR? +CLIR:0,1 OK AT+CLIR=? +CLIR:(0-2) OK
AT+CMEE=*n* [&F] [&W]	FOMA端末のエラーレポートの有無の設定を行います。	*n*=0：ERRORリザルトを用いる（初期値） *n*=1：+CME ERROR:<err>リザルトコードを使用し、<err>は数値を用いる *n*=2：+CME ERROR:<err>リザルトコードを使用し、<err>は文字を用いる AT+CMEE?：現在の設定値を表示する 右記はFOMA端末や接続に異常がある場合のコマンドの実行例です。 +CME ERRORリザルトコードは下記のとおりです。 1：no connection to phone 10：SIM not inserted 15：SIM wrong 16：incorrect password 100：unknown	AT+CMEE=0 OK AT+CNUM ERROR AT+CMEE=1 OK AT+CNUM +CME ERROR:10 AT+CMEE=2 OK AT+CNUM +CME ERROR:SIM not inserted
AT+CNUM	FOMA端末の自局番号を表示します。	リザルト：+CNUM:,<number>,<type> number：電話番号 type ：129または145 129 ：国際アクセスコード+を含まない 145 ：国際アクセスコード+を含む	AT+CNUM +CNUM:,"+8190XXXXXXXX",145 OK
AT+COPS	接続する通信事業者を選択します。	書式：AT+COPS=<mode>,2,<oper> mode=0：オート（自動的にネットワークを検索して通信事業者を切り替える） mode=1：マニュアル（<oper>に指定された通信事業者に接続する） mode=2：通信事業者との接続を解除（切断）する mode=3：マッピングを行わない mode=4：マニュアルオート（<oper>に指定された通信事業者に接続できなかった場合に「オート」の処理を行う） <oper>は国番号（MCC）とネットワーク番号（MNC）からなる16進数の値で示す。書式は以下の通り。 Digit 1 of MCC･･･octet 1 bits 1 to 4. Digit 2 of MCC･･･octet 1 bits 5 to 8. Digit 3 of MCC･･･octet 2 bits 1 to 4. Digit 3 of MNC･･･octet 2 bits 5 to 8. Digit 2 of MNC･･･octet 3 bits 5 to 8.	AT+COPS=0 OK AT+COPS? +COPS:0 OK AT+COPS=? +COPS:(2,,,"44F001"),,(0,1),(2) OK

ATコマンド	概要	パラメータ/説明	コマンド実行例
AT+CPAS	FOMA端末への制御信号が使用できるかどうかを表示します。	リザルト：+CPAS:＜pas＞ pas： 0：FOMA端末への制御信号の送受信が可能 1：FOMA 端末への制御信号の送受信が不可能 2：不明(制御信号の送受信は保証されない) 3：FOMA 端末への制御信号の送受信が可能、かつ着信中 4：FOMA 端末への制御信号の送受信が可能、かつ通信中	AT+CPAS +CPAS:0 OK AT+CPAS? ERROR AT+CPAS=? +CPAS:(0-4)
AT+CPIN	FOMA端末にPINコードを入力します。	書式　：AT+CPIN="<pin>","<newpin>" 本コマンドはAT+CPIN?を入力して応答されるリザルトコードの状態によってFOMA端末のPIN 1コード、PIN2コードおよびPINロック解除コードを入力するためのコマンドです。 画面にてPINコード入力やPINロック解除コードを要求されている場合でも、AT+CPIN?入力時のリザルトコードの状態によって本コマンドを利用してPIN入力ができない場合があります。PINコード変更を目的として本コマンドを使用しないでください。<pin>と<newpin>は" "で囲んでください。 AT+CPIN?のリザルト +CPIN：READY：PIN1コード、PIN2コード PIN1ロック解除コード、PIN2ロック解除コードが入力できない状態 +CPIN：SIM PIN：PIN1入力待ち状態 +CPIN：SIM PIN2：PIN2入力待ち状態 +CPIN：SIM PUK：PIN1ロック状態 (PIN1ロック解除コード入力可) +CPIN：SIM PUK2：PIN2ロック状態 (PIN2ロック解除コード入力可) 右記はPINコード「1234」、PINロック解除コード「12345678」の入力例です。	(+CPIN?入力時に、+CPIN: READYが応答される状態) AT+CPIN="1234" ERROR (+CPIN?入力時に、+CPIN: READYが応答される状態) AT+CPIN="12345678", "1234" ERROR (+CPIN?入力時に、+CPIN: SIM PINが応答される状態) AT+CPIN="1234" OK (+CPIN?入力時に、+CPIN: SIM PUKが応答される状態:PIN1ロック状態) AT+CPIN="12345678", "1234" OK (+CPIN?入力時に、+CPIN: SIM PUK2が応答される状態:PIN2ロック状態) AT+CPIN="12345678", "1234" OK AT+CPIN? +CPIN:READY OK AT+CPIN=? OK
AT+CR=*n* [&F] [&W]	回線接続時にCONNECTのリザルトコードを表示する前に、ベアラサービス種別を表示します。	*n*=0：表示しない（初期値） *n*=1：表示する <serv>：パケット通信を意味する“GPRS”のみ表示する（回線種別により“SYNC”，“AV32K”，“AV64K”を表示） AT+CR? ：現在の設定値を表示する	AT+CR =1 OK ATD＊99＊＊＊1# +CR ：GPRS CONNECT
AT+CRC=*n* [&F] [&W]	着信時に拡張リザルトコードを使用するかどうかを設定します。	*n*=0：+CRINGを使用しない（初期値） *n*=1：+CRING.<type>を使用する +CRINGの書式は以下のとおり +CRING：SYNC +CRING：AV64K ：GPRS “PPP”,,,“<APN>” AT+CRC? ：現在の設定値を表示する	AT+CRC=0 OK AT+CRC? +CRC ：0 OK (PPPoverUD着信時) +CRING：SYNC (AV64K着信時) +CRING：AV64K (PPPパケット着信時) +CRING：GPRS “PPP”,,,“〈APN〉”

ATコマンド	概要	パラメータ/説明	コマンド実行例
AT+CREG=*n* [&F] [&W]	圏内・圏外情報の表示に関するリザルト表示の有無を設定します。 ● OSによっては設定できない場合があります。	*n*=０：通知なし（初期値） *n*=１：通知あり 圏内・圏外が切り替わったときに通知する AT+CREG? ：現在の設定値を表示する +CREG ：<*n*>,<stat> *n* ：設定値 stat ： ０ ：音声圏外 １ ：音声圏内 ４ ：不明 ５ ：音声圏内	AT+CREG=1 OK （通知ありに設定） AT+CREG? +CREG ：1,0 OK （圏外） （圏外から圏内に移動した場合） +CREG ：1
AT+CUSD [&F] [&W]	付加サービス等に関し、ネットワークの設定を変更、設定内容の問い合わせを行います。	書式：AT+CUSD=<n>,"<str>"[,0] *n*=０：中間リザルト <m>[<str>,<dcs>]を送出しない（初期値） *n*=１：中間リザルト <m>[<str>,<dcs>]を送出する 中間リザルト： *m*=０：設定完了 *m*=１：ネットワークから情報要求あり。 str ：０〜９、#、＊のみ使用可能。 <str>は""で囲む	AT+CUSD=0,"xxxxxxxxx" OK AT+CUSD=1,"＊148＊１＊0000#",0 +CUSD:0,"148＊7#",0 OK AT+CUSD? +CUSD:0 OK AT+CUSD =? +CUSD:(0,1) OK
AT+FCLASS=*n* [&F] [&W]	FOMA端末がサポートする通信種別を設定します。	*n*=０：データのみサポート（初期値）	AT+FCLASS=0 OK
AT+GCAP	FOMA端末のATコマンドのサポート範囲を表示します。	リザルト：+GCAP:<area>,<area>,<area> area： +CGSM ：GSMコマンドの一部またはすべてがサポートされている +FCLASS：+FCLASSコマンドがサポートされている +W ：+Wコマンドがサポートされている	AT+GCAP +GCAP:+CGSM,+FCLASS,+W OK
AT+GMI	メーカ名（NEC）を表示します。	−	AT+GMI NEC OK
AT+GMM	FOMA端末の製品名（FOMAN601i）を表示します。	−	AT+GMM FOMAN601i OK
AT+GMR	FOMA端末のバージョンを表示します。	−	AT+GMR Ver1.00 OK
AT+IFC=*n,m* [&F] [&W]	フロー制御方式を選択します。	*n* ：DCE by DTE *m* ：DTE by DCE ０：フロー制御なし １：XON／XOFFフロー制御 ２：RS／CS（RTS/CTS）フロー制御 初期値は*n,m*=2,2 AT+IFC?：現在の設定値を表示する	AT+IFC=2,2 OK AT+IFC? +IFC：2,2 OK AT+IFC=? +IFC：(0,1,2）,(0,1,2) OK
AT+WS46=*n* [&F] [&W]	FOMA端末の無線通信網を選択します。	*n*=22：W- CDMA（Wideband CDMA）のみ指定可能（初期値）	AT+WS46=22 OK

ATコマンド	概要	パラメータ/説明	コマンド実行例
AT¥S	現在設定されている各コマンド、S レジスタの内容を表示します。	−	AT¥S E1 Q0 V1 X4 &C1 &D2 &S0 &E1 ¥V0 S000=000 S002=043 S003=013 S004=010 S005=008 S006=005 S007=060 S008=003 S010=001 S030=000 S103=001 S104=001 OK
AT¥V*n* [&F] [&W]	接続時の応答コード仕様を選択します。	*n*=0：拡張リザルトコードを使用しない（初期値） *n*=1：拡張リザルトコードを使用する	AT¥V0 OK
ATA	FOMA端末が着信したモードに従って着信処理を行います。	−	RING ATA CONNECT
ATD	FOMA 端末に対してパラメータ、ダイヤルパラメータの指定に従って自動発信処理を行います。	ATD＊99＊＊＊<cid>#　：パケット通信 <cid>　1 〜 10：+ CGDCONT 設定したAPNを表す AT+CBST=116,1,0設定時 ATD<電話番号>　：64K通信 AT+CBST=131,1,0設定時 ATD<電話番号>　：AV32K通信 AT+CBST=134,1,0設定時 ATD<電話番号>　：AV64K通信	<パケット通信> ATD＊99＊＊＊1# CONNECT <64K通信> AT+CBST=116,1,0 OK ATD090XXXXXXXX CONNECT <AV32K通信> AT+CBST=131,1,0 OK ATD090XXXXXXXX CONNECT <AV64K通信> AT+CBST=134,1,0 OK ATD090XXXXXXXX CONNECT
ATE*n* [&F] [&W]	コマンドモードにおいてDTEに対するエコーバックの有無を指定します。	*n*=0 ：エコーバックなし *n*=1 ：エコーバックあり（初期値）	ATE1 OK
ATH*n*	FOMA 端末に対してオンフック動作を行います。	*n*=0 ：回線を切断する（省略可）	（パケット通信中） +++ OK ATH NO CARRIER
ATI*n*	認識コードを表示します。	*n*=0：「NTT DoCoMo」を表示する *n*=1：製品名を表示する（+GMMと同じ） *n*=2：FOMA端末のバージョンを表示する（+GMRと同じ） *n*=3：ACMP信号の各要素を表示する *n*=4：FOMA端末の有する通信機能の詳細を表示する	ATI0 NTT DoCoMo OK ATI1 FOMAN601i OK
ATO*n*	通信中にオンラインコマンドモードから、オンラインデータモードに戻ります。	*n*=0：オンラインコマンドモードからオンラインデータモードに戻す（省略可）	ATO CONNECT

ATコマンド	概要	パラメータ/説明	コマンド実行例
ATQ*n* [&F] [&W]	DTEへのリザルトコードを表示するかどうか設定します。	*n*=0 ：リザルトコードを表示する（初期値） *n*=1 ：リザルトコードを表示しない	ATQ0 OK ATQ1 （このとき、OKは応答されません）
ATS0=*n* [&F] [&W]	FOMA端末が自動着信するまでの呼び出し回数を設定します。	*n*=0 ：自動着信しない（初期値） *n*=1-255：指定したリング回数で自動着信する ATS0?：現在の設定値を表示する	ATS0=0 OK ATS0? 000 OK
ATS2=*n* [&F]	エスケープキャラクタの設定を行います。	*n*=43 ：初期値 *n*=127：エスケープ処理は無効 ATS2? ：現在の設定値を表示する	ATS2=43 OK ATS2? 043 OK
ATS3=*n* [&F]	キャリッジリターン（CR）キャラクタの設定を行います。	*n*=13 ：初期値（*n*=13のみ指定可） ATS3? ：現在の設定値を表示する	ATS3=13 OK ATS3? 013 OK
ATS4=*n* [&F]	ラインフィード（LF）キャラクタの設定を行います。	*n*=10 ：初期値（*n*=10のみ指定可） ATS4? ：現在の設定値を表示する	ATS4=10 OK ATS4? 010 OK
ATS5=*n* [&F]	バックスペース（BS）キャラクタの設定を行います。	*n*=8 ：初期値（*n*=8のみ指定可） ATS5? ：現在の設定値を表示する	ATS5=8 OK ATS5? 008 OK
ATS6=*n* [&F]	ダイヤルするまでのポーズ時間（秒）を設定します。	本コマンドは設定できますが、動作はいたしません。	ATS6=5 OK ATS6? 005 OK ATS6＝? ERROR
ATS8=*n* [&F]	カンマダイヤルによるポーズ時間（秒）を設定します。	本コマンドは設定できますが、動作はいたしません。	ATS8=3 OK ATS8? 003 OK ATS8＝? ERROR
ATS10=*n* [&F][&W]	自動切断遅延時間設定（1/10秒）	本コマンドは設定できますが、動作はいたしません。	ATS10=1 OK ATS10? 001 OK ATS10＝? ERROR
ATS30=*n* [&F]	ユーザデータの送受信がない場合、この時間で切断します。	*n*=0：不活動タイマオフ（初期値） *n*=0～255 *n*は分単位で設定します。	ATS30=0 OK ATS30? 000 OK ATS30=? ERROR

ATコマンド	概要	パラメータ/説明	コマンド実行例
ATS103=*n* [&F]	着サブアドレスキャラクタを設定します。	*n*=0： ＊ *n*=1： /（初期値） *n*=2： ￥（￥マークあるいはバックスラッシュ）	ATS103=0 OK ATS103? 000 OK ATS103=? ERROR
ATS104=*n* [&F]	発サブアドレスキャラクタを設定します。	*n*=0： # *n*=1： %（初期値） *n*=2： &	ATS104=0 OK ATS104? 000 OK ATS104=? ERROR
ATV*n* [&F] [&W]	すべてのリザルトコードを数字表記または英文字表記に設定します。	*n*=0： リザルトコードを数値で返送する *n*=1： リザルトコードを文字で返送する（初期値）	ATV1 OK
ATX*n* [&F] [&W]	接続時のCONNECT表示に速度表示の有無を設定します。 また、ビジートーン、ダイヤルトーンの検出を行います。	*n*=0： ダイヤルトーン検出なし、ビジートーン検出なし、速度表示なし *n*=1： ダイヤルトーン検出なし、ビジートーン検出なし、速度表示あり *n*=2： ダイヤルトーン検出あり、ビジートーン検出なし、速度表示あり *n*=3： ダイヤルトーン検出なし、ビジートーン検出あり、速度表示あり *n*=4： ダイヤルトーン検出あり、ビジートーン検出あり、速度表示あり（初期値）	ATX1 OK
ATZ	設定を不揮発メモリの内容にリセットします。 通信中に本コマンドが入力された場合、回線切断処理を行います。	−	（オンラインコマンドモード時） ATZ NO CARRIER （オフラインコマンドモード時） ATZ OK
+++	オンラインデータモードのとき、エスケープシーケンスが実行されると回線を切断することなくオンラインコマンド状態に移ります。	−	（オンラインデータモード） +++（表示は見えない） OK

● ATコマンドの補足説明

■ 動作しないコマンド

以下のコマンドは、エラーにはなりませんがコマンドの動作はしません。
・ATT（トーン設定）
・ATP（パルス設定）

■ コマンド名：+CGDCONT

・概要

パケット発信時の接続先（APN）の設定を行います。
本コマンドは設定コマンドですが、&Wにより書き込まれる不揮発メモリには記憶されません。&F、Zによるリセットも行われません。

・書式

+CGDCONT=[<cid>[,"PPP"[,"<APN>"]]]

・パラメータ説明

パケット発信時の接続先（APN）を設定します。設定例は以下のコマンド実行例を参照してください。
<cid>※：1～10
<APN>※：任意
※：<cid> は、FOMA 端末内に登録するパケット通信での接続先（APN）を管理する番号です。FOMA端末では1～10が登録できます。<cid>=1にはmopera.ne.jpが、<cid>=3にはmopera.netが初期値として登録されていますので、cidは2または4～10に設定します。
<APN>は、接続先を示す接続先ごとの任意の文字列です。

・パラメータを省略した場合の動作

+CGDCONT=: すべての<cid>に対し初期値を設定します。
+CGDCONT=<cid>: 指定された<cid>を初期値に設定します。
+CGDCONT=?: 設定可能な値のリスト値を表示します。
+CGDCONT?: 現在の設定を表示します。

・コマンド実行例

abcというAPN名を登録する場合のコマンド（cidが2の場合）
AT+CGDCONT=2,"PPP","abc"
OK

■ コマンド名：+CGEQMIN=[パラメータ]

・概要

PPPパケット通信確立時にネットワーク側から通知されるQoS（サービス品質）を許容するかどうかの判定基準値を登録します。
設定パターンは、以下のコマンド実行例に記載されている4パターンが設定できます。
本コマンドは設定コマンドですが、&Wにより書き込まれる不揮発メモリには記憶されません。&F、Zによるリセットも行われません。

・書式

+CGEQMIN=[<cid>[,,<Maximum bitrate UL>[,<Maximum bitrate DL>]]]

・パラメータ説明

<cid>※ ：1～10
<Maximum bitrate UL>※：なし（初期値）または64
<Maximum bitrate DL>※：なし（初期値）または384
※：<cid> は、FOMA 端末内に登録するパケット通信での接続先（APN）を管理する番号です。FOMA端末では1～10が登録できます。<cid>=1にはmopera.ne.jpが、<cid>=3にはmopera.netが初期値として登録されていますので、cidは2または4～10に設定します。<Maximum bitrate UL>および<Maximum bitrate DL>は、FOMA端末と基地局間の上りおよび下り最低通信速度[kbps]の設定です。なし（初期値）の場合はすべての速度を許容しますが、64および384を設定した場合はこれらの値以外での速度の接続は許容しないため、パケット通信がつながらない場合がありますのでご注意ください。

・パラメータを省略した場合の動作

+CGEQMIN= ：すべての<cid>に対し初期値を設定します。
+CGEQMIN=<cid>：指定された<cid>を初期値に設定します。
+CGEQMIN=?：設定可能な値のリスト値を表示します。
+CGEQMIN?：現在の設定を表示します。

・**コマンド実行例**
以下の4パターンのみ設定できます。（1）の設定が各cidに初期値として設定されています。
(1)　上り/下りすべての速度を許容する場合のコマンド（cidが2の場合）
AT+CGEQMIN=2
OK
(2)　上り64kbps/下り384kbpsの速度のみ許容する場合のコマンド（cidが4の場合）
AT+CGEQMIN=4,,64,384
OK
(3)　上り64kbps/下りはすべての速度を許容する場合のコマンド（cidが5の場合）
AT+CGEQMIN=5,,64
OK
(4)　上りすべての速度/下り384kbpsの速度のみ許容する場合のコマンド（cidが6の場合）
AT+CGEQMIN=6,,,384
OK

■ コマンド名：+CGEQREQ=[パラメータ]

・**概要**
PPPパケット通信の発信時にネットワークへ要求するQoS（サービス品質）を設定します。
設定は以下のコマンド実行例に記載されている1パターンのみで初期値としても設定されています。
本コマンドは設定コマンドですが、&Wにより書き込まれる不揮発メモリには記憶されません。&F、Zによるリセットも行われません。

・**書式**
+CGEQREQ=[<cid>]

・**パラメータ説明**
<cid>※：1～10
※：<cid>は、FOMA端末内に登録するパケット通信での接続先（APN）を管理する番号です。FOMA端末では1～10が登録できます。
<cid>=1にはmopera.ne.jpが、<cid>=3にはmopera.netが初期値として登録されていますので、cidは2または4～10に設定します。

・**パラメータを省略した場合の動作**
+CGEQREQ=：すべての<cid>に対し初期値を設定します。
+CGEQREQ=<cid>：指定された<cid>を初期値に設定します。
+CGEQREQ=?：設定可能な値のリスト値を表示します。
+CGEQREQ?：現在の設定を表示します。

・**コマンド実行例**
以下の1パターンのみ設定できます。各cidに初期値として設定されています。
上り64kbps/下り384kbpsの速度で接続を要求する場合のコマンド（cidが2の場合）
AT+CGEQREQ=2
OK

モデムポートコマンドの設定値の保存について

AT＋CGDCONTコマンドによる接続先（APN）設定（P.33）、AT+CGEQMIN／AT＋CGEQREQコマンドによるQoS設定、AT＊DGAPL／AT＊DGARL／AT＊DGANSMコマンドによる着信許可･拒否設定およびAT＊DGPIRコマンドによるパケット通信の番号通知／非通知の設定を除き、ATコマンドによる設定は、FOMA端末の電源OFF／ON時に初期化されてしまいますので、ご注意ください。なお、［&W］がついているコマンドについては、設定後に
AT&W ↵
と入力することにより保存できます。このとき、［&W］がついているほかの設定値も同時に保存されます。これらの値は、電源OFF／ON後であっても、
ATZ ↵
と入力することにより、設定値を呼び戻すことができます。

リザルトコード

■ データ通信に関するリザルトコード

数字表示	文字表示	意　味
0	OK	正常に実行しました。
1	CONNECT	相手と接続しました。
2	RING	着信が来ています。
3	NO CARRIER	回線が切断されました。
4	ERROR	コマンドを受け付けることができません。
6	NO DIALTONE	ダイヤルトーンの検出ができません。
7	BUSY	話中音検出中です。
8	NO ANSWER	接続完了タイムアウト。
100	RESTRICTION	ネットワークが規制中です。
101	DELAYED	リダイヤル発信規制中です。

■ 拡張リザルトコード

・&E0の時

数字表示	文字表示	意　味
121	CONNECT 32000	FOMA端末－基地局間速度32,000bpsで接続しました。
122	CONNECT 64000	FOMA端末－基地局間速度64,000bpsで接続しました。
125	CONNECT 384000	FOMA端末－基地局間速度384,000bpsで接続しました。

・&E1の時

数字表示	文字表示	意　味
5	CONNECT 1200	FOMA端末－PC間速度1,200bpsで接続しました。
10	CONNECT 2400	FOMA端末－PC間速度2,400bpsで接続しました。
11	CONNECT 4800	FOMA端末－PC間速度4,800bpsで接続しました。
13	CONNECT 7200	FOMA端末－PC間速度7,200bpsで接続しました。
12	CONNECT 9600	FOMA端末－PC間速度9,600bpsで接続しました。
15	CONNECT 14400	FOMA端末－PC間速度14,400bpsで接続しました。
16	CONNECT 19200	FOMA端末－PC間速度19,200bpsで接続しました。
17	CONNECT 38400	FOMA端末－PC間速度38,400bpsで接続しました。
18	CONNECT 57600	FOMA端末－PC間速度57,600bpsで接続しました。
19	CONNECT 115200	FOMA端末－PC間速度115,200bpsで接続しました。
20	CONNECT 230400	FOMA端末－PC間速度230,400bpsで接続しました。
21	CONNECT 460800	FOMA端末－PC間速度460,800bpsで接続しました。

■ 通信プロトコルリザルトコード

数字表示	文字表示	意　味
1	PPPoverUD	PPPoverUDで接続（BC=UDI、+CBST=116,1,0）
2	AV32K	AV（テレビ電話）[32K]で接続
3	AV64K	AV（テレビ電話）[64K]で接続
5	PACKET	パケットで接続

おしらせ

- ATV*n*コマンド（P.53）が*n*=1に設定されている場合には文字表示形式（初期値）、*n*=0に設定されている場合には数字表示形式でリザルトコードが表示されます。
- 従来の RS-232C で接続するモデムとの互換性を保つため通信速度の表示はしますが、FOMA端末－PC間はFOMA USB接続ケーブル（別売）で接続されているため、実際の接続速度と異なります。
- 「RESTRICTION」（数字表示：100）が表示された場合には、通信ネットワークが混雑しています。しばらくしてから接続し直してください。

リザルトコードの表示例

■ ATX0が設定されている場合

AT¥V*n*コマンド（P.51）の設定に関係なく接続完了の際にCONNECTのみの表示となります。

文字表示例： ATD＊99＊＊＊1#
CONNECT

数字表示例： ATD＊99＊＊＊1#
1

■ ATX1が設定されている場合

・ATX1、AT¥V0が設定されている場合（初期値）
接続完了のときに、CONNECT <FOMA端末－PC間の速度>の書式で表示します。

文字表示例： ATD＊99＊＊＊1#
CONNECT 460800

数字表示例： ATD＊99＊＊＊1#
1　21

・ATX1、AT¥V1が設定されている場合※
接続完了のときに、以下の書式で表示します。
CONNECT <FOMA端末－PC間の速度> PACKET ＜接続先APN＞ / ＜上り方向（FOMA端末→無線基地局間）の最高速度＞ / ＜下り方向（FOMA端末←無線基地局間）の最高速度＞
以下の例は、mopera.ne.jpに、送信最大64kbps、受信最大384kbpsで接続したことを表します。

文字表示例： ATD＊99＊＊＊1#
CONNECT 460800 PACKET mopera.ne.jp /64/384

数字表示例： ATD＊99＊＊＊1#
1　21　5

※：ATX1、AT¥V1を同時に設定した場合、ダイヤルアップ接続が正しく行えない場合があります。AT¥V0だけでのご利用をおすすめします。

切断理由一覧

■ パケット通信

値	理　由
26 27	APNが存在しないか、もしくは正しくありません。
30	ネットワークより切断されました。
33	要求したサービスオプションは申し込まれていません。
36	正常に切断されました。

■ 64Kデータ通信

値	理　由
1	指定した番号は存在しません。
16	正常に切断されました。
17	相手側が通信中のため、通信ができません。
18	発信しましたが、指定時間内に応答がありませんでした。
19	相手側が呼出中のため通信ができません。
21	相手側が通信を拒否しました。
63	ネットワークのサービスおよびオプションが有効ではありません。
65	提供されていない伝達能力を指定しました。
88	端末属性の異なる端末に発信したか、または着信を受けました。

FOMA® N601i
区点コード一覧

区点コード一覧

＜区点コード一覧の見かた＞

最初に「区点1～3桁目」の数字を入力してから、次に「区点4桁目」の数字を入力します。

● 区点コード一覧の表示は、実際の見えかたが異なるものがあります。

区点	区点4桁目									
1～3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
010		(スペース)	、	。	，	．	・	：	；	？
011	！	゛	゜	´	｀	¨	＾	￣	＿	ヽ
012	ヾ	ゝ	ゞ	〃	仝	々	〆	〇	ー	―
013	‐	／	＼	～	∥	｜	…	‥	‘	’
014	“	”	（	）	〔	〕	［	］	｛	｝
015	〈	〉	《	》	「	」	『	』	【	】
016	＋	－	±	×	÷	＝	≠	＜	＞	≦
017	≧	∞	∴	♂	♀	°	′	″	℃	￥
018	＄	￠	￡	％	＃	＆	＊	＠	§	☆
019	★	○	●	◎	◇					
020		◆	□	■	△	▲	▽	▼	※	〒
021	→	←	↑	↓	〓					
022							∈	∋	⊆	⊇
023	⊂	⊃	∪	∩						
024			∧	∨	￢	⇒	⇔	∀	∃	
026	∠	⊥	⌒	∂	∇	≡	≒	≪	≫	√
027	∽	∝	∵	∫	∬					
028			Å	‰	♯	♭	♪	†	‡	¶
029					◯					
031							0	1	2	3
032	4	5	6	7	8	9				
033				A	B	C	D	E	F	G
034	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q
035	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z	
036						a	b	c	d	e
037	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o
038	p	q	r	s	t	u	v	w	x	y
039	z									
040		ぁ	あ	ぃ	い	ぅ	う	ぇ	え	ぉ
041	お	か	が	き	ぎ	く	ぐ	け	げ	こ
042	ご	さ	ざ	し	じ	す	ず	せ	ぜ	そ
043	ぞ	た	だ	ち	ぢ	っ	つ	づ	て	で
044	と	ど	な	に	ぬ	ね	の	は	ば	ぱ
045	ひ	び	ぴ	ふ	ぶ	ぷ	へ	べ	ぺ	ほ
046	ぼ	ぽ	ま	み	む	め	も	ゃ	や	ゅ
047	ゆ	ょ	よ	ら	り	る	れ	ろ	ゎ	わ
048	ゐ	ゑ	を	ん						
050		ァ	ア	ィ	イ	ゥ	ウ	ェ	エ	ォ
051	オ	カ	ガ	キ	ギ	ク	グ	ケ	ゲ	コ
052	ゴ	サ	ザ	シ	ジ	ス	ズ	セ	ゼ	ソ
053	ゾ	タ	ダ	チ	ヂ	ッ	ツ	ヅ	テ	デ
054	ト	ド	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	ハ	バ	パ
055	ヒ	ビ	ピ	フ	ブ	プ	ヘ	ベ	ペ	ホ
056	ボ	ポ	マ	ミ	ム	メ	モ	ャ	ヤ	ュ
057	ユ	ョ	ヨ	ラ	リ	ル	レ	ロ	ヮ	ワ
058	ヰ	ヱ	ヲ	ン	ヴ	ヵ	ヶ			
060		Α	Β	Γ	Δ	Ε	Ζ	Η	Θ	Ι
061	Κ	Λ	Μ	Ν	Ξ	Ο	Π	Ρ	Σ	Τ
062	Υ	Φ	Χ	Ψ	Ω					
063				α	β	γ	δ	ε	ζ	η
064	θ	ι	κ	λ	μ	ν	ξ	ο	π	ρ
065	σ	τ	υ	φ	χ	ψ	ω			
070		А	Б	В	Г	Д	Е	Ё	Ж	З
071	И	Й	К	Л	М	Н	О	П	Р	С
072	Т	У	Ф	Х	Ц	Ч	Ш	Щ	Ъ	Ы
073	Ь	Э	Ю	Я						
074										а

区点	区点4桁目									
1～3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
075	б	в	г	д	е	ё	ж	з	и	й
076	к	л	м	н	о	п	р	с	т	у
077	ф	х	ц	ч	ш	щ	ъ	ы	ь	э
078	ю	я								
080		─	│	┌	┐	┘	└	├	┬	┤
081	┴	┼	━	┃	┏	┓	┛	┗	┣	┳
082	┫	┻	╋	┠	┯	┨	┷	┿	┝	┰
083	┥	┸	╂							
130		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
131	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲
132	⑳	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ	Ⅶ	Ⅷ	Ⅸ
133	Ⅹ		㍉	㌔	㌢	㍍	㌘	㌧	㌃	㌶
134	㍑	㍗	㌍	㌦	㌣	㌫	㍊	㌻	㎜	㎝
135	㎞	㎎	㎏	㏄	㎡					
136				㍻	〝	〟	№	㏍	℡	㊤
137	㊥	㊦	㊧	㊨	㈱	㈲	㈹	㍾	㍽	㍼
138	≒	≡	∫	∮	∑	√	⊥	∠	∟	⊿
139	∵	∩	∪							
あ										
160		亜	唖	娃	阿	哀	愛	挨	姶	逢
161	葵	茜	穐	悪	握	渥	旭	葦	芦	鯵
162	梓	圧	斡	扱	宛	姐	虻	飴	絢	綾
163	鮎	或	粟	袷	安	庵	按	暗	案	闇
164	鞍	杏								
い										
164			以	伊	位	依	偉	囲	夷	委
165	威	尉	惟	意	慰	易	椅	為	畏	異
166	移	維	緯	胃	萎	衣	謂	違	遺	医
167	井	亥	域	育	郁	磯	一	壱	溢	逸
168	稲	茨	芋	鰯	允	印	咽	員	因	姻
169	引	飲	淫	胤	蔭					
170		院	陰	隠	韻	吋				
う										
170							右	宇	烏	羽
171	迂	雨	卯	鵜	窺	丑	碓	臼	渦	嘘
172	唄	欝	蔚	鰻	姥	厩	浦	瓜	閏	噂
173	云	運	雲							
え										
173				荏	餌	叡	営	嬰	影	映
174	曳	栄	永	泳	洩	瑛	盈	穎	頴	英
175	衛	詠	鋭	液	疫	益	駅	悦	謁	越
176	閲	榎	厭	円	園	堰	奄	宴	延	怨
177	掩	援	沿	演	炎	焔	煙	燕	猿	縁
178	艶	苑	薗	遠	鉛	鴛	塩			
お										
178								於	汚	甥
179	凹	央	奥	往	応					
180		押	旺	横	欧	殴	王	翁	襖	鴬
181	鴎	黄	岡	沖	荻	億	屋	憶	臆	桶
182	牡	乙	俺	卸	恩	温	穏	音		
か										
182									下	化
183	仮	何	伽	価	佳	加	可	嘉	夏	嫁
184	家	寡	科	暇	果	架	歌	河	火	珂
185	禍	禾	稼	箇	花	苛	茄	荷	華	菓
186	蝦	課	嘩	貨	迦	過	霞	蚊	俄	峨
187	我	牙	画	臥	芽	蛾	賀	雅	餓	駕
188	介	会	解	回	塊	壊	廻	快	怪	悔
189	恢	懐	戒	拐	改					
190		魁	晦	械	海	灰	界	皆	絵	芥

区点	区点4桁目									
1～3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
191	蟹	開	階	貝	凱	劾	外	咳	害	崖
192	慨	概	涯	碍	蓋	街	該	鎧	骸	浬
193	馨	蛙	垣	柿	蛎	鈎	劃	嚇	各	廓
194	拡	撹	格	核	殻	獲	確	穫	覚	角
195	赫	較	郭	閣	隔	革	学	岳	楽	額
196	顎	掛	笠	樫	橿	梶	鰍	潟	割	喝
197	恰	括	活	渇	滑	葛	褐	轄	且	鰹
198	叶	椛	樺	鞄	株	兜	竃	蒲	釜	鎌
199	噛	鴨	栢	茅	萱					
200		粥	刈	苅	瓦	乾	侃	冠	寒	刊
201	勘	勧	巻	喚	堪	姦	完	官	寛	干
202	幹	患	感	慣	憾	換	敢	柑	桓	棺
203	款	歓	汗	漢	澗	潅	環	甘	監	看
204	竿	管	簡	緩	缶	翰	肝	艦	莞	観
205	諌	貫	還	鑑	間	閑	関	陥	韓	館
206	舘	丸	含	岸	巌	玩	癌	眼	岩	翫
207	贋	雁	頑	顔	願					
き										
207						企	伎	危	喜	器
208	基	奇	嬉	寄	岐	希	幾	忌	揮	机
209	旗	既	期	棋	棄					
210		機	帰	毅	気	汽	畿	祈	季	稀
211	紀	徽	規	記	貴	起	軌	輝	飢	騎
212	鬼	亀	偽	儀	妓	宜	戯	技	擬	欺
213	犠	疑	祇	義	蟻	誼	議	掬	菊	鞠
214	吉	吃	喫	桔	橘	詰	砧	杵	黍	却
215	客	脚	虐	逆	丘	久	仇	休	及	吸
216	宮	弓	急	救	朽	求	汲	泣	灸	球
217	究	窮	笈	級	糾	給	旧	牛	去	居
218	巨	拒	拠	挙	渠	虚	許	距	鋸	漁
219	禦	魚	亨	享	京					
220		供	侠	僑	兇	競	共	凶	協	匡
221	卿	叫	喬	境	峡	強	彊	怯	恐	恭
222	挟	教	橋	況	狂	狭	矯	胸	脅	興
223	蕎	郷	鏡	響	饗	驚	仰	凝	尭	暁
224	業	局	曲	極	玉	桐	粁	僅	勤	均
225	巾	錦	斤	欣	欽	琴	禁	禽	筋	緊
226	芹	菌	衿	襟	謹	近	金	吟	銀	
く										
226										九
227	倶	句	区	狗	玖	矩	苦	躯	駆	駈
228	駒	具	愚	虞	喰	空	偶	寓	遇	隅
229	串	櫛	釧	屑	屈					
230		掘	窟	沓	靴	轡	窪	熊	隈	粂
231	栗	繰	桑	鍬	勲	君	薫	訓	群	軍
232	郡									
け										
232		卦	袈	祁	係	傾	刑	兄	啓	圭
233	珪	型	契	形	径	恵	慶	慧	憩	掲
234	携	敬	景	桂	渓	畦	稽	系	経	継
235	繋	罫	茎	荊	蛍	計	詣	警	軽	頚
236	鶏	芸	迎	鯨	劇	戟	撃	激	隙	桁
237	傑	欠	決	潔	穴	結	血	訣	月	件
238	倹	倦	健	兼	券	剣	喧	圏	堅	嫌
239	建	憲	懸	拳	捲					
240		検	権	牽	犬	献	研	硯	絹	県
241	肩	見	謙	賢	軒	遣	鍵	険	顕	験
242	鹸	元	原	厳	幻	弦	減	源	玄	現
243	絃	舷	言	諺	限					
こ										
243						乎	個	古	呼	固
244	姑	孤	己	庫	弧	戸	故	枯	湖	狐

区点	区点4桁目									
1~3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
245	糊	袴	股	胡	菰	虎	誇	跨	鈷	雇
246	顧	鼓	五	互	伍	午	呉	吾	娯	後
247	御	悟	梧	檎	瑚	碁	語	誤	護	醐
248	乞	鯉	交	佼	侯	候	倖	光	公	功
249	効	勾	厚	口	向					
250		后	喉	坑	垢	好	孔	孝	宏	工
251	巧	巷	幸	広	庚	康	弘	恒	慌	抗
252	拘	控	攻	昂	晃	更	杭	校	梗	構
253	江	洪	浩	港	溝	甲	皇	硬	稿	糠
254	紅	紘	絞	綱	耕	考	肯	肱	腔	膏
255	航	荒	行	衡	講	貢	購	郊	酵	鉱
256	砿	鋼	閤	降	項	香	高	鴻	剛	劫
257	号	合	壕	拷	濠	豪	轟	麹	克	刻
258	告	国	穀	酷	鵠	黒	獄	漉	腰	甑
259	忽	惚	骨	狛	込					
260		此	頃	今	困	坤	墾	婚	恨	懇
261	昏	昆	根	梱	混	痕	紺	艮	魂	
さ										
261										些
262	佐	叉	唆	嵯	左	差	査	沙	瑳	砂
263	詐	鎖	裟	坐	座	挫	債	催	再	最
264	哉	塞	妻	宰	彩	才	採	栽	歳	済
265	災	采	犀	砕	砦	祭	斎	細	菜	裁
266	載	際	剤	在	材	罪	財	冴	坂	阪
267	堺	榊	肴	咲	崎	埼	碕	鷺	作	削
268	咋	搾	昨	朔	柵	窄	策	索	錯	桜
269	鮭	笹	匙	冊	刷					
270		察	拶	撮	擦	札	殺	薩	雑	皐
271	鯖	捌	錆	鮫	皿	晒	三	傘	参	山
272	惨	撒	散	桟	燦	珊	産	算	纂	蚕
273	讃	賛	酸	餐	斬	暫	残			
し										
273								仕	仔	伺
274	使	刺	司	史	嗣	四	士	始	姉	姿
275	子	屍	市	師	志	思	指	支	孜	斯
276	施	旨	枝	止	死	氏	獅	祉	私	糸
277	紙	紫	肢	脂	至	視	詞	詩	試	誌
278	諮	資	賜	雌	飼	歯	事	似	侍	児
279	字	寺	慈	持	時					
280		次	滋	治	爾	璽	痔	磁	示	而
281	耳	自	蒔	辞	汐	鹿	式	識	鴫	竺
282	軸	宍	雫	七	叱	執	失	嫉	室	悉
283	湿	漆	疾	質	実	蔀	篠	偲	柴	芝
284	屡	蕊	縞	舎	写	射	捨	赦	斜	煮
285	社	紗	者	謝	車	遮	蛇	邪	借	勺
286	尺	杓	灼	爵	酌	釈	錫	若	寂	弱
287	惹	主	取	守	手	朱	殊	狩	珠	種
288	腫	趣	酒	首	儒	受	呪	寿	授	樹
289	綬	需	囚	収	周					
290		宗	就	州	修	愁	拾	洲	秀	秋
291	終	繍	習	臭	舟	蒐	衆	襲	讐	蹴
292	輯	週	酋	酬	集	醜	什	住	充	十
293	従	戎	柔	汁	渋	獣	縦	重	銃	叔
294	夙	宿	淑	祝	縮	粛	塾	熟	出	術
295	述	俊	峻	春	瞬	竣	舜	駿	准	循
296	旬	楯	殉	淳	準	潤	盾	純	巡	遵
297	醇	順	処	初	所	暑	曙	渚	庶	緒
298	署	書	薯	藷	諸	助	叙	女	序	徐
299	恕	鋤	除	傷	償					
300		勝	匠	升	召	哨	商	唱	嘗	奨
301	妾	娼	宵	将	小	少	尚	庄	床	廠
302	彰	承	抄	招	掌	捷	昇	昌	昭	晶
303	松	梢	樟	樵	沼	消	渉	湘	焼	焦
304	照	症	省	硝	礁	祥	称	章	笑	粧
305	紹	肖	菖	蒋	蕉	衝	裳	訟	証	詔
306	詳	象	賞	醤	鉦	鍾	鐘	障	鞘	上
307	丈	丞	乗	冗	剰	城	場	壌	嬢	常
308	情	擾	条	杖	浄	状	畳	穣	蒸	譲
309	醸	錠	嘱	埴	飾					
310		拭	植	殖	燭	織	職	色	触	食
311	蝕	辱	尻	伸	信	侵	唇	娠	寝	審
312	心	慎	振	新	晋	森	榛	浸	深	申
313	疹	真	神	秦	紳	臣	芯	薪	親	診
314	身	辛	進	針	震	人	仁	刃	塵	壬
315	尋	甚	尽	腎	訊	迅	陣	靭		

区点	区点4桁目									
1~3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
す										
315									笥	諏
316	須	酢	図	厨	逗	吹	垂	帥	推	水
317	炊	睡	粋	翠	衰	遂	酔	錐	錘	随
318	瑞	髄	崇	嵩	数	枢	趨	雛	据	杉
319	椙	菅	頗	雀	裾					
320		澄	摺	寸						
せ										
320					世	瀬	畝	是	凄	制
321	勢	姓	征	性	成	政	整	星	晴	棲
322	栖	正	清	牲	生	盛	精	聖	声	製
323	西	誠	誓	請	逝	醒	青	静	斉	税
324	脆	隻	席	惜	戚	斥	昔	析	石	積
325	籍	績	脊	責	赤	跡	蹟	碩	切	拙
326	接	摂	折	設	窃	節	説	雪	絶	舌
327	蝉	仙	先	千	占	宣	専	尖	川	戦
328	扇	撰	栓	栴	泉	浅	洗	染	潜	煎
329	煽	旋	穿	箭	線					
330		繊	羨	腺	舛	船	薦	詮	賎	践
331	選	遷	銭	銑	閃	鮮	前	善	漸	然
332	全	禅	繕	膳	糎					
そ										
332						噌	塑	岨	措	曾
333	曽	楚	狙	疏	疎	礎	祖	租	粗	素
334	組	蘇	訴	阻	遡	鼠	僧	創	双	叢
335	倉	喪	壮	奏	爽	宋	層	匝	惣	想
336	捜	掃	挿	掻	操	早	曹	巣	槍	槽
337	漕	燥	争	痩	相	窓	糟	総	綜	聡
338	草	荘	葬	蒼	藻	装	走	送	遭	鎗
339	霜	騒	像	増	憎					
340		臓	蔵	贈	造	促	側	則	即	息
341	捉	束	測	足	速	俗	属	賊	族	続
342	卒	袖	其	揃	存	孫	尊	損	村	遜
た										
343	他	多	太	汰	詑	唾	堕	妥	惰	打
344	柁	舵	楕	陀	駄	騨	体	堆	対	耐
345	岱	帯	待	怠	態	戴	替	泰	滞	胎
346	腿	苔	袋	貸	退	逮	隊	黛	鯛	代
347	台	大	第	醍	題	鷹	滝	瀧	卓	啄
348	宅	托	択	拓	沢	濯	琢	託	鐸	濁
349	諾	茸	凧	蛸	只					
350		叩	但	達	辰	奪	脱	巽	竪	辿
351	棚	谷	狸	鱈	樽	誰	丹	単	嘆	坦
352	担	探	旦	歎	淡	湛	炭	短	端	箪
353	綻	耽	胆	蛋	誕	鍛	団	壇	弾	断
354	暖	檀	段	男	談					
ち										
354						値	知	地	弛	恥
355	智	池	痴	稚	置	致	蜘	遅	馳	築
356	畜	竹	筑	蓄	逐	秩	窒	茶	嫡	着
357	中	仲	宙	忠	抽	昼	柱	注	虫	衷
358	註	酎	鋳	駐	樗	瀦	猪	苧	著	貯
359	丁	兆	凋	喋	寵					
360		帖	帳	庁	弔	張	彫	徴	懲	挑
361	暢	朝	潮	牒	町	眺	聴	脹	腸	蝶
362	調	諜	超	跳	銚	長	頂	鳥	勅	捗
363	直	朕	沈	珍	賃	鎮	陳			
つ										
363								津	墜	椎
364	槌	追	鎚	痛	通	塚	栂	掴	槻	佃
365	漬	柘	辻	蔦	綴	鍔	椿	潰	坪	壷
366	嬬	紬	爪	吊	釣	鶴				
て										
366							亭	低	停	偵
367	剃	貞	呈	堤	定	帝	底	庭	廷	弟
368	悌	抵	挺	提	梯	汀	碇	禎	程	締
369	艇	訂	諦	蹄	逓					
370		邸	鄭	釘	鼎	泥	摘	擢	敵	滴
371	的	笛	適	鏑	溺	哲	徹	撤	轍	迭
372	鉄	典	填	天	展	店	添	纏	甜	貼
373	転	顛	点	伝	殿	澱	田	電		
と										
373									兎	吐
374	堵	塗	妬	屠	徒	斗	杜	渡	登	菟
375	賭	途	都	鍍	砥	砺	努	度	土	奴
376	怒	倒	党	冬	凍	刀	唐	塔	塘	套

区点	区点4桁目									
1~3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
377	宕	島	嶋	悼	投	搭	東	桃	梼	棟
378	盗	淘	湯	涛	灯	燈	当	痘	祷	等
379	答	筒	糖	統	到					
380		董	蕩	藤	討	謄	豆	踏	逃	透
381	鐙	陶	頭	騰	闘	働	動	同	堂	導
382	憧	撞	洞	瞳	童	胴	萄	道	銅	峠
383	鴇	匿	得	徳	涜	特	督	禿	篤	毒
384	独	読	栃	橡	凸	突	椴	届	鳶	苫
385	寅	酉	瀞	噸	屯	惇	敦	沌	豚	遁
386	頓	呑	曇	鈍						
な										
386					奈	那	内	乍	凪	薙
387	謎	灘	捺	鍋	楢	馴	縄	畷	南	楠
388	軟	難	汝							
に										
388				二	尼	弐	迩	匂	賑	肉
389	虹	廿	日	乳	入					
390		如	尿	韮	任	妊	忍	認		
ぬ〜の										
390									濡	禰
391	祢	寧	葱	猫	熱	年	念	捻	撚	燃
392	粘	乃	廼	之	埜	嚢	悩	濃	納	能
393	脳	膿	農	覗	蚤					
は										
393						巴	把	播	覇	杷
394	波	派	琶	破	婆	罵	芭	馬	俳	廃
395	拝	排	敗	杯	盃	牌	背	肺	輩	配
396	倍	培	媒	梅	楳	煤	狽	買	売	賠
397	陪	這	蝿	秤	矧	萩	伯	剥	博	拍
398	柏	泊	白	箔	粕	舶	薄	迫	曝	漠
399	爆	縛	莫	駁	麦					
400		函	箱	硲	箸	肇	筈	櫨	幡	肌
401	畑	畠	八	鉢	溌	発	醗	髪	伐	罰
402	抜	筏	閥	鳩	噺	塙	蛤	隼	伴	判
403	半	反	叛	帆	搬	斑	板	氾	汎	版
404	犯	班	畔	繁	般	藩	販	範	釆	煩
405	頒	飯	挽	晩	番	盤	磐	蕃	蛮	
ひ										
405										匪
406	卑	否	妃	庇	彼	悲	扉	批	披	斐
407	比	泌	疲	皮	碑	秘	緋	罷	肥	被
408	誹	費	避	非	飛	樋	簸	備	尾	微
409	枇	毘	琵	眉	美					
410		鼻	柊	稗	匹	疋	髭	彦	膝	菱
411	肘	弼	必	畢	筆	逼	桧	姫	媛	紐
412	百	謬	俵	彪	標	氷	漂	瓢	票	表
413	評	豹	廟	描	病	秒	苗	錨	鋲	蒜
414	蛭	鰭	品	彬	斌	浜	瀕	貧	賓	頻
415	敏	瓶								
ふ										
415			不	付	埠	夫	婦	富	冨	布
416	府	怖	扶	敷	斧	普	浮	父	符	腐
417	膚	芙	譜	負	賦	赴	阜	附	侮	撫
418	武	舞	葡	蕪	部	封	楓	風	葺	蕗
419	伏	副	復	幅	服					
420		福	腹	複	覆	淵	弗	払	沸	仏
421	物	鮒	分	吻	噴	墳	憤	扮	焚	奮
422	粉	糞	紛	雰	文	聞				
へ										
422							丙	併	兵	塀
423	幣	平	弊	柄	並	蔽	閉	陛	米	頁
424	僻	壁	癖	碧	別	瞥	蔑	箆	偏	変
425	片	篇	編	辺	返	遍	便	勉	娩	弁
426	鞭									
ほ										
426		保	舗	鋪	圃	捕	歩	甫	補	輔
427	穂	募	墓	慕	戊	暮	母	簿	菩	倣
428	俸	包	呆	報	奉	宝	峰	峯	崩	庖
429	抱	捧	放	方	朋					
430		法	泡	烹	砲	縫	胞	芳	萌	蓬
431	蜂	褒	訪	豊	邦	鋒	飽	鳳	鵬	乏
432	亡	傍	剖	坊	妨	帽	忘	忙	房	暴
433	望	某	棒	冒	紡	肪	膨	謀	貌	貿
434	鉾	防	吠	頬	北	僕	卜	墨	撲	朴
435	牧	睦	穆	釦	勃	没	殆	堀	幌	奔
436	本	翻	凡	盆						

区点1~3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
					ま					
436					摩	磨	魔	麻	埋	妹
437	昧	枚	毎	哩	槙	幕	膜	枕	鮪	柾
438	鱒	桝	亦	俣	又	抹	末	沫	迄	侭
439	繭	麿	万	慢	満					
440		漫	蔓							
					み					
440				味	未	魅	巳	箕	岬	密
441	蜜	湊	蓑	稔	脈	妙	粍	民	眠	
					む					
441										務
442	夢	無	牟	矛	霧	鵡	椋	婿	娘	
					め					
442										冥
443	名	命	明	盟	迷	銘	鳴	姪	牝	滅
444	免	棉	綿	緬	面	麺				
					も					
444							摸	模	茂	妄
445	孟	毛	猛	盲	網	耗	蒙	儲	木	黙
446	目	杢	勿	餅	尤	戻	籾	貰	問	悶
447	紋	門	匁							
					や					
447				也	冶	夜	爺	耶	野	弥
448	矢	厄	役	約	薬	訳	躍	靖	柳	薮
449	鑓									
					ゆ					
449		愉	愈	油	癒					
450		諭	輸	唯	佑	優	勇	友	宥	幽
451	悠	憂	揖	有	柚	湧	涌	猶	猷	由
452	祐	裕	誘	遊	邑	郵	雄	融	夕	
					よ					
452										予
453	余	与	誉	輿	預	傭	幼	妖	容	庸
454	揚	揺	擁	曜	楊	様	洋	溶	熔	用
455	窯	羊	耀	葉	蓉	要	謡	踊	遥	陽
456	養	慾	抑	欲	沃	浴	翌	翼	淀	
					ら					
456										羅
457	螺	裸	来	莱	頼	雷	洛	絡	落	酪
458	乱	卵	嵐	欄	濫	藍	蘭	覧		
					り					
458									利	吏
459	履	李	梨	理	璃					
460		痢	裏	裡	里	離	陸	律	率	立
461	葎	掠	略	劉	流	溜	琉	留	硫	粒
462	隆	竜	龍	侶	慮	旅	虜	了	亮	僚
463	両	凌	寮	料	梁	涼	猟	療	瞭	稜
464	糧	良	諒	遼	量	陵	領	力	緑	倫
465	厘	林	淋	燐	琳	臨	輪	隣	鱗	麟
					る~れ					
466	瑠	塁	涙	累	類	令	伶	例	冷	励
467	嶺	怜	玲	礼	苓	鈴	隷	零	霊	麗
468	齢	暦	歴	列	劣	烈	裂	廉	恋	憐
469	漣	煉	簾	練	聯					
470		蓮	連	錬						
					ろ					
470					呂	魯	櫓	炉	賂	路
471	露	労	婁	廊	弄	朗	楼	榔	浪	漏
472	牢	狼	篭	老	聾	蝋	郎	六	麓	禄
473	肋	録	論							
					わ					
473				倭	和	話	歪	賄	脇	惑
474	枠	鷲	亙	亘	鰐	詫	藁	蕨	椀	湾
475	碗	腕								
480		弌	丐	丕	个	丱	丶	丼	丿	乂
481	乖	乘	亂	亅	豫	亊	舒	弍	于	亞
482	亟	亠	亢	亰	亳	亶	从	仍	仄	仆
483	仂	仗	仞	仭	仟	价	伉	佚	估	佛
484	佝	佗	佇	佶	侈	侏	侘	佻	佩	佰
485	侑	佯	來	侖	儘	俔	俟	俎	俘	俛
486	俑	俚	俐	俤	俥	倚	倨	倔	倪	倥
487	倅	伜	俶	倡	倩	倬	俾	俯	們	倆
488	偃	假	會	偕	偐	偈	做	偖	偬	偸
489	傀	傚	傅	傴	傲					
490		僉	僊	傳	僂	僖	僞	僥	僭	僣

区点1~3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
491	僮	價	僵	儉	儁	儂	儖	儕	儔	儚
492	儡	儺	儷	儼	儻	儿	兀	兒	兌	兔
493	兢	竸	兩	兪	兮	冀	冂	囘	册	冉
494	冏	冑	冓	冕	冖	冤	冦	冢	冩	冪
495	冫	决	冱	冲	冰	况	冽	凅	凉	凛
496	几	處	凩	凭	凰	凵	凾	刄	刋	刔
497	刎	刧	刪	刮	刳	刹	剏	剄	剋	剌
498	剞	剔	剪	剴	剩	剳	剿	剽	劍	劔
499	劒	剱	劈	劑	辨					
500		辧	劬	劭	劼	劵	勁	勍	勗	勞
501	勣	勦	飭	勠	勳	勵	勸	勹	匆	匈
502	甸	匍	匐	匏	匕	匚	匣	匯	匱	匳
503	匸	區	卆	卅	丗	卉	卍	凖	卞	卩
504	卮	夘	卻	卷	厂	厖	厠	厦	厥	厮
505	厰	厶	參	簒	雙	叟	曼	燮	叮	叨
506	叭	叺	吁	吽	呀	听	吭	吼	吮	吶
507	吩	吝	呎	咏	呵	咎	呟	呱	呷	呰
508	咒	呻	咀	呶	咄	咐	咆	哇	咢	咸
509	咥	咬	哄	哈	咨					
510		咫	哂	咤	咾	咼	哘	哥	哦	唏
511	唔	哽	哮	哭	哺	哢	唹	啀	啣	啌
512	售	啜	啅	啖	啗	唸	唳	啝	喙	喀
513	咯	喊	喟	啻	啾	喘	喞	單	啼	喃
514	喩	喇	喨	嗚	嗅	嗟	嗄	嗜	嗤	嗔
515	嘔	嗷	嘖	嗾	嗽	嘛	嗹	噎	噐	營
516	嘴	嘶	嘲	嘸	噫	噤	嘯	噬	噪	嚆
517	嚀	嚊	嚠	嚔	嚏	嚥	嚮	嚶	嚴	囂
518	嚼	囁	囃	囀	囈	囎	囑	囓	囗	囮
519	囹	圀	囿	圄	圉					
520		圈	國	圍	圓	團	圖	嗇	圜	圦
521	圷	圸	坎	圻	址	坏	坩	埀	垈	坡
522	坿	垉	垓	垠	垳	垤	垪	垰	埃	埆
523	埔	埒	埓	堊	埖	埣	堋	堙	堝	塲
524	堡	塢	塋	塰	毀	塒	堽	塹	墅	墹
525	墟	墫	墺	壞	墻	墸	墮	壅	壓	壑
526	壗	壙	壘	壥	壜	壤	壟	壯	壺	壹
527	壻	壼	壽	夂	夊	夐	夛	梦	夥	夬
528	夭	夲	夸	夾	竒	奕	奐	奎	奚	奘
529	奢	奠	奧	奬	奩					
530		奸	妁	妝	佞	侫	妣	妲	姆	姨
531	姜	妍	姙	姚	娥	娟	娑	娜	娉	娚
532	婀	婬	婉	娵	娶	婢	婪	媚	媼	媾
533	嫋	嫂	媽	嫣	嫗	嫦	嫩	嫖	嫺	嫻
534	嬌	嬋	嬖	嬲	嫐	嬪	嬶	嬾	孃	孅
535	孀	孑	孕	孚	孛	孥	孩	孰	孳	孵
536	學	斈	孺	宀	它	宦	宸	寃	寇	寉
537	寔	寐	寤	實	寢	寞	寥	寫	寰	寶
538	寳	尅	將	專	對	尓	尠	尢	尨	尸
539	尹	屁	屆	屎	屓					
540		屐	屏	孱	屬	屮	乢	屶	屹	岌
541	岑	岔	妛	岫	岻	岶	岼	岷	峅	岾
542	峇	峙	峩	峽	峺	峭	嶌	峪	崋	崕
543	崗	嵜	崟	崛	崑	崔	崢	崚	崙	崘
544	嵌	嵒	嵎	嵋	嵬	嵳	嵶	嶇	嶄	嶂
545	嶢	嶝	嶬	嶮	嶽	嶐	嶷	嶼	巉	巍
546	巓	巒	巖	巛	巫	已	巵	帋	帚	帙
547	帑	帛	帶	帷	幄	幃	幀	幎	幗	幔
548	幟	幢	幤	幇	幵	并	幺	麼	广	庠
549	廁	廂	廈	廐	廏					
550		廖	廣	廝	廚	廛	廢	廡	廨	廩
551	廬	廱	廳	廰	廴	廸	廾	弃	弉	彝
552	彜	弋	弑	弖	弩	弭	弸	彁	彈	彌
553	彎	弯	彑	彖	彗	彙	彡	彭	彳	彷
554	徃	徂	彿	徊	很	徑	徇	從	徙	徘
555	徠	徨	徭	徼	忖	忻	忤	忸	忱	忝
556	悳	忿	怡	恠	怙	怐	怩	怎	怱	怛
557	怕	怫	怦	怏	怺	恚	恁	恪	恷	恟
558	恊	恆	恍	恣	恃	恤	恂	恬	恫	恙
559	悁	悍	惧	悃	悚					
560		悄	悛	悖	悗	悒	悧	悋	惡	悸
561	惠	惓	悴	忰	悽	惆	悵	惘	慍	愕
562	愆	惶	惷	愀	惴	惺	愃	愡	惻	惱
563	愍	愎	慇	愾	愨	愧	慊	愿	愼	愬
564	愴	愽	慂	慄	慳	慷	慘	慙	慚	慫
565	慴	慯	慥	慱	慟	慝	慓	慵	憙	憖
566	憇	憬	憔	憚	憊	憑	憫	憮	懌	懊

区点1~3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
567	應	懷	懈	懃	懆	憺	懋	罹	懍	懦
568	懣	懶	懺	懴	懿	懽	懼	懾	戀	戈
569	戉	戍	戌	戔	戛					
570		戞	戡	截	戮	戰	戲	戳	扁	扎
571	扞	扣	扛	扠	扨	扼	抂	抉	找	抒
572	抓	抖	拔	抃	抔	拗	拑	抻	拏	拿
573	拆	擔	拈	拜	拌	拊	拂	拇	抛	拉
574	挌	拮	拱	挧	挂	挈	拯	拵	捐	挾
575	捍	搜	捏	掖	掎	掀	掫	捶	掣	掏
576	掉	掟	掵	捫	捩	掾	揩	揀	揆	揣
577	揉	插	揶	揄	搖	搴	搆	搓	搦	搶
578	攝	搗	搨	搏	摧	摯	摶	摎	攪	撕
579	撓	撥	撩	撈	撼					
580		據	擒	擅	擇	撻	擘	擂	擱	擧
581	舉	擠	擡	抬	擣	擯	攬	擶	擴	擲
582	擺	攀	擽	攘	攜	攅	攤	攣	攫	攴
583	攵	攷	收	攸	畋	效	敖	敕	敍	敘
584	敞	敝	敲	數	斂	斃	變	斛	斟	斫
585	斷	旃	旆	旁	旄	旌	旒	旛	旙	无
586	旡	旱	杲	昊	昃	旻	杳	昵	昶	昴
587	昜	晏	晄	晉	晁	晞	晝	晤	晧	晨
588	晟	晢	晰	暃	暈	暎	暉	暄	暘	暝
589	曁	暹	曉	暾	暼					
590		曄	暸	曖	曚	曠	昿	曦	曩	曰
591	曵	曷	朏	朖	朞	朦	朧	霸	朮	朿
592	朶	杁	朸	朷	杆	杞	杠	杙	杣	杤
593	枉	杰	枩	杼	杪	枌	枋	枦	枡	枅
594	枷	柯	枴	柬	枳	柩	枸	柤	柞	柝
595	柢	柮	枹	柎	柆	柧	檜	栞	框	栩
596	桀	桍	栲	桎	梳	栫	桙	档	桷	桿
597	梟	梏	梭	梔	條	梛	梃	檮	梹	桴
598	梵	梠	梺	椏	梍	桾	椁	棊	椈	棘
599	椢	椦	棡	椌	棍					
600		棔	棧	棕	椶	椒	椄	棗	棣	椥
601	棹	棠	棯	椨	椪	椚	椣	椡	棆	楹
602	楷	楜	楸	楫	楔	楾	楮	椹	楴	椽
603	楙	椰	楡	楞	楝	榁	楪	榲	榮	槐
604	榿	槁	槓	榾	槎	寨	槊	槝	榻	槃
605	榧	樮	榑	榠	榜	榕	榴	槞	槨	樂
606	樛	槿	權	槹	槲	槧	樅	榱	樞	槭
607	樔	槫	樊	樒	櫁	樣	樓	橄	樌	橲
608	樶	橸	橇	橢	橙	橦	橈	樸	樢	檐
609	檍	檠	檄	檢	檣					
610		檗	蘗	檻	櫃	櫂	檸	檳	檬	櫞
611	櫑	櫟	檪	櫚	櫪	櫻	欅	蘖	櫺	欒
612	欖	鬱	欟	欸	欷	盜	欹	飮	歇	歃
613	歉	歐	歙	歔	歛	歟	歡	歸	歹	歿
614	殀	殄	殃	殍	殘	殕	殞	殤	殪	殫
615	殯	殲	殱	殳	殷	殼	毆	毋	毓	毟
616	毬	毫	毳	毯	麾	氈	氓	气	氛	氤
617	氣	汞	汕	汢	汪	沂	沍	沚	沁	沛
618	汾	汨	汳	沒	沐	泄	泱	泓	沽	泗
619	泅	泝	沮	沱	沾					
620		沺	泛	泯	泙	泪	洟	衍	洶	洫
621	洽	洸	洙	洵	洳	洒	洌	浣	涓	浤
622	浚	浹	浙	涎	涕	濤	涅	淹	渕	渊
623	涵	淇	淦	涸	淆	淬	淞	淌	淨	淒
624	淅	淺	淙	淤	淕	淪	淮	渭	湮	渮
625	渙	湲	湟	渾	渣	湫	渫	湶	湍	渟
626	湃	渺	湎	渤	滿	渝	游	溂	溪	溘
627	滉	溷	滓	溽	溯	滄	溲	滔	滕	溏
628	溥	滂	溟	潁	漑	灌	滬	滸	滾	漿
629	滲	漱	滯	漲	滌					
630		漾	漓	滷	澆	潺	潸	澁	澀	潯
631	潛	濳	潭	澂	潼	潘	澎	澑	濂	潦
632	澳	澣	澡	澤	澹	濆	澪	濟	濕	濬
633	濔	濘	濱	濮	濛	瀉	瀋	濺	瀑	瀁
634	瀏	濾	瀛	瀚	潴	瀝	瀘	瀟	瀰	瀾
635	瀲	灑	灣	炙	炒	炯	烱	炬	炸	炳
636	炮	烟	烋	烝	烙	焉	烽	焜	焙	煥
637	煕	熈	煦	煢	煌	煖	煬	熏	燻	熄
638	熕	熨	熬	燗	熹	熾	燒	燉	燔	燎
639	燠	燬	燧	燵	燼					
640		燹	燿	爍	爐	爛	爨	爭	爬	爰
641	爲	爻	爼	爿	牀	牆	牋	牘	牴	牾
642	犂	犁	犇	犒	犖	犢	犧	犹	犲	狃

区点 1~3桁目	区点4桁目 0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
643	狆	狄	狎	狒	狢	狠	狡	狹	狷	倏
644	猗	猊	猜	猖	猝	猴	猯	猩	猥	猾
645	獎	獏	默	獗	獪	獨	獰	獸	獵	獻
646	獺	珈	玳	珎	玻	珀	珥	珮	珞	璢
647	琅	瑯	琥	珸	琲	琺	瑕	琿	瑟	瑙
648	瑁	瑜	瑩	瑰	瑣	瑪	瑶	瑾	璋	璞
649	璧	瓊	瓏	瓔	珱					
650		瓠	瓣	瓧	瓩	瓮	瓲	瓰	瓱	瓸
651	瓷	甄	甃	甅	甌	甎	甍	甕	甓	甞
652	甦	甬	甼	畄	畍	畊	畉	畛	畆	畚
653	畩	畤	畧	畫	畭	畸	當	疆	疇	畴
654	疊	疉	疂	疔	疚	疝	疥	疣	痂	疳
655	痃	疵	疽	疸	疼	疱	痍	痊	痒	痙
656	痣	痞	痾	痿	痼	瘁	痰	痺	痲	痳
657	瘋	瘍	瘉	瘟	瘧	瘠	瘡	瘢	瘤	瘴
658	瘰	瘻	癇	癈	癆	癜	癘	癡	癢	癨
659	癩	癪	癧	癬	癰					
660		癲	癶	癸	發	皀	皃	皈	皋	皎
661	皖	皓	皙	皚	皰	皴	皸	皹	皺	盂
662	盍	盖	盒	盞	盡	盥	盧	盪	蘯	盻
663	眈	眇	眄	眩	眤	眞	眥	眦	眛	眷
664	眸	睇	睚	睨	睫	睛	睥	睿	睾	睹
665	瞎	瞋	瞑	瞠	瞞	瞰	瞶	瞹	瞿	瞼
666	瞽	瞻	矇	矍	矗	矚	矜	矣	矮	矼
667	砌	砒	礦	砠	礪	硅	碎	硴	碆	硼
668	碚	碌	碣	碵	碪	碯	磑	磆	磋	磔
669	碾	碼	磅	磊	磬					
670		磧	磚	磽	磴	礇	礒	礑	礙	礬
671	礫	祀	祠	祗	祟	祚	祕	祓	祺	祿
672	禊	禝	禧	齋	禪	禮	禳	禹	禺	秉
673	秕	秧	秬	秡	秣	稈	稍	稘	稙	稠
674	稟	禀	稱	稻	稾	稷	穃	穗	穉	穡
675	穢	穩	龝	穰	穹	穽	窈	窗	窕	窘
676	窖	窩	竈	窰	窶	竅	竄	窿	邃	竇
677	竊	竍	竏	竕	竓	站	竚	竝	竡	竢
678	竦	竭	竰	笂	笏	笊	笆	笳	笘	笙
679	笞	笵	笨	笶	筐					
680		筺	笄	筍	笋	筌	筅	筵	筥	筴
681	筧	筰	筱	筬	筮	箝	箘	箟	箍	箜
682	箚	箋	箒	箏	筝	箙	篋	篁	篌	篏
683	箴	篆	篝	篩	簑	簔	篦	篥	籠	簀
684	簇	簓	篳	篷	簗	簍	篶	簣	簧	簪
685	簟	簷	簫	簽	籌	籃	籔	籏	籀	籐
686	籘	籟	籤	籖	籥	籬	籵	粃	粐	粤
687	粭	粢	粫	粡	粨	粳	粲	粱	粮	粹
688	粽	糀	糅	糂	糘	糒	糜	糢	鬻	糯
689	糲	糴	糶	糺	紆					
690		紂	紜	紕	紊	絅	絋	紮	紲	紿
691	紵	絆	絳	絖	絎	絲	絨	絮	絏	絣
692	經	綉	絛	綏	絽	綛	綺	綮	綣	綵
693	緇	綽	綫	總	綢	綯	緜	綸	綟	綰
694	緘	緝	緤	緞	緻	緲	緡	縅	縊	縣
695	縡	縒	縱	縟	縉	縋	縢	繆	繦	縻
696	縵	縹	繃	縷	縲	縺	繧	繝	繖	繞
697	繙	繚	繹	繪	繩	繼	繻	纃	緕	繽
698	辮	繿	纈	纉	續	纒	纐	纓	纔	纖
699	纎	纛	纜	缸	缺					
700		罅	罌	罍	罎	罐	网	罕	罔	罘
701	罟	罠	罨	罩	罧	罸	羂	羆	羃	羈
702	羇	羌	羔	羞	羝	羚	羣	羯	羲	羹
703	羮	羶	羸	譱	翅	翆	翊	翕	翔	翡
704	翦	翩	翳	翹	飜	耆	耄	耋	耒	耘
705	耙	耜	耡	耨	耿	耻	聊	聆	聒	聘
706	聚	聟	聢	聨	聳	聲	聰	聶	聹	聽
707	聿	肄	肆	肅	肛	肓	肚	肭	冐	肬
708	胛	胥	胙	胝	胄	胚	胖	脉	胯	胱
709	脛	脩	脣	脯	腋					
710		隋	腆	脾	腓	腑	胼	腱	腮	腥
711	腦	腴	膃	膈	膊	膀	膂	膠	膕	膤
712	膣	腟	膓	膩	膰	膵	膾	膸	膽	臀
713	臂	膺	臉	臍	臑	臙	臘	臈	臚	臟
714	臠	臧	臺	臻	臾	舁	舂	舅	與	舊
715	舍	舐	舖	舩	舫	舸	舳	艀	艙	艘
716	艝	艚	艟	艤	艢	艨	艪	艫	舮	艱
717	艷	艸	艾	芍	芒	芫	芟	芻	芬	苡
718	苣	苟	苒	苴	苳	苺	莓	范	苻	苹
719	苞	茆	苜	茉	苙					
720		茵	茴	茖	茲	茱	荀	茹	荐	荅
721	茯	茫	茗	茘	莅	莚	莪	莟	莢	莖
722	茣	莎	莇	莊	荼	莵	荳	荵	莠	莉
723	莨	菴	萓	菫	菎	菽	萃	菘	萋	菁
724	菷	萇	菠	菲	萍	萢	萠	莽	萸	蔆
725	菻	葭	萪	萼	蕚	蒄	葷	葫	蒭	葮
726	蒂	葩	葆	萬	葯	葹	萵	蓊	葢	蒹
727	蒿	蒟	蓙	蓍	蒻	蓚	蓐	蓁	蓆	蓖
728	蒡	蔡	蓿	蓴	蔗	蔘	蔬	蔟	蔕	蔔
729	蓼	蕀	蕣	蕘	蕈					
730		蕁	蘂	蕋	蕕	薀	薤	薈	薑	薊
731	薨	蕭	薔	薛	藪	薇	薜	蕷	蕾	薐
732	藉	薺	藏	薹	藐	藕	藝	藥	藜	藹
733	蘊	蘓	蘋	藾	藺	蘆	蘢	蘚	蘰	蘿
734	虍	乕	虔	號	虧	虱	蚓	蚣	蚩	蚪
735	蚋	蚌	蚶	蚯	蛄	蛆	蚰	蛉	蠣	蚫
736	蛔	蛞	蛩	蛬	蛟	蛛	蛯	蜒	蜆	蜈
737	蜀	蜃	蛻	蜑	蜉	蜍	蛹	蜊	蜴	蜿
738	蜷	蜻	蜥	蜩	蜚	蝠	蝟	蝸	蝌	蝎
739	蝴	蝗	蝨	蝮	蝙					
740		蝓	蝣	蝪	蠅	螢	螟	螂	螯	蟋
741	螽	蟀	蟐	雖	螫	蟄	螳	蟇	蟆	螻
742	蟯	蟲	蟠	蠏	蠍	蟾	蟶	蟷	蠎	蟒
743	蠑	蠖	蠕	蠢	蠡	蠱	蠶	蠹	蠧	蠻
744	衄	衂	衒	衙	衞	衢	衫	袁	衾	袞
745	衵	衽	袵	衲	袂	袗	袒	袮	袙	袢
746	袍	袤	袰	袿	袱	裃	裄	裔	裘	裙
747	裝	裹	褂	裼	裴	裨	裲	褄	褌	褊
748	褓	襃	褞	褥	褪	褫	襁	襄	褻	褶
749	褸	襌	褝	襠	襞					
750		襦	襤	襭	襪	襯	襴	襷	襾	覃
751	覈	覊	覓	覘	覡	覩	覦	覬	覯	覲
752	覺	覽	覿	觀	觚	觜	觝	觧	觴	觸
753	訃	訖	訐	訌	訛	訝	訥	訶	詁	詛
754	詒	詆	詈	詼	詭	詬	詢	誅	誂	誄
755	誨	誡	誑	誥	誦	誚	誣	諄	諍	諂
756	諚	諫	諳	諧	諤	諱	謔	諠	諢	諷
757	諞	諛	謌	謇	謚	諡	謖	謐	謗	謠
758	謳	鞫	謦	謫	謾	謨	譁	譌	譏	譎
759	證	譖	譛	譚	譫					
760		譟	譬	譯	譴	譽	讀	讌	讎	讒
761	讓	讖	讙	讚	谺	豁	谿	豈	豌	豎
762	豐	豕	豢	豬	豸	豺	貂	貉	貅	貊
763	貍	貎	貔	豼	貘	戝	貭	貪	貽	貲
764	貳	貮	貶	賈	賁	賤	賣	賚	賽	賺
765	賻	贄	贅	贊	贇	贏	贍	贐	齎	贓
766	賍	贔	贖	赧	赭	赱	赳	趁	趙	跂
767	趾	趺	跏	跚	跖	跌	跛	跋	跪	跫
768	跟	跣	跼	踈	踉	跿	踝	踞	踐	踟
769	蹂	踵	踰	踴	蹊					
770		蹇	蹉	蹌	蹐	蹈	蹙	蹤	蹠	踪
771	蹣	蹕	蹶	蹲	蹼	躁	躇	躅	躄	躋
772	躊	躓	躑	躔	躙	躪	躡	躬	躰	軆
773	躱	躾	軅	軈	軋	軛	軣	軼	軻	軫
774	軾	輊	輅	輕	輒	輙	輓	輜	輟	輛
775	輌	輦	輳	輻	輹	轅	轂	輾	轌	轉
776	轆	轎	轗	轜	轢	轣	轤	辜	辟	辣
777	辭	辯	辷	迚	迥	迢	迪	迯	邇	迴
778	逅	迹	迺	逑	逕	逡	逍	逞	逖	逋
779	逧	逶	逵	逹	迸					
780		遏	遐	遑	遒	逎	遉	逾	遖	遘
781	遞	遨	遯	遶	隨	遲	邂	遽	邁	邀
782	邊	邉	邏	邨	邯	邱	邵	郢	郤	扈
783	郛	鄂	鄒	鄙	鄲	鄰	酊	酖	酘	酣
784	酥	酩	酳	酲	醋	醉	醂	醢	醫	醯
785	醪	醵	醴	醺	釀	釁	釉	釋	釐	釖
786	釟	釡	釛	釼	釵	釶	鈞	釿	鈔	鈬
787	鈕	鈑	鉞	鉗	鉅	鉉	鉤	鉈	銕	鈿
788	鉋	鉐	銜	銖	銓	銛	鉚	鋏	銹	銷
789	鋩	錏	鋺	鍄	錮					
790		錙	錢	錚	錣	錺	錵	錻	鍜	鍠
791	鍼	鍮	鍖	鎰	鎬	鎭	鎔	鎹	鏖	鏗
792	鏨	鏥	鏘	鏃	鏝	鏐	鏈	鏤	鐚	鐔
793	鐓	鐃	鐇	鐐	鐶	鐫	鐵	鐡	鐺	鑁
794	鑒	鑄	鑛	鑠	鑢	鑞	鑪	鈩	鑰	鑵
795	鑷	鑽	鑚	鑼	鑾	钁	鑿	閂	閇	閊
796	閔	閖	閘	閙	閠	閨	閧	閭	閼	閻
797	閹	閾	闊	濶	闃	闍	闌	闕	闔	闖
798	關	闡	闥	闢	阡	阨	阮	阯	陂	陌
799	陏	陋	陷	陜	陞					
800		陝	陟	陦	陲	陬	隍	隘	隕	隗
801	險	隧	隱	隲	隰	隴	隶	隸	隹	雎
802	雋	雉	雍	襍	雜	霍	雕	雹	霄	霆
803	霈	霓	霎	霑	霏	霖	霙	霤	霪	霰
804	霹	霽	霾	靄	靆	靈	靂	靉	靜	靠
805	靤	靦	靨	勒	靫	靱	靹	鞅	靼	鞁
806	靺	鞆	鞋	鞏	鞐	鞜	鞨	鞦	鞣	鞳
807	鞴	韃	韆	韈	韋	韜	韭	齏	韲	竟
808	韶	韵	頏	頌	頸	頤	頡	頷	頽	顆
809	顏	顋	顫	顯	顰					
810		顱	顴	顳	颪	颯	颱	颶	飄	飃
811	飆	飩	飫	餃	餉	餒	餔	餘	餡	餝
812	餞	餤	餠	餬	餮	餽	餾	饂	饉	饅
813	饐	饋	饑	饒	饌	饕	馗	馘	馥	馭
814	馮	馼	駟	駛	駝	駘	駑	駭	駮	駱
815	駲	駻	駸	騁	騏	騅	駢	騙	騫	騷
816	驅	驂	驀	驃	騾	驕	驍	驛	驗	驟
817	驢	驥	驤	驩	驫	驪	骭	骰	骼	髀
818	髏	髑	髓	體	髞	髟	髢	髣	髦	髯
819	髫	髮	髴	髱	髷					
820		髻	鬆	鬘	鬚	鬟	鬢	鬣	鬥	鬧
821	鬨	鬩	鬪	鬮	鬯	鬲	魄	魃	魏	魍
822	魎	魑	魘	魴	鮓	鮃	鮑	鮖	鮗	鮟
823	鮠	鮨	鮴	鯀	鯊	鮹	鯆	鯏	鯑	鯒
824	鯣	鯢	鯤	鯔	鯡	鰺	鯲	鯱	鯰	鰕
825	鰔	鰉	鰓	鰌	鰆	鰈	鰒	鰊	鰄	鰮
826	鰛	鰥	鰤	鰡	鰰	鱇	鰲	鱆	鰾	鱚
827	鱠	鱧	鱶	鱸	鳧	鳬	鳰	鴉	鴈	鳫
828	鴃	鴆	鴪	鴦	鶯	鴣	鴟	鵄	鴕	鴒
829	鵁	鴿	鴾	鵆	鵈					
830		鵝	鵞	鵤	鵑	鵐	鵙	鵲	鶉	鶇
831	鶫	鵯	鵺	鶚	鶤	鶩	鶲	鷄	鷁	鶻
832	鶸	鶺	鷆	鷏	鷂	鷙	鷓	鷸	鷦	鷭
833	鷯	鷽	鸚	鸛	鸞	鹵	鹹	鹽	麁	麈
834	麋	麌	麒	麕	麑	麝	麥	麩	麸	麪
835	麭	靡	黌	黎	黏	黐	黔	黜	點	黝
836	黠	黥	黨	黯	黴	黶	黷	黹	黻	黼
837	黽	鼇	鼈	皷	鼕	鼡	鼬	鼾	齊	齒
838	齔	齣	齟	齠	齡	齦	齧	齬	齪	齷
839	齲	齶	龕	龜	龠					
840		堯	槇	遙	瑤	凜	熙			